

YEAR BOOK OF JAPANESE ART

日本美術年鑑

平成 14 年版 (2001.1—12)

独立行政法人文化財研究所

東京文化財研究所

Independent Administrative Institution

NATIONAL RESEARCH INSTITUTE FOR CULTURAL PROPERTIES
TOKYO

13-43 UENO PARK, TAITO-KU, TOKYO

序

『日本美術年鑑』は、わが国美術界の一年間の動向を、基本となる資料を収集整理してまとめたもので、昭和 11 年に当研究所美術部の前身である帝国美術院附属美術研究所によって第一冊が刊行された。この出版事業は、昭和 28 年に美術研究所が東京国立文化財研究所になり、さらに平成 13 年 4 月、独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所と改められても、変わることなく受けつがれてきた。今回は、その第 59 冊目となる。

この平成 14 年版は、平成 13 年(2001 年 1 月～12 月)における美術界の動向を、年史・展覧会・文献目録・物故者の四項目に分けて編集している。これらの記述の方法は、創刊以来の基本的方針を継承しているが、美術界の活動が多様化し、博物館・美術館が増加した今日にあっては、各項目とも、調査・採録すべき事項が急増しており、当研究所の年鑑編集能力は限界に近づきつつある。したがって各項目の内容は厳選せざるを得ないのが現状である。そのため、平成 14 年には、情報の一層の精選をすすめるとともに、分類と内容を点検して、一部構成を改めたが、今回も、それを継承した。

ところで、各地の私立美術館等の相次ぐ閉館のニュースに接してみても、美術をめぐる近年の社会的、経済的な状況は、決して良好とはいえない。しかし、厳しい状況にとりまかれていればこそ、美術の価値は、人間にとって、より深く、大きなものになっているともいえる。こうした状況を正確に把握するためにも、一年間の美術界の動向を歴史として残すべきものとして、情報を精査し、編集した本年鑑が、活用されることを願っている。

なお、この年鑑の編集には、美術部黒田記念近代現代美術研究室と同部日本東洋美術研究室とが当たり、情報調整室の協力を得た。資料を提供して下さった多くの方々、公私立の美術館・博物館、大学等の研究教育機関、美術団体、画廊等の美術関係諸機関に対し、心からお礼申し上げる。

平成 16 年 3 月

東京文化財研究所

所 長 渡 邊 明 義

凡 例

- 1 本年鑑は、平成13(2001)年の1月から12月に至る美術界の主要な出来事を掲載した。
- 2 本年鑑は、わが国美術界の全般について、主要な事件、展覧会、物故者、発表された文献などを記載した。
- 3 本年鑑であつかう美術の範囲は、一般に行われる狭義の解釈に従い、絵画、彫刻・空間表現、工芸、書、写真、漫画、デザインおよび建築に限っている。
- 4 人名を記す場合は、すべて敬称を略した。
- 5 「美術展覧会」の欄は、平成12年版の年鑑より「企画展」「作家展」「団体展」の三つに分類し、展覧会名、作家名などの50音順に配列した。これは、美術に対する関心の多様化にともない、従来の時代や地域の区分を越えた展覧会が増加しつつある近年の状況に対応するために行ったものである。なお、「企画展」は、東洋古美術を主題とするすべての展覧会と、近現代美術における企画性の高い展覧会を指す。「作家展」は、近代以降、現代まで活動する作家を主題とした展覧会、および少人数の作家による展覧会を指す。「団体展」とは、定期的に、連続して開催される主要な公募を原則とする展覧会を指す。
- 6 「美術展覧会」の欄は、原則として「美術文献目録」欄の「収録定期刊行物誌名」にあげられた定期刊行物に掲載された展覧会関連記事を中心とし、これに本研究所が所蔵する展覧会図録と展覧会ポスター等から得られるデータを補って作成した。データは、展覧会名、会期、会場の順に略記し、当該年末から翌年にかけて開催された場合は、翌年の年記を略した。展覧会名は、概ね50音順で記載した。
- 7 「美術文献目録」の欄は、平成12年版の年鑑より「定期刊行物所載文献」の分類を一部改めた。また、「美術展覧会図録所載文献」の項目を設け、展覧会図録に掲載された論文等をまとめた。詳細は、項目の始めに凡例を付したので参照されたい。
- 8 本年鑑は、田中淳(美術部黒田記念近代現代美術研究室長)を編集主任とし、鈴木廣之(日本東洋美術研究室長)、勝木言一郎(同部主任研究官)、塩谷純(同部研究員)、小林未央子(同部研究補佐員)が編集作業にあたった。また、定期刊行物、美術展覧会図録の管理登録については情報調整室の協力を得た。「物故者」記事の執筆にあたっては、中野照男(同部長)、山梨絵美子(同部広領域研究室長)、津田徹英(同部研究員)の協力を得るとともに、東京国立近代美術館研究員である今井陽子、唐澤昌宏、木田拓也、北村仁美、富田康子、増田玲の6氏にご協力いただいた。
なお、本年鑑の編集にあたっては、向後恵里子、佐藤香里、高橋真作、塚本陽子、土橋那帆子、安武杏季の6君の献身的な編集補助を得たので、ここに記しておきたい。

目 次

序	i
凡 例	iii
目 次	iv
平成 13 年美術界年史	1
美術展覧会	7
企 画 展	7
作 家 展	26
団 体 展	42
美術文献目録	45
凡 例	45
定期刊行物所載文献	51
目 次	51
美術展覧会図録所載文献	207
企 画 展	207
作 家 展	221
物 故 者	231

平成13年美術界年史

1 月

○第71回朝日賞決定 学術と芸術の分野で傑出した業績をあげた個人や団体に贈られる朝日賞が、朝日新聞文化財団と朝日新聞社の選考委員会が審議し、決定した。美術の分野では、「世界の戦後美術に多大な影響を与えた前衛的創作活動」を評価され、草間彌生(71)に贈られた。贈呈式は、1月30日に帝国ホテルで行われた。

2 月

○第42回毎日芸術賞受賞者決定 優れた芸術活動をした個人、団体に贈られる同賞の今年度の受賞者が決定した。美術関係では、美術家の山口勝弘(72)（「闇2000 光—山口勝弘展」、富山県下山芸術の森発電所美術館に対して）、写真家の畠山直哉(42)（写真集『Underground』に対して）の2名が選ばれた。

○第13回和辻哲郎文化賞決定 兵庫県姫路市が主催する同賞の受賞者が決定した。美術関係では、「一般部門」で稲賀繁美(44)の『絵画の東方』（名古屋大学出版会）に決定した。同書は、江戸時代の日本美術と西欧のジャポニズムの動向を双方向の影響関係から論じ、「狭義の美術論集にとどまらない魅力」が評価された。授賞式は、3月1日に姫路市民会館にて行われた。

○第8回VOCA賞受賞者決定 具象、抽象の区別なく、絵画・平面系の若手作家を対象としたVOCA 2001展（同展実行委員会、財団法人日本美術協会、上野の森美術館主催）の最高賞であるVOCA賞は、押江千衣子(32)に決定した。

○第7回中村彝賞受賞者決定 60歳以上で優れた創作活動をする作家に贈られる同賞に、洋画家の須田寿(94)が選ばれ、その授賞式が、2月2日に東京、新宿中村屋でとり行われた。

○文化庁予算決まる 平成13年度の文化庁予算は、前年度比12.4%増の909億4,900万円とすることが決まった。大幅増の内訳は、「地域芸術文化活性化事業」、「ふるさと文化再興事業」、「公立文化会館活性化

事業」等の地域文化の振興等の新規事業がはじまり、さらに新国立美術展示施設（仮称）と九州国立博物館（仮称）の建設費が含まれたことによる。

3 月

○登録文化財の答申 文化審議会は、3月16日、近代建築物の保護を目的にした登録文化財制度の対象として、北海道根室市の明治公園第一、第二、第三サイロや京都市の祇園甲部歌舞練場本館など56ヶ所、159件を町村信孝文部科学大臣に答申した。

○日本芸術院賞受賞者決定 日本芸術院（犬丸直院長）は、3月22日、芸術の各分野で顕著な功績のあった人に贈る平成12年度の日本芸術院賞受賞者を決定した。恩賜賞・日本芸術院賞の第1部（美術）受賞者には、書家津金孝邦(71)（日展出品作「森鷗外の詩」に対して）、日本芸術院賞には日本画の福王寺一彦(45)（院展出品作「月の耀く夜に 三」に対して）、洋画の絹谷幸二(58)（独立展出品「蒼穹夢譚」に対して）、工芸の川尻一寛(70)（日展出品作「豊穰」に対して）が選ばれた。授賞式は、6月4日に東京・上野の日本芸術院会館にて行われた。

○芸術選奨受賞者決定 芸術の分野で昨年一年間に優れた業績をあげた人々に贈られる芸術選奨の受賞者が、3月23日文化庁より発表された。美術関係では、ファッションデザイナー川久保玲(58)（「コム デ ギャルソン」コレクション）、日本画家小島悠司(57)（「小島悠司—凝視される大地—展」）が文部科学大臣賞、また洋画家野田裕示(48)（「WORK—1316」）、美術史家坂上桂子(43)（『夢と光の画家たち—モデルニテ再考』）が文部科学大臣新人賞を受賞した。贈呈式は、27日に赤坂プリンスホテルで行われた。

○第26回木村伊兵衛賞受賞者決定 故木村伊兵衛の業績を記念して朝日新聞社が、昭和50年に創設した同賞は、長島有里枝(27)（写真集『PASTIME PARADISE』）、蜷川実花(28)（写真集『Pink Rose Suite』、『Sugar and Spice』）、HIROMIX(24、本名、利川裕美)（写真集『HIROMIX WORKS』）の3氏に決定した。授賞式を4月24日に行い、受賞写真展を同日からミノルタフォトスペース新宿等で開催した。

○第20回平櫛田中賞受賞者決定 平櫛田中の業績にちなみ優れた彫刻家を顕彰するために昭和47年に創設された同賞(岡山県井原市主催)は、三沢厚彦に決定した。授賞式は、7月26日、東京銀座、三笠会館で行われ、受賞記念展は同月、日本橋高島屋で開催された。

○奈良そごう美術館所蔵作品の寄贈 平成12年12月24日をもって、閉館した奈良そごう美術館は、3月30日運営財団の解散処理にあたり、所蔵作品である近代日本画・洋画41点を奈良県立美術館に寄贈することを決定した。

4 月

○国立博物館、美術館、文化財研究所の独立行政法人化 4月1日をもって、東京国立博物館、京都国立博物館、奈良国立博物館3館、東京国立近代美術館、国立西洋美術館、京都国立近代美術館、国立国際美術館4館、東京国立文化財研究所、奈良国立文化財研究所2所は、政府の行政改革の一貫として国の機構を離れ、独立行政法人となった。

○「国宝醍醐寺展」開催 醍醐寺(京都市伏見区)所蔵の宝物によって構成された同展が、4月3日より東京国立博物館で開催された。同展には、国宝の本尊薬師如来坐像をはじめ、仏像、仏典、屏風等、国宝11点、重要文化財75点を含む110点が出品された。

○キトラ古墳壁画調査 奈良県明日香村阿部山のキトラ古墳を調査する「キトラ古墳学術調査・整備委員会」(委員長、関義清村長)は、4月3日、調査結果を発表し、国内の古墳壁画では初めて「四神」のひとつである「朱雀」が確認された。一方、壁面の漆喰の剥落なども明らかになり、今後、早急な保存対策が求められることとなった。

○北野天満宮神宝展開催 菅原道真の没後1100年を記念した展覧会が、4月10日より京都国立博物館で開催された。国宝「北野天神縁起(承久本)」をはじめ、130余件の作品によって、平安時代から近世初期までの北野天満宮の歴史をたどる内容であった。(会期、5月13日まで、以後、名古屋市博物館、石川県立美術館を巡回。)

○国宝・重要文化財指定 文化審議会(高階秀爾会長)は、4月20日、「紺紙著色金光明最勝王經金字宝塔曼荼羅図」(岩手県平泉町、大長寿院)、「上杉家文書」(山形県米沢市立上杉博物館)、「慶長遣欧使節関係資料」(宮城県仙台市博物館)の3件を国宝に、朝倉文夫作石膏原型「墓守」(東京都台東区立朝倉彫塑館)、鈴木長吉作「銅鷲置物」(東京国立博物館)など25件を重要文化財に指定するよう、町村信孝文部科学相に答申した。

○春の褒章受章者 政府は2001年春の褒章受章者を4

月27日に発表した。美術関係の紫綬褒章受章者は、グラフィックデザイナー細谷巖(65)、陶芸作家吉田美統(68、本名、吉田稔)、染織作家森田邦彦(60)。

○「ロダンと日本」展開催 ロダンの彫刻作品、素描、及び浮世絵、工芸作品、さらにファン・ゴッホの「タンギー爺さん」など、ロダンのコレクション、約250点によって構成された展覧会が、4月28日から静岡県立美術館で開催された。日仏双方の研究者が、それぞれの専門的視点にたち、多角的にロダンの芸術と日本との関係を考察し、その成果として展覧会が開催されたものである。日本と縁のあった彫刻家ロダンの研究が、さらなる深まりを示した展覧会であった。(会期、6月10日まで。以後、愛知県美術館を巡回。)

○千葉そごう美術館、平木浮世絵美術館閉館 千葉市のそごう百貨店内の10階に設けられていた千葉そごう美術館は、運営母体であった株式会社新千葉そごうの事実上の倒産により、平成5年より活動をつづけていたが、4月22日に閉館した。また、JR横浜駅前のそごう百貨店横浜店6階を借り受け、8年間にわたり活動をつづけた平木浮世絵美術館が、同百貨店の経営再建のため、会場の明け渡しを求められたことから、4月29日をもって閉館した。

5 月

○第30回日本漫画家協会賞 5月7日に同賞の受賞者が発表された。大賞には、東海林さだお(64)「アサッテ君」、秋本治(49)「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、文部科学大臣賞はちばてつや(62)の全作品に対して贈られた。贈呈式は、6月15日に赤坂プリンスホテルで行われた。

○第5回手塚治虫文化賞 漫画家手塚治虫の業績を記念し、漫画文化の発展に寄与した作品や活動に対して贈られる同賞の受賞者が、5月12日に発表された。マンガ大賞には、岡野玲子(41)「陰陽師」(原作、夢枕獏)に決定した。贈呈式は、6月7日に帝国ホテルで行われた。

6 月

○第49回ヴェネツィア・ビエンナーレ 同ビエンナーレが、イタリア、ヴェネツィア市において、6月10日より開催された。今回の日本館コミッショナー(国際交流基金主催)は、逢坂恵理子(水戸芸術館現代美術センター)が指名され、出品作家として中村政人(38)、畠山直哉(43)、藤本由紀夫(51)の3人を選出した。(会期、11月4日まで。)

○人間国宝認定 文化審議会(高階秀爾会長)は、6月

15日に9人を重要無形文化財保持者(人間国宝)に認定するよう遠山敦子文部科学大臣に答申した。工芸技術の部では、釉裏金彩の吉田美統(68 本名、吉田稔)、土佐典具帖紙の濱田幸雄(70)、色絵磁器の十四代酒井田柿右衛門(66)、木工芸の中川清司(58)が選ばれた。これで現在の人間国宝は112人となった。

○**ジャポニズム学会賞受賞者決定** ジャポニズム研究に寄与する著作、翻訳、評論、展覧会企画等から学術性の高い優れた研究に授与される今年度の同学会賞に、隠岐由起子(52)の「ギュスターヴ・モローと仏教美術」(「ジャポニズム研究」20号)が選ばれた。

7 月

○**「天神さまの美術」展開催** 菅原道真の没後1100年を記念した展覧会が、7月10日より東京国立博物館で開催された。各種の天神縁起絵巻をはじめとして、民衆の間に浸透しながら多様化していった天神信仰にまつわる美術、工芸品約280件によって構成され、歴史的、文化的な意義を確認する内容であった。(会期、8月26日まで、以後、福岡市博物館、大阪市立美術館を巡回。)

○**第10回本郷新賞受賞者決定** 広場などの公共の空間に設置された優れた彫刻作品に贈られる同賞(札幌彫刻美術館、本郷新賞運営委員会主催)は、7月17日に澄川喜一(70)作「風門」(松江湖畔公園)に決定したと発表された。受賞を記念して「澄川喜一彫刻展」が、9月30日から11月4日まで、札幌彫刻美術館で開催された。

○**「異界万華鏡」展開催** 見えない世界に向けられた日本人の想像力の形に視点をあてた展覧会が、7月17日より国立歴史民俗博物館で開催された。内容は、「あの世とこの世」、「妖怪変化の時空」、「ウラを読む」、「異界に遊ぶ」の4部に構成され、中世から現代にいたる美術作品等が出品され、未知のものへの豊かな視覚表現が展覧された。(会期、9月2日まで。)

8 月

○**第39回朝日陶芸賞** 第39回を数える同展は、8月23日に最高賞のグランプリとともに、入賞、入選者が発表となった。588点の応募のなかから、109点の入選作が選ばれ、入賞は10点、グランプリには、亀井洋一郎(27)の「Lattice receptacle(格子構造の器物)」が選ばれた。

○**第18回渋沢・クロード賞受賞者決定** 日本とフランスに関する著作や翻訳で優れた業績を上げた研究者に贈られる同賞が、8月24日に発表された。美術関

係では、高階絵里加(37)著『異界の海—芳翠・清輝・天心における西洋』に贈られた。

9 月

○**横浜トリエンナーレ2001開催** 横浜市みなとみらい21地区を中心会場とした大規模な国際現代美術展として第1回展となる同トリエンナーレ(国際交流基金、横浜市、NHK、朝日新聞社、同トリエンナーレ組織委員会主催)が、9月2日に開催された。「メガ・ウェイブ—新たな総合に向けて」をテーマに、国内外の作家110人が出品した。(会期、11月11日まで。)

○**第13回世界文化賞受賞者決定** 世界の優れた芸術家に贈られる高松宮殿下記念世界文化賞(総裁、常陸宮殿下、日本美術協会主催)の第13回受賞者が、9月13日に発表された。美術関係では、絵画部門では造形作家の李禹煥(65 リ ウファン 韓国)、彫刻部門でマルタ・パン(78 仏)、建築部門でジャン・ヌーヴェル(56 仏)が選ばれた。

○**奈良県立万葉文化館開館** 奈良県高市郡明日香村に同会館が、9月15日に開館した。「万葉集」を中心とする古代文化に関する総合的な文化施設として、調査、研究にあたる「万葉古代学研究所」、展示施設としての「万葉ミュージアム」と「万葉庭園」、図書、情報サービスのための「万葉図書館」から構成されている。開館記念展として「万葉日本画の世界」が開催された。

○**「勅使河原蒼風」展開催** 華道草月流の家元でありながら、戦後美術、文化のなかで、多方面にわたり多彩な活動をつづけた芸術家勅使河原蒼風の生誕100年を記念する展覧会「戦後日本を駆け抜けた異色の前衛—勅使河原蒼風」展が、9月22日に世田谷美術館で開催された。(会期、11月25日まで。)彫刻、絵画、書など、現存する作品約170点と、蒼風が生前自ら選んだ美術作品とともに構成され、その戦後の復興期に、国内外の芸術家たちと交流しながら、ジャンルにとらわれない多彩な表現活動の全貌が回顧された。

○**「カラヴァッジョ」展開催** 「日本におけるイタリア2001年」を記念して企画された「カラヴァッジョ—光と影の巨匠—バロック絵画の先駆者たち」展が、9月29日に東京都庭園美術館で開催された。日伊両国政府の合意にもとづき国内各地でイタリアを紹介する事業のひとつとして実現したもので、これまで国外への出品は稀であったカラヴァッジョの「果物かごを持つ少年」など、貴重な作品が展示された。(会期、12月16日まで。以後、岡崎市美術博物館を巡回。)

10 月

- 岩手県立美術館開館** 岩手県盛岡市中央公園内に同美術館が、10月6日に開館した。施設は、二階建て、延べ床面積13,000平方メートル。岩手ゆかりの作家を中心とした近現代美術を中心に収集、展示し、特に萬鉄五郎、松本竣介、舟越保武をコレクションの中心にしている。開館記念展として、「色彩の歓び—メルツパッハー・コレクション展」が11月26日まで開かれた。
- 第32回中原悌二郎賞受賞者決定** 彫刻家中原悌二郎の業績を記念して、北海道旭川市が創設した同賞の第32回の受賞作に、広井力(76)の「海の風」、同優秀賞に西野康造(50)の「空の記憶」が選ばれた。10月6日、旭川市内で贈呈式が行われた。
- 国際交流基金賞受賞者決定** 平成13年度の国際交流基金賞が、日本画家の平山郁夫(71)とロンドン大学名誉教授のウィリアム・ジェラルド・ピーズリー(日本史研究)に決定し、授賞式がおこなわれた。平山郁夫の受賞については、長年にわたり世界各地の文化遺産の保存、修復活動に尽くし、人材育成や交流も進めた功績が評価された。
- 重要文化財指定** 文化審議会(高階秀爾会長)は、10月19日に新宿御苑旧洋館御休所、長崎県上五島町の青砂ヶ浦天主堂等8件の建造物を重要文化財に指定するよう、遠山敦子文部科学大臣に答申した。
- 聖徳太子展開催** 太子没後1380年を記念した展覧会が、10月20日より東京都美術館で開催された。内容は、太子の時代である飛鳥時代の美術、工芸品、考古資料等とその死後からつづく太子信仰に基づく美術作品約220件によって構成されていた。(会期、12月16日まで、以後、大阪市立美術館、名古屋市博物館を巡回。)
- 「ヒューマン・イメージ」展開催** 日本美術のなかで表現されてきた、多様な人間のあり方に焦点をあてた総合的な展覧会「ヒューマン・イメージわれわれは人間をどのように表現してきたのか?」が、10月23日に京都国立博物館で開催された。内容は、「人のきずな」、「恋と愛」、「なりわい」など人間の多様で、複雑なあり方を見つめた10のテーマが設けられ、約120点が出品された。(会期、11月25日まで。)
- 第13回国華賞受賞者決定** 日本及び東洋の美術をテーマにした研究論文を対象に創設された同賞(同賞顕彰基金主催)受賞者が公表された。受賞作は、井手誠之輔(東京文化財研究所)の「日本の宋元仏画」(『日本の美術』418号、至文堂)が選ばれ、また國華奨励賞には、朴亨國(名古屋大学)の『ヴァイローチャナ仏の図像学的研究』(法蔵館)が選ばれた。贈呈式は、10月25

日、東京築地の朝日新聞社浜離宮朝日小ホールで行われた。

- 群馬県立館林美術館開館** 群馬県館林市内の多々良公園内に同美術館が、10月26日に開館した。同県立美術館として2館目となる同美術館の施設は、2階建て、延べ床面積6,900平方メートル。開館記念展として「自然と人間」展が11月25日まで開催された。
 - 小田急美術館閉館** 昭和42(1967)年開館以来、百貨店の美術館として意欲的に企画展を開催しつづけた同館は、百貨店の営業効率を高める方針から、多目的の文化催事場に改修することから10月29日をもって閉館となった。
 - 文化勲章、文化功労者決定** 政府は、10月30日、平成13年度の文化勲章受章者と文化功労者を公表した。美術関係では、日本画家の守屋多々志(89)、彫刻家淀井敏夫(90)が文化勲章を受章。また、書家の成瀬映山(81)、日本画家の稗田一穂(81)が文化功労者に選ばれた。
 - 伊勢丹美術館閉館決定** 百貨店伊勢丹は、10月30日に新宿本店内に設けられていた同美術館(昭和54年開館)を、翌年3月をもって閉館すると発表した。店舗運営の効率化を図るため、折から入館者数が減少していたことから、売り場に切り替えられることになった。
- # 11 月
- 秋の褒章受章者** 政府は、11月3日に秋の褒章受章者を発令した。美術関係では、紫綬褒章に美術史家森洋子(65)、画家横尾忠則(65)、漆芸作家前史雄(61)、立体造形作家最上寿之(65)が選ばれた。
 - 第23回サントリー学芸賞受賞者決定** サントリー学芸賞(サントリー文化財団主催)の第23回目の受賞者が、11月6日に公表された。「芸術・文学部門」では、岡田暁生(神戸大学)の『オペラの運命—十九世紀を魅了した「一夜の夢」』(中央公論新社)、河合祥一郎(東京大学)の『ハムレットは太っていた!』(白水社)、田中優子の『江戸百夢—近世図像学の楽しみ』(朝日新聞社)が選ばれた。
 - 登録有形文化財** 文化審議会(高階秀爾会長)は、11月16日、新潟県糸魚川市から長野県松本市まで通じ、「塩の道」として知られた「松本街道」の一部など13件を史跡、名勝、天然記念物に、また歌舞伎座、東京文化財研究所の黒田記念館及び書庫など159件の建造物を登録有形文化財にするように遠山敦子文部科学大臣に答申した。
 - 日本芸術院新会員決定** 日本芸術院(犬丸直院長)は、11月29日、新会員を発表した。第一部(美術)では、日本画家の中路融人(68)、洋画家の網谷幸二(58)、彫

刻家の雨宮淳(64)。12月15日付で発令される。

- 文化芸術振興法成立 文化芸術振興のため長期的な施策の方向を示す基本方針の作成を国に義務づける同法が、11月30日に参議院本会議で可決し、成立した。文化芸術活動への支援拡大を目指すもので、国や地方自治体の責務を明らかにし、文化芸術振興のための法整備や税制上の優遇措置などを講じ、地域の有形、無形文化財の保護対策なども求めることを目的としている。

12 月

- 第13回倫雅美術奨励賞受賞者決定 新鋭の美術評論家や美術史家を顕彰する倫雅美術奨励賞(同基金主催)の第13回目の受賞者が決定した。「美術評論部門」では、佐々木奈美子(新潟県立近代美術館)の「ナビ派と

日本」展の企画とカタログ中の論文に対して、「美術史研究部門」では、神原正明(倉敷芸術科学大学大学院教授)の『ヒエロニムス・ボスの「快樂の園」を読む』(河出書房新社)が選ばれた。授賞式は、12月6日に赤坂プリンスホテルで行われた。

- 「時を超えて語るもの 史料と美術の名宝」展開催 東京大学史料編纂所が、明治34(1901)年に、「大日本史料」、「大日本古文書」等の基本資料集の刊行を開始してから100周年にあたることから企画された展覧会が、東京国立博物館で、12月11日から開催された。(会期、翌年1月27日まで。)史料編纂事業の過程で収集された古文書、古記録、絵図、肖像画、絵巻等の史料と、これに関連した同博物館所蔵の美術作品、約160点によって構成された展示であった。同史料編纂所の過去と現在を展示するとともに、あわせて、現在すすめられている歴史学のデジタルミュージアムの研究成果も公開された。

美術展覧会

企画展

(ア)

アーティスト・イン・レジデンスの
成果展3回 12.1—12.25 福岡
アジア美術館
アートアワード24人展 6.2—6.17
フジテレビフォーラム
産経 6.10
アート・一日小学校展 6.29—9.2
ワタリウム美術館
ドーム 58
アート・イン・パラダイス ART
IN PARADISE From Claudia
DeMonte & Ed McGowin Col-
lection 2.10—4.15 足利市立
美術館
アート!新スタイル かごしまの作
家、かかわりの世界観 10.5—
11.11 鹿児島市立美術館
ART TODAY 2001展 9.8—10.8
セゾン現代美術館
朝日夕刊 9.20 田中三蔵
アートになった動物たち展 8.4—
9.16 山梨県立美術館
日経 8.16 竹田博志
毎日 9.5
アートロジ 向島博覧会2001展
11.17—11.25 墨田区東向島・京
島・八広等
東京 11.16
アール・デコ展 6.30—7.22 伊勢
丹美術館
毎日夕刊 6.29
読売夕刊 7.4 片桐直彦
アール・ヌーヴォー展 4.21—7.8
東京都美術館
芸術新潮 618
朝日夕刊 5.24 神谷幸江
朝日夕刊 6.30 (丘)
東京夕刊 5.18 中村隆夫
読売 4.12 グリーン・ハルジュ
／前田恭二聞き手
読売夕刊 4.25—28、5.1 前田
恭二

読売夕刊 5.23 奥田元宋
読売夕刊 5.30 水谷八重子
読売夕刊 6.6 里中満智子
読売夕刊 6.11 高階秀爾
読売夕刊 6.13 大林宣彦
アール・ヌーヴォーガラス名品展
北澤美術館所蔵 8.30—9.11 大
丸ミュージアム・東京
毎日 8.29
藍しぼり染め 6.24—7.15 秋田県
立博物館
アウトサイダーアート展11回
6.20—7.29 資生堂ギャラリー
新美術新聞 929 西村彰
赤羽刀 接収刀剣類 4.24—7.22
鹿児島県歴史資料センター黎明館
阿久遺跡と縄文人の世界 7.20—
9.2 長野県立歴史館
憧れの山々展 山を愛し、山を描く
8.4—9.24 町田市立国際版画美
術館
毎日 9.18 沢田猛
毎日夕刊 8.13
アジアINコミック展 1.13—2.10
国際交流基金フォーラム
朝日夕刊 1.27 (三)
日経 1.18
亜細亜散歩展 8.10—10.21 水戸
芸術館現代美術ギャラリー／資生
堂ギャラリー
朝日夕刊 9.13 神谷幸江
朝日夕刊 10.4 大西若人
産経夕刊 8.26 新川貴詩
日経 8.26
アジアの漆芸—螺鈿の輝き—
7.6—9.2 石川県輪島漆芸美術館
アジアの世紀のはじまりに展
8.21—9.2 海岸通ギャラリー・
CASO／ギャラリー風(大阪)
美術手帖 812 原久子
アジア美術との出会い—アジア美術
の「伝統」と「今」から見える二十一
世紀へのメッセージ— 10.24—
11.18 滋賀県立近代美術館
飛鳥のイメージ 10.16—12.2 奈
良文化財研究所飛鳥資料館

あの世の情景〜描かれた地獄と極
楽〜展 12.1—1.6 板橋区立美
術館
芸術新潮 627
新美術新聞 947 佐々木英理子
朝日夕刊 12.13 神谷幸江
朝日夕刊 12.15 (三)
読売夕刊 12.27 (前)
アフガニスタン遺跡写真展 8.17—
8.26 東京都写真美術館
朝日夕刊 8.25 (三)
アフリカン・イマジネーション 秋
の特別展 11.10—12.8 昭和女
子大学光葉博物館
雨引の里と彫刻展4回 3.25—5.27
茨城県真壁郡大和村大国玉
産経 4.15 渋谷和彦
日経 5.16 宝玉正彦
毎日夕刊 5.11 三田晴夫
編む 組む—技の考古学 7.19—
9.24 地底の森ミュージアム
アメリカン・ヒロイズム 8.7—
10.14 国立西洋美術館
有田の名宝展 7.19—10.14 佐賀
県立九州陶磁文化館
アルカンシェール美術財団蔵 御殿
山 原コレクション展 6.1—
6.27 MOA美術館
あるコレクターがみた戦後日本美術
9.15—10.28 群馬県立近代美術
館
阿波の名所と行楽 9.8—10.8 徳
島市立徳島城博物館
アンデスの布展 4.6—9.30 美術
館as it is
芸術新潮 621

(イ)

ex—展 3.1—4.15 資生堂ギャラ
リー
芸術新潮 616
朝日 3.4
産経 3.11 渋谷和彦
毎日 3.7 宮本扶未子
読売夕刊 3.9 (菅)
井伊家伝来の茶道具—茶の湯釜—

平成13年美術展覧会(企イ)

3.9—4.9 彦根城博物館
井伊家伝来能装束から8—法被と側次— 7.15—8.21 彦根城博物館
井伊家伝来能面から5—霊の面— 9.21—10.23 彦根城博物館
井伊家伝来書跡から—和歌の書— 11.30—12.22 彦根城博物館
Each Artist, Each Moment 2001 展 4.2—5.12 ギャラリーGAN 東京夕刊 4.6 草薙奈津子
異界万華鏡—あの世・妖怪・占い— 7.17—9.2 国立歴史民俗博物館
池守田中家文書—近世狭山池の歴史群像 3.28—5.27 大阪府立狭山池博物館
異国絵の冒険 近世日本に見る情報と幻想展 9.15—10.21 神戸市立博物館
芸術新潮 622
異国を観る 4.4—7.6 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
イスタンブールピエンナーレ東京：エゴフーガル展 10.6—12.24 東京オペラシティアートギャラリー
朝日夕刊 11.1 神谷幸江
朝日夕刊 12.6 大西若人
和泉黄金塚古墳とその時代展—古墳と首長居館のすがた— 10.6—12.12 和泉市いずみの国歴史館
イスラエル美術の近代展 2.3—3.25 神奈川県立近代美術館
美術手帖 803 編集部文／安斎重男写真
朝日夕刊 3.8 田中三蔵
産経 2.18 渋谷和彦
東京夕刊 3.8 小池一子
毎日夕刊 3.6 三田晴夫
読売夕刊 2.1 水沢勉
イスラエル美術の現在展 1.20—3.20 埼玉県立近代美術館
美術手帖 803 編集部文／安斎重男写真
朝日夕刊 3.8 田中三蔵
産経 2.18 渋谷和彦
東京夕刊 3.8 小池一子
毎日夕刊 3.6 三田晴夫
読売夕刊 2.1 水沢勉
遺跡を探る 5.15—7.1 奈良文化財研究所飛鳥資料館

板橋区伝統工芸展4回 木彫り・糸綾・染め模様 4.21—6.24 板橋区立郷土資料館
イタリア 科学とテクノロジーの世界展—ダ・ヴィンチ、ガリレオとその後継者たち 7.14—9.2 国立科学博物館
日経夕刊 8.1 中村雅美
イタリア静物画展 4.28—5.26 安田火災東郷青児美術館
朝日夕刊 5.19 (三)
イタリア彫刻の20世紀展 4.21—6.10 横浜美術館
イタリアと日本 生活のデザイン展 7.28—8.23 パシフィコ横浜
日経 7.5
日経夕刊 8.8 竹田博志
日経夕刊 8.8 伊東豊雄
イタリア・ルネッサンス 宮廷と都市の文化展 3.20—7.8 国立西洋美術館
朝日夕刊 4.12 神谷幸江
朝日夕刊 6.5 高階秀爾
産経夕刊 5.6 渋谷和彦
東京 6.21
日経 2.28 坂本憲一
日経 3.27 中山忠彦
日経 3.29
日経夕刊 3.28 木崎さと子
日経夕刊 3.29 後藤康男
日経夕刊 3.31 八代亜紀
日経夕刊 4.20 森田義之
日経夕刊 4.20 福田美蘭
日経夕刊 5.16 隠岐由紀子
日経夕刊 6.23 深井晃子
読売夕刊 6.20
出光コレクションの茶陶 9.8—12.9 出光美術館(門司)
出光コレクションの名品 中国・古代土器のかたち展 4.7—5.13 出光美術館
伊藤圭介と尾張本草 名古屋で生まれた近代植物学の父 9.15—10.14 名古屋博物館
伊都国王都・三雲遺跡展 10.23—12.2 伊都歴史資料館
伊能図里帰展 10.2—11.4 伊能忠敬記念館
祈りと装いの「ぬの」展 7.24—9.16 渋谷区立松濤美術館

東京夕刊 8.28、30 小笠原小枝
今よみがえる、泰西名画展覧会 9.15—11.4 郡山市立美術館
芸術新潮 623
朝日夕刊 10.25 田中三蔵
日経 10.18 宝玉正彦
イメージの首飾り 現代イタリア美術にみる家族、政治、信仰のかたち展 4.20—7.1 原美術館
美術手帖 808 嘉藤笑子
朝日 5.10 神谷幸江
読売夕刊 6.28 (菅)
いろとかたちの物語り 東洋の美術—珠玉の名品を一堂に 6.2—6.24 大阪市立美術館
色と人をめぐる文化誌—『いろ・COLORな話』第一室— 11.3—12.2 港区立港郷土資料館
色の博物誌・緑—豊潤な影展 8.4—9.19 目黒区美術館
ピリエ 18 降旗千賀子
朝日夕刊 9.1 (三)
東京夕刊 8.10 草薙奈津子
日経 8.22 宝玉正彦
毎日夕刊 9.11
色の民俗誌—暮らしのなかの色— 1.20—2.25 富岡市立博物館・福沢一郎記念美術館
岩倉使節団 日独交流史展—横浜から世界へ 1.20—2.12 神奈川県立歴史博物館
岩佐又兵衛—華麗なる絵巻の世界 浄瑠璃物語絵巻展 8.31—9.26 MOA美術館
岩手の現代作家シリーズ8 畠山孝一・五十嵐彰・近藤克・本田健展 1.27—3.20 萬鉄五郎記念美術館
インタラクティブ01—拡張するイメージとの対話展 10.26—11.4 ソフトピアジャパンセンター(岐阜)
美術手帖 812 森山朋絵
インドネシア・スラウェシ島に渡った三彩 高趾焼展 本多弘氏コレクションによる 1.5—3.25 福岡市美術館
インドネシアの民族資料と中国硯—館収蔵品展 10.1—6.28 昭和女子大学光葉博物館

(ウ)

ヴァイブレーション—結びあう知覚
展 7.29—9.24 宇都宮美術館
朝日夕刊 9.13 田中三蔵
毎日夕刊 8.7 三田晴夫
読売夕刊 8.9 (管)

ウィーン、生活と美術 1873—1938
展 3.3—4.22 府中市美術館
美術手帖 806 海野弘
朝日夕刊 3.21 神谷幸江
朝日夕刊 4.7 (盛)

ウィーン分離派1898—1918展
11.3—12.24 宮城県美術館

ウイメンズアート 越境する女たち
展 1.17—1.28 ヒルサイド
フォーラム
etc. 29 園江光太郎

上杉家の至宝 9.29—11.4 米沢市
立上杉博物館

上杉家文書を知る 12.8—12.28
米沢市立上杉博物館

ヴェネツィア絵画展 華麗なる18世
紀イタリア 3.24—5.27 上野の
森美術館
芸術新潮 616
朝日夕刊 5.19 (三)
産経 1.3、14 渋谷和彦
産経 3.22、4.11、13、14、17、
18 石鍋真澄
産経 3.28 赤松哲彦
産経 4.22 遠山公一
産経夕刊 5.6 渋谷和彦
東京夕刊 3.30 中村隆夫

うきしずみ20世紀—紙とインクで百
年間—展 7.3—12.2 中野区立
歴史民俗資料館

浮世絵にみる自然とくらし—房総地
方を中心として— 12.8—2.3
千葉県立美術館／千葉県立中央博
物館

浮世絵に見る落語 笑いの中のたば
こ文化展 11.3—12.9 たばこと
塩の博物館
芸術新潮 625

浮世絵 美の極致 初公開 スイ
ス・パウアーコレクション
1.4—2.4 千葉市美術館

浮世絵名品展 8.7—9.24 千葉市
美術館

毎日夕刊 8.17

動かし、遊ぶからくり人形展—あそ
んで体験、江戸ロボット技術—
8.4—9.2 香川県歴史博物館

氏家浮世絵コレクション 4.26—
5.27 鎌倉国宝館

うすはたの会—織物の技と美を求め
て展 5.16—5.23 和光ホール
東京 5.15

宴の酒器 4.20—6.19 石川県輪島
漆芸美術館

歌麿と北斎 その芸術を支えた琳
派・漢画系の絵師 11.3—12.20
太田記念美術館

宇宙の旅—SPACE ODYSSEY展
2.10—5.6 水戸芸術館現代美術
ギャラリー
芸術新潮 616
美術手帖 805 永瀬唯
朝日夕刊 2.21 神谷幸江
朝日夕刊 4.12 田中三蔵
日経 3.4 中川倫一

馬づくし 12.19—1.27 香川県歴
史博物館

馬へのオマージュ展 12.4—2.24
東京都写真美術館
芸術新潮 626

海と川と湖と—描かれた水辺の
人々— 6.19—7.29 サントリー
美術館

海の考古学 4.22—5.28 神戸市立
博物館

漆で祝うお正月 1.1—1.29 石川
県輪島漆芸美術館

雲谷等益展 寛永期の雪舟流
12.18—1.27 山口県立美術館
芸術新潮 626

(エ)

永遠へのまなざし ART for the
SPIRIT 10.31—12.2 北海道立
近代美術館

絵面観測方展 3.3—4.8 目黒区美
術館
日経 3.23 宝玉正彦

描かれた街道—国芳・広重の中山
道— 2.24—3.31 岐阜県博物館

描かれた東海道 9.4—10.28 大津
市歴史博物館

描かれた東海道 10.16—11.25 静

平成13年美術展覧会(企ウ、エ)

岡県立美術館

描かれた人々—大阪城天守閣収蔵肖
像画展— 3.17—5.6 大阪城天
守閣

EXTENSION/MAXI GRAPHICA展
11.27—12.9 京都市美術館別館
版画芸術 113 編集部

江戸時代芸術の科学と自然
10.19—11.18 広島県立歴史博物
館

江戸時代の甲冑—復古調— 6.8—
7.8 彦根城博物館

江戸時代の高宮—在郷町の歴史—
8.24—9.18 彦根城博物館

江戸時代のスポーツ—競う！
9.28—11.4 仙台市博物館

江戸時代の東海道—描かれた街道の
姿と賑わい 9.15—10.21 神奈
川県立歴史博物館

江戸・東京の四季菜—商品作物・漬
物の生産と板橋 10.13—12.2
板橋区立郷土資料館

江戸の異国趣味—南蘋風大流行—
10.30—12.9 千葉市美術館
芸術新潮 624
朝日夕刊 12.1 (三)

江戸の魚類図鑑—衆鱗図の世界—
7.5—9.2 香川県歴史博物館

江戸の出版仕掛け人 Part 3 天
保の改革と浮世絵 9.15—10.21
たばこと塩の博物館

江戸の植物図鑑—『衆芳画譜』『写生
画帖』の世界— 4.11—5.20 香
川県歴史博物館

江戸の旅「東海道と木曾街道」常設
展示 5.8—6.17 島根県立美術
館

江戸の美術(南画・浮世絵)
11.13—12.9 大分県立芸術会館

江戸の不思議—奇想の美と粋の光
芒— 8.1—10.27 大倉集古館

「江戸を咲かす」伝統の朝顔 8.7—
9.9 国立歴史民俗博物館

絵馬 4.28—6.17 秋田県立博物館

絵巻・墨跡と李朝の陶芸 館蔵 秋
の優品展 9.8—10.28 五島美術
館

絵巻を創る—絵師の目で見える源氏物
語のおもしろさ— 2.25—3.20
斎宮歴史博物館

エルミタージュ美術館名品展
7.6—9.5 新潟県立近代美術館
日経 7.11 竹田博志
役行者と修験道の世界展 9.11—
10.17 東武美術館
美術史 150 田邊三郎助

(オ)

王家の肖像—明治皇室アルバムのはまり—展 4.28—6.3 神奈川県立歴史博物館
芸術新潮 617
黄金期フランドル絵画の巨匠たち展
4.19—5.20 伊勢丹美術館
読売夕刊 4.12
黄金の輝き 10.6—11.25 山梨県立考古博物館
近江東海道400年記念 五十三次の魅力 7.28—9.2 大津市歴史博物館
近江の街道展 10.1—11.4 栗東歴史民俗博物館
近江の画人—紀樸亭— 10.30—11.25 大津市歴史博物館
近江の彫刻 肖像 11.10—12.9 栗東歴史民俗博物館
近江の天部形像 1.4—2.18 滋賀県立琵琶湖文化館
近江発掘創世記—湖西線・長浜バイパス関連遺跡— 1.20—4.8 滋賀県立安土城考古博物館
大阪城の歴史 10.6—12.2 大阪城天守閣
大阪市立近代美術館【仮称】コレクション展2001 2.24—3.25 ATCミュージアム
大阪・西宮・芦屋・神戸 四都市を巡る 名所を描く 10.6—11.18 西宮市大谷記念美術館
オーストラリア・アボリジニの美術展 11.10—12.16 いわき市立美術館
日経夕刊 11.5
大友府内—よみがえる中世国際都市— 8.23—10.6 大分県立先哲史料館
岡寺の歴史と美術 9.18—10.8 奈良国立博物館
漢詩人 岡本黄石の生涯 11.1—11.30 世田谷区立郷土資料館

お鯉さんと阿波おどり展 7.20—8.26 徳島城博物館
オコナイの源流をさぐる 仏教悔過の世界 10.26—12.2 市立長浜城歴史博物館
帯鉤—中国古代の装身具—江川コレクション受贈記念 10.2—11.25 和泉市久保惣記念美術館
おひなさま展 2.10—3.11 中野区立歴史民俗資料館
オブ・トランス!展 6.16—7.29 KPOキリンプラザ大阪
美術手帖 808 東谷隆司
お水取り 2.20—3.18 奈良国立博物館
汚名—アルフレッド・ヒッチコックと現代美術展 4.4—6.17 東京オペラシティアートギャラリー
美術手帖 803 丹生谷貴志
朝日 3.19 帯金章郎
朝日夕刊 4.19 神谷幸江
朝日夕刊 6.2 (盛)
読売 4.12
おもしろ郷土玩具—あそび体感・博物館のおもちゃ箱 7.20—9.2 群馬県立歴史博物館
おもしろ収蔵品展 11.23—1.20 仙台市博物館
親と子のギャラリー 絵巻にしたしむ 4.24—5.27 奈良国立博物館
オリエント絨毯 3.13—6.10 白鶴美術館
オリエント絨毯 秋季展 9.8—12.2 白鶴美術館
織—絹の美と技— 7.20—8.28 茨城県天心記念五浦美術館
尾張徳川家の雛まつり 2.3—4.8 徳川美術館
尾張徳川家歴代展 7.15—7.25 思文閣名古屋店
女の70年代 1969—1986 パルコボスター展 6.26—7.18 東京都写真美術館
朝日夕刊 7.7 (丘)

(カ)

貝アート展2001 12.18—12.22 銀座ラ・ボエラ
毎日 12.5 山縣章子
絵画の流れ展8回 やわらかな結晶

三重県立津西高等学校 7.11—7.15 三重県立美術館県民ギャラリー
絵画の領域展 Chiba Art Now'01 11.11—12.16 佐倉市立美術館
朝日夕刊 12.8 (若)
毎日夕刊 11.27 三田晴夫
読売夕刊 12.13 (菅)
絵画への招待—人・街・宇宙展 1.20—2.18 徳山市美術博物館
絵画名品展—屏風絵を中心に— 4.5—5.13 大和文華館
街道—越中を歩き交う人々— 2.24—4.15 富山市郷土博物館
改流—江戸時代の大和川付替工事— 10.3—12.9 柏原市立歴史資料館
顔がついた土器—縄文時代の人面土器を中心に— 6.3—7.15 大田区立郷土博物館
顔と人体 8.9—9.9 大分県立芸術会館
香りのデザイン展 女性をめぐる生活史と香水文化 10.7—12.16 宇都宮美術館
鏡と鐺 12.4—3.8 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館
香川の名宝展—国宝誕生100年記念— 10.20—11.18 香川県歴史博物館
国宝 燕子花図—近世装飾画の名品— 4.27—5.20 根津美術館
画狂人北斎 10.27—11.26 佐野美術館
学展51回 8.6—8.11 東京都美術館
毎日 8.6
拡張する絵画—色彩による試み展 2.4—3.4 佐倉市立美術館
埼玉の名宝シリーズ3 神楽の風景 10.13—11.25 埼玉県立博物館
かざられたきもの—寛文小袖—展 2.10—3.18 平塚市美術館
かざりとかたち 平成13年度 国立博物館・美術館巡回展 10.6—11.4 鹿児島県歴史資料センター黎明館
かざりの魅力—黄金の雅 9.21—12.16 万野美術館
柏原の道しるべ 4.21—6.3 柏原市立歴史資料館

語りのしかけ 展示の空間と手法展
7.20—11.28 世田谷美術館
ドーム 59
朝日 11.26
常設展示 花鳥・動物画を中心に
4.24—7.22 島根県立美術館
門出のセレモニー—婚礼・葬送の習俗— 7.17—8.26 徳島県立博物館
かながわアートビジュアル2001展
2.24—3.25 神奈川県民ホール
ギャラリー
東京 3.16 中村隆夫
神奈川国際版画トリエンナーレ展 2
回 10.20—11.25 神奈川県民
ホールギャラリー
新美術新聞 943 針生一郎
神々たちの宴 江戸時代の信仰と美術
4.21—5.20 黒川古文化研究所
神さまのいる風景 7.20—9.11 東北歴史博物館
甕棺が大きくなる 10.11—12.2
佐賀県立博物館
亀山領内の東海道絵図—江戸幕府による
五街道分間絵図作成事業の足跡—
10.1—12.3 亀山市歴史博物館
蒲生氏の家臣団—移行期の支配と村落—
2001年度 歴史資料展
10.6—11.25 福島県歴史資料館
韓国より渡り来て—古代国家の形成
と渡来人— 4.22—6.3 滋賀県
立安土城考古博物館
ガラス工芸—歴史から未来へ—
10.27—12.9 岡山市立オリエン
ト美術館
ガラスの魅力展 21世紀を造形する
アーティストたち 2.17—3.25
姫路市立美術館
ガラス・古布展 9.21—9.30 ギャ
ラリーゆうど
毎日 9.21
烏山町内の遺跡 4.25—5.20 栃木
県立なす風土記の丘資料館
ガラスをめぐる4つのアプローチ展
8.7—9.24 サントリー美術館
日経 8.31 竹田博志
革工芸の美 11.17—12.16 徳川美
術館

河内国分寺と国分尼寺 7.21—9.2
柏原市立歴史資料館
川の生活史 4.28—6.3 野洲町立
歴史民俗資料館
瓦からみた藤原宮と地方豪族
11.28—2.3 香川県歴史博物館
環濠をもつムラ・飛鳥山遺跡
4.21—6.24 北区飛鳥山博物館
GANJIN—鑑真和上と世界の写真家
展 1.10—1.15 松坂屋(銀座)
芸術新潮 613
日経 1.5
国宝 鑑真和上展 唐招提寺金堂平
成大修理記念 1.27—3.25 東京
都美術館
顔真卿展 10.30—12.16 書道博物
館
美術の窓 219 鍋島稲子
館蔵品百撰展 2.6—3.18 町田市
立博物館
館蔵品による茶器と掛物展
11.23—2.17 出光美術館
館蔵名刀展 古刀と新刀の名品
2.24—3.25 五島美術館
館蔵名品展2001 3.7—4.17 石川
県輪島漆芸美術館

(キ)

紀州浮世絵づくし 7.20—8.26 和
歌山市立博物館
季節の彩り・四季のあしらい 収蔵
資料展 11.25—12.8 兵庫県立
歴史博物館
木曾路の名所・図会—田中コレク
ション「木曾海道六拾九次之内」を
中心に— 9.21—11.25 中山道
広重美術館
鍛えられた美—刀剣・鎧・装身具—
3.11—4.15 林原美術館
北九州ビエンナーレ6回 こののは
じまり 3.3—3.25 北九州市立
美術館
北日本茶会創立四十周年記念 茶の
美展 肥後細川家伝来・永青文庫
の名品 5.25—6.24 富山県水墨
画美術館
吉祥のデザイン—鶴— 1.1—1.30
彦根城博物館
キッズ・アート・ワールド あおも
り2001展 7.13—7.24 青森県立

平成13年美術展覧会(企力、キ)

郷土館ほか
朝日 7.25
キッズ・サイズ・デザイン展 子供
たちの〈もの〉と〈心〉の世界
7.14—9.2 サントリーミュージ
アム[天保山]
芸術新潮 625
着て見て遊ぶ 公家文化に見る子ど
も 10.27—12.9 龍野市立歴史
文化資料館
木との語らい展 6.4—11.22 聖路
加国際病院内
新美術新聞 931 常盤茂
きのくにの文化財2001 4.28—5.27
和歌山県立博物館
ギャラリーK推薦作家展2001・6
人・60日[栗原一成/高島大理/
小林雅子/岡田晃典/小島昇/弘
田一成] 1.22—3.24 ギャラ
リイK
九州の陶磁 10.30—12.27 福岡市
美術館
宮中の調度—棚と棚飾り展 9.29—
12.9 宮内庁三の丸尚蔵館
産経 10.11 上野嘉之
キュリアス・ジョージ展 8.14—
8.26 三越(日本橋)
毎日 8.8 宮本扶未子
京都画壇11人の巨匠たち展 文化勲
章に輝く 9.12—9.24 高島屋
(京都)グランドホール/大丸
ミュージアムKYOTO
京都画壇の精鋭展—竹内栖鳳とその
門下— 9.1—10.21 講談社野間
記念館
読売夕刊 10.3 豊田和平
京都市美術館コレクション展 第2
期 5.26—8.5 京都市美術館
新美術新聞 931 後藤結美子
京都の工芸 1945—2000 8.28—
10.21 京都国立近代美術館
京橋界限'01展 7.2—7.19 京橋周
辺の画廊
毎日夕刊 6.26
国宝 漁村夕照図・鶺鴒図—東山御物
と唐絵の世界—開館60周年記念名
品展 第二部 5.25—6.24 根津
美術館

キヨッソーネ東洋美術館所蔵 浮世
絵展 9.22—11.4 兵庫県立歴史
博物館
漁撈絵一有明と玄海— 12.4—
1.14 佐賀県立博物館
キリンアートアワード2001受賞作品
展 10.9—11.10 キリンビール
新川本社
朝日夕刊 10.13 (若)
木をうがつ 穴をあける道具の歴史
10.10—12.9 竹中大工道具館
金銀糸 2.3—3.20 城陽市歴史民
俗資料館
近世絵画の草花 4.7—5.27 三井
文庫
キンゼイコレクション現代根付展
手の中の森羅万象 世界の匠たち
8.7—9.24 千葉市美術館
近世前期の文学—小説を中心に—
10.1—11.16 国文学研究資料館
近世土佐の美術 11.18—1.13 高
知県立美術館
近世ヨーロッパ絵画の軌跡
10.20—12.2 平塚市美術館
近代漁業のパイオニア—関澤明清と
房総の漁業—展 1.27—3.11 千
葉県立安房博物館
近代彫刻—オブジェの時代展
2.10—3.31 横浜美術館
毎日夕刊 1.19
近代日本美術史・再読展 開館50周
年記念 9.11—1.27 神奈川県立
近代美術館
東京夕刊 9.21 草薙奈津子
近代の京都画壇 シアトル美術館か
らの里帰り 10.27—11.25 姫路
市立美術館
近代の日本画 初公開作品を中心に
1.16—2.18 三井文庫別館
金とモノクロームの世界展 6.1—
7.27 大倉集古館
朝日夕刊 6.28 神谷幸江
近年の収蔵資料から 4.17—5.13
大分県立芸術会館
近美展28回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 221 高山淳
勤労者美術展54回 12.3—12.9 東
京都美術館
毎日 12.4 宮本扶未子

(ク)

偶然の振れ幅展 7.20—8.26 川崎
市市民ミュージアム
朝日夕刊 8.9 神谷幸江
毎日夕刊 8.17 中村敬治
櫛かんざしの美展 12.25—1.14
三越(日本橋)
読売 12.24 板東玲子
口と足で描いた世界の絵画展
11.15—11.18 三省堂新宿ホール
毎日 11.14 長谷川豊
くにはな 国華 上野国分寺をめ
ぐるモノと人 2.21—4.9 かみ
つけの里博物館
国芳 高木繁浮世絵コレクション
4.21—5.20 名古屋市博物館
久宝寺寺内町と戦国社会 10.13—
11.25 八尾市立歴史民俗資料館
暮らしにいきづきはたおり 3.24—
5.13 土浦市立博物館
暮らしに美術を展 5.19—7.1 世
田谷美術館
朝日夕刊 6.7 神谷幸江
暮らしのなかの神々—文京の民間信
仰— 1.27—3.11 文京ふるさと
歴史館
くらしの中の看板—デザイン・PR
の知恵と商いの歴史— 2.9—
3.24 茨城県立歴史館
くらしをいろどる展 7.20—9.9
東京国立近代美術館工芸館
読売夕刊 8.29 一条彰子
クリツィア・ムービング・シェーブ
ス展 11.20—12.24 東京都現代
美術館
東京 12.8 草薙奈津子
グループ・ホリゾン21展 4.2—
4.28 ギャラリー白石
東京夕刊 4.6 草薙奈津子
グローバル・ヴィジョン展 4.28—
6.3 東京都現代美術館
読売夕刊 5.17 (菅)
群馬青年ビエンナーレ'01展
7.20—9.2 群馬県立近代美術館
毎日夕刊 8.14 三田晴夫
グンマはクルマから始まった—なぞ
解き「群馬」の名の由来—
10.28—12.24 かみつけの里博物
館

(ケ)

形象展5回 3.15—3.27 香染美術
画廊
源氏絵—土佐光吉の絵画— 3.1—
3.31 和泉市久保惣記念美術館
源氏・北条・そして足利 10.13—
10.28 足利市立美術館
特別展示 [国宝]源氏物語絵巻
4.28—5.6 五島美術館
国宝 源氏物語絵巻 柏木(三)・竹
河(一) 11.17—11.25 徳川美術
館
現水展40回 10.5—10.14 東京都
美術館
美術の窓 219 高山淳/刃刀知
子
現創展27回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 221 刃刀知子
現代写真の動向2001展 11.3—
12.24 川崎市市民ミュージアム
朝日夕刊 11.29 神谷幸江
毎日夕刊 11.16
読売夕刊 12.12 (前)
現代書道二十人展45回 1.2—1.9
松坂屋(上野)
朝日夕刊 12.28
現代陶芸の精鋭展 4.28—6.17 茨
城県陶芸美術館
朝日夕刊 6.9 (治)
毎日夕刊 4.20
現代日本彫刻展19回 7.12—11.11
山口県宇部市常盤公園内/宇部市
野外彫刻美術館
毎日 7.22 米本浩二
現代の布—染と織の造形思考—展
9.22—11.18 東京国立近代美術
館工芸館
目の眼 303 今井陽子
東京夕刊 10.31 鳥居美砂
現代美術2001 NAGOYA展
10.26—11.11 名古屋市民ギャラ
リー矢田
美術手帖 814 原田真千子
(現代美術へのいざない)アフター・
イメージ—残像— 12.20—2.3
国立国際美術館
繕の歴史と文化 5.26—6.24 栗東
歴史民俗博物館

(コ)

小石川と本郷の米物語—商う・作る・食べる— 10.13—11.25 文京ふるさと歴史館
古伊万里のすべて—決定版・古伊万里入門— 4.14—5.20 神戸市立博物館
古伊万里のすべて 6.9—7.22 香川県歴史博物館
光悦・仁清・乾山と伝統の美 3.13—9.2 光記念館
光格天皇と幻の将軍 9.11—10.21 栃木県立博物館
館蔵 香合 茶席の小さな玉手箱 3.24—4.22 根津美術館
香水瓶 古代～現代 9.11—10.21 町田市立博物館
高台寺蒔絵と南蛮漆器 1.4—2.12 京都国立博物館
紅茶とヨーロッパ陶磁の流れ マイセン、セーヴルから現代のティー・セットまで 3.30—7.22 名古屋ポストン美術館
国宝紅白梅図屏風と所蔵琳派展 2.2—3.7 MOA美術館
幸福の場所を探して展 1.18—4.22 ワタリウム美術館
朝日夕刊 2.28 神谷幸江
産経 3.18
弘法大師空海と高野山の秘宝展 9.29—11.4 そごう美術館(横浜)
高野山桜池院・成慶院展 4.1—7.17 高野山霊宝館
高野山の国宝—壇上伽藍と奥の院— 9.1—10.4 高野山霊宝館
コーポレート・アート展 11.10—12.24 Bunkamuraザ・ミュージアム
朝日夕刊 11.7 千足伸行
読売夕刊 12.12 宮沢政男
国宝 粉河寺縁起絵巻 10.6—10.21 和歌山県立博物館
国画展32回 12.2—12.9 東京都美術館
美術の窓 221 高山淳
国際ガラス展・金沢2001 10.11—10.16 金沢・香林坊大和8階ホール
新美術新聞 938 武田厚

国際コンテンポラリーアートフェスティバル NICAF2001 7回 3.28—4.1 東京国際フォーラム
展示ホール
版画芸術 111 編集部
産経 3.25
読売夕刊 4.10 高野清見
国分寺の瓦を楽しむ—主田コレクションの世界— 4.17—5.13 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
極楽浄土の世界 浄土教の美術 10.19—11.25 八代市立博物館
未来の森ミュージアム
国立公文書館創立30周年記念 貴重資料展 5.12—6.10 国立公文書館
九つの音色展 6.26—7.2 三越(日本橋)
毎日夕刊 6.22
ココロの形 カタチの心 4.14—5.27 新潟県立近代美術館
こころの交流 朝鮮通信使 江戸時代から21世紀へのメッセージ 4.28—6.3 京都府京都文化博物館
個人美術館散歩—7人の洋画家—展 4.13—5.20 稲沢市荻須記念美術館
古代ガラスの技と美展 7.14—9.2 古代オリエント博物館
読売夕刊 7.24
古代からのおくりもの—鹿大に眠る遺跡— 10.29—11.28 鹿児島大学総合研究博物館
古代国家の始まり—近江野洲の王たち— 10.6—11.11 野洲町立歴史民俗資料館
古代の器 7.20—9.30 春日市奴国の丘歴史資料館
古代の技術を考える ガラスのささやき—古代出雲のガラスを中心に— 9.21—11.11 島根県立八雲立つ風土記の丘資料館
古代の土木技術 10.2—12.2 大阪府立狭山池博物館
古地図と版元 4.14—5.20 神戸市立博物館
国境なき医師団日本写真展 野宿する人 11.23—1.27 東京写真文化館

平成13年美術展覧会(企コ、サ)

芸術新潮 626 丹尾安典
子どもたちの100の言葉展 4.28—6.24 ワタリウム美術館
ドーム 58
美術手帖 810 佐藤学
読売 5.5
近衛家熙—風雅の探求 7.7—9.9 宮内庁三の丸尚蔵館
古美術品からみた亀山 4.7—5.28 亀山市歴史博物館
古筆手鑑と画帖の名品 近世日本のアート・アルバム 10.9—11.18 サントリー美術館
芸術新潮 624
古墳からのメッセージ 横浜の古墳と副葬品 1.27—3.11 横浜市歴史博物館
古墳発掘 安芸国のルーツをさぐる 11.18—12.2 アステールプラザ
市民ギャラリー
齢展32回 5.31—6.10 東京都美術館
美術の窓 215 高山淳
米作り・麦作り 12.15—2.3 栗東歴史民俗博物館
小山敬三美術賞受賞作家展 1.25—1.31 プリヂストン美術館
新美術新聞 915 富山秀男
是川中居遺跡の漆塗り土器 6.1—10.30 八戸市博物館
コレクターの眼 中村コレクション展1回 7.7—8.26 北御牧村立梅野記念絵画館
産経 8.19 渋谷和彦
今日の作家展2001 アーティキュレート・ヴォイス—新しい“イメージ”の可能性 9.1—9.24 横浜市民ギャラリー
美術手帖 812 西村智弘

(サ)

雑賀重良旧蔵歌書3 1.6—3.18 名古屋市蓬左文庫
雑賀重良旧蔵歌書 7.14—9.16 名古屋市蓬左文庫
館蔵品による 重文 西行物語絵巻 9.15—10.21 出光美術館(大阪)
斎王の読んだ物語—王朝の姫君 教育事情— 10.14—12.2 斎宮歴史博物館

平成13年美術展覧会(企サ、シ)

西条藩松平家の雛飾り 2.24—4.8
愛媛県歴史文化博物館
西大寺 興正菩薩観尊 1201—90
民衆を救った生き仏 12.1—
12.24 奈良国立博物館
さいたま出土品展 1.21—2.18 埼
玉県立博物館
彩の国埼玉 発掘調査速報展
7.20—9.2 埼玉県立博物館
再発見! 岡崎の文化財 9.29—
10.28 岡崎市美術博物館
サインとはんこのヒストリー 一関
藩主田村氏の花押と印章から
4.28—6.3 一関市博物館
堺発掘物語—古墳と遺跡から見た堺
の歴史— 10.5—12.9 堺市博物
館
琳派展Ⅳ「風流公子 酒井抱一展—
京と江戸のかけ橋—」 9.7—
12.16 細見美術館
榊原氏ゆかり四市交流美術展 郷土
ゆかりの芸術家 11.1—12.2 館
林市立資料館
坂本龍馬—龍馬をとりまく人びと—
8.1—9.2 京都国立博物館
桜・さくら・サクラ展 3.16—5.6
山種美術館
読売夕刊 4.18 浜中真治
桜の美 4.13—5.8 彦根城博物館
桜をめぐる情景展 明治・大正・昭
和 4.3—4.29 星野画廊
鎖国と藩室貿易—宝島一件と薩摩藩
の海商— 8.1—10.28 鹿児島県
歴史資料センター黎明館
サマー・イン・ザ・シティ展
8.4—8.30 京王キリンプラザ大
阪
美術手帖 812 永草次郎
山陽の旧石器文化 2.9—5.6 広島
県立歴史博物館

(シ)

JADA展42回 1.23—1.30 洋協
アートホール(銀座)
毎日夕刊 1.5
JAG展24回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 221 高山淳
シエナ美術展 10.6—12.9 東京ス
テーションギャラリー

新美術新聞 943 松田重昭
視る 398 上村清雄
朝日 10.18 小佐野重利
朝日夕刊 10.3 遠山公一
朝日夕刊 12.4 高階秀爾
東京 11.1
読売夕刊 11.21 松田重昭
視覚を越えて・巡りて展 1.5—
3.25 福岡市美術館
朝日夕刊 2.15 大西若人
四季繚乱 2.20—4.8 サントリー
美術館
肢体不自由児・者の美術展20回
12.10—12.13 東京芸術劇場展示
ギャラリー
毎日 11.30 長沢晴美
時代を彩った貌展 東京写真月間
2001 5.26—6.10 東京都写真美
術館
東京夕刊 5.25 飯沢耕太郎
七代目団十郎と国貞、国芳 芝居・
錦絵・中山道 9.30—11.4 岐阜
県博物館
信濃のすごろく—時代を映した遊
び— 6.26—7.29 須坂市立博物
館
ジノリ展 イタリア陶磁器の伝統と
革新 3.18—5.20 滋賀県立陶芸
の森陶芸館
芸術新潮 617
ジノリ展 イタリア陶磁器の伝統と
革新 6.16—8.19 東京都庭園美
術館
読売 7.25 岡部友子
司馬江漢の絵画展—西洋との接触、
葛藤と確信 10.6—11.11 府中
市美術館
芸術新潮 623
美術の窓 218 能勢亜希子
朝日夕刊 10.25 田中三蔵
柴田コレクションパート7—17世
紀、有田磁器の真髄— 10.19—
12.16 佐賀県立九州陶磁文化館
目の眼 303 家田淳一
持宝院の宝物 1.20—2.25 笠岡市
立竹喬美術館
市民で創る〈源氏物語展〉講座生によ
る—あこがれの源氏物語展
12.8—1.27 徳島市立徳島城博物
館

下野国東山道と関連遺跡 東山道
都へつづく一本の道 9.28—11.4
栃木県立なす風土記の丘資料館
下妻の地芝居—その道具と周辺—
10.6—11.25 下妻市ふるさと博
物館
写真で見る東海道展 10.11—10.28
甲西文化ホール
写真にみる近代の沖縄 世界のウチ
ナン大会記念企画展 10.19—
11.25 沖縄県公文書館
写真の歴史160年展 7.7—8.19 島
根県立美術館
毎日夕刊 8.2 飯沢耕太郎
ジャズの街角Part3 内田ジャズ
コレクション アメリカンファッ
ション1940's—1960's 2.10—3.11
岡崎市美術博物館
収蔵品展25回 6.2—7.1 名古屋市
博物館
十二単 みやびの世界へ—宮廷と大
名家の衣装、調度品 10.20—
11.25 宮崎県総合博物館
修復資料公開展 修復の現在
11.3—2.24 大原幽学記念館
珠玉の日本美術—細見コレクショ
ン・リクエスト展 6.8—9.2 細
見美術館
主題としての美術館—美術館をめぐ
る現代美術—展 10.25—12.11
国立国際美術館
朝日 11.26
純展31回 12.10—12.16 東京都美
術館
美術の窓 221 高山淳/刃刀知
子
尚王家と琉球の美展 10.26—11.21
MOA美術館
荘厳 飛鳥・白鳳 仏のインテリア
4.17—6.17 大阪府立近つ飛鳥博
物館
勝瑞時代—細川・三好氏と阿波—
10.20—11.25 徳島県立博物館
勝瑞時代 三好長慶天下を制す
10.20—11.25 徳島市立徳島城博
物館
正倉院展53回 10.27—11.12 奈良
国立博物館

肖像が語るアメリカ史展 8.7—
10.14 国立西洋美術館
毎日 8.8
読売 8.4 本間長世
読売夕刊 9.26 田中正之
肖像に見る福島を築いた人々
7.7—8.26 福島県立博物館
聖徳太子展 10.20—12.16 東京都
美術館
聖徳太子絵伝が語るもの 10.6—
11.4 飯田市美術館
聖徳太子の遺跡—斑鳩宮造営千四百
年— 4.21—6.10 奈良県立橿原
考古学研究所附属博物館
小豆島の絵師 三木文柳 9.13—
10.14 香川県歴史博物館
浄土へのあこがれ—阿弥陀来迎—展
4.28—6.10 群馬県立歴史博物館
文化財(月刊) 456 唐澤至朗
情報技術のあけぼの「情報世紀」の
主役たち展 3.6—6.3 国立科学
博物館
縄文人の食生活 3.3—4.8 千葉県
立中央博物館
縄文とパリー考古学者・中谷治宇二
郎の記録展 1.15—3.30 東京大
学総合研究博物館
芸術新潮 617
読売夕刊 3.22 西秋良宏
縄文の匠 12.3—12.21 早稲田大
学会津八一記念博物館
縄文のたくみ 弥生のたくみ
10.4—11.9 富山県埋蔵文化財セ
ンター
縄文文化の起源を探る—はじめて土
器を手にしたひとびと— 10.6—
11.18 奈良県立橿原考古学研究
所附属博物館
縄文文化の扉を開く—三内丸山遺跡
から縄文列島へ— 3.20—5.20
国立歴史民俗博物館
城陽の自然展 地形からみた城陽
8.11—9.30 城陽市歴史民俗資料
館
昭和と日本画壇のモダニスト 山口蓬
春記念館10周年特別展 10.6—
10.14 ジェイアールセントラル
タワーズ12階・タワーズプラザホ
テル
昭和の絵本展 7.20—9.24 昭和口

マン館
毎日 7.10
書画の美術—久保惣コレクションを
楽しむ— 4.8—5.22 和泉市久
保惣記念美術館
食と考古学 4.21—6.10 福島県立
博物館
職美展55回 6.12—6.22 東京都美
術館
食をめぐる美術 実り・収穫と宴の
楽しみ 3.2—5.27 大倉集古館
書写山円教寺の版木展 11.8—
12.24 姫路市書写の里・美術工
芸館
女性たちの陶芸展 12.1—1.27 滋
賀県立陶芸の森陶芸館
陶説 586
女性美の500年 描かれたイメージ
西洋と日本展 11.1—12.9 東京
富士美術館
産経 11.25
産経夕刊 11.5 野口満成/中川
健治/織作峰子/加藤タキ/ガ
リーナ・チュラク/小林忠
産経夕刊 11.19、20、22、24
五木田聡
東京 11.8
初代園部藩主 小出吉親 10.20—
12.9 園部文化博物館
女流陶芸公募展35回 11.8—11.17
京都市美術館
毎日夕刊 11.13 田原由紀雄
知られざる中世の北海道—チャシと
館の謎にせまる— 9.7—11.4
北海道開拓記念館
知られざる日本絵画 シアトル白澤
庵コレクション 10.6—11.25
大津市歴史博物館
シルクロード・砂漠の大画廊 敦煌
美術展 10.19—11.18 岡山県立
美術館
シルクロードの宝物展—草原の道・
海の道 9.1—12.16 出光美術館
/中近東文化センター
陶説 582 金沢陽
毎日夕刊 8.16
真贋のはざま デュシャンから遺伝
子まで展 10.20—12.9 東京大
学総合研究博物館
美術手帖 816 ドミニク・チェ

ン
朝日 12.2
産経 10.20
東京 10.22 大村歩
日経 11.4 松岡資明
読売夕刊 11.29 (前)
新芸術展26回 11.25—12.1 東京
都美術館
美術の窓 221 高山淳
新収蔵資料展 7.28—9.30 香川県
歴史博物館
新収蔵品展—若手作家による—新鋭
日本画展 2.7—4.7 天童市美術
館
新収蔵品展 平成12年度 2.9—4.8
天童市美術館
新収蔵品展 3.1—3.30 世田谷区
立郷土資料館
新収蔵品展 3.27—5.13 福岡市美
術館
新収品展2001 6.27—7.29 京都国
立博物館
新出土資料展 松戸の歴史発掘
7.28—9.24 松戸市立博物館
新匠工芸会公募展56回 12.4—12.9
東京都美術館
美術の窓 221 高山淳/功刀知
子
新世紀に伝える東西の美展 1.1—
2.10 ニューオータニ美術館
毎日 1.10 宮本扶未子
新世紀の顔・貌・KAO—30人の自
画像展 1.29—2.6 新宿アート
ギャラリーアンファン
新美術新聞 916 中野中
新世代への視点2001展 7.23—8.4
東京・銀座、京橋の10画廊
毎日夕刊 7.30 三田晴夫
読売夕刊 8.2 (菅)
新・調布案内 調布は大正時代に東
京の郊外になった 10.20—12.9
調布市郷土博物館
新日美展25回 12.10—12.16 東京
都美術館
美術の窓 221 高山淳/功刀知
子
新美展34回 12.2—12.9 東京都美
術館
美術の窓 221 功刀知子
人物画名作展—洋画篇— 明治・大

平成13年美術展覧会(企シ〜ソ)

正・昭和 7.3—7.29 星野画廊
信用ゲーム展 11.2—12.24 NTT
インターコミュニケーション・セ
ンター[ICC]
美術手帖 814 ドミニク・チェ
ン

(ス)

吹田市立博物館とその周辺—吹田風
土記の丘・紫金山の構想に向け
て— 10.20—12.2 吹田市立博
物館
垂直の時間 彫刻—過去・現在・未
来展 10.11—10.28 東京芸術大
学大学美術館
芸術新潮 624
朝日夕刊 10.18 大西若人
毎日夕刊 10.22 石川健次
読売夕刊 10.24 (前)
水墨画・古筆と陶芸 4.1—5.6 五
島美術館
スーパービュア展2001 10.15—
11.3 横浜市民ギャラリー
菅原道真公1100年祭記念—北野天満
宮神宝展 4.10—5.13 京都国立
博物館
菅原道真没後千百年 天神さまの美
術 7.10—8.26 東京国立博物館
スキマ・プロジェクト展 9.29—
10.14 秋葉原・神田界隈
読売夕刊 10.19
数寄者達—琳派以後の方法No. 5展
12.8—12.18 臨江閣
毎日夕刊 11.8
須坂の蚕神—豊蚕への祈り—
10.30—12.3 須坂市立博物館
鈴木充コレクション展 田原町博物
館新収蔵作品 4.18—5.27 田原
町博物館
スタンダード展 9.4—12.16 直島
コンテンポラリーアートミュージ
アム
芸術新潮 624
美術手帖 812 和田京子
日経 9.9 吉田俊宏
Stay with art ~眺めの良い部
屋~展 11.23—11.25 HOTEL
TPOINT(大阪)
美術手帖 816 古川誠
スペースジャック!展 9.1—10.14

横浜美術館アートギャラリー／ヨ
コハマポートサイドギャラリー
美術手帖 813 片岡真実
須磨コレクションの中国美術—新収
品展Ⅱ 10.31—12.2 京都国立
博物館
国立博物館ニュース 650
スマトラ島・ランブンの染織
9.4—10.28 福岡市美術館
墨画トリエンナーレ富山2001
7.7—9.24 富山県水墨美術館
住友コレクション 仏教美術の名
宝—いのりの空間 3.1—6.30
泉屋博古館

(セ)

生活とアート ベンガルの刺繍 そ
の過去と現在 カンタ展 1.2—
3.27 福岡アジア美術館
世紀を超えて 美ヶ原高原美術館20
周年記念特別展示 4.22—11.15
美ヶ原高原美術館
産経 7.1
世紀を超える彫刻〈西洋の近・現代〉
日本の具象100年—顔・ひと展
2.1—3.11 箱根彫刻の森美術館
産経 1.7 永井泰山
世紀をつらぬく福澤諭吉展 没後
100年 記念 1.29—2.10 和光
ホール
清興展23回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 221 切刀知子
聖蹟と鳥獣「連光寺村御獵場」がも
たらしたもの 12.15—1.8 パル
テノン多摩
西洋への憧憬展 12.9—1.28 神戸
市立博物館
朝日 1.9
清流と瀬戸のはぐくむ文化財—神崎
郡と飾磨郡— 7.28—8.26 兵庫
県立歴史博物館
世界の現代陶芸展 7.14—9.24 滋
賀県立陶芸の森陶芸館
日経 9.13 宝玉正彦
セゾンアートプログラム・アートを
ンク東京2001—生きられた空間・
時間・身体展 9.15—10.5 旧新
宿区立牛込原町小学校
etc. 33 中村麗／斎藤一典聞き

手
美術手帖 813 堀元彰／新見隆
／平野千枝子
読売夕刊 10.19
雪月花展 近代日本画に描かれた美
目黒雅叙園美術館コレクション
1.2—2.12 茨城県天心記念五浦
美術館
仙崖 9.1—11.11 出光美術館
1930年代日本の印刷デザイン展—大
衆社会における伝達— 8.14—
11.4 東京国立近代美術館フィル
ムセンター
芸術新潮 622

全国都市緑化いしかわフェア展

9.8—11.11 金沢市金沢城址公園
朝日 11.5
禅書画のたのしみ 春季展 4.6—
6.10 富岡美術館
仙 台 城—しろ・まち・ひと—
4.27—6.3 仙台市博物館
千利休・泪の茶杓 2.24—3.4 徳
川美術館
占領下の子ども文化〈1945—1949〉
展—メリーランド美術館所蔵・プ
ラング文庫「村上コレクション」に
探る— 5.12—5.27 早稲田大学
会津八一記念博物館
芸術新潮 619

(ソ)

蒼騎展41回 10.5—10.14 東京都
美術館
美術の窓 219 高山淳／切刀知
子
蒼鳩展36回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 221 切刀知子
草月・花Avenue2001展 5.2—5.6
表参道
毎日 4.25 大森泰貴
双樹展31回 8.22—8.30 東京都美
術館
美術の窓 217 切刀知子
走獣画(古画の動物) 7.17—9.2
福岡市美術館
装身具—まじない・ちから・うつく
し— 4.21—6.24 山梨県立考
古博物館
相馬の鎗物師—かなものの歴史と技

術— 4.22—6.10 野馬追の里歴
史民俗資料館
蘇州の書画展 9.9—12.24 澄懷堂
美術館
岡山県立美術館ニュース 54 岩
竹彰子
それぞれの空間表現2001—juicy
3.20—3.25 岐阜県美術館

(タ)

大ヴェネチアングラス展 4.21—
10.31 箱根ガラスの森美術館
読売夕刊 3.27 永井一顕
読売夕刊 4.23 由水常雄
体感する美術2001 8.4—8.19 佐
倉市立美術館
醍醐寺展 4.3—5.13 東京国立博
物館
仏教芸術 255 岩佐光晴
大信楽展—焼締め的美への憧れとそ
の軌跡 10.2—11.25 滋賀県立
陶芸の森陶芸館
陶説 583 大槻倫子
目の眼 303 〃
大正昭和くらしの博物誌—民族学の
父・渋沢敏三とアチック・ミュ
ゼアム 3.15—6.5 国立民族学
博物館
大地の詩—歌会始御題『草』によせ
て—展 3.7—4.8 式年遷宮記念
神宮美術館
大唐王朝の彩り 唐のやきもの—唐
三彩 10.23—12.24 松岡美術館
台東区コレクション展 区長賞創設
20周年記念 6.30—7.22 東京芸
術大学大学美術館
朝日 3.17
毎日 4.19 前田英司
読売 6.27
大名—その華麗な時代—林原美術館
の名宝— 3.22—4.2 高島屋(横
浜)
大名—その華麗な時代 9.14—11.4
林原美術館
大名の美術 5.15—7.15 福岡市美
術館
大洋展23回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 221 高山淳
太陽美術展27回 11.25—12.1 東

京都美術館
美術の窓 221 高山淳
宝塚1号墳のはにわ全国を巡る—日
本列島新発見考古速報展(文化庁)
出品記念— 4.14—5.6 松坂市
文化財センター
竹本焼と園芸・盆栽文化展—中島英
雄コレクションを中心に—
10.12—1.13 豊島区立郷土資料
館
かたりべ 65 横山
産経 11.6
竹を描く・竹を創る 6.5—7.1 大
分県立芸術会館
橘守部と伊勢の国学者たち 2.3—
3.11 朝日町歴史博物館
館林市立資料館収蔵資料展 第6回
新収蔵資料展 3.24—6.10 館林
市立資料館
田中正造とその時代 天皇直訴100
周年 11.1—12.16 栃木県立博
物館
没後五百年速見 旅の詩人—連歌師
宗祇 8.4—9.2 箱根町立郷土資
料館
ためして、文字展 7.7—8.26 釧
路市立美術館
タンカの世界—Art of Thangka
チベット仏教美術展 3.17—5.6
古代オリエント博物館
朝日夕刊 4.21 (三)
丹後京極氏と肖像画の世界 10.6—
11.11 京都府立丹後郷土資料館
誕生・婚礼・葬送—新収資料の公開
1.16—2.18 国立歴史民俗博物館

(チ)

チェコの工芸300年の光彩 9.21—
10.19 高崎シティギャラリー
特別展観 智積院の名宝 9.27—
10.28 京都国立博物館
文化財(月刊) 455 若杉準治
Child fingers展 2.2—4.25 アー
トドラッグセンター(名古屋)
美術手帖 803 原田真千子
館蔵 茶道具取合せ展 12.8—2.17
五島美術館
茶道具の裂—金襴・緞子・間道と古
渡り更紗—開館60周年記念名品展
第七部 11.30—12.23 根津美術

館
五島美術館所蔵名品展—茶道具の世
界— 4.12—5.13 いわき市立美
術館
茶道入門—茶の湯を楽しもう—
6.16—8.26 茶道資料館
茶の器—茶の湯と煎茶— 5.27—
6.24 和泉市久保惣記念美術館
茶の湯の歳時記—早春の意匠—
1.7—3.11 茶道資料館
茶の湯にみる日本の美 10.10—
11.25 大阪青山歴史文学博物館
茶の湯の名品展 9.6—11.4 姫路
市書写の里・美術工芸館
中央アジアの布展 4.3—6.24 日
本民藝館
朝日夕刊 5.31 神谷幸江
砂漠にもえたつ色彩—中近東5000年
のタイル・デザイン 3.3—5.6
岡山市立オリエント美術館
中近東の美術・工芸品 9.1—12.16
中近東文化センター
皮影戯 中国影絵の世界 9.28—
10.8 日中友好会館
秋季展 中国古代青銅器の名品 併
設 唐代銀器の傑作 9.8—12.2
白鶴美術館
中国陶磁と日本書画の名品 3.13—
6.10 白鶴美術館
中国と朝鮮の陶磁 5.15—7.15 福
岡市美術館
中国の工芸—古代から近世まで—
12.2—1.27 和泉市久保惣記念美
術館
中国の工芸・日本の絵巻 4.7—
5.13 出光美術館
館蔵 中国の古鏡展 5.12—6.24
五島美術館
館蔵 中国の陶芸展 6.30—7.29
五島美術館
中国美術の精華—台北・鴻禧美術館
所蔵品展 5.29—7.8 渋谷区立
松濤美術館他
中世の都市と「ひくま」 10.2—
10.31 浜松市博物館
中世の東葛飾—いのり・くらし・ま
つりごと— 10.6—11.25 松戸
市立博物館
中世文書の世界—複製資料にみる人
物と書— 10.20—11.25 埼玉県

立文書館

朝鮮王朝の美 7.14—8.26 北海道
立近代美術館

朝鮮通信使と民画屏風 辛基秀コレ
クションの世界 11.3—12.17
大阪歴史博物館

朝鮮通信使—江戸時代から二十一世
紀へのメッセージ—こころの交流
展 4.28—6.3 京都文化博物館
目の眼 297 定森秀夫

ちょっと昔の道具たち—日々のくら
し、米づくりなどで活躍した民
具— 1.20—3.18 柏原市立歴史
資料館

(ツ)

追憶・旭川の作家たち展 9.1—
10.14 北海道立旭川美術館
氷華 43 新明英仁

伝えられた名宝 美の継承展
9.29—12.2 静嘉堂文庫美術館
土浦古地図の散歩道—語りかける絵
図— 10.20—12.2 土浦市立博
物館

土浦の遺跡5 土浦の旧石器
10.27—12.9 上高津貝塚ふるさ
と歴史の広場

土の中からのメッセージ 発掘され
た仙台の遺跡5 広瀬川流域の遺
跡 4.28—7.1 地底の森ミュ
ジウム

椿会展2001 4.25—6.10 資生堂
ギャラリー
毎日夕刊 6.7 三田晴夫
読売夕刊 5.10 (菅)

(テ)

出会い展 1.12—3.18 東京オペラ
シティアートギャラリー
朝日 2.8 建畠哲
朝日夕刊 1.24 神谷幸江
読売夕刊 2.15 (前)

デザインの風 10.6—11.25 東京
芸術大学大学美術館

手探りのキス 日本の現代写真展
9.11—11.25 東京都写真美術館
芸術新潮 623
朝日夕刊 9.8 笠原美智子
朝日夕刊 9.27 神谷幸江
朝日夕刊 11.8 大西若人

毎日夕刊 8.30

毎日夕刊 11.15 三田晴夫

手仕事を伝える シリーズ職人の技
その1 1.31—3.11 市立長浜城
歴史博物館

デジタル リアル展 9.19—9.21
サンシャインシティ文化会館
朝日夕刊 9.20 松葉一清

鉄とくらし—えひめの鉄ことはじ
め— 2.3—4.8 愛媛県歴史文化
博物館

手で見る彫刻展 12.3—12.15
ギャラリー・1
東京 11.29

デトロイト美術館の至宝—印象派と
近代美術の巨匠たち—展 9.9—
10.8 福井県立美術館
美術館だより 93 芹川貞夫

天下統一と城 4.14—6.10 兵庫県
立歴史博物館

天空の舞 ネパールを描く三人展
2.1—2.6 ギャラリー新宿高野
産経 1.31
東京 2.2

伝統からの創造 21世紀展 1回
4.23—4.27 東京美術倶楽部
新美術新聞 923 油井一人聞き
手

伝統と革新—萩焼四〇〇年展
1.5—2.12 サントリー美術館
芸術新潮 614
朝日夕刊 1.4 榎本徹
朝日夕刊 1.7

天理図書館 開館70周年記念展—宗
祇・芭蕉・西鶴とその周辺—
5.13—6.10 天理ギャラリー

天理図書館貴重書展 近三十年の蒐
集から 11.3—11.25 天理ギ
ャラリー

(ト)

ドイツ陶芸の100年展 12.1—2.18
東京国立近代美術館工芸館
朝日 1.19 木田拓也

ドイツにおけるフルクスス1962—
1994 4.26—6.10 国立国際美術
館

等辺展34回 12.2—12.9 東京都美
術館
美術の窓 221 高山淳/刃刀知

子

東海土山宿 近江東海道400年記
念 10.13—11.25 土山町立歴史
民俗資料館

東海道50番目の宿場町「水口」展 近
江東海道400年記念 10.13—
11.17 水口町立歴史民俗資料館

東海道宿駅制度400年記念 PART
01 屏風—絵巻に描かれた東海道
9.22—10.14 横浜市歴史博物館

東海道宿駅制度400年記念 PART
02 東海道と保土ヶ谷宿
10.27—11.25 横浜市歴史博物館

東海道宿駅制度400年記念 PART
03 東海道双六の世界 12.4—
12.23 横浜市歴史博物館

東海道宿駅設置400年記念 歴史の
道—東海道展 4.28—5.27 豊橋
市美術博物館

東海道中—一寸寄道—金沢八景—

7.5—8.19 神奈川県立金沢文庫
東海道—西のうまいもの・東のうま
いもの 近江東海道400年記念

7.24—11.18 草津宿街道交流館
東海道の浮世絵と石部 近江東海道
400年記念 8.18—11.25 石部町
立東海道歴史資料館

東海道をゆく 3.7—4.8 香川県歴
史博物館

平成12年度東京芸術大学卒業・修了
制作展 2.21—2.26 東京都美術
館/東京芸術大学大学美術館他

東京芸術夏祭り 芸術道場GP展

9.1—9.2 東京都現代美術館
美術手帖 812
美術手帖 812 小田切博

東京建築展—住まいの軌跡/都市の
奇跡 11.20—1.20 江戸東京博
物館/江戸東京たてもの園

芸術新潮 625

博物館研究 406 佐々木秀彦

朝日夕刊 12.27 神谷幸江

東京 11.22

日経 10.26

毎日 11.7 宮本扶未子

東京国立博物館コレクションの保存
と修理展 9.18—10.8 東京国立
博物館

東京 9.27 望月衣塑子

東京造形大学彫刻科卒業生有志展

S-4 3.13-3.19 すみだリ
 パーサイドホール
 東京 3.16
 東京を描く画家たち展 8.5-8.18
 丸善ギャラリー
 産経 8.4
 道具の記録/道具の記憶展 8.4-
 8.26 西宮市立郷土資料館
 道訓前遺跡出土品展 4.3-6.3 北
 橘村歴史民俗資料館
 館蔵 陶磁器の水指と建水-南蛮・
 唐物・和物 9.15-11.25 三井
 文庫
 東寺と弘法大師信仰-東寺御影堂
 誓いと祈りの風景- 3.20-5.25
 東寺宝物館
 東寺の十二天画像 護法八方天+梵
 天・地天+日天・月天=十二天
 9.20-11.25 東寺宝物館
 館蔵品による 陶磁の道展-日本・
 朝鮮・中国・中近東・ヨーロッパ
 を結ぶセラミック・ロード-
 12.13-3.31 出光美術館(門司)
 東寺 鐘垂水庄-悪党の時代-
 4.28-6.3 吹田市立博物館
 銅鐸を観察する 10.6-12.2 辰馬
 考古資料館
 東洋の陶磁器と漆芸品-工芸美術の
 粋-開館60周年記念名品展 第四
 部 8.10-9.9 根津美術館
 東洋の美術-中国・日本の絵画と工
 芸- 7.1-8.3 和泉市久保惣記
 念美術館
 ドールハウス展 12.15-1.6 ゲー
 トシティホール
 産経 12.14
 土器の造形-縄文の動・弥生の静-
 展 1.30-3.11 東京国立博物館
 文化財(月刊) 449 松浦宥一郎
 土器の径・参 多摩丘陵から武蔵野
 台地の縄文土器 4.6-9.16 三
 方町縄文博物館
 ドキュメンタリーの時代展 2.3-
 3.30 東京都写真美術館
 日経 2.18 中川倫一
 毎日夕刊 1.29
 毎日夕刊 2.17 鈴木義典
 時を超えて語るもの 史料と美術の
 名宝展 12.11-1.27 東京国立
 博物館

芸術新潮 626
 美術の窓 219
 土佐市居徳遺跡 3.16-5.13 高知
 県立歴史民俗資料館
 土佐の近世 お殿様のくらし-武家
 の日常- 3.2-3.24 宿毛市立
 宿毛歴史館
 土佐の近世 徳川幕府崩壊-大政奉
 還と武力討幕- 8.8-10.8 北
 川村立中岡慎太郎館
 土佐の近世 堰と用水路 8.10-
 9.30 春野町立郷土資料館
 土佐の近世 幕末の土佐藩-山内氏
 の苦悩- 9.18-11.5 高知県立
 坂本龍馬記念館
 土佐の近世 近世大名の誕生-山内
 一豊 その時代と生涯- 9.29-
 11.4 高知県立文学館
 土佐の近世 再発見高知城 10.1-
 3.31 高知城懐徳館
 土佐の近世 長宗我部元親・盛親の
 栄光と挫折 10.19-12.16 高知
 県立歴史民俗資料館
 土佐の近世 お殿様のくらし-武家
 の日常- 11.17-12.16 安芸市
 立歴史民俗資料館
 土佐の近世 土佐の近世の女性と文
 学-おあん、婉、お馬… 11.22
 -1.6 高知県立文学館
 利家とまつをめぐる人々 10.6-
 11.4 石川県立歴史博物館
 年暮る2001展 11.22-12.23 山種
 美術館
 読売夕刊 12.5 浜中真治
 栃木の遺跡-最近の発掘調査の成果
 から 4.14-5.20 栃木県立しも
 つけ風土記の丘資料館
 DOMANI・明日展2001 未来を担
 う美術家たち 文化庁芸術家在外
 研修の成果 1.6-1.27 安田火
 災東郷青児美術館
 とやま遺跡めぐり35 12.3-9.5
 富山県埋蔵文化財センター
 富山の商店街-近代化のあゆみ-展
 7.14-9.3 富山市郷土博物館
 豊臣秀吉と亀山城主岡本下野守宗
 憲-発見された岡本家文書から-
 2.3-3.26 亀山市歴史博物館
 渡来文化の波-5~6世紀の紀伊国
 を探る- 10.20-11.25 和歌山

平成13年美術展覧会(企ト〜二)

市立博物館
 取手アートプロジェクト展
 11.23-12.9 取手市内
 産経 12.2 渋沢和彦
 敦煌石窟と絹の道の染織展 8.25-
 10.13 文化学園服飾博物館

(ナ)

長野県の遺跡発掘2000 3.17-5.13
 長野県立歴史館
 長野盆地の10万年 暮らしと環境の
 メッセージ 10.6-11.23 長野
 市立博物館
 名護屋城跡並びに陣跡展 7.20-
 9.23 佐賀県立名護屋城博物館
 名古屋城二之丸庭園跡の出土品
 6.27-8.26 名古屋市博物館
 国宝 那智瀧図-宗教美術の名品-
 開館60周年記念名品展 第六部
 10.26-11.25 根津美術館
 夏目漱石展-木曜日を面会日と定め
 候- 4.28-7.1 山梨県立文学
 館
 なにが分かるか、社寺境内図展
 10.2-12.9 国立歴史民俗博物館
 歴博 108 濱嶋正士
 ナンシー派展 花の様式 7.7-
 8.26 Bunkamuraザ・ミュージ
 アム
 朝日夕刊 7.5 田中三蔵
 読売夕刊 8.8 宮沢政男
 南蛮美術名品展 7.20-9.2 神戸
 市立博物館

(二)

二元展40回 6.12-6.22 東京都美
 術館
 美術の窓 215 高山淳
 西四国の縄文文化 7.14-9.2 愛
 媛県歴史文化博物館
 21世紀アートのエネルギーをみる展
 3.23-4.4 O美術館
 芸術新潮 618
 朝日夕刊 3.31 (盛)
 20世紀の日本画 戦前・戦後の名作
 8.31-2.28 足立美術館
 20世紀イタリア美術-みつけた、
 100の物語展 9.22-12.2 東京
 都現代美術館
 東京 10.25

日経 9.17 白木緑
日経夕刊 10.24 建畠哲
20世紀近江発掘ベスト10展 7.20—
9.30 滋賀県立安土城考古博物館
20世紀版画の軌跡展 丸井コレクション 2.3—3.4 安田火災東郷
青児美術館
20世紀美術の形と動き展 2.17—
4.8 うらわ美術館
朝日夕刊 3.28 神谷幸江
2001年シネマ・オデッセイ映画ボ
スターの20世紀展 4.11—7.1
サントリーミュージアム[天保山]
芸術新潮 617
日仏現代作家展—モノクロームの再
生と大阪の商家— 12.17—12.24
重要文化財旧小西邸／ギャラリー
ほそかわ
芸術新潮 626
日洋展15回 第1期 6.28—7.2
上野の森美術館
美術の窓 217 高山淳
日洋展15回 第2期 7.3—7.7
上野の森美術館
美術の窓 217 高山淳
日洋展15回 第3期 8.22—8.30
上野の森美術館
美術の窓 217 刃刀知子
日蓮聖人の世界展 7.27—7.29 東
京都立産業貿易センター
歴史評論 622 佐藤博信
日韓女性金属芸術展 2.5—2.10
ワコール銀座アートスペース
毎日 2.7 明珍美紀
日象展28回 11.25—12.1 東京都
美術館
美術の窓 221 高山淳
日本・オランダ現代美術交流展
4.15—5.6 十思スクエア
毎日夕刊 4.23 三田晴夫
日本画と洋画展 2.2—3.11 山種
美術館
産経 2.11 渋谷和彦
毎日夕刊 2.6
日本画に見る四季の美展 大観・春
草から現代作家まで 高崎タワー
美術館所蔵 4.21—5.20 大垣市
サイトピアセンターアートギャラ
リー

日本画名品展 1.5—3.25 松岡美
術館
日本近世の京都図と世界図 6.1—
6.30 京都大学総合博物館
日本近代洋画への道—山岡コレク
ションを中心に—展 3.31—5.20
笠間日動美術館
芸術新潮 617
新美術新聞 926 油井一人
朝日夕刊 5.12 (三)
日本紙幣の凹版彫刻者たち展
11.20—2.3 お札と切手の博物館
芸術新潮 627
博物館研究 406 植村峻
日本秀作美術展23回 5.30—6.11
高島屋(日本橋)
読売夕刊 5.29
日本新水墨派展26回 11.25—12.1
東京都美術館
美術の窓 221 高山淳
日本図のあゆみ 地学者鷹見泉石の
収集した絵地図の世界 3.17—
5.6 古河歴史博物館
日本伝統漆芸展18回 1.17—1.29
西武アート・フォーラム(池袋)
佐野美術館所蔵 日本刀・能面
1.5—2.26 佐野美術館
日本陶芸展16回 5.24—6.5 大丸
ミュージアム・東京
毎日 5.23 小川秀夫
日本のうちわ 涼と美の歴史
7.31—8.26 岐阜市歴史博物館
日本の工芸 5.19—7.1 出光美術
館
日本の古美術 12.1—12.26 福井
県立美術館
日本の博物館譜—十九世紀から現代
まで展 10.6—11.11 国立科学
博物館
芸術新潮 622
日本の版画 1921—1930 都市と女
と光と影と展 9.18—10.21 千
葉市美術館
版画芸術 113 岩切信一郎
東京 9.30、10.3 西山純子
東京夕刊 10.5 五十殿利治
日本版画会展28回 11.25—12.1
東京都美術館
美術の窓 221 高山淳

日本の藩窯—西日本編— 10.27—
11.26 彦根城博物館
東京富士美術館所蔵 日本の美とこ
ころ 桃山から近代・絢爛たる
500年の粋 6.5—7.22 北海道立
函館美術館
日本のやきもの千二百年 12.4—
2.3 サントリー美術館
日本のわざと美 10.20—11.18 愛
媛県歴史文化博物館
日本橋—絵画でたどる歴史—展
11.13—12.9 江戸東京博物館[常
設展示室特集展示コーナー]
読売 11.30 我妻直美
日本表現派展45回 10.5—10.14
東京都美術館
美術の窓 219 高山淳／刃刀知
子
日本民藝館 李朝美の世界 2.9—
3.4 鹿児島県歴史資料センター
黎明館
日本・ヨーロッパ建築の新潮流2001
展 6.1—6.30 ヒルサイド
フォーラム
朝日夕刊 6.16 (盛)
日本刀にみる花鳥風月 2.9—3.20
根津美術館
ニューヨーク近代美術館名作展
10.6—2.3 上野の森美術館
新美術新聞 939 高階絵里加
朝日夕刊 11.8 神谷幸江
産経 12.2、9、16 リチャード
リ・エロイーズ
産経夕刊 10.4、9—11 本江邦
夫
東京夕刊 12.15 中村隆夫
読売夕刊 10.11 (菅)
読売夕刊 12.19 坂元暁美
人形 2.16—3.25 京都国立博物館
人間国宝新作展36回 6.14—6.20
松坂屋(上野)
毎日夕刊 6.13 佐々木正峰
人間・像展 4.3—5.6 埼玉県立近
代美術館
産経 4.29

(ネ)

国宝 寝覚物語絵巻 10.13—11.11
大和文華館

(ノ)

- 能楽—加賀宝生の世界— 3.31—
5.6 石川県立歴史博物館
能装束—ピゲローコレクションより
3.31—7.22 名古屋ポストン美術
館
能と古典文学 1.4—1.28 徳川美
術館
能面・狂言面 佐野美術館所蔵
11.30—12.18 佐野美術館

(ハ)

- 白士会展37回 8.22—8.30 東京都
美術館
美術の窓 217 高山淳/切刀知
子
博物館50年のあゆみ展 5.3—6.3
宮崎県総合博物館
幕末の志士 佐久良東雄—その生涯
と交友— 1.23—3.4 土浦市立
博物館
幕末の高松藩 10.17—12.16 香川
県歴史博物館
芭蕉と支考—その旅のこころ—
2.24—3.25 岐阜市歴史博物館
奔る女たち展 女性画家の戦前・戦
後1930—1950年代 10.21—12.9
栃木県立美術館
芸術新潮 625
朝日夕刊 11.22 田中三蔵
読売夕刊 11.1 (菅)
初公開「酒造図」長谷川雪旦・雪堤—
区指定文化財・高崎屋旧蔵絵画
展— 4.13—4.15 文京ふるさと
歴史館
機と布 秋田の織りとくらし
11.23—3.24 秋田県立博物館
八戸藩—大名の江戸と国元 7.15—
8.26 八戸市博物館
八幡信仰とその遺宝 10.19—11.18
大分県立歴史博物館
発掘されたかながわの顔 10.1—
10.31 神奈川県立埋蔵文化財セ
ンター
発掘された日本列島2001 新発見考
古速報展 10.16—11.18 島根県
立博物館
発掘された日本列島2001 新発見考
古速報展 6.12—7.15 東京都江

- 戸東京博物館
発掘された埋蔵銭—中世の出土銭・
銭の力 銭への想い— 2.10—
3.18 園部文化博物館
発掘された文字世界 8.11—8.26
御津町文化会館ハートフルホール
発掘速報展 大阪2001—難波宮と大
坂城 1.23—3.20 大阪府立近つ
飛鳥博物館
発掘速報展 11.17—12.16 岐阜県
博物館
発掘物語2001 4.21—6.17 和歌山
市立博物館
花ごよみ 美術工芸にみる爛漫の花
模様 3.2—4.22 細見美術館
花と緑の名品展—自然との対話—
9.29—10.28 石川県立美術館
花の宴—大名のもてなし— 4.14—
5.27 徳川美術館
はにわ一座がやってきた。 7.15—
9.2 福島県文化財センター白河
館
バリアレス・ハートギャラリー展
12.6—1.10 スカイギャラリー
(羽田空港ターミナルビル6階)
毎日 12.7 田苗学
はるか みちのく 古典文学と美術
にみるすがた 10.2—11.11 東
北歴史博物館
春の祭典—めでたさの造形—
1.5—2.25 大倉集古館
バルビゾンと田園の画家たち
11.1—12.12 北海道立帯広美術
館
バルビゾンの画家たち 自然との共
存 コロー、ルソー、ミレー、
クールベ 6.9—7.22 山梨県立
美術館
万国博覧会と近代陶芸の黎明展
11.28—1.28 京都国立近代美術
館
朝日 1.9
国宝 伴大納言絵巻(中巻) 4.21—
5.6 出光美術館

(ヒ)

- ひいな 3.2—4.22 龍野市立歴史
文化資料館
東山御物の茶道具—大名物・名物を
中心に—開館60周年記念名品展

平成13年美術展覧会(企ノ〜ヒ)

- 第五部 9.14—10.21 根津美術
館
美術の窓 217 西田宏子
光とその表現展 現代美術の手法6
8.19—9.24 練馬区立美術館
朝日夕刊 9.8 (三)
東京夕刊 8.31 中村隆夫
光の造形—チェコの現代ガラス彫刻
展 7.25—9.10 飛騨高山美術館
芸術新潮 622
引札—消費文明を創ったポップ・
アート展 4.25—7.12 印刷博物
館
芸術新潮 619
美術館を読み解く—表慶館と現代の
美術展 1.23—3.11 東京国立博
物館表慶館
芸術新潮 615
朝日夕刊 2.1 高階秀爾
朝日夕刊 2.7 神谷幸江
朝日夕刊 2.22 北澤憲昭
日経 1.28 中川倫一
毎日夕刊 2.16 三田晴夫
美術の中のこどもたち展 10.2—
11.11 東京国立博物館
芸術新潮 623
文化財(月刊) 456 宮島新一
朝日 10.17
美術のなかの動物表現 ヴァチカン
美術館所蔵品による 10.2—
12.25 豊田市美術館
美術への扉—コレクション十年十色
12.21—3.27 北海道立帯広美術
館
美人画コレクション 異色作家と無
名画家を中心に 明治・大正・昭
和 10.9—11.3 星野画廊
飛泉の情景展 6.2—7.22 講談社
野間記念館
読売夕刊 7.11 豊田和平
初公開 秘蔵の荏柄天神像ゆかりの
品々 1.4—1.28 鎌倉国宝館
秘蔵の名品アートコレクション展7
回 8.4—8.26 ホテルオークラ
別館
新美術新聞 933 石原直
毎日夕刊 7.19
日だまりのホームシック展 3.3—
3.25 文化フォーラム春日井・
ギャラリー

美術手帖 806 嘉藤笑子
一橋徳川家のひなまつり 2.3—
3.25 茨城県立歴史館
人と虫のかかわり 10.30—12.2
須坂市立博物館
雛と雛道具 2.2—3.5 彦根城博物
館
ひな人形 2.1—3.4 鎌倉国宝館
ひな人形の世界 2.27—4.15 徳島
市立徳島城博物館
美の国わが故郷 岩手東和のこころ
8.1—9.2 萬鉄五郎記念美術館
bibi bonsai展 10.6—10.8 旧豊
田佐助邸(名古屋)
美術手帖 813 原田真千子
卑劣呼の時代を復元する—佐賀県吉
野ヶ里遺跡と大田区の弥生時代遺
跡— 10.21—11.25 大田区立郷
土博物館
姫君の華麗なる日々 7.28—9.30
徳川美術館
姫路藩窯 東山焼展 6.28—9.2
姫路市書写の里・美術工芸館
百年前の人気絵師 成富椿屋
4.10—5.27 佐賀県立博物館
百年前の武蔵野・東京—不同舎画家
たちのスケッチを中心に展
1.27—2.25 府中市美術館
芸術新潮 616
ヒューマン・イメージわれわれは
人間をどのように表現してきたの
か?—展 10.23—11.25 京都国
立博物館
岡山県立美術館ニュース 55 福
富幸
芸術新潮 623 狩野博幸
屏風の世界 5.29—7.1 長野県立
歴史館
ピラミッドの時代 9.15—2.3 名
古屋ボストン美術館
広重の画業展 名所江戸百景を中心
に 9.13—11.18 馬頭町広重美
術館
広島を拓く 第24回文化財展
10.28—11.11 広島城二の丸
広島の酒文化—酒蔵とともに—
10.11—11.25 広島県立歴史民俗
資料館
HIROPON SHOW 2001 妖怪
フェスティバル展 8.25—9.9

東京都現代美術館
美術手帖 812
琵琶湖と水中考古学—湖底からの
メッセージ展 3.3—4.15 大
津市歴史博物館
文化財(月刊) 449 松浦俊和

(フ)

FIELD OF NOW—成長する美術館
4.3—4.10 洋協アートホール(銀
座)

読売夕刊 3.27

FIELDWORKS それぞれのフィー
ルドワーク展 5.12—6.30 現代
美術製作所

美術手帖 808 藤本壮介
封印を解かれた名刀—速報! 接収刀
剣・赤羽刀— 4.27—6.10 広島
県立歴史民俗資料館
風景の向こうに 山・森・湖・大地
の深奥 4.28—6.10 北海道立釧
路芸術館

Photography写る/写す 7人の
現代作家展 2.9—2.22 大阪府
立現代美術センター

福岡市美術館展35回 3.13—3.25 福
岡市美術館

復元! 三角縁神獣鏡 10.27—12.2
福島県文化財センター白河館

福島の新时代2001 SEVEN
ROOMS 9.22—11.18 福島県
立美術館

武士と農民 文字世界への招待 古
代・中世を生きる文字たち
1.27—3.11 東北歴史博物館

藤本四八展 装飾古墳・鎌倉むさし
の佛たち 2.24—4.1 飯田市美
術博物館

武将の愛した名刀 6.2—7.22 徳
川美術館

富士を描く日本画名作展 1.18—
1.30 大丸ミュージアム・東京
毎日夕刊 1.17

蕪村 その二つの旅 2.6—3.18
東京都江戸東京博物館
美術の窓 210

仏舎利と宝珠—釈迦を慕う心
7.14—9.2 奈良国立博物館

冬の華 サザンカ 11.13—1.14
国立歴史民俗博物館

FLAGSHIP 2001 Tour展 6.1—

7.1 東京国際フォーラム
朝日夕刊 6.29 田中三蔵

フランス・カンパール美術館所蔵
ブルターニュの海と空 11.2—
12.9 都城市立美術館

フランス近代絵画展 7.3—9.23
松岡美術館
毎日 8.1

フランス素描名作展 国立西洋美術
館所蔵 3.27—6.24 国立西洋美
術館

ふるきいしづみ 多賀城碑と日本古
代の碑 4.24—6.10 東北歴史博
物館

プロジェクト・フォー・ヨコハマ展
9.2—11.11 横浜開港資料館
朝日夕刊 10.18 神谷幸江

館蔵資料展 文化財を治す—幸谷観
音奉納板絵の修復— 4.28—6.10
神戸市立博物館

文化財を科学する 11.28—2.3 香
川県歴史博物館

豊後キリスト教史 10.18—11.25
大分県立先哲史料館

文庫本誕生500年展 7.31—8.5 町
田市立国際版画美術館
芸術新潮 619

文人墨客がつどう 一九世紀北信濃
の文芸ネットワーク 10.2—
11.11 長野県立歴史館

文明間の対話展 10.10—1.15 国
連大学ビルUNギャラリー
朝日 10.23

(ヘ)

平和のいしづえ2001 7.20—8.19

栗東歴史民俗博物館
北京・故宮博物院—黄金の至宝展—
6.2—7.8 神戸市立博物館

ベトナム青花—大越の至上の華—
3.27—5.6 町田市立博物館

ベルギーガラス展 10.23—11.4
三越(日本橋)

産経 10.23—25

ベルギーの巨匠5人展 1.3—1.30
伊勢丹美術館

朝日夕刊 1.18 田中三蔵
東京夕刊 1.19 中村隆夫

ベルシア残照 中近東文化センター
のイラン踏査 1. 27—4. 15 中近
東文化センター

弁天奉納三人展 7. 21—9. 2 佐久
島弁天サロン(愛知県)
美術手帖 811 原田真千子

(木)

没後700年 北条顕時—金沢北条氏
二代— 11. 22—2. 11 神奈川県立
金沢文庫

北条実時 2. 8—5. 13 神奈川県立
金沢文庫

北条氏ゆかりの文化財—時頼・時宗
から高時まで— 9. 21—10. 28
鎌倉国宝館

北条時宗とその時代展 4. 10—5. 27
東京都江戸東京博物館

北条時宗展 5. 9—5. 17 宮崎県総
合博物館

北条時宗と鎌倉幕府 5. 10—6. 3
大阪青山歴史文学博物館

蓬左文庫と海外1 蓬左文庫と東ア
ジア世界 4. 14—6. 10 名古屋市
蓬左文庫

蓬左文庫と海外2 海外認識の広が
り 9. 29—11. 25 名古屋市蓬左
文庫

常設展示 北斎傑作選 3. 27—5. 6
島根県立美術館

北海道立帯広美術館コレクション50
選 (移動美術館2001) 中標津展
10. 10—10. 14 中標津町総合文化
会館

骨 1. 15—6. 29 東京大学総合研究
博物館

彫りの美—沈金・鎗金 9. 7—10. 22
石川県輪島漆芸美術館

ボロ市の歴史 12. 15—1. 16 世田
谷区立郷土資料館

本という美術—大正期の装幀から現
代のオブジェまで—展 10. 6—
12. 16 うらわ美術館

朝日夕刊 10. 25 神谷幸江
産経夕刊 12. 8 中川素子

日経 11. 25 宝玉正彦

本能寺の変を考える—是非に及ば
ず— 10. 20—11. 18 滋賀県立安
土城考古博物館

世界遺産ポンペイ展 8. 7—10. 28

東京都江戸東京博物館

朝日 7. 21 浅香正

朝日 8. 6 青柳正規

朝日 8. 25、28、29、31、9. 1、
5、7 藤沢桜子

朝日 9. 29

朝日夕刊 3. 17 ウンベルト・
パッパラルド談

朝日夕刊 8. 11、13—16 松本仁
一

朝日夕刊 8. 29—31、9. 3 小野
高道

東京 8. 30

読売夕刊 10. 10 青柳正規

(マ)

毎日モダンアートオークション2001

出品作品展 7. 11—7. 27 ラ
フォーレミュージアム六本木

毎日 7. 10 長はるこ、河合勇作
談/石川健次聞き手

前田寛治大賞展5回 8. 23—8. 28
高島屋(東京)

マクシム・デュ・カン展 2. 10—
3. 25 三鷹市美術ギャラリー

芸術新潮 616

読売夕刊 3. 14 (前)

正岡子規の絵展 9. 15—10. 14 愛
媛県美術館

マジョリカ名陶展 9. 15—10. 28
大阪市立東洋陶磁美術館

日経 9. 17

町家のしつらいと飾り—近世大坂の
住まい 4. 26—5. 28 大阪市立住
まいのミュージアム

松平家の女性たち 5. 25—7. 1 香
川県歴史博物館

生誕250年—大名茶人 松平不昧展
4. 14—5. 13 島根県立美術館

秋季展 松平不昧の数寄—「雲州蔵
帳」の名茶器— 10. 2—12. 16 畠
山記念館

常設展示 松平不昧ゆかりの茶器を
中心に 4. 17—7. 22 島根県立美
術館

没後30周年記念特別展 松永耳庵コ
レクション展 9. 8—10. 14 福岡
市美術館

松村呉春と早春の茶道具 1. 10—
3. 4 逸翁美術館

平成13年美術展覧会(企へへミ)

祭りとの文化—光州広域市・全羅
南道の歴史と風土— 10. 19—
11. 25 佐賀県立名護護城博物館

丸井コレクション 20世紀版画の軌
跡展 2. 3—3. 4 安田火災東郷青
児美術館

毎日 2. 14

円山・四条派 美の世界 応挙・呉
春・文麟・榎嶺・栖鳳 4. 1—5. 6

大阪青山歴史文学博物館

満濃池03—石穴の完成— 3. 6—4. 8
香川県歴史博物館

万葉日本画の世界展 9. 15—12. 25
奈良県立万葉文化館

新美術新聞 938 大矢頼音

(ミ)

見えない箱からの鋭い叫び展—A
Shriek from an Invisible Box

10. 10—11. 25 目黒区美術館

朝日夕刊 11. 17 (三)

三重の旅人たち展 10. 13—11. 18
朝日町歴史博物館

右上展 9. 28—10. 13 なるせ美術
座

美術手帖 813 白坂ゆり

水のある風景展 美しい日本の風土
4. 27—5. 27 井原市立田中美術館

水辺の祈り 10. 30—1. 27 香川県
歴史博物館

水辺の情景とジャポニスム展
7. 21—9. 9 ニューオータニ美術
館

毎日 8. 29

読売夕刊 8. 22 増子美穂

水辺のモダン展 6. 16—8. 19 東京
都現代美術館

朝日夕刊 8. 3 田中三蔵

東京 7. 27 草薙奈津子

読売 6. 26、27、29、30、7. 1

加藤弘子

水を治める—西島八兵衛— 9. 13—
10. 28 香川県歴史博物館

密教の美術 10. 7—12. 16 高野山
霊宝館

緑の樹の下への夢 青森県創作版画家
たちの青春展 10. 12—11. 11 青
森県立郷土館

ミニチュアの世界展 手のひらの美
小林礫斎を中心に 4. 28—7. 8

たばこと塩の博物館

東京夕刊 6.8 草薙奈津子

日経 6.6 竹田博志

毎日 4.27 衛藤親

毎日 5.16

ミニマルマキシマルーミニマルアートとその展開展 4.10—6.3 千葉市美術館

芸術新潮 618

美術手帖 809 小西信之

朝日夕刊 4.26 神谷幸江

日経 4.17 宝玉正彦

毎日夕刊 3.15

読売夕刊 4.19

ミニマルマキシマルーミニマルアートとその展開展 6.19—8.12 京都国立近代美術館

瓜生通信 19 田川とも子

見る・写す・表す みる・うつす・あらわす ミル・ウツス・アラウス展 2.28—5.6 世田谷美術館
ドーム 59
毎日 4.4

魅惑のベルギー美術展 大原美術館
所蔵ベルギー作品特別公開
7.25—9.2 姫路市立美術館

収蔵品展 民家に刻まれた歴史

4.28—6.17 日吉町郷土資料館

明代の陶磁器1—綿半野原コレクション— 4.5—5.13 飯田市美術館

明代の陶磁器2—綿半野原コレクション— 6.28—9.19 飯田市美術館

明代の陶磁器3—綿半野原コレクション— 11.9—2.24 飯田市美術館

(ム)

武蔵野美術大学助手研究発表 助手展2001 1.9—1.18 武蔵野美術大学美術資料図書館

武者たちが通る—行列絵図の世界— 9.22—11.11 福島県立博物館

武者小路実篤の抽出しの中身 東京都寄贈資料を中心に 4.27—7.15 調布市武者小路実篤記念館

室町・江戸の屏風絵 当館コレクションの軌跡 4.14—6.17 栃木県立博物館

墨の造形—室町水墨画と墨跡—開館60周年記念名品展 第三部
6.29—5.5 根津美術館

(メ)

冥界の裁き 閻魔様と地獄の世界
東海に残る六道信仰の造形
9.15—10.21 四日市市立博物館

明治のメディア師たち 錦絵新聞の世界から展 9.1—9.21 日本新聞博物館
毎日 10.17

明治美術再見5 日本画—江戸の名残・京の薫 3.31—6.17 宮内庁三の丸尚蔵館

名物裂—渡来織物への憧れ展
11.3—12.2 五島美術館

美術の窓 219 佐藤留美

目黒アート・アニュアル2000 14作家の個展 2.3—2.25 目黒区美術館

目黒区の美術・書—2001 12.2—12.24 目黒区美術館

目—それぞれのかたち 21世紀の目展 10.17—10.23 高島屋(日本橋)

新美術新聞 939 中野嘉之談／林文責

東京夕刊 10.20 草薙奈津子

眼の革命 発見された日本美術展
10.2—11.18 渋谷区立松濤美術館

目の眼 302 矢島新

朝日夕刊 11.10

日経 10.30 竹田博志

メルツバッハー・コレクション展
6.2—7.22 安田火災東郷青児美術館

東京夕刊 6.1 千足伸行

東京夕刊 6.18 本江邦夫

東京夕刊 6.19 城戸真亜子

東京夕刊 6.21 栗津則雄

東京夕刊 6.22 山本貞

東京夕刊 6.23 黒井千次

東京夕刊 6.29 太田治子

日経 6.15 竹田博志

読売夕刊 6.27 中島啓子

(モ)

蒙古襲来絵詞展 3.3—4.8 熊本県立美術館

蒙古襲来と鎌倉仏教 8.23—11.18 神奈川県立金沢文庫

木版の美 版元—西宮書院と画家展
1.17—3.29 姫路市立美術館
芸術新潮 615

文字の登場、そして広まり—古代中世の人と文字をめぐる—
9.22—10.28 美濃加茂市民ミュージアム

もてなし展 10.4—11.18 福岡県立美術館

モノが語る歴史が変わる 2.25—3.4 香川県埋蔵文化財調査センター

モノクロームの守り神—画像石と十二支像 10.2—12.16 大阪府立近つ飛鳥博物館

(ヤ)

やきもの・せともの 9.4—11.22 国際基督教大学博物館湯浅八郎記念館

やすらぎと微笑みの美術 10.3—11.11 式年遷宮記念神宮美術館

矢田寺の仏像 1.4—2.4 奈良国立博物館

病 立ち向かう知恵の諸相
11.10—12.9 名古屋市博物館

病よ去れ—悪疫と呪術と医術—
10.20—11.25 古河歴史博物館

ヤマがあゆんだ近代 炭鉱遺産と、これから 6.15—8.15 北海道開拓記念館

山形の屏風絵展 もてなしの心と美の世界 10.6—11.11 山形県立博物館

山種美術館賞展 6.23—7.22 山種美術館
毎日夕刊 6.15

大和文華館所蔵 漆工芸の美
1.5—2.18 大和文華館

大和文華館所蔵 工芸名品展
11.16—12.24 大和文華館

大和文華館所蔵 高麗・李朝の美術
8.24—10.8 大和文華館

大和文華館所蔵 書の美 2.22—

3.31 大和文華館
大和文華館所蔵 茶湯の美術—茶人の書状を中心に— 7.6—8.19 大和文華館
大和文華館所蔵 花の美術 5.18—7.1 大和文華館
山梨の遺跡展2000 3.17—4.8 山梨県立考古博物館
山梨の遺跡—中世— 7.14—9.2 山梨県立考古博物館
弥生から古墳へ 時代の終わりと始まり 3.17—5.6 上高津貝塚ふるさと歴史の広場
弥生時代 日本海地域の交流 10.2—11.25 下関市立考古博物館
弥生都市はあったか—拠点環濠集落の実像— 10.26—11.25 佐賀県立美術館
弥生都市は語る 環濠からのメッセージ 4.21—6.24 大阪府立弥生文化博物館
槍の身振り 10.2—11.11 千葉県立房総風土記の丘
柔らかなみたて展 4.10—4.28 東京芸術大学正木記念館
新美術新聞 924

(ユ)

ユーモアと哀感の絵てがみ展 10.2—12.2 豊島区立雑司が谷旧宣教師館
東京 10.4
ユーラシア・アートプロジェクト展 5.15—5.25 鳥取砂丘
朝日 6.17
油画を読む 解剖された明治の名品たち展 8.7—9.24 東京芸術大学大学美術館
朝日夕刊 8.21
朝日夕刊 8.23 北澤憲昭
朝日夕刊 8.23 神谷幸江
日経 9.14
ユニバーサルデザイン展 1.23—3.30 すみだリバーサイドホール
東京 2.4

(ヨ)

遙玄展28回 12.2—12.9 東京都美術館

美術の窓 221 高山淳/功刀知子
ようこそ!はにわのふるさとへー関東の埴輪窯跡を訪ねて— 10.12—11.25 栃木県立しもつけ風土記の丘資料館
ヨーロッパ絵画 伝統の300年 東京富士美術館コレクションによる 9.8—10.23 芸術の森美術館
横浜トリエンナーレ2001展 9.2—11.11 パシフィコ横浜・赤レンガ一号倉庫他
aica JAPAN 2 南條史生/南高宏/平井亮一
あいだ 71
ギャラリー(月刊) 198、199 北川フラム、海老塚耕一対談
芸術新潮 623
新美術新聞 940 南高宏
新美術新聞 943 山脇一夫
新美術新聞 947 後小路雅弘
美術手帖 810 編集部+嘉藤笑子
美術手帖 811 松井みどり/堀元彰/市原研太郎/片岡真実/五十嵐太郎/川原英樹/白坂ゆり/佐々木敦/林央子/牧陽一/嘉藤笑子/
美術フォーラム21 5

朝日 8.4 田中三蔵
朝日 9.1 帯金章郎
朝日 9.18 荻野アンナ
朝日 10.8 大西若人
朝日 10.16、17、25—27
朝日夕刊 9.20
朝日夕刊 10.16 田中三蔵
産経夕刊 9.16 渋谷和彦
日経 10.7 宝玉正彦
毎日夕刊 9.5、6 三田晴夫
読売夕刊 10.3 菅原教夫
読売夕刊 10.4 前田恭二

吉原治良賞美術コンクール展11回

1.4—1.19 大阪府立現代美術センター

寄木細工〜海を渡った日本の木工芸〜展 金子コレクション 12.22—2.11 たばこと塩の博物館
芸術新潮 626

四葉地区遺跡 発掘調査の成果とそ

の軌跡 1.20—3.25 板橋区立郷土資料館
よみがえる北の中・近世 掘り出されたアイヌ文化 6.2—7.1 市立函館博物館
甦る古代の国際交流都市—引津湾と御床松原遺跡— 10.23—12.9 志摩町歴史資料館
甦る大環濠集落—吉野ヶ里から大塚まで— 7.20—9.2 横浜市歴史博物館

甦る大ローマ展 開催後70年 8.4—8.26 ホテルオークラ別館
芸術新潮 622
朝日夕刊 8.18 (盛)
東京 8.9

東京夕刊 8.17 草薙奈津子
よみがえる日本画—伝統と継承 1000年の知恵—展 4.27—6.10 東京芸術大学大学美術館
アートトップ 182
朝日 5.30
東京夕刊 5.25 塩野栄
日経 5.23 竹田博志

よみがえるハニワ工場—高槻市の埋蔵文化財展— 4.29—9.24 三方町縄文博物館

(ラ)

life/art'01展 11.1—12.23 資生堂ギャラリー
新美術新聞 944 樋口昌樹
ラッコとガラス玉 北太平洋の先住民交易 9.20—1.15 国立民族学博物館
ランデヴー展 3.22—4.8 スパイラルガーデン
美術手帖 803 山野真悟
東京夕刊 4.6 赤池学
日経 3.31

(リ)

リキテックス・ビエンナーレ入選作品展8回 3.14—3.19 青山スパイラルガーデン
李朝の工芸展 10.2—12.16 日本民藝館
毎日夕刊 9.21
李朝—美の世界 2.9—3.4 鹿児島県立歴史資料センター黎明館

栗東 はっくつ20 10.27—12.3
栗東市出土文化財センター

リバウンド/REBOUND展 4.27
—5.27 横浜美術館アートギャラリー

朝日夕刊 5.17 神谷幸江

龍角寺 五斗蔦瓦窯跡 出土遺物展
3.26—7.6 印旛郡市文化財センター

龍門石窟 9.1—12.16 MIHO
MUSEUM

没後170年記念展 良寛さん
1.20—2.25 Bunkamura ザ・
ミュージアム
美術の窓 210

料紙装飾 彩られた紙 10.6—
11.11 徳川美術館

料紙装飾の世界—紙に見る日本の
美— 10.13—11.25 茨城県立歴史館

遼寧省・京畿道・神奈川県 of 文物
展—名宝にみる文化交流の軌跡
11.3—12.2 神奈川県立歴史博物館

芸術新潮 625

両洋の眼展2001 2.6—2.11 三越
(日本橋)

新美術新聞 917 小倉忠夫/富
山秀男/瀧梯三/草薙奈津子/米
倉守

琳派と茶道具 萬野コレクションの
名品—挙公開 4.17—6.3 サン
トリ—美術館

春期展 琳派の襲ね—雅のかたち—
4.1—6.17 畠山記念館

出光コレクションの名品 琳派の華
酒井抱一展 5.19—7.1 出光美
術館

(レ)

冷泉為恭展—幕末やまと絵夢花火
11.3—12.9 岡崎市美術博物館
歴史のなかの“ともぶち”—靱淵八幡
と靱淵荘— 10.6—11.25 和歌
山県立博物館

レゴと建築2001展 10.11—11.11
天童市美術館

(ロ)

ローマン展33回 12.10—12.16 東
京都美術館

美術の窓 221 切刀知子

ロシア・アヴァンギャルド展 ポス
ター芸術の革命 ステンベルク兄
弟を中心に 2.10—4.1 東京都
庭園美術館

芸術新潮 615

朝日夕刊 3.10 (盛)

ロシア・イルクーツク州立郷土史博
物館展 バイカル湖地域に生きた
人々 シベリア先住民の歴史と文
化 7.25—8.26 石川県立歴史博
物館

ロバート・キャバ賞展 4.7—5.13
東京都写真美術館

読売 4.11 川口敏彦

読売 4.12 秋元和夫

読売 4.13、14 秋山哲也

読売夕刊 4.4

読売夕刊 4.10 池田利雄

(ワ)

和鏡の美 4.27—6.3 大分県立歴
史博物館

和紙でできたもの・和紙をつかった
もの 7.20—9.3 亀山市歴史博
物館

輪島の漆芸 7.6—9.2 石川県輪島
漆芸美術館

私にできること—みる、きく、ふれ
るの探検展 11.23—12.27 府中
市美術館

朝日夕刊 2.6 神谷幸江

私の愛する一点展 5.26—7.1 北
御牧村立梅野記念絵画館
産経 6.3 渋谷和彦

わたしの家はあなたの家、あなたの
家はわたしの家展 7.1—9.16
東京オペラシティアートギャラ
リー

美術手帖 810 川原英樹

朝日夕刊 7.12 神谷幸江

東京夕刊 8.24 草薙奈津子

渡辺華山を取り巻く人々2 渡辺華
山が仕えた主君たち 5.30—7.1
田原町博物館

草鞋の会展 2.22—2.27 ギャラ
リー新宿高野
産経 2.22

作家展

(ア)

あいだだいや展 6.21—8.31 コオ
ジオグラフィギャラリー(名古屋)

美術手帖 811 原田真千子

阿以田治修のモダニスト・ペイン
ティング展 絵画レッスン
4.27—6.17 栃木県立美術館

朝日夕刊 6.7 田中三蔵

会田誠・岡田(会田)裕子・会田寅次
郎 三人展 10.12—11.17 ミヅ
マアートギャラリー

朝日夕刊 10.27 (若)

相田みつをの世界 没後10年特別展
9.4—12.16 相田みつを美術館
産経夕刊 9.28 田中幸美/相田
知恵

霞光と交友の画家たち 11.6—1.14
広島県立美術館

青木陵子展 6.30—7.28 児玉画廊
(大阪)

美術手帖 811 永草次郎

青野正彫刻展 8.4—9.2 メタル
アートミュージアム
産経 8.19 渋谷和彦

赤木仁展 4.9—4.28 成山画廊
芸術新潮 619

赤坂知也・大竹敦人 乳化景—から
みあう視点、たたずむ視線展 建
築家と美術家のコラボレーション
3.28—4.1 東京国際フォーラム
[セゾン・アート・プログラム主
催]

赤瀬川原平展 境界を超えて—巷の
シュールレアリスム 9.2—10.14
SCAI THE BATHHOUSE
毎日夕刊 9.18

赤瀬川原平ポスター展 9.2—10.27
ポスターハリスギャラリー
芸術新潮 623
毎日夕刊 9.18

三岸節子・秋野不矩展 10.13—
11.18 天童市立秋野不矩美術館
日経夕刊 10.18

秋元幸茂展 12.10—12.22 シロタ画廊
朝井関右衛門 素描の魅力展 生誕100年 3.1—3.27 横須賀市文化会館市民ギャラリー
朝岡あかね展 3.10—3.31 コマンドN
美術手帖 806 白坂ゆり
畦地梅太郎展 生誕100年記念 9.29—11.25 町田市立国際版画美術館
新美術新聞 940 和南城愛理
足立源一郎展 7.27—8.27 長野県信濃美術館
阿部展也展 2.17—3.25 東京ステーションギャラリー
読売夕刊 3.23 (前)
雨宮敬子彫刻展 9.18—9.24 三越(日本橋)
新美術新聞 936 犬丸直
荒川修作—思考のプロセス展 11.18—4.8 群馬県立近代美術館
朝日夕刊 1.17 神谷幸江
荒木珠奈展 4.7—4.18 松明堂ギャラリー
美術手帖 808 白坂ゆり
メイプルソープ&アラキー—百花乱々展[荒木経惟] 6.13—7.1 小田急美術館
朝日夕刊 6.21 神谷幸江
有田匡展 熱帯の森 9.26—10.7 アートコレクション・コムニカ産経 9.26
有元利夫版画展 7.9—7.21 彌生画廊
毎日夕刊 7.13
有元利夫展 花降る時の彼方に 10.7—12.16 宇都宮美術館
芸術新潮 623
日経 11.16 宝玉正彦
毎日夕刊 9.28
アニ・アルバース展 6.25—7.13 横田茂ギャラリー
芸術新潮 621
アルバース展 小作品展示室常設展示No.210 1.5—2.12 福岡市美術館
アンソール版画展 James Ensor, graveur 7.11—8.12 東京ステーションギャラリー

芸術新潮 621
版画芸術 112 舟木力英
朝日夕刊 8.4 (盛)
東京 7.19
東京 7.23、25 福満葉子
東京 7.26
毎日 7.10
マリオ・A展[マリオ・アンブロシウス] 7.25—8.25 ミヅマアートギャラリー
芸術新潮 621
朝日夕刊 8.9 田中三蔵
産経 8.19

(イ)

イー・ブル展 Cyborg 10.25—12.8 SCAI THE BATHHOUSE
読売夕刊 11.10
飯沢耕太郎展—旅のおくりもの—絵・ことば 9.21—10.1 渋谷バルコ・ロゴスギャラリー
毎日 9.26 前田英司
イームズ・デザイン展 8.10—9.30 東京都美術館
芸術新潮 622
朝日夕刊 8.30 神谷幸江
読売 8.3 伊東豊雄
読売夕刊 9.4 隈研吾
家住利男 形と表面展 9.14—10.14 エキジビション・スペース
芸術新潮 623
アンドレイ・イエメツ展 6.16—7.8 坂出市民美術館
新美術新聞 929 濱野年宏
厳圭清展 7.23—7.29 桃居
芸術新潮 621
五十嵐威暢展 12.10—12.22 ギャラリーなつか
芸術新潮 626
池田龍雄新作展 24 HEADS—貳拾四の頭 4.2—4.21 ギャラリー東京ユマニテ
毎日夕刊 4.17 三田晴夫
イケムラレイコ展 4.20—5.26 ライスギャラリーbyG2
毎日夕刊 5.17 三田晴夫
幻の絵師ペロ展[伊坂芳太良] 8.29—9.10 新宿タカシマヤ
芸術新潮 622

平成13年美術展覧会(作ア、イ)

伊坂芳太良ポスター展 9.1—9.14 南青山・GALLERY360°
芸術新潮 622
伊坂芳太良展 Péro's 9.7—9.26 神宮前・ペーターズショップ アンドギャラリー
芸術新潮 622
井沢じゅん展 4.30—5.6 フタバ画廊
東京 4.27
石内都写真展 爪/Nail 9.1—11.24 ギャラリー・ドゥ
毎日 9.5 窪田千代
石踊達哉の視線展 5.15—5.20 三越(日本橋)
読売夕刊 5.11
石川重信回顧展 4.9—4.15 アート・ミュージアム・ギンザ
石川順恵展 5.29—6.23 セゾンアートプログラム・ギャラリー
毎日夕刊 6.4 三田晴夫
石塚雅子展 2.13—3.26 za Gallery 有明
東京 2.16
石原正、友利宇景、村松昭 三人の絵師たちの天空からの眺め展 3.1—3.28 INAXギャラリー
石本正 美の世界展 絵をかくよろこび 4.7—5.27 石正美術館
芸術新潮 618
石本正展—石正美術館開館記念 11.1—11.13 大丸ミュージアム・東京
朝日夕刊 10.27 神英雄
東京夕刊 11.10 草薙奈津子
毎日夕刊 10.26
石元泰博写真展 1946—2001 4.1—5.27 高知県立美術館
朝日夕刊 5.11 大西若人
居城純子展 9.11—9.23 時限美術計画/T. L. A. P
美術手帖 812 白坂ゆり
磯崎新展 アンビルド/反建築史 1.20—3.24 ギャラリー・間
朝日夕刊 2.21
板谷奈津展 3.10—4.29 コオジオグラギャラリー(名古屋)
美術手帖 806 原田真千子
板谷波山展 2.6—4.1 出光美術館
日経 3.7 宝玉正彦

平成13年美術展覧会(作イ、ウ)

板谷波山一珠玉の陶芸展 館蔵品による 4.10—6.24 出光美術館(大阪)
板谷波山一茶道具を中心に展 館蔵品による 6.7—9.2 出光美術館(門司)
板谷波山と近代の陶芸展—「創造」と「個性表現」の系譜— 10.6—11.18 茨城県陶芸美術館
新美術新聞 943 山口和子
朝日夕刊 11.15 樋田豊次郎
市川明廣彫刻展 4.7—5.17 調布市文化会館
毎日夕刊 5.14
吉田曉子+市川武史展 6.4—6.23 東京画廊
美術手帖 809 白坂ゆり
一木平蔵展 5.31—6.5 紀伊國屋画廊
毎日夕刊 6.4 三田晴夫
イチハラヒロコ展 「万引きするで。」 9.13—10.8 カソレール原宿
毎日 8.22 安河内誠
一色邦彦 彫刻とデッサン展 21世紀のモニュメント 7.20—8.19 茨城県つくば美術館
新美術新聞 933 舟木力英
井出日出志展 3.17—4.28 ギャラリーHAM(名古屋)
美術手帖 805 原田真千子
伊藤明倫展 6.12—6.30 カノーヴァン(名古屋)
美術手帖 810 原田真千子
伊藤聚展 4.23—4.28 ガレリア・グラフィカbis
芸術新潮 618
伊藤清永展 3.7—3.13 高島屋(日本橋)
新美術新聞 919 瀧梯三
伊藤公象展 1.9—2.3 村松画廊
毎日夕刊 1.23 三田晴夫
伊東深水展 1.25—2.6 高島屋(日本橋)
朝日夕刊 1.20 大西若人
伊藤存展 10.13—11.10 児玉画廊(大阪)
美術手帖 814 古川誠
伊藤福紫展 空間と時間の中に 公募・今日の作家シリーズ 2.5—

2.16 大阪府立現代美術センター
伊藤誠・満江英典展 さまざまな眼 117 5.17—6.12 かわさきIBM市民文化ギャラリー
毎日夕刊 5.31 三田晴夫
伊藤東彦展—布目技法の原点とその展開—茨城の陶芸 6.14—10.14 茨城県陶芸美術館
井上廣子展 記憶・境界・不在 公募・今日の作家シリーズ 2.19—3.2 大阪府立現代美術センター
猪瀬光写真展 3.12—3.24 Space Kobo&Tomo
美術手帖 805 白坂ゆり
産経 3.18 渋谷和彦
読売夕刊 3.21 (前)
井路愛展 花と遺跡風景とマヤ文様 5.15—5.21 中央美術画廊
毎日 5.9 山縣章子
ファブリス・イバール展 9.7—11.25 ワタリウム美術館
朝日夕刊 10.4 神谷幸江
今井幸子展 5.16—5.22 小田急美術館
新美術新聞 925 ワシオ・トシヒコ
今井裕子展 11.26—12.8 ガレリア・フィナルテ(名古屋)
etc. 38 言水ヘリオ
今西錦司の世界 12.8—3.28 京都大学総合博物館
イルフォヴァーヌ展 現代ルーマニアの形象詩—愛と死のドラマ 11.6—12.7 ギャラリーMMG
芸術新潮 625
岩井俊雄 テクノロジープレイグラウンド2001《PHOTON~光の音楽》展 8.3—8.19 ラフォーレミュージアム原宿
美術手帖 811 佐藤雅彦
岩城直美展 クリテリオム45 2.10—3.11 水戸芸術館現代美術ギャラリー
芸術新潮 616
岩熊力也展 7.23—8.4 なびす画廊
美術手帖 811 梅津元
岩崎貴宏展 10.22—10.27 ギャラリーなつかb.p
美術手帖 814 白坂ゆり

岩谷由愛展 4.2—4.7 Oギャラリーeyes(大阪)
美術手帖 808 永草次郎
岩本拓郎展 1.11—1.27 かねこあーとギャラリー
毎日夕刊 1.22 三田晴夫

(ウ)

レイモン・エミール・ヴァイドリッチ展 10.3—10.27 ギャラリーMMG
芸術新潮 624
ヴァンジ彫刻展—人間像の復権— 3.17—10.21 箱根彫刻の森美術館
新美術新聞 921 永井泰山
産経 1.7、9.23 松村壽雄
産経 3.17
ナオミ・ヴァン・ホルバット・カーク展—東西、東西— 4.16—4.28 ギャラリー砂翁&トモス
毎日 4.4 宮本扶未子
河井寛次郎と植木茂 ふたりの木彫展 6.12—7.29 千葉市美術館
芸術新潮 621
日経 7.24
上野長雄展 郷土の木版画家 10.31—12.24 姫路市立美術館
上原三千代展 7.20—9.2 高崎市美術館
朝日夕刊 8.9 田中三蔵
カラ・ウォーカー展 12.1—12.29 タカ・イシイギャラリー
芸術新潮 626
宇佐美圭司・絵画宇宙展 6.29—7.29 福井県立美術館
美術館だより 92 野田訓生
朝日夕刊 7.25 大西若人
牛島憲之展 2.10—4.15 神戸市立小磯記念美術館
朝日夕刊 2.15 大西若人
ウシャ写真展 未来への回想 9.17—10.28 東京工芸大学・写大ギャラリー
毎日 8.29 山縣章子
毎日夕刊 9.14
内海聖史展 10.23—11.4 T.L.A.P/時限美術計画
美術手帖 816 白坂ゆり
内田あぐり展 6.18—7.15 KID

AILACK ART HALL
東京夕刊 6.22 草薙奈津子
内間安理展 5.9—5.26 ときの忘れもの
芸術新潮 619
梅津五郎展 9.4—9.9 東京セントラル美術館
新美術新聞 935 橋本光記
トミ・ウンゲラーの仕事 絵本・ボスター・彫刻展 ストラスブール市コレクションによる 5.3—6.10 板橋区立美術館
芸術新潮 616

(エ)

ローリー・トビー・エディンソン展
近作展26 からだへの瞑想
8.2—9.2 国立国際美術館
江幡三香展 休-hitotoki—レジ
ンス・イン・天竜 7.28—9.2
天竜市立秋野不矩美術館
朝日 8.26
マックス・エルンスト展 驚異と魅惑の幻想宇宙 8.4—9.24 岡崎市美術館(マインドスケープ・ミュージアム)
遠藤彰子個展 刻の花 7.24—7.30 三越(日本橋)
新美術新聞 932 米倉守
東京夕刊 7.26
日経 7.25 宝玉正彦

(オ)

大久保英治展 10.28—12.28 メゾンエルメス 8階フォーラム(銀座)
読売夕刊 11.8 (菅)
おおた慶文の世界展 7.11—7.29 そごう美術館
毎日 7.11 関根浩一
赤坂知也・大竹敦人 乳化景—からみあう視点。たたずむ視線展 建築家と美術家のコラボレーション 3.28—4.1 東京国際フォーラム [セゾン・アート・プログラム主催]
大竹伸朗展 デジタル・ワークス 鼠 景/MOUSCAPE 4.26—7.1 エプソンイメージングギャラリーエプサイト

芸術新潮 619
日経夕刊 6.26
大沼映夫展 10.16—12.25 駒ヶ根高原美術館
毎日夕刊 11.26
大野佐紀子展 9.24—10.6 ウエストベスギャラリー コヅカ(名古屋)
美術手帖 813 原田真千子
大場英治個展 6.13—6.19 高島屋(日本橋)
新美術新聞 932 油井一人・選／高岡忠雄取材・文
大平和正展 風還元(1991—2001)野外プロジェクト／伊賀・入道谷 10.20—12.2 三重県阿山郡阿山町玉滝地区・入道谷界限
朝日 11.18
産経 11.18 早瀬廣美
大平實展 7.2—7.28 村松画廊／INAXギャラリー
朝日夕刊 7.12 田中三蔵
大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫展 日本画の三人 9.15—10.28 新潟県立近代美術館
岡義実展 10.24—10.29 小田急美術館
新美術新聞 940 五十嵐卓
岡崎和郎展 2.19—3.16 横田茂ギャラリー
美術手帖 805 新見隆
尾形月耕展 5.21—6.30 中央区郷土資料館
産経 6.2
緒方洪章淡彩画展 3.16—3.23 和光ホール
東京 3.16
岡田修二展 「Waterscope」 5.7—6.1 第一生命南ギャラリー
読売夕刊 5.24
会田誠・岡田(会田)裕子・会田寅次郎 三人展 10.12—11.17 ミヅマアートギャラリー
朝日夕刊 10.27 (若)
岡本信治郎《笑う雪月花》展 3.1—5.31 池田20世紀美術館
岡本太郎と戦後写真—日本発見 4.28—7.22 川崎市岡本太郎美術館
岡本太郎と縄文展 8.11—10.8 川

崎市岡本太郎美術館
毎日夕刊 8.3
読売夕刊 8.30 (菅)
岡本太郎 EXPO'70 太陽の塔からのメッセージ展 10.28—1.28 川崎市岡本太郎美術館
朝日夕刊 1.20 (盛)
岡本唐貴とその時代展 尖端に立つ男 1920—1945 4.20—6.3 倉敷市立美術館
あいだ 65 山口昌男
岡山県立美術館ニュース 53 柳沢秀行
小川信治展 3.31—4.28 ギャラリーキャプション(岐阜)
美術手帖 806 原田真千子
小河朋司展 Optical-limit〜まぶたの裏の景〜 2.26—3.17 ギャラリーなつか
産経 3.4 渋谷和彦
毎日夕刊 3.8 石川健次
荻太郎・中根寛二人展 岡崎ゆかりの洋画家 4.28—6.10 岡崎市美術館(マインドスケープ・ミュージアム)
荻須高德展 生誕100年記念 4.18—6.3 目黒区美術館
朝日 4.18 矢内みどり
朝日 5.22 中根寛
朝日 5.25 今里隆
朝日 5.26 佐藤忠良
朝日夕刊 4.12 田中三蔵
朝日夕刊 5.24 石鍋裕
東京夕刊 4.27 中村隆夫
読売 5.23 石井好子
奥谷博展 5.8—5.13 三越(日本橋)
新美術新聞 925 武田厚
奥原晴湖展 2.10—3.20 茨城県立歴史館
芸術新潮 616
奥村綱雄展 8.6—8.18 藍画廊
美術手帖 812 白坂ゆり
小倉遊亀 追悼特別展 4.21—5.27 滋賀県立近代美術館
新美術新聞 925 岩田由美子
小沢剛★中山ダイスケ クロスカウンター展 2.27—4.8 川崎市岡本太郎美術館
etc. 30 崩清明

朝日夕刊 3.14 神谷幸江
竹喬1945～1979—《奥の細道句抄絵》
への道—展[小野竹喬] 3.24—
5.6 笠岡市立竹喬美術館
小野木学展 小作品展示室常設展示
No.212 3.27—5.27 福岡市美
術館
オノデラユキ「真珠のつくり方」
「ZOO」展 2.9—3.3 ツァイト・
フォト・サロン
芸術新潮 616
オノデラユキ「窓の外を見よ」展
2.17—3.17 il tempo
美術手帖 805 新見隆

(カ)

ラウル・デ・カイザー展 11.16—
12.22 ワコウ・ワークス・オ
ブ・アート
etc. 38 芦谷英美
芸術新潮 625
開発好明展 8.6—8.11 ギャラ
リィK
美術手帖 811 白坂ゆり
KAWS TOKYO FIRST展 3.16—
4.16 パルコギャラリー
芸術新潮 617
美術手帖 806 川原英樹
毎日 3.21 宮本扶未子
寛忠治展 10.24—11.7 名古屋画
廊
寛本生展 5.25—6.6 日動画廊
東京夕刊 6.1 中村隆夫
笠井誠一展 安田火災東郷青児美術
館大賞受賞記念24回 11.3—12.9
安田火災東郷青児美術館
新美術新聞 942 紺野修司
東京夕刊 11.17 中村隆夫
日経 11.28 竹田博志
片岡健二展 5.29—6.3 同時代
ギャラリー(京都)
美術手帖 810 永草次郎
片岡真太郎展 画集刊行記念
9.12—9.21 日動画廊
新美術新聞 936 佃堅輔
片岡球子展 9.26—10.8 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 937 奥岡茂雄
東京 10.6 草薙奈津子
毎日夕刊 10.4 石川健次

勝井三雄展 視覚の地平線 11.5—
12.6 武蔵野美術大学美術資料図
書館
加藤泉展 3.17—4.15 水戸芸術館
現代美術ギャラリー第九室
美術手帖 806 白坂ゆり
加藤美佳展 12.8—1.14 水戸芸術
館現代美術ギャラリー
芸術新潮 627
鹿子木孟郎展 師ローランスとの出
会い 4.28—6.17 府中市美術館
朝日夕刊 6.7 田中三蔵
鯨崎英朋と鎬木清方展 1.3—3.27
弥生美術館
東京夕刊 2.9 草薙奈津子
下保昭 山水新世紀・川崎春彦 色
彩七変化展—時代を超える日本画
2.10—3.25 茨城県近代美術館
上條陽子展 6.15—7.7 色彩美術
館
東京夕刊 6.29 中村隆夫
神谷徹展 9.17—9.22 ギャラリー
白(大阪)
美術手帖 813 永草次郎
亀倉雄策・土門拳・勅使河原蒼風展
三人三様 11.5—12.21 草月美
術館
朝日 11.19
加守田章二展 9.15—11.25 陶芸
メッセ・益子
日経 9.21 竹田博志
カラヴァッジョ 光と影の巨匠—バ
ロック絵画の先駆者たち展
9.29—12.16 東京都庭園美術館
芸術新潮 622
朝日 9.25 若桑みどり
朝日 10.22、24、25、27、29
宮下規久朗
朝日夕刊 3.17 岡部昌幸
朝日夕刊 10.2 高階秀爾
朝日夕刊 10.11 神谷幸江
朝日夕刊 11.15 篠田節子
唐澤栄川 漆工芸の美 10.23—
12.2 中津川市苗木遠山史料館
アレクサンダー・カルダー展
10.20—12.16 川村記念美術館
朝日夕刊 11.15 神谷幸江
河井寛次郎と近代の工芸展 館蔵
日本の近代美術Ⅰ 2.17—3.25
静嘉堂文庫美術館

芸術新潮 616
河井寛次郎と植木茂 ふたりの木彫
展 6.12—7.2 千葉市美術館
芸術新潮 621
日経 7.24
かわいひでのり展 3.2—3.11
アートスペースdot(名古屋)
美術手帖 805 原田真千子
河合勇作 MIGRATION MOON展
3.19—3.31 ギャラリーSOL
毎日夕刊 3.27 石川健次
川上澄生の女性像展 4.7—9.24
鹿沼市立川上澄生美術館
川上澄生の版画教室 10.6—3.24
鹿沼市立川上澄生美術館
川越夏未展 2.12—2.17 Oギャラ
リーeyes(大阪)
美術手帖 805 永草次郎
下保昭 山水新世紀・川崎春彦 色
彩七変化展—時代を超える日本画
2.10—3.25 茨城県近代美術館
新美術新聞 917 金原宏行
川島清展 6.26—7.21 セゾンア
ートプログラム・ギャラリー
毎日夕刊 7.3 三田晴夫
川島清展 9.14—10.20 フジテレ
ビギャラリー
朝日夕刊 10.6 (三)
産経 10.7 渋谷和彦
毎日夕刊 10.2 三田晴夫
川島亮子展—《空間》の相対性と絶対
性 1.12—2.2 ギャラリーαM
川添泰宏展 9.17—10.13 武蔵野
美術大学美術資料図書館
川田喜久治展 10.3—10.31 フォ
ト・ギャラリー・インターナショ
ナル
芸術新潮 624
鈴木理策+河田政樹展 9.3—9.22
東京画廊
美術手帖 812 梅津元
河鍋曉斎と門人たち 10.13—11.25
小杉放菴記念日光美術館
川西英の新・旧「神戸百景」—川西祐
三郎作品とともにたどる20世紀の
神戸の姿展 7.20—9.2 神戸市
立博物館
川俣正 デイリーニュース展
11.3—1.14 水戸芸術館現代美術
ギャラリー

芸術新潮 625
 新美術新聞 943 森司
 朝日夕刊 12.13 大西若人
 朝日夕刊 12.20 神谷幸江
 毎日夕刊 12.3 三田晴夫
 読売夕刊 11.15 (菅)
 川村直子展 10.1—10.13 コバヤシ画廊
 美術手帖 814 梅津元
 毎日夕刊 10.9 三田晴夫

(キ)

グレート・キールバーグ展
 10.27—11.4 羽黒洞
 毎日夕刊 10.12
 きくちさかえ写真展 いのちのおくりもの〜ブラジルの大地に赤ちゃんが生まれる 10.20—12.2 池袋サンシャイン60展望台スカイギャラリー
 朝日夕刊 11.11
 菊地武彦展 11.19—12.1 東邦アート
 東京夕刊 11.24 草薙奈津子
 菊池伶司・清原啓子銅版画展
 6.9—7.29 町田市立国際版画美術館
 芸術新潮 621
 日経 7.4 宝玉正彦
 菊池茂久馬展 3.5—3.31 カサハラ画廊
 毎日夕刊 3.12 三田晴夫
 岸田劉生展 生誕110年 2.9—4.1 愛知県美術館
 朝日夕刊 3.16 北澤憲昭
 岸田劉生展 生誕110年 4.7—5.20 神奈川県立近代美術館
 産経 5.13 渋谷和彦
 東京 4.22、23 橋秀文
 東京 4.26、27 長門佐季
 東京 4.28 原田光
 東京夕刊 4.27 酒井忠康
 日経 4.25 竹田博志
 北大路魯山人の春夏秋冬展 1.6—1.15 東急百貨店本店
 毎日夕刊 1.4 岡田拓士インタビュー
 北郷悟展 11.5—11.17 ギャラリーせいほう/ときの忘れもの

新美術新聞 942 鷹見明彦
 私が持っている北沢楽天画伯展 個人所蔵の北沢楽天肉筆画 3.17—5.7 大宮市立博物館
 北辻良央展 6.18—6.30 なびす画廊
 毎日夕刊 6.21 三田晴夫
 北村さゆり展 4.2—4.14 戸村美術/柴田悦子画廊
 東京夕刊 4.6 草薙奈津子
 北山善夫と中学生たち展 いのちを考える 8.11—9.24 伊丹市立美術館
 ドーム 59
 橋田尚之展 1.8—1.20 ギャラリー21+葉
 毎日夕刊 1.16 三田晴夫
 城戸夏男展 茨城の陶芸 10.18—2.11 茨城県陶芸美術館
 木原千春展 7.24—8.26 ギャラリー北村
 産経 8.12 渋谷和彦
 木村圭吾日本画の世界 たなべ不動尊・法楽寺・障壁画完成記念展 10.25—10.30 大丸ミュージアム・心斎橋
 新美術新聞 940 川口直宜
 カジ・ギャスディン展 3.12—4.21 杏美画廊
 毎日夕刊 3.26 三田晴夫
 ロバート・キャパ展 7.20—9.2 いわき市立美術館
 菊池伶司・清原啓子銅版画展 6.9—7.29 町田市立国際版画美術館
 芸術新潮 621
 日経 7.4 宝玉正彦
 貴和皓山展 10.31—11.5 松屋(銀座)
 読売夕刊 10.31

(ク)

クー・ジュン・ガ Shima/Islands展 2.2—2.28 重森邸(京都)
 美術手帖 805 嘉藤笑子
 具本昌展(Bohnchang koo) 3.12—4.12 BASE GALLERY
 釘宮對宏展—壮烈な画業— 12.1—1.20 茨城県近代美術館

平成13年美術展覧会(作カ〜ク)

日下部一司展 1.29—2.10 信濃橋画廊5(大阪)
 美術手帖 803 中谷次郎
 日下部金兵衛とその世界展 明治のハイカラ写真館 4.29—7.29 横浜開港資料館
 日経 6.28
 草間彌生展 7.6—8.4 オオタファインアーツ
 毎日夕刊 7.23 三田晴夫
 國重陽子油絵展—ミネルヴァの飛翔 7.17—8.12 相鉄ギャラリー
 東京夕刊 8.3 中村隆夫
 國安孝昌 森に棲む環 7.28—9.16 府中市美術館
 久保木彦絵画展 鉄道の調べ 10.14—11.25 成田山靈光館
 窪田美樹展 10.19—11.9 ギャラリーαM
 美術手帖 816 白坂ゆり
 ガブリエレ・グマイナー東京展 12.30—1.28 ギャラリー・エフ東京 1.9
 倉橋桂子・メタルビーズの世界展 10.22—10.26 高輪プリンスホテル・迎賓館
 毎日 10.17 大森泰貴
 倉本麻弓展 1.15—1.21 ガレリアラセン
 芸術新潮 615
 美術手帖 801 白坂ゆり
 栗本百合子展 9.2—9.24 旧加藤商会ビル(名古屋)
 美術手帖 812 原田真千子
 クリヨノ展 バリの女 6.23—7.31 インドネシア文化宮(新宿)
 産経 7.4
 ダン・グレアム Shima/Islands展 3.23—3.31 重森邸(京都)
 美術手帖 805 嘉藤笑子
 ジョージ・グロス展 Ecce Home 1.9—1.16 名古屋画廊
 黒田清輝展 近代日本洋画の巨匠 7.19—9.2 宮城県美術館
 読売夕刊 8.23
 黒部晃一 アルゴリズムを越えて 4.7—6.3 府中市美術館
 桑原甲子雄写真展 ライカと東京 6.19—9.2 東京都写真美術館

平成13年美術展覧会(作クヘサ)

朝日夕刊 7.7 (丘)
桑原弘明展 12.18—12.29 スパン
 アートギャラリー
 芸術新潮 626

(コ)

コイズミア展 10.17—11.2
 ギャラリー椿
 芸術新潮 624
小泉定弘展 日暮里・舎人線を歩く
 5.12—5.20 町屋文化センターふ
 れあい広場
 東京 5.11
小泉淳作展 ひとり歩き その軌跡
 4.7—5.13 東京ステーション
 ギャラリー
 芸術新潮 619
 日経 4.13 竹田博志
小出真己絵画展「たびだち」 3.4—
 3.6 有楽町阪急8階ギャラリー
 東京 2.23
森村泰昌と合田佐和子展 2.11—
 3.25 高知県立美術館
 美術手帖 808 新見隆
河野通紀展 3.17—4.15 西宮市大
 谷記念美術館
アントニー・ゴームリー展 5.18—
 7.19 現代彫刻センター
 芸術新潮 619
 朝日夕刊 6.1 田中三蔵
 毎日夕刊 6.12 三田晴夫
古賀春江 創作の原点展 4.28—
 7.1 プリヂストン美術館
 日経 5.25 竹田博志
ジャン・コクトー展—美しい男たち
 3.31—5.20 Bunkamura ザ・
 ミュージアム
 芸術新潮 617
 産経 4.29 渋谷和彦
 東京夕刊 4.13 中村隆夫
 毎日 2.21 宮本扶未子
木暮伸也展 5.7—5.12 モリス
 ギャラリー
 美術手帖 809 白坂ゆり
児嶋サコ展 10.1—10.6 Oギャラ
 リーeyes(大阪)
 美術手帖 813 永草次郎
小嶋悠司の創造展 4.28—6.10 練
 馬区立美術館
 芸術新潮 619

新美術新聞 926 野地耕一郎
 東京夕刊 5.11 草薙奈津子
 日経 5.10 宝玉正彦
 毎日 6.6
小清水漸展 1.29—2.17 東京画廊
 美術手帖 803 新見隆
 毎日夕刊 2.5 三田晴夫
 読売夕刊 2.7 (菅)
**小関庄太郎と日本の芸術写真—光の
 ノスタルジア** 6.9—7.8 福島県
 立美術館
小西修一水彩画展 10.4—10.9
 ギャラリー新宿高野
 産経 10.4
小林耕平展 6.23—7.22 ギャラ
 リーNAF(名古屋)
 美術手帖 810 原田真千子
小林古径特別展 9.29—10.21 上
 越市立総合博物館(小林古径記念
 美術館)
小林俊介展 10.29—11.3 村松画
 廊
 美術手帖 814 梅津元
小林晴夫展 3.5—3.17 GALERIE
 SOL(東京)
 美術手帖 805 白坂ゆり
小林裕児 5500枚のドローイング展
 9.17—9.22 風童門
 美術の窓 218 小林裕児／編集
 部インタビュー
小林良一展 6.22—7.18 ヨコハマ
 ポートサイドギャラリー
 毎日夕刊 6.25 三田晴夫
小松均展 生誕100年記念 9.15—
 10.21 宮城県美術館
小山穂太郎展 1.17—2.24 秋山画
 廊
 美術手帖 803 新見隆
 毎日夕刊 1.30 三田晴夫
 読売夕刊 2.13 (菅)
ファブリツィオ・コルネリ展
 9.28—11.4 東京都写真美術館
 芸術新潮 623
**今純三・和次郎とエッチング作家協
 会展** 4.3—5.13 渋谷区立松濤
 美術館
 芸術新潮 618
 版画芸術 111 瀬尾典昭
 朝日夕刊 4.28 (盛)
 読売 5.1 (前)

(サ)

齋木克裕展 2.19—2.25 フタバ画
 廊
 美術手帖 803 白坂ゆり
**斎藤典彦展 Water Land—彼の水
 へ—京橋界限2001** 7.2—7.19
 森田画廊
 東京夕刊 7.6 草薙奈津子
斎藤美奈子展 9.7—10.6 ビュー
 イングルーム ヨツヤ
 産経 9.23 渋谷和彦
斎藤義重展 7.2—7.14 東京画廊
 毎日夕刊 7.12
五月女幸雄の世界展 9.1—11.30
 池田20世紀美術館
 新美術新聞 936 ワシオトシヒ
 コ
境澤邦泰展 1.20—3.4 鎌倉画廊
**坂本優子・堀由樹子展 さまざまな
 眼115** 2.22—3.20 かわさき
 IBM市民文化ギャラリー
**坂本一道退官記念展 正方形と六角
 形の時** 12.6—12.24 東京芸術
 大学大学美術館
 芸術新潮 626
作間敏広展 colony 1.12—2.12
 エキジビション・スペース
櫻井孝美展 4.6—4.16 日動画廊
 本店・アネックス日動画廊
 新美術新聞 922 宝木範義
櫻井伸浩・吉村朝丈二人展 兆し
 2.5—2.17 麻布アートサンサン
 ヨン
 東京 2.2
**桜井寛展 武蔵野美術大学教授退官
 記念** 6.11—7.10 武蔵野美術大
 学美術資料図書館
 新美術新聞 930 松樹路人／油
 井一人
笹川弘三展 9.24—10.7 ギャラ
 リー喜久田
 産経 10.2
佐々木大展 10.1—10.13 マキイ
 マサルファインアーツS
 美術手帖 813 梅津元
佐藤譲二展 7.23—8.4 フタバ画
 廊
 美術手帖 811 白坂ゆり
 産経 7.29 渋谷和彦

佐藤忠良・舟越保武二人展 4.21—5.27 足利市立美術館
 佐藤時啓展 1.9—2.10 ギャラリーGAN
 美術手帖 801 白坂ゆり
 毎日夕刊 1.30 三田晴夫
 里見勝蔵と三岸好太郎 二人の野獣^{フオー}
^{グレイスト} 9.14—11.18 北海道立三岸好太郎美術館
 實松亮展 6.22—7.29 NTTインターコムニケーション・センター[ICC]ギャラリーB
 美術手帖 810 梅津元
 佐野朝彦展 鎮魂のチェルノブイリ 9.17—9.22 ギャラリー・アートグラフ
 毎日 9.18 宮本扶未子
 澤田政廣展 彫刻界の巨匠 7.14—9.2 茂原市立美術館・郷土資料館
 澤田知子展 3.9—3.14 ROCKET 美術手帖 806 白坂ゆり

(シ)

ジョージ・シーガル展 4.21—6.3 ひろしま美術館
 芸術新潮 623
 ジョージ・シーガル展 9.13—10.21 Bunkamuraザ・ミュージアム
 産経 9.30 渋谷和彦
 椎原保展 5.7—5.19 Oギャラリーeyes(大阪)
 美術手帖 809 永草次郎
 ジャンルー・シーフ写真展 1.20—3.4 東京写真文化館
 読売 1.5、2.5
 スダルシャン・シェッティ展 現代アジアの作家2 9.1—10.28 福岡アジア美術館
 志賀丈二展 Part1 未発表作品による浮世絵シリーズ 1.9—1.25 アートギャラリー環
 設楽知昭展 1.23—2.24 白土舎(名古屋)
 美術手帖 803 原田真千子
 実験工房の作家たち 千葉市美術館所蔵作品展 11.13—1.20 千葉市美術館

美術手帖 817 中ザワヒデキ
 朝日夕刊 12.20 田中三蔵
 毎日夕刊 12.11 三田晴夫
 篠崎里美展 眠らない森 11.8—11.14 東急百貨店本店
 東京夕刊 11.7
 篠塚聖哉展 10.22—10.28 フタバ画廊
 美術手帖 814 梅津元
 篠原有司男展 6.9—7.22 府中市美術館
 日経 7.17 宝玉正彦
 篠原有司男展 7.2—7.21 ギャラリー山口
 朝日夕刊 7.12 田中三蔵
 東京夕刊 7.13 中村隆夫
 日経 7.17 宝玉正彦
 柴田健治展 10.11—11.10 廻町画廊(東京)
 美術手帖 814 白坂ゆり
 芝高康造展 3.26—4.7 天野画廊(大阪)
 美術手帖 806 永草次郎
 フレッチャー・シブソープ来日展 6.5—6.10 Bunkamura Gallery
 毎日 5.16 宮本扶未子
 清水伸展 1.8—1.27 ギャラリー山口
 毎日夕刊 1.16 三田晴夫
 読売夕刊 1.22 (前)
 清水比庵—毎日歌境—展 4.22—6.3 小杉放菴記念日光美術館
 シャガール Mein Leben展 2.1—2.9 名古屋画廊
 マルク・シャガール展 愛の讃歌—故郷への想い 4.14—5.20 群馬県立近代美術館
 毎日 4.25
 シャガールの《アレコ》—色彩が語る情熱の詩— 9.15—9.17 青森市文化会館
 寿福滋写真展 シベリアを越えて 杉原千畝のビザとユダヤ人たちの脱出行 7.20—8.31 銅鐸博物館
 白髪一雄展 6.2—7.22 兵庫県立近代美術館
 ピロティ 120 安黒正流
 朝日夕刊 6.21 大西若人
 申明銀展 3.22—4.21 SCAI THE

平成13年美術展覧会(作サヘス)

BATHHOUSE
 美術手帖 806 新見隆

(ス)

須賀昭初展 1.20—2.10 島田画廊
 芸術新潮 615
 菅沼隆二展 パーミヤン大仏 最期の姿 8.18—8.30 シーパンスN館ギャラリー
 読売夕刊 6.8
 杉田憲也展 気持ちいいオブジェ 2.15—3.27 TEPCO銀座館 プラスマイナスギャラリー
 東京 2.16
 杉本博司展 4.18—5.25 ギャラリー小柳
 毎日夕刊 5.7 三田晴夫
 杉山英治 ウミガラスと仲間たち展 11.14—11.27 東京ビル1階展示スペース
 東京 11.26
 杉山啓子展—モリスの遺伝子— 2.1—2.26 INAXギャラリー
 ジュディス・スコット “メタモルフォーシス” アウトサイダーアート展11回 6.20—7.29 資生堂ギャラリー
 芸術新潮 621
 朝日夕刊 7.21 (盛)
 鈴木藏展 志埜一人間国宝 8.30—9.3 高島屋(日本橋)
 日経 9.3
 毎日夕刊 8.24
 鈴木喜一水彩画展 語りかける風景 1991—2001 1.19—1.31 アユミギャラリー
 東京 1.19
 鈴木貞三会長寿寿記念展 11.13—11.18 新宿区民ギャラリー
 産経 11.14 出口太
 鈴木久雄2001展 6.25—7.14 南天子画廊
 鈴木理策展 M. SUGAWARA天神御霊信仰伝 1.31—4.1 エブソニイメーjingギャラリーエブサイト
 美術手帖 805 新見隆
 鈴木理策展 風を見る 山にさわる 8.3—8.31 フォト・ギャラリー・インターナショナル

平成13年美術展覧会(作ス〜タ)

- 芸術新潮 622
- 鈴木理策+河田政樹展 9.3—9.22
東京画廊
美術手帖 812 梅津元
- 須田国太郎展 9.18—12.16 上原
近代美術館
日経 9.26 竹田博志
読売夕刊 9.12 原田光
- 須田国太郎展 10.15—11.22 白銅
鞆画廊
- 須田国太郎 下蒲刈町立蘭島閣美術
館 開館10周年記念特別展
10.26—12.9 蘭島閣美術館
新美術新聞 943 楨富記子
- 須田剋太展—生命の根源を求めて
3.13—3.18 三越(日本橋)
朝日 3.5 浅野稔
- エドワード・スタイケン写真展
4.9—6.10 東京工芸大学・写大
ギャラリー
日経 5.12
- スタジオ・アズーロ タンブーリ
展 4.20—6.10 NTTインターコ
ミュニケーション・センター
[ICC]
読売夕刊 4.26
朝日夕刊 6.1 田中三蔵
毎日 4.18 宮本扶未子
- 砂澤ビッキ展 6.3—7.15 札幌芸
術の森美術館
朝日夕刊 6.29 田中三蔵
- 鷺見鷹展 5.8—5.12 白土舎(名古
屋)
美術手帖 808 原田真千子
- 鷺見和紀郎展 3.31—4.21 島田画
廊
毎日夕刊 4.17 三田晴夫
- 澄川喜一展 退官記念 9.6—9.24
東京芸術大学大学美術館
新美術新聞 935 加藤貞雄
日経 9.20 宝玉正彦
毎日夕刊 9.21 石川健次
- 諏訪直樹展 没後十一年 11.13—
12.24 三重県立美術館
美術手帖 816 上山陽子

(セ)

- ファクシミリによるセーヘルズ版画
展[ヘルクーレス・セーヘルズ]
9.17—10.27 吉井画廊

- 朝日夕刊 10.20 (三)
- 「私の中のカフカを…」展[ズビネッ
ク・セカール] 4.14—6.24
ギャラリーTOM
朝日夕刊 5.16 池内紀
- 関直美展 9.21—11.14 ギャラ
リー千空間
毎日夕刊 10.30 三田晴夫
- 関原たいせいの世界展 11.29—
12.4 ギャラリー新宿高野
毎日 11.28 大森泰貴
- 芹沢銈介と棟方志功 模倣の人・祈
りの人 7.14—9.16 静岡市立芹
沢銈介美術館

(ソ)

- 宗香展 12.10—12.20 ギャラリー
いそがや
芸術新潮 626
- 50n0展 glitch resort[ソ ノ]
9.8—9.30 カノーヴァン(名古
屋)
美術手帖 812 原田真千子
- 染谷亜里可展 5.12—6.9 ケンジ
タキギャラリー(名古屋)
美術手帖 808 原田真千子

(タ)

- 田井淳展 4.16—4.21 大阪府立現
代美術センター
新美術新聞 923 林敬二
- 多賀新展 十勝の新時代4 6.23—
9.5 北海道立帯広美術館
- 高木哲展 11.1—11.11 INFORM
ギャラリー(金沢)
美術手帖 814 原田真千子
- 高杉嵯知展 銀河観音 10.1—10.6
ギャラリー銀座
産経 9.28
- 高橋克之展 7.2—7.28 東邦画廊
- 高橋辰夫展 3.1—3.13 ギャル
リ・伝
美術手帖 805 白坂ゆり
- 高橋久雄フレスコ画展 9.11—9.17
三越(日本橋)
産経 9.9
- 高橋由一展 4.28—5.6 金毘羅庶
民信仰資料収蔵庫
芸術新潮 618

- 高濱景陽展 3.2—3.7 O美術館
東京 2.23
- 高松次郎展 6.26—8.4 ユミコチ
パアソシエツ ビューイング
ルームヨツヤ
毎日夕刊 7.23 三田晴夫
- 高安利明展 6.30—9.1 OFF SITE
美術手帖 811 白坂ゆり
- 高柳恵里展 4.6—5.2 なるせ美術
座
美術手帖 808 梅津元
- 高山辰雄展2001 日月星辰
10.10—10.15 高島屋(日本橋)
芸術新潮 624
新美術新聞 939 宝木範義
- 高山良策の世界展 2.3—3.30 練
馬区立美術館
あいだ 63 山口昌男
芸術新潮 616
新美術新聞 917 土方明司
朝日夕刊 2.24 (盛)
産経 2.3 北野浩之
産経 3.4 渋谷和彦
毎日夕刊 2.21 三田晴夫
読売 2.2
読売夕刊 2.19 (前)
- 滝口和男展 8.31—9.2 中村邸(軽
井沢)
産経 8.19 渋谷和彦
- 瀧口修造展 夢の漂流物 7.5—
7.25 富山県民会館美術館
- 瀧口修造の造形的実験展 7.19—
9.24 富山県立近代美術館
芸術新潮 626
美術手帖 817 中ザワヒデキ
- 瀧口修造の造形的実験展 12.4—
1.27 渋谷区立松濤美術館
新美術新聞 947 光田由里
朝日夕刊 12.20 田中三蔵
- 田窪恭治—オブジェから風景へ
9.21—11.25 愛媛県美術館
- 竹内栖鳳展 12.29—1.14 高島屋
(日本橋)
朝日夕刊 12.27 山盛英司
- 武田州左展 12.12—12.25 SK画
廊/香染画廊
芸術新潮 626
東京夕刊 12.22 草薙奈津子

夢二 1884—1934 アヴァンギャルドとしての抒情展[竹久夢二]
4.7—6.3 町田市立国際版画美術館
新美術新聞 924 河野実
版画芸術 111 河野実
朝日夕刊 5.26 (三)
毎日 3.30
毎日夕刊 5.2

竹久夢二展 河村コレクション
6.16—7.15 八戸市美術館

竹久夢二展 震災スケッチ 9.1—
9.30 竹久夢二伊香保記念館
産経 9.1

竹 宮 恵 子 展 MIRAGE2001
4.24—4.30 北沢ギャラリー
産経 4.25 芦川雄大

多田正美展 3.12—3.31 AKI—EX
GALLERY
美術手帖 806 新見隆

辰野登恵子展 5.11—6.9 西村画廊
芸術新潮 619
日経 5.30 宝玉正彦
読売夕刊 5.31

建 畠 覚 造 展—LANDSCAPE・対
話— 10.9—10.27 ギャラリー
東京ユマニテ
芸術新潮 624
毎日夕刊 10.16 三田晴夫

田中朝子展 7.13—8.9 ノマルエ
ディション/プロジェクトスベ
ース(大阪)
美術手帖 811 永草次郎

田中敦子展 未知の美の探求1954〜
2000 3.3—5.6 芦屋市立美術博
物館
朝日夕刊 4.5 大西若人

田中敦子展 未知の美の探求1954〜
2000 7.28—9.9 静岡県立美術
館
毎日夕刊 8.28 三田晴夫

田中偉一郎展 1.6—2.25 コオジ
オグラギャラリー(名古屋)
美術手帖 801 原田真千子

田中偉一郎展 11.10—12.15 ギャ
ラリーキャプション(岐阜)
美術手帖 816 原田真千子

田中功起展 5.25—6.15 ギャラ
リーαM

美術手帖 809 白坂ゆり

田中信太郎 饒舌と沈黙のカノン
9.13—10.14 国立国際美術館

田中美智甫展 4.9—4.21 Gallery
Den(大阪)
美術手帖 808 永草次郎

谷内六郎の世界展 4.25—5.7 松
屋(銀座)
朝日 4.18 山内健
朝日夕刊 4.24 横尾忠則

谷口顕一郎展 4.16—4.28 マキイ
マサルファインアーツ
美術手帖 808 白坂ゆり

田畑喜八の美展 京友禅の華—三代
1.3—2.13 大阪・なんば高島屋
グランドホール
日経 2.8

田淵俊夫近作展 4.18—4.24 高島
屋(日本橋)
新美術新聞 923 酒井哲朗

Wrk展 5.2—6.2 OFF SITE
美術手帖 809 梅津元

玉井健司展 2.17—3.17 ナガミネ
プロジェクト
美術手帖 803 白坂ゆり

(チ)

智内兄助展—祈りは天へ— 4.20—
5.27 町立久万美術館

千葉鉄也展 7.23—8.4 ギャル
リー東京ユマニテ
美術手帖 811 梅津元

チャンキー松本展 5.31—6.12 ギ
ルドギャラリー(大阪)
美術手帖 810 永草次郎

(ツ)

津上みゆき展 7.23—8.4 ギャラ
リー山口
産経 7.29 渋谷和彦

月岡芳年展 最後の天才浮世絵師
3.15—4.15 京都文化博物館
芸術新潮 616

辻恵子展 5.17—7.3 TEPCO銀座
館プラスマイナスギャラリー
芸術新潮 619

津田青楓展 5.7—5.19 山脇ギャ
ラリー
産経 5.13

土屋公雄展 記憶の部屋—未現像の

記憶 5.21—6.23 ギャラリー
GAN
芸術新潮 619
産経 5.27 渋谷和彦
東京夕刊 6.5 中村隆夫
毎日夕刊 5.28 三田晴夫
読売夕刊 6.7 (管)

常田健展 3.24—4.22 千葉そごう
美術館
毎日 3.20、4.3 衛藤親

坪井優子展 7.23—8.5 トキアー
トスペース
美術手帖 811 梅津元

鶴岡政男とその時代展 高崎市美術
館コレクション2 9.11—12.16
高崎市美術館

弦屋光溪展 時代の浮世絵師
9.22—10.28 茅ヶ崎市美術館

(テ)

横尾忠則 ポール・デヴィス ニつ
の人生展 6.27—8.4 西村画廊
読売夕刊 7.5 (管)

勅使河原蒼風展 9.22—11.25 世
田谷美術館
新美術新聞 939 勅使河原純
朝日 11.19
東京夕刊 9.28 中村隆夫
毎日夕刊 11.6 三田晴夫
読売夕刊 10.18 (管)

三人三様 亀倉雄策・土門拳・勅使
河原蒼風展 11.5—12.21 草月
美術館
朝日 11.19

書人手島右卿の軌跡展 光の律動
6.16—6.26 上野の森美術館
毎日 6.14 荒井魏
読売夕刊 6.25

手塚治虫版画ワールド展 12.22—
1.7 サンシャイン60展望台
産経 12.21

手塚雄二日本画展 天地風雷
11.20—11.26 三越(日本橋)

デュフィ展 3.25—5.27 宇都宮美
術館
朝日夕刊 4.25 田中三蔵
読売夕刊 5.2 青木理

デュフィ展 ボンビドーセンター所
蔵 9.8—10.28 安田火災東郷青
児美術館
読売 8.29 中村隆夫

(ト)

ロベール・ドアノー写真展 4.26—5.8 大丸ミュージアム・東京
毎日夕刊 4.27 衛藤親

トゥールーズ＝ロートレック展
1.2—3.4 東武美術館
新美術新聞 914 岸本美香子
朝日夕刊 2.14 神谷幸江
朝日夕刊 2.17 (盛)
東京 1.18
東京夕刊 1.26 中村隆夫
日経 1.31 宝玉正彦
毎日夕刊 3.2 布施英利

土佐正道絵画展 ヴェネチアへの道
1.12—2.19 ナディッフ(渋谷)
毎日 1.31 宮本扶未子

アトゥール・ドディア展 6.30—8.4 国際交流基金フォーラム
アジアセンターニュース 19 林道郎
朝日夕刊 7.5 神谷幸江
朝日夕刊 7.28 (三)
日経夕刊 7.7
毎日夕刊 7.24 三田晴夫
読売夕刊 7.19 (管)

都島英喜展 3.13—4.22 佐倉市立美術館
新美術新聞 922 前川公秀

利根川友理展 7.1—7.31 ART SPACE Life=Passage
美術手帖 810 梅津元

A TOMATO PROJECT展—REAL AND IMAGINARY FLOWERS [トマト] 3.10—4.1 ラフォーレミュージアム原宿
美術手帖 808 川原英樹

富岡鉄斎展 1.14—3.20 鉄斎美術館
鉄斎 春季展—印癖を娛しむ— 3.23—6.3 鉄斎美術館
鉄斎の器玩 6.6—8.9 鉄斎美術館
鉄斎の粉本展 絵図を中心に 8.21—10.14 鉄斎美術館

石原正、友利宇景、村松昭 三人の絵師たちの天空からの眺め展 3.1—3.28 INAXギャラリー

土門拳—日本の彫刻展 5.15—7.1 町田市立博物館
毎日 5.12 佐藤大介

毎日 5.30、31
毎日 6.1、2 小泉充康

土門拳—日本の彫刻展 9.5—10.15 千葉市美術館
毎日 5.15 山之内郁治

三人三様 亀倉雄策・土門拳・勅使河原蒼風展 11.5—12.21 草月美術館
朝日 11.19

戸谷成雄新作彫刻展 11.16—12.15 Rice Gallery by G2
芸術新潮 626
朝日夕刊 12.8 (若)
毎日夕刊 11.20 三田晴夫
読売夕刊 11.21 (管)

戸谷成雄—さまよう森展 12.2—12.27 国際芸術センター青森
美術手帖 817 立木祥一郎

豊島弘尚展 「光る影、蠢く」 9.3—9.22 村松画廊
東京夕刊 9.14 中村隆夫
毎日夕刊 9.17 三田晴夫

鳥谷晃の世界展 12.1—2.28 池田20世紀美術館
新美術新聞 946 柳生不二雄

鳥光桃代と町工場展 メイド・イン・すみだ 6.2—7.1 すみだリバーサイドホール・ギャラリー
朝日夕刊 6.23 (三)
産経 6.10 渋谷和彦
読売 6.2

(ナ)

永井魅恵展 2.1—5.19 galerie deux
美術手帖 808 白坂ゆり

中井川由季—静かに動き続ける 10.19—11.18 EXHIBITION SPACE

中ザワヒデキ展 6.15—7.15 ギャラリーセラー(名古屋)
美術手帖 809 原田真千子

中島洋和 リアルタイムパーティー 9.22—11.11 府中市美術館

長島有里枝展 PASTIME PARADISE 1.9—1.31 SCAI THE BATHHOUSE
朝日夕刊 1.13 (三)

中谷昭雄展 1.8—1.20 Oギャラリーeyes(大阪)

美術手帖 803 中谷次郎

仲谷孝夫展 9.1—9.30 豊橋市美術館

荻太郎・中根寛二人展 岡崎ゆかりの洋画家 4.28—6.10 岡崎市美術館(マインドスケープ・ミュージアム)

中野昌司展 8.1—8.9 銀座・ギャラリーみうら
毎日 7.25 窪田千代

中村照夫・中村潤子二人展 5.24—5.31 ギャラリー銀座
産経 5.25

中村達也展 11.27—12.9 日下画廊(大阪)
美術手帖 816 古川誠

中村宏展 図表の震度Ⅱ 4.2—4.21 村松画廊
読売夕刊 4.18

小沢剛★中山ダイスケ クロスカウンター展 2.27—4.8 川崎市岡本太郎美術館
etc. 30 崩清明
朝日夕刊 3.14 神谷幸江

デイヴィッド・ナッシュ展 3.23—4.28 西村画廊
毎日夕刊 4.2 三田晴夫
芸術新潮 617

並河萬里写真展 パーミヤン・悲劇の大仏 8.22—8.30 そごう美術館
朝日夕刊 8.25 (三)
東京 8.23
東京夕刊 8.17 並河萬里

奈良美智展 I DON'T MIND, IF YOU FORGET ME. 8.11—10.14 横浜美術館
芸術新潮 622
新美術新聞 934 天野太郎
美術手帖 813 宮村周子
朝日 8.27
朝日夕刊 9.6 神谷幸江
朝日夕刊 9.28 田中三蔵
産経 9.7 藤原えりみ
東京 8.17 中村隆夫
日経 10.3 宝玉正彦
毎日夕刊 8.10
毎日夕刊 10.23 三田晴夫
読売夕刊 9.12 高野清見

奈良岡正夫近作展 白寿記念

9.4—9.10 三越(日本橋)

新美術新聞 935 林紀一郎

(二)

西川利夫・吉野毅・綿引道郎の世界

一木・土・金属の造形 5.14—

6.23 昭和女子大学光葉博物館

西島直紀展 9.10—9.29 ギャラ

リー東京ユマニテ

毎日夕刊 9.17 三田晴夫

西田藤次郎展 12.22—1.27 東京

ステーションギャラリー

毎日 12.14 大森泰貴

西田寿夫水墨展 2回 7.12—7.17

ギャラリー新宿高野

東京 6.29

産経 7.11

西山仁展 7.10—8.10 ナガミネブ

ロジェクツ

美術手帖 810 梅津元

ブライアン・ニューウェル展

2.16—3.20 エキジビション・ス

ペース

(ヌ)

額田宣彦展 11.24—12.22 エキジ

ビション・スペース

美術手帖 816 梅津元

額田宣彦展 12.1—12.22 ギャラ

リー東京ユマニテ

美術手帖 816 梅津元

(ネ)

シリン・ネシャット展 3.3—3.25

金沢市民芸術村

朝日夕刊 3.9 (若)

(ノ)

野口謙蔵展 生誕100年記念 6.9—

8.19 滋賀県立近代美術館

新美術新聞 931 高梨純次

野口里佳展 [予感] 7.28—9.16

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

美術手帖 812 森本美絵

野沢二郎展 9.10—9.15 コバヤシ

画廊

美術手帖 812 梅津元

野田哲也 全作品Ⅲ 1992—2000展

3.21—4.21 フジテレビギャラ

リー

毎日夕刊 3.26 三田晴夫

新美術新聞 921 中林忠良

朝日夕刊 4.14 (三)

日経 4.4 宝玉正彦

読売夕刊 3.29 (菅)

能登靖幸展 7.13—9.2 新見美術
館

野村和弘展 4.9—4.28 南天子画

廊

美術手帖 808 梅津元

野村仁 移行/反照 6.27—9.2

豊田市美術館

(ハ)

萩原朔美展 1.9—2.9 ポラロイ

ド・ギャラリー

芸術新潮 615

萩原英雄コレクション展 作家の眼

差し 1.20—3.25 山梨県立美術

館

萩原英雄全仕事展 4.7—5.27 山

梨県立美術館

日経 5.1 宝玉正彦

萩原英雄・深沢幸雄展—詩情を版に

刻む 2.24—4.1 町田市立国際

版画美術館

橋場信夫展 12.15—12.22 LAND

GALLERY

毎日 12.17 長谷川豊

パスキンとエコール・ド・パリ—巴

里の屋根の下に生きて— 4.1—

5.20 茨城県近代美術館

長谷川潔展 小作品展示室常設展示

No. 211 2.14—3.25 福岡市美

術館

長谷川博士展 5.3—5.27 ヴォイ

ス・ギャラリー(大阪)

美術手帖 809 永草次郎

馬場彬とサトウ画廊の画家たち展

戦後美術の断面 9.9—10.14 秋

田県立近代美術館

浜田知明展 版画と彫刻による人間

の探求 10.3—11.11 熊本県立

美術館

早川重章展 1.9—1.27 ぎやらり

いセンターポイント

毎日夕刊 1.25 三田晴夫

林明子の世界 絵本原画展

10.20—11.4 天童市美術館

平成13年美術展覧会(作ナ〜ヒ)

林武史展 1.9—1.31 ヨコハマ

ポートサイドギャラリー

朝日夕刊 1.24 田中三蔵

毎日夕刊 1.23 石川健次

林田直子展 3.12—3.24 ギャラ

リー21+葉

美術手帖 806 新見隆

速水史朗展 8.25—9.24 滋賀県立

陶芸の森

日経 9.13 宝玉正彦

原正樹退官記念展 境界の彼方へ

12.6—12.24 東京芸術大学大学

美術館

原田達也追悼展 4.28—9.2 安曇

野山岳美術館

産経夕刊 4.26

播磨みどり展 2.20—3.4 300日画

廊

美術手帖 803 白坂ゆり

(ヒ)

ピカソの手展 12.9—2.28 Togo

Fine Art

産経 2.4 渋谷和彦

樋口朋之展 12.4—12.22 セゾン

アートプログラム・ギャラリー

美術手帖 816 梅津元

彦坂尚嘉展 1.15—2.3 ギャラ

リー手

美術手帖 803 新見隆

大観・春草展—日本画近代化への

道— 10.20—11.25 茨城県天心

記念五浦美術館

パトリシア・ピッチニーニ展—呼吸

する部屋 7.6—9.9 東京都写真

美術館

毎日 6.6 大森泰貴

日比野克彦展 HIBINO DATA ON

OUR TIMES 9.15—10.28 い

わき市立美術館

ビュッフェ追悼展 時代の証人画家

7.4—7.29 小田急美術館

東京 7.5 (川)

毎日夕刊 6.29

平井正義展 8.27—9.8 アート

ギャラリー環

美術手帖 812 白坂ゆり

平戸貴児彫刻展 1.6—2.4 メタル

アートミュージアム

毎日夕刊 2.1 石川健次

平成13年美術展覧会(作ヒ〜マ)

- 平林純展 11.13—11.18 立体ギャラリー—射手座(京都)
美術手帖 814 古川誠
- 平山郁夫展 薬師寺玄奘三蔵院「大唐西域壁画」完成記念 2.27—3.11 三越(日本橋)
日経 3.2
- 平山郁夫展 3.1—3.13 大丸ミュージアム・東京
毎日夕刊 2.27
- 平山郁夫展 高句麗今昔を描く 7.4—7.17 高島屋(日本橋)
朝日夕刊 7.3 松村崇夫
- 平山郁夫展 9.14—10.21 北海道立近代美術館
- 平山郁夫版画展 9.16—9.22 丸善ギャラリー
東京 9.14
- 平山郁夫作品展 11.23—12.23 城陽市歴史民俗資料館
- 鯨崎英朋と鎗木清方展 1.3—3.27 弥生美術館
東京夕刊 2.9 草薙奈津子
- 弘田優子展 5.7—5.12 みゆき画廊
東京 4.27

(フ)

- ヤン・ファール展 3.3—5.27 丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
ユリイカ 447 副島博彦
朝日 4.23
日経 5.6 中野稔
- アントワヌ・ブーペル展 12.7—1.14 東京都写真美術館
毎日 11.28 福島稔
- ヴィヴィアンヌ・フォンテーヌ展 1.16—2.10 ギャラリーMMG
芸術新潮 615
- 深澤素一と近代の版画展 新潟の美術2001 新潟県立近代美術館セレクト2 2.26—3.20 新潟県民会館
- 萩原英雄・深沢幸雄展—詩情を版に刻む 2.24—4.1 町田市立国際版画美術館
- 福井江太郎展 11.12—11.30 ざらりい朋
東京夕刊 11.24 草薙奈津子
- 福王寺法林・一彦おやこ展—青の継

- 承 11.10—12.2 米沢市上杉博物館
- 福島瑞穂展 12.1—12.10 名古屋日動画廊
新美術新聞 946 安井収蔵
- 福田繁雄展・福田美蘭展 7.14—9.9 世田谷美術館
新美術新聞 934 石井幸彦
ドーム 59
美術手帖 810 岡村多佳夫
朝日夕刊 8.16 田中三蔵
日経 7.22 坂本憲一
- 福田潮子—銀河の世界展— 5.22—6.3 Bunkamura Gallely
芸術新潮 619
- 藤城清治絵展〜新しい光と影を求めて 11.8—11.20 ギャラリー新宿高野
産経 11.7
- 藤田吉香展 特集陳列 12.8—3.11 福岡県立美術館
朝日夕刊 3.1 田中三蔵
- マコト・フジムラ展 4.7—5.27 潺画廊
毎日夕刊 5.22 藤田一人
- 藤本由紀夫展 3.12—3.31 サイギャラリー(大阪)
美術手帖 806 永草次郎
- 藤本由紀夫展 8.4—10.13 現代グラフィックアートセンター
朝日夕刊 9.29 (若)
- 藤本由紀夫展 美術館の遠足5/10 11.23 西宮市大谷記念美術館
朝日 11.26
- 舟越桂展 1.26—3.3 西村画廊
東京夕刊 2.16 中村隆夫
- 舟越桂全版画展 1987〜2001 12.5—12.10 西武アートフォーラム
毎日夕刊 11.30
- 佐藤忠良・舟越保武二人展 4.21—5.27 足利市立美術館
- バックミンスター・フラー展 6.2—9.2 神奈川県立近代美術館
朝日夕刊 6.14 神谷幸江
産経 6.24 渋谷和彦
読売夕刊 8.27 石山修武
- 古川弓子展 5.29—6.22 GALLERY SIDE 2
美術手帖 810 白坂ゆり

- ロナン&エルワン・ブルレック展 11.24—12.22 MDSギャラリー
芸術新潮 625
- ヴィクトル・ブレッシェ展 9.5—9.21 ブラジル大使館
日経 9.8

(ホ)

- 細田聡子展 2.27—3.4 アートスペース虹(京都)
美術手帖 805 永草次郎
- 細野修一による2万年前の富沢 復元画と考古イラスト展 1.16—4.8 地底の森ミュージアム
- ポテト班デビュー展 10.22—11.4 Studio MINI Gallery & Lounge DRESS
美術手帖 813 編集部
- 坂本優子・堀由樹子展 さまざまな眼115 2.22—3.20 かわさきIBM市民文化ギャラリー
- 本間純展 7.2—7.7 ギャラリー現
美術手帖 810 白坂ゆり

(マ)

- 馬六明展 8.27—9.14 ギャラリーQ
読売夕刊 9.6
- クリスチャン・マークレイ展 3.27—4.10 ギャラリー小柳
美術手帖 808 梅津元
- ルイジ・マイノルフィ 11.1—5.27 芸術の森美術館
- 前沢知子 私の作品を聞かせてください 11.17—1.20 府中市美術館
- 前田青邨展 4.24—6.3 京都国立近代美術館
新美術新聞 926 小倉実子
日経 5.4 竹田博志
- 前田哲明展 7.2—8.4 ギャラリーGAN
産経 7.22 (S)
毎日夕刊 7.9 三田晴夫
読売夕刊 7.12 (菅)
- 牧野四子吉と動植物たち展 7.14—8.12 思文閣美術館
日経夕刊 7.18 森まゆみ
- 牧野富太郎と植物画展 3.14—4.8

小田急美術館
東京夕刊 3.23 草薙奈津子
毎日 3.14

エリサベス・マギル展 11.29—
3.30 galerie deux
芸術新潮 627

ジェフ・マクフェトリッジ作品展
6.29—7.30 パルコギャラリー
デザインの現場 116 小林玉紀

マジマチャンネル—食欲連鎖展[間
島領—] 10.20—1.14 川崎市岡
本太郎美術館
毎日夕刊 10.5

増田常德展 秘められた眼差し
2.26—3.7 四季彩舎
東京夕刊 3.1

松江泰治展 12.8—2.10 コオジオ
グラギャラリー(名古屋)
美術手帖 817 山本さつき

松尾敏男展 2.22—2.27 高島屋
(日本橋)
新美術新聞 918 川口直宜

洋画家・松尾博一展 茂原ゆかりの
作家シリーズ4 2.17—3.25 茂
原市立美術館・郷土資料館

“Spring Has Come” 松永真、
ディテールの競演。展 3.5—
3.28 ギンザ・グラフィック・
ギャラリー
朝日夕刊 3.24 (盛)

松原奈々展 10.4—10.30 ギャラ
リーTAGA
美術手帖 813 白坂ゆり

案本一洋展 10.2—11.4 京都文化
博物館

現代の書 松本春子展 北に咲いた
かなの花 11.18—12.23 北海道
立函館美術館

松本春崇展 2.13—2.24 なびす画
廊
毎日夕刊 2.19 三田晴夫

松本三和展 10.17—10.31 西瓜糖
美術手帖 814 白坂ゆり

真鍋博回顧展 7.27—9.9 愛媛県
美術館
新美術新聞 933 指村恵子

マネ 近代絵画の起源展 7.28—
9.16 府中市美術館
朝日夕刊 8.2 高階秀爾
東京 8.16

日経 8.8 宝玉正彦
読売 7.25 本江邦夫
読売夕刊 9.5 神山亮子

フォスコ・マラーニ写真展 イ
ル・ミラモンドーレンズの向こう
の世界 11.8—12.4 東京都写真
美術館
芸術新潮 625
朝日夕刊 11.24 (丘)

(ミ)

三尾公三展 1.23—3.31 京都市美
術館
新美術新聞 915 篠雅廣
朝日夕刊 3.1 田中三蔵

三岸節子・秋野不矩展 10.13—
11.18 天童市立秋野不矩美術館
日経夕刊 10.18

三岸好太郎・三岸節子賞展 1.27—
3.25 北海道立三岸好太郎美術館
里見勝蔵と三岸好太郎 二人の野
獣^{フオー} 9.14—11.18 北海道立三岸
好太郎美術館

三沢厚彦彫刻展 7.25—7.31 高島
屋(日本橋)
毎日夕刊 7.27

三島喜美代展 10.1—10.19 村松
画廊
毎日夕刊 10.9 三田晴夫
朝日夕刊 10.6 (三)

水木しげる ゲゲゲの鬼太郎大妖画
新作版画発表会展 10.27—11.11
ギャラリーボヤージュ
産経 10.27

水本修二展 1.22—2.10 ヒノギャ
ラリー
毎日夕刊 2.5 三田晴夫

伊藤誠・満江英典展 さまざまな眼
117 5.17—6.12 かわさきIBM
市民文化ギャラリー
毎日夕刊 5.31 三田晴夫

南桂子・宮脇愛子展 7.3—9.2 高
岡市美術館
PATIO 14 武沢喜美子

みのわ淳展 1.8—1.20 日辰画廊
真葛 宮川香山展 10.28—12.24
横浜美術館
朝日夕刊 11.15 樋田豊次郎

宮崎進展 5.9—5.15 松屋(銀座)
朝日 5.2

宮崎豊治—眼下の庭—展 6.21—
7.22 国立国際美術館

宮田雅之 切り絵の世界展 11.1—
11.7 東武百貨店(池袋)
産経夕刊 10.31
東京夕刊 10.30

宮脇愛子展 墨によるうつろひド
ロ—イング 5.1—10.28 奈義町
現代美術館
朝日夕刊 6.2 (若)

南桂子・宮脇愛子展 7.3—9.2 高
岡市美術館
PATIO 14 武沢喜美子

宮脇愛子展—《うつろひ》へ 11.3—
2.11 群馬県立近代美術館
毎日夕刊 12.18 三田晴夫

ミレーとバルビゾン派の作家たち展
5.19—6.24 大分市美術館

ミレー 心の旅展 7.18—11.11
メルシャン軽井沢美術館
朝日夕刊 10.20 (三)
産経 8.19 渋谷和彦
読売夕刊 8.13 (清)

大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫展 日
本画の三人 9.15—10.28 新潟
県立近代美術館

三輪華子展 6.1—6.10 フジマ画
廊
新美術新聞 932 油井一人・選
／高岡忠雄取材・文
産経 6.2

三輪美津子展 6.2—7.14 ギャラ
リーHAM(名古屋)
美術手帖 809 原田真千子

(ム)

ニコラ・ムーラン展 11.21—12.22
ギャラリー小柳
芸術新潮 626

向井潤吉の旅 西欧の民家と風土展
4.1—7.29 向井潤吉アトリエ館
産経 4.15

向井良吉・柳原義達 現代日本彫刻
展19回 7.12—11.11 宇部市野
外彫刻美術館

写真に見る「実篤とその時代」2 昭
和2～20年 10.27—12.2 調布
市武者小路実篤記念館

芹沢銈介と棟方志功 模倣の人・祈
りの人 7.14—9.16 静岡市立芹

沢銈介美術館

ヴィック・ムニーズ展 8.27—9.29

ギャラリーGAN

芸術新潮 622

毎日夕刊 8.31 三田晴夫

村井進吾 思考する石展 4.10—

5.13 大分市美術館

美術手帖 808 福永治

毎日夕刊 5.1 三田晴夫

村尾里奈展 12.3—12.15 村松画

廊B室

美術手帖 816 梅津元

村岡三郎展 8.30—10.13 ケンジ

タキギャラリー

毎日夕刊 9.4 三田晴夫

村上隆展 召喚するかドアを開ける

か回復するか全滅するか 8.25—

11.4 東京都現代美術館

新美術新聞 938 南雄介

美術手帖 811 編集部

朝日夕刊 9.20 神谷幸江

朝日夕刊 10.11 篠原資明

産経 9.7 藤原えりみ

毎日夕刊 9.20 三田晴夫

読売夕刊 9.12 高野清見

村上康成 絵本の世界展 7.7—9.9

世田谷文学館

東京 7.8

石原正、友利宇景、村松昭 三人の

絵師たちの天空からの眺め展

3.1—3.28 INAXギャラリー

村山知義「肖像画」展 10.9—11.6

第一生命ギャラリー

芸術新潮 624

村山知義未発表の童画展 埋もれて

七十年 12.16—1.28 ギャラ

リーTOM

朝日 1.8 大村美香

(メ)

メイプルソープ&アラキー百花

乱々展[ロバート・メイプルソー

プ] 6.13—7.1 小田急美術館

朝日夕刊 6.21 神谷幸江

ファッション・インスタレーション

BODY WRAPPInc.展[アネッ

テ・メイヤー] 6.28—7.15 ス

パイラルガーデン

毎日 6.20 山縣章子

(モ)

望月菊磨—喚起装置2001展 1.12—

2.2 スカイドアートプレイス

青山

朝日夕刊 1.24 田中三蔵

産経 1.28

毎日夕刊 1.23 三田晴夫

望月通陽展 月の頌歌 1.6—1.28

松明堂ギャラリー

東京 1.19

毛綱毅曠展《記憶術としての空間》

10.6—12.4 北海道立釧路芸術館

芸術新潮 624

毎日夕刊 10.2

毎日夕刊 11.27 植田実

クロード・モネ展 7.5—9.30 山

口県立美術館

ボール・モリソン展 6.9—7.21

TARO NASU GALLERY

芸術新潮 621

森田りと子展 10.15—10.20 ギャ

ラリー山口

美術手帖 813 白坂ゆり

森村泰昌と合田佐和子展 2.11—

3.25 高知県立美術館

美術手帖 808 新見隆

私の中のフリーダ：森村泰昌のセル

フポートレイト展 7.20—9.30

原美術館

芸術新潮 621

朝日夕刊 8.2 神谷幸江

朝日夕刊 9.22 (若)

産経 9.2 渋谷和彦

読売夕刊 7.26 (菅)

読売夕刊 9.19 内田洋子

森本草介展〜敬虔なる写真 9.5—

9.10 高島屋(日本橋)

新美術新聞 935 野田弘志

日経 9.6 竹田博志

毎日夕刊 8.31

守屋多々志 高野山金剛峰寺障屏画

展 5.26—7.1 東京ステーシ

ンギャラリー

毎日夕刊 6.1

諸泉茂展 さまざまな眼114

1.18—2.13 かわさきIBM市民

文化ギャラリー

(ヤ)

安井ファミリー作品展 8.14—8.20

成増区民センター・アクトホール

5階談話室ギャラリー

産経 8.14

安田侃野外彫刻展 4.12—3.17 東

京都庭園美術館

芸術新潮 618

朝日夕刊 9.7 田中三蔵

産経 5.20 渋谷和彦

日経 8.28 宝玉正彦

安田侃彫刻展 8.25—9.16 東京都

庭園美術館

日経 8.28 宝玉正彦

向井良吉・柳原義達 現代日本彫刻

展19回 7.12—11.11 宇部市野

外彫刻美術館

柳瀬正夢展 生誕百年記念 1.13—

2.25 宮城県美術館

朝日夕刊 1.31 田中三蔵

山岸俊之展 道具になった木、木に

なる道具 10.4—11.13 TEPCO

銀座館

産経 10.12

山口晃展 8.30—10.6 ミヅマアー

トギャラリー

芸術新潮 622

山口薫の芸術展 5.26—7.8 茨城

県近代美術館

新美術新聞 928 小泉淳一

日経 6.20 宝玉正彦

山口勝弘展—ドラゴン・ストリー

ム— 1.5—1.27 INAXギャ

ラリー

山口啓介展 1.22—2.10 ギャラ

リー池田美術

毎日夕刊 2.8 石川健次

山口蓬春記念館10周年特別展 昭和

日本画壇のモダニスト 10.6—

10.14 ジェイアールセントラル

タワーズ12階・タワーズプラザホ

テル(名古屋)

山口牧生展—自然に近く— 4.28—

6.24 西宮市大谷記念美術館

山崎隆夫展—富士と抽象 1.20—

2.25 茅ヶ崎市美術館

朝日夕刊 2.10 (盛)

大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫展 日

本画の三人 9.15—10.28 新潟

県立近代美術館
山下清の世界展 5.30—7.15 箱根彫刻の森美術館
産経 3.31
山下清展 8.9—8.21 大丸ミュージアム・東京
産経夕刊 8.5、14、16 渋谷和彦
山田かまち展 9.4—9.9 三越(新宿)
産経 9.4
山田佐保子展 12.21—1.31 ノマルエディション/プロジェクトスペース(大阪)
美術手帖 817 古川誠
山田正亮展 10.1—10.27 カサハラ画廊
毎日夕刊 10.16 三田晴夫
山野辺進展 9.15—9.20 銀座書廊
読売夕刊 9.12
山本悍右展 不可能の伝達者
8.22—9.24 東京ステーションギャラリー
芸術新潮 622
山本早苗版画展 月の音 7.11—7.22 アートコレクション・コムニカ
東京 6.29
山本貞展 6.5—6.11 三越(日本橋)
毎日夕刊 6.8
山本直彰展 7.9—7.14 コバヤシ画廊
芸術新潮 621
山本芳翠とその時代—明治美術再見
4 記録の芸術展 1.13—3.4
宮内庁三の丸尚蔵館
芸術新潮 615
東京夕刊 2.2 草薙奈津子
読売夕刊 1.31 (前)

(コ)

袖口康二展 8.20—9.1 キュービック・ギャラリー(大阪)
美術手帖 812 永草次郎

(ク)

Daekyoon Yoo(兪大均)展 10.1—10.13 シロタ画廊
横尾忠則 二つの境域展 5.23—

7.8 富山県立近代美術館
朝日夕刊 6.14 田中三蔵
産経 6.17 渋谷和彦
横尾忠則 ポール・デビビス 二つの人生展 6.27—8.4 西村画廊
読売夕刊 7.5 (菅)
横尾忠則作 暗夜光路展 10.20—1.14 原美術館
芸術新潮 625
美術手帖 813 南郷宏
朝日夕刊 11.22 神谷幸江
朝日夕刊 12.22 (若)
東京夕刊 12.1 中村隆夫
日経 12.7 宝玉正彦
横澤典展 9.14—10.5 ギャラリーαM
美術手帖 813 梅津元
大観・春草展—日本画近代化への道— 10.20—11.25 茨城県天心記念五浦美術館
横山大観展 足立美術館所蔵
4.13—5.13 富山県水墨美術館
横山大観展 4.28—6.3 三重県立美術館
朝日夕刊 5.24 北澤憲昭
横山尚人展 6.27—7.3 高島屋(日本橋)
毎日夕刊 6.19
横湯久美展 12.10—12.15 コバヤシ画廊
美術手帖 816 白坂ゆり
吉岡徳仁デザイン展 TOKUJIN YOSHIOKA Xperiment—実験
10.3—10.19 アクシスギャラリー
AXIS 93
吉田暁子+市川武史展 6.4—6.23 東京画廊
美術手帖 809 白坂ゆり
彫刻家 吉田三郎展 4.28—5.27 石川県立美術館
吉田哲也展 9.6—10.2 ギャラリーTAGA
美術手帖 813 梅津元
吉田宏展 5.8—5.26 ギャラリーエアンドウ
美術手帖 809 梅津元
吉田美統展 重要無形文化財保持者認定記念 7.31—8.6 三越(日本橋)

新美術新聞 932 南俊英
吉田佑子展 ロープアートの世界
10.29—11.10 KEY gallery
毎日 10.31 山縣章子
西川利夫・吉野毅・綿引道郎の世界—木・土・金属の造形 5.14—6.23 昭和女子大学光葉博物館
吉原英雄の世界展—色彩の誘惑・形のエロス 6.9—7.29 町田市立国際版画美術館
版画芸術 112 滝沢恭司
櫻井伸浩・吉村朝丈二人展 兆し
2.5—2.17 麻布アートサンサシヨン
東京 2.2
吉本義人展 11.19—12.1 ギャラリー青羅
吉原英雄の世界展 6.9—7.29 町田市立国際版画美術館
日経 7.4 宝玉正彦
米原昌郎展 6.9—7.1 FADsアートのスペース(東京)
美術手帖 810 白坂ゆり

(ラ)

ラダー・ライ写真展 5.25—7.1 Bunkamuraザ・ミュージアム
朝日夕刊 5.14 河合真帆
日経夕刊 7.7
ルネ・ラリック1860—1945展
2.10—4.15 京都国立近代美術館
ジャポニスム研究 21 高波真知子
ルネ・ラリック展 光の幻想・ガラス工芸の美 6.1—7.22 岐阜市歴史博物館

(リ)

李珉展 3.26—4.7 シロタ画廊
毎日夕刊 4.5 石川健次
ゲルハルト・リヒター展 1.13—2.28 ワコウ・ワークス・オブ・アート
読売夕刊 1.24 (菅)
ゲルハルト・リヒター ATLAS展
3.30—5.27 川村記念美術館
読売夕刊 4.5
美術手帖 810 清水穰
朝日夕刊 4.19 田中三蔵
産経 4.8 渋谷和彦

平成13年美術展覧会(作り〜ワ、団ア行)

毎日夕刊 3.15
毎日夕刊 4.19 三田晴夫

(ル)

ジョルジュ・ルース展 4.7—6.3
東京都庭園美術館
芸術新潮 618
朝日 4.4 横江文憲
朝日夕刊 5.16
住宅のル・コルビュジェ展 4.12—
5.26 ギャラリー・間
芸術新潮 621
産経夕刊 5.6
日経 5.11
毎日 5.23 高野聡
ル・コルビュジェへの招待展
7.23—9.21 ギャラリー・タイセイ
芸術新潮 621
アンリ・ルソーと素朴派 世田谷美
術館所蔵名品展 9.15—10.21
釧路市立美術館
オディロン・ルドン展 夢と神秘の
世界へ 2.24—3.25 群馬県立近
代美術館
オディロン・ルドン展 夢と神秘の
世界へ 5.16—6.10 小田急美術
館
東京夕刊 6.1 中村隆夫
ルノワール展 異端児から巨匠への
道 1870—1892 2.10—4.15 プ
リヂストン美術館
芸術新潮 616
新美術新聞 918 宮崎克己
朝日夕刊 3.28 田中三蔵
東京 2.9 宮崎克己
東京 2.20、21、24 勝見啓吾
東京 3.15 斎藤昌子
東京 3.16 児島薫
東京 3.20 小柳重隆
東京 3.22 川上悦子
東京 3.24 近藤幸夫
東京 3.29 伊東由美
東京 4.2 和田守弘
東京 4.4 岸本庄八郎
東京夕刊 3.3 阿部信雄
東京夕刊 3.6 星野知子
東京夕刊 3.7 丹尾安典
東京夕刊 3.8 深井晃子
東京夕刊 3.9 大津英敏

東京夕刊 3.16 ボール・タッ
カー
東京夕刊 3.26 森要造

(レ)

ダ・ヴィンチとルネサンスの発明家
たち展 7.10—9.2 日本科学未
来館
日経 7.5
日経 7.24 中村雅美
日経 7.24 長尾重武談
イタリア 科学とテクノロジーの世
界展〜ダ・ヴィンチ、ガリレオと
その後継者たち 7.14—9.2 国
立科学博物館
日経 7.5
レオナルド・ダ・ヴィンチ《白貂を
抱く貴婦人》チャルトリスキ・
コレクション展 9.1—10.28 京
都市美術館
芸術新潮 625
ヤンニ・レグニルス展 2.27—3.19
ギャラリー小柳
Albert Renger-Patzsch・Ruhr-
gebiet—Landschaften 1927—
1935展 8.27—9.14 横田茂ギヤ
ラリー
芸術新潮 621

(ロ)

ロダンと日本展 4.28—6.10 静岡
県立美術館
ジャポニスム研究 22 宮崎克己
朝日夕刊 5.17 田中三蔵
読売夕刊 6.5 (前)
ロダンと日本展 6.22—8.19 愛知
県美術館
朝日夕刊 8.2 高階秀爾

(ワ)

若林奮展 10.25—11.30 ケンジタ
キギャラリー
芸術新潮 625
毎日夕刊 10.30 三田晴夫
和田賢一展 1.30—2.17 セゾン
アートプログラム・ギャラリー
毎日夕刊 2.13 石川健次
和田誠展 5.22—6.3 HB Gallery
芸術新潮 619
和田みつひと展 7.31—9.1 Space

Kobo&Tomo

美術手帖 812 梅津元

和田みつひと展 (光のかたち)公園
灯プロジェクト 9.21—10.21
上野の森美術館周辺
産経 10.14 渋谷和彦
渡辺英司展 10.20—11.30 ケンジ
タキギャラリー(名古屋)
美術手帖 816 原田真千子
渡辺聡展 3.3—3.25 三鷹市芸術
文化センター
読売夕刊 3.14 (前)
西川利夫・吉野毅・綿引道郎の世界
—木・土・金属の造形 5.14—
6.23 昭和女子大学光葉博物館

団体展

(ア 行)

朝日陶芸展38回 6.20—7.22 目黒
区美術館
朝日 6.26—28 福永重樹
朝日 7.11
朝日夕刊 6.18 井上隆生
朝日陶芸展39回 8.30—9.4 丸栄
スカイル
朝日夕刊 8.29
一期会展36回 8.21—8.30 東京都
美術館
美術の窓 217 高山淳/刃刀知
子
一陽展47回 9.19—10.3 東京都美
術館
美術の窓 219 高山淳/刃刀知
子
一水会展63回 9.19—10.3 東京都
美術館
美術の窓 218 高山淳/刃刀知
子
一線展52回 10.5—10.14 東京都
美術館
美術の窓 219 高山淳/刃刀知
子
上野の森美術館大賞展 5.31—6.9
上野の森美術館
産経 6.3
VOCA展2001 2.18—2.28 上野の
森美術館
産経 2.25 押江千衣子
毎日夕刊 2.26 三田晴夫

読売夕刊 2.21 (管)
VOCA展2001受賞作家展 8.21—
 9.12 第一生命南ギャラリー
 東京夕刊 9.7 草薙奈津子
旺玄展67回 5.22—5.30 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳

(カ 行)

鹿沼市立川上澄生美術館木版画大賞
7回 2.17—2.25 鹿沼市立川上
 澄生美術館
近代美術協会展38回 8.21—8.30
 東京都美術館
 美術の窓 217 切刀知子
現代童画展27回 12.2—12.9 東京
 都美術館
 美術の窓 221 高山淳／切刀知
 子
元陽展32回 11.25—12.1 東京都
 美術館
 美術の窓 221 高山淳
行動美術展56回 9.1—9.16 東京
 都美術館
 美術の窓 218 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 9.7 清水真砂
光陽展49回 5.9—5.19 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳
国会会展75回 4.23—5.7 東京都
 美術館
 新美術新聞 922
 美術の窓 214 高山淳

(サ 行)

朔日会展70回 5.9—5.19 東京都
 美術館
 美術の窓 214 高山淳
自由美術展64回 10.17—10.31 東
 京都美術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 10.25 塩野栄
主体展37回 9.1—9.16 東京都美
 術館
 美術の窓 218 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 9.7 清水真砂
朱葉会展81回 6.1—6.10 東京都

美術館
 美術の窓 215 高山淳
春陽展78回 4.23—5.7 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳
昭和会展36回 2.1—2.13 日動画
 廊
女流画家協会展55回 5.22—5.30
 東京都美術館
 美術の窓 214 高山淳
新槐樹社展45回 3.14—3.24 東京
 都美術館
 美術の窓 212 高山淳
新協展44回 10.5—10.14 東京都
 美術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
新構造展73回 6.12—6.22 東京都
 美術館
 美術の窓 215 高山淳
新興展51回 5.22—5.30 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳
新象展44回 6.1—6.10 東京都美
 術館
 美術の窓 215 高山淳
新世紀展46回 5.9—5.19 東京都
 美術館
 美術の窓 214 高山淳
新制作展65回 9.9—10.3 東京都
 美術館
 美術の窓 218 高山淳／切刀知
 子
新美術協会展48回 6.1—6.10 東
 京都美術館
 美術の窓 215 高山淳
水彩連盟展60回 3.26—4.4 東京
 都美術館
創画展28回 10.17—10.31 東京都
 美術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 10.25 塩野栄
創型展50回 5.9—5.19 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳
創元展60回 4.6—4.21 東京都美
 術館
創展35回 10.4—10.14 東京都美
 術館

美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子

(タ 行)

第一美術展72回 5.22—5.30 東京
 都美術館
 美術の窓 214 高山淳
大調和展40回 3.14—3.24 東京都
 美術館
 美術の窓 212 高山淳
太平洋展97回 5.20—5.30 東京都
 美術館
 美術の窓 214 高山淳
東京展27回 9.19—10.3 東京都美
 術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
東光展67回 4.23—5.7 東京都美
 術館
 美術の窓 214 高山淳
東方展35回 3.14—3.24 東京都美
 術館
 美術の窓 212 高山淳
独立展69回 10.17—10.31 東京都
 美術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 10.25 塩野栄

(ナ 行)

二科展86回 9.1—9.16 東京都美
 術館
 美術の窓 218 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 9.7 清水真砂
二紀展55回 10.17—10.31 東京都
 美術館
 美術の窓 219 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 10.25 塩野栄
日展33回 11.2—11.24 東京都美
 術館
 新美術新聞 946 常盤茂
 美術の窓 220 高山淳／切刀知
 子
 東京夕刊 11.17 塩野栄
日本画院展61回 5.9—5.19 東京
 都美術館
 美術の窓 214 高山淳
日府展48回 5.8—5.19 東京都美

平成13年美術展覧会(団ナ〜ラ行)

術館

- 日本現代工芸美術展 6.28—7.1
神奈川県民ホールギャラリー
毎日夕刊 6.12
- 日本水彩展89回 6.1—6.10 東京
都美術館
美術の窓 215 高山淳
- 日彫展31回 4.5—4.21 東京都美
術館
- 日本伝統工芸展48回 9.25—10.7
三越(日本橋)
- 日本南画院展41回 3.14—3.24 東
京都美術館
美術の窓 212 高山淳
- 版画展69回 4.6—4.21 東京都美
術館
美術の窓 214 高山淳
- 再興院展受賞作家新作展85回
1.10—1.16 松坂屋(銀座)
新美術新聞 918 高岡忠雄
- 院展86回 9.1—9.16 東京都美術
館
新美術新聞 938 夏目四郎
美術の窓 218 高山淳/切刀知
子
東京夕刊 9.7 清水真砂
- 春の院展56回 3.27—4.8 三越(日
本橋)

(ハ・マ・ヤ・ラ 行)

- 白亜展24回 12.10—12.16 東京都
美術館
美術の窓 221 切刀知子
- 从展27回 3.14—3.24 東京都美術
館
美術の窓 212 高山淳
- モダンアート展51回 4.6—4.21
東京都美術館
美術の窓 214 高山淳
- 安田火災美術財団選抜奨励賞展20回
3.17—4.21 安田火災東郷青児美
術館
産経夕刊 3.21
- 立軌展53回 2.7—2.18 東京セン
トラル美術館
美術の窓 211 高山淳
東京夕刊 2.15 中村隆夫
日経 2.14 竹田博志

美術文献目録

凡 例

1. ここに採録した文献は平成13年中にわが国において発行された定期刊行物および諸新聞、美術展覧会図録に掲載されたものである。ただし雑誌により年外が含まれることもある。
2. 「美術文献目録」の欄は、平成12年度版から従来の「定期刊行物所載文献」とは別に、「美術展覧会図録所載文献」の一項を設けることにした。これは、近年、美術展覧会図録の内容の充実がめざましく、図録所載の論文等も、研究成果として価値の高いものになっている現状に対応して行ったものである。
3. 「定期刊行物所載文献」の欄も同様に、平成12年度版から従来の「現代美術・西洋美術」、「東洋古美術」の分類を、「近現代美術」「古美術」に改め、また両分類にかかわる記事については、「総説」「その他」中の各項目に統合して記載した。
4. 「定期刊行物所載文献」の欄は、近現代美術に関する文献の採録は、概ね明治以降の美術を対象とし、海外の美術に関しては西洋美術を主たる対象とした。また古美術に関する文献のうち、新聞紙上に掲載された記事で、現代に関連する内容をもつものはここに採録した。
5. 「定期刊行物所載文献」の各項目の配列は内容別に分類し、同一分類内では掲載誌名順に記した。なお、主題記載については、見出し易くするため多少変更している事がある。
6. 「美術展覧会図録所載文献」の欄は、「企画展」と「作家展」の2つに分類した。美術展覧会の分類は、巻頭の凡例に準じることとした。記載は、展覧会名、最初の開催美術館名、文献名、執筆者名の順に記載し、展覧会名の50音順に配列した。なお、「作家展」中の二人展、三人展等、複数の作家による展覧会図録の場合、展覧会名、会場については複数作家各々について五十音順で検索できるよう、複数回にわたりデータを再録している。その際、50音順で最初に現れるデータ部分に同展図録所載文献データを記し、その後にあられるデータにおいては、展覧会名、会場のみに限った。
7. 号数は主として通巻番号を採用した。なお757～759は、757号、758号、759号にわたることを示し、14・15は14号と15号の合併号を示す。9. 1、3、6、は平成13年9月1日、3日、6日の新聞を示す。
8. 題目の記載されていない文献については、便宜上編集部が仮題を付した。その題目は\$記号を両端に付して示した。

収録定期刊行物誌名

(50音順)

- | | | | |
|-------------------|-------------------------------|--------------------|--------------------------------|
| アート・ドキュメンテーション研究 | IS(ポーラ文化研究所) | 大阪市立博物館研究紀要 | 鎌倉遺文研究 |
| アート・ドキュメンテーション通信 | 和泉市久保惣記念美術館久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要 | 大阪の歴史と文化財 | カリスタ(東京芸術大学美術学部美学研究室) |
| アートトップ | 板橋区立郷土資料館紀要 | 大阪府立近つ飛鳥博物館館報 | Cultivate |
| アートペーパー(名古屋市美術館) | 一乗谷朝倉氏遺跡資料館紀要 | 大田区立郷土博物館紀要 | 川崎市市民ミュージアム紀要 |
| アート・マガジン(エル・アール) | 一関市博物館研究報告 | 大津市歴史博物館研究紀要 | 川崎市文化財調査集録 |
| あーとらいぶらりー(日本彫刻会) | 一寸 | 大手前大学社会文化学部論集 | 関西大学東西学術研究所紀要 |
| aica JAPAN | 五浦論叢(茨城大学五浦美術文化研究所紀要) | 大手前大学人文科学部論集 | 機関 |
| あいだ | 出光美術館館報 | 大美和(大神神社社務所) | 北区飛鳥山博物館研究報告 |
| 愛知教育大学研究報告 | 出光美術館研究紀要 | 岡山県立美術館ニュース | 木野評論 |
| 愛知県史研究 | 伊能忠敬記念館年報 | 岡山大学文学部紀要 | 岐阜県博物館調査研究報告 |
| 愛知県美術館研究紀要 | 茨城県近代美術館研究紀要 | 沖縄県立芸術大学紀要 | ギャラリー(月刊) |
| 愛知県立芸術大学紀要 | 茨城県近代美術館だより | 隠岐の文化財 | 九州芸術工科大学研究年報 |
| 青山学院女子短期大学紀要 | 茨城県立歴史館報 | 屋外彫刻調査保存研究会会報 | 九州産業大学芸術学部研究報告 |
| 青山史学 | 茨城大学人文学部紀要コミュニケーション学科論集 | お札と切手の博物館ニュース | 九州史学 |
| 秋田県立博物館研究報告 | 岩手県立博物館研究報告 | オリエント(日本オリエント学会) | 九州歴史資料館研究論集 |
| AXIS | 岩手県立博物館だより | 香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要 | 崎陽 |
| アジアセンターニュース | 印度学仏教学研究 | 学術研究(早稲田大学教育学部) | 京都工芸繊維大学工芸学部研究報告人文 |
| アジア遊学 | 上野の社会報 | 学叢(京都国立博物館) | 京都産業大学日本文化研究所紀要 |
| 明日の東洋学 | 浮世絵芸術 | 学燈 | 京都市美術館ニュース |
| 跡見学園女子大学紀要 | 瓜生通信 | 鹿島美術研究 | 京都市埋蔵文化財研究所研究紀要 |
| 跡見学園女子大学美学・美術史学科報 | 絵 | 華頂博物館学研究 | 京都市立芸術大学芸術資料館年報 |
| アマリス(静岡県立美術館) | AAC(愛知芸術文化センター) | 神奈川県立近代美術館年報 | 京都市立芸術大学美術学部研究紀要 |
| アルカディア(岡崎市美術館) | 叡山学院研究紀要 | 神奈川県立博物館研究報告 | 京都大学文学部美学美術史学研究室研究紀要 |
| AMBIANTE(東武美術館) | etc. (言水制作室) | 神奈川県立歴史博物館だより | 紀要 Hokkaido Art Museum Studies |
| 飯田市美術博物館研究紀要 | 江戸東京たてもの園だより | かながわの考古学 | 共立女子大学文学総合文化研究所研究叢書 |
| 池田文庫 | 愛媛県歴史文化博物館研究紀要 | 金沢大学文学部論集 | 金鯢叢書 史学美術史論文集(徳川黎明会) |
| 石川県立美術館紀要 | 大分県立歴史博物館研究紀要 | 金沢美術工芸大学紀要 | |
| 石川県立美術館だより | 大阪教育大学紀要 | 金沢文庫研究 | |
| 石橋美術館館報 | 大阪市文化財協会研究紀要 | 鎌倉 | |

近代画説(明治美術学会)	国学院雑誌	三の丸尚蔵館年報・紀要	史林(京都大学文学部内史学研究会)
釧路論集(北海道教育大学釧路校研究紀要)	国学院大学紀要	椎葉民俗芸能博物館研究紀要	シルクロード学研究(シルクロード学研究センター)
GLASS	国語国文(京都大学文学部国語学国文学研究室)	史淵(九州大学文学部)	真宗総合研究所研究紀要
クロノス(京都橘女子大学女性歴史文化研究所)	国語と国文学(東京大学国語国文会)	史学(三田史学会)	新美術新聞
群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	国際交流基金ニュース	史学雑誌	人文(京都大学人文科学研究所)
群馬県立女子大学紀要	国文学研究資料館文献資料部・調査研究報告	滋賀県文化財保護協会紀要	人文学研究所報(神奈川大学人文学研究所)
慶応義塾大学アート・センター年報	国立国際美術館月報	滋賀県立安土城考古博物館紀要	人文学と情報処理
慶應義塾大学日吉紀要フランス語フランス文学	国立西洋美術館研究紀要	絲綢之路(文化財保護振興財団)	人文論究(関西学院大学人文学会)
芸術学研究(筑波大学大学院芸術学研究科)	国立西洋美術館年報	静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	朱雀(京都文化博物館研究紀要)
芸術学研究(明治学院大学文学部芸術学科)	国立博物館ニュース	静岡県立美術館紀要	墨
芸術学論集(新潟大学教育人間科学部造形芸術学研究室)	国立民族学博物館研究報告別冊	静岡文化芸術大学研究紀要	駿台史学
芸術新潮	国立民族学博物館研究報告別冊	史迹と美術	生活と文化(豊島区立郷土資料館)
芸術論究(帝塚山学院大学美学美術史研究室)	国立歴史民俗博物館研究報告	実践女子大学美学美術史学	生活文化研究所年報
芸叢(筑波大学芸術学系芸術学研究室)	古事(天理大学考古学研究室)	実践女子大学文学部紀要	成城美学美術史
藝大通信	古代オリエント博物館紀要	島根県芸術文化センター(仮称)準備ニュース	成城文芸
現代芸術研究	古代文化(財団法人古代学協会)	下関市立考古博物館研究紀要	西洋美術研究
現代の眼(東京国立近代美術館)	古代文化研究(島根県古代文化センター)	下関市立美術館研究紀要	セゾンアートプログラム・ジャーナル
現代密教	国華	ジャポニスム研究	雪舟の郷
建築雑誌(日本建築学会)	駒沢大学文化	修復研究所報告	泉屋博古館紀要
建築史学	古文書研究(日本古文書学会)	種智院大学密教資料研究所紀要	仙台市博物館調査研究報告
県美協力会会報	斎宮歴史博物館研究紀要	純心人文研究	全文連会報(全国国宝重要文化財所有者連盟)
皇学館大学神道研究所紀要	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	正倉院紀要	蒼創(成城大学大学院文学研究科美学美術史専攻研究室)
皇学館論叢	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	聖徳	大正大学研究紀要
考古学雑誌	埼玉県立博物館紀要	城陽市歴史民俗資料館館報	大日光(日光東照宮)
考古学史研究	埼玉県立歴史資料館研究紀要	続日本紀研究	竹中大工道具館研究紀要
高知県立美術館ニュース	埼玉史談(埼玉県郷土文化会)	女子美術大学研究紀要	辰馬考古資料館考古学研究紀要
高知県立美術館研究紀要	採蓮 千葉市美術館研究紀要	書陵部紀要	辰野美術館だより
神戸市立博物館研究紀要	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	書論	たまび
神戸市立博物館だより	札幌大谷短期大学紀要	市立長浜城歴史博物館年報	多摩美術大学研究紀要
高野山大学密教文化研究所紀要		市立函館博物館研究紀要	淡交
		資料と研究(山梨県立文学館)	

美術文献目録

千葉県文化財センター研究連絡誌	陶磁館ニュース(東北陶磁文化館)	奈良大学紀要	美学研究(大阪大学大学院美学研究室)
千葉県立安房博物館研究紀要	同志社大学博物館学年報	奈良文化財研究所紀要	美学美術史論集
千葉県立中央博物館研究報告	陶説	南都仏教	比較文化論叢
千葉市美術館ニュースC'n	東方学	新潟県立近代美術館研究紀要	美学論究(関西学院大学文学部美学研究室)
地方史研究	東方学報京都(京都大学人科学研究所紀要)	新潟県立歴史博物館研究紀要	彦根城博物館研究紀要
中国近現代文化研究	東北アジア研究(東北大学東北アジア研究センター)	にいくら(跡見学園女子大学花隈記念資料館)	美術京都(財団法人中信美術奨励基金)
澄懷堂美術館研究紀要	東北芸術工科大学紀要	西アジア考古学	美術史
朝鮮学報	東北文化研究室紀要	西宮市立郷土資料館研究報告	美術史研究(早稲田大学美術史学会)
潮流(下関市立美術館)	東北歴史博物館研究紀要	日仏美術学会会報	美術史論叢(東京大学大学院美術史研究室)
筑波大学芸術研究報告	東洋学報(財団法人東洋文庫)	日文研	美術手帖
筑波大学芸術年報	東洋史研究	日光山輪王寺	美術の窓
筑波大学先史学・考古学研究	東洋陶磁	日展ニュース	美術フォーラム21
土浦市立博物館紀要	東洋文化研究所紀要	日本海域研究	「美の世界」通信(NHK学園)
津山弥生の里	東洋文庫書報	日本研究(国際日本文化研究センター紀要)	姫路市立美術館研究紀要
デアルテ(九州芸術学会)	ドーム	日本建築学会計画系論文集	姫路市立美術館だより
デザインの現場	遠山記念館だより	日本史研究	百科(月刊)
デジタルアーカイブ	徳島県立博物館研究報告	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	氷華(北海道立旭川美術館)
哲学会誌(学習院大学哲学会)	徳島県立博物館ニュース	日本の美学	兵庫県埋蔵文化財研究紀要
帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	図書館情報大学研究報告	日本美術研究	ひる・ういんど(三重県立美術館)
天閑図画(雪舟研究会)	図書館情報大学附属図書館報	日本文化研究(静岡県立大学短期大学部日本文化学会)	広島県立美術館研究紀要
天台学報	栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要	日本歴史	広島県立歴史民俗資料館研究紀要
東海大学紀要教養学部	栃木県立博物館研究紀要	人間文化(滋賀県立大学)	広島市立大学芸術学部紀要
東京学芸大学紀要	富山考古学研究	人間文化研究(京都学園大学人間文化学会)	ピロティ(兵庫県立近代美術館)
東京学芸大学造形芸術学・演劇学	富山市篁牛人記念美術館館報	仁和寺研究	フィロカリア(大阪大学大学院文学研究科芸術学芸術史講座)
東京家政学院生活文化博物館年報	富山大学人文学部紀要	野村美術館研究紀要	風土と文化(日本歴史文化学会)
東京芸術大学美術学部紀要	豊橋市美術館研究紀要	博物館研究(日本博物館協会)	ふくいミュージアム
東京国立博物館紀要	Tradition Creatrice(日本文化芸術財団ニュースレター)	浜松市博物館報	福井市立郷土歴史博物館研究紀要
東京造形大学研究報	長野県立歴史館研究紀要	版画芸術	福岡市博物館研究紀要
東京大学史料編纂所研究紀要	名古屋市博物館研究紀要	版の絵	季刊博物館だより(福島県立博物館)
東京都江戸東京博物館研究報告	名古屋市美術館研究紀要	美学	福島県歴史資料館研究紀要
東京都現代美術館紀要	名古屋大学文学部研究論集	美学芸術学(同志社大学文学部美学芸術学研究室)	
刀剣美術	奈良教育大学紀要		

ふくやま美術館研究紀要	北海道東海大学紀要	明星大学研究紀要	歴博
府中市郷土の森紀要	梵鐘(古鐘研究会)	目の眼	連盟ニュース(日本美術家連盟)
府中市美術館研究紀要	マキエ	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	鹿園雑集(奈良国立博物館研究紀要)
府中市美術館だより	待兼山論叢(大阪大学文学部)	山形大学歴史・地理・人類学論集	碌山美術館
仏教芸術	町田市立国際版画美術館紀要	山口県史研究	碌山美術館報
仏教史学研究	松ヶ岡文庫研究年報	山口県立美術館研究紀要	ろびい(北海道立近代美術館)
仏教大学社会学部論集	三重県埋蔵文化財センター研究紀要	山口県立山口博物館研究報告	和歌山県立近代美術館ニュース
仏教大学総合研究所紀要	三重大史学	山口蓬春記念館研究紀要	和歌山県立博物館研究紀要
仏教大学文学部論集	三岸好太郎美術館館報	大和文華	和歌山市立博物館研究紀要
フラミンゴ(滋賀県立近代美術館)	三田国文	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	早稲田大学会津八一記念博物館研究紀要
文化学年報(神戸大学)	密教図像	ユリイカ	早稲田大学大学院文学研究科紀要
文化学年報(同志社大学)	密教文化	横須賀市博物館研究報告	早稲田大学図書館紀要
文学(隔月刊)	宮崎県総合博物館研究紀要	横浜市歴史博物館紀要	和洋女子大学紀要
文学芸術(共立女子大学総合文化研究所神田分室)	MUSEUM(東京国立博物館)	横山大観記念館館報	朝日新聞
文化財(月刊)(文化庁文化財保護部)	MUSEUM STUDY(明治大学学芸員養成課程紀要)	立正史学	朝日新聞夕刊
文化財学報(奈良大学文学部文化財学科)	ミュージアム・データ(丹青研究所)	栗東歴史民俗博物館紀要	産経新聞
文化財レポート(京都文化財団)	MUSEOLOGIST(明治大学学芸員養成課程年報)	立命館大学考古学論集	産経新聞夕刊
文化財論考	視る(京都国立近代美術館)	龍谷史壇	東京新聞
文化史学	民具マンスリー(神奈川大学日本常民文化研究所)	龍谷大学論集	東京新聞夕刊
文環研レポート	民俗学研究所紀要	黎明館調査研究報告(鹿児島県歴史資料センター黎明館)	日経新聞
法政考古学	民博通信	歴史学研究	日経新聞夕刊
法政史学	武蔵野(武蔵野文化協会)	歴史地理教育	毎日新聞
北斎研究	武蔵野美術	歴史と地理	毎日新聞夕刊
保存科学(東京文化財研究所)	武蔵野美術大学研究紀要	歴史と民俗(神奈川大学日本常民文化研究所論集)	読売新聞
北海道開拓記念館だより	ムゼイオン(立教大学博物館研究)	歴史評論	読売新聞夕刊
北海道開拓記念館研究紀要			
北海道開拓記念館調査報告			

目 次

〔定期刊行物所載文献〕

総 説	52
美 学	52
概 論	53
日本美術史	61
海外美術史(アジア)	64
海外美術史(その他)	65
保存修復	67
情報処理	71
文化財行政	73
美術教育	76
古 美 術	79
絵 画	79
図像・文様	87
地図・絵図	87
彫 塑	88
土偶・埴輪	91
面	91
書 蹟	91
金石文など	92
工芸(一般)	93
宗教工芸	93
武具・馬具類	93
茶 道 具	94
装身具・化粧具	94
文 房 具	94
陶 磁	94
土 器	97
瓦	98
金 工	99
鏡	99
青 銅 器	99
刀剣・刀装・槍	100
染織・服飾	101
漆 工	101
石 工	102

木 竹 工	102
ガラス工	103
その他の工芸	103
建 築 一 般	103
都市・集落	103
宮殿・官衙	104
宗 教 建 築	105
城 郭	106
住 宅 ・ 館	106
茶 室	107
その他の建造物	107
庭 園	107
墳 墓	107
建築部材など	108
その他の建築	108
近現代美術	110
絵 画	110
漫 画	112
版 画	113
写真・映像	114
彫刻・空間表現	115
工 芸	116
デ ザ イン	117
建 築 史	119
その他のジャンル	121
作 家	122
日 本	122
海 外	163
そ の 他	175
美術関係者	175
書 評	182
時 評	188
美術館・博物館・画廊	190
海 外 展	202

定期刊行物所載文献

総 説					
美 学					
間文化的美学に関する若干の解釈学的問題について	ヴォルフハルト・ヘンクマン 平山 敬二 訳	沖縄県立芸術大学 紀要	9	文化主義の美学— ヴェルシュ「AES- THET/HICS」を手が かりに—	岡林 洋 美学芸術学 16
反省的判断力における単数性と複数性— ハンナ・アーレントの『判断力批判』受容 についての一考察	稲本竜太郎	カリスタ	8	ベルクソンのimage 概念について	辻本 宗正 " "
ハイデッガー『芸術 作品の根源』における「解釈学的」特性	石関 正史	"	"	危機の経験—アドル ノの崇高論—	高安 啓介 美学研究 1
【論文紹介】クラウド ス・エングラート 「総合芸術の夢—モ デルネの美的傾向 性?—」	阿部美由起	"	"	漱石『草枕』にみる西 洋美学の受容と翻 案—画工の絵になら ない俳句的な旅—	桑島 秀樹 " "
芸術的精神の現象学 (6)	岩城 見一	京都大学 文学部美 学美術史 学研究室 研究紀要	22	ロジャー・フライの 美術批評—ラッセル 論理学との関係—	要 真理子 " "
芸術と都市をめぐる 一考察 ベンヤミン 『パッサージュ論』を めぐって	谷川 眞美	静岡文化 芸術大学 研究紀要	1	問いかけと絵画—メ ルロ＝ポンティの 「絵画の存在論」	岩崎 陽子 " "
諸芸術の体系につい て—造 形 芸 術 と ミュージズの芸術—	片山 学	人文論究	50—4	原子論、芸術、そし て作者—ダントーの ヘーゲルの転回—	ロバート・ C・ソロモ ン キャスリ ン・M・ヒ ギンズ 前田 茂 訳 " "
景観についてあるい は美学と社会のかか わり	浅沼 圭司 蒼 創	1		芸術をめぐる言葉96 モダニティの隠喩と しての断片—ノック リン	谷川 渥 美術手帖 798
論壇 日本の美学の 新しい感性論をめざ して—風の美学の一 考察	橋本 典子	日本の美 学	32	芸術をめぐる言葉98 本朝の画は詩の如し —土佐光起	" " 801
論壇 火の美学	大橋 良介	"	33	芸術をめぐる言葉 100 芸術は長く、 人生は短し。—古代 の俚諺	" " 805
ゴットフリート・ゼ ムバーの素材概念	阿部美由起	美 学	204	芸術をめぐる言葉 101 美術史という 学問は男性中心的な 言説であり、性的差 異の社会的構築に手 をくだしている当事 者である。—グリゼ ルダ・ポロック	" " 806
ヴィルヘルム・パー ベートの「芸術哲学」— 相対主義の克服とい う観点で—	立野 良介	"	"	芸術をめぐる言葉 103 マネは主題の 意味作用を抹殺し た。—バタイユ	" " 809
西田哲学における芸 術と歴史—『歴史的 形成作用としての芸 術創作』をめぐっ て—	大熊 治生	"	205	絵画の社会学—2—	倉橋 重史 仏教大学 社会学部 論集 34
ポストミニマリズム と場	辰巳 晃伸	"	"	芸術 宗教という虚 構—美的モデルネと ワグナー	藤野 一夫 文化学年 報(神戸 大学) 20
造形活動の理解にむ けて—フィードラー とカッシーラー	石原みどり	"	207	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 遍在する怪物 怪物 論のトボス	種村 季弘 武蔵野美 術 119

季評[科学・技術] 作動的閉鎖性	河本 英夫	"	"	美術の自律性をめ くって—針生一郎氏 に	千葉 成夫	"	"
季評[本] ハッシシ を吸う人、人形を集 める人2 [ヴァル ター・ベンヤミン]	多和田葉子	"	"	なぜこの時期に画廊 か	菅原 猛	"	"
季評[美術] We have no problem	林 卓行	"	"	日の出残響—反自 然、過剰、表現の軸 について	遠藤 利克 あいだ	61	
美術における空間と 時間	河野 石根	明星大学 研究紀要	9	美術館多面体—東北 の風土から	村上 義男	"	62
概 論				混沌の中から—「越 境する女たち2」メ イキング・レポート	高橋美美子	"	"
座談会 日本の文化 とは何か—変わりゆく 社会と未来への展 望	細川 護熙 近藤 道生 吉岡 庸治 林屋 晴三 吉田 清	アートの トップ	180	まなざしのフィール ドワーク23、26	山口 昌男	"	62、65
アジア美術の現在	針生 一郎	"	"	都市・美術・表現— 「ミュージアム・シ ティ・福岡2000」を ケーススタディとし て	ふくずみれ ん	"	69
傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 11 著作権は何を守 るか	小泉 晋弥	"	"	貴賓席「あいだ」編 集部編集長 福住治 夫様	『時の蘇生』 柿の木プロ ジェクト実 行委員会事 務局	"	"
傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 12 戦争画と著作権	"	"	181				
傷ついた美術史 (時代)と闘うアート 13 戦争画への画家 のスタンス	"	"	182	『時の蘇生』柿の木 プロジェクト実行委員 会事務局様	福住 治 夫	"	"
徘徊巷記から6—美 術を立ち上げること	千葉 成夫	アート・ マガジン (エル・ アール)	23	特集：横浜トリエン ナーレ2001 《イン タビュー》仕掛け人 に聞きました—国際 交流基金の伊東正伸 さん	編 集 部	"	71
韓国のウェブサイト にNOと言われた (幻の)広州ビエン ナーレ・レビュー+ 針生一郎氏への質問	名古屋 覚	"	"	特集：横浜トリエン ナーレ2001 《アン ケート》見てきまし た「横浜トリエン ナーレ」	"	"	"
誌上再録/美学校 アートプロジェクト ラボ特別講座 ART と社会	小倉 正史	"	"	特集：横浜トリエン ナーレ2001 ボラン ティアスタッフとし てかかりました	小澤 京子	"	"
誌上再録/美学校 アートプロジェクト ラボ特別講座 アー トプロデューサーの 役割	南條 史生	"	"	碑は残った。しか し、それだけでは終 わらない—公共彫刻 のつくられ方を問う 「原爆落下中心地裁 判」	山下 良夫	"	72
東京芸術大学の学生 による展覧会観客観 察「間—20年後の 帰還」展		"	"	富山事件も続いて いる—消された『全 記録』の広告[富山県 立近代美術館問題]	勝山 敏一	"	"
勝負論とその彼岸	榎木 野衣	"	24				
誌上載録/ウイメン ズアートサロン—先 達の話とドキュメン ト 女性をめぐる 「ゲート」	若桑みどり	"	"	ダイナミックな胎動 を始めたアジアの芸 術文化交流	南條 史生、 ジョージ・ コーチ、 四方田犬彦 対談	アジアセ ンター ニュース	17
名古屋覚の一知半解 への反論—「芸術と 人権」展をめぐつ て—	針生 一郎	"	"	芸術の未来時制1、 5	園江光太郎	e t c .	30、37
横浜トリエンナーレ 2001開催の前に	南條 史生	aica JAPAN	1	未来圏の調律者32~ 35	石川 翠	"	33~36
上海ビエンナーレ 2000	清水 敏男	"	2	啓蒙と自然(5)	正塚 晴康	大阪教育 大学紀要	49—2

平成13年定期刊行物所載文献(総／概論)

気になる言葉【パルマコン】	妹尾 克己	岡山県立美術館ニュース	54	特集＝行く世紀、来る世紀2 意味づけられた場所・美しい風景の想像 デザインの科学の展望	門内 輝行	"	"
学会動向 「西アジア考古学」創刊	松本 健	オリエン	43—2	特集＝行く世紀、来る世紀2 生命に回答する建築を求めて	重村 力	"	"
学会動向 アッカド語文献資料に関連した最近の研究会活動について	川崎 康司	"	"	特集＝行く世紀、来る世紀2 デモクラシー・カオス・新しい場所	北川原 温	"	"
特集 美術における宗教と美術	平山 郁夫	学 鑑	98—8	特集＝行く世紀、来る世紀2 文化の多様性へのまなざし	斎藤 英俊	"	"
身体、メディアそしてイメージ	仲間 裕子	鹿島美術研究	18	特集＝行く世紀、来る世紀2 20世紀から21世紀へ	二川 幸夫	"	"
日本の中のイタリア／イタリアの中の日本	田村 毅	"	"	特集＝行く世紀、来る世紀2 21世紀 共生建築と共生都市	黒川 紀章	"	"
「マンガー日本コミックの世界」シンポジウム	小林 忠	"	"	特集＝行く世紀、来る世紀2 新しい世紀を迎えるときの実感として『西欧的からアジア的へ＝女性の時代へ』	村上美奈子	"	"
造形のフィットネス	上田 恒夫	金沢美術工芸大学紀要	45	特集＝行く世紀、来る世紀2 建築のアジアへ	中川 武	"	"
特集 創る・見せる《場》をめぐるアーティストたち オープンスタジオというスタイル		ギャラリー(月刊)	194	特集＝行く世紀、来る世紀2 サステイナブル・デザインの可能性	難波 和彦	"	"
“見ること”と“描くこと”(視覚実験による作品観照の科学的解明)	大西 修也 村上 智子 殿木戸 悟史	九州芸術工科大学研究年報	21	特集＝行く世紀、来る世紀2 時代とともに	丹下 健三	"	"
ペーマとアンボ シナゴークと初期教会における先唱者の位置と典礼	岩佐 まゆ	芸術学研究(筑波大学)	5	特集＝行く世紀、来る世紀2 21世紀を迎えるにあたって	長谷川逸子	"	"
アヘン戦争の略奪美術品140年ぶり北京に“回帰”展		芸術新潮	613	特集＝行く世紀、来る世紀2 建築デザインとプログラムの分離 建築計画設計の未来像	服部 岑生	"	"
ART NEWS 略奪美術品レポート アフガニスタン発 彷徨える《ゼウス像の左足》	堀 暁	"	617	特集＝行く世紀、来る世紀2 未知との遭遇	石山 修武	"	"
ART NEWS 人はなぜ肖像を求めるのか	木下 直之	"	621	特集＝カフェ・アート・メディア パブリックアート再考 「記憶の場」を作るアートの力	新田 秀樹	"	1476
特集 本館リニューアル・オープン常設展示と美術史	田中 淳	現代の眼	531	特集＝カフェ・アート・メディア コミュニケーションの道具としてのアート	森 司	"	"
巻頭対談 行く世紀、来る世紀—建築界の源流から、21世紀の都市まで	藤島 亥治郎 芦原 義信	建築雑誌	1465	特集＝カフェ・アート・メディア ミュージアム・シティ・プロジェクトの試み	山野 真悟	"	"
特集＝行く世紀、来る世紀2 素材と現場から文化を発信する	鈴木 博之	"	"	特集＝カフェ・アート・メディア 南芦屋浜コミュニティ&アート計画の試み	橋本 敏子	"	"
特集＝行く世紀、来る世紀2 夢や欲望を媒体する建築の21世紀	彦坂 裕	"	"				

特集＝カフェ・アート・メディア都市とアートをつなぐ記憶の伝承	佐藤 俊郎	"	"	博物館展示からみたサン文化の表象について—サン・アートの展示の事例から—	池谷 和信	"	"
巻尾座談会 建築とアート—バリエーションのひとつとして—	松永 英伸 棚橋 年彦 設楽 壮一 平山 俊達 磯田 雄裕 浜田 邦裕 司会	"	1480	シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」			
対談シリーズ3 横浜トリエンナーレ2001	南條 史生 藤井 宏昭 対談	国際交流 基金 ニュース	245	ンデベレの装飾と博物館[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	亀井 哲也	"	"
オーストラリア中央砂漠のアクリル・ペインティング—展示における先住民文化の表象に関する事例—[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	松山 利夫	国立民族 学博物館 研究報告 別冊	22	セッション4：サン討論[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	西尾 哲夫 司会 川口 幸也 コメント	"	"
セッション1：アポリジナル 討論[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	久保 正敏 司会 窪田 幸子 コメント	"	"	総合討論[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]		"	"
エスニック・アートとイヌイット文化の表象—1999年度民博特別展示との関連で—[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	岸上 伸啓	"	"	表象民俗文化論の可能性について『写真集安倍晴明伝説』の出版を契機として	高原 豊明	国立歴史 民俗博物 館研究報 告	91
交差点としての「イヌイット・アート」—エスニック・イメージが生成する対話の場—[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	大村 敬一	"	"	バーミヤン石仏破壊の教訓	平山 郁夫	絲綢之路	36
セッション2：イヌイット 討論[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	近藤 雅樹 司会 佐々木利和 コメント	"	"	アフガン「文化財難民」救出へ	谷 久光	"	37
アマゾンのシャーマニック・ヴィジョンの表象[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	中牧 弘允	"	"	21世紀、東アジア・デザイン発展の基底—異文化間・創造時代の実現に向けて	佐野 邦雄	静岡文化 芸術大学 研究紀要	1
セッション3：アマゾン 討論[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	藤井 龍彦 司会 原 毅彦 コメント	"	"	服飾表現の変容とその行方2—美術展とコレクションの変容に伴って—	前田 彩子	女子美術 大学研究 紀要	31
				芸術と法、国家1—ドイツ連邦共和国基本法5条3項における「芸術の自由」概念をめぐる(後)—	奥山亜喜子	"	"
				新美術時評 企業メセナの世紀に向けて(その2)	広本 伸幸	新美術新 聞	916
				市民団体による開催に課題 アーティスト・イン・レジデンス越谷2000	西澤 美子	"	"
				第7回二カフ 東京国際フォーラムで開催	豊原 真澄	"	918
				日本美術著作権機構が美術家連盟を窓口 に海外著作権管理業 務を開始	西澤 美子	"	919
				色いろ調 美術著作権 を守るか	安井 収蔵	"	920

新美術時評 「イン タナシヨナリズム」 から「グローカリズ ム」へ	山脇 一夫	新美術新 聞	924	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 「ここから 石器が出るよ」と彼 らは言った 上高森 遺跡発掘に参加して	小野塚永治	"	"
新美術時評 子供と アート	広本 伸幸	"	928				
緊急特集 米国同時 テロ NY世界貿易 センター倒壊	富井 玲子 平山 郁夫 荒川 修作 篠原 有司 千住 博 高階 秀爾 マコト・フ ジムラ 村上 隆 森村 昌 依田 順子	"	941	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 再検証は？ 上高森遺跡、その他 宮城県内の旧石器遺 跡のこれから	今野 隆吉	"	"
現在通信from NEW- YORK 「9月11日」 前後	富井 玲子	"	942	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 人間こそが 問題なのである 旧 石器捏造事件を機に 感じたことなど	江原 昭善	"	"
特集米国同時テロ その後のNY 新た なる芸術の可能性を 探る	富井 玲子 宮崎 進 天野 太郎 五十嵐 卓 小勝 河 勲使河 純 藤島 俊 山田 会 森 論 司	"	945	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る 危機に立 つ考古学—その理論 と体質	伊藤 和史	"	"
美術市場レーダー 123 捏造と破壊と 贋作の横行	瀬木 慎一	"	946	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る まぼろし のニッポン原人を夢 想していた	岩田 一平	"	"
特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 経過報告 捏 造発覚の経緯	竹岡 俊樹	人文学と 情報処理	34	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る 問題はど う検証するか？だが ...	太田 朗	"	"
特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 誌上対談 前 期旧石器問題の真実 を語る	小田 静夫 竹岡 俊樹	"	"	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る ビルトダ ウンと前期旧石器遺 跡捏造事件	河合 信和	"	"
特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 みんなで問 違えれば怖くない 「旧石器遺跡捏造問 題」で責任をとるべ きは誰か	馬場 悠男	"	"	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る 捏造問題 を考える	富安 京子	"	"
特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 彼は地層を 熟知していた？ 火 山灰編年学からみた 「前期旧石器発掘捏 造事件」	早川由紀夫	"	"	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る ジャーナリス トは語る 演技続け た「第二の相沢」一幻 影を掲げた一人芝居	渡辺 延志	"	"
特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 関連学問から の証言 古いものほ ど価値がある？ 考 古学における「年代 パブル」について— 「旧石器捏造事件」に 思う	安本 美典	"	"	特集 前期旧石器遺 跡捏造事件の真相を 語る 考古学者はど う語る 「同僚によ る審査」という検証 法 考古遺跡の検証 と陪審員制度—北米 からみた旧石器遺構 捏造事件	井川 史子	"	"

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る あなたに石器は見えますか 石器研究とねつ造事件—解剖学的石器研究と職業的石器研究のすすめ—

角張 淳一 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る 考古学はマスコミの消耗品か 前期旧石器捏造とペトログラフ

齊藤 基生 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る 厚顔無恥の袋小路 旧石器遺跡捏造事件・私はこのように理解する

竹花 和晴 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る 調査にはルールがある 上高森遺跡の石器埋納遺構

戸田 哲也 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る 「ふあつ」と石器が現われる? 日本における前期旧石器の検証—特に東北旧石器文化研究所の調査の在り方について—

山村 貴輝 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る あらゆるものを疑え 前期旧石器捏造事件の背景

服部 研二 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る ダメなものほど科学の顔をする メタな視点—学問の病理現象—

水山 昭宏 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 考古学者はどう語る 坊主懺悔の響き 信頼から猜疑の体系へ

小野 昭 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 石器真偽判定「前期旧石器」観察記

竹岡 俊樹 " "

特集 前期旧石器遺跡捏造事件の真相を語る 研究史は語る 日本前期旧石器研究 解題—日本の前期旧石器時代研究史とその年譜—

小田 静夫 " "

特集 美術と身体表現 俳優の演技 J. J. エンゲルにおける身ぶりの考察

マリヴォンヌ・セゾン 三浦篤 三浦篤 三浦宏明 西洋美術研究 5

公開講座収録 SAP Critical Session(2) 「歴史と現在 今、20世紀日本美術史で再考すべき事柄」 第1回「太平洋戦争画に見る画家フジタの魔性」

菊畑茂久馬 セゾンアートプログラム・ジャーナル 6

倫理とイデオロギー 超えた戦争画論

三田 晴夫 " "

もうひとつのモダニティ

松岡新一郎 " 7

「ワークショップ」という経験の行方—東京都現代美術館の実践例からの考察

森 千花 東京都現代美術館紀要 6

内外東方学会消息(百) 中国、北京大学で開催された「新出土簡帛国際学術研討会」

池田 知久 近藤 浩之 東方学 101

内外東方学会消息(百) 紀念敦煌藏經洞発見一百周年国際学術研討会

高田 時雄 " "

内外東方学会消息(百) 二〇〇〇年敦煌学国際学術討論会

百橋 明徳 八木 春生 池田 温光 京戸 慈和子 砂岡 " "

ジョルジュ・ディディ=ユベルマン氏来日講演、シンポジウム報告

平岡 洋子 日仏美術学会会報 20

記念物と芸術作品

上村 博 美 学 204

座談会 美術史学会の半世紀をふり返って 1 東支部

前川 誠郎、関口 正之、辻 惟雄、水野 敏三、鈴木 潔 美術史 150

座談会 美術史学会の半世紀をふり返って 2 西支部

清水 善三、田村 隆照、勝 國興、成瀬 不二雄、鈴木 潔 " "

第四十九回全国大会シンポジウム報告—美術展覧会と観衆—話題提供と総合討議の報告—

五十殿利治 木下 直之 " "

平成13年定期刊行物所載文献(総／概論)

日本における中国絵画史研究の動向とその展望—宋元時代を中心に	小川 裕充	美術史論叢	17	特集 VIVA! 肉体表現主義!!! アートエンターテインメント化させた起爆剤「アート・アーティスト・オークション」と「たけしの誰でもピカソ」	新川 貴詩	"	"
緊急対談・座談会スペシャル 新世紀アーティスト会議8 現代美術の祭典「横浜トリエンナーレ」へのプロローグ	河本 信治、 建昌 哲、 中村 信夫、 南條 史生 座談会	美術手帖	798	特集 オブ・アートの快感 光は秩序である—二十世紀生態光学の転換	佐々木正人	"	808
特集 イノセント「プリジュームド・イノセント」展 思春期の後に人生はあるのか	マリ＝ロー ル・ベルナ ダク 梅宮 典子 訳	"	800	街とアートの交差点 アートクロッシング 広島プロジェクト 2001スプリング	白坂 ゆり	"	"
特集 イノセント ギフト・オブ・イノ センス 飲みの国、 無垢の賜物 美術に おけるイノセンスな ものの系統	鷹見 明彦	"	"	養老天命反転地× the collective art conscious festival	上野 俊哉	"	809
特集 イノセント グラフィティ・アート の行方	川原 英樹	"	"	特集 横浜トリエン ナーレ2001の歩き方 ふたたびイマジネー ションの圏域へ	市原研太郎	"	811
特集 イノセント 21世紀アートによる 「イノセント」の追求 イノセントか確信犯 か	原 久子 選・文	"	"	特集 横浜トリエン ナーレ2001の歩き方 日本・前衛・美術 (60年代→00年代一 序論)	榎木 野衣 中ザワヒデ キ	"	"
特集 イノセント 21世紀アートによる 「イノセント」の追求 日常の自由研究がリ ンクしたアート	川原 英樹 選・文	"	"	巻頭特集 「女性の 時代」から「女流元 年」へ	篠原 弘	美術の窓	208
特集 イノセント 21世紀アートによる 「イノセント」の追求 イノセンスは可能か	東谷 隆司	"	"	現在美術TOKYO発 最終回+鼎談	伊東 順二 森村 泰昌 榎本 了彦	"	209
特集 イノセント 21世紀アートによる 「イノセント」の追求 失われたイノセンス を求めて	市原研太郎	"	"	今月の顔 丸沼芸術 の森 須崎勝茂 地 に足のついたパトロ ネージュ		"	218
2000上海ビエンナー レ 現代美術によっ て「上海スピリット」 が提示したもの	栗山 明	"	"	TOPICS 美術の新 しい「法」は「CG」 で—美術と科学の併 行展開からの予見	浅野徹一郎	美術 フォーラ ム21	4
月刊ハマトリ 第 1～7号	嘉藤 笑子	"	800、801、 803、805、 806、808、 809	TOPICS 「大 阪 ト リ エ ン ナ ー レ」 1990—2001報告	中塚 宏行	"	5
北京のパフォーマン ス会場に警察が乱入 逃げ回る僕の顛末記	牧 陽一	"	800	TOPICS 「第 十 五 回国際美学会議」と 「アジア芸術学会」か らの報告	神林 恒道	"	"
直島会議5 アート と地域：マクロとミ クロの間で	辻 憲行	"	801	文化財保護法50周年 記念国際シンポジウ ム 現代性と伝統の 危機	ブルーノ・ ベドレッ ティ	文化財 (月刊)	450
「アフター・ザ・ ウォール」展をめぐ って ボヤナ・ ベジジ講演会	岡村 恵子	"	803	文化財保護法50周年 記念国際シンポジウ ム 文化遺産と観光 開発	石森 秀三	"	"
特集 VIVA! 肉体 表現主義!!! 本・芸術・芸能 負論とその彼岸	榎木 野衣	"	805	隣人が見た捏造問題	加藤 真二	"	454
				文化財を未来に継承 する—テンブル ミュージアムの取り 組みを通して—	神居 文彰	文化財レ ポート	4
				研究 現代美術と ファルスの運命 精 神分析からの弁明	新宮 一成	武蔵野美術	120

レポート『目の眼』 300号記念パネル ディスカッション 古美術を語ろう！ 体験、知識と最新情 報で聴衆を魅了する	辻 清明 大橋 一章 谷 尚 荒川 正明	目 の 眼	303	リレー連載・石器発 掘ねつ造問題から考 える4 ねつ造事件 の波紋と考古学・歴 史教育	十菱 駿武	"	614
過視的なものたち 1～4	東 浩紀	ユリイカ	443、444、 446、449	歴史のひろば「陵 墓」問題のこれから	石部 正志	"	615
特集 イタリア イ タリアの根底にある もの(徹底討議)	岡田 温司、 和田 忠彦、 四方田大彦 対談	"	449	リレー連載・石器発 掘ねつ造問題から考 える7 歴史観の欠 如とねつ造問題	林 啓太	"	620
特集 イタリア 女 神の館を求めて ローマ滞留	大橋 喜之	"	"	歴博対談 第36回 〔鼎談〕前期旧石器遺 跡「捏造」問題を考え る	木村 英明 河合 信和 春成 秀爾	歴 博	106
特集 イタリア 徹 底討議 パルチザン 的連繫にむけて イ タリアの建築・文 学・美術を横断する	鈴木 了二、 松浦 寿夫、 和田 忠彦 対談	"	"	略奪美術品を追え (上、下)	山盛 英司 朝 日		8. 27、28
特集 イタリア 光 をめぐって	河本 英夫	"	"	テロへの報復に「？」 印 NY・ユニオン スクエアで 多彩な アートで反戦訴える	近藤康太郎	"	9. 19
特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 オタク的主 体は最もラディカル なポストモダンの主 体なのか？	熊倉 敏聡	"	453	どうする日本の芸術 支援 各党の基本法 案・試案出そう		"	10. 24
特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 日本絵画の 新たな出発「マイ ナー」さの三つの 相	松井みどり	"	"	美の現在 美術館の 枠越える現代美術	高階 秀爾 朝日夕刊		2. 1
特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 現代美術に おけるグローバル化 と「他者」	市原研太郎	"	"	旧石器ねつ造事件と 日本考古学	竹岡 俊樹	"	5. 15
特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 忘却と反復 価値の保証・保証の 価値	山下 裕二	"	"	パブリックアートの 居場所 迎え入れる 「器」が大切	野村 幸弘	"	10. 13
特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 疑わしき点	松岡新一郎	"	"	日本人の想像力の証 し 形象の世界では 負けぬ文化	田中 英道 産 経		2. 24
ヴァティカンの一景 観	西村 圭子	歴史と地 理	549	新しい歴史教科書を つくる会 相次ぐ批 判本に反論 学問的 に誤った記述ない	"	"	7. 6
リレー連載・石器発 掘ねつ造問題から考 える1 旧石器ねつ 造問題をめぐって	石部 正志	歴史評論	610	新たな戦争体験と戦 後思想の終焉 糾弾 すべき文化破壊	"	産経夕刊	10. 27
リレー連載・石器発 掘ねつ造問題から考 える2 「日本考古 学」の再生に向けて	黒尾 和久	"	612	異端の肖像世紀を超 えて2 ねつ造旧石 器に異論	小田 静夫 東 京		1. 3
リレー連載・石器発 掘ねつ造問題から考 える3 歴史系博物 館の展示に多様な見 解を	宮瀧 交二	"	613	土曜日の午後は…障 害者も健常者も一緒 にアート	西沢 糸信	"	1. 12
				TOKYO発 ハイ テ ク日本お江戸の源流 技術伝える1300点を 先行公開	小国 智宏	"	3. 20
				屋外作品の著作権問 題 初の司法判断う け…見直し求める動 き加速 「アートの 発展妨げる」		"	8. 5
				そこが！聞きたい 絵画展通して実情紹 介 アジアの障害者 支援を 小俣典之さん	北爪 三記	"	9. 4
				社説 遺跡ねつ造 これは学問ではない		"	10. 12

平成13年定期刊行物所載文献(総／概論)

「ベルリンの壁」崩壊から10年の東欧現代美術展「アフター・ザ・ウォール」の意味	南 崑	宏	東京夕刊	3. 21	眼で聴くアートビート十選 1～10	林 英哲	"	7. 5、6、10、12、13、16、18、19、23、24
現代アートを触って楽しんで[ファーレ立川]			"	10. 22	痙攣する美十選 1～10	塩田 純一	"	7. 26、27、30、31、8. 2、3、6、7、9、10
層位と形式の崩れたバランス 旧石器・ねつ造発覚から1年	野口	宏	"	10. 29	解きかけのパズル文化をとらえるまなさし	森 まゆみ	"	8. 8
9・11後ニューヨーク芸術事情	塩谷	陽子	"	12. 13	描き手も見る側も癒し系アート 治療力向上 心も活性化	宝 玉 正彦	"	8. 11
あしたを紡ぐ4 参加の芸術 希望も結ぶ			日 経	1. 3				
美の美 微笑に始まる 魅惑と疑惑のあいだ 1～4	小島	英熙	"	1. 7、14、21、28	理性の目十選 1～10 美術に現れた科学	安野 光雅	"	8. 14、15、17、20、21、23、24、27、29、30
暦のアート十選 1～10	山脇	一夫	"	1. 8、9、11、12、15、16、18、19、22、23	文化往来 六本木再開発現場にパブリックアート		"	8. 24
愛の情景十選 1～10	松樹	路人	"	1. 29、30、2. 1、2、5～9、12	ダンテ「神曲」をめぐる十選 1～10	小田 襄	"	9. 3～5、7、11、12、14、17～19
旧石器ねつ造発覚から3ヶ月 検証長期化、波紋広がる			"	2. 4	文化往来 地方メセナ、官民が協力関係探る		"	9. 19
螺旋の美十選 1～10	三井	秀樹	"	2. 15、16、19、20、22、23、26～28、3. 1	日本の滝十選 1～10	尾崎 正明	"	10. 10、11、16、17、19、22～25、29
旧石器発掘ねつ造検証始動 日本考古学界信頼どう回復	松岡	資明	"	3. 3	美の美 花 千紫万紅の輝き(上、下)	河野 孝	"	10. 14、21
雨の街十選 1～10	米谷	清和	"	3. 5、6、8、9、14、19～22	水からの贈りもの十選 1～10	新宮 晋	"	11. 13～15、19～23、26、27
食する心十選 1～10	草薙奈津子		"	3. 29、30、4. 2、3、5、6、10～12、16	文化往来 企業メセナ、活動費減るも内容多様に		"	11. 15
文化往来 芸術文化のあり方問うセミナー			"	4. 3	ねつ造に揺れる考古学に援軍 「遺跡ビジネス」の新風		"	11. 18
医療・福祉の現場で創作活動 生と死に向き合うアート 生きる意欲養う	宝 玉 正彦		"	4. 7	文化往来 アフリカ美術の原点、日本で問う		"	11. 21
文化往来 発掘ねつ造で討論、考古学のあり方問う			"	5. 26	あすへの話題 美の文明	川勝 平太	日経夕刊	1. 4
寂寥の風景十選 1～10	池田	史子	"	6. 18、19、21、22、25、26、28、29、7. 2、3	素人キュレーター美術界に新風 会社員・学生が企画 作家に人脈、新鮮な発想		"	6. 19
					子供のための美術展「先入観抜き」大人にも魅力		"	8. 2
					続検証 旧石器発掘ねつ造 1～5		毎 日	3. 13～16、19

障害者の枠超え、才能ひきだしプロ作家に…広がる「アート・サポーター」育成	大和田香織	"	4. 1	明治初期から中期にかけての木版整版和装本出版に関するについて	岩切信一郎	"	7
地域とかかわる新しい野外展 東京芸大と千葉大のプロジェクト	村田 真	毎日夕刊	1. 19	日本美術略史の謎	森 仁史	"	"
現代アート考 立体の可能性	三田 晴夫	"	1. 23	グレイ・リテラチャー[日本美術略史]	"	"	8
美の標本室「アトム」へのカウントダウン	布施 英利	"	12. 7	特集 美術における宗教 日本美術の宗教的ヴィジョン	栗津 則雄	学 鑑	98—8
編集委員が読む 美術のNPO「商業主義」排し等身大で表現	芥川 喜好	読 売	5. 28	アメリカにおける日本美術批評—サダキチ・ハルトマンを中心に—	志邨 匠子	鹿島美術研究	18
日韓理解への道 第4回日韓交流座談会	梅原 猛、 梅山 秀幸、 李 鄭寧、 崔 柄憲、 水尾比呂志 対談	"	6. 14	視覚資料から見た、近代「日本人」の身体像の形成—「吊り目」の表象—	北原 恵	"	"
手帳 美術家と住民が交流 フランスのアーティスト・イン・レジデンス	(菅)	読売夕刊	3. 22	大正期の札幌におけるヨーロッパ近代美術の紹介について—独逸現代美術展と第19回黒百合会美術展—	佐藤 幸宏	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01
険しい真相解明への道 旧石器ねつ造事件から半年		"	5. 16	札幌美術年譜(1)	苦名 直子	"	"
芸術と大衆 上、中、下	樋口広太郎 富岡多恵子 稲増龍夫 対談 乳井司会 昌史	"	6. 4~6	60年代北海道の具象表現—これくしょん・ぎやらりい企画から—	中村 聖司	"	"
アーティスト・イン・レジデンス 仏モンフランカンの試み 上、下	菅原 教夫	"	9. 19, 20	ミキ早川と戦前期サンフランシスコにおける日系人画家の活動について	穂積 利明	"	"
文化の街作り企業が推進役 ベルリン・ポツダム広場のダイムラー社	"	"	10. 1	資料紹介 『稿本日本帝国美術略史』の成立と位相	森 仁史	近代画説	10
バーミヤン盗掘、密売 アフガン難民、収入源に 顧客は日本人、欧米人	"	"	10. 2	資料紹介 和蘭画学校誌	木下 直之	"	"
旧石器遺跡ねつ造発覚から1年 荒治療が必要な考古学界	馬場 悠男	"	11. 5	日本画における額の消滅—一九三〇年ローマ美術展における展示空間をめぐる—	石井 元章	"	"
日本美術史				ART NEWS 全貌が見えてきた 幕末明治“幻の大博物図鑑”計画		芸術新潮	622
初公開コレクション 日本美術史見なお誌 第三回~第五回	瀬木 慎一	アート トップ	180~182	特集 美術史の逆遠近法 特集にあたって	古田 亮	現代の眼	526
連載 日本美術見なお誌 第六回 日本諸家人物誌・正統平安人物誌	"	"	183	特集 美術史の逆遠近法 形式主義	林 温	"	"
新・旧刊案内 7、8 近代日本美術史研究の歴史を論ず	青木 茂	一 寸	7、8	特集 美術史の逆遠近法 宗達V.S.会田誠—「古美術」現代美術」往還記	山下 裕二	"	"
				特集 美術史の逆遠近法 梅花の再生—京・江戸・パリ、そして再び京都—	玉蟲 敏子	"	"
				「美術史」の展示	佐藤 道信	国立博物館 ニュー ス	644

回顧と展望 二〇〇〇年の歴史学会 日本 古代 十一	内藤 栄	史学雑誌	110—5	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 名作と巨匠の認知をめぐる認識の齟齬 「日本美術史」形成期(一八七〇—一九〇〇)を中心に ゴンズ『日本美術』(一八八三)、アンダーソン『日本の絵画藝術』(一八八六)および『稿本日本帝国美術略記』(一九〇〇)をめぐって	稲賀 繁美	美術フォーラム21	4
回顧と展望 二〇〇〇年の歴史学会 日本 中世 十三	津田 徹英	"	"				
回顧と展望 二〇〇〇年の歴史学会 日本 近世 六 美術	今橋 理子	"	"				
回顧と展望 二〇〇〇年の歴史学会 日本 近現代 十三 美術	濱中 真治	"	"				
曖昧と明晰—美術における二つの様相—	井土 誠	下関市立美術館研究紀要	8	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 岡倉天心と美術史学の形成	神林 恒道	"	"
20世紀後半の日本美術—「もの派」再考	伊藤 憲夫	セゾンアートプログラム・ジャーナル	7	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 近代歴史学と作品評価《御物聖徳太子画像》をめぐって	東野 治之	"	"
美術雑誌のなかの作家	関 直子	東京都現代美術館紀要	6	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 明治期の美術写真出版物『国華』『真美大観』『Histoire de l'Art du Japon』を中心に	岡塚 章子	"	"
センター通信 もう一つの近世像—江戸時代の尼門跡における尼僧たちの文化と美術	バトリ シア・フィスター	日文研	26	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 中国絵画の古典性とは? 日本絵画史にとってのそれを中心に	小川 裕充	"	"
特集…尽くし エッセイ 日本美—「尽くし」の深化	大橋 良介	日本の美学	32	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 目利きの払底 様式論の凋落と日本仏教美術における過大評価	定金 計次	"	"
室町時代の座敷飾り—絵画と道具のとりあわせを中心に—	岡田 早織	日本文化研究	13	特集 名品/巨匠? 一日本美術史における規範形成 「これはオランダの最も優れた画家によって描かれたのか?」 「ファン・ロイエン花鳥画」考	金子 啓明	"	"
1935年(昭和10年)の京都画壇	平野 重光	美術京都	27	資料紹介 近頃日本に來た・来ている・来るアメリカの日本美術コレクション—クラーク・コレクションを中心に	中村 俊春	"	"
第四十九回全国大会 シンポジウム報告 小さな観客—日本近代美術の事例から	水沢 勉	美術史	150	特集 海外から日本の美術を見る。日本美術における自然観の一面 風・雨・日・月のイメージ	原田 平作	"	5
第四十九回全国大会 シンポジウム報告 ロンドン万博(一八六二年)における日本美術への反応について	渡辺 俊夫	"	"		フランソワ・ベルティエ	"	"
平成十二年支部例会 研究発表要旨 明治前半期の女性像にみる「美德」の表現—芸妓から皇后まで	児島 薫	"	"				
平成十二年支部例会 研究発表要旨 女流美術家奉公隊と《大東亜戦皇国婦女皆働図》について—十五年戦争期にみる美術とジェンダー	吉良 智子	"	"				
巻頭特集貧乏力 画家たちの青春群像—明治・大正・昭和前期を中心に	篠原 弘	美術の窓	210				

特集 海外から日本の美術を見る。東福門院和子とその人生と美術嗜好	エリザベス・リレホイ大木 貞子 訳	"	"	日本アジア協会とその周辺	河野 哲郎	MUSE-UM	570
特集 海外から日本の美術を見る。オランダにおける日本コレクションの成立と展開	マテイ・フォラー松本 直子 訳	"	"	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 需給関係が化物を生む物語・伝承の怪物たち 怪物のタイポロジー/日本	近藤 雅樹	武蔵野美術	119
特集 海外から日本の美術を見る。サミュエル・ピープスのガウン	タイモン・スクリーチ中間 志織 訳	"	"	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 有情のからだ一鬼をうむもの	倉本 四郎	"	"
特集 海外から日本の美術を見る。「古典主義」とカノン形成 17世紀日本絵画についての美術史言説	メラニー・トレデー高松 麻里 訳	"	"	特集 2001年大江戸文化の旅 あらめてたやな江戸百夢	田中 優子 宏	ユリイカ	442
特集 海外から日本の美術を見る。モネと日本 浮世絵と日本及びヨーロッパの風景画に見られる伝統的空間の変様	ギャリー・ヒッキー原田 平作 訳	"	"	特集 2001年大江戸文化の旅 若冲・白隠・コンテンポラリー	山下 裕二	"	"
特集 海外から日本の美術を見る。過去の理念 デンマーク美術におけるジャポニスム	グンヒル・ボーグレーン富田千恵子 訳	"	"	絵画表現と社会機能—宮殿・官衙と村落—	高島 英之	歴史評論	609
特集 海外から日本の美術を見る。理想主義のリアリズムとの遭遇 日本における西洋美術の摂取	ドリス・クロワッサン長瀬 真理 訳	"	"	初期北斗画会の活動 北海道美術の幕開けを告げる	苦名 直子	ろびい	67
特集 海外から日本の美術を見る。19世紀から20世紀にかけてのアメリカにおける日本美術研究	中根 和子	"	"	キトラ古墳に朱雀 おお、ある、伝説の鳥		朝 日	4. 4
特集 海外から日本の美術を見る。ドイツから見た「ネオ・ポップ」と日本美術史の学	ジャクリース・ベルント	"	"	唐に学んだ画師 描く?キトラ古墳の朱雀が語るもの	白石太一郎	朝日夕刊	4. 14
特集 海外から日本の美術を見る。日本美術概説講義の現状	サミュエル・モース岡村 知子 訳	"	"	名作散歩 和辻哲郎著『古寺巡礼』(4)	山本 稔	東京	8. 5
美術随想 日本美術史における木村兼葭堂の存在 十八世紀の大坂の文化との関係(第一九回山片蟠桃賞贈呈式記念講演(二〇〇一年三月二十六日))	ジョン・ローゼンフィールド織田 より 翻訳補助	"	"	美の美 桃山のグローバリズム 1~4	宝玉 正彦	日 経	2. 4, 11、18、25
執筆者があげる日本美術関係書		"	"	美の美 醍醐寺 祈りとアート(上、下)	松岡 資明	"	4. 15、22
戦後リアリズム論争の展開—土方定一と永井深の論争を中心に	武居 利史	府中市美術館研究紀要	5	美の美 美人画の小宇宙 1~4	宝玉 正彦	"	5. 27、6. 3、10、17
ウィーン万国博覧会と開拓使・北海道	三浦 泰之	北海道開拓記念館研究紀要	29	美の美 滅びの美・平家(上、中、下)	松岡 資明	"	7. 22、29、8. 5
				裂 奥ゆかしき日本人のふ 相次ぎ関連展開催	竹田 博志	"	11. 10
				美の美 正宗はいなかった?(上、中、下)	"	"	11. 18、25、12. 2
				美の美 日本の彩り心と技 1、2	宝玉 正彦	"	12. 9、16
				雪舟の現風景 大分県大野町沈墮の滝 近代と過去が交錯	島尾 新 毎 日		10. 14
				雪舟の現風景 岡山県豪溪「見た」—伝承の峡谷	高橋 範子	"	10. 28
				雪舟の現風景 京都府宮津市天橋立 天橋立まで、ひとつ飛び	山下 裕二	"	11. 4
				雪舟の現風景 京都市東福寺 大伽藍と少年・雪舟	山本 英男	"	11. 11

雪舟の現風景 山口県萩市菊屋家住宅山水図守った豪商の家	救仁郷秀明	毎 日	11. 18	特集 美術における宗教 イスラーム美術と宗教	ヤマンラール 水野美奈子	学 鑑	98—8
雪舟の現風景 中国鎮江 金山寺の奇景	荏開津通彦	"	11. 25	1930年代の東京留学生たち—前衛グループ展の活動を中心に—(1)	金古川 英那 美佳 訳	現代芸術研究	4
雪舟の現風景 東京都湯島天神 特異な天神さま像	守安 收	"	12. 2	朝鮮関係文獻《考古学・人類学・建築史》目録(稿)—1916[大正5]年7月4日、古蹟及遺物保存規則発布(古蹟調査委員会設置)まで—	京都木曜クラブ 編	考古学史研究	9
雪舟の現風景 中国西湖 弟子に授けた印可	中島 純司	"	12. 9	観音菩薩像の成立と展開—変化観音を中心にインドから日本まで—2. リスト編		シルクロード学 研究	11
雪舟の現風景 山口県雲谷庵 伝来する魔力	綿田 稔	"	12. 16	北碑の貶斥—近代論書から—(下)	菅野 智明	中国近現代文化研究	4
日本的感性を加味した彩色絵画 キトラ古墳の四神図	百橋 明穂	毎日夕刊	4. 9	出光美術館のシルクロード研究	弓場 紀知	陶 説	582
キトラ古墳壁画 まぶしい発見 力強い筆遣い 大陸文化の活気	坪井 恒彦	読 売	4. 4	随筆 パーミヤン大仏	天羽 利夫	博物館研究	395
絵と人のものがたり 倭屋宗達 1~4	前田 恭二	"	4. 29、5. 6、13、20	韓国絵画の現在地	古川 美佳	美術手帖	806
絵と人のものがたり 葛飾北斎 1~4	"	"	6. 24、7. 1、8、15	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 中華風怪物のレシビ 怪物のタイポロジー/中国	武田 雅哉	武蔵野美術	119
絵と人のものがたり 池大雅 1~4	"	"	8. 19、26、9. 2、9	堀賢雄氏(M.Hori)直筆英文資料 "The Lob—Nor.N. Przhelysky & S. Hedlin." (Oxford, 9. June02.)について	篠崎 陽子	龍谷史壇	115
絵と人のものがたり 長谷川等伯 1~4	"	"	10. 14、21、28、11. 4	夕陽妄語 仏像群の発見	加藤 周一	朝日夕刊	3. 27
絵と人のものがたり 歌川広重 1~3	"	"	12. 9、16、23	アンコール遺跡群で大量の魔仏発見「王朝末期も繁栄」示す	石澤 良昭	"	11. 20
文化 キトラ古墳の壁画 猛禽の威風と躍動感	網干 善教	読売夕刊	4. 6	奈良とシルクロードの語り部たち特集 装い文化「絹の道」たどる「終着駅」に影響色濃く	加美 宏、菅谷 文則、小谷 仲男、武田 佐知子、講演 加藤 定子、高田 俊男、対談 菅谷 文則、司会	東京夕刊	12. 17
海外美術史(アジア)				美の美 古代中国青銅器 鬼神たちの宴 1~4	竹田 博志	日 経	3. 18、25、4. 1、8
巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 チベットのタンカ タンカの世界	田中 公明	アート トップ	182	文化 「仏像の起源」に新潮流 中央インド・マトゥラー、ガンダーラに影響	松岡 弘城	"	5. 5
巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 タイの仏教美術 深い森の中から…	松岡 清子	"	"	カンボジア バンティ・クディ遺跡から「仏像の墓場」 王位めぐる政争の犠牲	石澤 良昭	読売夕刊	4. 12
特集 チベット族の美術と芸能 聖なるものの表現	頼富 本宏	アジア遊学	23	台北・鴻禧美術館所蔵品展 文人の粋 生活の彩り	味岡 義人	"	5. 28
特集 チベット族の美術と芸能 チベット族の唐嘎(トゥンガ)	普 華傑	"	"				
特集 チベット族の美術と芸能 チベット族の生活と信仰のなかの工芸美術	服部 等作	"	"				
特別寄稿 日本における古代オリエント文明研究史	三笠宮崇仁	オリエン ト	43—2				

文化 クシヤン朝カ
ニシユカ1世即位の
年 カニシユカ紀元
は「127年」

田辺 勝美 " 7.4

海外美術史(その他)

ギリシア美術史と現
代彫刻(1)トルソー
完成品としての断片

中山 典夫 あーとら
いぶら 2

1990年代の美術をめ
ぐる状況について—
モダニズムの美術と
ポストモダニズムの
美術

西村 智弘 あいだ 64

探偵小説絵画論—19
世紀西欧の、ある種
の風景における空間
認識とまなざしに関
する一考察(前編、
後編)

谷内 克聡 " 65、66

連載：美術の条件
(12、13) 第1部：
歴史的観点 第3章
ヨーロッパ古典時代
とロマン主義 1、2

倉林 靖 " 69、70

氾濫のあとで—不要
な芸術について

藤枝 晃雄 " 70

原典資料紹介 王立
絵画彫刻アカデミー
の一六四八年の会規
集

栗田 秀法 愛知県美術
館研究紀要 7

研究ノート「ギリシ
ア美術研究考」

中村 るい 跡見学園
女子大学
美術・美術史学科
報 29

ロバートソン「なぜ、ギリシア美術を
研究するのか」
(1949)

マルティン・ロバー
トソン " "
中村 るい
訳

彼岸への仮面 死者
肖像とデスマスク

小池 寿子 IS 85

対抗宗教改革期にお
けるヴァッロのサ
クロ・モンテ

大野 陽子 鹿島美術
研究 18

『オクトーバー』誌を
読む

太田 喬夫 京都工芸
繊維大学
工芸学部
研究報告
人文 49

「表現主義」概念とド
イツ的特質

大森 淳史 芸術論究 28

ヘルマン・フォン・
ヴェダーコプとヴィ
ル・グロマン—パ
ウル・クレーとシュ
ルレアリスム前史—

宮下 誠 国学院大
学紀要 39

現在通信from NEW
YORK

富井 玲子 新美術新
聞 914、919、
921

PARIS発

安部 雅延 " 915、917、
928、936

ある装飾画たちの再
会 シカゴ美術館企
画展「画架を越えて」
より

林 紀一郎 " 921

特集 美術と身体表
現 古代美術におけ
る瞑想、逡巡、後悔
の図像

サルヴァ
トーレ・
セッティ
ス元章
石井 訳
西洋美術
研究 5

特集 美術と身体表
現 若者がサテュロ
スになるとき

マリニア・
ルイーザ・
カトーニ
日向 太郎
訳 " "

特集 美術と身体表
現 身体表現—特集
にちなむ

高階 秀爾 " "

特集 美術と身体表
現 アリアドネ・
ポーズとウォルプタ
ス

田中 正之 " "

特集イコノクラスム
イコノクラスム：イ
メージをめぐる闘争

圀府寺 司 " 6

特集イコノクラスム
イスタンブール、ア
ギア・ソフィア聖堂
のナルテックス・モ
ザイク

浅野 和生 " "

特集イコノクラスム
聖ニコラウス像を罰
するユダヤ教徒

木俣 元一 " "

特集イコノクラスム
美しく、白い壁

元木 幸一 " "

特集イコノクラスム
隠された神

デヴィッ
ド・フリー
ドバーグ
中村 俊春
解題 深谷 訓子、
若林 雅哉
訳 " "

特集イコノクラスム
フランス革命期の
ヴァンダリスム

矢野 陽子 " "

特集イコノクラスム
カール・アインシュ
タインとその一部の
読者

ウヴェ・フ
レックナー
池田 祐子
翻訳・解題 " "

特集イコノクラスム
現代美術とイコノク
ラスム

ダリオ・ガ
ンポーニ
三浦 篤
解題・監修
飛嶋 隆信、
近藤 學 訳 " "

特集イコノクラスム
聖ベルナルドゥスと
初期シトー会の言説
における「聖像論争」

駒田亜紀子 " "

特集イコノクラスム
芸術破壊とフランス
の美術史家、ルイ・
レオ著『ヴァンダリ
スムの歴史』の余白
に

藤原 貞朗 " "

特集イコノクラスム
原点資料紹介『カロ
リング文書』(Libri
Carolini)

秋山 学
翻訳・解題 " "

特集イコノクラスム 文献リストと解題	駒田亜紀子 編	西洋美術 研究	6	特集 オブ・アート の快感 オブ・トラ ンスの真実	榎木 野衣	"	808
現代美術史再考 SAP Critical Session 2001(3) モダニズ ムとの闘争—ロザリ ンド・クラウドとロ バート・スミッソ ンの場合	小西 信之	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	7	特集 オブ・アート の快感 オブ・ア ート—誤解の歴史	ヴェロニ ク・ヴィ ーサン ジェ 梅宮 典 子 訳	"	"
現代美術史再考 SAP Critical Session 2001(3) グリーン バーグの批評の原点	神林 恒道	"	"	特集 オブ・アート の快感 OP Time- Line	編集部 構成	"	"
現代美術史再考 SAP Critical Session 2001(3) 現在性 という恩寵—マイケ ル・フリードを読む	尾崎信一郎	"	"	巻頭特集『イタリア の美』「アルテ・ ボーヴェラ」—現代 イタリア美術の一動 向—	中井 康之	美術の窓	212
現代美術史再考 SAP Critical Session 2001(3) 演劇性 (劇場性)をめぐって	林 道郎	"	"	巻頭特集『イタリア の美』 イタリア美 術の近代—未来派か ら一九六〇年代へ—	井関 正昭	"	"
西洋の美術と文学に みる二つの女性神 話—イブとセミラ ミスについて—	アンヌ・ス トリューヴ ＝ドゥボー	名古屋大 学文学部 研究論集	139	ポップ・アートに見 るアメリカン・ド リーム	岡本 弘毅	ピロティ	118
レオボル・ドゥーブ ルと複製版画蔵品印 のシンボリズム—19 世紀バリの美術品蒐 集をめぐって	陳岡めぐみ	日仏美術 学会会報	20	ロマネスク聖堂床モ ザイク研究ノート (2)宇宙図と世俗場 面に關する—考察— ピアチェンツァ、サ ン・サヴィーノ聖堂 を中心に—	馬場 雅美	北海道東 海大学紀 要	13
ポップ・アートとレ ディ・メイド—vul garityの表象を巡っ て—	平芳 幸浩	美 学	204	立方体と暴力	尾崎信一郎	視 る	395
第四十九回全国大会 シンポジウム報告 ルネサンスのイタリ アにおける子どもの 視覚体験	岡田 温司	美術史	150	シエナ美術の二面 性—その解放性と閉 鎖性—	岡田 温司	"	398
ナポリ、サンタ・マ リア・ドンナレジー ナ聖堂の建築と絵画	谷古宇 尚	"	151	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 西欧怪物分類表 怪 物のタイポロジー/ 西欧	蔵持不三也 松平 俊久	武蔵野美 術	119
第五十四回全国大会 研究発表要旨 後期 古代キリスト教美術 における「葬礼の会 食」情景図壁画	山田 香里	"	"	特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 西欧怪物類從	蔵持不三也	"	"
第五十四回全国大会 研究発表要旨 巡礼 女エゲリアの闇、あ るいはイメージの此 方	辻 成史	"	"	特集 美術とモダニ ズム モダニズム俯 瞰 芸術の神話/歴 史/現在	多木 浩二 藤枝 晃雄	"	120
第五十四回全国大会 研究発表要旨 よき サマリア人の譬え図 像解釈	細田あや子	"	"	特集 美術とモダニ ズム 形式の内部と 外部 モダニズムの 空間感覚	松本 透	"	"
内陣を潤す聖なる流 れ—オータン大聖堂 柱頭彫刻《天国の四 つの河》を巡って—	常國 マヤ	美術史研 究	39	特集 美術とモダニ ズム 批評の現在 60年代以降の作品/ 批評をめぐって	林 道郎 藤枝 晃雄	"	"
観ることと描くこと 15 ハンス・メムリ ンク「聖ヨハネ祭壇 画」	黒江 光彦	美術手帖	806	特集 美術とモダニ ズム イズムから アートへ 覚え書き	谷川 渥	"	"
				特集 美術とモダニ ズム フリードから グリーンバーグへ 2001年、モダニズ ムの条件	上田 高弘	"	"
				特集 イタリア 美 と真理	高階 秀爾	ユリイカ	449

特集 イタリア ア ルテ・ボーヴェラの 現在	金井 直	" "			大熊氏廣作《有栖川 宮熾仁親王像》調査 報告4 大熊氏廣作 《有栖川宮熾仁親王 像》の保存状態	黒川 弘毅	" "	
われ 発 見 せ り ヴィーナスのサロン	相馬 俊樹	"	452		大熊氏廣作《有栖川 宮熾仁親王像》調査 報告5 有栖川宮記念 公園周辺二酸化窒素 濃度調査	権上かおる	" "	
「12世紀ルネサンス」 と視覚芸術	野口 洋二	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	46		クリズリング	黒川 高明	GLASS	44
修士論文概要 ニコ ラス・ゲルハルト作 《皇帝フリードリヒ 三世の墓碑》をめぐる 二人の神聖ローマ 帝国皇帝の文化摂取	木村絵理子	"	"		[作品研究]漆工品の 補修と大場松魚作 《金銀平文鶴文箱》	諸山 正則	現代の眼	531
紀元79年大噴火 ポ ンペイ「ポリビウスの 家」は—	小野 高道 朝 日	7. 7			技術ノート 京町家 に関わる伝統的木造 建築技術／1 京町 家の修復再生・木造 軸組	東樋口 護 大谷 孝彦 荒木 正宣 立石 秀一郎 梶山 龍介 藤岡	建築雑誌	1465
日本におけるイタリ ア2001年特集 繚乱 美のパトロニ ルネ サンスの栄光を生ん だ幸福な出会い	高階 秀爾 日 経	2. 28			技術ノート 京町家 に関わる伝統的木造 建築技術／2 京町 家の修復再生技術・ 土壁	橋本 清勇 佐藤 嘉一郎 東樋口 護 大谷 孝彦	"	1467
美の美 イタリア・ ルネサンス 都市の 興亡(上、下)	坂本 憲一	"	3. 4、11		技術ノート 京町家 に関わる伝統的木造 建築技術／3 諸職 の技術	河原 佳明 東樋口 護 大谷 孝彦 橋本 清勇	"	1469
日本におけるイタリ ア2001年特集 ルネ サンスの本質対談	佐藤 勝浩 佐々木康三 対談	"	7. 5		技術ノート 京町家 に関わる伝統的木造 建築技術／4 修復 再生と伝統的設計技 術「板図」	東樋口 護 河原 佳明 橋本 清勇 岡崎 甚幸	"	1470
美の美 豊饒なるア フリカン・アート 1～4	原田 勝広	"	8. 12、 19、26、 9. 2		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 巻頭鼎談 文化財に おける修理の考え方 と技術	太田博太郎 鈴木 嘉吉 亀井 伸雄 麓 和善 聞き手	"	1471
美の美 未来派が見 た夢	白木 緑	"	10. 7		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 法隆寺東院伝法堂 東院舍利殿・絵殿 東室 痕跡による実 証的復原と建築遺跡 発掘調査法の確立を 中心に	村田 健一 久保 博子	" "	
美の美 ヘラクレス 日本への長い旅 (上、中、下)	吉田 俊宏	"	10. 28、 11. 4、11		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 当麻寺本堂(曼陀羅 堂) 密教系寺院本 堂の変遷	"	" "	
保 存 修 復								
IPMのことについて	青木 司	伊能忠敬 記念館年 報	2		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 醍醐寺五重塔 完成 直前の三手先組物	西田 義雄 永田 恵子	" "	
一橋徳川家伝来紫白 緞威胴丸具足に於ける 錆金具緑青除去の 研究	小杉 拓也	茨城県立 歴史館報	28		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 大報恩寺本堂 中世 和様の代表作 中世 建築技法の解明	"	" "	
茅葺き民家の保存活 用の方策についての 試み	瀬川 修 吉岡 裕 戸田 忠祐	岩手県立 博物館研 究報告	18		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 醍醐寺五重塔 完成 直前の三手先組物	西田 義雄 永田 恵子	" "	
青銅鏡の蛍光X線分 析—研究ノート—	山田 拓伸	大分県立 歴史博物 館研究紀 要	2		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 大報恩寺本堂 中世 和様の代表作 中世 建築技法の解明	"	" "	
博物館における建築 調査活動—寺谷家住 宅・廣瀬家住宅を例 として—	酒井 一光	大阪市立 博物館研 究紀要	33		特集＝文化財の旅— 修理の考え方と技術 浄土寺浄土堂 大仏 様の代表作	細見 啓三 西田 和美	" "	
保存科学と環境汚染	門倉 武夫	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	2					

特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 正福寺地藏堂 唐様(禪宗様)の代表作 規矩術技法の解明	伊原 恵司 春日井真記子	建築雑誌	1471		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 1 研究の背景 【研究史】鉛同位体比測定の研究史	山崎 一雄	国立歴史民俗博物館研究報告	86
特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 旧燈明寺本堂 人工木材による古材保存の可能性	大野 敏 春日井真記子	"	"					
特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 姫路城 慶長の城郭建築の知恵と技術を後世に残す	持田 武夫 松井 晴子	"	"		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 1 研究の背景 【産地決定法と地球化学】鉛同位体比による金属考古遺物の産地決定 地中海地域の銅インゴットと日本の例	中井 俊一	"	"
特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 中尊寺金色堂 漆塗・鍔金物など工芸の粋	窪寺 茂 是澤 紀子	"	"					
特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 妙義神社社殿 調査の可能性(漆塗・彩色技法の復原)	"	"	"		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 2 歴史資料産地決定法への適用 【青銅器】ベトナム、ランヴァク遺跡と出土青銅器の鉛同位体分析の結果について	今村 啓爾	"	"
特集＝文化財の旅－修理の考え方と技術 日光東照宮・大猷院霊廟 建築・漆塗・彩色・鍔金物の粋	浅尾 和年 是澤 紀子	"	"					
編集室の窓 文化財修理100年の蓄積を垣間見る	麓 和善	"	"		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 2 歴史資料産地決定法への適用 【銭貨】日本の銭貨の鉛同位体比分析	齋藤 努	"	"
特集＝建築学会の新しい役割を問う 民家保存メニュー拡大と民家野外博物館への期待	大野 敏	"	1472					
アメリカの歴史保存を支える背景－歴史保存にかかわる人たちの資質－	金出ミチル	"	1474		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 2 歴史資料産地決定法への適用 【銭貨】日本における銭貨生産と原料調達	高橋 照彦	"	"
<修復トピックス>室生寺五重塔の災害復旧工事	松田 敏行	建築史学	36					
資料紹介 新発見の「青龍三年」銘方格規矩四神鏡の自然科学的研究	平尾 良光 榎本 淳子	考古学雑誌	86—2		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 2 歴史資料産地決定法への適用 【三彩・緑釉】三彩・緑釉陶器の鉛同位体比分析	齋藤 努	"	"
石峯寺の文化財調査を通じて	高久 智広	神戸市立博物館たより	74					
修復保存に関わる活動報告	河口 公生	国立西洋美術館年報	34		[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究 2 歴史資料産地決定法への適用 【三彩・緑釉】三彩・緑釉陶器の化学分析結果に関する一考察	高橋 照彦	"	"
誌上ギャラリー・トーク 2 保存と修理 美を受け継いでいくために	神庭 信幸 小林 牧成	国立博物館ニュース	649					
映画フィルムの保存に関する研究の動向	園田 直子	国立民族学博物館研究報告	26—2					

[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究2 歴史資料産地決定法への適用 【ガラス】古代ガラスの材質と鉛同位体比	肥塚 隆保	"	"	[分析報告]法隆寺献納宝物唐組垂飾金具の材質について	成瀬 正和	三の丸尚蔵館 年報・紀要	6
				伝玄奘三蔵坐像修理事業の経過報告	神田 雅章	絲綢之路	35
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究2 歴史資料産地決定法への適用 【土器】鉛同位体比による土器産地決定の可能性	中井 俊一	"	"	東京大学総合図書館蔵 作者不詳「Portrait of Christ(救世主像)」修復報告	渡辺 一郎	修復研究所報告	15
				「救世主像」試料片調査報告	宮田 順一	"	"
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究2 歴史資料産地決定法への適用 【土器】アルカリ長石抽出—鉛同位体比法による縄文土器のグルーピング	坂本西齋藤	稔大努	"	台湾油彩画作品の修復 修復報告	木島 隆康 村山 浩規	"	"
				正倉院宝物木工品の年輪年代関係調査	宮内庁正倉院事務所	正倉院紀要	23
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究2 歴史資料産地決定法への適用 【土器】アルカリ長石抽出—鉛同位体比法による縄文土器のグルーピング	坂本西齋藤	稔大努	"	年輪年代法による正倉院宝物木工品の調査	光谷 拓実	"	"
				調査対象宝物の樹種同定	伊東 隆夫	"	"
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究3 同位体・質量分析の様々な応用 漆・漆類似物質の判別 四重極質量分析計による試み	佐野 千絵	"	"	年輪年代調査結果へのコメント	杉本 一樹 成瀬 正和	"	"
				[短報]正倉の温湿度環境調査	成瀬 正和	"	"
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究3 同位体・質量分析の様々な応用 グロー放電質量分析法の考古学資料への応用	岩崎 廉	"	"	イワン・ドゥイチエフ研究所(ブルガリア)のレクシヨナリー写本	益田 朋幸	女子美術大学研究紀要	31
				英国製17世紀の立体刺繍絵(レイズド・ワーク・ビッチャー)『庭に立つ騎士と淑女』の歴史的、材質的、技術的研究と修復	石井 美恵	"	"
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究3 同位体・質量分析の様々な応用 炭素・窒素同位体分析により復元した先史日本人の食生態	南川 雅男	"	"	函館市に残る幕末・明治絵画の顔料調査	朽津 信明 下山 進	市立函館博物館研究紀要	11
				中国における絹織物のはじまりと発展 第4章 中国における染織品の保存・関連調査について	成瀬 正和	シルクロード学 研究	12
古墳時代の垂飾付耳飾の技術復元について—保子里車塚古墳出土品・金製垂飾付耳飾の場合—	依田香桃美	古代文化研究	9	中国における絹織物のはじまりと発展 第5章 西夏絹織物保存への試み	王成瀬 正和 田中 陽子 田中 訳	"	"
				第19回通常総会講演要旨「彫刻を中心とする美術工芸品の保存と活用」	根立 研介	全文連会報	44
土器野焼き実験レポート—覆い式野焼きにおける黒斑と壁体破片生成の過程—	安達 和隆	"	"	東照宮所蔵舞楽面の修復について	本間 紀男	大日光	71
				辰馬考古資料館が所蔵する銅牙の鉛同位体比	早川 泰弘 鈴木 浩子 平尾 良光	辰馬考古資料館考古学研究紀要	4
当館所蔵銅鐸の保存修理事業について	宮崎 朝雄 関 義則	埼玉県立博物館紀要	26	【動向 博物館活動】長野市松代町における住民主体の文化財保護活動	原田 和彦	地方史研究	291

日本画に使われる群青(アズライト)の光学的性質と焼きによる変化	北田 正弘 田 俊夫 山 未果 本 正明 宮廻 さやか 服部	東京芸術 大学美術 学部紀要	36	「山中訪隠」修復の記録	小菅 生野	姫路市立 美術館研 究紀要	4
【報告】江戸東京博物館蔵 梨子地葵紋散松菱梅花唐草文様蒔絵女乗物の保存修復について	室瀬 和美	東京都江戸東京博物館研究報告	6	橋本関雪「山中訪隠」の修復報告	"	姫路市立 美術館だ より	69
X線CTによる上古刀の構造解析	佐藤 矩康	刀剣美術	528	文化財修復と保存の世界に触れて	山下 秀樹	文化財レ ポート	4
出土鉄製文化財の保存処理における腐食状態の解明	松井 敏也 手塚 均 及川 規 松田 康典	東北芸術 工科大学 紀要	8	装潢今昔—紙質文化財修復の現場から—	岡 岩太郎	"	6
東南アジア古陶磁の特性について(2)—染付資料の再測定と環濠都市遺跡出土資料の化学分析—	会田 雄亮 松田 康典	"	"	寂光院本堂の再建に向けて—本堂復原の基本設計を終えて—	鶴岡 典慶	"	"
新設博物館の保存環境および米スギの影響について	及川 規	東北歴史 博物館研 究紀要	2	保存科学の現状	中村 晋也	文化財論 考	1
よみがえったあの日の記憶—28年前に撮影ずみのフィルムから画像を取り出す試み—	魚島 純一	徳島県立 博物館ニ ュース	44	電子線劣化など各種劣化促進処理された補修用絹の劣化機構に関する考察	佐野 千絵 米山 めぐ美 川野 邊 渉 増田 勝彦 三浦 定俊 馬淵 久夫	保存科学	40
研究報告 歴史系複合施設における資料の保存と活用—長野県立歴史館の現状と課題—	傳田 伊史	長野県立 歴史館研 究紀要	7	変色試験紙上に捕捉された化学種(2)—室内空気汚染物質の暴露時間依存性	佐野 千絵	"	"
三次元レーザーキャナによる唐招提寺金堂の破損図作成	田中 泉	奈良文化 財研究所 紀要	2001年	土の凍上性評価手法に関する研究	石崎 武志	"	"
伝統的木造建築物の振動特性—元興寺極楽坊本堂・禅室の常時微動測定—	内田 昭人	"	"	文化財の保存を目的とした煉瓦の樹脂処理効果に関する研究	朽津 信明 早川 典子	"	"
キトラ古墳壁画デジタル撮影	井上 直夫	"	"	焼損文化財の保存処理に関する研究 1—焼損木材の現状維持に関する研究—	杵名 貴彦 川野 邊 渉	"	"
法隆寺五重塔心柱の年輪年代	光谷 拓実	"	"	白杵磨崖仏で観察される彩色表現について	朽津 信明	"	"
SPring-8を用いた金・銀製耳環の分析—高エネルギーコンプトン散乱X線分析法の応用—	村上 隆	"	"	白杵磨崖仏群における紫外線を用いた生物制御の試み	川野 邊 渉 朽津 信明 早川 典子	"	"
平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 阿弥陀浄土院園池の環境考古学的分析	清野 孝之	"	"	事例報告：白杵磨崖仏における表面樹脂処理試験	早川 典子 川野 邊 渉	"	"
【報告】大猷院徳川家光公像の修理と復元について	本間 紀男	日光山輪 王寺	68	ポータブル蛍光X線分析法による木彫像の彩色材料調査	早川 泰弘 三浦 定俊 津田 徹英	"	"
「美術品の保存上の諸問題」光記念館収蔵庫システムの事例から	吉井 隆雄	博物館研 究	400	輸出漆器の技法的復元研究(1)	田口 義明 加藤 寛 高橋 千恵	"	"
東京芸術大学の修復研究の成果	編 集 部	美術の窓	214	国宝「武蔵埼玉稲荷山古墳出土品」の修復 1—銀装馬具について—	大森 信宏 早川 泰弘 三浦 定俊 青木 繁夫	"	"
				一橋徳川家伝来紫白緞威胴丸具足に於ける銹金具緑青除去の研究(受託研究報告第71号)	小杉 拓也 加藤 寛 高橋 千恵	"	"
				東京国立文化財研究所新宮庁舎収蔵施設の空気環境—移転前調査結果—	佐野 千絵	"	"

東京国立文化財研究所新宮収蔵庫の環境調査	石崎 武志	"	"	
我が国による文化遺産保存国際協力事業の現状と問題点(2)―国際文化財保存修復研究会からの知見(2)―	二神 葉子 西浦 忠輝	"	"	
展示公開施設の館内環境調査報告―平成11年度―	石崎 武志 佐野 千絵 三浦 定俊	"	"	
平成12年度修復処置概報	修復技術部	"	"	
[参考報告]大倉文化財団普賢菩薩騎象像の表面彩色の蛍光X線分析	早川 泰弘	MUSE-UM	574	
法隆寺献納宝物 刺繍・錦・綴織などの残欠―平成十一年度の修理を終えて―	沢田むつ代	"	"	
技法・材料シンポジウム 要旨2 修復と技法材料調査の現在	宮田 順一	連ニユース	396	
寺伝来の応挙絵のデジタル保存を目指す山組眞應さん	青柳 光郎	朝	日	3.4
広重の大作 職人ら復刻「名所江戸百景」	佐藤 洋子	"		6.18
インカ帝国の空中都市「マチュピチュ」遺跡が「滑落の恐れ」	村野 英一	"		7.25
平安の色も鮮やか菩薩像 平等院 模刻品を展示		産	経	8.19
豊島区の自由学園・明日館 昭和初期に先輩が描いた壁画 在校生らの手で修復	平山 郁夫 ジャン＝フランソワ・ジャリー ジュヴィリバルト・F・ファイト ロバート・G・W・アンダーソン 渡邊 明義 宮崎 緑 司会・進行	"		8.26
海外の日本美術修復ネット 国際文化交流サミット2001		"		10.9
金継ぎ 壊れた陶磁器 漆で修理 リサイクル意識焼き物にも		日	経	1.4
奈良・姫路で文化財修復 匠の技にける若者たち 就職難、全国から希望者 美術品優しく害虫退治	田村 雅弘 松藤 政司 杉山真紀子	"		4.1 6.20

文化財修復で技を追求 木曾漆器の長野・榎川村	白尾 和幸	"		8.19
文化往来 東京芸大、保存科学研究の発表会		"		11.3
壁画よみがえる[自由学園明日館]		毎	日	8.22
文化財建築 修復ピンチに	丹野 恒一	"		10.8
必要な科学技術資料の保存 海外に伝えたい「モノづくり」	鈴木 一義	毎日夕刊		2.7
金泥書法復元 用紙の研究決め手		"		3.31
マヤ文明チャルチュアバ遺跡調査 現地社会への還元重視 修復や研究者育成	大井 邦明	読売夕刊		6.20
古代ガラス 現代作家が復元		"		7.24
静嘉堂文庫美術館 秀吉ら愛蔵の茶道具―伝説の修復技術 解明	前田 恭二	"		9.17
アンコール遺跡の修復法 各国でまちまち 標準化急がず模索の時	(片)	"		11.2

情報処理

アート・ドキュメンテーション研究会 第16回講演会報告 コレクティングにおける公と私／真面目と遊び	井上 如	アート・ドキュメンテーション研究		9
「身装」画像データベースにおける検索項目の構造(2)―情景の中における身装の位置づけ―	高橋 晴子	"		"
フランスにおけるデジタル化事業の現状 〈研究ノート〉美術系大学におけるコンピュータ教育は何を対象としているのか	磯貝 友紀	"		"
アート・ドキュメンテーション関連文献目録(2000)	草木 貴照	"		"
美術館・博物館ポータルサイト「Museum-Cafe」の提供について	JADSクリアリングハウス 編	"		"
ネットワーク時代におけるアーカイヴズのデジタル化のための方法論をめぐって	林 太一	アート・ドキュメンテーション通信		48
関西アート・ドキュメンテーション通信 NO.32	千速 敏男	"		"
	浜田 行弘 田窪 直規 高橋 晴子 千速 敏男	"		"

特集・画像ドキュメンテーションの現在 画像デジタル化に関 わる取組みの諸相	甘粕 敏昭	アート・ドキュメンテーション通信	51	特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 宮内庁 正倉院事務所蔵聖 語藏経巻カラーデ ジタル出版	笹井 真也	" "	
特集・画像ドキュメンテーションの現在 画像保存のアナログ とデジタル(マイク ロフィルムの見直し)	木村 裕文	"	"	平等院とデジタル アーカイブ—国宝と 最新デジタルアーカ イブ技術の融合でテ ンプルミュージアム を開設—	坂口 修一	デジタル アーカイ ブ	18
特集・画像ドキュメンテーションの現在 科学館、博物館にお ける画像処理、保存 のいくつかの事例か ら現状を見る	小林 成稔	"	"	研究ノート 金比羅 信仰のデータベース 作成にむけて—その 可能性と課題—	前野 雅彦	帝塚山大学大学院 人文科学研究科紀 要	2
特集・画像ドキュメンテーションの現在 Web関連画フォー マットの概要と動向	福田 博同	"	"	新潟県立歴史博物館 情報管理システムの 概要	浅井 勝利	新潟県立歴史博物 館研究紀要	2
中国絵画写真アーカ イヴの未来	戸田 慎佑	明日の東 洋学	5	巻頭言 マルチメ ディアと博物館	齋藤 佳郎	博物館研究	393
博物館収蔵品のデー タベース化の取り組 み	江口健治郎	岐阜県博 物館調査 研究報告	22	地方博物館のホーム ページ展開戦略	宇仁 義和	"	"
ボストン美術館情報 資源部に席を置いて	水谷 長志	現代の眼	527	広島県立美術館の情 報機器について	角田 新	広島県立美術館研 究紀要	5
超高精細モニタによ る作品画像の最適視 認距離についての研 究	波多野宏之 山田 奨治 吉田 成 加茂 竜一	国立西洋 美術館研 究紀要	5	共同研究メモ デジ タルミュージアムの プロトタイプの研究	八重樫純樹	民博通信	91
情報資料に関わる活 動報告	波多野宏之	国立西洋 美術館年 報	34	共同研究メモ デジ タルミュージアムと デジタルアーカイブ	八村広三郎	"	92
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 歴史学 にとってのマルチメ ディア	横山 伊徳	人文学と 情報処理	30	山口蓬春記念館ウェ ブページ開設 情報 化を目指して	笠 理砂	山口蓬春 記念館研 究紀要	2
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 歴史的 都市を歩く	森 洋久	"	"	歴史の焦点 東京大 学史料編纂所附属画 像史料解析センター	井上 聡	歴史と地理	550
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 東京国 立博物館における情 報の蓄積と活用	高見沢明雄	"	"	文化財情報システム の現状と展望—ネッ トワーク情報資源の 書誌コントロールと の関連から—	宮崎 幹子	鹿園雑集 奈良国 立博物館 研究紀要	2・3合併 号
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 京都大 学電子図書館の画像 の作成・公開方法	小川 晋平	"	"	ネットで学ぶボンベ イ遺跡 360度パノ ラマ映像		朝 日	4.4
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション デジタ ルミュージアム	越塚 登	"	"	文化 土偶データ ベース化の教訓 貧 弱な「情報浄化」の仕 組み IT社会に質保 証の基準を	八重樫純樹	朝日夕刊	2.14
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 東京国 立博物館における情 報の蓄積と活用	高見沢明雄	"	"	単眼複眼 巻物展示 の新システム 簡単 に見られる鮮明画像		"	9.27
特集 歴史学とマル チメディアプレゼン テーション 高精細 イメージ入力装置を 用いた貴重書のデジ タル化の試み	旭 敏之	"	"	国会図書館の蔵書17 万冊 明治の「知」 ネットに	日 経		1.4
				現代アート作品をオ ンデマンド出版		"	4.16
				花のお江戸 電腦往 来 幕末の地名や名 所、CD-ROMに収 録	中川 恵司	"	7.30

文化財保護法50年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 文化の多様性と文化遺産—求められる対応力—	渡邊 明義	文化財 (月刊)	449	新指定の文化財(美術工芸品) 国宝の指定 重要文化財の指定	"	"	453
文化財保護法50年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 文化と文化遺産の多様性—人類の貴重な財産として—	斎藤 英俊	"	"	登録有形文化財一覧第26・27回登録有形文化財	文化庁建造物課	"	454
文化財保護法50年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 世界の多様な文化と文化遺産	野口 英雄	"	"	登録有形文化財一覧第28・29回登録有形文化財	"	"	455
文化財保護法50年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 文化の多様性と文化遺産 基調講演	セナケ・バンダラナヤケ	"	"	特集 公開承認施設制度について 重要文化財公開促進事業について	文化庁美術学芸課	"	456
文化財保護法50年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 ナショナル・アイデンティティと文化遺産 基調講演	石井 米雄	"	"	特集 近代和風建築 近代の文化財建造物を取り巻く現況について	文化庁文化財部建造物課	"	457
最近の世界遺産登録をめぐる動向	本中 眞	"	450	登録有形文化財一覧第30・31回登録有形文化財	文化庁建造物課	"	"
第24回世界遺産委員会(ケアンズ会議)報告	平澤 毅	"	"	特集 アジア・太平洋地域における信仰の山の文化的景観に関する専門家会議報告 「信仰の山の文化的景観」とわが国の文化財保護	渡邊 明義	"	458
今後の我が国の世界遺産について—「暫定リスト」への追加・定期報告の提出—	橋本 祥介	"	"	歴史の焦点 世界遺産に登録された琉球王国のグスク	當眞 嗣一	歴史と地理	545
「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界遺産登録	盛本 勲	"	"	社説 人類の遺産壊すな[タリバーン]	朝 日	3.5	
文化財保護法50周年記念国際シンポジウム「文化の多様性と文化遺産」より	松本 修自	"	"	天声人語[アフガニスタン仏像破壊]	"	3.7	
文化財保護法50周年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 文化の多様性へのかけ橋となる文化遺産 マケドニアの場合	ラザール・スマノフ	"	"	ニュースのことはタリバーン 仏像破壊でますます孤立	"	3.8	
文化財保護法50周年記念国際シンポジウム 文化の多様性と文化遺産 「地球化」と文化的景観の変容	ミハエル・ヤンセン	"	"	パーミヤン大仏破壊 中央アジアへの波及恐れる	宇佐波雄策	"	3.14
文化財保護法50周年記念国際シンポジウム 「国境なき遺産」の理念と運動	サイード・ゾルフィカー	"	"	私の視点 大仏破壊再発防止に手だて尽くせ	平山 郁夫	"	4.2
新指定の文化財 建造物	文化庁文化財部	"	452	神秘 躍動 愛らしく[キトラ古墳]	"	4.4	
新選定の文化財 伝統的建造物群	"	"	"	社説 キトラ古墳 国の手で早く保存を	"	4.5	
				朝日NIEスクール パーミヤン遺跡の大仏 破壊された宝物	"	5.2	
				内戦耐えた寝仏に光	大和 修	"	5.3
				盗難美術品 我が家どこに?	山盛 英司	"	6.18
				遺跡の鼓動なお消えず 爆破されたパーミヤン大仏を訪ねて	宇佐波雄策	"	7.4
				アフガンのタリバーン 「カニシカ王像」も破壊	"	"	7.15
				パーミヤン壁画、ユネスコへ 東京の古美術商が寄贈	"	"	8.11

世界最古の仏教壁画 鮮明に アジャンタ 遺跡で作業、写真家 が撮影	"	9. 19	歴史遺産なぜ破壊 国際孤立で先鋭「遺 跡テロ」 パーミヤ ン損壊日本も損失	"	3. 6
アフガン戦火 遺跡 守る苦闘	"	10. 31	社説 仏像破壊は文 明冒瀆	"	3. 8
パーミヤーン・大仏 の破壊を悲しむ 東 西文化融合のシンボ ル	樋口 隆康	朝日夕刊 3. 14	筆洗「パーミヤン大 仏破壊」	"	3. 14、 4. 1
失われた文化遺産 パーミヤン大仏破壊 跡を見る	宇佐波雄策	" 4. 2	貴重な昭和初期建築 文化 旧東方文化学 院残そう	川西 崇行 水谷 孝司 聞き手	" 4. 3
「本当は誰が私を壊 すのか」パーミヤ ン・大仏の現場で	村上 哲	" 4. 3	秩父銘仙 華道家の 木村さんが保存運動	国保 良江	" 5. 16
キトラ古墳壁画 緊 急座談会	上田 正昭、 菅谷 文則、 永島 暉臣、 天野 幸弘 司会	" 4. 4	東京がわかるTO- KYO発 取り壊し 寸前の生産研、一部 保存へ	石井 知明 羽田 昌弘 構成	" 6. 28
アフガンは古代遺跡 の宝庫 空爆による 大量破壊を憂う	樋口 隆康	" 11. 10	風前のともしび ア フガンの遺跡 パー ミヤンに続き…専門 家ら懸念の声	"	11. 4
画家は守った80枚の 名画 「偶像崇拜？ いえ風景です」人物 を塗り隠す「タリ バン400点破壊」 カブールの美術館	"	12. 14	モロッコ最大の礼拝 場も危機感 海面上 昇しモスク沈む	蒲 敏哉	" 11. 5
井波彫刻の下絵残そ う 富山 協同組合 が保存運動	産 経	1. 10	新世界事情 お宝開 帳	青木 睦 草間 俊介 河津 市三 佐藤 康夫	東京夕刊 1. 13
タリバン パーミヤ ン石仏を砲撃	宇都宮尚志	" 3. 3	パーミヤン大仏破壊 という蛮行	宮治 昭	" 3. 22
タジキスタン 旧ソ 連時代、35年間「封 印」 「民族の遺産」 涅槃像復元	岩田 智雄	" 4. 6	姿現した明日香の朱 雀「キトラ古墳」	板垣 忠雄	" 4. 12
革命下のアフガン 中 パーミヤン大仏 破壊 国土浄化唱え 異文化迫害	宇都宮尚志	" 4. 8	世田谷のトラスト協 会 2700人が保全活 動	(一澤)	" 5. 15
奈良・明日香村のキ トラ古墳壁画剥落の 危機	山本 岳夫	" 4. 30	よみがえる列島人 保存の確かなドイツ の遺跡	道方しのぶ	" 9. 4
「檜皮葺き」を守れ！ 国有林300ヘクタール 開放へ	"	12. 17	大波小波 学会の責 任「旧石器ねつ造」	"	10. 29
キトラ古墳の鮮やか な壁画 もう発掘調 査しかない	野崎 貴宮	産経夕刊 4. 26	文化行政はどうある べきか	小林 進	" 11. 2
シルクロードの文化 財 保護研究の施設 建設 ウズベキスタ ン	"	6. 18	だれのためのアート？『文化芸術振興 基本法』5点を検証	小林 真理	" 11. 28
若手芸術家、都がサ ポート 渡り廊下を 無料提供	阿部謙一郎	" 11. 16	日本におけるイタリ ア2001年特集 輝き 復活 修復の妙	日 経	2. 28
異人館の保存目指し 基金創設へ「神戸市 北野・山本地区」	東 京	1. 17	「仏像破壊」打開策見 えず「タリバン」説 得、3つのシナリオ	吉野 蔵一	" 3. 8
			アニメ城下町 復興 へ支援の輪 東京都 練馬・杉並区	田中 暁人	" 3. 9
			「破壊」に揺れるアフ ガニスタン美術・遺 跡	竹田 博志 吉田 俊宏	" 3. 10
			春秋「アフガニスタ ン パーミヤン遺 跡」	"	3. 14
			交遊抄 パーミヤン の師	樋口 隆康	" 3. 28
			交遊抄 民家の魅力	加藤 達雄	" 3. 31

ふるさとイベント表彰 大賞 十日町地域広域事務組合[越後妻有アートトリエンナーレ]	日	経	5.1	仏像破壊 許されないタリバンの蛮行	読	売	3.6
キトラ古墳 保存巡り対立 文化庁と奈良・明日香村	"	"	5.28	国際社会「タリバン」とは 国際社会恨む鬼「伝統と宗教を混同」指摘も	鈴木 雅明	"	3.7
文化財で村おこし期待 観光先行を専門家危く	"	"	"	よみうり寸評「バーミヤン石仏破壊」		読売夕刊	3.8
文化 ハイカラ小屋に屋台一声 重文を大修理、熊本に歌舞伎の殿堂「八千代座」あり	本田勝太郎	"	6.5	無形文化遺産 保存継承地球規模で	河竹登志夫	"	3.22
中国が守った日本3万点 美術品・文物、国交正常化30周年で来年秋に展覧会	賈 蕙萱	"	7.6	先人の心の軌跡消す暴挙 タリバンによるバーミヤン大仏破壊	谷岡 清	"	3.28
国宝落書きだらけ 京都・醍醐寺金堂	"	"	8.22	文化庁の芸術家在外研修制度 来年35周年 意義問われる今OB結集イベント	(三)	"	12.27
「文化芸術振興基本法」成立 課題山積のまま船出 周知進まず拙速の声	河野 孝	"	12.1	美術教育			
明治伝える建物市民ら「保存」を 大阪・北浜	日経夕刊	2.17		画架・モチーフ・作者の位置関係	松本 昭彦	愛知教育大学研究報告	50
あすへの話題 パーミヤンの大仏	松浦晃一郎	"	4.2	目録にない図画教科書(五～七)	金子 一夫	一寸	5～7
日本におけるイタリア2001年特集	"	8.10		岡倉天心在職中における東京美術学校のカリキュラムとその実際 茨城県天心記念五浦美術館所蔵東京美術学校学生制作作品について	藤本 陽子	茨城県近代美術館研究紀要	8
英チェルシー 芸術を歩く 若手育成地域が後押し	上野 浩子	"	10.19	美術館と学校との連携—当館の普及活動における取り組みを中心に—	後藤 哲也	"	"
生命を守る暮らしを守る 美術品保管	"	11.1		〈研究ノート〉学校教育との連携への取り組みについて	中野 雅之	神奈川県立歴史博物館だより	157
文化財 大観が描き我守る 伊豆・修善寺の老舗旅館	小谷 洋司	"	11.30	知的可能性を創発する オルタナティブ・ミュージアムの挑戦	上田 信行	Cultivate	15
「世界遺産」めざす善光寺 ポスト長野五輪の夢づくり	大橋 牧人	"	12.14	人の出会いこそが新たな創造を生む 体験的チルドレン・ミュージアム考	三木 美裕	"	"
記者の目 転換期の埋蔵文化財行政	山成 孝治	毎日	3.23	図画工作科における工作・デザイン教材の位置づけ—平成10年学習指導要領と教科書教材をもとに—	佐々木 宰 福田 隆真	銅路論集	33
石仏破壊とイスラム法	眞田 芳憲	"	3.30	アビゲイル・ハウゼンにおける美的発達理論の考察とその可能性に関する研究—美的発達理論から京都市立安祥寺中学校での事例への展開—	杉林 英彦	芸術学研究(筑波大学)	5
奈良・明日香村 キトラ古墳とその時代 羽ばたく朱雀	花岡 洋二 沢木 政輝	"	4.6	朝鮮教育令期(1911—45)における美術教育の制度と実況—朝鮮教育会の発行の雑誌の投稿記事を通して—	張 東浩	"	"
金箔の北斗七星 キトラ古墳石室内を撮影	花岡 洋二	"	12.7				
ライヒェナウ島の大壁画 世界文化遺産登録に貢献 越宏一さんの研究成果	石川 健次	毎日夕刊	2.26				
保存対策が急がれるキトラ古墳	沢田 正昭	"	4.18				
遺跡の復元ラッシュ 下 問われる許可の条件 根強い「活用論」受けて	"	"	11.22				

座談会 芸術教育が になう役割と課題	遠山 敦子 樋口廣太郎 澄川 喜一 対談	藝大通信	1	特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ7 デジタルメ ディアと美術教育— スキルと創造の自己 バランス IMAS 国際情報科学アカデ ミー&情報科学芸術 大学院大学メディア 表現研究科	関口 敦仁	"	"
[調査報告]教諭への インタビュー調査— 鑑賞教育への示唆と 展望	白浜恵里子	現代の眼	528	特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ8 伝統と現 代—芸術教育の変革 京都造形大学映像・ 舞台芸術学科ほか		"	"
博物館と学校—「総 合的な学習の時間」 の活動を例として—	麻田 明生	神戸市立 博物館だ より	74	特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ9 美学校		"	"
[翻訳]個人学習のた めの施設としての博 物館 美術館におけ る教育的役割を考え る上での資料として	寺島 洋子	国立西洋 美術館研 究紀要	5	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 小学校の美術教 育 工図の子どもた	辻 政博	"	"
教育普及に関わる活 動報告	"	国立西洋 美術館年 報	34	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 中学校の美術教 育 「ゆとり」がない 学校	西村 徳行	"	"
「総合的な学習の時 間」と美術教育—子 どもの感性および学 習をめぐる課題の考 察を通して—		東京学芸 大学紀要	53	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 高等学校の美術 教育 「出力する授 業」と新学習指導要 領	中島 隆	"	"
工作・工芸カリキュ ラム再考—教員養 成課程学生の工作経 験調査—		"	"	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 教員養成過程の 美術教育 教員養成 過程の美術教育講 座—その問題と展望	山木 朝彦	"	"
ミラノ高等技術学校 の創設とC.ボイト の建築教育理念につ いて	横手 義洋	日本建築 学会計画 系論文集	541	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 インタビュー 寺協研		"	"
学校とミュージアム の連携による教育プ ログラム	寺島 洋子	博物館研 究	396	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 新学習指導要領 のキーポイント小学 校 新しい学習指導 要領・図画工作の要 点	板良敷 敏	"	"
芸術教育の国際会議 ELIAレポート	中村 元隆	美術手帖	798	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 新学習指導要領 のキーポイント中学 校 これからの美術 教育の充実・発展を 考えた改訂	遠藤 友麗	"	"
特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ3 みんなの ワークショップ 「こどもの城」造形ス タジオ	有福 一昭	"	801	特集 日本の美術と 教育 学校の美術教 育 美術教育の未来 知の偏重からの脱出 へ—フリー(スкуль ル)の試み	岩崎 清	"	"
特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ4 「造形遊 び」ってなに? 大 阪教育大学附属平野 小学校	西尾 正寛	"	"				
特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ5 研究室が生 む表現 慶應義塾大 学湘南藤沢キャンパ ス環境情報学部佐藤 雅彦研究室		"	"				
特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ6 インターメ ディアアートの可能 性 東京芸術大学先 端芸術表現科		"	"				

平成13年定期刊行物所載文献(総／教育)

特集 日本の美術と教育 学校の美術教育 美術教育の未来 学校美術の予感	鈴石 弘之	美術手帖	801
特集 日本の美術と教育 学校の美術教育 美術教育の未来 美術教育の未来像	森田耕太郎	"	"
教育論の中の大正生命主義—小林秀雄と芸術教育論—	有田 和臣	仏教大学文学部論集	85
博物館と学校～出前授業の実践から～	長島 雄一	ミュージアム・データ	52
中学校の授業 歴史地獄草紙は本当か—平安時代を考える—	小堀 俊夫	歴史地理教育	620
特集 鎌倉時代と東アジア 実践・高校絵画史料で学ぶ鎌倉時代—『一遍上人絵伝』から何を学ぶか—	柄沢 守	"	624
ものづくり大学4月開校へ着々 新設としては異例の人気		東京	1.27

TOKYO発 東京芸大「先端芸術表現科」の2年間 挑戦21世紀アート	岡 博大	"	3.1
女の自立支えた裁縫雛形 渡辺辰五郎の教育法が生んだ生徒の技、特別展に	佐々木きみ江	日 経	8.9
児童文化戦後に紡ぐ 京都で父が立ち上げた「芸術研究所」の活動史	高橋 司	"	9.17
あすへの話題 美意識を持った人	深井 晃子	日経夕刊	4.21
レッジョ・エミリア市の幼児教育 生活をアートに	佐藤 学	"	8.8
「アートセラピー」生涯教育に 五感や手を使って生き生き	本橋 由紀	毎 日	11.8

古 美 術			
絵 画			
中 国			
連載 中国民間版画 叢考三、四 竈神図 (下)(下・二)	三山 陵	アジア遊 学	24、25
連載 中国民間版画 叢考五、六 門神 (一)(二)	"	"	27、28
連載 中国民間版画 叢考七、八 財神 (一)(二)	"	"	30、31
特集 風景としての 中国 赤壁をめぐる 実景・詞・画像	板倉 聖哲	"	31
描かれた蘇軾の姿 重ねられた陶淵明像	"	IS	85
再考「高僧図と十六 羅漢図」	中村 興二	京都市立 芸術大学 美術学部 研究紀要	45
馬鳴曼荼羅成立の背 景について	遠藤 淳祐	現代密教	14
叙福寺蔵 涅槃変相 図	井手誠之輔	国 華	1263
研究余滴 馬遠の時代 —楊后・楊妹子—	鈴木 敬	"	1268
喬仲常「後赤壁賦図 卷」(ネルソン・アト キンス美術館)の史的 位置	板倉 聖哲	"	1270
研究資料 王悦「傲 古山水画册」(一六二 七年作)とその制作 背景	小林 宏光	"	"
上海博物館蔵「西湖 図」巻と北京故宮博 物院蔵「西湖草堂図」 巻について	宮崎 法子	実践女子 大学美学 美術史学	16
陸治筆「玉田図巻」に ついて	玉川 潤子	"	"
敦煌莫高窟における 初唐から盛唐への過 渡期の様相—莫高 窟二一七窟試論—	山崎 淑子	成城文芸	174
肖像画家曾鯨—精神 の真実—	近藤 秀實	多摩美術 大学研究 紀要	15
王詒「煙江疊嶂図」に ついて—上海博物館 所蔵・着色本、水墨 本を中心に	竹浪 遠	澄懷堂美 術館研究 紀要	2
「館蔵品研究」李寅 「山居図」	板倉 聖哲	"	"
「資料紹介」『西遊記』 雍正刊本と絵画につ いて	磯部 彰	東北アジ ア研究	5

第52回美学会全国大
会報告 発表要旨
唐代美術における女
性像の様式変遷につ
いて

傳 江 美 学 207

第52回美学会全国大
会報告 発表要旨
宋代絵画における女
性イメージの形成

古田 真一 " "

平成十二年支部例会
研究発表要旨 莫高
窟における如来像着
衣形式の展開

後藤 恒 美術史 150

第五十四回全国大会
研究発表要旨 北朝
時代における石棺床
の墓主肖像と孝子伝
図—葬礼の視点か
ら—

林 聖智 " 151

第五十四回全国大会
研究発表要旨 敦煌
莫高窟における初唐
期の西方浄土変—
『観無量寿経』信仰と
の関係—

大西磨希子 " "

「織錦回文図」—宝山
二号遼墓壁画の画
題、その絵画史的意
義について

漆 紅 美術史論 17

張雨題「倪瓚像」(台
北故宮博物院)をめ
ぐる諸問題

板倉 聖哲 " "

研究余滴 王蒙筆
「青卞隱居図」

鈴木 敬 " "

敦煌莫高窟隋代の維
摩図について

齋藤理恵子 風土と文 2

宋請求版画と密教図
像—応現観音図と清
涼寺釈迦像納入版
画を中心に—

内田 啓一 仏教芸術 254

文晁と藍瑛
千仏図について

河野 元昭 大和文華 105

安田 治樹 " 106

日 本

巻頭特集 絢爛たる
「和」の絵画 障屏画
の伝統と未来 評論
襖絵と屏風絵 大画
面絵画の起源とその
発展

石田 佳也 アート 181

巻頭特集 絢爛たる
「和」の絵画 障屏画
の伝統と未来 評論
障壁画の画題

仲町 啓子 " "

巻頭特集 「肖像」
時の人びとを映した
画家たち 肖像画の
精神史

宮島 新一 " 183

江戸時代における光
琳像の変遷について
(上)—正徳～宝暦—

安田 篤生 愛知教育 50

秋田県内絵馬調査報
告

高橋 直 秋田県立 26

平成13年定期刊行物所載文献(古／絵)

山田道安筆「月に波 芦図」	四宮美帆子	跡見学園 女子大学 美術学・美術 史学科 報	29	月はどっちに出てい る[描かれた時刻と 方位]—大念佛寺所 蔵「片袖縁起」を例 に—	松浦 清	大阪市立 博物館研 究紀要	33
収蔵品紹介 松川半 山旧蔵本について	大高 洋司	池田文庫	18	〈資料紹介〉三軒屋の 賑わいを描く—川口 遊里図屏風—	"	大阪の歴 史と文化 財	7
収蔵品紹介 幕末歌 舞伎の一断面—貞広 画「四箇霊山天狗背 競」をめぐる—	北川 博子	"	"	シーボルト旧蔵の宇 田川榕菴筆『本草写 真』	高橋 輝和	岡山大学 文学部紀 要	36
一休とは誰か	山下 裕二	IS	85	絵咄の登場とその特 質—おち・弁説・し かた—	鈴木 久美	学術研究	49
古美術の20世紀 視 線の変節 5 1970年 の伊藤若冲 奇想・ アバンギャルド・サ イケデリック	"	"	"	藝愛試論	山本 英男	学 叢(京 都国立博 物館)	23
古美術の20世紀 視 線の変節 6 1959年 の白隠 欧米が熱狂 したZEN	"	"	86	狩野永敬の研究	五十嵐公一	鹿島美術 研究	18
旅の絵師・司馬江漢 銅・石版画遺聞 5	森 登 一 寸	5		応永詩画軸の研究— 溪陰小築図を中心と して—	畑 靖紀	"	"
研究余録 広重の師 と伝えられる絵師・ 岡嶋林斎について	内藤 正人	出光美術 館館報	114	別尊曼荼羅の研究— 南北朝・室町時代—	真鍋 俊照	"	"
講義抄録 伴大納言 絵巻・中巻の謎—復 元をめぐる—	笠嶋 忠幸	"	115	江戸時代火事絵巻研 究	植野かおり	"	"
浮世絵師・勝川春章 の伝記と画業—春章 に関する記録・史料 を踏まえて	内藤 正人	出光美術 館研究紀 要	7	江戸時代制作両界曼 荼羅図の図像的研究	頼富 本宏	"	"
松林図屏風の制作年 代に関する一考察	黒田 泰三	"	"	近世初期日本美術に おける意匠性—和歌 主題の造形化を手が かりに—	佐藤 美貴	"	"
別尊曼荼羅の構図と 構造	真鍋 俊照	印度学仏 教学研究	99	明兆による中国画の 学習—「五百羅漢図」 東福寺本と大徳寺本 との比較—	仙海 義之	"	"
「法華経曼荼羅図」に おける仏塔の一考察	堀江 宏文	"	"	尾形光琳の水墨人物 画の画風成立につい て—維摩図を中心 に—	江村 知子	"	"
歌川国芳「本朝水滸 伝豪傑(剛勇)八百人 一個」について	岩切友里子	浮世絵芸 術	138	日本中世絵画におけ る聖地図像の研究	水野 僚子	"	"
資料紹介 《翻刻》寛 政十二年北斎画朱染 連『春帖』	小林ふみ子	"	"	久隅守景のいわゆる 加賀時代の画業に関 わる調査研究—福井 所在の作品・資料—	菅村 亨	"	"
初期浮世絵にみる 「聴く」芝居情報— 一枚絵と薄物正本に注 目して—	武藤 純子	"	139	物語絵の作画手法に 関する基礎研究—下 絵創作における凹線 の技法について—	河田 昌之	"	"
資料紹介 寛政八年 春刊、絵入狂歌本 『春の曙』	浅野 秀剛	"	"	紅摺絵研究	吉田 洋子	"	"
メディア文化としての 浮世絵	竹内 誠	"	140	御徒士町狩野家資料 の調査研究	山島真由美	"	"
資料紹介 葛飾北斎 信州小布施来訪の一 考察	山 崙 實	"	"	大元帥明王図像の影 像化に関する調査研 究—法琳寺別当職を めぐる安祥寺と理性 院の動向—	佐々木守俊	"	"
資料紹介 歌麿と越 後に関する調査報告 (続)	浅原 雄吉	"	"	関東水墨画の研究 (講演「アメリカにお ける日本美術コレク ションの黎明」)	バーバラ・ フォード 河合 正朝	"	"
表紙絵・下絵・挿絵 と歌謡	小野 恭靖	大阪教育 大学紀要	49—2	宗達にみる町衆文化	唐津佐也子	華頂博物 館学研究	8

初期狩野派の北野天神縁起絵巻(下)	相澤 正彦	神奈川県立博物館研究報告	27	ドクター・シノダの人物画診断22 見返り美人の強迫症状	篠田 達明	"	618
秋洲道楽画像について	岩橋 春樹	金沢文庫研究	306	ひらがな日本美術史【連載】その七十九 ひとりぼっちなもの 伊藤若冲筆「動植綵絵」群鶏図押絵貼屏風	橋本 治	"	"
極楽寺願海筆『当麻曼茶羅縁起』について	高橋 秀栄	"	"	ドクター・シノダの人物画診断23 藤原定家のマラリア三日熱	篠田 達明	"	619
福岡県の相撲絵馬について	副島 邦弘	九州歴史資料館研究論集	26	ひらがな日本美術史【連載】その八十 前衛的なもの 浦上玉堂筆「奇峯連聳図」	橋本 治	"	"
長崎県立美術館蔵石崎融思筆「唐蘭館絵巻」について―特に出島を中心に―	原田 博二	崎 陽	1	ART NEWS 人はなぜ肖像を求めるのか	木下 直之	"	621
蛤合かるた屏風について	並木 誠士	京都工芸繊維大学工芸学部研究報告 人文	49	ドクター・シノダの人物画診断24 四谷怪談お岩の上顎癌	篠田 達明	"	"
久保惣記念美術館蔵伊勢物語絵巻「河内越」について	横島菜穂子	芸術学研究(筑波大学)	5	ART NEWS 近世日本人が夢見た絵空事の異国絵ワールド	塚原 晃	"	622
中間評価論文梗概 久保惣記念美術館蔵伊勢物語絵巻における季節表現について	"	"	"	ひらがな日本美術史【連載】その八十一 全盛なもの 喜多川歌麿筆「當時全盛美人揃 瀧川」	橋本 治	"	623
小林秀雄が見た雪舟(下)	山下 裕二	芸術学研究(明治大学)	11	ひらがな日本美術史【連載】その八十二 ルネサンスになる前のもの 喜多川歌麿筆「婦人相學十鉢 ポッピンを吹く娘」	"	"	624
新潟大学所蔵・曾我二直庵筆「鷲鷹図」	武田 光一	芸術学論集	2	筑波大学本狩野尚信筆「剡溪訪戴図」屏風について	守屋 正彦	芸 叢	17
ひらがな日本美術史【連載】その七十五 “終わり”の始まりとなるもの 円山応挙筆「雪松図屏風」	橋本 治	芸術新潮	613	資料紹介 野島梅屋の中山高陽資料	川島 郁子	高知県立美術館研究紀要	3
特集 与謝蕪村 江戸ルネサンス最大のマルチアーティスト	佐々木丞平 佐々木正子	"	614	語りかける図像 太山寺蔵《絹本着色愛染曼茶羅》をめぐる	川野 憲一	神戸市立博物館研究紀要	17
ドクター・シノダの人物画診断18 上杉謙信の高血圧性脳内出血	篠田 達明	"	"	『春日権現験記絵』と詞書成立の背景―藤原俊盛説話を中心として―	野村 卓美	国語国文	807
ひらがな日本美術史【連載】その七十六 へんなもの 曾我蕭白筆「群仙図屏風」	橋本 治	"	"	山東京伝画作の黄表紙『扮接銀煙管』の再考と私注	アダム・カーン	国文学研究資料館文献資料部・調査研究報告	22
ドクター・シノダの人物画診断19 曲亭馬琴は総入れ歯	篠田 達明	"	615	六段本『こくせんやぐんき』と浮世草子挿絵	高橋 則子	"	"
ひらがな日本美術史【連載】その七十七 もしかしたらそうかもしれないもの 曾我蕭白筆「群仙図屏風」	橋本 治	"	"	《図版解説》長岡京跡 右京出土の絵画薄板と『蘇民将来』呪符木簡	中島 皆夫	古代文化	512
ひらがな日本美術史【連載】その七十八 曲がり角に来ていたもの 長沢蘆雪筆「龍虎図襖」と与謝蕪村筆「夜色楼台図」他	"	"	616	仏涅槃図試論	関口 正之	国 華	1263

平成13年定期刊行物所載文献(古／絵)

金剛峯寺蔵 仏涅槃図(応徳涅槃)	有賀 祥隆	国 華	1263	狩野山雪筆「十雪図屏風」の作画契機について	北野 良枝	" "	
新薬師寺蔵 仏涅槃図	林 温	" "		司馬江漢筆 月下柴門美人図	成瀬不二雄	" "	
石山寺蔵 仏涅槃図	関口 正之	" "		谷文晁筆 福祿寿図(寿老図)	水尾比呂志	" "	1273
宝生院蔵 仏涅槃図	梶谷 亮治	" "		文晁の中国画学習—『顧氏画譜』と『漂客奇賞図』—	河野 元昭	" "	
浄土寺蔵 仏涅槃図	渡辺 里志	" "		谷文晁筆 富岳図屏風	星野 鈴	" "	
剣神社蔵 八相涅槃図	百橋 明穂	" "		似絵の描かれた場—いわゆる呪詛論を視野に	伊藤 大輔	" "	1274
個人蔵 釈迦八相図	泉 武夫	" "		曾我物語図屏風 富士巻狩・仇討図	黒田 泰三	" "	
狩野興以の法橋時代の画風について—名古屋城・二条城障壁画筆者の再検討を背景に—	山根 有三	" "	1264	長沢芦雪筆 波上群仙図屏風	伊藤 紫織	" "	
浦上玉堂筆 寒山幽居図	小林 忠	" "	1266	研究補遺 ハーヴァード大学美術館蔵「源氏物語画帖」の修理について	国華編集委員会	" "	
西大寺本馬頭観音像考—白描図像彩色図の成立—	中野 玄三	" "		研究補遺 『国華』(第千二百七十三号)所載「文晁の中国画学習」図版解説	河野 元昭	" "	
懐月堂安度筆 達磨と遊女図	門脇むつみ	" "		行列図について—鹵簿図・行列指図・絵巻—	藤原 重雄	古文書研究	53
狩野常信筆 松鶴図屏風	山島真由美	" "		埼玉県立博物館本『蒙古襲来絵詞』について(二)	森内 優子	埼玉県立歴史資料館研究紀要	23
大津絵略説	水尾比呂志	" "	1267	狩野匡信について	福井 尚寿	佐賀県立博物館・美術館調査研究書	25
仏画と大津絵	関口 正之	" "		研究ノート 『山海経』と木簡—下ノ西遺跡出土の絵画板をめぐる—	桐本 東太 長谷山 彰	史 学	70—2
浮世絵と大津絵	小林 忠	" "		館蔵・絹本着色織田信忠像について	高木 叙子 古川 史隆	滋賀県立安土城考古博物館紀要	9
大津絵と応挙	河野 元昭	" "		原在中筆「富士三保松原図」について—江戸時代後期の富士山図をめぐる—	飯田 真	静岡県立美術館紀要	16
鉄斎と大津絵—瓢箪鯉をめぐる—	辻 惟雄	" "		記念講演「園城寺と狩野派」	武田 恒夫	史迹と美術	712
不動尊・仏と位牌・青面金剛	仙海 義之	" "		温山良隠の絵画	村上 泰昭	" "	713
鬼の念仏・鬼の三味線・鬼の行水	尾久 彰三	" "		北斎とその流派 目録 ポストン美術館日本美術部 日本・中国絵画特別展(第一回) 開催期間一八九二年七月より一八九三年四月まで	山口 静一	実践女子大学文学部美術史学	16
槍持奴・長刀弁慶・天狗と牛若丸	杉山 享司	" "		幕末・明治の花鳥画についての一試論	児島 薫	実践女子大学文学部紀要	43
竹に龍・隼・鷹	小泉 充康	" "					
葛飾北斎筆 富嶽図	小林 忠	" "	1268				
又兵衛再考—周辺の一有力画家について—	辻 惟雄	" "					
浦上玉堂筆 雨褪膝脂図	小林 忠	" "	1269				
白隠筆 達磨図	矢島 新	" "					
懐月堂安度筆 遊女と禿図	小林 忠	" "	1270				
遠景の色—大雅の山水画における白描と青緑	佐藤 康宏	" "	1271				
物語絵断簡二図	佐野みどり	" "					
冷泉為恭筆 足柄山図	門脇むつみ	" "					
研究資料 三宝院高賢と光琳	五十嵐公一	" "					
室町時代扇面画の特質—近世大和絵系屏風成立の一要因として—	龍澤 彩	" "	1272				

文芸資料研究所蔵 仮名垣魯文『興画合 真影人物誌跋文戯 草』解題・影印『く まなき影』と影の文 化について—	佐藤 悟	実践女子 大学文芸 資料研究 所年報	別冊5	第50回東方学会全国 会員総会講演発表要 旨〔講演〕2 浮世 絵師広重と天童藩	小林 忠	東 方 学	101
研究ノート 戯画の 効能：提案三	稲賀 繁美	ジャポニ スム研究	21	版本に掲載される和 歌三神像について	綿坂 豊昭	図書館情 報大学研 究報告	19—2
湖北の画人—中川雲 屏—	森岡 栄一	市立長浜 城歴史博 物館年報	8	版本「百人一首」にお ける小倉山荘及び藤 原定家像について	"	"	20—1
乙骨耐軒「仙嶽關路 図跋」札記	成瀬 哲生	資料と研 究	6	平田玉蘊—江戸後期 の女性画家の生涯—	池田 明子	富山市簗 牛人記念 美術館館 報	10
絵師の僧位叙任をめ ぐる断章—『画工任 法橋法眼年月留』の 紹介をかねて—	野口 剛	朱 雀	13	近世吉田三画人 石 峰・文笠・圭岳伝新 考—資料捜査による 新事実—	藤井 隆	豊橋市美 術博物館 研究紀要	10
『細見道中記 全』小 田切春江著(安政二 年刊)解題	横山 学	生活文化 研究所年 報	14	高力猿猴庵著作年譜 新出本の紹介を含め て	山本 祐子	名古屋市 博物館研 究紀要	24
翻刻資料 細見道中 記 全(小田切春江 著)	小野 雅美	"	"	絵の居場所10 屏風 絵の行方—「安宅の 室礼」から「展覧会芸 術」へ	太田 昌子 大西 廣	日本の国 宝 別 冊 (週刊朝 日百科)	10
豊後における雪舟	矢富 厳夫	雪舟の郷	8	雪舟筆『天橋立図』の 発見	島尾 新	"	11
九州の雪舟街道を行 く	川崎由美子	"	"	絵の中を旅する 雪 舟『天橋立図』	"	"	"
「一四七九年雪舟作 国重要文化財 益田 兼堯像」考えられ る色と技法について	平坂 常弘	"	9	紙継の謎	"	"	"
新出《二条城行幸図 屏風》について	実方 葉子	泉屋博古 館紀要	18	天橋立を歩いてみよ う	"	"	"
百富士図をめぐっ て—江戸時代後期の 風景趣味と絵画—	内山 淳一	仙台市博 物館調査 研究報告	21	雪舟が見たもの描い たもの—智恩寺の平 成大修理をめぐる発 見から	伊藤 太	"	"
近世武家肖像画にお ける像主の神格化に ついて(3)	守屋 正彦	筑波大学 芸術年報	2000	雪舟の生涯と旅(応 永27年(1420)～永正 3年(1506)?)	島尾 新	"	"
柳橋水車図屏風の典 型と主題	米満 泉	デアアルテ	17	西湖を歩く	"	"	"
法華経「龍女成仏」図 の諸相	北 真樹	帝塚山大 学大学院 人文科学 研究科紀 要	2	雪舟の旅と東福寺派 のネットワーク—禪 宗界のネットワーク を探る旅	伊藤 幸司	"	"
文明十三年雪舟美濃 行について	今泉 淑夫	天開図画	3	雪舟美濃行—隠され た旅の目的	今泉 淑夫	"	"
雪舟の誕生地と出自	守安 収	"	"	絵の居場所11 出版 メディア時代の絵の 居場所	大西 廣 太田 昌子	"	"
「破墨山水図」の画と 詩	島尾 新	"	"	絵の居場所12 文化 のヒエラルキーと 「美術」の幻想 縮め くくりの対話	"	"	12
『本朝画史』の構想— 「巻第四 専門家族」 を中心として—	斉藤 昌利	東海大学 紀要教養 学部	31	特集…尽くし エッ セイ 狗づくし	今橋 理子	日本の美 学	32
雪舟筆 天橋立図虚 実雑考	赤澤 英二	東京学芸 大学造形 芸術学・ 演劇学	3	特集…尽くし 尽く しの趣向	尼ヶ崎 彬	"	"
岡倉天心と雪村	小川 知二	"	"	特集…尽くし 化物 尽くしの変容	安村 敏信	"	"
洛中洛外図屏風に描 かれた農耕風景—新 出開善寺本の紹介を 兼ねて—	奥田 敦子	"	"	特集…間 「間」は水 墨画の本質か キー ワードの落とし穴	山下 裕二	"	33

平成13年定期刊行物所載文献(古／絵)

不動院本『当麻曼荼羅図』について	伊藤たまき	日本美術研究	1	東京国立博物館蔵「日月山水図屏風」右隻の画題についての再検討	矢野 明子	"	151
国宝源氏物語絵巻に関する一考察—「横笛」における襖障子の機能について—	横島菜穂子	"	"	歌麿美人画と京伝『客衆肝照子』	安井 雅恵	"	"
茨城県江戸崎町吉祥院所蔵両界曼荼羅図について	渡邊 晃	"	"	第五十四回全国大会研究発表要旨 北尾重政研究—『俳諧名知折』における植物表現を中心に—	日野原健司	"	"
室町時代の富士図扇面—五山僧の見た富士山—	片桐 弥生	日本文化研究	13	第五十四回全国大会研究発表要旨 瀟湘八景はどのように受容されてきたか—その近世的展開を探る—	河野 聡子	"	"
《研究ノート》国学者近藤芳樹資料に見る画家達	影山 純夫	野村美術館研究紀要	10	第五十四回全国大会研究発表要旨 池大雅筆『餘杭幽勝図屏風』について	出光佐千子	"	"
版画研究最前線12「版」になった風景—文京名所案内—	川口 明代	版画芸術	111	第五十四回全国大会研究発表要旨 ポストン美術館所蔵宗祇像の制作背景について	志賀 太郎	"	"
連載 黒崎彰の新・版画講座10 浮世絵版木の革命—江戸の技術革新と国際性—	黒崎 彰	"	"	第五十四回全国大会研究発表要旨 土津神社蔵会津藩歴代藩主画像について	川延 安直	"	"
第52回美学会全国大会報告 発表要旨 白鶴美術館蔵[四季花鳥図屏風]の吉祥表現について—右隻に描かれた鳥をてがかりに—	島田 有紀	美学	207	第五十四回全国大会研究発表要旨 長沢蘆雪の山水画について—二点の「赤壁図屏風」を中心に—	松崎 幸子	"	"
第52回美学会全国大会報告 発表要旨 フィクションとしてのアイヌ画像—蠣崎波響筆『夷酋列像』を読む—	白石 恵理	"	"	第五十四回全国大会研究発表要旨 酒井抱一と松花堂昭乗	浜村蘭衣子	"	"
「一遍聖絵」景観考	河野あゆみ	美学論究	16	近世後期「春日絵所」考—天保五年、原在照への「絵所」職牒譲渡をめぐる—	福田 道宏	美術史研究	39
彦根藩御用絵師・佐竹永海	高木 文恵	彦根城博物館研究紀要	12	「天雅彦草子」絵画化の展開過程—赤木文庫旧蔵本を中心に—	大月 千冬	"	"
狩野定信筆「武家邸内図屏風」について	泉 万里	美術史	150	絵巻の風俗表現と風俗画—言説と形象の視点から—	馬淵 美帆	美術史論叢	17
菱川師宣の職人尽絵模本成立について—大英博本「職人尽図巻」と模本「職人盡倭畫」をめぐる—	内田 欽三	"	"	「風俗画」というイデオロギー—佐藤康宏著「高雄観楓図論」(『美術史論叢』一六)への異論として—	鈴木 廣之	"	"
シンポジウム報告 江戸市民の絵画環境と浮世絵版画	浅野 秀剛	"	"	長澤蘆雪「海浜奇勝図屏風」(メトロポリタン美術館)について	松崎 幸子	"	"
平成十二年支部例会研究発表要旨 江戸時代火事絵巻研究—幕末期御用絵師の作品を手がかりに—	植野かおり	"	"	中特集 聖徳太子絵ものがたり		美術の窓	218
平成十二年支部例会研究発表要旨 祇園祭礼図屏風(京博本)について—海北友雪の絵屋時代の作画活動—	八反裕太郎	"	"	日本の風景はどう描かれてきたか—日本風景画の伝統と変容	飯田 真	"	219
平成十二年支部例会研究発表要旨 歌麿に見る京伝洒落本の影響—「婦人相学十躰」を中心に—	安井 雅恵	"	"	手塚雄二が選ぶ 風景画十選	手塚 雄二	"	"

日本美術応援団団 長、山下裕二に聞く 日本の風景画	山下 裕二	"	"	絵巻の表現様式への 一試論—『玄奘三蔵 絵』における漢文学 の参与を手掛りにし て—	楊 暁捷	"	2—5
資料紹介 勝興寺所 蔵絵画	原口志津子	美 術 フォーラ ム21	4	高橋太華の「葛飾北 斎」について	岩切信一郎	北斎研究	28
特集 名品／巨匠？ —日本美術史におけ る規範形成3 画家 ／作品／価値10 謎 の絵師・写楽の謎 この可笑しさを描け るのは……	岸 文和	"	"	北斎と葛飾派の川柳 (四)一牧亭集馬の 句—	橋本 秀信	"	"
特集 海外から日本 の美術を見る。3 近江の眺め 滋賀県 立近代美術館蔵《近 江名所図屏風》にお ける地勢と政治の想 像力	マシユー・ マッケル ウェイ	"	5	葛飾北斎肉筆鑑賞 (六十八)「鴉図」一幅	永田 生慈	"	"
特集 海外から日本 の美術を見る。4 巡歴の画家 狩野探 幽	カレン・ ゲーハート 原田 平作 訳	"	"	〔完訳6〕フェノロサ 『北斎・葛飾派肉筆 画展カタログ』	山口恵里子	"	"
特集 海外から日本 の美術を見る。9 近年の曾我蕭白研究	マニエ・ ヒックマン 原田 平作 訳	"	"	〔完訳10〕～〔完訳12〕 ミシェル・ルヴォン 『北斎研究』	ミシェル・ ルヴォン 三浦 和郎 訳	"	28～30
特集 海外から日本 の美術を見る。10 キオッソーネ美術館 所蔵 岸駒の小下図 について	ジョバン ニ・ペテル ノッリ 青山 愛 訳	"	"	浮世絵商・小林文七 とそのコレクション をめぐって(一)—失 われた北斎作品と浮 世絵の名品の記録—	伊藤めぐみ	"	29
雪舟史料を読む1 日本ノ僧、楊雪舟ナ ルモノ、天性、画ヲ 善クス—魯庵純拙贈 詩(一)	大西 廣	百 科(月 刊)	467	北斎の用いた花押に ついて	永田 生慈	"	"
雪舟史料を読む2 其ノ道ニ志スモノ有 ルヲ察ス—魯庵純拙 贈詩(二)	"	"	468	北斎と葛飾派の川柳 (五)一定岡その他の 句—	橋本 秀信	"	30
雪舟史料を読む3 筆ヲ援レバ立チドコ ロニ成ル—魯庵純拙 贈詩(三)	"	"	469	北斎の関西旅行をめ ぐって	武内 善信	"	"
個人蔵「厳島図」—変 貌する聖地とそのエン タテイメント—	知念 理	広島県立 美術館研 究紀要	5	密教曼荼羅と宗理— 成身院童子経曼荼羅 をめぐって—	藤浦 正行	"	"
風俗画に描かれた初 期歌舞伎の櫓	阿部 彩子	フィロカ リア	18	資料紹介11 春朗黄 表紙『真柴久吉武地 光秀 御伽山崎合 戦』	伊藤めぐみ	"	"
福井の狩野派資料 (一)	志賀 太郎	福井市立 郷土歴史 博物館研 究紀要	9	〔墨田区調査研究報 告〕明治期浮世絵関 連新聞(1)—北斎記 事—		"	"
収蔵品解説 安田雷 洲《丁未地震》	金子 信久	府中市美 術館研究 紀要	5	『蝦夷草木図』写本の 比較	林 昇太郎 水島 未記 手塚 薫	北海道開 拓記念館 研究紀要	29
キトラ古墳の四神図 —朱雀の出現—	百橋 明穂	仏教芸術	258	研究史概略・勝川春 章—浮世絵師春章に 関する研究・評価の 歴史—	内藤 正人	松ヶ岡文 庫研究年 報	15
《特集 隠れる》詩画 への隠遁—蕪村・如 亭・竹田—	池沢 一郎	文 学(隔 月刊)	2—1	堀田正敦の獣譜— (博物館図譜)と解体 された幻の図譜—	長岡由美子	MUSE- UM	571
渡海石版『絵本鶯宿 梅』—世界を駆け 巡った日本絵本—	鈴木 淳	"	2—3	奈良・西大寺所蔵吉 野曼荼羅図について	行徳真一郎	"	572
				記録に貼り継がれた 絵図—東京大学史料 編纂所所蔵『徳大寺 公清公記』所収「車 絵図」を中心に—	藤原 重雄	"	575
				東京大学史料編纂所 所蔵足利義教像につ いて	末柄 豊	"	"

天皇を描くことをはばかる表現の終焉—『孝明天皇紀附図』と『明治天皇紀附図』における天皇の顔の表し方—	山本 陽子	明星大学研究紀要	9	歴史の証人 写真による収蔵品紹介『大石兵六物語絵巻』について	伊藤 慎吾	"	106
特集 浮世絵春画 春画はこれからが面白い	白倉 敬彦	目の眼	298	特集 境界を越える歴史学 異界2 あの世界の絵解き	高遠奈緒美	"	"
キトラ古墳と四神像 円にみられる世界観	井口 喜晴	"	"	一研究ノート—平家納経雑感	梶谷 亮治	鹿園雑集 奈良国立博物館研究紀要	2・3合併号
童子が活躍する三つの絵巻 こどもの姿が語るもの	宮島 新一	"	302	芦雪の童心	宮島 新一	和歌山県立博物館研究紀要	6
寛永十六年の雲谷派一ふたつの雪舟像をめぐって—	綿田 稔	山口県立美術館研究紀要	3	抱一の江戸の表象—都市の中の其角—	井田 太郎	早稲田大学大学院文学研究科紀要	46
雲谷派、元和・寛永期の史料	吉積 久年	"	"	室町時代から江戸時代にかけての伊勢物語絵の一面—「扇の草子」を中心として—	大口 裕子	"	"
資料紹介 山岡山泉 写雪舟筆山水長巻・山水小巻	綿田 稔	"	"	『伏見夜船 沖津白波』『勅宣養老水』影印・翻刻	雲英 未雄 伊藤 善隆 二又 淳	早稲田大学図書館紀要	48
山口蓬春記念館蔵《十二月風俗図》—その図様の検討と制作目的について—	笠 理砂	山口蓬春記念館研究紀要	2	朝 鮮			
文晁と藍瑛	河野 元昭	大和文華	105	連載 朝鮮李朝仏画《初期甘露嶺》の世界 大津市西教寺所蔵『孟蘭盆経説相』を読む(第一回)~(第四回)—新出資料紹介—	服部 良男	アジア遊学	28、29、31、32
石川大浪と孟高について—その伝記と画業—	勝盛 典子	"	"	朝鮮初期の「安堅派画風」についての一考察—伝安堅筆《四時八景図》をめぐって—	盧 載玉	文化学年報(同志社大学)	50
石川大浪筆「西洋婦人図」の源流	松田 清	"	"	そ の 他			
「童子形の神仏像」小考	関口 正之	"	106	連載 オフェル・シャガンのアジア古美術案内 第2回 「紙」に描かれたミニアトウル〜インド細密画の歴史と意匠〜	オフェル・シャガン	アートトップ	181
南都眉間寺旧蔵羅漢図試論	増記 隆介	"	"	巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 インドのミティラー画 ミティラー画に込められた女性たちの祈りのコスモロジー	長谷川時夫	"	182
特集 2001年大江戸文化の旅 若沖・白隠・コンテンポラリー	山下 裕二	ユリイカ	442	『ヴァジュラーヴァリー』所説のマンダラー尊名リストおよび配置図—	森 雅秀	高野山大学密教文化研究所紀要	14
特集 2001年大江戸文化の旅 光琳=図像に内在する近代への軌み	戸田ツトム	"	"	NāgabodhiのŚrī-guhyasamājamaṇḍalopāyikā-vimśati-vidhiにおける曼荼羅の虚空掬線について	田中 公明	印度学仏教学研究	99
岸大路家所蔵 岸派 絵画資料調査報告 岸大路家所蔵岸派絵画資料について	岩佐 伸一	栗東歴史民俗博物館紀要	7				
岸大路家所蔵 岸派 絵画資料調査報告 岸大路家所蔵 岸派 絵画資料目録		"	"				
岸大路家所蔵 岸派 絵画資料調査報告 岸大路家所蔵 岸派 資料目録		"	"				
中林湘雲筆「四季耕作図屏風」の基礎的検討	河野 通明	歴史と民俗	17				
歴史の証人 写真による収蔵品紹介「絵巻橋姫」	福原 敏男	歴 博	105				

ネパール国立文書館
所蔵『百八観音白描
集』 森 雅秀 密教文化 206

Karakorum High-
way沿いの刻画・刻
文に見られる法華経
信仰 塚本 啓祥 松ヶ岡文
庫研究年 15

チベットにおける
『理趣広経』の曼荼羅
の伝承—シャル寺南
堂の作例を中心に— 川崎 一洋 密教図像 20

シャル寺の曼荼羅壁
画について(2)—北
堂の悪趣清浄曼荼羅
を中心に— " 密教文化 207

図像・文様

中 国

尹湾簡牘「博局占」の
方陣構造—博局紋の
系譜解明の一助とし
て— 上田 岳彦 駿台史学 112

中国古代の目頭と目
尻の下がった目—鴟
鵂神を中心として— 林 巳奈夫 泉屋博古
館紀要 18

日 本

「忍岡系文様」につい
て 櫻井 久之 大阪市文
化財協会 4

「花 車」考—能・小
歌・意匠の交響— 植木 朝子 国語国文 806

続・狛犬考(八) 上杉 千郷 陶 説 574

そ の 他

ヴェッサンタラ・
ジャータカの図像に
ついて—インドから
中国へ— 影山 悦子 古代文化 515

ジュニャーナバーダ
流のジャンバラ成就
法—『秘密ジャンバ
ラ 成 就 法』Guhya-
jambhālasādhana— 菊谷 竜太 密教図像 20

ガンダーラの床几
(sella curulis)に 関
する二、三の考察 田辺 勝美 古代オリ
エント博 22

ベグラム出土象牙装
飾板の複合モチーフ
について 松平美和子 駒沢大学
文化 20

中央アジアにおける
四天王の図像学的考
察 金 香淑 密教図像 20

狩猟図におけるバル
ティアン・ショット 武内 律志 古代オリ
エント博 22

地図・絵図

日 本

「尾張國富田庄絵図」
の主題をめぐって—
文書目録と絵図説
解— 上村喜久子 愛知県史
研究 5

近江を描く「名所図
会」の系譜 杉江 進 大津市歴
史博物館 8

称名寺絵図のアボリ
アと解決(上)—「称
名寺絵図並結界記」
の分析・読解— 黒田日出男 金沢文庫
研究 307

近世長崎浦五嶋町に
関する町絵図とその
紹介 岩崎 義則 崎 陽 1

[共同研究] 古代荘園
絵図と在地社会につ
いての史的 研究
「額田寺伽藍並条里
図」の分析 資料編
額田寺伽藍並条里図
の計測・形状復原の
資料 石上 英一 国立歴史
民俗博物 88

[共同研究] 古代荘園
絵図と在地社会につ
いての史的 研究
「額田寺伽藍並条里
図」の分析1 「額田
寺伽藍並条里図」の
再現と寺院経営「額
田寺伽藍並条里図」
の作成過程について
寺領認定と額田寺図 山口 英男 " "

[共同研究] 古代荘園
絵図と在地社会につ
いての史的 研究
「額田寺伽藍並条里
図」の分析2 「額田
寺伽藍並条里図」の
再現と寺院経営 古
代荘園絵図読解の試
み「額田寺伽藍並
条里図」 黒田日出男 " "

[共同研究] 古代荘園
絵図と在地社会につ
いての史的 研究
「額田寺伽藍並条里
図」の分析4 考古
学・地理学からみた
額田部地域 古代荘
園図から見た氏寺の
構造と景観 服部伊久男 " "

[共同研究] 古代荘園
絵図と在地社会につ
いての史的 研究
「額田寺伽藍並条里
図」の分析4 考古
学・地理学からみた
額田部地域 額田寺
伽藍並条里図の文脈
論的検討 金田 章裕 " "

資料紹介 会田家文
書の「紀州御鷹場村
絵図」について 兼子 順 埼玉県立
博物館紀 26

資料紹介 栃木県立
博物館所蔵 下野宇
都宮図 船木 明夫 栃木県立
博物館研 18

仙台藩の元禄国絵図
と絵図・文書群—解
題 元禄十五年二月
『御国絵図入日記』 阿部 俊夫 福島県歴
史資料館 23

伊都郡移村預所墨引
絵図について一梓田
荘域の用水の開削時
期一

額田 雅裕 和歌山市
立博物館
研究紀要 15

彫 塑

中 国

巻頭特集 アジアの
宗教美術 信仰から
生まれた多彩な造形
中国の仏教美術 北
魏～唐時代 中国の
仏像の魅力

久野 健 アー
ト
トップ 182

弥勒菩薩のスタイル
論一仏教伝播中の民
俗化問題を兼ねて論
ずる一

梁 継国 茨城大学
人文学部
紀要コ
ミュニ
ケーション
学科論
集 9

翻訳 秦始皇帝とそ
の陵墓 秦始皇帝兵
馬俑2号坑出土の華
麗な彩色俑

劉 占成
朱 学文
積山 洋 訳 大阪市文
化財協会
研究紀要 4

中国南朝陶俑の諸相
一湖北地区を中心と
して一

小林 仁 鹿島美術
研究 18

中国南北朝時代の
「彫像(富県)様式」仏
教・道教造像に関す
る再検討一平行多線
文をあらわす造像に
ついて一

齋藤 龍一 " "

ART NEWS 「龍門
石窟」出開帳 大唐
盛世の花咲く仏たち

芸術新潮 623

清凉寺釈迦如来像と
北宋の社会

長岡 龍作 国 華 1269

四川省成都出土の阿
育王像

小谷 仲男 史迹と美
術 713

観音菩薩像の成立と
展開一変化観音を中
心にインドから日本
まで一1. 本文編
第4章 中国の変化
観音について

朴 亨國 シルク
ロード学
研究 11

観音菩薩像の成立と
展開一変化観音を中
心にインドから日本
まで一1. 本文編
第6章 千手観音像
に関する二、三の問
題一経軌と8～9世
紀の中国(四川省)・
日本の作例をめぐっ
て一

山岸 公基 " "

いわゆる「十神王」像
について

八木 春生 筑波大学
芸術研究
報告 37

平成十二年支部例会
研究発表要旨 大足
北山石窟仏湾第一三
〇号龕摩利支天像に
ついて

北 進一 美術史 150

平成十二年支部例会
研究発表要旨 北
齊～隋の盧舎那法界
仏像の図像解釈

李 静杰 " "

中国における八部衆
の図像の成立に関す
る一試論一竜門賓陽
三洞の諸像を中心
に一

水野 さや 密教図像 20

會津八一コレクショ
ン中の唐代博仏

肥田 路美 早稲田大
学会津八
一記念博
物館研究
紀要 2

日 本

神義真言系造像の
二、三の作例一稲沢
市域に見る一

伊東 史朗 愛知県史
研究 5

「修験の世界」展示資
料の二尊像

嶋田 忠一 秋田県立
博物館研
究報告 26

大分元町石仏につい
て一初期円派の作例
として一

渡辺 文雄 大分県立
歴史博物
館研究紀
要 2

旧大御輪寺本尊 聖
林寺十一面観音像の
造像時期について

倉本 弘玄 大 美 和 101

七条仏所による時宗
祖師像製作の初期の
様相について一迎称
寺・伝一鎮上人坐像
と長楽寺・真教上人
倚像をめぐって一

浅湫 毅 学 叢(京
都国立博
物館) 23

二臂琵琶彈奏弁才天
の研究

川瀬 由照 鹿島美術
研究 18

貞慶と重源をめぐ
る美術作品の調査研
究一釈迦・舍利信仰
と宋風受容を中心
に一

瀬谷 貴之 " "

近世肖像彫刻の研究
一俗人像を中心に一

末吉 武史 " "

見延町下山本国寺の
法華経一尊四士像一
特に釈尊像を中心
に一

山田 泰弘 鎌 倉 93

西藏寺の仏像

見浦 祥子 川崎市文
化財調査
集録 36

「運慶一タヒ出テ天
下復タ彫刻ナシ」
運慶の名声の伝承を
めぐって一

根立 研介 京大学
文学部美
学美術史
学研究室
研究紀要 22

模刻の意味と機能一
大安寺釈迦如来像を
中心に

皿井 舞 " "

湛慶世代の作風展開
について一京都正法
寺(八角堂)阿弥陀如
来坐像、京都西園寺
阿弥陀如来坐像を中
心に一

松岡久美子 " "

ドクター・シノダの 人物画診断20 釈迦 の非対称性顔反射	篠田 達明	芸術新潮	616	美濃路の聖徳太子像	"	"	169
ドクター・シノダの 人物画診断26 平清 盛の電撃性猩紅熱	"	"	623	袍に変わった衿をつけた 太子像—水戸・信 願寺—	"	"	170
古代造仏銘寸考	乾 善彦	国語と国 文学	936	観音菩薩像の成立と 展開—変化観音を中 心にインドから日本 まで—1. 本文編 第6章 千手観音像 に関する二、三の問 題—経軌と8~9世 紀の中国(四川省)・ 日本の作例をめぐつ て—	山岸 公基	シルクロード学 研究	11
法隆寺金堂釈迦三尊 像台座内の墨画と銘 文—鳥と魚の意匠と 死後の世界—	川端真理子	古代文化	505	観音菩薩像の成立と 展開—変化観音を中 心にインドから日本 まで—1. 本文編 第7章 十一面観音 像の表現—日本にお ける展開を中心とし て—	井上 一穂	"	"
房総の仏像—古代の 造像を中心に—	紺野 敏文	国 華	1265	園城寺唐院智証大師 坐像(御骨大師)考	本田 論	成城美学 美術史	7
妙見神立像	津田 徹英	"	"	《研究ノート》千葉県 所在および房総関係 の懸仏	木村 修	千葉県立 中央博物 館研究報 告	14
小松寺蔵 薬師如来 立像	紺野 敏文	"	"	具象彫刻表現におけ る寄木の可能性につ いて	河西 栄二	筑波大学 芸術研究 報告	37
莊厳寺蔵 十一面観 音菩薩立像	奥 健夫	"	"	鶴岡八幡宮住吉神倚 像に関する一、二の 考察	花村 統由	東京学芸 大学造形 芸術学・ 演劇学	3
石堂寺蔵 十一面観 音菩薩立像	紺野 敏文	"	"	石山寺木造阿弥陀如 来坐像について	高梨 純次	同志社大 学博物館 学年報	33
長昌寺蔵 不動明王 坐像	水野敬三郎	"	"	新潟県・畑野町・長 谷寺・木造女神坐像 について	長坂 一郎	東北芸術 工科大学 紀要	8
小松寺蔵 十一面観 音菩薩坐像	山本 勉	"	"	調査報告 犬山市所 在の薬師寺本尊薬師 如来坐像	奥出 賢治	名古屋 市博物館 研究紀要	24
石堂寺蔵 千手観音 菩薩坐像	水野敬三郎	"	"	歴史手帖「胎内」 「胎中」随想	小川 信	日本歴史	632
観福寺蔵 釈迦如来 坐像懸仏・十一面観 音菩薩坐像懸仏・地 蔵菩薩坐像懸仏・薬 師如来坐像懸仏	武笠 朗	"	"	寛永期復興金堂諸尊 像	宇野 茂樹	仁和寺研 究	2
広隆寺蔵 不空罽索 観音菩薩立像	佐々木守俊	"	1268	平成十二年支部例会 研究発表要旨 熊野 夫須美神本地仏の異 形像について	長田 寛康	美術史	150
シンポジウム 七仏 薬師と妙見菩薩—千 葉氏発生の謎につい て—	浜名 徳順	採蓮 千 葉市美術 館研究紀 要	4	平成十二年支部例会 研究発表要旨 平安 初期における広隆寺 の本尊交替について	大河内智之	"	"
失われた民俗信仰— 椎葉の山の神の造像 信仰—	永松 敦	椎葉民俗 芸能博物 館研究紀 要	2	第五十四回全国大会 研究発表要旨 平安 初期における広隆寺 の本尊交替について	林 南壽	"	151
島田市・智満寺の千 手観音像懸仏とその 信仰	大塚 幹也	史迹と美 術	711	第五十四回全国大会 研究発表要旨 宮城 県双林寺薬師如来像 をめぐって	川崎 暁	"	"
黄檗信仰史 三十 五~四十	江口 正尊	"	711, 714, 716, 717, 719, 720				
滋賀県西浅井町の神 仏習合遺品—神明神 社神牌と大浦観音堂 懸仏群—	山下 立	"	718				
静岡市・結成寺の懸 仏について	大塚 幹也	"	719				
紀州歙喜寺阿弥陀石 仏について	清水 俊明	"	"				
百済観音小考	田寺 英治	"	"				
長野・中善寺金剛力 士像と平安鎌倉期の 金剛力士造像	武笠 朗	実践女子 大学美学 美術史学	16				
光圀公より賜った身 代わり太子像	小松 光江	聖 徳	167				

平成13年定期刊行物所載文献(古/彫)

法隆寺蔵九面観音像について	山田 磯夫	美術史研究	39	室生寺金堂十二神将像考	山本 浅見 勉 龍介	MUSE-UM	571
特集 海外から日本の美術を見る。2 山千寺観音菩薩像と白鳳童子彫刻の問題	ドナルド・マッカラム	美術フォーラム21	5	大倉文化財団普賢菩薩騎象像調査報告	山本 浅見 丸山 勉 龍介 士郎	"	574
福岡・千如寺大悲王院 正応四年銘木造二天像について	末吉 武史	福岡市博物館研究紀要	11	〈報告〉高野山釈迦文院の釈迦如来及び文殊菩薩坐像について	遠藤 廣昭	横浜市歴史博物館紀要	5
四天王寺創立時の仏像について	大橋 一章	仏教芸術	254	滋賀・善水寺四天王像について—持国天・広目天の二像を中心に—	松岡久美子	栗東歴史民俗博物館紀要	7
醍醐寺霊宝館所在五大明王像考	津田 徹英	"	255	先生教えて 狛犬はいつからあったのですか	宮原 武夫	歴史地理教育	621
木心乾漆像の出現と漆	森下和貴子	"	"	大石内蔵助・主税像の(発見)	黒田日出男	歴史評論	617
野中寺弥勒菩薩半跏像の制作時期と台座銘文	麻木 脩平	"	256	朝 鮮			
三千院往生極楽院阿弥陀三尊像—来迎像を丈六とする—古例—	伊東 史朗	"	"	巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 韓国の仏教美術 三国〜新羅時代 古代朝鮮仏との出会い	久野 健	アートトップ	182
如来の髪型における平安末〜鎌倉初期の一動向—波状髪の使用をめぐる—	奥 健夫	"	"	観音菩薩像の成立と展開—変化観音を中心にインドから日本まで—1. 本文編第5章 韓国の変化観音について	朴 亨國	シルクロード学研究	11
請求「本様」の写しと仏師(二)—「太子御形」半跏思惟像とその展開(上)(下)—	紺野 敏文	"	256, 258	慶州昌林寺址三層石塔の八部衆像について	水野 さや	美術史	151
古代の誕生仏 単独像編—大阪・黄梅寺蔵誕生釈迦仏をめぐって—	松田 妙子	"	257	山口県下の高麗仏について	岩井 共二	山口県立美術館研究紀要	3
〔資料紹介〕東北の仏像(一) 秋田・全良寺所蔵の阿弥陀如来坐像	浅井 和春	"	"	そ の 他			
古代の誕生仏 群像編—東京国立博物館保管・法隆寺献納宝物一九一号像を巡って—	松田 妙子	"	258	観音菩薩像の成立と展開—変化観音を中心にインドから日本まで—1. 本文編第3章 東南アジアの変化観音について	朴 亨國	シルクロード学研究	11
野中寺弥勒像銘文再説—麻木脩平氏の批判に接して—	東野 治之	"	"	巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 カンボジアのブロンズ像 クメール美術が生み出した魅惑のブロンズ像	斎川 真樹	アートトップ	182
高野山金剛峯寺孔雀明王坐像の造像背景	赤川 一博	"	"	巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 インドネシアの仏教美術 ボロブドゥルの獅子	久野 健	"	"
〔資料紹介〕東北の仏像(二) 松島・瑞巖寺の不動明王像および二童子像	山本 勉	"	"	アマラーヴァティーのジャータカ図	杉本 卓洲	金沢大学文学部論集	21
博士論文の概要及び審査の結果の要旨 安藤佳香『日本古代の仏教美術に現れた「インド風」について—蓮華莊嚴を中心に—』		仏教大学文学部論集	85	密迹金剛力士の一考察	山野 智恵	現代密教	14
説法印阿弥陀如来像をめぐる試論	藤岡 穰	待兼山論叢	35				
法琳寺大元帥明王彫像の成立	佐々木守俊	密教図像	20				

観音菩薩像の成立と展開—変化観音を中心にインドから日本まで—1. 本文編
第1章 観音菩薩像の成立と展開—インドを中心に—

宮治 昭 シルクロード学 11
研究

観音菩薩像の成立と展開—変化観音を中心にインドから日本まで—1. 本文編
第2章 インドにおける変化観音

佐久間留理子 " "

第五十四回全国大会研究発表要旨 アジャンターの守門神ヤクシャ像について—第十九窟ファサードの守門神ヤクシャを中心に—

永田 郁 美術史 151

パーミヤーン東大仏の制作年代に関する一考察—玄奘さん、見てきたような嘘をい—

田辺 勝美 古代オリエント博物館紀要 22

大会抄録 パーミヤーン石窟と弥勒信仰

小谷 仲男 東洋史研究 60—3

胎蔵大日八大菩薩と八大菩薩曼荼羅の成立と展開

田中 公明 密教図像 20

巻頭特集 アジアの宗教美術 信仰から生まれた多彩な造形 モンゴルの密教仏像 モンゴル密教の歴史と仏像制作

オフエル・シャガン アートトップ 182

土偶・埴輪

日 本

上閉伊郡の土偶

日下 和寿 岩手県立博物館研究報告 18

人物埴輪樹立の意義—顔面線刻・彩色の分析から—

神尾和歌子 三重大史学 1

初期埴輪と土器—天理市東殿塚古墳の埴輪配列とその意義—

青木 勘時 立命館大学考古学論集 2

茶臼山型二重口縁壺と前期古墳の朝顔形埴輪—頭部製作技法からみた系譜関係について—

廣瀬 覚 " "

そ の 他

円盤を持った女性土偶—その性格と機能

杉本 智俊 史学 70—3・4

面

日 本

転害会所用の仮面付獅子頭の史的概観

伊東 史朗 南都仏教 80

第五十四回全国大会研究発表要旨 陵王面の形式変遷—鎌倉時代新形式の成立を中心に—

村山 閑 美術史 151

書 蹟

中 国

呉雲詩稿について

福本 雅一 学叢(京都国立博物館) 23

墨跡に見る日中の交流

西尾 賢隆 京都産業大学日本文化研究所紀要 6

エニセイ川上流発見のルーン文字石碑に刻まれた漢字について

枅本 哲 史迹と美術 712

明末清初の書法における異体字使用の風潮について(1)

白祁 謙慎 書論 32

文献から見た蘭亭序の流転

萩 信雄 墨 148

新連載 第一回～第四回 漢字の起源をめぐって

阿辻 哲次 " 150～153

【特集】禅語と墨跡 茶席における墨跡鑑賞

名児耶 明 淡 交 681

蔣衡と其の「書法論」(上)

弓野 隆之 澄懷堂美術館研究紀要 2

〔翻刻〕呉錫麒「手鈔稿本」釈注(二)

豊田 真樹子、水野 麻美、弓野 隆之編 " "

敦煌唐文書考

坂尻 彰宏 東方学 102

包山楚簡「卜筮祭祷簡」の構造とシステム

工藤 元男 東洋史研究 59—4

研究余録 方梅厓遺文ほか

今泉 淑夫 日本歴史 633

西夏文獻拾遺—『俄藏黑水城文獻』所収断片資料を中心として—

松澤 博 龍谷史壇 116

日 本

館藏品紹介 古筆手鑑「見努世友」

別府 節子 出光美術館館報 116

貫名菰翁夜話—『菰翁遺印』小考

笠嶋 忠幸 出光美術館研究紀要 7

松梅院切・類切に関する考察

別府 節子 " "

研究ノート 水戸藩の書道資料—三種の集帖について—

桐原 治美 茨城県立歴史館報 28

伝藤原公任筆「大色紙」の構成について一池田光政筆「古筆臨模聚成」の紹介をかねて一	四辻 秀紀	金鰐叢書 史学美術 史論文集	28
木簡の表記と記紀	館野 和己	国語と国 文学	936
木簡にみる古代の漢字文化受容	佐藤 信	" "	" "
諸家売立目録所載一休墨跡資料(一)一明治・大正期一	岡 雅彦	国文学研 究資料館 文献資料 部・調査 研究報告	22
例会報告要旨 長屋王家木簡の研究一伝票木簡からの考察一	岡本麻友子	続日本紀 研究	330
日本の書文化11 真名から草へ・草から仮名へ	松岡 正剛	墨	148
コラム 鑑賞を深めるために 手紙は語る 歴史のひとこま センチュリーミュージアム蔵「尊円親王筆 書状」より	森住 恵子	"	149
日本の書文化12 この国にひそむ南北の中国	松岡 正剛	"	"
書論の広場14 冷泉家時雨亭文庫蔵『三位中将公衡卿詠』の特異な書写形式	家入 博徳	"	"
日本の書文化13 タオ・カリグラフィの影響	松岡 正剛	"	150
日本の書文化14 紀貫之の用意周到	"	"	151
日本の書文化15 手師の時代から書聖の出現へ	"	"	152
日本の書文化16 言霊から書が降り落とされる	"	"	153
奈良朝における大型武の受容意図	川上 貴子	デアアルテ	17
東院出土木簡の意義	清水 みき	日本史研 究	461
研究余録 古写経奥書の怪	皆川 完一	日本歴史	632
第五十四回全国大会研究発表要旨 「国家珍宝帳」の書体に関する考察	川上 貴子	美術 史	151
東大寺献物帳と紫微中台	東野 治之	仏教芸術	259
松尾社一切経の北本涅槃経と南本涅槃経一一般涅槃経の書写と表紙の改装をめぐる一	生駒 哲郎	立正史学	89

修士論文概要 中世書流の展開	宮崎 肇	早稲田大学大学院文学研究科紀要	46
早稲田大学図書館所蔵の古筆切資料	兼築 信行	早稲田大学図書館紀要	48
金石文など			
中 国			
房山石経中の弥勒経	白山 和宏	印度学仏教学研究	99
唐代仏教石刻文の研究(二)	大内 文雄	真宗総合研究紀要	18
蘭亭序名拓選	伊藤 滋	墨	148
刻本「蘭亭序」の種類と善本五種について	"	"	"
最新 蘭亭序研究事情	大橋 修一	"	"
中国レポート 山東省 曲阜「漢魏碑刻陳列館」	藤波 艸心	"	149
中国レポート 新発見!! 霊峰山で「四仙名題字」出土	表 立雲	"	152
王同愈論唐碑(上)	弓野 隆之	中国近現代文化研究	4
漢代における印綬の追贈	阿部 幸信	東方学	101
中国古代印章一福岡市博物館平成10(1998)年度収集資料について一	常松 幹雄	福岡市博物館研究紀要	11
日 本			
経塚資料覚書(三) 宮崎宮出土瓦経	宮小路賀宏	九州歴史資料館研究論集	26
新指定重文・延暦寺蔵『宗存版本活字』について	水上 文義	天台学報	43
[研究ノート] 多功南原遺跡出土の文字資料について	山口 耕一	栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要	9
地域表象としての古代石碑一山上碑と放光寺をめぐる一	前沢 和之	歴史評論	609
朝鮮・その他			
釜山訓導・玄徳潤の墓碣碑銘をよむ	信原 修	朝鮮学報	181
インダス上流の刻画・刻文の特色とその歴史的意義	塚本 啓祥	印度学仏教学研究	99
研究ノート 最初期の円筒印章について	須藤 寛史	西アジア考古学	2

わたしは九代目一ダ
レイオスー世碑文解
釈のひとつの試みー

佐藤 進 立正史学 89

工芸(一般)

日 本

【特集】名月一意匠と
表現 工芸品にみる
月の意匠

日高 薫 淡 交 677

正倉院から唐招提寺
へー鑑真和上来朝と
盛唐美術受容の一
端ー

三宅 久雄 仏教芸術 259

正倉院宝物に見られ
る意匠構想の転写方
法について

西川 明彦 " "

朝鮮・その他

《資料講読》宣和奉使
高麗図経(二)

環黄海文化 野村美術
研究会 館研究紀
要 10

連載 オフェル・
シャガンのアジア古
美術案内 第3回
失われた楽園〜黄金
の三角地帯に住むヤ
オ族の芸術〜

オフェル・ アート
シャガン トップ 182

宗教工芸

中 国

中国鐘の変遷とその
歴史的背景

全 錦雲 梵 鐘 13
神崎 勝 訳

日 本

〈資料紹介〉戦国から
江戸時代初期の銅鐘
4例

鈴木 慎一 大阪の歴
史と文化 7
財

研究ノート 舍利容
器二題一法輪寺の舍
利容器と衣縫魔寺の
舍利容器ー

岡本 敏行 大阪府立
近つ飛鳥 6
博物館報

資料報告 新納コレ
クションにみられる
荘厳

岩瀬 透 " "

普濟寺のウハッキュ
ウ及びマン付き位牌
について

中村 守 埼玉史談 265

佐賀県の経塚資料

田中 徳栄 佐賀県立
博物館・ 25
美術館調
査研究書

下野の経塚資料とそ
の特徵

皆川 義孝 栃木県立
博物館研 18
究紀要

木製小塔の製作残材
一百万塔製作工房の
在処についてー

井上 和人 奈良文化
財研究所 2001年
紀要

平成十二年支部例会
研究発表要旨 西大
寺鉄塔について

内藤 榮 美術史 150

第五十四回全国大会
研究発表要旨 奈良
時代の数珠と阿弥陀
信仰

中野 聰 " 151

西大寺鉄宝塔・五瓶
舍利容器について

内藤 榮 仏教芸術 257

立正大学学園寄贈の
「撫石庵コレクション」について

坂詰 秀一 梵 鐘 13
上野 恵司

発掘された梵鐘をめ
ぐる近代史料

時枝 務 " "

鋳物師が見た鋳鐘失
敗成功の所見ー「竹
沢御殿御時鐘之事」
よりー

斉藤 善夫 " "

鎌倉梵鐘紀行 2 円
覚寺

鈴木 重六 " "

栃木県江戸時代製作
現存鐘

高橋 久敬 " "

江戸時代の梵鐘鑄造
ー大阪府枚方市田中
家所蔵文書からー

吉田 晶子 " "

朝 鮮

対馬の朝鮮鐘にかか
わる新資料ー「荻野
三七彦旧蔵資料」に
ついて 付：対馬関
係梵鐘一覧ー

石田 肇 梵 鐘 13

六口の太極紋鐘

姜 健栄 " "

そ の 他

梵鐘の話(四) ベト
ナムの梵鐘(その一)

杉山 洋 梵 鐘 13

ジャワの金剛杵・金
剛鈴について

伊藤奈保子 密教図像 20

武具・馬具類

日 本

《資料紹介一補遺》当
館蔵の唐草文心葉形
鏡板と杏葉について

関 義則 埼玉県立
博物館紀 26
要

調査・研究報告 久
津川車塚古墳出土の
甲冑について(1)

近藤 義行 城陽市歴
史民俗資 6
料館報

日本の鉄砲の起源に
ついて

イアン・ボ トムレー 大 日 光 71
稲葉 尚正 訳

棘葉形杏葉・鏡板の
変遷とその意義

桃崎 祐輔 筑波大学
先史学・ 12
考古学研
究

古墳時代後期の朝鮮
半島系冑(2)

内山 敏行 栃木県文
化振興事 9
業団・埋
蔵文化財
センター
研究紀要

平安時代兜鉢の一例

津野 仁 " "

鉄砲伝来の経緯につ
いて二・三の考察—
徳永氏系図「二十五
代祐家譜」を中心に
して—

濱田 利安 黎明館調
査研究報 告 14

茶 道 具

日 本

梅を愛でる 梅と茶
道具 鈴木 皓詞 淡 交 670

大名茶人・松平不昧
松平不昧と「お好み
もの」 藤間 寛 " 672

井伊直弼ゆかりの茶
道具(1) 谷口 徹 彦根城博
物館研究 紀要 12

特集 海外から日本の
の美術を見る。13
茶の湯と蒐集 ク リ ス
ティーン・グーテ 美 術
富井 玲子 フォーラ ム21 5

装身具・化粧具

日 本

横櫛—横櫛の分類と
生産遺跡— 辻 裕司 京都市埋
蔵文化財 研究所研 究紀要 7

特集 印籠と根付
印籠と根付の魅力—
そのミクロコスモス
に遊ぶ— 竹内奈美子 目 の 眼 294

文 房 具

中 国

中国レポート 皇帝
御用硯「松花石硯」探
訪の旅—松花石硯調
査と洮河緑石との比
較— 山本 涛石 墨 148
山本 粹園

特集 境界を越える
歴史学 作法 硯の
変化と書の作法 山中 章 歴 博 104

陶 磁

一 般

出光美術館(門司)
「陶磁の道セミナー」
基調講演 陶磁器の
東西交渉 長谷部楽爾 出光美術
館館報 114

「シルクロードの宝
物」展 記念シンボ
ジウム 海のシルク
ロードが運んだ ひ
と・もの・情報 基
調報告3 陶磁器か
らみた東西世界の交
渉 " " 117

「シルクロードの宝
物」展 記念シンボ
ジウム 海のシルク
ロードが運んだ ひ
と・もの・情報 討
論

櫻井 清彦
生田 滋
長谷部楽爾
家島彦一
弓場 紀知
司会

根津美術館開館六〇
周年記念名品展 第
四部「東洋の陶磁
器と漆芸品」より

西田 宏子 陶 説 581

中 国

館蔵品紹介 古染付
詩文小考—古染付人
物文茄子形水注— 金沢 陽 出光美術
館館報 116

陶片資料紹介(8) イ
ンドネシア・トゥバ
ン海域引き揚げの元
代「樞府手」白磁と青
花片 " 出光美術
館研究紀 要 7

初期唐三彩陶器の研
究 亀井 明德 鹿島美術
研究 18

跋趾金欄手壽之字御
香合青葉描茶一我が
國最初の赤繪金欄手
か— 徳川 義宣 金鯢叢書
史学美術 史論文集 28

青磁の美 出川 哲朗 淡 交 669

北方白瓷の誕生と化
粧掛けの役割 水上 和則 東京芸術
大学美術 学部紀要 36

中国陶磁にみる文様
(22)—粉彩2— 豊増 晏正 陶 説 576

中国陶磁にみる文様
(23)—浅絳彩— " " 577

中国・青瓷ものがた
り(1)(2) 森 達也 " 577、578

中国陶磁にみる文様
(最終回)—珠山八
友— 豊増 晏正 " 578

中国・青瓷ものがた
り(3)—西周代 前
期・中期の原始青
瓷— 森 達也 " 579

中国・青瓷ものがた
り(4)—原始青瓷の
問題点— " " 580

唐物煎茶器研究の新
資料—最近発見の沈
没船引揚遺物を中心
に— " " 581

中国・青瓷ものがた
り(5)—原始青瓷の
問題点(2)— " " 583

やきものの繕いの技
—「美の継承展」の作
品から— 長谷川祥子 " 584

二つの舶載陶器—唐
三彩と新羅緑釉— 弓場 紀知 " "

多田山十二号墳出土
の唐三彩・陶枕につ
いて 深澤 敦仁 " "

中国・青瓷ものがた
り(6)—西周時代後
期の原始青瓷— 森 達也 " "

北京・故宮博物院所蔵「元・明・清名陶百選展」をみて	弓場 紀知	"	585	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2	松澤 修	"	"
曜変考	長江 惣吉	"	"	国産紀年銘土器・陶磁器研究 中世信楽焼の紀年銘資料について			
唐三彩と奈良三彩の序章	大村 敬通	兵庫県埋蔵文化偉材研究紀要	1	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2	上西 節雄	"	"
特集 原始のやきもの 中国・日本・タイ黎明期のやきものを探訪する 中国原始瓷器の考察『磁器の誕生—原始瓷器—』展における二、三の問題	上田 秀夫	目の眼	293	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2	中村 貞史	"	"
特集 水滴のたのしみ 甦る文具 中国の水滴 近年発掘された水注具 中国やきものの水滴をめぐって	白木 健二	"	295	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2	大橋 康二	"	"
特集 水指の景色 古染付の水指	荒川 正明	"	296	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2	池田 榮史	"	"
日 本				国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2			
出光美術館(門司)「陶磁の道セミナー」基調講演 ヨーロッパの生活文化の中にある有田の陶磁器	大橋 康二	出光美術館館報	114	国産紀年銘土器・陶磁器研究 東京国立博物館の紀年銘資料から	伊藤 嘉章	"	"
鳴滝・乾山窯址出土の染付磁器—乾山焼の唐様に関する一考察	荒川 正明	出光美術館研究紀要	7	国産紀年銘土器・陶磁器データ集成3	吉岡 康暢	"	"
緑釉陶器にみる古代上野国	神谷 佳明	群馬県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	19	関東地方の施釉陶器の流通と古代の社会(2)	田中 広明	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	16
[共同研究]同位体を用いた産地決定法の研究 同位体・質量分析法を用いた歴史資料の研究2 歴史資料産地決定法への適用 【三彩・緑釉】日本の緑釉・三彩陶器の流れ	齊藤 孝正	国立歴史民俗博物館研究報告	86	滋賀県栗太郡栗東町地山古墳の近世窯跡について	稲垣 正宏	滋賀県文化財保護協会紀要	14
国産紀年銘土器・陶磁器データ集成1		"	89	青灰色のうつわ～榛原郡金谷町横岡字釜谷の灰釉系陶器について～	河合 修	静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	8
国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2		"		八幡南山焼	村上 泰昭	史迹と美術	720
国産紀年銘土器・陶磁器研究 中近世瀬戸・美濃窯の紀年銘資料について	藤澤 良祐	"	"	武野紹鷗とその時代6 珠光名物と紹鷗名物	矢部 良明	淡 交	674
国産紀年銘土器・陶磁器データ集成2		"		【特集】公家と茶の湯 京都御所東方公家屋敷群跡の調査—半地下式の蔵に破壊された陶磁器—	中村 敦	"	676
国産紀年銘土器・陶磁器研究 古丹波の紀年銘について	大槻 伸	"	"	資料紹介 茨城県出土の灰釉陶器短頸壺について	吉澤 悟	筑波大学先史学・考古学研究	12

平成13年定期刊行物所載文献(古/陶)

桃山茶陶の成立と展開	伊藤 嘉章	東京国立博物館紀要	36	陶片は語る(4)鍋島	小笠原長春 大塚 清吾、 森 孝一 聞き手	"	581
三井文庫所蔵 備前焼の茶陶	清水 実	陶 説	575	企画展「煎茶とやきもの—江戸・明治の中国趣味—」調査ノート(4・結) 木米作青磁茶字香合と白川焼	仲野 泰裕	"	"
畠山記念館所蔵の備前焼	水田至摩子	"	"	瞿子治の茗壺をめぐって	中野 晴久	"	"
陶片は語る(3)備前	原田 拾六	"	"	古薩摩焼茶入研究ノート(一)(二)	松村真希子	"	581、584
熊山の形成期陶片の考察	山中 元	"	"	日本陶磁研究史序説(12)—きれいさび以前の遠州—	竹内 順一	"	582
座談会・備前研究の現状と課題	目賀 道明 間壁 忠彦 上西 節雄 伊勢崎 満 原田 拾六	"	"	信楽の茶道具	小田 榮一	"	583
備前焼の歴史と流通(後)	目賀 道明	"	"	中世信楽焼の諸問題	井上喜久男	"	"
根津美術館所蔵「香合—茶席の小さな玉手箱」展より	西田 宏子	"	576	備前市市制施行三十周年記念 日本六古窯サミット21—備前一特別展 日本六古窯名品展より	編集部	"	"
中世焼締陶の様相 愛知県陶磁資料館「つば・かめ・すりばち—珠洲・越前・信楽・丹波・備前—」展から	井上喜久男	"	"	謎の暦茶碗	稲垣 正宏	"	"
近世の茶碗(一四四) 自然斎(湖東焼)	黒田 和哉	"	"	『柴田コレクション展パート4』—十七世紀、有田磁器の真髄—	大橋 康二	"	"
日本陶磁研究史序説(7)—外からの視点—	竹内 順一	"	"	「館蔵 陶磁器の水指と建水—南蛮・唐物・和物—」	清水 実	"	584
備前焼年表(後)	目賀 道明	"	"	松平不昧の数寄—「雲州蔵帳」の名茶器—より	若林真理子	"	"
筑前の磁器『須恵焼』(二)(三)—近世・近代文書、文献資料から論考する—	高山慶太郎	"	576、578	日本陶磁研究史序説(13)—瀬戸茶入論—	竹内 順一	"	"
近世の茶碗(一四五) 尾張国余技作家(二)	黒田 和哉	"	577	古高取宅間・内ヶ磯窯跡について	副島 邦弘 東洋陶磁	30	
日本陶磁研究史序説(8)—明治期の落穂拾い—	竹内 順一	"	"	高取焼白旗山古窯跡の調査	嶋田 光一	"	"
「海揚げり」の陶磁器と「海底出土」の陶磁器—長崎県鷹島海底遺跡の様相—	小川 光彦	"	578	細川菜園場窯と上野焼陶工	永尾 正剛	"	"
近世の茶碗(一四六) 蓮月焼	黒田 和哉	"	"	岸岳古窯跡群の調査—討論集会—「上野・高取」について	陣内 康光	"	"
日本陶磁研究史序説(9)—新しい波—	竹内 順一	"	"	学会彙報 一九九九年の陶磁研究の回顧(東日本)	小野 正敏	"	"
近世の茶碗(一四七) 深海平左衛門	黒田 和哉	"	579	学会彙報 一九九九年の陶磁研究の回顧(西日本)	森 達也	"	"
日本陶磁研究史序説(10)—趣味の陶器—	竹内 順一	"	"	任海宮田遺跡出土の灰釉陶器	内田亜紀子 富山考古学研究	4	
近世の茶碗(一四八) 加藤景次	黒田 和哉	"	580	《資料紹介》出土資料から見た仁清	鈴木 裕子 野村美術館研究紀要	10	
日本陶磁研究史序説(11)—大型全集の登場—	竹内 順一	"	"	桃山美濃陶試論	河野 元昭 美術史論叢	17	
筑前の磁器『須恵焼』年表	高山慶太郎	"	"	TOPICS 鳴滝乾山窯址の発掘Part1—初めての学術調査—	西川 秀敏 美術の窓	218	

TOPICS 鳴滝乾山窯址の発掘Part 2 最古の錦炭窯発掘か!?	"	"	219	平群町 三ツ池遺跡出土の緑釉印花文陶器	村杜 仁史	"	"
特集 名品/巨匠?—日本美術史における規範形成2 中国/インド/日本8 奈良三彩の起源と唐三彩 技術/意匠の系譜について	尾野 善裕	美術フォーラム21	4	高麗美術館 秋期企画展「朝鮮のやきもの」	李 須恵	"	585
広島県内出土の陶硯について	和田 崇志	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	3	陶片は語る(5)朝鮮陶器	小林 東五 森 孝一 聞き手	"	"
正倉院三彩の伝来過程と製作契機	高橋 照彦	仏教芸術	259	朝鮮半島に咲いた多様な陶磁器を見る 高麗、李朝の作例から高麗茶碗まで—静嘉堂コレクションより	編集部	目の眼	299
古九谷 レポート 九谷出土の色絵磁器片	上口 昌徳	目の眼	292	その他			
「伊万里」調査最前線(23) 伊万里にみる水車の意匠	大橋 康二	"	293	ベトナム青花研究ノート—編年資料概観—	矢島 律子	陶 説	577
「伊万里」調査最前線(24)~(27) 植木鉢と盆栽意匠(1)~(4)	"	"	295、297、299、301	近年のベトナム陶磁研究—考古学からの新展開—	西村 昌也	"	"
発掘 幻のお庭焼 幕末紀州藩水野家三楽園焼に託した夢とは	宇佐美哲也	"	302	ベトナム貿易陶磁前史—バンドン、プレバンドン—そして内反り底の陶磁器—	森本 朝子	"	"
「伊万里」調査最前線(28) 花籠の意匠	大橋 康二	"	303	ヴェトナム陳朝期の「天長府製」陶磁器	西野 範子	"	"
鏡山における須恵器窯跡の分布と実態—竜王町鏡山出土資料を中心に—	角 建一	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	8	ミャンマー、シャン州の陶磁(一)(二)—高梨学術奨励基金による助成研究の報告—	津田 武徳	"	577、578
因幡・伯耆における中世前期の貿易陶磁器	八峠 興	立命館大学考古学論集	2	十七・十八世紀のアジア陶磁貿易—バンテンでの貿易を中心に—	坂井 隆	東洋陶磁	30
茶碗の瓶子	梅川 光隆	"	"	土 器			
米 国 人 教 師 W. L. シュワルツの残した薩摩焼の記録	山下 廣幸	黎明館調査研究報告	14	中 国			
清寧軒御庭焼と徳川斉順	寺西 貞弘	和歌山市立博物館研究紀要	15	二里头文化と先商文化の土器様式—予北地区の二里头期を中心に—	秦 小麗	古代文化	506
和歌山城西の丸跡発掘調査(史跡和歌山城第二次調査)について—清寧軒焼(西の丸焼)出土土坑を中心として—	大野左千夫	"	"	中国やきものの紀行1 馬家窯住居跡 彩陶	水上 和則	目の眼	306
出土資料に見る「太田焼」	角谷江津子	"	"	日 本			
朝鮮				大分の弥生・古墳時代土器編年	高橋 徹	大分県立歴史博物館研究紀要	2
研究ノート 大坂出土の李朝陶磁	森 毅	大阪市文化財協会研究紀要	4	河内における弥生時代中期末から古墳時代初頭にかけての土器の型式編年と様式	杉本 厚典	大阪市文化財協会研究紀要	4
静嘉堂文庫美術館 朝鮮陶磁展—青磁・粉青・白磁・高麗茶碗—	長谷川祥子	陶 説	580	深鉢形土器	阿部 恭平	国 華	1272
二つの舶載陶器—唐三彩と新羅緑釉—	弓場 紀知	"	584	国史跡斎宮跡発掘30周年記念特別展「器は語る700年」記念シンポジウム “斎宮の土器・みやこの土器”	川越 俊一 國下多美樹 小森 孝正 齋藤 徹 増淵 雄二	斎宮歴史博物館研究紀要	10

末野窯成立期の系譜と陶器窯一列の比較と土器組成一	坂野 和信	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	16
首飾りをする壺〜勾玉付土器に関する予察〜	岩本 貴	静岡県埋蔵文化財調査研究所研究紀要	8
伊予の弥生時代貝殻施文土器一下関地域との関係を考察する一	梅木 謙一	下関市立考古博物館研究紀要	5
能登川コレクションの恵山式土器について	佐藤 智雄	市立函館博物館研究紀要	11
酒々井町伊篠白幡遺跡から出土した時期不詳の縄文土器について	蜂屋 孝之	千葉県文化財センター研究連絡誌	61
土器製作の道具一黒河中老田遺跡出土資料の紹介一	上田 尚美	富山考古学	4
資料紹介 豊橋市立西郷小学校保管の須恵器について	小林 久彦	豊橋市美術館研究紀要	10
口絵 人面付土器	野澤 誠一	長野県立歴史館研究紀要	7
縄文後・晩期土器型式群の較正暦年代と年代比較	山本 直人	名古屋大学文学部研究論集	140
大官大寺下層土坑の出土土器	西口 壽生 玉田 芳英	奈良文化財研究所紀要	2001年
土器と磚・瓦の話	花谷 浩	" "	" "
《資料紹介》広島県布野村二井殿出土の古式土師器	伊藤 実	広島県立歴史民俗資料館研究紀要	3
宮崎県出土考古資料(5)一国富町六野原出土の弥生土器一	近藤 協	宮崎県総合博物館研究紀要	22
東京都羽ヶ田遺跡出土の線刻をもつ土器について	安藤 広道	MUSE-UM	573
特集 原始のやきもの 縄文・弥生土器を観る 特徴と鑑賞の視点	松浦有一郎	目の眼	293
朝鮮			
近畿地方の三韓系土器	寺井 誠	大阪市文化財協会研究紀要	4
韓国 全羅南道の円筒形土器一いわゆる埴輪型土製品をめぐって一	大竹 宏之	朝鮮学報	181
その他			
パドリ出土ハラッパ一式土器の有角神像	鎌田 博子	古代文化	506

中世文化成立期におけるアスワン土器の変容をめぐって 長谷川 奏 オリエン ト 43—2

瓦

中国

〈研究ノート〉西周屋瓦の諸相 井内 潔 古代文化 513

特集 古瓦探訪 古瓦三様一中国・朝鮮・日本の古瓦一 天野 卓哉 目の眼 297

特集 古瓦探訪 近年出土の秦漢瓦当一中国古瓦の最新事情一 伊藤 滋 " "

日本

研究ノート 難波宮跡出土6241型式蓮華文軒瓦丸について 宮本佐知子 大阪市文化財協会研究紀要 4

大宰府出土瓦に見られる朝鮮半島統一新羅時代文化の影響 栗原 和彦 九州歴史資料館研究論集 26

畿内における青谷式軒瓦の生産と再利用 古閑 正浩 考古学雑誌 86—4

〔共同研究〕古代荘園絵図と在地社会についての史的 研究「額田寺伽藍並条里図」の分析4 考古学・地理学からみた額田部地域 額田寺出土瓦の再検討 上原 真人 国立歴史民俗博物館研究報告 88

白鳳時代における讃岐の造瓦工人の動向一讃岐、但馬、土佐を結んで一 蓮本 和博 香川県埋蔵文化財調査センター研究紀要 9

奈良時代の鬼面文鬼瓦一瓦葺技術からみた平城宮式鬼瓦・南都七大寺式鬼瓦の変遷一 岩戸 晶子 史 林 427

〈資料紹介〉帝塚山大学大学院所蔵の瓦一7世紀の軒瓦丸と8世紀の軒平瓦一 藤田 智子 帝塚山大学大学院人文科学研究紀要 2

下野国分寺跡・南大門出土瓦の分析 大橋 泰夫 栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要 9

尾張の坂田寺式軒瓦をめぐる二・三の問題 梶山 勝 名古屋市博物館研究紀要 24

一資料紹介一福岡県新宮町相島沖採集の「警固」銘平瓦 吉武 学 福岡市博物館研究紀要 11

武蔵府中高安寺の中世瓦 深澤 靖幸 府中市郷土の森紀要 14

鎌倉時代に於ける興福寺の造営と瓦(上)(下) 藪中五百樹 仏教芸術 257、258

三重の古瓦再考—鳳凰寺の新資料— 山田 猛 三重県埋蔵文化財センター研究紀要 10

伊勢国出土の法隆寺式瓦をめぐる一考察 伊藤 久嗣 " " 特集 古瓦探訪 平安京の緑釉瓦—銘入り瓦の系譜— 梶川 敏夫 目の眼 297

南北朝・室町時代に於ける興福寺の造営と瓦 藪中五百樹 立命館大学考古学論集 2

そ の 他

渤海の瓦当文様に関する若干の考察 田村 晃一 青山史学 19

金 工

中 国

遼時代の金銀器についての一考察—「シルクロードの宝物」展出品作品より 八波 浩一 出光美術館研究紀要 7

日 本

一平成十一年度収蔵品修理報告—十、唐組垂飾[法隆寺獻納宝物]絹製 金銅金具装 五味 聖 三の丸尚蔵館年報・紀要 6
阿蘭陀蓮燈籠について—露座立型燭架の調査概要— 浅尾 和年 大日光 71

そ の 他

東南アジア初期金属器時代の銅鐘 川名 広文 比較文化論叢 8

鏡

中 国

論説・報告 画像鏡の系列と製作年代 上野 祥史 考古学雑誌 86—2

資料紹介 新発見の「青龍三年」銘方格規矩四神鏡と魏晉のいわゆる方格規矩鏡 車崎 正彦 " " 徳島における三角縁神獣鏡の新例と中国鏡 橋本 達也 徳島県立博物館研究報告 11

三角縁神獣鏡の細部表現について—鈕座を中心に— 田邊 朋宏 立命館大学考古学論集 2

日 本

オホナモチノカミの鏡 神話と儀礼と 上野 誠 大 美 和 100
〈研究ノート〉伝福岡県二丈町付近出土の仿製三角縁神獣鏡 岩本 崇 古代文化 509

上侍塚出土鏡と下侍塚出土鏡の研究試論 山越 茂 栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要 9

牡丹双鳥鏡考—和鏡における絵画意匠の導入と同一文様の様式的変遷— 原田 一敏 MUSE-UM 570

そ の 他

北・中央アジア出土銅鏡をめぐる若干の問題—カザフスタン共和国トウズサイ遺跡出土例から— 近藤さおり 古代オリエント博物館紀要 22

〈研究ノート〉ロシア極東ウスリー川右岸バクロフカ1遺跡出土の銅鏡 楢本 哲 古代文化 512

青 銅 器

中 国

響銅—中国中世の青銅器— 中野 徹 和泉市久保惣記念美術館久保惣記念文化財団東洋美術研究所紀要 11

麻江型銅鼓の源流と展開 宮川 禎一 学叢(京都国立博物館) 23

開所記念講演(二〇〇〇年度)簠簋の名物学 木島 史雄 人文 48

觚形尊における胴内法量の規格化 廣川 守 泉屋博古館紀要 18

藏品紹介 亜審夫止鼎 今井 晃樹 " "

殷周時代の盤内面に表された世界 難波 純子 辰馬考古資料館考古学研究紀要 4

辰馬考古資料館所蔵の銅鼓 宮川 禎一 " "

此鼎銘文考釈—陝西省岐山縣董家村出土青銅器の研究(三)— 竹内 康浩 東洋文化研究所紀要 141

日 本

《資料紹介》東三河出土の銅鐸2例 加藤 安信 愛知県史研究 5

研究ノート 関東における「小銅鐸」祭祀について 比田井克仁 考古学雑誌 86—2

弥生青銅器の生産と流通—出雲地域出土青銅器を中心として— 松本 岩雄 古代文化 507

弥生時代後期の青銅器鑄造工房—玉津田中遺跡「鑄型」出土住居の再検討—	多賀 茂治	兵庫県埋蔵文化偉材研究紀要	1	下野刀工覚書(その四)—天狗に見込まれた刀鍛冶—	松本 剣童	"	532
弥生時代の青銅器鑄造工房とその復元	神崎 勝	立命館大学考古学論集	2	資料紹介～審査の現場から～延享年紀を有する三代信濃大掾忠国の刀	飯田 俊久	"	"
刀剣・刀装・槍				刀装具の画題(83)瓢箪と髭題目／大曼荼羅 愛染・不動明王種字	富士 繁雄	"	"
日 本				「備前国長田庄国重作 永禄十三年八月吉日」在銘短刀についての研究—備中国重鍛冶・故地探訪編(その一)～(その三)—	中津 勝己	"	532～534
後鳥羽上皇七百年祭に奉納された刀剣について	田邑福太郎	隠岐の文化財	18	刀装具の画題(84)五丈原・韓退之(韓愈)	富士 繁雄	"	533
異形銅鉾について	吉田 広	辰馬考古資料館考古学研究紀要	4	下野刀工覚書(その五)—勤王の刀工・武井信正—	松本 剣童	"	"
須玖岡本出土の館蔵銅矛	矢野 健一	"	"	資料紹介～審査の現場から～大森派四代、秀永の遺作	久保 恭子	"	"
辰馬考古資料館蔵の平形銅剣	吉田 広	"	"	刀装具の画題(85)俊成と忠度・八嶋合戦(屋島)	富士 繁雄	"	534
刀装・刀装具初学教室(79)奈良派について	富士 繁雄	刀剣美術	528	資料紹介～審査の現場から～隅州刀工貞則の短刀	飯田 俊久	"	"
刀装具の画題(79)仁王・朝比奈力競／鳳凰山・仁王		"	"	石上神宮「七支刀」新考	佐藤 幸彦	"	535
資料紹介～審査の現場から～室町期の北陸道刀工	飯田 俊久	"	"	仙台藩刀匠考(七)仙台刀工「倫常」について	佐藤 一典	"	"
刀装具の画題(80)予譲の復讐・維摩居士		"	529	資料紹介～審査の現場から～大森英昌実子、英一の遺作	久保 恭子	"	"
資料紹介～審査の現場から～薩摩金工・桑畑匡義三題	久保 恭子	"	"	刀装具の画題(86)襲割り温公・陶淵明	富士 繁雄	"	"
安芸国輝広の研究—三代銘について(上)(下)—	藤中 浩吉	"	529、530	書下し銘について	横田 孝雄	"	536
刀装・刀装具初学教室(80)～(86)浜野派について	富士 繁雄	"	529～535	刀装具の画題(87)大森彦七・石橋山七騎落ち	富士 繁雄	"	"
刀装具の画題(81)白沢・阿那目		"	530	資料紹介～審査の現場から～中世の九州刀工 筑紫信国・筑紫了戒	飯田 俊久	"	"
資料紹介～審査の現場から～兼芝・光平・肥前宗次・肥前正永	飯田 俊久	"	"	刀装・刀装具初学教室(87)～(90)後藤一乗	富士 繁雄	"	536～539
白川の刀工・福島義宗	丸山 栄一	"	531	『往昔抄』と『元龜元年刀剣目利書』との校合	間宮 光治	"	537
〔史料紹介〕阿波金工・尾崎保周下絵帳『万宝来蔵』他について	武間 達也	"	"	刀装具の画題(88)輪宝・たちばな(橘)	富士 繁雄	"	"
刀装具の画題(82)虎の子渡し・勿来関	富士 繁雄	"	"	資料紹介～審査の現場から～幕府抱え金工 安田方教の鐔と目貫	飯田 俊久	"	"
資料紹介～審査の現場から～大月派の蘊奥表わす、秀国の牡丹	久保 恭子	"	"	高力高長の太刀奉納について	池田 伸子	"	538

資料紹介～審査の現場から～昆寛の真価表す一渦の波	久保 恭子	"	"	糞掃衣を中心とした袈裟の研究	松村 薫子	"	"
刀装具の画題(89)鯉魚・象	福士 繁雄	"	"	天寿国繡帳銘の成立年代について—儀鳳曆による計算結果から—	金沢 英之	国語と国文学	936
後藤光孝の初期銘	萩原 守	"	539	山車飾幕における刺繍表現—半田市祭礼飾幕を中心として—	岡田 宣世	女子美術大学研究紀要	31
資料紹介～審査の現場から～日向の刀工実昌	飯田 俊久	"	"	「秀頼様御祝言御呉服之帳」・「万渡方帳」・「御物之帳」について	高橋あけみ	仙台市博物館調査研究報告	21
刀装具の画題(90)遊行柳(西行法師)・頼朝放生会	福士 繁雄	"	"	江戸時代の木綿紋りについて	野場 喜子	名古屋市博物館研究紀要	24
尾張白鞘について	奥出 賢治	名古屋市博物館研究紀要	24	正倉院の染織品の文様について—文様復元図の作成—	大山 明彦	奈良教育大学紀要	50—1
東海の飾太刀	岩原 剛	立命館大学考古学論集	2	中世源氏学における赤色袍理解について	末松 剛	日本歴史	635
薩摩喜入の刀工中村家—その系図と刀の注文書—	深港 恭子	黎明館調査研究報告	14	直裾の基礎的研究(上)(下)	澤田 和人	仏教芸術	254、257
染織・服飾				正倉院裂の研究	尾形 充彦	"	259
中 国				再考 茶屋染	長崎 巖	MUSE-UM	571
中国における絹織物のはじまりと発展 第1章 中国における絹の源流と発展	工楽 善通	シルクロード学研究	12	特集 境界を越える歴史学 第三の異性装—性の間の服飾史—	丸山 伸彦	歴 博	107
中国における絹織物のはじまりと発展 第2章 吐魯番県阿斯塔那古墓出土の絹織物と正倉院の絹織物	尾形 充彦	"	"	そ の 他			
	ルボ・レスニチェンコ			新連載 オフェル・シャガンのアジア古美術案内 第1回 古いかすりに心ひかれて～東南アジアの布芸術～	オフェル・シャガン	ア ー ト ト ッ プ	180
中国における絹織物のはじまりと発展 第3章 CHINA ON SILK ROAD	松山 薫、大西比佐代 訳 佐藤 昌憲、工楽 善通 監修	"	"	資料紹介 当館蔵(ビップ・ラウ氏旧蔵)イカット・コレクションについて(2)—中央アジア、ウズベクの絨—	福田 浩子	広島県立美術館研究紀要	5
中国における絹織物のはじまりと発展 付2. 中国における絹製品出土地名表(唐代まで)		"	"	漆 工			
中国における絹織物のはじまりと発展 付3. 中国・韓国・日本の絹関係文献目録(古代まで)		"	"	中 国			
徳川美術館収蔵の通辞羽織に関して	吉田 雅子	MUSE-UM	570	巻胎漆器研究の現状—新発見北周田弘墓出土品の紹介と巻胎漆器研究史—	成瀬 正和	仏教芸術	259
日 本				日 本			
愛媛県南予山間地域の裂織	今村 賢司	愛媛県歴史文化博物館研究紀要	6	作品紹介 建仁寺蔵「秋草桐紋蒔絵手拭掛」—高台寺蒔絵様式による作品の比較分類のために—	永島 明子	学 叢(京都国立博物館)	23
室町・桃山時代における男性の小袖型服飾に見る年齢による差異	澤田 和人	鹿島美術研究	18	在伊日本美術工芸品及び在欧在日関連美術工芸品継続調査—非公開、未調査在伊漆工芸収蔵品を中心として—	小山真由美	鹿島美術研究	18

平成13年定期刊行物所載文献(古／漆、石、木)

鎌倉彫と鎌倉物—三条西実隆の意識から—	古川 元也	神奈川県立博物館研究報告	27
称名寺光明院新出黒漆塗厨子について	向坂 卓也	金沢文庫研究	306
黒漆莢紋瓜蒔絵懸盤・椀一性高院所蔵、松平忠吉所用の膳椀類について—	小池 富雄	金鯱叢書美術史学美術史論文集	28
『御用唐木細工物雛形』について—近世後期長崎における工芸史料の紹介—	勝盛 典子	神戸市立博物館研究紀要	17
小川破笠作 柏木菟意匠料紙箱・春日野意匠硯箱	小林 祐子	国 華	1264
朱漆花鳥七宝繫文沈金御供飯	徳川 義宣	" "	" "
中世螺鈿様について—螺鈿細工手箱を中心に—	間中 恵子	女子美術大学研究紀要	31
棗の歴史1 茶の湯草創期の塗物茶器	内田 篤呉	淡 交	677
棗の歴史2 晴と藝の茶道具	"	"	678
棗の歴史3 わび茶道具の成立	"	"	680
棗の歴史4 棗の登場	"	"	681
《研究ノート》座敷飾りにおける蒔絵調度	"	野村美術館研究紀要	10
特集 境界を越える歴史学 海のむこうのニッポン 輸出漆器に映された「ジャパン」貿易品と日本観の形成	日高 薫	歴 博	109

石 工

中 国

中国甘肅省における5世紀前半の仏教美術に関する調査研究—特に北涼石塔の構成原理について—	稲本 泰生	鹿島美術研究	18
--	-------	--------	----

日 本

資料紹介 石田収蔵旧蔵「(仮称)板碑ノート」	小松 寿治	板橋区立郷土資料館紀要	13
本門寺の石経碑その他 石匠窪世祥について	嘉津山 清	大田区立郷土博物館紀要	11
石塔における相模型反花座の成立	斎藤 彦司	鎌 倉	92
埼玉県の中世五輪塔編年案	栗岡眞理子	埼玉県立歴史資料館研究紀要	23
六地藏所刻の四面幢について—川島町正泉寺の遺例—	市川 修	" "	" "

同型板碑の一事例	諸岡 勝	" "	" "
阿育王を刻む宝塔の基礎	近藤 昭一	史迹と美術	711
丹後伊根町の石造美術	篠原 良吉	"	713
丹後竹野郡の石造美術(上)弥栄町	"	"	714
丹後竹野郡の石造美術(中)丹後町	"	"	715
丹後竹野郡の石造美術(下)網野町	"	"	716
宮崎市・長昌寺の板碑とその偈頌	甲斐 常興	"	"
丹後久美浜町の石造美術	篠原 良吉	"	717
神栖町東光院の下総(型)板碑—茨城県鹿島郡—	石井 保満	"	718
青斑石匱合子と仙薬七星散	三宅 久雄	正倉院紀要	23

栃木県南東地域の五輪塔—益子地域の五輪塔を中心として—	上原 康子	栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要	9
-----------------------------	-------	--------------------------	---

近世における西宮市内の石造遺品(鳴尾地区)調査資料	坂田磨耶子	西宮市立郷土資料館研究報告	5
---------------------------	-------	---------------	---

浜松市内における中世の石塔	鳥井 正俊	浜松市博物館報	14
---------------	-------	---------	----

山梨県における中・近世石塔資料	坂本 美夫	山梨県立考古博物館山梨県埋蔵文化財センター研究紀要	17
-----------------	-------	---------------------------	----

中世石造宝塔の性格	小林 義孝	立命館大学考古学論集	2
-----------	-------	------------	---

そ の 他

ケルマン出土の石製容器に描かれた水牛冠神像	堀 暁	古代オリエント博物館紀要	22
-----------------------	-----	--------------	----

木 竹 工

中 国

唐代琵琶雜攷—正倉院の「秦漢」琵琶—	外村 中	鹿園雜集奈良国立博物館研究紀要	2・3合併号
--------------------	------	-----------------	--------

日 本

中世の絵画資料における木製容器の変遷 結物容器の出現と発達を中心として	石村 真一	国立歴史民俗博物館研究報告	90
竹に親しむ 竹が変身する名器への道	池田 瓢翁	淡 交	673

楽器が記憶していた
諸々 ――春日大社
若宮御神宝の笙と和
琴― 木戸 敏郎 比較文化
論叢 7

楽器が記憶していた
諸々 二―鳥羽離宮
跡出土のコト― " " 8

朝鮮

特集・武蔵国の渡来
人 沙良真熊と新羅 加藤かな子 武蔵野 334

ガラス工

中国

日本ガラス工芸学会
第8回研究発表要旨
ガラス製鼻煙壺につ
いて 川松 康人 GLASS 44

日本

資料紹介 切子斜格
子に魚子文黄色ガラ
ス鉢 岡 泰正 GLASS 44

江戸時代における舶
来のガラス製造知識
(2)―『硝子製法集
説』と『厚生新編』を
中心に― 岡本 文一 明星大学
研究紀要 9

その他

特集 西アジアの交
易 9～10世紀にお
けるイスラーム・ガ
ラスの海上交易―刻
線カット装飾ガラス
盤をめぐって― 真道 洋子 西アジア
考古学 2

その他の工芸

日本

資料紹介 桐林人形
について―新知見を
中心に― 桜井 弘人 飯田市美
術博物館
研究紀要 11

レポート 歴史資料
としてのかしらの見
方と桐人形のかしら
について 加納 克己 " "

研究ノート 徳川氏
大坂城期における土
製玩具の三様相 平井 和 大阪市文
化財協会
研究紀要 4

埼玉県内古墳出土の
勾玉について(2) 中山 浩彦 埼玉県立
さきたま
資料館調
査研究報
告 14

東三河の郷土玩具と
工人系譜(抜粋) 中島 三郎 豊橋市美
術博物館
研究紀要 10

研究余録 まゆみの
紙 町田 誠之 日本歴史 632

伏見人形の成立と発
展をめぐる二つの背
景―近世窯業の発展
と精神文化― 木立 雅朗 立命館大
学考古学
論集 2

建築一般

中国

日中伝統建築外観の
イメージに関する研
究 劉 西村 靈芝 日本建築
学会計画
系論文集 541

日本

日本の禅院における
中国的要素の摂取―
十境を中心として 蔡 敦達 日本研究 23

『栄花物語』にみる
「心たくみ」の場所論
的解明 西村 謙司 日本建築
学会計画
系論文集 543

飛鳥の祭祀空間―石
造物・水辺・庭 藤沢 典彦 日本の国
宝 別冊
(週刊朝
日百科) 10

折衷様建築とその社
会的背景 山岸 常人 " 12

折衷様建築の意匠と
技法 " " "

都市・集落

中国

張谷英村の住宅群に
おける巷道と集住に
ついて―中国湖南省
漢族の住居と集住に
関する研究3― 晴永 知之 日本建築
学会計画
系論文集 542

日本

研究ノート 発掘調
査からみた船場町家
の発達史―道修町3
丁目の例 南 秀雄 大阪市文
化財協会
研究紀要 4

首里城下町の都市計
画とその基本理念 高橋 誠一 関西大学
東西学術
研究所紀
要 34

平入指向の町家形成
―近世町家の在来形
式と新興形式 前
編― 大場 修 建築史学 37

学界展望 日本中世
都市史 藤田 裕嗣 " "

小谷城絵図の基礎的
考察―小谷城下町の
復元的研究2― 北村 圭弘 滋賀県立
安土城考
古博物館
紀要 9

飛鳥・藤原宮跡等の
調査概要 藤原京の
調査 左京五条三坊
の調査―第108―6
次 山下信一郎 奈良文化
財研究所
紀要 2001年

飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原京の調査 左京二条二坊の調査—第109次	小池 伸彦	奈良文化財研究所紀要	2001年	朝鮮・その他	《論文・研究報告》—韓国の伝統的集落及び住居の研究—韓国河回村における家屋配置の変遷過程について	酒井田万穂 伊藤真奈美 金潤忠 韓美国 田中清章	東京家政学院生活文化博物館年報	10
飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原京の調査 左京六・七条二坊の調査—第113次	花谷 浩生 西口 壽生	"	"	史跡保存地区における町家のファサードの変化—ヴェトナム・ホイアンの町並み保存に関する研究その2—	内海佐和子 林良彦 友田博通 福川裕一 篠崎正彦 増田千次郎	日本建築学会計画系論文集	542	
京都町奉行所の明和4年12月の触書について—江戸時代の山城国農村部における建築規制(その2)—	丸山 俊明 日向 進	日本建築学会計画系論文集	539	パーディエからの視点—シリア・アレップ南東部、ジャバル・アハス、ジャバル・シュベイス地域の遺跡—	山崎やよい ハミード・ハンマーデ	古代オリエント博物館紀要	22	
幕末期江戸における幕臣屋敷の屋敷地利用と居住形態—近世近代移行期における江戸、東京の都市空間(その1)—	松山 恵	"	545	研究ノート イスラエル国エン・ゲヴ遺跡列柱式建物の規格	置田 雅昭	西アジア考古学	2	
近世期における寺内町の町構造の変容について—和泉国貝塚寺内町を事例として—	岩波 由佳	"	546	宮殿・官衙				
船場・島之内の街区計画について 近世大坂城下町の構成と形成過程に関する研究 その6	松口 輝久	"	"	日本				
旧甲州街道台ヶ原宿の町並と住居形式に関する研究	渡辺 洋子 伊藤 裕久	"	549	難波宮東方官衙の再検討	佐藤 隆	大阪市文化財協会研究紀要	4	
近世初期博多における再編の実態とその歴史的意味—「房州堀」の構築時期・主体の再検証を通して—	木島 孝之	"	550	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 朝堂院の調査—第107次	玉田 芳英 西川 雄大	奈良文化財研究所紀要	2001年	
特集…間 空間感覚をどうとらえるか 町並み保存を例に	西 和夫	日本の美学	33	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 東北官衙北地区の調査—第108—5次	西口 壽生	"	"	
小特集 彦根の町並み 城下町彦根に残る伝統的住居の悉皆調査	土屋 敦夫	人間文化	9	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 西北官衙地区の調査—第108—8次	播摩 尚子	"	"	
「環境の世紀」における東北の伝建地区—旧仙台藩要害・金ヶ崎城内諏訪小路地区—	伊藤 邦明 大沼 正寛	文化財(月刊)	452	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 西方官衙南地区の調査—第108—10次	渡邊 淳子	"	"	
日本古代都城の条坊施工の一側面—幅員が変化する条坊道路の存在—	武田 和哉	立命館大学考古学論集	2	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 藤原宮の調査 東北官衙、東方官衙北地区の調査—第108—11次	小池 伸彦	"	"	
歴史の広場 町並み探訪 門前町	苅谷 勇雅	歴史と地理	542	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 水落遺跡の調査—第108—4次	西口 壽生	"	"	
歴史の広場 町並み探訪 武家屋敷	"	"	545	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 石上遺跡の調査—第110次	深澤 芳樹	"	"	
歴史の広場 町並み探訪 商家町	"	"	547	飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 飛鳥池遺跡の調査—第112次	松村 恵司 西川 雄大	"	"	
町並み調査と町の再生—平戸市(長崎県)の場合	西 和夫	歴史と民俗	17					

平城宮跡等の調査概要 平城宮の調査第一次大極殿地域の調査—第315・316・319・313次	吉川高橋清水次山神野千田渡浅川中島内田蓮沼麻衣子	聡登茂重剛道宏義晴和伸			〈修復トビックス〉重要文化財一乗寺本堂の平面変遷について	酒巻 仁一	建築史学	37
平城宮跡等の調査概要 平城宮の調査東院地域の調査—第323次	井上 和人	" "	" "		〈修復トビックス〉国分寺金堂解体調査現況報告	高品 正行	" "	
平城宮跡等の調査概要 平城宮北方の調査—第314—9次	神野 恵	" "	" "		穴太瓦窯の再検討—穴太庵寺の再建論によせて—	畑中 英二	古代文化	504
平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 左京三条一坊の調査—第314—7次	次山 淳	" "	" "		古代神社遺構の再検討	井上 尚明	埼玉県埋蔵文化財調査事業団研究紀要	16
南北朝時代の土御門東洞院内裏について	藤田 勝也	日本建築学会計画系論文集	540		唐招提寺戒壇に関する一考察	中井 雅人	帝塚山大学大学院人文科学研究科紀要	2
長岡京東院の構造と機能—長岡京「北苑」の造営と東院—	山中 章	日本史研究	461		研究報告 山田寺金堂式平面建物の上部構造と柱配置の意味	村田 健一	奈良文化財研究所紀要	2001年
そ の 他					飛鳥・藤原宮跡等の調査概要 飛鳥地域等の調査 吉備池廃寺の調査—第111次	箱崎 和久 小谷 徳彦	" "	" "
青銅器時代のメソポタミアにおける宮殿の平面構成と機能	高田 学	史 学	70—2		平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 海龍王寺の調査—第314—12次	馬場 基	" "	" "
宗教建築					平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 一乗院の調査—第317・321次	千田 剛道 神野 恵 次山 淳 金田 明大	" "	" "
中 国					平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 大乘院の調査—第318・314—11次	中島 義晴 馬場 基	" "	" "
雷峰塔について	路村上 叡	秉傑 史迹と美術	715		平城宮跡等の調査概要 平城京と寺院の調査 西隆寺の調査—第320・324次	清野 孝之 金田 明彦 渡辺 俊一 越川 直博 豊島 和伸	" "	" "
北京・戒台寺の諸仏塔	松木 民雄	北海道東海大学紀要	13		仏教文化講座 徳川家光公三三〇年忌記念 家光公の堂社造営	菅原 信海	日光山輪王寺	68
日 本					萩藩における寺社建築物に対する建築規制と作事申請手続き上の違反について—萩藩の建築規制に関する研究 その1—	妻木 宣嗣	日本建築学会計画系論文集	541
愛知県史を語る会抄録 津島信仰と津島神社「尾張地方の神社建築について」	杉野 丞	愛知県史研究	5		明和2年における建仁寺法堂再建と境内の開発について	小出 祐子	" "	543
川崎市における近世社寺建築および近代和風建築の調査概報	鈴木 亘	川崎市文化財調査集録	36		阿弥陀堂における両界曼荼羅空間の展開	富島 義幸	" "	544
西園寺四十五尺瀑布瀧と北山七重大塔(上)—金閣寺境内における所在について—	東 洋一	京都市埋蔵文化財研究所研究紀要	7		尾道水道に臨む中世寺院 浄土寺本堂(国宝)・浄土寺多宝塔(国宝)	山岸 常人	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	12
ブルーノ・タウトの伊勢神宮評価とナショナルイズム	東 久仁政	芸術学研究(筑波大学)	5					
建築界の動向と展望 古代出雲大社本殿の柱発見	宮本長二郎	建築雑誌	1477					

折衷様建築の最高傑作 明王院本堂(国宝)	山岸 常人	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	12	研究ノート テル・レボプの宗教遺構—その型式学的意義—	杉本 智俊	オリエン ト	44—1
古代寺院の再興と律衆 讃岐 国分寺本堂(重要文化財)	"	"	"	城 郭			
興福寺中金堂院の造営に関する一考察	大和田岳彦	日本歴史	638	日本			
百済大寺の造営とその性格	三舟 隆之	"	639	中世城館から近世城館へ—湖東地域中央における城館を中心とした大規模な遺跡の動向について—	村井 毅史	滋賀県文化財保護協会紀要	14
仁和寺の伽藍と諸院家(中)	古藤 真平	仁和寺研究	2	資料紹介・研究ノート(3)津山城 今昔5～津山城の入り口 冠木門～	行田 裕美	津山弥生の里	8
新薬師寺本堂の「場」—新しい仏堂の出現に関する試論—	国生 知子	美学芸術学	16	加州金沢城の石垣修築について	北野 博司	東北芸術工科大学紀要	8
興福寺南円堂の性格について—八角円堂の起源をふまえて—	小野 佳代	美術史研究	39	天保度江戸城西丸御殿・弘化度江戸城本丸御殿の障壁画制作における「御絵仕立所」「御仮張置所」の建築的検討	山田由香里	日本建築学会計画系論文集	541
興福院の成立と沿革	松原 智美	風土と文化	2	天保度江戸城西丸御殿・弘化度江戸城本丸御殿における障壁画制作の様相—制作の手順・御用絵師の仕事・建築の把握方法など—	"	"	545
豊後国東泉福寺とその禅宗様仏殿	関口 欣也	仏教芸術	254	山城にして須弥山の下で饗宴 酒船石遺跡	金子 裕之	日本の国宝別冊(週刊朝日百科)	10
〔遺跡紹介〕京都・愛宕山中の遺跡—雲心寺跡の発見—	屋木 英義 丸川 義広 宮原 健吾 高橋 潔	"	259	文化財レポート 宮崎県の中世城館跡	吉本 正典	日本歴史	640
「新治廃寺式」堂塔配置の成立過程とその特質	内藤 亮	法政考古学	27	歴史の焦点 酒船石遺跡と石上山石	西光 慎治	歴史と地理	547
若浦の妹背山多宝塔	菅原 正明	和歌山県立博物館研究紀要	6	朝 鮮			
頼瀧八幡神社の建造物について	山本 新平	"	7	文禄・慶長の役における日本軍の築城観の変遷について—朝鮮邑城の利用から和城築城への過程を中心に—	太田 秀春	朝鮮学報	181
中宮寺の創立について	大橋 一章	早稲田大学大学院文学研究科紀要	46	住宅・館			
法隆学問寺という呼称について	近藤 有宜	"	"	中 国			
そ の 他				中国湖南省新晃県ト ン族民家の火舗屋と 骨組との関係につい て	柳 士田 晴永	日本建築学会計画系論文集	540
アンコール・ワット西参道に用いられた石造技術の特質に関する研究	崔 炳夏 片桐 正夫 重枝 豊 三輪 健 石津 悟 高橋 菜央 香川 正時 片町 正子 大饗 健 一輝	建築雑誌	1474	日本			
紀行・たより 「女の城塞」に行く	平井京之介	民博通信	91	研究ノート 蔵屋敷の配置と移転に関する基礎的考察	豆谷 浩之	大阪市文化財協会研究紀要	4
古代ジャワの寺院伽藍に見る象徴性 ヒンドゥー教寺院の非対称の伽藍構成について	小野 邦彦	建築史学	36	書院造の成り立ち	三浅久美子	華頂博物館学研究	8
非対称の伽藍構成を有するシヴァ教チャンドーの成立過程について	"	日本建築学会計画系論文集	545				
バーミヤーン	樋口 隆康	仏教芸術	257				

天正期宇都宮氏の城・館についての一考察	杉浦 昭博	栃木県文化振興事業団・埋蔵文化財センター研究紀要	9	その他の建造物	日本	阿波の農村舞台における空間転移とその仕掛けに関する研究	川上 光洋 川向 正人	日本建築学会計画系論文集	544
一乗谷朝倉氏遺跡のトイレ遺構	黒崎 直	奈良文化財研究所紀要	2001年			頼淵八幡神社伝来の沃懸地螺鈿金銅装神輿一制作の時期と工人組織をめぐって一	久保 智康	和歌山県立博物館研究紀要	7
寛永7年島津邸御成における御殿の構成と式次第	藤川 昌樹	日本建築学会計画系論文集	539	庭園	中国	特集 風景としての中国 中国人庭園の景観	木津 雅代	アジア遊学	31
中門造民家の17世紀における存在形態について一山形県遊佐町の榊原家住宅解体保存調査を通じた考察一	御船 達雄	"	541			中国園林における廊的空間に関する研究 利用者の意識と行為よりみて	仙田 満 高木 真人 小川 一人	日本建築学会計画系論文集	542
京都市都心部における伝統的木造建築ストックとその特性	橋本 清勇 東樋口 護 宗田 好史	"	542	日本		画家による作庭表現 (常栄寺庭園ほか)	原田千夏子	愛知県立芸術大学紀要	30
紀伊徳川家江戸中屋敷の旧日光田母沢御用邸への移築について	中村 光彦 浅羽 英男 河東 義之 海老原 忠夫 今井 正敏	"	"			研究報告 日本の方池と韓国の方池	高瀬 要一	奈良文化財研究所紀要	2001年
蜘蛛流棟梁横田李左衛門による住宅遺構	白井 裕泰	"	"			苑と池一嶋をめぐる用語から一	金子 裕之	"	"
毛利藩における三田尻の下ノ御茶屋、本陣、町方勘場、船方勘場等の諸施設について一御茶屋、地方勘場との関係を中心に一	岡田 悟	"	548			中国古代の庭園と飛鳥の苑池	"	日本の国宝別冊 (週刊朝日百科)	10
元服会場としての寢殿、対、出居・曹司・侍所一平安期貴族住宅の儀式空間について (1)一	飯淵 康一 永井 康雄 吉田 欽	"	550	墳墓	中国	翻訳 秦始皇帝とその陵墓 秦始皇帝陵園の新発見	劉 占成 高橋 工 訳	大阪市文化財協会研究紀要	4
重要文化財 妻籠宿脇本陣「林家住宅」	遠山 高志	文化財 (月刊)	452			前漢皇帝陵の構造一景帝『陽陵』の発掘から一	焦 南峰 王 保平 中村 潤子 黄 曉芬 訳	古代文化	514
《トビックス》萩藩大坂蔵屋敷の発掘	森下 徹	山口県史研究	9			東アジアにおける複室墓の分布と変遷一三〜六世紀を中心一	江 介也	文化史学	57
忘れられた霊跡一「明恵八所遺跡」に撰定されなかった宮原氏館一	高橋 修	和歌山県立博物館研究紀要	6			交河故城ヤールホト城南区古墳群と墓表・墓誌	岡内 三真	早稲田大学大学院文学研究科紀要	46
その他				日本		東殿塚古墳の船の絵画と黄泉の国	小笠原好彦	大 美 和	100
ベトナム北部・バクニン省及びナムディン省の伝統的民家架構形式に関する研究	チャン・テイク エ・ハー 山田 幸正	日本建築学会計画系論文集	550			箸墓古墳は語る	荻谷 俊介	"	"
茶室				日本		前期前方後円墳と円墳一川崎・横浜市域を例として一	浜田 晋介	川崎市市民ミュージアム紀要	13
素描空間 ダニズム	茶室とモ 武田五一	足立 裕司	建築雑誌	1467					

陪塚出現試論 下原 幸裕 古 事 5

近畿地方の弥生土器
 墳墓 藤井 整 古代文化 505

埼玉県坂戸市中耕第
 21号方形周溝墓の墳
 丘復元試論 杉崎 茂樹 埼玉県埋
 蔵文化財
 調査事業
 団研究紀
 要 16

平成11年度 陵墓関
 係調査報告 陵墓調査室 書陵部紀
 要 52

墳丘断面から見た古
 墳の築造企画 沼澤 豊 千葉県文
 化財セン
 ター研究
 連絡誌 60

資料紹介 つくば市
 土境発見の弥生時代
 土器棺墓 赤坂 亨 筑波大学
 先史学・
 考古学研
 究 12

葉山に前方後円墳出
 現！ 久富 和志 山口蓬春
 記念館研
 究紀要 2

東国展開期横穴墓の
 諸相 池上 悟 立正史学 89

兵庫県加東郡社町所
 在 小丸山1号墳の
 再検討 中村 浩 立命館大
 学考古学
 論集 2

東播磨の後期古墳に
 見られる改造の一例 神崎 恵子 " "

特集 境界を越える
 歴史学 異界1他界
 への回路—壺形の古
 墳のシンボリズム— 車崎 正彦 歴 博 105

朝鮮

倭と栄山江流域—倭
 韓の前方後円墳をめ
 ぐって— 東 潮 朝鮮学報 179

全南地方の栄山江型
 横穴式石室の系譜と
 前方後円墳 柳沢 一男 " "

五～六世紀の栄山江
 流域における古墳の
 性格—羅州新村里九
 号墳・伏岩里三号墳
 を中心に— 金 竹谷 洛中
 俊夫 " "

栄山江流域における
 前方後円墳の意義 朴 淳發 " "

建築部材など

中国

中国「七層連閣陶楼」
 に見る斗拱 佐藤 清宏 史迹と美
 術 715

そ の 他

巻頭特集 アジアの
 宗教美術 信仰から
 生まれた多彩な造形
 イスラムのタイル
 中近東5000年の建築
 装飾史 飯島 章仁 アート
 トップ 182

その他の建築

中 国

中国の曲尺と日本の
 マガリカネ 沖本 弘 竹中大工
 道具館研
 究紀要 13

『工程做法則例』にお
 ける〈混合型〉木割の
 設計技法 正楼・転
 角楼・箭楼について 麓 蔡 和 善
 張 軍
 内 健
 藤 昌 日本建築
 学会論文
 集 541

『工程做法則例』にお
 ける〈面潤・進深型〉
 木割の設計技法(そ
 の2)間楼・倉庫・
 亭・小式について 蔡 麓 軍
 麓 和 善
 平 淹
 野 雄
 張 健
 内 昌 547

日 本

鳶職の丸太仮設の技
 術—山車小屋の例か
 ら— 丸山 穂波 建築雑誌 1474

弥生・古墳時代の建
 築用主要道具につい
 て—木の建築をつく
 る技術と道具の歴史
 に関する調査報告
 その3— 渡邊 晶 竹中大工
 道具館研
 究紀要 13

研究報告 興福寺伽
 藍再興の事始指図—
 興福寺文書第75函18
 号について— 吉川 聡 奈良文化
 財研究所
 紀要 2001年

建築書系道具雛形の
 基本型と発展型—建
 築書系道具雛形の歴
 史的変遷過程— 永田 恵子
 岡本 真理子
 河田 克博
 麓 仙田 満
 内 昌 日本建築
 学会論文
 集 539

江戸幕府普請方の雇
 棟梁の雇入とその意
 義に関する一考察 藤尾 直史 " 543

作所・小作所の性格
 と神宮工の木工職補
 任について—中世伊
 勢神宮の造営組織に
 関する研究 その
 1— 浜島 一成 " "

松江藩における御大
 工の位置付けとその
 推移(松江藩御作事
 方と御大工の作事に
 関する研究 その
 2) 和田 嘉宥 " 544

江戸幕府小普請・普
 請方への棟梁の異動
 に関する一考察 藤尾 直史 " 546

二宮尊徳にみる桜町
 領における住宅およ
 び社会基盤の整備—
 農書にみる建築思潮
 に関する史的研究所
 の2— 波多野 想
 篠野 志郎
 初田 亨 " 549

飛鳥亀形石造物の発
 見と水利用石造物群 相原 嘉之 日本の国
 宝別冊
 (週刊朝
 日百科) 10

朝鮮・その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																										
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

近 現 代			
絵 画			
一 般			
図学教育へのパーソナルコンピュータの利用について—8—視点設定による円筒鏡アナモルフォーズ—	井村 俊一	金沢美術工芸大学 紀要	45
『寓話選』—ある日本生まれの版—(I)ジャン・ド・ラ・フォンテーヌ	高山 晶	慶應義塾大学日吉 紀要フランス文学	32
『寓話選』—ある日本生まれの版—(II)ジャン＝ピエール・クラリス・ド・フロリアン	"	"	33
幾何学的抽象絵画における明度対比「対比による秩序」に関する側抑制に基づく解析	井上 征矢	芸術学研究(筑波大学)	5
技法・材料シンポジウム—支持体を考えるキャンバスと絵具の関係—画布について	歌田 眞介	連ニユース	395
日 本			
前時代的呼称“日本画”改称論	日夏 露彦	aica JAPAN	1
名古屋草土社展覧書	K. M.	A A C	32
未来圏の調律者30、31 秋田蘭画(前、後)	石川 翠	e t c .	31、32
明治から大正期にかけての自然主義の変容—无声会から珊瑚会へ	菊屋 吉生	鹿島美術研究	18
明治・大正期における写生旅行研究	永山多貴子	"	"
欧米に流出した「具体」の絵画作品の調査研究	平井 章一	"	"
《肇国創業絵巻》について—考証とプロバガンダ	長嶋 圭哉	近代画説	10
《肇国創業絵巻》の研究	"	芸 叢	17
大津絵略説	水尾比呂志	国 華	1267
京都における明治初期の洋画の状況	島田 康寛	三の丸尚蔵館年報・紀要	6

雑誌探求(一九三四年)季刊「苑」三冊の検討—百田宗治・西脇順三郎・堀口大学・安西冬衛・春山行夫・竹中郁・丸山薫・三好達治・中原中也・城左門・青柳瑞穂・室生犀星・萩原朔太郎・左川ちか・津村信夫・北川冬彦・伊藤整・三岸好太郎・福沢一郎・藤田嗣治ら—	紅野 敏郎	資料と研究	6
所蔵品余談「日本的」+「油絵」	岡本 正康	潮 流	66
東京美術学校西洋画科油画作品の研究5	歌田 眞介 坂本 眞一郎 佐藤 政満 稲葉 由美 伊藤 神庭	東京芸術大学美術学部紀要	36
新発見の「ええじゃないか」資料—『天降記』	武藤 真	名古屋市博物館研究紀要	24
「まるいかたち」とその背景—昭和前期前衛絵画の側面	河田 明久	美 学	207
平成十二年支部例会研究発表要旨 一九二〇～三〇年代の日本画の基底材について—抄造者 中田鹿次と岩野平三郎を中心に—	赤石 敦子	美 術 史	150
清貧の画家たち—鉄斎・坂本繁二郎・熊谷守一—		美術の窓	210
巻頭特集『一千一秒物語』稲垣足穂評論・美術の中でのタルホ「足穂は二次元の奥へ向う」	岡村多佳夫	"	211
日本の風景はどう描かれてきたか—日本風景画の伝統と変容	飯田 真	"	219
日本美術応援団団長、山下裕二に聞く日本の風景画	山下 裕二	"	"
特集 名品/巨匠?—日本美術史における規範形成 切り貼り近代日本画(前)史 日本画壇の三つの不幸	宮島 新一	美 術 フォーラム21	4
特集 海外から日本の美術を見る。理想主義のリアリズムとの遭遇 日本における西洋美術の摂取	ドリス・クロウツサン 長瀬 真理	"	5
奉納絵馬と近代	猪巻 恵	季刊博物館だより	61
フォアクロアの眼がとらえた北海道開拓風物詩—『北海道札幌開拓絵巻』によせて—	大濱 徹也	MUSE-UM	574

[参考報告]『北海道札幌開拓絵巻』に描かれたアイヌ風俗	佐々木利和	"	"		オーストラリア絵画史の文脈における先住民アート[シンポジウム「アートと民族文化の表象—特別展『越境する民族文化』を中心に」]	田村 加代	国立民族学博物館研究報告別冊	22
資料紹介 厚木市郷土資料館蔵(耕織図)について2—織図二〇図から—		民具マン スリー	405		アルフォンソ10世の『聖母マリア賛歌集』における「巡礼」の諸相(その1)	浅野ひとみ	純心人文研究	7
資料紹介 山岡山泉写雪舟筆山水長巻・山水小巻	綿田 稔	山口県立美術館研究紀要	3		特集 美術と身体表現 絵画にみる身ぶり解釈の有効性もしくは限界 中世末から近世初めまでの世俗描写を中心に	小佐野重利	西洋美術研究	5
中村画室倶楽部関係資料について(一)	千田 敬一	碌山美術館報	21		南洋美術考—「他者」の再生産と「自己」の獲得—	ラワンチャイ クン寿子	デアアルテ	17
小熊捍の滞欧コレクション	佐藤 幸宏	ろびい	66		ファルネジーナ荘壁画《アレクサンドロス大王とロクサネの結婚》—ラファエッロ、ソドマ、そして注文主アゴ스티ーノ・キージー	本間 紀子	哲学会誌	25
幕末の酒づくりを描くふすま絵10点を確認 文京・豪商の蔵町絵師・長谷川雪堤の作品 きょうからふるさと歴史館で公開	堀田 希一	朝 日	4.13		13世紀フィレンツェ派絵画における「投影の影」の表現について	小野 迪孝	東海大学紀要教養学部	31
日本人の足跡 パリに咲いた画才1〜9	生田 誠	産 経	3.4〜9、 11、13、 14		15世紀ネーデルランドのグリザイユについての一考察	荒木 和	東京学芸大学造形芸術学・演劇学	3
ピクチャートレイン美術館		東 京	11.29		財団法人東洋文庫所蔵の歴史画コレクション:18—19世紀の人物像	ウィリアム・ シャンゲ	東洋文庫書報	32
絵画に託す新宿の街の変ぼう 『時の流れ』『心模様』を		東京夕刊	9.4		罪深き男女の図像—「海と大地」から「アダムとエヴァ」へ	尾形希和子	富山市箕牛人記念美術館報	10
海 外					出産盆絵と円形板絵—十五世紀トスカーナにおける「世俗絵画」の様相	喜多村明里	美 学	207
図説 あなたは誰 絵画の虚構	小池 寿子	IS	85		創造主礼賛図としてのジローナの『天地創造の刺繍布』	金沢 百枝	美術史	150
翻訳 Paolo Pino, Dialogo di pittura: 翻訳と註解1	森田 義之 細野 喜代	五浦論叢	8		平成十二年支部例会研究発表要旨 アレーナ礼拝堂壁画に描かれた大理石表現について	渡邊 晋輔	"	"
翻訳 夜の光の絵画	カルロ・デル・ ブルー ヴォ 甲斐 教行 訳・註解	"	"		平成十二年支部例会研究発表要旨 スクロヴェーニ礼拝堂壁画におけるニンプスのストウッコ表現と衣服の金糸縫い取り模様の技法について	宮下 孝晴	"	"
研究ノート エジプト・マルカタ王宮「王の寝室」の天井画	西本 真一	オリエン ト	44—1		第五十四回全国大会研究発表要旨 トリノ時祷書《聖ユリアヌスの渡河》の制作年代について	鮫島 正安	"	151
福音書記者シンボルの東西	瀧口 美香	鹿島美術研究	18					
15世紀マントヴァ宮廷における君主称揚のレトリック(カメラ・ピクタ)の場合—	松下 真記	"	"					
14世紀前半のマケドニア地方における教会堂装飾—聖ニコラオス図像を中心に—	吉松 実花	"	"					
両大戦間のフランスにおけるフォーヴィスム—1920年代後半のフォーヴィスムをめぐる言説—	田中 容子	"	"					
二〇世紀絵画の批判的理解のために	須田 基揮	共立女子大学文学総合文化研究所研究叢書	19					

第五十四回全国大会
研究発表要旨 一五
世紀末フランドルに
おける絵画の大量生
産方式、カルトンの
使用と分業体制—
ケース・スタディ：
刺繍の葉の画家の聖
母子像と風景—

平岡 洋子 美術史 151

第五十四回全国大会
研究発表要旨 恋す
る魔女—バルミジャ
ニーノによる「キル
ケー」素描の図像的
解釈—

足達 薫 " "

第五十四回全国大会
研究発表要旨 二十
世紀初頭におけるロ
シアの象徴主義運動
と神秘主義—(青薔
薇)運動を中心とし
て—

福岡 加容 " "

第五十四回全国大会
研究発表要旨 『サ
ン・パオロの聖書』
扉絵の装飾プログラ
ムについて

鼓 みどり " "

資料紹介 須磨弥吉
郎と中国近代絵画

西上 実 美術
フォーラム21 4

理想か自然か—ハド
ソン・リヴァー派の
ジレンマー

生田 ゆき ひる・う
いんど 71

セネガルのガラス絵
「スウエール」

三島 禎子 民博通信 93

ボンベイ“春画” 発
掘壁画、封印解かれ
公開へ

朝 日 11.19

仏2万8000年前の線
刻画 先史の傑作に
心奪われた20分間

山口 昌子 産 経 8.9

英米のジャポニスム
画家十選1～10

岡部 昌幸 日 経 5.28.29.
31.6.1.
4.5.7.
8.13.14

世界は今 落書き—
転芸術に サンパウ
ロ市 NGO など「犯
行」少年の更生支援

窪田 淳 " 12.9

生活家庭 英国発
私がモデルの絵 働
く女性に肖像画ブー
ム

多賀 幹子 日経夕刊 7.18

漫 画

一 般

特集 境界を越える
歴史学 海のむこう
のニッポン 日本の
マンガ・アニメの海
外進出

白石 さや 歴 博 109

マンガ評判記 日仏
コミック交流再び
注目を浴びた“少女
もの”

細萱 敦 東京夕刊 2.16

『アジアMANGAサ
ミット』組織立ち上
げ 来秋の日本大会
をアピール

" 11.13

日 本

「マンガ—日本 コ
ミックの世界」シン
ポジウム

小林 忠 鹿島美術
研究 18

特集(沖縄)から 一
九七二年前後のオキ
ナワ表象 手塚治
虫・ゴジラ・ウルト
ラマン

本浜 秀彦 ユリイカ 450

文化の窓 プランゲ
文庫のマンガ資料を
めぐって—「占領下
の子ども文化」展の
準備から—

宮本 大人 歴史評論 619

帰ってきたぞ漫画
ヒーロー エネル
ギー枯渇?読者は期
待?

西岡 一正 朝 日 5.30

「ガンダム」の故郷
杉並区ルポ 夢大き
いぞ「アニメの杜」

増田恵美子 東 京 2.6

マンガ評判記 「楠
勝平・つりたくにこ
展」

細萱 敦 東京夕刊 6.22

マンガ評判記 マン
ガ学会創設 欠かせ
ぬデータの共有と体
系化

" " 8.17

マンガ評判記 情報
伝達もの 読者の好
奇心を満たす実利書

" " 10.19

文化往来 手塚アニ
メ「鉄腕アトム」の原
点映画化

日 経 2.7

はやりの考現学 漫
画の続編相次ぐ理由

" 4.21

漫画で時代に挑んだ
男

高島 真 " 5.1

ガンダム、ヤマト、
ガッチャマン…記録
集続々 懐かしのア
ニメ DVDやゲー
ムで広がるファン層

日経夕刊 3.6

マンガの居場所

夏目房之介 毎日夕刊

1.5.2.2、
3.30、
6.1、
8.31、
10.26、
11.30

"

宮本 大人 "

1.12、
3.9.4.6、
5.11、
6.8、
8.10、
9.7.11.2

			1. 19、 3. 16、 4. 13、 8. 17、 9. 14、 10. 12、 12. 14	
"	ヤマダトモ コ	"	2. 23、 3. 23、 4. 20、 5. 25、 6. 22、 7. 13、 8. 24、 9. 21、 11. 16	
"	瓜生 吉則	"		
最近漫画雑誌事情 放っておいても売れ る時代は終わった 「コミックパンチ」成 功が刺激に 制作と 経営、分化の試み	内藤麻里子	"	6. 22	
「日本マンガ学会」創 立 初の学術的研究 の場誕生	"	"	8. 3	
マンガの歩み示す小 冊子2種『日本発マ ンガ・アニメーショ ンのダイナミズム』 東京財団、『劇画バ カたち!!!』松本正 彦作]	(汗)	読売夕刊	4. 23	
海 外				
「漫画都市」プリュッ セル	品田 卓	日経夕刊	9. 7	
マンガの居場所	宮本 大人	毎日夕刊	2. 9、 6. 29、 12. 7	
"	ヤマダトモ コ	"	2. 16	
中国で感じた日本漫 画熱 初の漫画学校 講義に目を輝かせる 生徒たち	矢口 高雄	"	3. 1	
マンガの居場所	夏目房之介	"	3. 2、 7. 27、 8. 3、9. 28	
東京で「アジア in コミック展」 「今」 を映す表現を模索	石田 汗太 佐藤 憲一	読売夕刊	1. 27	
タイのマンガ事情 クールな絵 熱い商 魂 インドのアニメ 制作に進出 国際化 戦略日本の手本	夏目房之介	"	8. 7	
版 画				
一 般				
研究ノート 国立銀 行紙幣の原図をめぐ って(上)	新堀 道生	お札と切 手の博物 館ニュー ス	13	
芸術をめぐる言葉97 写真の原型としての 版画	谷川 渥	美術手帖	800	

日 本

印刷局の引き札 銅・石版画遺聞6	森 登 一 寸 6	
柿下廼舎漫録 月耕 堂・昭和初期の浮世 絵ブーム・伊東忠太 『阿修羅帖』とジョ ネー岡田の機械木版	岩切信一郎	" 8
〈研究ノート〉浮世絵 師と版元	桑山 童奈	神奈川県 立歴史博 物館だより 156
装幀異聞記3 版画 家の仕事 印刷との 親和にたつ堅固で密 度のあるイメージ	白田 捷治	デザインの 現場 114
現代版画の舞台裏4 シルクスクリーンの 栄光 「複製技術」は オリジナルとなりう るか?	松山 龍雄	版画芸術 112
版画再考 「Press」 の試み 「版画」とは 何か—Pressの活 動 の意義—	渋谷 和良 林 孝彦 山口 啓介 秋成 田	" "
[墨田区調査研究報 告]明治期浮世絵関 連新聞(1)—北斎記 事—		北斎研究 30
木口木版のいろいろ 補遺	青木 茂	町田市立 国際版画 美術館紀 要 5
到達と後退	井上 芳子	和歌山県 立近代美 術館 ニュース 27
ふたつの版画工房 若手を支える熱意と 心意気	小林 敬生	毎日夕刊 4. 5
太盛堂・宇敷則明覚 書き 銅・石版画遺 聞8	森 登 一 寸 8	
海 外		
ジョヴァンニ・バッ ティスタ・ピラネー ジ作『ローマの景観』	新田 建史	静岡県立 美術館紀 要 16
東洋文庫所蔵西洋版 画 類 目 録—人 物 の 部—	辺見由起子	東洋文庫 書報 32
クールボワン『図説 フランス版画史』	寺田 光孝	図書館情 報大学附 属図書館 報 17—1
レオポル・ドゥーブ ルと複製版画蔵品印 のシンボリズム—19 世紀バリの美術品蒐 集をめぐって	陳岡めぐみ	日仏美術 学会会報 20

西洋版画コレクション事始11「版画」の成立条件—技法・サイン・エディションの起源 佐川美智子 イン・岡部タビユー・構成 版画芸術 112

西洋版画コレクション事始12 最終回実践! 版画購入随聞記—あるコレクターの一日 気谷誠 岡部イン・タビユー・構成 " 113

海外レポート ニューヨーク・ブルックリン美術館「Digital:Printmaking Now」を中心に 安田 洋平 " 114

写真・映像

一般

異分野訪問 都市を見ること 緒方 恵一 建築雑誌 1476

特集 いつ、どこでアートなの? 現代日本写真家の映し出したパートナーシップ 富澤 治子 蒼 創 1

視線との会話 第1回「存在と不在の間にあるもの」 高橋 周平 多摩美術大学研究紀要 15

芸術をめぐる言葉97 写真の原型としての版画 谷川 渥 美術手帖 800

特集 映画とビデオ・アートの最前線 最新! ビデオ・アートの現在進行形 市原研太郎 " 803

特集 映画とビデオ・アートの最前線 いま、なぜ映像か? 映画と現代美術の幸福な交差点を求めて 野々村文宏 " "

特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 ニュートラルな恐怖/怪物化のはじまり 映画をめぐる 黒沢 清 武蔵野美術 斎藤 環 119

残されたカメラの中の「WTC崩壊」写真の「新たな知覚」予感 伊藤 俊治 朝日夕刊 12. 4

日本

双子の美術史2 写真のヒロシマ 土田ヒロミ IS 86

甦る明治の日本風景『大日本全国名所一覧』の発刊に寄せて 石黒 敬章 学 鏡 98—2

写真とことば 飯沢耕太郎 " 98—9

特集 写真史研究の現在 特集にあたって 増田 玲 現代の眼 528

特集 写真史研究の現在 日本の写真150年目の海外展 竹葉 丈 " "

観光・写真・ピクチャレスク—横浜写真における自然景観表象をめぐる一 佐藤 守弘 美学芸術学 16

映像による占領—戦後日本における写真と暴力— 今福 龍太 比較文化論叢 7

写された福井藩士2 西村 英之 福井市立郷土歴史博物館研究紀要 9

《二〇世紀の文学》〈視覚〉の変容と文学—映画・衛生学と谷崎潤一郎「人面痘」— 西山 康一 文学(隔月刊) 2—2

写真集「日本美人帖」時事新報社/1908年(明治41年) マキエ 21

特集(沖縄)から消えゆく島々 島尾 伸三 ユリイカ 450

特集(沖縄)から南風の光と言葉 比嘉 豊光 イヴュー " "

親密に、自然体で「私」を撮る 木村伊兵衛写真賞 人気の若手女性3人が受賞 朝 日 3. 4

自由に表現 写真界刺激 活気づく「自主ギャラリー」 西岡 一正 " 6. 19

アニメ劇のルーツ? 江戸庶民楽しんだ幻灯機の「写し絵」 東京夕刊 2. 3

熊野の変遷“定点撮影” 100年前の曾祖父と同じアングルで「百景」収める 久保 広晃 日 経 2. 26

新地域産業 杉並アニメ文化継承へ団結 田中 紹夫 " 11. 5

ありのままの風景写真 人のいない東京に焦点 日経夕刊 1. 16

美の標本室 写真の「カラオケ化」 布施 英利 毎日夕刊 4. 6

美の標本室 現代の神隠しの装置 " " 10. 5

フォトシティさがみはら2001 文化育成と国際交流の場へ 江成 常夫 " 11. 13

江戸博蔵めぐり 旧江戸城写真ガラス原板 横山松三郎撮影 原 史彦 読 売 5. 11

写真資料積極公開を「時代」解く情報の宝庫 木下 直之 読売夕刊 2. 1

手帳 女性写真家個々に評価を 木村伊兵衛写真賞 (前) 読売夕刊 5. 8

海外

映画の「フレーム」— ヒッチコック『めまい』 を中心に—	碓井みちこ	京都大学 文学部美術学 美術史学研究室 研究紀要	22
特集 オブ・アートの 快感 現代美術の なかの明滅映画	西村 智弘	美術手帖	808
季評〔映像・映画〕 純粋な瞬間をめぐつ て モフセン・マフ マルバフ監督『パン と植木鉢』より	高間麻衣子	武蔵野美術	119

彫刻・空間表現

一般

キネティックアートの 視覚性についての 研究—そのフォルム と動き—	田村 一博 浅野 隆	金沢美術 工芸大学 紀要	45
トリノの野外彫刻展 と国際シンポジウム	三田 晴夫	美術手帖	800
彫刻になった動物十 選 1~10	深井 隆	日 経	4, 18~ 20, 23, 24, 26, 27, 30, 5, 2, 3
造形と景観 転換期 告げる野外彫刻	三田 晴夫	毎日夕刊	7. 16

日 本

おい龍馬、あんた はだれ	木下 直之	IS	85
保田龍門作《吉田松 陰形像》調査報告2 セメント彫刻の戦 前・戦中・戦後	田中 修二	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	2
大熊氏廣作《有栖川 宮熾仁親王像》調査 報告3 彫刻の管理 と所有に関する一考 察	佐藤 和利	"	"
大熊氏廣作《有栖川 宮熾仁親王像》調査 報告6 明治23年か ら明治37年にかけて の美術鑄造事情	高橋 裕二	"	"
大熊氏廣作《有栖川 宮熾仁親王像》調査 報告7 近代日本に おける「銅像」の空間 の創出—《大村益次 郎像》と《有栖川宮熾 仁親王像》を中心 に—	田中 修二	"	"
平成10年度特定研究 都市の成熟と芸術の 役割—歴史的建造物 と芸術の共振 No. 3	前川 義春 大井 健地 大鰐 達夫 澤田 敏光 伊東 憲治 松本 裕子 難波	広島市立 芸術大学 学芸部紀要	6

平成13年定期刊行物所載文献(近／写・映・彫・空)

都市の成熟と芸術の 役割 報告と所感	松本 憲治	"	"
都市の成熟と芸術の 役割 国際的で個性 的な都市の魅力と威 信	大井 健地	"	"
足尾鉾毒直訴100年 …佐野で銅像論争		東京夕刊	11. 6
百尺観音に息吹3代 続く 祖父の夢から 70年、今なお制作の 途上	荒 嘉道	日 経	7. 23
暮らしの叙景 メモ リアル新事情2		日経夕刊	11. 16
街角のン? 1 新宿 アイランドタワーオ ブ ジェ「LOVE」[ロ バート・インディア ナ]	小林 健	読 売	5. 1
街角のン? 2 東京 国際展示場彫刻 「Saw, Sawing(切っ ている 鋸)」[クレ ス・オルデンバー グ]	安田 武晴	"	5. 2
街角のン? 3 三鷹 駅北口「世界連邦平 和像」[北村西望]	坂口 忠義	"	5. 3
街角のン? 4 渋谷 道玄坂「時の化石」 [大木達美]	松本 勲	"	5. 4
街角のン? 5 JR 錦糸町駅北口 「ECHO」[ロー レン・マドソン]	初貝 佳邦	"	5. 5
街角のン? 6 銀座 4丁目天 貴堂 「キュービッド」[山 田朝彦]	黒岩 宏行	"	5. 6
海 外			
オフ・ミュージアム の研究—ハノーバー 万国博に関連して開 かれた野外彫刻展 「BaLANCE2000」の 場合—	松田 弘	鹿島美術 研究	18
談話室 天と地を結 ぶ母神「エフェソス のアルテミス像」	小池 寿子	国学院雑 誌	1128
バルテノン・フリー ズ戦車隊・騎馬隊行 列図における「特異 な重切表現」	水田 徹	東京学芸 大学造形 芸術学・ 演劇学	3
バルテノンフリーズ の人物の衣装につ いての考察—騎士の 衣装をめぐつて—	篠塚千恵子	東北芸術 工科大学 紀要	8
ヴェズレーのラ・マ ドレーヌ修道院聖堂 ナルテックスの扉口 彫刻—中央大扉口の 図像プログラムと 『使徒行伝』—	中西 麻澄	美術史	151

見る知る東南アジアの美術品3 ナーガ、カンボジアの仏教の発展に寄与した水の神	オフェル・シャガン	目の眼	292	特集 現代陶芸の現在地 表現としての陶芸をめぐって	外館 和子	現代の眼	529
韓国・金海市にできた彫刻公園	上田 雄三	読売夕刊	8. 10	特集 現代の布一染と織の造形思考 思考と手のはざま	川井 由夏	"	530
工 芸				特集 現代の布一染と織の造形思考 「布」あるいはテキスタイルアートに関する報告	川嶋 啓子	"	"
一 般				特集 現代の布一染と織の造形思考 プリミティブ・エージ	新井 淳一	"	"
アメリカのエステティック・ムーブメントにおける日本の美術工芸品の受容	中島 朋子	近代画説	10	特集 現代の布一染と織の造形思考 布という境界	中谷 至宏	"	"
特集 現代陶芸の現在地 現代陶芸の理論—西洋世界と日本	金子 賢治	現代の眼	529	誌上ギャラリー・トーク1 明治の工芸 まるで絵のような...	伊藤 嘉章 小林 章牧 構成	国立博物館ニュース	648
特集 現代陶芸の現在地 座談会—現代陶芸の課題	深見 陶治、 不動 美里、 松本 ヒデオ 対談 金子 賢治 司会	"	"	ボンボニエール再考	五味 聖	三の丸尚蔵館年報・紀要	6
現代の陶芸—ドイツと日本	ハインツ・シュピールマン ガビエル・デヴァルト 唐澤 昌宏 金子 賢治 木田 拓也	陶 説	582	小さな根付に大きな人の輪 キンゼイコレクション現代根付展	小林 忠	千葉市美術館 ニュース C'n	18
特集 海外から日本の美術を見る。英国ヴィクトリア時代の日本陶磁器蒐集 A. W. フランクス、蜷川式胤と大英博物館	ニコル・ルマニエ 有地 芽理 訳	美術フォーラム21	5	「キンゼイコレクション現代根付」展について	松尾 知子	"	"
日 本				昭和の桃山復興2	木田 拓也	陶 説	574
第33回研究会報告 明治のアヴァンギャルド 塩田力蔵について	足立 元	アート・ドキュメンテーション通信	48	備前の魅力は土の魅力	黒田 草臣	"	575
匠のかたち 芭蕉布		A X I S	92	現代陶芸論叙説—近代工芸の歴史の中で—7〜13	金子 賢治	"	576〜580、582、585
漆掻き一代—砂森栄三男の記録—	工藤 紘一	岩手県立博物館研究報告	18	我が近代漆工史序説	灰野 昭郎	文化財学報	19
在伊日本美術工芸品及び在欧在日関連美術工芸品継続調査—非公開、未調査伊漆工芸収蔵品を中心として—	小山真由美	鹿島美術研究	18	『風俗画報』に見る明治の髪飾り 新珊瑚と護膜櫛		マキエ	21
明治中期の海外博覧会と日本—焼き物(陶磁器及び七宝焼)産業を中心に—	松田 千晴	岐阜県博物館調査研究報告	22	戦後・染織工芸の示すもの	藤本 恵子	視 る	396
工芸の意味の変遷 No. 3	飯岡 正麻	九州産業大学芸術学部研究報告	32	戦後の陶芸の幕開け、京都—さまざまな分野の交差点	三浦 弘子	"	"
特集 骨董の眼利きがえらぶ現代のうつわ		芸術新潮	616	取材記録より三題—「民芸と民具」展ファイルから	宮下 知良	民具マンスリー	395
				仙台筆筒と金具職人の技術	佐藤 雅也	"	403
				特集 明治が生んだジャパニーズアート 近代日本が目指した美術工芸 明治の工芸とは何か	金子 賢治 北澤 憲昭	目の眼	301
				野洲のやきもの「小富士焼」	行俊 勉	野洲町立歴史民俗資料館研究紀要	8

米国人教師W. L. シュワルツの残した薩摩焼の記録	山下 廣幸	黎明館調査研究報告	14	
県指定有形文化財「玩具コレクション」のこけし	菊野 智美	" "	" "	
井波彫刻の下絵残そう 富山 協同組合が保存運動		産 経	1. 10	
未来を開け ティーンズ・グラフィティー5 江戸風鈴職人四代目・篠原久奈さん	石井 敬 東 京		1. 9	
TOKYO発 江戸小紋巴里へ	小国 智宏	" "	3. 29	
TOKYO発 江戸風流手ぬぐい合わせ	井上 圭子 志賀 俊郎 構成	" "	6. 29	
東京がわかるTOKYO発 紀伊徳川家老屋敷に窯	小国 智宏 越守丈太郎 構成	" "	7. 16	
幻の「竹本焼」大量に寄贈 故中島氏の遺族、豊島区立郷土資料館に		" "	9. 5	
ものづくりの地政学 5 常滑の陶磁器 上	赤池 学	東京夕刊	1. 11	
ものづくりの地政学 15 岐阜の刃物 上	"	"	1. 23	
ものづくりの地政学 第2部 生物を活かす24 生きている家具・下	"	"	3. 26	
陶芸の未来を考える	外館 和子	"	6. 7	
専門誌の目 炎芸術老舗が伝える陶芸界の大変動		日 経	5. 12	
文化 有田焼バリっ子魅了 万博で「金牌」受賞 から1世紀、当時の作品復元	深川 一太	"	5. 29	
だるまが語る瓦の味わい	藤原 学	"	8. 16	
超大作和紙で千年の輝き 平山画伯の「大唐西域壁画」に越前産特大紙	岩野平三郎	"	8. 23	
文化 日本刀、炎熱と汗の伝承 東京芸術大学で作刀を講義・実演	河内 國平	"	10. 22	
出かけてみよう 心とむ組み木絵の愉楽 東京・日の出町		"	11. 17	
我が家の工房に電気窯 陶芸の醍醐味は焼き上がる瞬間		日経夕刊	1. 31	
江戸のたくみ 西本願寺御影堂の鉄くぎ	菊地正太郎	"	3. 28	
香川・丸亀 涼風求め、うちわの里へ		"	6. 6	

茨城・結城 紬織りに挑戦 糸の美 縦に横に鮮やか (聖) 日 経 1. 10

海 外

古代エジプト王銘付ガラス容器の分析と解釈—ローマ時代のガラスとの比較を通して—	山花 京子	オリエン ト	44—1	
インドネシア・スマトラ島のビダについて	都筑 悦子	鹿島美術 研究	18	
調査報告 韓国の古式藍建て法	城崎 英明	金沢美術 工芸大学 紀要	45	
ドイツの陶芸家を訪ねて 2、3	木田 拓也	陶 説	574、576	
館蔵品紹介 人物文様綴織裂	久保木彰一	遠山記念 館だより	21	
学芸員ノート イン ドネシアの染織におけるパトラの影響について—館蔵品を事例として—	新井 久代	" "	" "	
世界陶磁器エキスポ 2001大韓民国 各国の国宝級勢揃い	大野 敏明	産 経	9. 9	
京都・祇園祭 ベルギー製タペストリーの旅	渡部 裕明	産経夕刊	7. 14	
オーストラリア陶芸の今	佐藤 巧	毎日夕刊	7. 31	
空前の陶磁器の祭典「世界陶磁器エキスポ2001大韓民国」あす開幕		読売夕刊	8. 9	

デザイン

一 般

コンスタンチン・グルチッチ 石井 裕 ハンス=ウルリッヒ・オプリストリー・エデルコート 押井 守 ロルフ・フェールバウム 宮本 茂 ミヒヤマン ジェームズ・タレル	特 集 OPINIONS 2001	A X I S	89	
特 集 Design on Learning—「学び」のデザイン考		"	90	
特集 IN THE FACTORY—ものづくりの現場を訪ねる		"	91	

平成13年定期刊行物所載文献(近/デ)

デザインの言葉 デザインボキャブラリーの再定義	川崎 和男	A X I S	93, 94	第五十四回全国大会研究発表要旨 二〇世紀初頭フランスのポスターをめぐる広告業と現代芸術家連盟(Union des artistes modernes)	吉田 紀子	美術史	151
屋外広告物と都市景観	服部 光彦	金沢美術工芸大学	45	特集 海外から日本の美術を見る。日本における商業デザイン史とその研究	ジエニ ファ・ワ イルゼン ルド 五十殿 ひろ美 訳	美術 フォー ム21	5
エコロジーとデザイン	池上 俊郎	京都市立芸術大学美術学部研究紀要	45	上野駅駅舎の内装改築で協力要請へ 芸大のセンス拝借します		産 経	2.10
アナログ系大学の選択—「浜松ITデザインコミュニティ—」の形成に向けて	大倉富美雄	静岡文化芸術大学研究紀要	1	ものづくりの地政学 6、8～11、13、14、25～31、63、64	赤池 学	東京夕刊	1.12、15～18、20、22、2.3、5～10、4.4、5
生活造形と生産造形についての一考察	野中 壽晴	"	"	広告の風景 日経広告賞から		日 経	1.1
観光に対するデザインアプローチ	井坂 正人	"	"	次代の文化を論議 日本文化デザイン会議・沖縄	高橋 豊	毎日夕刊	11.29
浜松駅周辺における公共的トイレのユニバーサルデザインの観点からの実態評価	黒田 宏治 迫田 幸雄	"	"	江戸博蔵めぐり 現代商業美術全集 1928—30年アルス発行		読 売	11.9
避難場所のシンボルの調査とデザイン	西川 潔	筑波大学芸術研究報告	37	デザイン季評 見開きディスプレイ型の読書端末 開く、持つ…形態が自然	生井 英考	読売夕刊	8.30
モダン・デザイン史再訪48～53 シチュアショニスト	海野 弘	デザインの現場	114～119	海 外			
特集 イームズ、フラ、ノグチ モダン・プリミティブの時代 ノグチ、イームズ、フラ、そして剣持	新見 隆	美術手帖	809	19世紀末から20世紀初頭のドイツ陶磁器産業の発展と磁器デザイン—デザイン史を軸として—	長井 千春	愛知県立芸術大学紀要	30
特集 イームズ、フラ、ノグチ 21世紀型コラボレーションのタマゴはミッドセンチュリーにあり	北川 卓 studio km	"	"	特集 中国設計之未来		A X I S	94
特集 イームズ、フラ、ノグチ アメリカニズムが取り込んだ(エキゾティカ)という別世界	長澤 均	"	"	モダニズム再発見の旅 番外編	鈴木 紀慶	デザインの現場	115、118、119
日 本				特集 イームズ、フラ、ノグチ モダン・デザインのカリフォルニア・シフト	海野 弘	美術手帖	809
特集 プロトタイプ・ニッポン2001前編、後編		A X I S	92, 93	特集 イームズ、フラ、ノグチ 時代を超えるモダニズム	明石 三世	"	"
特集 アートディレクターがつくるキャラクターデザイン	真壁 佳織	デザインの現場	114	特集 イームズ、フラ、ノグチ 未来への道を走ったドリーム・カー	長澤 均	"	"
第7回富山プロダクトデザインコンペティション2000「Design Wave 2000 in Toyama」デザイナーと企業の未来を見据える	紫牟田伸子	"	"	自由の多彩に 朝日広告賞50回記念「トマト」ワークショップ&セミナー	大西 若人 西岡 一正	朝 日	11.19
装幀異聞記3、5～8	白田 捷治	"	114、116～119	美の標本室 なぜ「自然」を選択するのか「アー・ルー・ヌーヴォー」	布施 英利	毎日夕刊	7.6
商業空間を飾る壁画装飾の魅力「A&M」	中島 優子	"	116				

建 築 史

日 本

できそこなった日本 5 大東亜のデザイン1	橋爪 紳也	IS	85
建築の東京を観る Vol. 6 東京の門	米山 勇	江戸東京 たてもの 園だより	17
美大キャンパス修景 計画	鰐 隆弘	金沢美術 工芸大学 紀要	45
建築空間のフィット ネス—美大図書館棟 増改築を例として—	坂本 英之	"	"
川崎市における近世 社寺建築および近代 和風建築の調査概報	鈴木 亘	川崎市文 化財調査 集録	36
旧池上邸の建築調査 報告	吉田 鋼市	"	"
素描空間 東京駅 幻のスケッチ	藤森 照信	建築雑誌	1465
素描空間 東京美術 学校卒業の建築家で 新伝統建築 吉田五 十八	野村加根夫	"	1469
デザインレビュー 建築デザイン 大き な結実と新たな展開 の予兆	小林 克弘	"	1477
デザインレビュー 構造デザイン 「構 造改革」	彦根 茂	"	"
デザインレビュー 環境デザイン 「そ の」向こうに見える もの	佐々木 葉	"	"
表現の拡張 現代美 術 コミュニケー ション能力が強みに	磯 達雄	"	1480
表現の拡張(インタ ビュー) 不満のエ ネルギーをデザイン に、デザインをビジ ネスに	若林 広幸 今川 朱美 聞き手	"	"
表現の拡張(インタ ビュー) 建築—空 間—陶芸	清水六兵衛 今川 朱美 聞き手	"	"
戦後建築史家の軌跡 (第二回)山口 廣	戦後建築史 学研究小委 員会	建築史学	36
日本における東洋建 築史の教育の歴史と 現状	徐 蘇斌	東京造形 大学研究 報	2
ドイツ田園都市の研 究 その2『田園都 市マルガ』にみる田 園都市思想の実態と 本質	長谷川 章	"	"

昭和初期における森
町市街地の商家建築
と町並の特性につい
て 北海道・茅部地
方、森町における民
家に関する研究

佐藤 修 日本建築
学会計画
系論文集 539

「サンパウロ日本館」
における「堀口捨己」
の意味 建築家・大
江宏の言説に関する
方法論的研究

崔 康勲 " "

広島通信診療所の建
築について

李石丸 明紀興 " 540

北海道帝国大学の営
繕組織の沿革と建築
技術者について

池上 重康
越野 武幸博 " 541

構成社書房の建築出
版活動の概要とその
史的意義について

川嶋 勝真己
矢代 三雄 " "

「神社建坪制限」制定
の背景について—明
治初期における官費
営繕の諸相—

青木 祐介 " 548

「神社古制保存」の制
定にいたる経緯とそ
の意義について

" " 550

第五十四回全国大会
研究発表要旨 近代
数寄屋の形成過程に
関する一考察—仰木
魯堂と近代数寄者た
ち—

岡山 里香 美術史 151

より透明に一境界性
を否定した近代建
築—

山森 芳郎 文学芸術 25

鶴岡公園(鶴ヶ岡城
趾)周辺の歴史的建
造物と風間旧宅丙申
堂について

風間 眞一 文化財
(月刊) 448

ニシン漁家郷里の豪
邸 青山家の建築

御船 達雄 " "

東京国立博物館本館
の建築史的重要性

藤岡 洋保 " 452

天城山隧道とその土
木史的意義

小野田 滋 " "

明治期における陸軍
省営繕組織の変遷と
特質

中森 勉 " "

特集 近代和風建築
近代和風建築とは

初田 亨 " 457

特集 近代和風建築
和風大邸宅に見る近
代の諸相

大川 三雄 " "

特集 近代和風建築
近代和風建築の魅力
—遠山邸を建てた人
びと—

関 美穂子 " "

特集 近代和風建築
各地における保存の
実践 旧高取住宅の
保存と活用(佐賀県
唐津市)—再生への
階—

田島 龍太 " "

平成13年定期刊行物所載文献(近/建)

特集 近代和風建築 各地における保存の 実践 旧伊藤別邸と 旧田中別邸(山口県 萩市)	中村 達也	文化財 (月刊)	457						1. 12、19、 26、2. 2、 3. 9、16、 23、30、 4. 6、13、 20. 5. 11、 18、6. 8、 15、29
幕末維新期横須賀製 鉄所首長ヴェルニー の官舎建築について —その資料と建築技 術—	安池 尋幸	横須賀市 博物館研 究報告	45						
旧横須賀製鉄所3ト ンスチームハンマに 係る調査報告(第1 報)	堤 一郎	"	"						
講座・生活文化史 Vol. 97 近代建築史 の時代区分	志村 直愛	歴史と地 理	542						
大観・観山合作《明 暗》および早稲田大 学旧図書館建築基礎 資料集	丹尾 安典 志邨 匠子 編	早稲田大 学会津八 一記念博 物館研究 紀要	2						
法隆寺心柱 飛鳥寺 から転用 聖徳太子 鎮めた 梅原猛さん 推論		朝 日	2. 21						
土着の素材用いて抽 象美 ポストモダン 世代のモダニズム志 向	松葉 一清	朝日夕刊	7. 10						
2・26事件ゆかりの 旧陸軍兵舎 近く取 り壊し 東大生産技 術研[東京大学生産 技術研究所]		産 経	5. 23						
江戸時代の文化サロ ン 箱根「東光庵」 120年ぶり再建		"	10. 29						
被災の歴史的建物 「神戸の顔」いつ復 活? 折れど進まぬ 教会再建	佐々木理臣	東 京	1. 17						
重文『西本願寺御影 堂』の鉄くぎ 刀剣 並みに良質		東京夕刊	4. 10						
「地球環境・建築憲 章」推進力に持続可 能な循環型社会目指 す 建築5団体が憲 章制定	岡田 恒男 平島 治 村尾 成文 平島 寛 司会	日 経	1. 4						
建築は考える	飯島 洋一	"	1. 7、14、 21、28、 2. 4、11、 18、25、 3. 4、11、 18、25、 4. 1、8、 15、22、 29、5. 6、 13、27、 6. 3、10、 17、24、 7. 1、8、 15、22						
あすへの話題	隈 研吾	日経夕刊							
鉄とガラス建築 都 市で面目一新	松岡 弘城	日 経	2. 3						
江戸大工の技ひもと く 神社建築の手引 書を現代語に改め図 面化	富樫 新三	"	5. 11						
欧米建築家トー キョー競演	松岡 弘城	"	10. 13						
新狭小住宅 若手建 築家が競作		日経夕刊	7. 5						
住まい考 下 非日 常がおしゃれ 賃 貸、デザイン勝負		"	11. 18						
関東大震災被災状況 写したガラス乾板 123枚 東大、デジ タル画像化し公開へ		毎日夕刊	4. 10						
高知から吹く地域復 権の風 ドラマ ティックで斬新な建 築群	新見 隆	"	5. 31						
お寺にステンドグラ ス 奈良・新薬師寺 が計画		"	11. 24						
建築季評 30代の作 家たち 既存の方法 論に頼らぬ「正直さ」	中川 理	読売夕刊	3. 19						
検証 年輪年代測定 法 法隆寺五重塔の 心柱「594年に伐採」 で論争	片岡 正人	"	3. 21						
建築 石山修武「世 田谷村」	飯島 洋一	"	11. 5						
建築季評 モダニズ ム人気復活	中川 理	"	12. 13						
建築 ガラスに浮か ぶ都市の虚実	飯島 洋一	"	12. 17						
特集 近代和風建築 トラスを入れる一明 治を生きた大工木村 米次郎と近代和風建 築—	清水 重敦	文化財 (月刊)	457						
海 外									
ナポリ、サンタ・マ リア・ドンナレジー ナ聖堂の研究—アン ジュ一家の美術とそ の時代背景	谷古宇 尚	鹿島美術 研究	18						
アドルフ・ロースの 感性—ウィーン世紀 末建築家の内包した 現代感覚と装飾— 付:《翻訳》アドル フ・ロース『装飾と 犯罪』	山下 敦	共立女子 大学文学 総合文化 研究所研 究叢書	19						

都市形態の起源と発展 ブルガリア・ソフィア中心部における 街路パターンとの ケーススタディ	コストフ・マーティン	芸術学研究(筑波大学)	5	レスカー・ル＝デュー・シトー会修道院教会堂平面の寸法構成とプロポーション	西田 雅嗣	"	"	
パルティア、ササン朝建築のイーワーンについて—イスラーム建築以前のイーワーンの構法と意味—	鳳 英里子	"	"	墓廟3の遺構概要 古代ギリシア都市メッセネの建築調査1	武田 明純 伊藤 重剛	"	"	
特集＝建築学会の新しい役割を問う—人の思い、時の重み、建築の重み	野々垣 篤	建築雑誌	1472	一六世紀フィレンツェにおける粗面仕上げ切石積みの解釈	金山 弘昌	美 学	205	
建築史から見た英国風景庭園	森 利夫	国学院雑誌	1129	芸術をめぐる言葉106 廃墟の法則—シュペーア	谷川 渥	美術手帖	812	
パリに顕れるビザンティン・サン＝ヴァンサン＝ド＝ボール聖堂の様式選択	喜多崎 親	国立西洋美術館研究紀要	5	季評[建築] 楽園の国ハワイの宗教建築	五十嵐太郎	武蔵野美術	119	
ヴェネチア建築と文人たち	鳥越 輝昭	人文学研究所報	34	世界文化賞建築部門受賞 ジャン・ヌーベル講演		産 経	11.4	
アダム兄弟の外部意匠—建築美に関する一考察—	近藤 存志	筑波大学芸術研究報告	37	建築は考える エスニック	飯島 洋一	日 経	7.29	
新大陸の自然とピクチュアレスク	"	筑波大学芸術年報	2000	あすへの話題	隈 研吾	日経夕刊		1.5.2.9、 16、3.2、 4.27、 5.25、 6.1、22
マルリーの機械の構想者をめぐる問題	中島 智章	日本建築学会計画系論文集	539	パルテノン神殿 ルーツはアジアの高床建物?	皆木 成実	毎 日	1.4	
世紀転換期オランダ建築にみる体系的設計手法の提案の過程とその背景について	濱寄 良実 矢代 真己	"	"	スイスの建築家たちに脚光	エルウィン・ピライ	読売夕刊	8.21	
ユスティニアス建築に関するゼーデルマイヤの研究 ゼーデルマイヤの教会堂建築論2	黒岩 俊介	"	"	建築季評 NY貿易センタービル	中川 理	"	9.28	
ルーヴル宮の設計に対するコルベールの考え方及びベルニエ二米仏までの経緯「騎士ベルニエ二のフランス旅行日記」に見られるベルニエ二のルーヴル宮設計活動 その1	遠藤 太郎	"	540	建築 ガラスという素材へのこだわり レンゾ・ピアノ「メゾンエルメス」	飯島 洋一	"	10.10	
ラン大聖堂における水平性—初期ゴシックの添柱デザイナー—	加藤 耕一	"	"	その他のジャンル				
16世紀イタリヤの庭園に見られる博物学研究の側面 アゴ스티ーノ・デル・リッチョ(1541—98)の理想庭園構想に関する研究	桑木野幸司	"	"	一 般				
ポリクロミアの類型化について 中世後期トスカナ宗教建築におけるポリクロミアに関する研究その2	吉田 香澄	"	541	書宇宙と抽象—言葉という主題と造形—	はんざわか んいち	共立女子大学文学総合文化研究所研究叢書	19	
				インタラクティブ・メディアアートのためのヒューマンインターフェース技術造形	長島 洋一	静岡文化芸術大学研究紀要	1	
				絵本における一考察—その展開と受容—	中村 美幸	下関市立美術館研究紀要	8	
				特集 VIVA! 肉体表現主義!!! 肉体存在論 いま、ここにあるための最後の砦として	香山 リカ	美術手帖	805	
				特集 VIVA! 肉体表現主義!!! パフォーマンスの身体1970—2001	市原研太郎	"	"	

特集 VIVA! 肉体表現主義!!! 行為としての記憶 パフォーマンスの現場から
木方 幹人 美術手帖 805

特集 VIVA! 肉体表現主義!!! 無根拠な身体 かくも過剰で希薄なりアルについて
桜井 圭介 " "

21世紀の潮流—「表現」の可能性を求めて(上) デジタル時代の映画芸術
岡島 尚志 東京夕刊 1.9

大人のための鑑賞術 インターネットアート (宝) 日経夕刊 8.27

日 本

アート&テクノロジーの時代 深谷 治之 茨城県近代美術館研究紀要 8

「かげ」の制作学—メディアの生み出す現実感 久納 鏡子 慶応義塾大学アート・センター年報 8

日本におけるライトアートの位置づけ 戦後展覧会における光の芸術 仲口亜利果 芸術学研究(筑波大学) 5

今様花伝書13~23 川瀬 敏郎 芸術新潮 613~619、621~624

序説：日本近代美術のなかの書と生花、盆栽(二) 大熊 敏之 三の丸尚蔵館年報・紀要 6

先生教えて 犬狛はいつかあらったのですか 宮原 武夫 歴史地理教育 621

土方巽の舞踏と文章—形式と文体による舞踏解説の試み— 稲田奈緒美 早稲田大学大学院文学研究科紀要 46

このはな漫考 丹尾 安典 " "

アートの街に銀座変えよう 演出家ら企画 朝日夕刊 8.29

21世紀に挑むニッポンの底力1 ポケモンをプロデュースした石原恒和さん 石原 恒和 東京 1.5

TOKYO発 実用から伝統文化、アートにも 新世紀書道進化論 井上 圭子 " 2.19

スター描く特大カンバス 映画看板50年 八條 隆昌 日経 3.28

専門誌の目 美術手帖 現代美術作家の肉声伝える " 12.15

アーティストが注目ポストカード本新風写真集・物語仕立て若い層を開拓 日経夕刊 11.15

美に恋し絵に遊ぶ 芸術番組優しく変身 " 11.22

海 外

ジョン・ケージー環境音を聴く— 中川 克志 京都大学文学部美術史学研究室研究紀要 22

フルクサスとパフォーマンス 塩見允枝子 国立国際美術館月報 104

現在通信from NEW-YORK デジタルの現在 富井 玲子 新美術新聞 929

特集 VIVA! 肉体表現主義!!! 「肉」としての身体 中国のパフォーマンスの特質 牧 陽一 美術手帖 805

TOPICS ドイツの美術意識や美術品が日常生活にどのように反映しているか 高松 平蔵 美術フォーラム21 4

作 家

日 本

(ア)

アートイング東京 2001—生きられた空間・時間・身体 Are You Meaning Company 7

ニューヨーク・フルクサス事始め 幾 嘸 国立国際美術館月報 102

転機の一点 《エンヴァイラメントNo.1 レインボールーム》(部分)画家 幾 嘸さん 石川 健次 毎日 7.29

相笠昌義 人間を描き、人間を見つめる慧眼の画家・相笠昌義新作エッチング 長谷川公之 版画芸術 114

ハロー! ペット どんな動物の絵もその目は「おはき」 ほのぼのトーク・相澤ときえさん(動物肖像画家) 宮 晶子 東京夕刊 7.11

自然との調和願う素朴な心 英国の町で「グリーンマン」を考える 阿伊染徳美 朝日夕刊 1.5

特集 美術史の逆遠近法 宗達V.S.会田誠—「古美術」「現代美術」往還記 山下 裕二 現代の眼 526

特集 会田誠スベシャル フォトセッション MAKOTO by MOTOKO MOTOKO 撮影 美術手帖 811

特集 会田誠スペシャル 家族の肖像	松蔭 浩之	"	"			絵描き共の変てこりんなあれこれの前説13 今泉を証人に立てると赤瀬川の千円札が偽造容疑になる、と杉本弁護士がおどかした[赤瀬川原平]				
特集 会田誠スペシャル 電波兄弟の赤ちゃん泥棒 RETURNS	会田 誠、岡田 裕子、村崎 百郎、森園 みるく 対談	"	"				"	"		62
特集 会田誠スペシャル 会田誠私論 一貫したワイセツへの偏愛	植島 啓司	"	"			絵描き共の変てこりんなあれこれの前説14 スリやカッパライと同断の刑事事件として赤瀬川千円札裁判を考えよと八百長、工藤(=今泉)は言った。[赤瀬川原平]	"	"		63
天神様の美術展を見て8	会田 誠	東 京		8. 21						
シンクロする漫画とアート アングラ・パワー 現代美術家会田誠さん 世界をグロテスクに			読売夕刊		9. 29					
書に込められた心の叫び 筆一本…悪戦苦闘の人生[あいだみつを]	藤波 辰哉、酒井若菜、井南部康之、菅原登也、尾花一人 相田	産経夕刊			9. 28		"	"		64
トライアングル 郊外の行方 下 青木淳さん「居合わせる空間」の創造	高野 清見 聞き手	読売夕刊			9. 5		"	"		65
家族のこと話そう 青沼貴子さん 日記が漫画に 自然体家族	青沼 貴子、林 倫郎 聞き手	東 京			3. 4		"	"		66
特集1 アートイン グ東京2000: 16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 青柳慶	青柳 慶	セゾンアートプログラム・ジャーナル			5	『VISIBLE宇宙大全』藤井旭著	赤瀬川原平 朝 日		1. 21	
惜別 漫画家 青柳裕介さん	佐々木 亮	朝日夕刊			9. 3	謎の怪人・赤瀬川原平 面白がりな永遠の素人	西岡 一正	"		7. 16
青山熊治の旅立ちのころ―「積年記」より	岸野 裕人	姫路市立美術館研究紀要			4	健やかに美しく ため息のなぞ解けた60代での変化、実は	赤瀬川原平 談 日 経		10. 27	
特集1 アートイン グ東京2000: 16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 赤坂知也	赤坂 知也	セゾンアートプログラム・ジャーナル			5	今週の「異議あり!」ベット・ロボット 作家・赤瀬川原平さん	鈴木 琢磨 毎日夕刊		1. 18	
枯れて花咲く葉の アート 落ち葉を切り張り20年 描いた絵には自然の深み	赤崎 一雄	日 経			1. 15	教育新世紀 ALBUM私の先生 作家・画家 赤瀬川原平さん	古沢由紀子 読 売		9. 3	
アメリカ野球の日本人 窓があき新鮮な風のように	赤瀬川原平	朝 日			5. 31	勅使河原宏さんを悼む	赤瀬川原平 読売夕刊		4. 16	
絵描き共の変てこりんなあれこれの前説12 犯罪者同盟員の万引きが原因で赤瀬川千円札裁判の幕が切って落とされた[赤瀬川原平]	今泉 省彦	あいだ			61	「面白い何か、やりたい」100冊目の本刊行祝う会 赤瀬川氏、老人力放つ[赤瀬川原平]	"		8. 6	
						おやじのせなか 赤塚不二夫	大脇 和明 聞き手 朝 日		3. 5	
						マンガの居場所 強烈な“赤塚不二夫熱”	宮本 大人 毎日夕刊		10. 5	
						LR artists enquête 二〇〇一年にあなたが行ってみたい場所を教えてください	赤塚 祐二 アート・マガジン〈エル・アール〉		23	

平成13年定期刊行物所載文献(近/作ア)

この人 燕岳と安曇 野を撮り続ける 赤 沼淳夫さん	二川 和弘	東京	5. 22	時のかたち	朝倉 撰	朝日夕刊	4. 17、19、 20
《光の間》1996 秋岡 美帆(1952—)	平芳 幸浩	国立国際 美術館月 報	111	現代作家紹介 浅野 均の作風 風景画に 新風を吹き込むか	山岡 泰造	美術 フォーラ ム21	4
秋野不矩先生を偲ん で	川崎 正晴	新美術新 聞	943	浅野光代写真集『パ リのエトランジェ』		東京	1. 21
秋野不矩さんを悼む 脱皮、変貌、そして 飛躍	木村 重信	朝 日	10. 14	旅立ちの詩 浅葉克 己さん	民井 雅弘	東京夕刊	8. 21
ひたすらに美を求め 画風すがすがしく 秋野さん死去[秋野 不矩]		朝日夕刊	10. 11	LR artists enquête 二〇〇一年にあなた が行ってみたい場所 を教えてください	浅利 美織	アート・ マガジン (エル・ アール)	23
惜別 画家 秋野不 矩さん	佐田 智子	"	11. 5	イタリア留学経験者 座談会 「魅せられ て、イタリア」	安達 博文、 川崎 麻児、 吉岡 正人	美術の窓	212
葬送 日本画家秋野 不矩さん	丸橋 茂幸	産経夕刊	10. 31	フェイス21世紀33 阿部佳明	常盤 茂	新美術新 聞	943
秋野不矩さんを悼む 文化往来 秋野不矩 氏、転機越えつかん だ力強い画風	加藤 類子	東京夕刊	10. 18	甘糟さんの椅子[甘 糟憲正]	甘糟 幸子	芸術新潮	614
転機の一点 《平原 落日》画家 秋野不 矩さん	石川 健次	日 経	10. 13	緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議5 樺木野衣×飴屋法水		美術手帖	798
秋野不矩さんを悼む 貧しさにめげぬ生命 力への共鳴	内山 武夫	毎日夕刊	10. 15	「富山事件」とは何 であったか フラン チャイズまず系美術 館の終焉	荒井 真一	あいだ	68
秋野不矩さん 最期 まで題材追い求める	木村 未来	読 売	11. 25	硬い歌舞伎解説やわ らげる筋書のカット 東京芸大名誉教授・ 荒川明照さん	小田 孝治	産経夕刊	5. 22
秋野不矩さんを悼む 特集グッズデザイン 秋山具義 グッズに かける愛とユーモア	大岡 信	読売夕刊	10. 12				
特集 今、仕事を頼 みたい! 11人のグラ フィックデザイナー 秋山伸	渡部 千春	デザインの 現場	117	イベントトーク「ア メリカの世紀」を超 えて	萩原 朔美、 荒川 修作、 馬場 駿吉、 國吉 和子、 榎本 ケイ・ イ	A A C	32
秋山哲之介写真集 『空にひらいたブル ー』	(前)	読 売	6. 10	荒川修作が「新東京 建設」を語る	(美)	新美術新 聞	920
巻頭特集 『一千一 秒物語』稲垣足穂 タルホ・オマージュ 雷電と怪人	秋山祐徳太 子	美術の窓	211	緊急特集 米国同時 テロ 芸術家が革命 を考えると	荒川 修作	"	941
心の中の地平線 50 年来、想い描いてき たアフリカとの遭遇	安久利 徳	毎日夕刊	5. 10	宿命反転都市建設 特集：荒川修作 特 別講演会「荒川修作 が現在考え、計画し ている新しい街づく りと新東京建設につ いて」	荒川 修作	セゾン アートブ ラ グ ラ ム・ ジャー ナル	6
青春の道標 1～13	浅井 慎平	日 経	7. 21、28、 8. 4、11、 15、18、 22、25、 9. 1、8、 29、10. 6、 13	宿命反転前夜「荒川 修作」	河本 英夫	"	"
浅井忠「グレーの塔」 修復報告	田中智恵子	修復研究 所報告	15	対米テロ 芸術家の 「心の揺れ」は NY で目撃の荒川修作さ ん		朝 日	9. 17
日本人の足跡48 パ リに咲いた画才1 浅井忠	生田 誠	産 経	3. 4	「超人」「巨人」時代 に風穴 美術家・荒 川修作 アニメ監督・ 宮崎駿 4時間半対 談	大西 若人	"	11. 26
絵と人のものがたり 浅井忠 1～4	芥川 喜好	読 売	9. 16、23、 30、10. 7				

月刊ギャラリー200号記念特集 スター誕生物語 荒木経惟	石原 悦郎	ギャラリー(月刊)	200
特別対談 ラーキー館デート 寂聴×アニキ美術	瀬戸内寂聴 荒木 経惟	芸術新潮	613
Artist Interview 2 荒木経惟	三橋 純 川戸 正嗣 聞き手・構成	美術手帖	808
あの場面にプレーバック 写真家 荒木経惟さん	荒木 経惟 保科 龍朗 聞き手	朝 日	6.3
著者に会いたい『すべての女は美しい』荒木経惟さん	原田 幸一	"	7.1
『再び写真へ』荒木経惟[写真集]	大竹 昭子	"	12.2
巻頭特集『一千一秒物語』稲垣足穂 タルホ・オマージュ タルホの科学少年	荒木 博志	美術の窓	211
東京解剖図鑑 下町アーティスト御輿と緑台に燃える[荒野真司]	山内 宏泰	東 京	5.30
技法講座24 有田巧 フレスコ画の技法 フレスコ画の技法《後編》描画の完成と画面の剥ぎ取り、キャンバスへの接着	有田 巧	美術の窓	208
写真集『RUSH』大森克巳、元田敬三、百々新、長島有里枝、有元伸也、大橋仁、野村恵子	(え)	読 売	1.14
特集 20世紀のロマネスク 有元利夫からの贈りもの 有元利夫をめぐる八つの断想	舟越 桂	芸術新潮	623
特集 20世紀のロマネスク 有元利夫からの贈りもの 空の青、諏訪湖の花火	山崎 省三	芸術新潮	623
特集 20世紀のロマネスク 有元利夫からの贈りもの 有元利夫の思い出 まるで双子のように生きた16年	有元 容子	"	"
大蔵教室の作家たち 1 配達された才能 有元利夫	刃刀 知子	美術の窓	211
特集 今、仕事を頼みたい! 11人のグラフィックデザイナー 有山達也	渡部 千春	デザインの現場	118
安藤忠雄一空間のスピリット	カーラ・マッサー シー 篠はら真基 訳	美術手帖	813
高齢者施設 建設ラッシュに危うさ	安藤 忠雄	朝 日	11.25

永遠の宿題 学ぶとは、どういうことか	"	朝日夕刊	8.22
「第2 ポンビドー」に期待 バリに安藤忠雄氏設計の美術館	松葉 飯山 一清 雅英	"	11.27
建築家安藤忠雄 激戦コンペで勝ち取る仏に現代美術館	渋谷 和彦 産 経	11.11	
文化往来 安藤忠雄、アルマーニと組み劇場設計		日 経	10.25
出かけてみよう 大阪で安藤忠雄建築をめぐる	"		12.8
夢を追う 瀬戸内の島々にオリブを安藤忠雄さん	高野 聡	毎 日	1.15
こころの風土記 安藤忠雄さん 御堂筋	斎藤 雄介	読売夕刊	8.11
青春プレイバック 安野光雅 島根県津和野町	油井 一人	新美術新聞	920
おかえりなさい 安野光雅さん	横山真佐子	潮 流	66
ひと ふるさとに美術館が今日オープンする 安野光雅さん	川村 二郎	朝 日	3.20
理性の目十選1~10 美術に現れた科学	安野 光雅	日 経	8.14、15、17、20、21、23、24、27、29、30
人間発見 わんぱくでいこう1~5	安野 光雅 矢作 弘 聞き手	日経夕刊	10.1~5
こころの風土記 安野光雅さん 津和野町	古沢由紀子	読売夕刊	5.26
(イ)			
堀内正和さんの思い出 合理性の裏に独特の人間愛	飯田 善國	読売夕刊	4.18
「アーカイブ」することのラジカルな意味	飯村 隆彦	あ い だ	66
青春プレイバック 五百住乙人 神奈川県鎌倉市津1号緑地	林 茂樹	新美術新聞	943
EXTENSION/MAXI GRAPHICA プレ・シンポジウム マキシ・グラフィカが超えようとするものは…	木村 秀樹、長尾 浩幸、出原 司、池垣 タダヒコ 対談 松山 司会	版画芸術	114
寂寥の風景十選 エドワード・ホッパー「ガソリンスタンド」	池口 史子	日 経	6.18
イギリスのTOUCH レーベルからCDデビューした池田謙	飯田 高誉	美術手帖	800

平成13年定期刊行物所載文献(近/作イ)

「富山事件」とは何であつたか 終わりのなき闘い—裁判の終結に当たって	池田 龍雄	あいだ	68	
転機の一点 《網元(内灘シリーズ)》画家 池田龍雄さん	石川 健次	毎日	7.1	
新世紀のスタート日展は今	山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 山田 阿有 上田 久利 宮里 明人 石川 充宏 立川 善治 高木 聖雨 横山 煌平 坂会 公雄	日 展 ニ ュース	102	
New Edition 池田良二 白い布	池田 良二	版画芸術	113	
新世紀のスタート日展は今	山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 山田 阿有 上田 久利 宮里 明人 石川 充宏 立川 善治 高木 聖雨 横山 煌平 坂会 公雄	日 展 ニ ュース	102	
文化 精巧で多彩コケの表情 北海道から沖縄まで撮り歩き25年、図鑑も作る	伊沢 正名	日 経	5.10	
写真集・東京 石井實著		"	6.10	
『爪』石内都著	瀬戸 正人	朝 日	1.14	
ひと 南仏ニースの美術館で「源氏絵くらべ」をする石踊達哉さん	川村 二郎	"	1.10	
時のかたち	石 亀 泰郎	朝日夕刊	11.6~8	
新世紀のスタート日展は今	山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 山田 阿有 上田 久利 宮里 明人 石川 充宏 立川 善治 高木 聖雨 横山 煌平 坂会 公雄	日 展 ニ ュース	102	
作家の現在	石川 順恵 インビュー	セゾン アート プログラム ジャーナル	5	
チャレンジ 画家石川順恵氏		日経夕刊	6.12	

特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術と そのゆくえ 石川雷 太	石川 雷太	セゾン アート プログラム ジャーナル	5	
時の栞 手塚治虫著 『ばるばる』現実の 壁たぶらせ救われる	石坂 啓	読売夕刊	5.6	
巻頭特集 『一千一 秒物語』稲垣足穂 タルホ・オマージュ タルホに導かれて製 作	石塚 公昭	美術の窓	211	
交遊抄 石ノ森氏の 遺志[石ノ森章太郎]	川内 通康	日 経	10.27	
特集 VIVA!肉 体 表現主義!!!! 石 橋義正/キュビキ ビ ようこそ、快楽 ボディの饗宴へ!	都築 響一 ききて	美術手帖	805	
対談 美とエロス	石本 正 芳賀 徹	瓜生通信	19	
交遊抄 共通点	石本 正	日 経	6.23	
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 居 城純子	居城 純子	セゾン アート プログラム ジャーナル	7	
宗教こころ 「靖国 参拝」の意味するも の	出雲井 晶	産経夕刊	7.30	
巻頭特集 Side by Side 建築・彫刻・ 絵画・映像—版画 磯崎新 インタ ビュー 版画、記憶 の図書館	辺見、岡部 インタビュー—構成	版画芸術	114	
網の結び目象徴「都 市門」 磯崎新作品 ウフィッツイ美術館 など各国で着工	松葉 一清	朝 日	3.14	
ひと 北京の「丸の 内」にあたる金融街 を設計する 磯崎新 さん	斎藤 智子	"	6.2	
文化往来 磯崎新の 集大成、版画とエッ セーの画文集		日 経	3.6	
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ ラー・オマージュ ワールド・メテオ・ マップ	磯辺 行久	美術手帖	809	
インタビュー 井田 照一『Garden Pro- ject』作庭計画随聞記	松山 龍雄 インタ ビュー	版画芸術	114	
第二—三回水曜講演 会 板谷波山—その 人と芸術—	村田あき子 荒川 正明	出光美術 館館報	116	
「板谷波山—珠玉の 陶芸」展に寄せて 板谷波山の魅力	荒川 正明	陶 説	574	

波山陶芸の魅力 板谷波山の作陶と素描	"	目 の 眼	293						
わたしの好きなものマトリョーシカ	市川 美幸	新美術新聞	939						
気鋭新鋭 市川美幸さん(写真家)	(清)	読売夕刊	8. 17						
新美術時評 前衛の人 一原有徳	柴橋 伴夫	新美術新聞	930						
EXTENSION/MAXI GRAPHICA ブレ・シンポジウム マキシ・グラフィカ が超えようとするものは...	木村 秀樹、 長尾 浩幸、 出原 司、 池垣 タダヒコ 対談 松山 司会	龍雄	版画芸術	114					
Artist Interview48 井出佳美	池上ちかこ	デザインの現場	115						
美術家が選ぶ20世紀日本の美術 洋画家伊藤清永	伊藤 清永	新美術新聞	916						
追悼特集 伊藤清永氏を偲ぶ	高山 辰雄 西岡 久壽彌 平松 忠彦 中山 正孝 長谷川 光三 小川 光三 森 洋之助 ジュディ・オンク・倩玉 小島 俊男 深澤 孝哉	"	931						
追悼 伊藤清永	一井 建二	美術の窓	215						
笠間で活動 造形作家・伊藤公象	渋谷 和彦	産 経	1. 28						
カバーインタビュー 伊東豊雄		A X I S	90						
空間の思考1 電子テクノロジー社会と建築 伊藤豊雄「せんだいメディアテーク」	多木 浩二	ユリイカ	450						
文化往来 建築家と組み、新たな舞踊作品に挑戦[伊藤豊雄]		日 経	5. 14						
畠山直哉+伊東豊雄『UNDER CONSTRUCTION』	(前)	読 売	10. 21						
自著を語る『雲南の豚と人々』伊藤真理さん(写真家)	伊藤 真理	東京夕刊	11. 22						
スポットライト イトロー・ターリさん アートの世界交流で力生む		日経夕刊	1. 12						
追悼 糸園和三郎先生「鳥の壁」の新鮮な感動	中谷 貞彦	新美術新聞	933						
追悼 糸園和三郎	中村 輝行	美術の窓	215						
芸苑雑事記106 糸園和三郎さんを偲ぶ	瀧 梯三	"	216						
キリンアートアワード2001受賞作決定 優秀賞は林田嶺一氏(六七)と稲垣民子さん	(林)	新美術新聞	937						
キリンアートアワード 優秀賞に林田嶺一 稲垣民子の両氏		東京夕刊	9. 22						
林田、稲垣氏に優秀賞—キリンアートアワード[稲垣民子]		毎日夕刊	9. 18						
LR artists enquête 二〇〇一年にあなたが行ってみたい場所を教えてください	稲垣由紀子	アート・マガジン(エル・アール)	23						
顔 中村吉右衛門を撮って22年、写真展を開いた 稲越功一さん	田中 聡	読 売	1. 8						
LR artists enquête 美術雑誌やテレビの美術番組についてどう思いますか?	イナダタカコ	アート・マガジン(エル・アール)	24						
安田火災美術財団選抜奨励展 秀作賞 乾繁春氏「韻」	乾 繁春	産経夕刊	3. 21						
巻頭特集 裸婦彫刻のエロス—井上公雄の世界— 編集長対談 井上公雄+一井建二	井上 公雄 一井 建二 対談	美術の窓	214						
漫画「バガボンド」作者・井上雄彦氏	石田 汗太	読売夕刊	5. 10						
実行と批評精神「天来顕彰展有一作品撤回事件」[井上有一]	海上 雅臣	aica JAPAN	1						
「貧」の位置 井上有一の書について	鶴見 俊輔	毎日夕刊	8. 23						
Interview 先月の続き...[伊部年彦]	斎藤 一典	e t c .	34						
アートイング東京2001—生きられた空間・時間・身体 伊部年彦	伊部 年彦	セゾンアートプログラム・ジャーナル	7						
今井俊 メキシコの夢	辺 見	版画芸術	113						
時のかたち	今井 俊満	朝日夕刊	2. 6~9						
今井智己写真集『真昼』	(前)	読 売	12. 2						
惜別 陶芸家 今泉今右衛門さん	福島 建治	朝日夕刊	11. 5						
文化往来 十三代今右衛門さん、伝統の中の新感覚[今泉今右衛門]		日 経	10. 16						
追悼抄 現代の「色鍋島」を創造した人間国宝の陶芸家 今泉今右衛門さん	前田雄一郎	読 売	11. 11						
Interview 今泉康子	斎藤 一典 聞き手	e t c .	35						

アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 今 泉康子	今泉	康子	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	7	特集 明治が生んだ ジャパニーズアート 近代日本が目指した 美術工芸 抱民・東 谷・光雲の作品に迫 る神業の美[植松抱 民]	藤澤	繁	目の眼	301
如来の光醍醐の里照 らす文化財を納め る霊宝館を設計、薬 師仏も鎮座へ	今里	隆	日 経	4.25	転機 一点 《晨》画 家 上村淳之さん	石川	健次	毎 日	1.14
「自作について」 プ ランクーシとの出合 い	今村	輝久	国立国際 美術館月 報	103	上村松園の画業にお ける「楊貴妃」の位置 付け	利根川	泰子	女子美術 大学研究 紀要	31
特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術と そのゆくえ 岩熊力 也	岩熊	力也	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	5	追悼 上村松篁氏を 偲ぶ 松篁先生のこ と	鳥頭尾	精	新美術新 聞	923
作家訪問299 ジュ エリー作家 岩田一 慶さん	編 集 部			302	追悼 上村松篁氏を 偲ぶ 母と子—松篁 さんのこと—	藤	慶之	" "	" "
近代美術と地図〜川 上冬崖と岩橋教章〜	塚原	晃	神戸市立 博物館研 究紀要	17	日本画家上村松篁さ んを悼む はんなり した京の古武士	梅原	猛	朝日夕刊	3.13
道北の美術19 アト リエ訪問 因藤壽氏 (下)	因藤	壽	氷 華	42	惜別 日本画家 上 村松篁さん	森本	俊司	" "	3.26
(ウ)					上村松篁氏死去 花 を愛し鳥を愛す	生田	誠	産経夕刊	3.12
新・作家への道標74 上田薫・オーディ オ・メーカーとなま 玉子			ギ ャ ラ リー(月 刊)	189	自然の中に詩を求め て 日本画家上村松 篁さんを悼む	木村	重信	" "	3.17
絵は風景 上田薫 「流れL」	芥川	喜好	読 売	1.21	上村松篁さんを悼む 花と鳥を愛し続け	塩野	栄	東京夕刊	3.12
山下 渡辺 池田 池山 上田 宮里 石川 立川 高木 横山 寺坂 司会	保子 武蔵 良則 阿有 久利 明人 充宏 善治 聖雨 煌平 公雄	日 展 ニ ュース		102	上村松篁先生を悼む 母譲りの自立した絵 画世界	草薙奈津子		" "	3.13
新世紀のスタート 日展は今					人に優しく絵に厳し く 花鳥画貫いた松 篁先生[上村松篁]	加山	又造	日 経	3.13
「社会の報告書」とし ての芸術[上野省策]	中島	徳博	ピロティ	117	上村松篁氏死去 繊 細さの内に強い意志	宝 玉	正彦	日経夕刊	3.12
青春プレイバック 上野泰郎 東京都大 田区田園調布田園テ ニス倶楽部	西澤	美子	新美術新 聞	923	純粋な美の求道者 上村松篁さん	田原由紀雄		毎日夕刊	3.12
交遊抄 絵ハガキ	上野	泰郎	日 経	1.27	格調高く比類ない画 境 上村松篁氏を悼 む	内山 武夫 談 田原由紀雄 構成		" "	3.13
フェイス21世紀29 上原三千代	常盤	茂	新美術新 聞	931	母譲り「鳥の美人画」 上村松篁さん			読売夕刊	3.12
奈良・東大寺 来年 の大仏開眼1250年記 念 開祖菩提聖那の 像を制作[上原美千 代]			産 経	12.13	上村松篁さんを悼む 近代的造形 深い精 神性	木村	重信	" "	" "
					『鵜飼 美 紀 rest- less・restful』公開展 示を終えて—作家か らのメッセージ	鵜飼	美紀	アマリリ ス	60
					Artist Interview 宇 川直宏インタビュー	宇川 東谷 構成	直宏 隆司	美術手帖	808
					鶯谷窯2—陶工 鶯 谷庄平—	木村	弘道	富山市篁 牛人記念 美術館館 報	10
					新・作家への道標80 宇佐美圭司・40年ぶ りの帰還			ギ ャ ラ リー(月 刊)	196

一語一会 「自己非
完結性」 宇佐美圭司 朝日夕刊 10.24

転機の一点 《路上
の英雄No.2》画 家
宇佐美圭司さん 石川 健次 毎 日 9.9

新・作家への道標84
丑久保健一・楡の樹
の生命と向き合っ ン ギ ャ ラ
リ ー (月 刊) 200

牛島憲之の芸術 村山 鎮雄 府中市美
術館研究 紀要 5

江戸博蔵めぐり 東
京開化名勝京橋石造
銀座通り 歌川広重
(三代)画 川上 香 読 売 6.1

内田青虹さん 菅原
道真像を防府天満宮
に奉納 新美術新
聞 933

交遊抄 熱き詩人た
ち 烏頭尾 精 日 経 9.29

巻頭特集 『一千一
秒物語』稲垣足徳
タルボ・オマージュ
神の見た夢 梅木 英治 美術の窓 211

(エ)

瑛九芸術の原点 デ
モクラシー、ポピュ
ラリティ、マージ
ナリティ 五十殿利治 版画芸術 112

細江英公 インタ
ビュー 瑛九から受
けた熱 辺見、岡部
インタビュー・構成 " "

都夫人インタビュー
瑛九という人 " " "

作家訪問290 ガラ
ス作家 江口智子さ
ん 編 集 部 目 の 眼 293

特集1 アートイン
グ東京2000:16×16
現在進行形の美術と
そのゆくえ 枝光由
嘉里 セゾ
ン
ア
ー
ト
ブ
ラ
ウ
ン
・
ジ
ャ
ー
ナ
ル 5

大藪教室の作家たち
7 榎木俊幸 形象
の謎 功刀 知子 美術の窓 219

榎倉康二再考《壁》作
品を中心に 熊谷伊佐子 東京都現
代美術館 紀要 6

日の出残響一反 自
然、過剰、表現の軸
について 遠藤 利克 あ い だ 61

(オ)

大藪教室の作家たち
4 〈光〉というメ
ディア 逢坂卓郎 功刀 知子 美術の窓 215

〈光〉に魅了されて 逢坂 卓郎 武蔵野美
術 119

巻頭特集 Side by
Side 建築・彫刻・
絵画・映像・版画
O Jun イン タ
ビュー がらんだ
の輪郭 岡部 イン
タビュー・ 版画芸術 114
構成

追悼 大石隆子さん
さようなら先生 藤木 正次 新美術新
聞 921

大石芳野写真集『ベ
トナム漂と』 日 経 3.18

第20回土門拳賞 大
石芳野氏が受賞 毎 日 3.21

「富山事件」とは何で
あったか 縄文の縄
で首を釣る 大浦 信行 あ い だ 68

特集 映画とビデ
オ・アートの最前線
インタビュー 大木
裕之 映像のワーキ
ング・プログレス
日常のダイナミズム 長澤 章生
ききて 美術手帖 803

無限渦巻 魂の交歓 大木 道雄 辰野美術
館だより 20

大熊氏廣作《有栖川
宮熾仁親王像》調査
報告 1 調査実施
概要 田中 修二 屋外彫刻
調査保存
研究会会
報 2

大熊氏廣作《有栖川
宮熾仁親王像》調査
報告 2 《有栖川
宮熾仁親王像》建
設～現在の経過 大坪 潤子 " "

作家訪問292 陶芸
作家 大熊惟男さん 編 集 部 目 の 眼 295

大倉舜二写真集
『TOKYO X』 東 京 1.14

大倉舜二写真集『To
kyo X』 (前) 読 売 1.21

第二回池田満寿夫記
念芸術賞 大賞に大
塩紗永さん (千) 新美術新
聞 938

池田満寿夫記念芸術
賞の大賞を受賞 大
塩紗永さん 河合 龍一 産 経 9.19

巻頭特集 いまを生
きる木版画精神 大
下百華 版に描き出
す生命のよろこび 岡 部 版画芸術 113

アジアの生活・イラ
スト集に イラスト
レーター・オーシロ
カズミさん 東 京 7.14

内親王「守り刀」は人
間国宝の作[大隅俊
平] 産 経 12.2

NEO GRAPHICS
太田三郎 新作切手
シリーズ―漂着する
イメージより 山下 理加 版画芸術 114

LR artists enquête
二〇〇一年にあな
たが行ってみたい場
所を教えてください 太田真理子 アート・
マガジ
ン(エル・
アール) 23

平成13年定期刊行物所載文献(近/作オ)

著者に聞く 路上採集の成果は「普通なんてない」大田垣晴子さん(漫画家)	(寿)	東 京	4.29	「心のカタチー〇〇扇 大藪雅孝展 トークショー	大藪 雅孝 米倉 守 聞き手	美術の窓	208
連載:作家の日記「ギター」シングル盤レコードコレクション	大竹 伸朗	セゾンアートプログラム・ジャーナル	5	転機的一点《赤い帽子》画家 大藪雅孝さん	石川 健次	毎 日	9.23
連載:作家の日記(3)(最終回)	"	"	6	『富士』大山行男著	水越 武 朝	日	3.4
巻頭特集 Side by Side 建築・彫刻・絵画・映像 大竹伸朗 インタビュー デジタルは予測不可能!?	秋田 インタビュー・構成	版画芸術	114	向う三軒両隣 神奈川横丁53 岡信孝 座右の銘「大道行・唯信我」	武田 厚	美術の窓	219
時のかたち	大竹 伸朗	朝日夕刊	11.13~15	アマチュア写真家としての岡道孝一寄贈資料を中心にー	林 華子	川崎市市民ミュージアム紀要	13
フェイス21世紀32 大竹秀明	常盤 茂	新美術新聞	939	向う三軒両隣 神奈川横丁48 岡義実 画家のスタンスにこだわる	武田 厚	美術の窓	212
大谷映芳写真集『ドルボ』	(前)	読 売	9.30	《検眼圖》1977年 瀧口修造(1903-1979) 岡崎和郎(1930-)	島 敦彦	国立国際美術館月報	106
転機的一点《AY-AKA》画家 大津英敏さん	石川 健次	毎 日	1.21	文化往来 サブカルチャーの先兵、岡崎京子に脚光		日 経	7.30
特集 写真史研究の現在 ジョブの領域一写真実践の全体像へ[大辻清司]	大日方欣一	現代の眼	528	HIROPON FACTORYプレゼンツ 原宿フラット全記録 超平面的、スーパーフラット徹底討論。	浅田 彰 岡崎 乾 榎木 野衣 村上 隆	美術手帖	800
新教育の森 全国的に広がった彫刻シンポ	大成 浩	毎 日	12.17	アートイング東京 2001ー生きられた空間・時間・身体 岡田一郎	岡田 一郎	セゾンアートプログラム・ジャーナル	7
特集 本館リニューアル・オープン 大沼かねよのことから	有川 幾夫	現代の眼	531	文化 江戸舞う火消粹に描く 趣味から出発し 独学で錦絵700枚、個展も開く	岡田 親	日 経	5.2
大沼ショージ写真集『民族』		東 京	4.29	特集 会田誠スペシャル 電波兄弟の赤ちゃん泥棒 RETURNS	会田 誠、 岡田 裕子、 村崎 百郎、 森園 みるく 対談	美術手帖	811
転機的一点《赤い大和思考》画家 大沼映夫さん	石川 健次	毎 日	7.8	特集1 アートイング東京2000:16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 岡田葉	岡田 葉	セゾンアートプログラム・ジャーナル	5
[作品研究]漆工品の補修と大場松魚作《金銀平文鶴文箱》	諸山 正則	現代の眼	531	特集 今、仕事を頼みたい!11人のグラフィックデザイナー 岡野登	大城 譲司	デザインの現場	118
九つの音色展 個として、強固な集合体として	大樋 年雄、 佐伯 守美、 須田 堅司、 田口 義明、 中島 宗晴、 福王 寺一 彦、 藤田 潤、 三田 村有 純、 宮田 亮平 対談 諸山 司会	新美術新聞	929	第5回手塚治虫文化賞 マンガ大賞 陰陽師 岡野玲子著 夢枕獯原作	岡野 玲子	朝 日	6.1
写真集『RUSH』大森克巳、元田敬三、百々新、長島有里枝、有元伸也、大橋仁、野村恵子	(え)	読 売	1.14	石	岡谷 敦魚	明星大学研究紀要	9
				岡本神草「拳の舞妓」をめぐって	星野 桂三	美術京都	26

メキシコで見つかった岡本太郎の壁画下絵《明日の神話》、日本初公開!!	山田 論	アート ペーパー	49	特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術と そのゆくえ 荻野僚 介	荻野 僚介	セゾン アートブ ロム・ ジャーナ ル	5
岡本太郎の没後、最 大の発見!メキシコ 壁画《明日の神話》の 最終下絵の全貌	"	"	50	相馬黒光の井口喜源 治宛書簡—荻原守衛 没後の関係書簡抜 文—	五十嵐久雄	畠山美術 館	11
月刊ギャラリー200 号記念特集 スター 誕生物語 岡本太郎	岡本 敏子	ギャラ リー(月 刊)	200	「白樺」運動と荻原守 衛(五)—畠山の研 究・顕彰と美術館建 設—	柳沢 廣	畠山美術 館報	21
特集 海外から日本 の美術を見る。近 代日本美術における 表層的・潜行的モニ ュメント[岡本太 郎]	ジョン・ク ラーク 高屋敷真人 訳	美術 フォーラ ム21	5	美術家が選ぶ20世紀 日本の美術 日本画 家奥田元宋	奥田 元宋	新美術新 聞	914
岡本太郎が撮った写 真 熱い眼がとらえた 「原日本人」	山下 裕二	朝日夕刊	6.15	一語一会 真実の重 きひびきや春昼に	奥田 元宋	朝日夕刊	1.31
日本人の足跡55 パ リに咲いた画才8 岡本太郎	生田 誠	産 経	3.13	交遊抄 温厚な辛口	奥田小由女	日 経	7.21
故岡本太郎さんの デッサン発見	"	"	4.13	美術家が選ぶ20世紀 日本の美術 洋画家 奥谷博	奥谷 博	新美術新 聞	919
岡本太郎が撮った 「日本」岡本敏子、 山下裕二編	"	日 経	4.22	奥谷博の選ぶ洋画15 選	"	美術の窓	219
満月日記[岡本太郎]	岡本 敏子	毎 日	4.3、24、 5.1	Artist Interview49 奥原しんこ	池上ちかこ	デザインの 現場	116
今に息づく岡本太郎 の写真	"	読売夕刊	7.7	日記にゃっき23~32	関口 涼子 奥村 綱雄	e t c .	28~37
しもべの読書	岡本 文一	明星大学 研究紀要	9	絵は風景 奥山民枝 「正陽」	芥川 喜好	読 売	1.7
特集 写真史研究の 現在 再考 明治期 の写真—小川一真へ の視線	岡塚 章子	現代の眼	528	小倉寛子さんのケア ノート1~7[小倉 遊亀]	小倉 寛子 武中 英夫 聞き手	"	1.7、14、 21、28、 2.4、11、 18
「玉手箱」開けたらお 宝写真 明治時代に 小川一真が撮った作 品一堂に	"	日 経	1.24	フェイス21世紀28 桶田洋明	常盤 茂	新美術新 聞	928
広重の見た風景をス ケッチ 3年がかり 東海道歩く 台東区 の日本画家 小川幸 治さん	"	東 京	6.29	《アンケート》富山近 美事件はもう終わった のか?	尾崎 愛明	あいだ	63
LR artists enquête 二〇〇一年にあなた が行ってみたい場所 を教えてください	小川 信治	アート・ マガジン (エル・ アール)	23	描絵展をパリで開い て	尾崎 重春	新美術新 聞	930
芸苑雑事記109 小 川敏夫忌、日月星 辰、忠彦展賛	瀧 梯三	美術の窓	219	相談芸術ホテル[小 沢剛]	新川 貴詩	美術手帖	811
月間ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI 沖啓介	嘉藤 笑子	美術手帖	812	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 ノリの軽さ と志の高さ 小沢剛 論—「トンチキハウ ス」を中心に	"	ユリイカ	453
荻須画伯の作品区美 術館に寄贈[荻須高 徳、目黒区]	"	朝 日	4.12	タカシマヤ文化基金 美術賞に押江千衣子 さん、畠山耕治氏	西澤 美子	新美術新 聞	917
				人らんだむ VOCA 賞とタカシマヤ美術 賞を受賞した押江千 衣子さん	(美)	"	918
				ひと 指で描く絵で 受賞相次ぐ画家 押 江千衣子さん	大西 若人	朝 日	1.23
				気鋭新鋭 押江千衣 子さん(画家)	(前)	読売夕刊	2.16

ダンテ「神曲」をめぐる十選 1~10	小田 襄 日 経	9. 3~5, 7, 11, 12, 14, 17~19	折元立身「アート・ママ ブロック塀の母」	日 経	11. 10
巻頭特集 いまを生きたる木版画精神 尾田美樹 イメージを誘導する言葉遊び	遠藤 建 版画芸術	113	私のいる風景 折元立身さん	高野 清見 読売夕刊	10. 6
バリア・フリーを生きたようとした女の物語 尾竹紅吉	渡辺 澄子 東京夕刊	4. 25	(カ)		
向う三軒両隣 神奈川横丁50 小田野尚之 抒情的情景の演出についての解説	武田 厚 美術の窓	214	中山ダイスケ・インタビュー@ニューヨーク	中山ダイスケ 開発 好明 インタビューアー	アート・マガジン(エル・アール) 23
特集 イノセント 落合多武	美術手帖	800	LR artists enquête 美術雑誌やテレビの美術番組についてどう思いますか?	開発 好明	" 24
落合多武 「甘い献身」	デ ヴ ィ ッ ト ド ・ ハ ン ト 木下 哲夫 訳	" 806	人らんだむ 第4回岡本太郎記念現代芸術大賞優秀賞を受賞した 開発好明さん	(美) 新美術新聞	921
落合多武 "Paroles et musique" 「詩と音楽」	嶺川 貴子	" "	わたしの好きなもの ダイソン スケルトン	開発 好明	" 936
作家に聞く一小名木陽一	小名木陽一 後藤結美子 聞き手	京都市美術館 ニュース 180, 181	かいばつ式美術完璧ドリル解答編	"	美術手帖 808
小野忠重日記(上) — 1927年1月~6月 —	十川 文 現代芸術研究	4	New Edition 柿崎兆 題名のない原風景	辺見 構成	版画芸術 111
小野先生の双林社 [小野忠重]	青木 茂 版 の 絵	10	郭徳俊展 郭から KWAKへーそして KWAKから郭へ	尾崎 眞人	美術手帖 808
第36回昭和会展受賞者決まる 昭和会賞には小野月世さん	(林) 新美術新聞	918	巻頭特集 バリ・算本生	筧一井 本生 建二 タ イ ビ ュ ー	美術の窓 218
特集 横浜トリエンナーレ2001の歩き方 オノ・ヨーコ	オノ・ヨーコ インタビュー 藤森 愛実 ききて	美術手帖 811	巻頭特集 バリ・算本生 異邦人、算本生が射抜いた人間喜劇	田中 幸人	" "
現代作家紹介 「イエス ヨーコ・オノ」	アレクサンドラ・モンロー 三輪 健仁 訳	美術 フォーラム21 5	第24回安田火災東郷青児美術館大賞に笠井誠一氏の「二つの卓上静物」	(常) 新美術新聞	924
ラブ・アンド・ピース 弾痕つき貨車に込め オノ・ヨーコさん作品		朝日夕刊 8. 29	メタモルフォーゼ 場の記憶	笠原由起子	辰野美術館だより 20
勘違いから33年ぶり「発芽」 オノ・ヨーコさん平和訴え		産 経 6. 18	自分と出会う 密かに山本周五郎にあげられて	風間 完	朝日夕刊 7. 23
アートイング東京 2001—生きられた空間・時間・身体 小野瀬裕子	セゾンアートプログラム・ジャーナル	7	消えた炭鉱 記憶を撮る	風間 健介	日 経 12. 28
技法講座30 小尾修窓辺の鳥を描く《前編、中編、後編》	美術の窓	216~218	アートイング東京 2001—生きられた空間・時間・身体 風間サチコ	風間サチコ	セゾンアートプログラム・ジャーナル 7
新・作家への道標79 折元立身・遅れてきたランナー	ギャラリー(月刊)	195	巻頭特集 いまを生きたる木版画精神 風間サチコ 擬似楽園への逆襲	辺 見	版画芸術 113
			21世紀—東京の100人 菓子満さん 竜馬像を修復した鍍金家	大森 泰貴	毎 日 9. 29

直視への意志	柏原えつと む	木野評論	32	わたしの好きなもの NHKのFM放送	金沢 健一	新美術新聞	926
私にできること〜みる、きく、ふれるの探検[春日聡]	武居 利史	府中市美術館だより	4	私にできること〜みる、きく、ふれるの探検[金沢健一]	武居 利史	府中市美術館だより	4
『片岡真太郎画集—風よ』	瀧 梯三	新美術新聞	939	瞑想する静物たち、あるいは(非在の場)[金山康喜]	濱本 聰	潮流	65
片岡球子—装飾とフォークロア(上)	新明 英仁	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01	愛・文化・平和 考えよう ミサイル風船 東京の空に[金丸賀也]	池田 敦彦	朝 日	3.1
画業80年 型破りな制作続く[片岡球子]		読売夕刊	10.12	『SPIDER'S STRATEGY』金村修[写真集]	瀬戸 正人	"	2.18
土佐美術史外伝29 片木太郎	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース	31	金村修写真集『スパイダーズ・ストラテジー』		東 京	2.18
大蔵教室の作家たち 6 色と光で紡いだ日常 片桐聖子	功刀 知子	美術の窓	217	『スパイダーズ・ストラテジー』金村修の写真集刊行		毎日夕刊	2.20
“風”、“日記”そして“皮膚”へ—物質とイリュージョンの狭間—	片山 雅史	九州芸術工科大学研究年報	21	作家訪問291 陶芸作家 狩野炎立さん	編集部	目の眼	294
桂ゆき—1930〜40年代の油彩画〜状態調査の記録から〜	岡本 正康	下関市立美術館研究紀要	8	絵と人のものがたり 鎌木清方1〜4	芥川 喜好	読 売	11.11、18、25、12.2
館蔵品展から—没後10年 桂ゆきの世界	(H)	潮流	67	交遊抄 酒好きの画家[下保昭]	綿貫 民輔	日 経	1.9
追悼 菊池伶司 一人称の独白 加藤清美	辺見 イン タビュー・構成	版画芸術	112	交遊抄 真珠庵の前住職	下保 昭	"	3.8
特集：横浜トリエンナーレ2001 横浜トリエンナーレ見聞記—アートは人の為ならず	加藤 義郎	あいだ	71	『下保 昭』	(す)	読 売	5.27
第12回五島記念文化賞 美術新人賞に加藤美佳さん	(美)	新美術新聞	923	ひと 第39回朝日陶芸展でグランプリに決まった 亀井洋一郎さん	井上 隆生	朝 日	8.24
フェイス21世紀30 加藤良造	加藤 良造	"	934	LR artists enquête 美術雑誌やテレビの美術番組についてどう思いますか？	亀谷 光路	アート・マガジン(エル・アール)	24
	安田 和代 司会 ニ ファー・ア クムット、 アラフマ ヤーニ、 シ ュー リー・チェ ン、ヴァ ー シャ・ネ ール、ア マン ダ・ヘン、 ニ タヤ・ウ エ アリー ワ ラックル、 金井 良子、 嶋田 美子、 藤江 民 パネリスト	アート・マガジン(エル・アール)	24	『鴨居玲画集』	高岡 忠雄	新美術新聞	920
ウィメンズアート「越境する女たち21」展 シンポジウム「新しい時代のウィメンズアートネットワーク」				芸苑雑事記98 鴨居玲 散らかし書き	瀧 梯三	美術の窓	208
この人 兼六園の花すべてを細密写生する 金栄健介さん	松本 芳考	東 京	5.15	巻頭特集 『一千一秒物語』稲垣足穂 タルホ・オマーージュ 『一千一秒物語』と『クシー君の発明』	鴨沢 祐仁	"	211
				あける 真っ白な画布に描くあした	加山 又造	日 経	1.1
				人に優しく絵に厳しく 花鳥画貫いた松篁先生	"	"	3.13
				転機的一点 《黒い薔薇の裸婦》画家 加山又造さん	石川 健次	毎 日	8.12
				追悼 菊池伶司 切片	柄澤 齊	版画芸術	112
				静嘉堂コレクションにみる昭和初期の河井寛次郎	長谷川祥子	目の眼	295
				時のかたち 空間の詩学[河井寛次郎]	芳賀 徹	朝日夕刊	5.18

新・旧刊案内7 近代日本美術史研究の歴史を論ず[川合玉堂]	青木 茂 一寸 7									ランドアートに挑む神野八朗氏 地球規模の共感や連帯喚起	石川 健次 毎日夕刊 11.16
毎日モダンアートオークション2001 美の最先端出会いの場 出品作家は語る	長 はるこ、河合 勇作 長 是るこ、河合 勇作 石川 健次 聞き手	毎 日 7.10								鬼海弘雄写真集『しあわせ』	(キ) (前) 読 売 10.28
特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 川内朋子	川内 朋子	セゾンアートプログラム・ジャーナル 5								特集 今、仕事を頼みたい!11人のグラフィックデザイナー 菊地敦己	中島 優子 デザインの現場 118
アクリリックスワールド2 川内朋子		美術手帖 801								フェイス21世紀34 菊地武彦	高岡 忠雄 新美術新聞 947
近代美術と地図へ川上冬崖と岩橋教章へ	塚原 晃	神戸市立博物館研究紀要 17								歴史画のつくりかた 菊池容斎の『前賢故実』	塩谷 純 IS 85
平成12年度芸術選奨文部科学大臣賞に小嶋悠司氏、川久保玲さん 新人賞は野田裕示氏、坂上桂子さん	(美)	新美術新聞 926								追悼 菊池伶司 切片	柄澤 齊 版画芸術 112
イタリア留学経験者座談会「魅せられて、イタリア」	安達 博文、川崎 麻児、吉岡 正人	美術の窓 212								追悼 菊池伶司 一人称の独白 加藤清美	辺見 インタビュー・構成 " "
夢の形見に 倉俣史朗デザイン論19、最終回	川崎 和男	A X I S 89、90								公開講座収録 SAP Critical Session(2)「歴史と現在 今、20世紀日本美術史で再考すべき事柄」第1回「太平洋戦争画に見る画家フジタの魔性」	菊畑茂久馬 セゾンアートプログラム・ジャーナル 6
デザインの言葉 デザインボキャブラリーの再定義	" "	" " 93、94								一語一会 無言の闇	" 朝日夕刊 7.18
心のふるさと2 妖精の国 アイルランドを巡って	河嶋 淳司	新美術新聞 923								岸田劉生《童女図》寄贈の経緯について	酒井 忠康 神奈川県立近代美術館年報 1999年度
交遊抄 土と窯の命	川瀬 直美	日 経 1.26								岸田劉生 試論一静物・風景・人物へ所蔵油彩作品を中心に	濱本 聰 下関市立美術館研究紀要 8
土佐美術史外伝32 河田小龍	鍵岡 正謹	高知県立美術館ニュース 34								関門美術史探索ノート・番外篇(批評家)浅枝次朗と岸田劉生(上)	" 潮 流 68
アクリリックス・ワールド5 川田祐子	寺崎 誠三	美術手帖 810								美術随想 私が接した一故人の憶い出ー教育学者下程勇吉氏から学んだものー[岸田劉生]	富山 秀男 美術フォーラム21 4
特集 現代美術と美術館建築 オルタナティブな、或いは出来事としての美術館	川俣 正	現代の眼 527								《麗子十六歳之像》と岸田劉生	石井 太 ふくやま美術館研究紀要 1
巻頭対談 カフェ、アート、メディアをめぐって	今福 龍太、川俣 正志、芹沢 高志 聞き手	建築雑誌 1476								《静物(赤き林檎二個とビンと茶碗と湯呑)》についてー劉生静物画群のなかでの一考察ー[岸田劉生]	萬木 康博 " "
川俣正 アートレスな行為者	川原 英樹	美術手帖 813								ルノワール展を見て愛にあふれた女性を見る目	岸本庄八郎 東京 4.4
巳年の人 美術家川俣正さん		読売夕刊 1.4								喜多武四郎ノート	基 俊太郎 碌山美術館報 21
川村清雄「水辺の景」修復報告	渡辺 郁夫	修復研究所報告 15								『1970年代NIPPON』北井一夫写真集	日 経 10.14
河本五郎の作陶	唐澤 昌宏	陶 説 574								北井一夫写真集『1970年代NIPPON』	読 売 9.23

アクリリックス・ワールド6 北浦信一郎	編集部	美術手帖	812
パンプセストあるいは北川健次における面と線	谷川 渥	版画芸術	113
「北川民次展」に寄せて 二つの水彩画	村田 真宏	絵	437
近代大阪の日本画家と大阪の印刷・出版—北野恒富とその周辺を中心に—	橋爪 節也	鹿島美術研究	18
北野恒富の画風形成に関する一考察—明治末期の作品を中心に—	川西 由里	美術史	150
わたしの好きなもののアップルパイ	北村さゆり	新美術新聞	928
五所川原市の木戸竹石作品	林 昇太郎	北海道開拓記念館だより	31—4
木戸竹石覚書	"	北海道開拓記念館調査報告	40
トーキョーワンダーウォール 審査員長賞に鬼頭明稚氏と流麻二果さん	西澤 美子	新美術新聞	926
美術展を観る—作家の眼、作家の言葉 11、12	絹谷 幸二 中野 嘉之 藪内佐斗司	ギャラリー(月刊)	189、190
命の色、人間の心ふるわせる都イタリア	絹谷 幸二	日経夕刊	7.18
PAPER IN MY WORK79 木下勝弘	中山 真理	デザインの現場	119
この人 デザイン功労者として表彰された 木村一男さん	二川 和弘	東京	3.20
EXTENSION/MAXI GRAPHICA ブレ・シンボジウム マキシ・グラフィカが超えようとするものは…	木村 秀樹、 長尾 浩幸、 出原 司、 池垣タダヒコ 対談 松山 龍雄 司会	版画芸術	114
海外レポート オレゴン州ポートランド「Crossing Boundaries East—West Symposium in Print Art」	木村 秀樹	版画芸術	114
写真の映像と版画	"	和歌山県立近代美術館ニュース	27
前期日本美術院における木村武山の業績について	藤本 陽子	鹿島美術研究	18
青春プレイバック 木本大果 東京都世田谷区南島山自宅	常盤 茂	新美術新聞	936

対談 清水家の伝統はものづくりの自由さ	梅原 猛 清水六兵衛	美術京都	27
(ク)			
かわいいゴミ、すてきなゴミ	くさのみゆき	目の眼	298
新・作家への道標75 草間彌生・世界最前線で活躍し続ける情熱と苦悩【前編、後編】		ギャラリー(月刊)	190、191
月刊ギャラリー200号記念特集 スター誕生物語 草間彌生	五辻 通泰 大田 秀則	"	200
朝日賞に草間彌生さん		新美術新聞	917
PARIS発 草間彌生のパリ	安部 雅延	"	920
特集 イノセント対談 草間彌生×できやよい	児島やよい 司会・構成	美術手帖	800
特集 イノセント 彌生／やよい ふたつの出会い(損ね)についての Memo-Random[草間彌生]	浅田 彰	"	"
芸術をめぐる言葉99 それは一面の網目。構図も、中心も、エノグのシブキ、も、なかった。—草間彌生	谷川 渥	美術手帖	803
特集 横浜トリエンナーレ2001の歩き方 草間彌生	草間 彌生 インタビュー 松井みどり ききて	"	811
朝日賞のみなさん 草間彌生さん		朝 日	1.1
信念・洞察・独創 ここに結実 朝日賞・大佛次郎賞 七氏のスピーチ「誇れる日本」へ改革を草間彌生氏 前衛芸術家		"	1.31
この人 ミラーボール2000個を横浜港に浮かべた美術家 草間彌生さん		東京	9.11
大波小波 草間彌生の偉業		東京夕刊	1.19
対談・愛とアートと並木通り	草間 彌生 山口小夜子 対談	日経夕刊	12.6
転機的一点《集積No.1》前衛美術家 草間彌生さん	石川 健次	毎日	8.5
作家訪問297 ガラス作家 久都間美砂子さん	編集部	目の眼	300
時を超えて	國安 孝昌	筑波大学芸術研究報告	36

平成13年定期刊行物所載文献(近/作ク、コ)

焼土によるインスタレーションの制作について4(手の入った自然について)	國安 孝昌	筑波大学芸術年報	2000	土曜訪問「生命の原理、共生の思想」を訴える 建築家・黒川紀章さん	井上 昇治	東京夕刊	1.6
《乳しぼりの女》1923年 国吉康雄(1889—1953)	安來 正博	国立国際美術館月報	100	日本文化デザインフォーラムの未来「映像新時代」をひらく 黒川紀章さん		毎日	3.18
特集1 アートインング東京2000:16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 窪田美樹	窪田 美樹	セゾンアートプログラム・ジャーナル	5	黒崎彰の新・版画講座11、12	黒崎 彰	版画芸術	113、114
村野藤吾賞に隈研吾氏 馬頭町広重美術館設計で		毎日夕刊	4.16	森嶋外ゆかりの作家2 黒田清輝	川西 由里	島根県芸術文化センター(仮称)準備ニュース	5
ひと 隈研吾さん 都市の建築に成果生かしたい		読売夕刊	6.8	黒田清輝「昔語り下絵(僧)」修復報告及び調査結果	増田 久美 宮田 順一	修復研究所報告	15
絵と人のものがたり 熊谷守一1〜4	芥川 喜好	読 売	5.27、6.3、10、17	日本人の足跡48 パリに咲いた画才1 黒田清輝	生田 誠	産 経	3.4
熊倉順吉「伝統」との対峙	三浦 弘子	陶 説	574	特集 今、仕事を頼みたい! 11人のグラフィックデザイナー 黒田益朗	渡部 千春	デザインの現場	118
土曜訪問 卒寿を迎えた日本のプチ・ファール 熊田千佳慕さん	菊島 大	東京夕刊	9.22	(コ)			
公開講座収録 SAP Critical Session(2)「歴史と現在 今、20世紀日本美術史で再考すべき事柄」第2回「アヴァンギャルドと接触する—久米民十郎を中心に」	五十殿利治	セゾンアートプログラム・ジャーナル	6	新・作家への道標76 小泉淳作・信念を貫く画家の晩成		ギャラリー(月刊)	192
絵は風景 鞍掛徳磨「老母」	芥川 喜好	読 売	2.4	季評【舞台】(芸術教育)へのヒント 小出楯重『油絵新技法』の示唆	太田 省吾	武蔵野美術	119
夢の形見に 倉俣史朗デザイン論19 ビュー・ポイントにある、「ミス・ブランチ」を思い出すバラのシンボル性の「生」と「死」が語ること	川崎 和男	A X I S	89	芸術家Mの社会見学 小出楯重と佐伯祐三	森村 泰昌	毎日夕刊	3.29
夢の形見に 倉俣史朗デザイン論最終回 大きな物語・イストワールの終章 永久の眠りのための、ベッドのための物語				転機的一点《暮色白梅》画家 郷倉和子さん	石川 健次	毎 日	1.28
『栗林慧全仕事』[写真集]		東 京	5.20	北溟漁史武田忠臣君肖像[山本芳翠画、合田清刻]	丹尾 安典	一 寸	5
『栗林慧全仕事』[写真集]	(前)	読 売	8.5	フェイス21世紀26 古賀郁	常盤 茂	新美術新聞	923
俳諧巷記から7—始めることの論理[栗原一成]	千葉 成夫	アート・マガジン(エル・アール)	24	研究報告 古賀春江関連記事目次(1957年—1990年)	後藤 純子	石橋美術館館報	48
わが街わが友	黒川 紀章	東 京	10.18、22、26、31	古賀春江の作品に見るグラフィズム	中山 公子	鹿島美術研究	18
				追悼特集 伊藤清永氏を偲ぶ 暖かい慈父の手	小島 俊男	新美術新聞	931
				PAPER IN MY WORK77 小島利之	中島 優子	デザインの現場	117
				平成12年度芸術選奨 文部科学大臣賞に小嶋悠司氏、川久保玲さん 新人賞は野田裕示氏、坂上桂子さん	(美)	新美術新聞	926
				斎藤義重先生を悼む	小清水 漸	読売夕刊	6.15

研究発表(要約) 五 姓田義松の一八八一 年サロン初入選	吉川 節子	近代画説	10	私が出会ったこの一 冊 三国志	駒形 克己	朝 日	11.11
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 小 瀬村真実	小瀬村真実	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	7	小松均の人生とその 芸術の展開	田中日佐夫	視 る	397
特集 今、仕事を頼 みたい! 11人のグラ フィックデザイナー 古平正義	中島 優子	デザインの 現場	118	小松さんの思い出 [小松均]	山口伊太郎	" "	
作家の現在	児玉 靖枝 イン ビュー	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	7	小松崎茂氏を悼んで 描き続けた「少年の 夢」		朝 日	12.9
インタビュー 佐藤 真監督 写真家・牛 腸茂雄の不在を撮る		芸術新潮	617	小松崎茂先生を悼む 壮絶に生きて描いて	根本 圭助	読売夕刊	12.14
牛腸茂雄という写真 家の仕事「死者た ちの声」が聞こえる	飯沢耕太郎	読売夕刊	5.17	江戸小紋の人間国宝 小宮康孝さん	小平 百恵	毎 日	10.4
製作ノート 「文字 でない」部分のデザ イン 欧文本文書体 の設計	小林 章	武蔵野美 術	120	ひとつこと コヤナギ 喜美子さん 「おも ちゃではなく彫刻と しての人形」		朝日夕刊	1.25
江戸博蔵めぐり 新 橋ステーション 小 林清親画	江里口友子	読 売	9.21	故小山敬三氏のアト リエ故郷へ移築され る	(常)	新美術新 聞	937
転機的一点 《蘇生 の刻 S63—12》版画 家 小林敬生さん	石川 健次	毎 日	9.2	洋画家・故小山敬三 氏のアトリエ 故郷 長野へ移築 美術館 と隣接・公開へ		朝 日	8.19
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 小 林耕平	小林 耕平	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	7	特集 生誕100年 小山富士夫の人と作 陶 小山富士夫の陶 磁の世界	弓場 紀知	目 の 眼	292
特集 名品/巨匠? —日本美術史におけ る規範形成 《清姫》 考 小林古径の評価 をめぐって	加藤 類子	美 術 フォー ム21	4	特集 生誕100年 小山富士夫の人と作 陶 父古山子の作陶	小山 岑一	" "	
蚯蚓の眩22~33 敬 亭山	小林 東五	目 の 眼	292~303	LR artists enquête 美術雑誌やテレビの 美術番組についてど う思いますか?	小山穂太郎	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 小 林晴夫	小林 晴夫	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	7	アクリリックスワー ルド3 紺泉		美術手帖	805
新たな存在を宣言 するタイトル—小林 正人の《絵画=空》を めぐって	保坂健二朗	現代の眼	526	(サ)			
小林待子論—日本陶 磁協会賞受賞に際し て	金子 賢治	陶 説	580	わたしの好きなもの ヨークシャーの B& B	斉藤 典彦	新美術新 聞	923
小林万吾「門付」修復 報告	伊藤 由美	修復研究 所報告	15	斎藤義重を音のない 拍手で送った	関根 伸夫	あ い だ	70
試される平和 日本 画家小林豊さん		東 京	12.12	追悼 斎藤義重さん が次代に託した課題	千葉 成夫	新美術新 聞	933
				追悼 斎藤義重	柏木 智雄	美術の窓	215
				悼む 造形作家 斎 藤義重さん	田中 三蔵	朝日夕刊	6.14
				現代美術の草分け 斎藤義重さんをしの ぶ	中村 英樹	東京夕刊	6.15
				「私には自分の形態 などない」流動自 在に挑んだ斎藤義重 を悼む	針生 一郎	毎日夕刊	6.18
				斎藤義重先生を悼む	小清水 漸	読売夕刊	6.15
				斎藤与里 幻の絵画 発見[木蔭]		"	9.4
				ゆるやかなとき 斎 藤亮一著		日 経	7.8

九つの音色展 個として、 強固な集合体として	大樋年雄、 佐伯守美、 須田堅司、 田口義明、 中島宗晴、 福王寺一 彦、 藤田潤、 三田村有 純、 宮田亮平 対談 諸山司会	新美術新聞	929	悲劇のビル心に刻む 輝き	佐藤 秀明	日 経	9.20
佐伯祐三の死—最後の 「診断書」	朝日 晃	絵	439	佐藤正明論序 現代 作家研究としての美 術史的解釈の意義	守屋 正彦	日本美術 研究	1
特集 奈良美智読本 視線のない自画像 奈良美智と佐伯祐三 の《立てる自画像》	和田 浩一	美術手帖	813	好奇心のカンフル剤	里中満智子	国立博物 館ニュー ス	645
日本人の足跡51 パ リに咲いた画才4 佐伯祐三	生田 誠	産 経	3.7	絵本作家 佐野洋子 の原点：『おじさん のかさ』における「執 着からの開放」の考 察	宮内ちづる	ふくやま 美術館研 究 紀 要	1
芸術家Mの社会見学 小出橋重と佐伯祐三	森村 泰昌	毎日夕刊	3.29	LR artists enquête 美術雑誌やテレビの 美術番組についてど う思いますか？	澤田 知子	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
至高の一点 国宝醍 醐寺展から 理趣経	榊 莫山	日経夕刊	4.18	(シ)			
人間発見 我ヒトリ 横行1〜5	榊 莫山 弘之 聞き手	"	10.22〜 26	アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 謝 琳(シェリン)	謝 琳	セゾン アートブ ログラ ム・ ジャーナ ル	7
空間の思考2 日常 性と世界性 坂本一 成の「House SA」と 「Hut T」	多木 浩二	ユリイカ	452	向う三軒両隣 神奈 川横丁52 塩川高敏 浮遊する心象	武田 厚	美術の窓	217
技法講座26 櫻井孝 美 富士山と太陽を 描く	櫻井 孝美	美術の窓	210	現代作家紹介 《形 而上学的な薔薇》 塩崎敬子の世界	神林 恒道	美 術 フォーラ ム21	4
佐々木象堂作《鑄銅 色絵鸚哥置物》の表 面処理について	藤田 裕彦	新潟県立 近代美術 館研究紀 要	4	アトリエの扉をあけ て39 塩田雅紀	橋本 麻里	デザイン の現場	118
「泳ぐ豚」	佐々木 豊	明星大学 研究紀要	9	緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議6 獅子倉 シン ジ× LOCO		美術手帖	798
会いたい人見たい版 画 佐竹邦子 元氣 を運ぶ風	秋 田	版画芸術	112	公開講座収録 SAP Critical Session(2) 「歴史と現在 今、 20世紀日本美術史で 再考すべき事柄」 第3回「実験工房と 半世紀間の展開」	山口 勝弘	セゾン アートブ ログラ ム・ ジャーナ ル	6
佐藤虹二写真集刊行	松村 明	毎日夕刊	8.13	Interview 篠田太郎	斎藤 一典 聞き手	e t c .	34
佐藤孝三写真集『エ ベレスト山群』	(前)	読 売	12.9	88歳墨と生きる 篠 田桃紅さん	河合真美江	朝日夕刊	6.25
Artist Interview51 佐藤譲二	池上ちかこ	デザインの 現場	118	墨のつぶやき1〜6	篠田 桃紅	東京夕刊	5.28〜 6.2
Oguiss を語ろう一 生誕100年記念 荻 須高德展 「枯れた 花」70年制作	佐藤 忠良	朝 日	5.26	知・求・人 篠田桃 紅さん—美術家	大島 三緒	日経夕刊	11.26
観察力・想像力が危 ない	佐藤 忠良 吉原佐紀子 構成	"	7.21	転機的一点 《無題》 画家 篠田桃紅さん	石川 健次	毎 日	2.11
私の好きなもの 岩 ガキ	佐藤 時啓	新美術新聞	934	篠田桃紅さんが制作 実演	"	毎日夕刊	3.22
LR artists enquête 二〇〇一年にあなた が行ってみたい場所 を教えてください	佐藤 智明	アート・ マガジン (エル・ アール)	23	緊急特集 米国同時 テロ WTCは人々 の心の支え	篠原有司男	新美術新聞	941
				人間発見 アートは 激突だ！1〜5	篠原有司男 芦田 富雄 聞き手	日経夕刊	8.20〜24

『篠山紀信版源氏物語 太秦映画・千年の恋』篠山紀信、吉永小百合	嵐山光三郎	朝 日	11. 11
画家バルテュスとの出会いと別れ 厳肅な少女との密議	篠山 紀信	朝日夕刊	3. 1
旅の絵師・司馬江漢銅・石版画遺聞5	森 登 一	寸 5	
書架 洋画家芝田米三さん	丸橋 茂幸	産 経	5. 21
大藪教室の作家たち 2 普遍性を目指して 澁澤卿	高山 淳	美術の窓	212
版画再考「Press」の試み「版画」とは何か—Pressの活動の意義—	渋谷 和良 林 孝彦 山口 啓介 秋 田 構成	版画芸術	112
益子の人間国宝・島岡達三—その眼と手—4	大滝 幹夫	陶 説	574
出逢う器	島田 敦夫	明星大学 研究紀要	9
ウィメンズアート「越境する女たち21」展 シンポジウム「新しい時代のウィメンズアートネットワーク」	安田 和代 司会 ニ ロ ファー・ア クムット、 アラフマ ヤーニ、 シ ユー リー・チェ ン、ヴァー シャ・ネー ル、アマン ダ・ヘン、 ニタヤ・ウ エアリーワ ラックル、 金井 良子、 嶋田 美子、 藤江 民 パネリスト	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
特集 横浜トリエンナーレ2001の歩き方 ヨコハマ港町物語 其の式 島袋道浩	片岡 真実	美術手帖	811
現代美術の寵児・島袋道浩 理性を脱ぎゆうさせる作品	(若)	朝日夕刊	6. 23
絵は風景 清水伸「いつの世までも」	芥川 喜好	読 売	2. 11
特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 怪物の視点 清水崇『4444444444』の演出プランより	齋藤 魁	武蔵野美術	119
彫金家清水南山の工芸観—作品批評の再検討—	中野 政樹	ふくやま 美術館研 究紀要	1
作家訪問295 陶芸作家 清水真由美さん	編 集 部	目の眼	298

チャオ! 期待のイタリヤ2001年 下 洋	渋谷 和彦	産経夕刊	5. 24
画家志村節子さん	志村ふくみ	日 経	12. 2
時代の刻印	高岡 忠雄	新美術新聞	939
青春プレイバック 下田義寛 東京・新橋演舞場		読 売	4. 27
日本画家が描く霧包むセーヌ川 下田義寛さん画文集出版	丹尾 安典 志 郎 編	早稲田大 学津八 一記念博 物館研究 紀要	2
大観・観山合作《明暗》および早稲田大学旧図書館建築基礎資料集[下村観山]	高岡 忠雄	新美術新聞	917
青春プレイバック 庄司栄吉 大阪市中央区心斎橋筋(赤松洋画研究所跡)	庄司 正	東京夕刊	7. 21
土曜訪問 漫画家・東海林さだおさん 漫画家協会大賞に照れるショージ君	白井 廣美	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
LR artists enquête 美術雑誌やテレビの美術番組についてどう思いますか?	平井 章一	ピロティ	120
白髪一雄の〈水滸伝シリーズ〉—明らかにしたその全容—	石川 健次	毎 日	8. 19
転機的一点 《作品1》画家 白髪一雄さん	白髪 一雄 高野 清見 聞き手	読売夕刊	6. 30
生老病死の旅路 得度して絵に迷いなし	白川 昌生	アート・ マガジン (エル・ アール)	23, 24
市場と美術をめぐる問題 第五部、第六部	"	あ い だ	63
《アンケート》富山近美事件はもう終わったのか?	"	"	65
貴賓席 西村論文を読んで	"	東 京	3. 4
白川義員作品集『世界百名山I』	塩野 栄	"	8. 25
この人 白川義員さん 写真家として初めて作品が国連記念切手に		東京夕刊	9. 6
自著を語る 『白川義員作品集 世界百名山II巻』白川義員さん	(矢)	読 売	7. 8
『白川義員作品集 世界百名山I』	高野 清見	"	8. 7
顔「世界百名山」の写真が国連の記念切手に採用される 白川義員さん	常盤 茂	新美術新聞	915
青春プレイバック 白根光夫 東京都渋谷区立猿樂小学校			

辻惟雄学長×しりあ がり寿氏 対談	辻 惟雄 しりあがり 寿 対談	た ま び	23	青春プレイバック 杉岡華邨 奈良市東 大寺二月堂	常盤 茂	新美術新 聞	926
クリス・オフィリ ウンコ、コードモ、オ フィリ。	しりあがり 寿	美術手帖	808	Interview 杉本拓 斎藤 一典 聞き手	e t c .		29
第5回手塚治虫文化 賞 優秀賞 弥次喜 多 in DEEP しり あがり寿	"	朝 日	6.1	新・作家への道標77 杉本博司・自意識・ 時間・アートの三位 一体		ギ ャ ラ リー(月 刊)	193
無人島で展覧会 風 の彫刻、嵐に舞った 私	新宮 晋	朝日夕刊	1.30	杉本博司が能舞台に 挑戦!	藤森 愛実	美術手帖	813
彫刻家 新宮晋 ウインドキャラバン 〜地球観測の旅	渋谷 和彦	産 経	1.21	杉本博司氏にハッセル ブラッド国際写真真 賞		毎日々刊	4.2
“風の彫刻家”新宮晋 講演 自然と合い、 人に触れた	"	"	10.7	顔 ハッセルブラッド 国際写真真賞に選ば れた 杉本博司さん	高野 清見	読 売	6.22
交遊抄 地球の裏側 の友	新宮 晋	日 経	1.12	日本の原風景を描く 杉山八郎さん	清水 忠彦	毎 日	3.15
新宮晋「ウインド キャラバン」	吉田 俊宏	"	5.13	緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議1 ジュリアン・オビー ×ヒロ杉山	川出 絵里 訳	美術手帖	798
水からの贈りもの十 選 1〜10	新宮 晋	"	11.13〜 15、19〜 23、26、 27	LR artists enquête 美術雑誌やテレビの 美術番組についてど う思いますか?	祐成 政徳	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
(ス)				鈴木治氏追悼		陶 説	581
渡欧日記(続)	吹田 草牧	視 る	393, 398	鈴木治の遺したもの の「前衛」の陶芸の 虚と実	金子 賢治	目 の 眼	298
フェイス21世紀27 末永敏明	高岡 忠雄	新美術新 聞	926	悼「せん」[鈴木治]	山田 光	" "	"
現代作家紹介「単 純さ」を理解する ケンブリッジでの菅 木志雄	サイモン・ グルーム 三輪 健仁 訳	美術 フォーラ ム21	5	悼む 陶芸家 鈴木 治さん	井上 隆生	朝日夕刊	4.23
「モノ派」に深まる理 解 ケンブリッジで 展覧会 開催地の知的 雰囲気 思考的側 面とマッチ	菅 木志雄	読売夕刊	6.21	陶芸家鈴木治 あら ためてその前衛性 について	金子 賢治	東京夕刊	5.17
LR artists enquête 二〇〇一年にあなた が行ってみたい場所 を教えてください	菅野 泰史	アート・ マガジン (エル・ アール)	23	文化往来「走泥社」 後の鈴木治、新たな 創造半ばの死		日 経	4.11
特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術と そのゆくえ 菅原健 彦	菅原 健彦	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	5	オブジェで陶芸を革 新 鈴木治さんをし のぶ	木村 重信	毎日々刊	4.12
絵は風景 菅原健彦 「糸桜」	芥川 喜好	読 売	3.18	横山隆一さんを悼む	鈴木 義一 談	読売夕刊	11.8
杉浦WORLD 杉浦 康平のブックデザイ ン3上、下	杉浦 康平 談 安達 史人、 白田 捷治 インタビュー	武蔵野美 術	119, 120	私のとおっておき 画 家スズキコージさん 拾った木箱に絵を描 いた	小野 一馬	読 売	12.17
現役漫画家杉浦幸雄 さん 青年誌連載 900回達成	馬場 秀司	朝 日	2.7	向う三軒両隣 神奈 川横丁44 鈴木竹柏 心象と造形の調和	武田 厚	美術の窓	208
				特集 明治が生んだ ジャバニーズアート 近代日本が目指した 美術工芸 抱民・東 谷・光雲の作品に迫 る 神業の美[鈴木東 谷]	藤澤 繁	目 の 眼	301
				作家訪問289 陶芸 家 鈴木真由美さん	編 集 部	"	292

アートイング東京 2001—生きられた空間・身体 鈴木理策	鈴木 理策	セゾン アートプログラム・ ジャーナル	7	特集 VIVA! 肉体表現主義!!!! イチ押し異臭アート・パフォーマンス大紹介!!!	スメリー	"	"	
	大樋年雄、佐伯守美、須田堅司、田口義明、中島宗皓、福王寺一彦、藤田潤、三田村有純、田亮平、宮田正則、対談諸山司会	新美術新聞	929	技法講座27 諏訪敦 テンペラと油彩の混合技法による裸体画《前編、後編》	諏訪 敦	美術の窓	211、212	
九つの音色展 個として、強固な集合体として				諏訪直樹《波濤図》の成り立ちにかんするノート—二重の他者	北澤 憲昭	にいくら	6	
				(セ)				
				サラリーマンプラザ「根付け」製作、遊び心彫り込む [関孝幸]		日 経	7.22	
中村彝賞に須田寿氏 高い評価「重厚で生命力あふれた作品」	(美)	"	918	特集グッズデザイン セキユリヲ サルビアという名の雑貨屋さん	大城 譲司	デザインの現場	117	
日 影 眩の360°の ニューヨーク86 テロ 攻撃ではない虫けらの 一刺し—カラ・ウォーカー展と砂入 博史展	日影 眩	ギャラリー (月刊)	199	顔 パリの「サロン・ドートンヌ」に 出展した最高齢画家 関口俊吾さん	池村 俊郎	読 売	11.27	
新美術時評 砂澤 ビッキの世界	柴橋 伴夫	新美術新聞	921	斎藤義重を音のない 拍手で送った	関根 伸夫	あ い だ	70	
家族のこと話そう 鷺見鷹さん 絵かき への道、築いてくれた父	鷺見鷹 昇治 井上 聞き手	東 京	12.15	空間の思考4 ノイズ レス・ワールド 妹島和世『岐阜県 営住宅ハイタウン北方 南ブロック妹島棟』	多木 浩二	ユリイカ	454	
そりのあるかたち 澄川喜一	澄川 喜一 酒井 忠康 対談	新美術新聞	935	『爪』石内都著	瀬戸 正人	朝 日	1.14	
折節のき	澄川 喜一	"	"	『農村から』瀬戸正人 (写真家)	"	"	3.18	
おおらかな人柄自由 な発想 [澄川喜一]	樋口廉太郎	"	"	地球の顔21 パンコ ク	"	読売夕刊	12.8	
シンプルな中にみな ぎる力 [澄川喜一]	森 英恵	"	"	絵は風景 瀬本容子 「たてあや空の朝」	芥川 喜好	読 売	1.28	
天神坐像 天神さま の美術展 菅原道真 没後千百年	澄川 喜一	東京夕刊	7.19	芹沢銈介の作る世界 素朴な椅子達に囲まれて	芹沢 長介	目 の 眼	302	
転機のあるかたち—1— 彫刻家 澄川喜一さん	石川 健次	毎 日	3.18	1960年代日本のパ フォーマンス研究 I—文化としての 「ゼロ次元」・序論— への走り書き	黒田 雷児	鹿島美術 研究	18	
緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議4 長島友里枝×岡崎太 威(スメリー)	下郷 亜紀	美術手帖	798	横穴墳から外界切り “撮る” 生と死の境 界の浮遊感、写真で 伝える	善財 一 日 経	6.14		
特集 VIVA! 肉体 表現主義!!!! ボ ディ・イシュー拡張 版1 RIZE×スメリー	長島有里枝 撮影	"	805	緊急特集 米国同時 テロ 問われる現代 アートの真価	千住 博	新美術新聞	941	
特集 VIVA! 肉体 表現主義!!!! ボ ディ・イシュー拡張 版2 ピエール瀧× スメリー	長島有里枝 撮影 紫牟田伸子 取材・文	"	"	テロがアートに与えた もの 真価を問わ れる現代芸術	"	産経夕刊	10.6	
				手加減の世界	千田 堅吉	Tradition Creatrice (日本文化藝術財 団ニュースレター— 創造する伝統)	11	

(v)

未来圏の調律者²⁷ 石川 翠 e t c . 28
蘭部雄作(後)

(夕)

21世紀—東京の100
人 高岡洋介さん
巨大壁画で平和と友
愛訴え

大森 泰貴 毎 日 11.15

「ナンシー派展」と高井土 誠 潮流 68
島北海

「炎展」の魅力について
高瀬 善明
井 健二
美術の窓 214

街の風 聖俗渾然の 高梨 豊 朝日夕刊 4.14

発見！大家を予感さ
 せた蒔絵刀掛 学生
 高野松山が挑んだ意
 欲作

吉川 秀樹 目の眼 301

作家訪問296 織物 編集部 " 299
作家 高橋香織さん

顔 仏政府から壁画
修復でレジオン・ド
ヌール勲章を贈られ
た 高橋久雄さん

本間 圭一 読 売 5.23

私の出会ったイタリ
ア美術十選 1~10 高橋 秀 日 経

5. 8、 9、
11、 14、
15、 17、
18、 21、
22、 24

「20世紀イタリア美術」展から（上、中、下）	”	”	10. 31 11. 2	～
------------------------	---	---	-----------------	---

〈色絵磁器〉色絵磁器 高橋 紘 明星大学 9
の金彩と銀彩 研究紀要

高橋由一「下総国野
手村に裏塚真景図」
修復報告及び調査結
果

村松
宮田

裕美
順一

修復研究
所報告

15

朝 日 4.16

絵描き共の変てこり
んなあれこれの前説
18~21 補足・承前
「高松次郎」

今泉 省彦 あいだ 67、69~
71

千術紀 蓮美研究 採葉館要 佐敏 明哲 英也 中峰建勲 原昌談科合 峯建勲 鼎藁司

わたしとおかあさん 高松 伸 毎 日 2.21

「詩人の絵画 川柳人としての筭牛人」 2—絵は願いをかくもの川柳は願いを唄うもの—	野島 清治	富山新聞 富山美術館報	山市記念館 山記館	10
--	-------	----------------	--------------	----

特集 明治が生んだ
ジャパニーズアート
近代日本が目指したら
美術工芸 置物から
彫刻へ 高村光雲
《老猿》の場をめぐつ
て

志邨 匠子 目の眼 301

特集 明治が生んだ
ジャパニーズアート
近代日本が目指した
美術工芸 抱民・東
谷・光雲の作品に迫
る 神業の美 [高村光
雲]

藤澤 繁 “ ”

芸苑雄事記108 青
森三題 宇一館、県
展、正夫白寿展[鷹 瀧 悌三 美術の窓 218
山宇一]

高山辰雄「湯泉」修復
報告

後藤 八郎

修復研究
所報告

15

追悼特集 伊藤清永
氏を偲ぶ 絵画的な
深い意欲を持った人

高山 辰雄

新聞美術新 931

人間を描く一日月星 高山辰雄展2001 高山辰雄 辰雄世基 939

聖性の皮膚感—小さな所見[高山辰雄] 松永 伍一 “ ”

特集1 高山辰雄の 高山 辰雄
2001日月星辰展 編 健二 美術の窓 217
集長対談 高山辰雄 対談

画家が語る アミー 高山 辰雄 " "

芸苑雜事記109 小
川敏夫忌、日月星 瀧 悌三 219
辰、忠彦展贊[高山
辰雄]

転機の一点 《たべる》画家 高山辰雄 石川 健次 毎日 7.15
さん

天理ビエンナーレ
2001 大賞に滝口文
吾氏の油彩画

「埋もれ木」を彫刻に
地元で展示、作品集
も・北海道・阿寒湖
の瀧口政満さん

朝 日 6.27

瀧口政満彫刻作品集
『樹のなかの音』 東京 6.10

雄、美、司、明、皓、一
年守堅義宗寺潤村有亮平正則

樋伯田口島王福藤三純田談山會
大佐須田中福藤三純田談山會
對諸司

個と集合体

音色展
強固な

九つの音として

新美術新聞 929

新・作家への道標83 田窪恭治・さすらい の渡り職人		ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	199	田名網敬一『BLOW UP』	仲世古佳伸	瓜生通信	19
武井武雄のお洒落な 動物たち(二)	鈴木すゞ江	青山学院 女子短期 大学紀要	55	Artist Interview 1 田中敦子		美術手帖	808
お札博士スタールの 記5 古本歩き・横 浜の巻VI[竹内久一]	山田 俊幸	一 寸	6	あとがきのあと わ れらデザインの時代表 田中一光氏		日 経	4.8
ものを作品として見 せること	竹岡 雄二	国立国際 美術館月 報	110	自著を語る『絵の なかの魂 評伝・田 中一村』湯原かの子 さん	湯原かの子	東京夕刊	11.8
Interview 竹崎和征	斎藤 一典 聞き手	e t c .	32	新発見の異版「冬虫 夏草」二種[田中恭 吉]	山田 俊幸	一 寸	8
巻頭特集 いまを生 きる木版画精神・竹 崎勝代 つつみこむ かたち	辺 見	版画芸術	113	書評 「田中恭吉展」 カタログ	田中 淳	美術史	150
武田花『SEASIDE BOUND』[写真集]	大竹 昭子	朝 日	8.19	Review[田中功起]	斎藤 一典	e t c .	29、30
武田花写真集『SEA- SIDE BOUND』	(前)	読 売	7.29	アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 田 中功起	田中 功起	セゾ ン アート プ ロ グ ラ ム・ ジャー ナル	7
はてな?おもしろ浮 世絵179、184[竹久 夢二]	中右 瑛	目 の 眼	295、300	《マイナー・アート A.B.C.》1968年 田 中信太郎(1940—)	中井 康之	国立国際 美術館月 報	103
名作散歩 竹久夢二 作詞・多忠亮作曲 宵待草	阿部 孝子	東 京	7.29	ネオ・ダダのころ	田中信太郎	"	108
学校と私 頭の中は 漫画のあらすじ	竹宮 恵子 談 五十嵐英美 聞き手	毎 日	3.19	《点・線・面》1968 田中信太郎(1940—)	中井 康之	"	"
竹村猛児—或る小児 科医の版画—	岩切信一郎	一 寸	6	向う三軒両隣 神奈 川横丁47 田中稔之 「円」という絵画の あ・うん	武田 厚	美術の窓	211
私のいる風景 竹谷 隆之さん	石田 汗太	読売夕刊	6.9	「ウィーン、生活と 美術 一八七三— 一九八三」展ノート— 田中松太郎について	山村 仁志	府中市美 術館研究 紀要	5
特集 オブ・アートの 快感 多田美波	多田 美波	美術手帖	808	転機の一点 《無題 No. 95—1985》彫刻 家 田中米吉さん	石川 健次	毎 日	4.1
転機の一点 《究》彫 刻家 多田美波さん	石川 健次	毎 日	3.4	田辺光彰の「野生稲」 三部作大阪法善寺前 に出現 社会における 美術家の役割	藤嶋 俊會	新美術新 聞	925
新世紀のスタート 日展は今	山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 池山 阿有 上田 久利 宮里 明人 石川 充宏 立川 善治 高木 聖雨 横山 煌平 寺坂 公雄	日 展 ニュース	102	特集 没後20年記念 谷内六郎 いつか見 た夢 子守しながら 筆をとる家庭の谷内 六郎	谷内 達子	芸術新潮	617
装幀異聞記4 画家 の仕事[建石修志]	白田 捷治	デザインの 現場	115	特集 没後20年記念 谷内六郎 いつか見 た夢 頭の中の「引 き出し」「週刊新 潮」担当者が見た谷 内六郎	鈴木 文武	"	"
巻頭特集 『一千一 秒物語』稲垣足穂 タルホの本を彩る装 幀家たち 河出文庫 の装画・装幀建石修 志氏にきく	建石 修志	美術の窓	211	特集 没後20年記念 谷内六郎 いつか見 た夢 シュールレア リスト谷内六郎	橋本 治	"	"
美術館と画廊のこと	建畠 覚造	国立国際 美術館月 報	106		"	"	"

平成13年定期刊行物所載文献(近/作タヘツ)

詩 中原中也・谷内
六郎 新世代へ注ぐ
「詩の光」 池井 昌樹 読売夕刊 5.21

ALBUM私の先生
写真家 田沼武能さん 林 栄太郎 読 売 3.5

Special Report 「キ
リン アートアワード」の10年 キリン
アワード10周年おめでとう1 東 芋 美術手帖 806

仏に拠点 美術家・
田原桂一をレポート 三宅 理一 産 経 2.4

永平寺・不老閣 襖
絵にかける思いと、
日本画の継承 田淵 俊夫 アー ト
トップ 181

地球の顔21 パリ 田淵 安一 読売夕刊 7.14

特集 今、仕事を頼
みたい！11人のグラ
フィックデザイナー
ダブルオーエイト 小林 玉紀 デザイン
の現場 118

モダニズムとメカニ
ズム(承前)一玉村善
之助とその周辺一 五十殿利治 芸 叢 17

放射線 玉村 豊男 東京夕刊 1.13、20、
2.3、10、
17、24、
3.3、10、
17、24、
14、21、
28、5.12、
19、26、
6.2、9、
16、23、30

安田火災美術財団選
抜奨励展 秀作賞
多見谷恭子氏「ファ
ントム ペイン」 多見谷恭子 産経夕刊 3.21

ダムタイプ/memo-
randum ふたつの
メモランダム 熊倉 敬聡 美術手帖 800

[作品研究]田村彰英
《午後》について 増田 玲 現代の眼 530

太郎千恵蔵 本江 邦夫 美術手帖 810

われ発見せり GAP
とエイリアン 太郎千恵蔵 ユリイカ 444

特集 日本現代美術
最前線 村上隆vs奈
良美智 イマージュ
の倫理学 二一世紀
の絵画のために " " 453

(チ)

会いたい人見たい版
画 千葉実 生痕化
石—今を化石にする 秋 田 版画芸術 113

毎日モダンアート
オークション2001
美の最先端出会いの
場 出品作家は語る 長 はるこ
河合 勇作
談 石川 健次
聞き手 毎 日 7.10

鳥海青児の卒業証書
みつかる 前田寛
治、松本竣介、藤田
嗣治の検証事項と併
せて 笹木 繁男 新美術新
聞 931

交遊抄 壺と人生
[沈寿官] 松下 忠洋 日 経 12.19

(ツ)

青春プレイバック
司修 東京都小平市
立上水公園ギャラ
リー青い鳥 林 茂樹 新美術新
聞 931

巻頭特集 『一千一
秒物語』稲垣足穂
タルホ・オマージュ
他の時空への変換装
置 塚本 聡 美術の窓 211

つげ義春の草稿の紹
介と完成作品との相
違点に関する考察—
「必殺するめ固め」を
中心に、登場人物の
表現について一 細 萱 敦 川崎市市
民ミュージアム紀
要 13

特集1 アートイン
グ東京2000:16×16
現在進行形の美術と
そのゆくえ 津田亜
紀子 津田亜紀子 セゾン
アートブ
ログラ
ム・
ジャー
ナル 5

(財)佐渡博物館所蔵
の土田麦僊写生帖の
調査について 横山 秀樹 新潟県立
近代美術館研究
要 4

平成十二年支部例会
研究発表要旨 土田
麦僊 初期の作品に
ついて 上田 文 美術史 150

土田麦僊 初期の作
品について " " 151

双子の美術史1 土田ヒロミ IS 85

土田ヒロミ写真集
『THE BERLIN
WALL』 大竹 昭子 朝 日 9.23

土田ヒロミ写真集
『THE BERLIN
WALL』 " 日 経 9.16

土田ヒロミ写真集
『ベルリンウォール』 (前) 読 売 10.14

転機 の 一 点 《門
VII-b》彫 刻 家 土
谷武さん 石川 健次 毎 日 9.16

顔 東京空襲犠牲者
の追悼モニュメント
をデザインした 土
屋公雄さん 宮崎 真 読 売 3.10

芸術の未来時制 土
谷豊 自律とコミュニ
ケーション1~3 園江光太郎 e t c . 32~34

特集 横浜トリエン
ナーレ2001の歩き方
メイキングオブハマ
トリ 都築響一 嘉藤 笑子 美術手帖 811

都築 響一『ROAD-SIDE JAPAN 珍日本紀行 東日本編・西日本編』[写真集]

榎木 野衣 朝 日 2.4

新・作家への道標81 椿昇・幸せを招く破壊工作員

ギャラリー(月刊) 197

緊急対談・座談会スペシャル 新世紀アーティスト会議3 椿昇×津村耕佑

紫牟田伸子 美術手帖 798

特集 横浜トリエンナーレ2001の歩き方メイキングオブハマトリ 椿昇+室井尚

白坂 ゆり " 811

ホテルに巨大バッタ出現!? 「横浜トリエンナーレ」アートプラン進行中 椿昇・室井尚共同作品

渋谷 和彦 産 経 7.22

転機の一点 《歡樂の木の実》陶芸家 坪井明日香さん

石川 健次 毎 日 8.26

緊急対談・座談会スペシャル 新世紀アーティスト会議3 椿昇×津村耕佑

紫牟田伸子 美術手帖 798

(テ)

総特集 宮崎駿[千と千尋の神隠し]の世界 「これはあたし?」

D ユリイカ 451

特集 イノセント対談 草間彌生×できやよい

児島やよい 司会・構成 美術手帖 800

特集 イノセント彌生/やよい ふたつの出会い(損ね)についてのMemoRandom[できやよい]

浅田 彰 " "

追悼 勅使河原宏 二度の人生

立川 正憲 " 808

追悼 勅使河原宏

瀬木 慎一 美術の窓 215

悼む 草月流家元 映画監督勅使河原宏さん

山盛 英司 朝日夕刊 5.21

文化往来 勅使河原宏、最期まで前衛精神衰えず

日 経 4.18

勅使河原宏さんを悼む

赤瀬川原平 読売夕刊 4.16

アートイング東京 2001—生きられた空間・時間・身体 デジタルPBX(加藤弘行+ヨコミソマコト)

セゾン アートプログラム・ジャーナル 7

手塚雄二が選ぶ 風景画十選

手塚 雄二 美術の窓 219

アトリエの扉をあけて38 デハラノリユキ

橋本 麻里 デザインの現場 117

青の色、映える油絵 「森の絵」[出町千鶴子]

森 忠彦 毎日夕刊 8.22

向う三軒両隣 神奈川県横丁45 寺井重三 バレリーナに憑かれる

武田 厚 美術の窓 209

(ト)

東郷青児《星座の女》にみられる表現の視点

大前 勝信 ふくやま美術館研究紀要 1

転機の一点 《集中する力》画家 堂本尚郎さん

石川 健次 毎 日 6.17

特集グッズデザイン TOKION 信頼関係が支える「ダブルネーム」グッズ

渡部 千春 デザインの現場 117

ひと 滞米32年 日本で4年ぶり個展 [時田良太郎]

読売夕刊 10.26

福田平八郎筆《雪庭》と徳岡神泉筆《雨》をめぐって

森 充代 アマリリス 60

トビックス2—北から南から—ワークショップ「とくどのりきのにおい大作戦」[徳田憲樹]

安田 篤生 博物館研究 400

ほかから こんなおじいちゃんになってみたい 明和電機 土佐信道さん

(旅) 朝日夕刊 9.17

戸田海笛『薄明』(ジョルジュ・ピトエフの胸像)について

眞桐 耕一 碌山美術館報 21

巻頭特集 『一千一秒物語』稲垣足徳 タルボ・オマー・ジュタルボ・コウベ・ボク

戸田 勝久 美術の窓 211

写真集『RUSH』大森克巳、元田敬三、百々新、長島有里枝、有元伸也、大橋仁、野村恵子

(え) 読 売 1.14

月間ハマトリ VOICES OF HAMATORI 刀根康尚

編集部 美術手帖 812

鉄斎と大津絵—瓢箪鯉をめぐって[富岡鉄斎]

辻 惟雄 国 華 1267

修復記録 富田溪仙《梢白鷺》

富永憲太郎 石橋美術館報 48

月間ハマトリ VOICES OF HAMATORI 富田俊明

編集部 美術手帖 812

ある日の富本—ノートル・ダム・ド・パリ[富本憲吉]

金子 賢治 陶 説 574

戸村茂樹の世界 沈黙に向き合うとき

六岡 康光 版画芸術 114

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ
TRAVEL ON THE
BOX NO. 2 戸村 浩 美術手帖 809

近代日本に於ける西
洋絵画の受容につい
て 1. 油絵専攻に
おける本研究へのア
プローチ 版画史的
な側面からの考察
(二)洋風写真表現と
江戸後期の画家たち
友安 一成 広島市立
大学芸術
学部紀要 6

憂楽帳 興ざめた夜
[戸谷成雄] 三田 晴夫 毎日夕刊 5.17

特集 VIVA! 肉体
表現主義!!! 鳥
肌実 狂・軀・散・
華 魔人にいたる病
東谷 隆司
森田 ケン 美術手帖 805

気鋭新鋭 鳥光桃代
さん(美術家) (清) 読売夕刊 6.1

(ナ)

第42回毎日芸術賞
内藤廣氏 牧野富太
郎記念館(高知県)の
設計 松山 巖 毎 日 1.1

毎日芸術賞の人々
牧野富太郎記念館の
設計 内藤廣さん 三田 晴夫 毎日夕刊 1.17

毎日芸術賞を受賞し
て 贈呈式の挨拶から
牧野博士の知恵
に触れて 内藤 廣 " 1.31

作家訪問298 陶芸
家 内藤美弥子さん 編集部 目の眼 301

わたしの好きなもの
本 内藤 礼 新美術新
聞 947

はてな?おもしろ浮
世絵176~187 中右 瑛 目の眼 292~303

東京解剖図鑑 さす
らいの画家モンマル
トルへ[仲栄真洋] 石橋 春海 東 京 10.24

アートイング東京
2001—生きられた空
間・時間・身体 中
尾寛 中尾 寛 セゾン
アートブ
ログラ
ム・
ジャー
ナル 7

EXTENSION/MAXI
GRAPHICA
ブレ・シンポジウム
マキシ・グラフィカ
が超えようとするも
のは… 木村 秀樹、
長尾 浩幸、
出原 司、
池垣タダヒ
コ 対談
松山 龍雄
司会 版画芸術 114

アートイング東京
2001—生きられた空
間・時間・身体 中
川絵梨 中川 絵梨 セゾン
アートブ
ログラ
ム・
ジャー
ナル 7

特集 横浜トリエン
ナーレ2001の歩き方
メイキングオブハマ
トリ 20471120/中
川装置 高橋 葉子 美術手帖 811

長倉洋海「アフガン
の地図を背に」 日 経 1.13

風の塔 日の出町の
民家に移築[中里繪
魯洲] (美) 新美術新
聞 936

動き、速度ゼロ 永澤いずみ 明星大学
研究紀要 9

特集1 アートイン
グ東京2000:16×16
現在進行形の美術と
そのゆくえ 中沢研 中沢 研 セゾン
アートブ
ログラ
ム・
ジャー
ナル 5

緊急対談・座談会ス
ペシャル 新世紀
アーティスト会議9
オンライン鼎談 カ
ナダードイツー日本
中ザワヒデ
キ、
松井 茂、
足立 智美
鼎談 美術手帖 798

著者に聞く 大画家
60人の『自伝』書い
ちやった 中ザワヒ
デキさん(美術家) (昇) 東 京 6.3

ひと 日本のふるさと
絵画をバリエで披露
する 中島潔さん 国末 憲人 朝 日 11.8

大槌 年雄、
佐伯 守美、
須田 堅司、
田口 義明、
中島 宗晴、
福王 寺一
彦、
藤田 潤、
三田 村有
純、
宮田 亮平
対談
諸山 正則
新美術新
聞 929

九つの音色展 個と
して、強固な集合体
として 石川 健次 毎 日 3.11

転機的一点《淡墨
桜》画家 中島千波
さん 緊急対談・座談会ス
ペシャル 新世紀
アーティスト会議4
長島有里枝×岡崎太
威(スメリー) 下郷 亜紀 美術手帖 798

LAでの生活 in Ja-
pan 4 長島有里枝 武蔵野美
術 119

写真集『RUSH』大森
克巳、元田 敬三、
百々新、長島有里
枝、有元伸也、大橋
仁、野村恵子 (え) 読 売 1.14

長島有里枝写真集
「PASTIME PARA-
DISE」 (前) " 2.18

わたしとおかあさん
現代美術家 中辻悦
子さん 毎 日 11.7

Oguissを語ろうー生誕100年記念 荻須高德展「ルーアン」33年制作	中根 寛 朝 日	5. 22	このごろ通信 中山忠彦さん(画家)	"	毎日夕刊	4. 13
長野重一写真集『遠い視線』	(前)	読 売	8. 19	トーキョーワンダーウォール 審査員長賞に鬼頭明稚氏と流麻二果さん	西澤 美子 新美術新聞	926
美術展を観るー作家の眼、作家の言葉 11、12	絹谷 幸二 中野 嘉之 藪内佐斗司	ギャラリー(月刊)	189、190	Artist Interview52 那須香おり	池上ちかこ デザインの現場	119
向う三軒両隣 神奈川横丁46 中野嘉之 天に向かって前を視る	武田 厚	美術の窓	210	いつもそばに、本が上、下	夏目房之介 朝 日	3. 18、25
テクニクから解き放たれたとき、自由な創造が生まれる	中林 忠良	藝大通信	1	この人 パーミヤン大仏像の写真展を開催した 並河萬里さん	東 京	5. 5
転機の一点《磯からの便り2》版画家 中林忠良さん	石川 健次	毎 日	4. 22	特集 明治が生んだジャパニーズアート 近代日本が目指した美術工芸 極微の世界に広がる花鳥風月 並河靖之の有線七宝	村田 理如 目の眼	301
記者会見報告 長洲剛「詩画」への熱き想い	編 集 部	絵	436	文化 繊細美極めた魅惑の七宝 日本に数少ない並河靖之の作品を収集、展示	" 日 経	2. 14
技法講座25 長宗希佳 水彩による静物画	長宗 希佳	美術の窓	209	STARDUST 俳句とアートが色はにほへと 三橋 敏雄+ナムーラミチヨ	芸術新潮	614
テーブルトーク 東京湾とマンハッタン 二つの海結ぶ帰化生物 中村征夫さん(写真家)	(丘)	朝日夕刊	8. 14	特集 国内外の視線が熱い! 奈良美智・村上隆 人気の秘密	ギャラリー(月刊)	196
転機の一点《東京焼きーメタセラミックで現在をさぐる》陶芸家 中村錦平さん	石川 健次	毎 日	6. 24	月刊ギャラリー200号記念特集 スター誕生物語 奈良美智	土崎 正彦 "	200
中村彝の詩魂ー短歌と俳句	金原 宏行	絵	438	特集 イノセント 奈良美智	美術手帖	800
装幀異聞記4 画家の仕事[中村宏]	白田 捷治	デザインの現場	115	特集 村上隆 平たん二人〜秘境の旅 村上隆×奈良美智 温泉対談[前編、後編]	村上 隆 奈良 美智 美術手帖	812、813
巻頭特集『一千一秒物語』稲垣足穂スペシャル座談会 イナガキ・タルホってこんな人	種村 季弘、 中村 宏、 細江 英公 対談	美術の窓	211	特集 奈良美智読本 tears and fire	HIROMIX 写真	813
巻頭特集『一千一秒物語』稲垣足穂 薄板界の彼方へ	中村 宏	"	"	特集 奈良美智読本 その底を流れる韻律 奈良美智論のために	木下 長宏 "	"
作家訪問293 陶芸作家 中村二夫さん	編 集 部	目の眼	296	特集 奈良美智読本 すべてはホラーに集約していくかに見えた	立木祥一郎 "	"
中山ダイスケ・インタビュー@ニューヨーク	中山ダイスケ 開発 好明 インタヴュー アー	アート・マガジン(エル・アール)	23	特集 奈良美智読本 奈良さん、あなたの絵は可愛くない	嶽本のぼら "	"
追悼特集 伊藤清永氏を偲ぶ 先生と私	中山 忠彦	新美術新聞	931	特集 奈良美智読本 ハマプロ参加者たちの声	"	"
芸苑雑事記109 小川敏夫忌、日月星辰、忠彦展賛[中山忠彦]	瀧 悌三	美術の窓	219	特集 奈良美智読本 ハマプロ通信総集編	naoko. "	"
転機の一点《縞衣》画家 中山忠彦さん	石川 健次	毎 日	5. 6	特集 奈良美智読本 アーティスト、奈良美智という生き方	児島やよい "	"

特集 奈良美智読本 無意識過剰というこ と	小林 昌廣	美術手帖	813	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 10years 昨日と今日	"	"	453
特集 奈良美智読本 奈良美智 最新イン タビュー	奈良 美智 編集部構成	"	"	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 世界の窓を 開く〈表現〉	奈良 美智 吉本 隆明 対談	"	"
特集 奈良美智読本 聖域の被写界深度 制作現場を記録して	森本 美絵 編集部構成	"	"	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 奈良美智の 「狂気」	中場 利一	"	"
特集 奈良美智読本 ガラスの目をした犬 は歌う バンプ・オ ブ・チキンと奈良美 智	齋藤奈緒子	"	"	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 軽くて重い もの 奈良美智の作 品の前で立ち止る	石井 辰彦	"	"
特集 奈良美智読本 「妖怪的」	香川 雅信	"	"	特集 日本現代美術 最前線 村上隆vs奈 良美智 子どもノー ト	サド ッ ホ (後藤 浩子 澤野 雅樹 矢作 征男)	"	"
特集 奈良美智読本 視線のない自画像 奈良美智と佐伯祐三 の《立てる自画像》	和田 浩一	"	"	日本の自画像、対照 的な視点で 村上隆 さん 奈良美智さん	大西 若人 朝 日	9.26	
特集 奈良美智読本 「空想少年的」	藤原えりみ	"	"	著 者 に 聞 く 「NARA NOTE」 奈 良美智さん(美術作 家)	稲葉 千寿 東 京	9.16	
特集 奈良美智読本 「キャラクター的」	北原 照久	"	"	奈良美智著『NARA NOTE』	(前) 読 売	10.7	
特集 奈良美智読本 ふるえる手と小さな 崇高 奈良作品に見 る境界線の哲学	合田 正人	"	"	芸苑雑事記108 青 森三題一字一館、県 展、正夫白寿展[奈 良岡正夫]	瀧 悌三	美術の窓	218
特集 奈良美智読本 〈想像界〉の絵画—子 どもたちはいかに誕 生したか	小西 信之	"	"	青春プレイバック 成田亨 東京都世田 谷区東宝ビルト(テ レビスタジオ)	西澤 美子	新美術新 聞	934
特集 奈良美智読本 創造の源泉に浮かぶ 5つの島	藤原えりみ	"	"	(二)			
特集 奈良美智読本 地図・記憶・歴史… …奈良美智の造形原 理	"	"	"	エンジョイしごと 東京手描友禅 西澤 幸雄さん 上、下	日 経	6.10、17	
特集 奈良美智読本 永遠の現在を生きる 子ども 奈良美智を 西洋美術史から理解 したい人のために	諸川 春樹	"	"	博多の町民文化を守 り続けたグラフィッ クデザイナー 西島 伊三雄さん	玉木 夏子	読 売	11.25
特集 奈良美智読本 さよならPC、さよ ならイノセント 「奈良時代」の言説を めぐって	清水 穰	"	"	第32回中原悌二郎賞 に広井力氏 優秀賞 は西野康造氏	(美) 新美術新 聞	939	
特集 奈良美智読本 美術でキャラ萌え、 こどもと美術 奈良 美智の作品をめぐっ て	榎木 野衣	"	"	安田火災美術財団選 抜奨励展 秀作賞 西房浩司氏「サンシ ルクラブの鐘」	西房 浩司	産経夕刊	3.21
特集 奈良美智読本 [対談]鶴見俊輔×奈 良美智 ひとりで歩 ける人になること	鶴見 俊輔 奈良 美智 対談	"	"	技法講座29 西房浩 二 油彩による静物 画	松島 励路	美術の窓	215
総特集 宮崎駿[千 と千尋の神隠し]の 世界 湯女のリンが 好きだ	奈良 美智	ユリイカ	451	異色の巨匠 西村計 雄先生の思い出	古矢 敏光	新美術新 聞	917

アートイング東京 2001—生きられた空間・時間・身体 西村雄輔	西村 雄輔	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	7	連載：私的音楽遍歴 野又 穣	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	5, 6
特集 VIVA! 肉体表現主義!!! ニ ブロール ふぞろいな風景、ふぞろいなカラダたち	榎木 野衣 インタビュー	美術手帖	805	自分と出会う 自分に見いだす晩年の父の姿	野見山暁治	朝日夕刊 7.16
	(又)			写真集「RUSH」大森克巳、元田敬三、百々新、長島有里枝、有元伸也、大橋仁、野村恵子	(え)	読 売 1.14
LR artists enquête 美術雑誌やテレビの美術番組についてどう思いますか?	額田 宣彦	アート・マガジン (エル・アール)	24	新・作家への道標78 野村仁・アートで切り拓く未知の世界	ギャラリー リー(月刊)	194
	(ネ)				(ハ)	
寄稿 パリ個展を終えて 思いがけぬ出会い	根岸嘉一郎	新美術新聞	936	チャレンジ エッセイスト・漫画家哈日杏子さん		日経夕刊 1.30
	(ノ)			アクリリックスワールド1 配島伸彦		美術手帖 798
野口謙蔵の絵をみる	高 梨	フラミンゴ	67	萩野矢慶記写真集『パリの伝統美』		東 京 8.12
チャレンジ 写真家野口里佳氏		日経夕刊	2.6	都内で唯一すす竹細工を続ける職人 萩原末次郎さん	"	8.18
野口里佳作品集「鳥を見る」	(前)	読 売	2.11	若い目が切り取った日常 25人、写真家・橋口氏と共同制作[橋口譲二]		朝日夕刊 4.12
野田哲也 「日記」の視線	松山 龍雄 インタビュー・構成	版画芸術	111	橋本関雪「山中訪隠」の修復報告	小菅 生野	姫路市立美術館だより 69
転機 の一点 《日記：1968年2月10日》版画家 野田哲也さん	石川 健次	毎 日	6.3	絵具とものづくりの楽しみ発見・再発見 1〜5	橋本 弘安	美術の窓 210、212、214、216、218
特集1 アートイング東京2000：16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 野田智之	野田 智之	セゾン アートプ ログラ ム・ジ ャーナ ル	5	芸苑雑事記102 橋本博英忌と吉田俊雄の訃	瀧 梯三	" 212
近代日本に於ける西洋絵画の受容について 1. 油絵専攻における本研究へのアプローチ 西欧の受容・絵画的思考—断章 1	野田 弘志	広島市立大学芸術学部紀要	6	蚯蚓の眩29 硯と墨 [橋本博英]	小林 東五	目の眼 299
転機 の一点 《やませみ》画家 野田弘志さん	石川 健次	毎 日	3.25	特集 VIVA! 肉体表現主義!!! ハスラー・アキラ アネモネ・カーニヴァル	川原 英樹 下村しのぶ 撮影	美術手帖 805
《WORK—641》1991 野田裕示(1952—)	安来 正博	国立国際美術館月報	109	矢野文夫に存在した“実体のない”長谷川利行	大衡 彩織	一関市博物館研究報告 4
平成12年度芸術選奨文部科学大臣賞に小嶋悠司氏、川久保玲さん 新人賞は野田裕示氏、坂上桂子さん	(美)	新美術新聞	926	[作品研究]長谷川利行《冬野》について	蔵屋 美香	現代の眼 529
				長谷川周写真文集『仏塔巡礼 東国編・西国編』		東 京 4.15
				東京国立博物館保管中央垂細垂画模写と長谷川路可	墓信 祐爾	MUSE-UM 572

平成13年定期刊行物所載文献(近／作ハ)

向う三軒両隣 神奈川横丁51 羽田裕油彩による風景画の私的条件	武田 厚	美術の窓	218	夫人・南桂子が語る浜口陽三の思い出	ミューゼ・陽三・コレク・サ・シヨ・ン・タ・ビュ・ル・協・力	" "	
タカシマヤ文化基金美術賞に押江千衣子さん、畠山耕治氏	西澤 美子	新美術新聞	917				
2000年度毎日芸術賞に山口勝弘氏と畠山直哉氏	(真)	"	918	浜口陽三へのオマージュ	寺口 淳治	和歌山県立近代美術館ニュース	29
第42回毎日芸術賞 畠山直哉氏 写真集「Underground(アンダーグラウンド)」(メディアファクトリー刊)	伊藤 俊治	毎日	1.1	惜別 銅版画家 浜口陽三さん	田中 三蔵	朝日夕刊	1.22
写真集『Underground』畠山直哉さん	石川 健次	毎日夕刊	1.18	浜口陽三と日本の美術 版画の力浸透させる 国際的な地位の向上背景に	山梨 俊夫	読売夕刊	1.30
毎日芸術賞を受賞して 贈呈式の挨拶から 好奇心で世界を広げたい	畠山 直哉	"	1.31	浜田知明の「読む図録」完成 全作品を作家自身が解説		朝 日	10.24
畠山直哉+伊東豊雄「UNDER CONSTRUCTION」	(前)	読 売	10.21	絵は風景 浜田知明「ボタン(B)」	芥川 喜好	読 売	3.11
作家訪問294 陶芸作家 波多野正典さん	編 集 部	目 の 眼	297	フェイス21世紀24 濱野暢子	常盤 茂	新美術新聞	917
わたしの好きなもの 空の旅	八谷 和彦	新美術新聞	931	魅惑のヴェネツィア 洋画家 早川二三郎さん	斉藤 太郎	産 経	3.13
創るアングル メディアアーティスト・八谷和彦 美術を社会に解き放つ		日 経	9.2	ミキ早川と戦前期サンフランシスコにおける日系人画家の活動について	穂積 利明	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01
トライアングル 八谷和彦さん 不安な身体・中	八谷 和彦 石田 汗太 聞き手	読売夕刊	11.7	春夏秋冬に新作展 志気高まる早川義孝		新美術新聞	924
ひと 中国・上海郊外の橋と暮らしを見つめた写真家 英伸三さん	清水 弟 朝	日	5.27	第三十三回日展—新世紀の日展は—	橋本堅太郎 上田 邦介 林 寛治 宇山 卓敏 岡田 敏夫 池田 実穂 比田井潤子 大野佐和子 鈴木 秀夫 小濱 知彦 吉田 可南子 中山 忠彦 司会	日 ニュース 展	103
現代に生きた仙人 故馬場のぼるさんのこと	辻 真先	東京夕刊	5.2	版画再考 「Press」の試み 「版画」とは何か—Pressの活動の意義—	渋谷 和良 林 孝彦 山口 啓介 山 秋 田 構成	版画芸術	112
馬場のぼるさんを悼む	小島 功	読売夕刊	4.10	現在通信from NEW-YORK 原点への回帰[林亨]	富井 玲子	新美術新聞	930
馬場のぼるさんしのぶ会に400人		"	6.6	キリンアートアワード2001受賞作決定 優秀賞は林田嶺一氏(六七)と稲垣民子さん	(林)	"	937
写真集「空の色」 HABU著[羽部恒雄]		日 経	2.25				
追悼浜口陽三 浜口陽三・人とその作品	三木 哲夫	版画芸術	111				
追悼浜口陽三 浜口陽三の彫刻的メソヂェント	中原 佑介	"	"				

キリンアートアワード 優秀賞に林田嶺一 稲垣民子の両氏		東京夕刊	9. 22	[作品研究] 菱田春草《四季山水》その制作年代について	尾崎 正明	現代の眼	528
林田、稲垣氏に優秀賞—キリンアートアワード[林田嶺一]		毎日夕刊	9. 18	菱田春草 賢首菩薩	"	国 華	1269
				わたしの好きなもの テレビ	菱山 裕子	新美術新聞	915
放射線	速水 史朗	東京夕刊	7. 7、14、21、28、8. 4、11、18、25、9. 1、8、10. 13、20、27、11. 10、17、24、12. 1、8、15、22	『実物で学ぶしかけ絵本の基礎知識 POP—UP』D・A・カーター、J・ダイアズ著	日比野克彦 朝	日	3. 25
				私の貯金箱「芸術と金」ネットで一変	日比野克彦 談	日 経	8. 19
				企画特集 次世代へのメッセージ 次世代さんあなたはすごい人らしい	日比野克彦	毎 日	2. 21
デザインの樹にのぼる	原 研哉	日経夕刊	1. 6、13、20、27、2. 3、10、17、24、3. 3、10、17、24、31、4. 7、14、21、28、5. 12、19、26	2002ワールドカップ特集 アーティスト 日比野克彦さん	内藤 昭広	読 売	12. 25
				PAPER IN MY WORK76 檜山巽	池上ちかこ	デザインの現場	116
トーキョーワンダーウォール公募2001 大賞に原良介氏	(美)	新美術新聞	934	安田火災美術財団選抜奨励展 グランプリ 開光市氏「舟」 “今に生きる人間”表現したい	開 光市	産経夕刊	3. 21
『原田先生記念帖』雑感—学芸員・森嶋外—[原田直次郎]	堀切 正人	アマリリス	63	文化往来 パリの前衛ひきつけた平沢淑子の絵		日 経	5. 29
第五十四回全国大会研究発表要旨 原田直次郎の第三回内国勲業博覧会出品について	宮本 久宣	美術史	151	わたしの好きなもの 私の庭	平田 五郎	新美術新聞	943
聞き書き24 堤焼乾馬窯四代目 針生乾馬さん(1、2)		陶磁館 ニュース	41、42	人・模・様 伊の古都を彩る光の世界 [平田ゆたか]	井上 卓弥	毎日夕刊	11. 1
(ヒ)				新・旧刊案内6 三雲祥之助・高見順・『百穂手翰』[平福百穂]	青木 茂	一寸	6
文化功労者[稗田一穂]		産経夕刊	10. 30	追悼特集 伊藤清永氏を偲ぶ 七十年間の思い出	平松 譲	新美術新聞	931
日影 眩の 360° の ニューヨーク76〜87	日影 眩	ギャラリー(月刊)	189〜200	エッセイ 心のけしき	平松 礼二	美術の窓	219
月刊ギャラリー200号記念特集 スター誕生物語 東山魁夷	星野 良史	"	200	転機の一点《路—氷雨》画家 平松礼二さん	石川 健次	毎 日	5. 13
ロンドン・テートモダンの初企画「センチュリー・シティ」展に参加して	彦坂 尚嘉	新美術新聞	919	薬師寺玄奘三蔵院大壁画の完成[平山郁夫]		上野の社会報	12
特集 日本の美術と教育 BIT	"	美術手帖	801	STARDUST 薬師寺で仰ぐヒマラヤ 平山郁夫の薬師寺玄奘三蔵院絵殿壁画完成		芸術新潮	614
壁画復原に取り組む 日本画家 久安勝士氏に聞く	伐栗 恵子	産経夕刊	8. 13	パーミヤン石仏破壊の教訓	平山 郁夫	絲綢之路	36
土方久功—白樺派を後景として	中村 茂生	高知県立美術館研究紀要	3	奈良・薬師寺・玄奘三蔵院伽藍「大唐西域壁画」完成	平山 郁夫 ドナルド・キーン 宮崎 緑	新美術新聞	916

平成13年定期刊行物所載文献(近／作ヒ、フ)

バーミヤン遺跡の救済求め 平山郁夫氏が署名と募金をアピール	(美)	新美術新聞	922	超大作和紙で千年の輝き 平山画伯の「大唐西域壁画」に越前産特大紙	岩野平三郎	"	8. 23
あなたの部屋が平山郁夫のアトリエに！自作を語るCDブック刊行		"	"	東京国立博物館でファッションショーより「開かれた博物館」をめざす	平山 郁夫 西岡 康宏	日経夕刊	6. 15
追悼 真野満 弔辞	平山 郁夫	"	934	出色の《西方浄土須弥山》 平山郁夫の薬師寺壁画を見る	藤田 一人	毎日夕刊	2. 2
『平山郁夫スケッチ撰集』平山郁夫著	高岡 忠雄	"	"	玄奘が歩んだ道程に永遠の「平和への道」を重ねて	平山 郁夫 真野 響子	読 売	1. 1
緊急特集 米国同時テロ 文化による平和的解決を	平山 郁夫	"	941	平山郁夫さんが語る	平山 郁夫 西岡 努	"	3. 20～23
東西文化の十字路口と日本の役割	"	"	942	保護活動の平山郁夫さん「文化財の散逸心配」		読売夕刊	10. 2
薬師寺・玄奘三蔵院に「大唐西域壁画」を納めた 平山郁夫さん	松村 崇夫 朝 日	1. 5		挿絵名人時代越え魅せた「緒崎英朋」に心酔、美術展企画や研究書出版	松本 品子	日 経	1. 29
平山郁夫氏の仏教画集大成 薬師寺大壁画を公開		"	1. 17	第32回中原悌二郎賞に広井力氏 優秀賞は西野康造氏	(美)	新美術新聞	939
私の視点 大仏破壊再発防止に手だて尽くせ	平山 郁夫	"	4. 2	特集 イームズ、フラー、ノグチ イサム・ノグチの一九五〇年代、日本	広井 シン カ イ ビュー 白坂 ゆり ききて・構 成	美術手帖	809
ひと 東京芸術大学長に再登板する日本画家 平山郁夫さん	山盛 英司	"	11. 29	こころの風土記 弘兼憲史さん 岩国市	高野 清見	読売夕刊	7. 28
アフガン・バーミヤンの大仏破壊 平山画伯訴え[平山郁夫]		産 経	3. 5	Artist Interview 廣瀬智央	川原 英樹	美術手帖	801
平山郁夫氏の解説CD付き作品集 第1巻刊行		"	3. 7	技法講座31 広田稔 裸婦のいる室内画《前編》エスキースから中層描きまで	松島 励路	美術の窓	219
海外の日本美術修復ネット 国際文化交流サミット2001	平山 郁夫 ジャン＝フランソワ・ジャリー ジュ ヴィリバルト・F・ファイト ロバート・G・W・アンダーソン 渡邊 明義 宮崎 緑 司会・進行	"	10. 9	特集 イノセント 天使[Hiro mix]	吉本ばなな	美術手帖	800
土曜訪問 平和への祈りとして描く 日本画家・平山郁夫さん	井上 昇治	東京夕刊	5. 12	特集 イノセント 愛と宇宙のメッセージ	Hiro mix	"	"
“文化財難民”救済へマグサイサイ賞受賞の平山郁夫さん 人類の宝、緊急避難的に収容を	稲葉 千寿	"	8. 27	聞き書き25 中山人形 樋渡徹さん(第1回、第2回)		陶 磁 館 ニュース	43、44
平山郁夫「薬師寺玄奘三蔵院大壁画」が完成	竹田 博志	日 経	1. 1	彫刻になった動物十選 1～10	深井 隆	日 経	4. 18～ 20、23、 24、26、 27、30、 5. 2、3

(フ)

大城 譲司 デザインの現場 118

追悼特集 伊藤清永 氏を偲ぶ 分のこと	八時十三	深澤 孝哉	新美術新聞	931	福田平八郎筆《雪庭》 と徳岡神泉筆《雨》を めぐって	森 充代	アマリス	60	
転機の一点 《凍れる 歩廊(ベーリング 海峡)》版画家 深沢 幸雄さん		石川 健次	毎日	2. 4	新聞で出会う広告 二つで一つの信頼	福田 美蘭 談	朝日夕刊	10. 23	
深瀬昌久「鴉」につい て(1)		福地 大輔	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01	イタリア・ルネサンス— 宮廷と都市の文化展 実験的な芸術 運動	福田 美蘭	日経夕刊	4. 20	
特集 現代陶芸の現在 座談会—現代 陶芸の課題		深見 陶治、 松本 ヒデ オ、不動 対談金子 司会	美里 賢治	現代の眼	529	文化 叙情性豊かな 挿絵の少女 草の根 で語り継ぐ挿絵画 家・藤井千秋	田中真理子	日 経	4. 30
NEO GRAPHICS 吹田文明 始まりは モノタイプ		松 山	版画芸術	112	心のふるさと	藤井 勉	新美術新聞	920、928、 936	
アクリリックスワー ールド4 福井篤			美術手帖	808	フェイス21世紀31 藤井ラーメン	常盤 茂	”	936	
交遊抄 輝く夏の海		福井 爽人	日 経	5. 12	ウィメンズアート 「越境する女たち21」 展 シンポジウム 「新しい時代のウィ メンズアートネット ワーク」	安田 和代 司会 ニファー・ア クムット、 アラフマ ヤーニ、 シュー リー・チェ ン、ヴァー シャ・ネー ル、アマン ダ・ヘン、 ニタヤ・ウ エアリーワ ラックル、 金井 良子、 嶋田 美子、 藤江 民 バネリスト	アート・ マガジン (エル・ アール)	24	
転機の一点 《海の 賦》画家 福井爽人 さん		石川 健次	毎日	4. 29	「富山事件」とは何で あったか この事件 に関わって考えたこ と。	藤江 民 あいだ	68		
九つの音色展 個と して、強固な集合体 として		大樋 年雄、 佐伯 守美、 須田 堅司、 田口 義明、 中島 宗皓、 福王 寺一 彦、藤田 潤、 三田 村有 純、宮田 亮 平、対談諸 山司会	新美術新聞	929	巻頭特集 『一千一 秒物語』稲垣足穂 タルホ・オマージュ 「ヒコーキ」「少年」 「星」	藤掛 正邦	美術の窓	211	
日記		福岡 道雄	国立国際 美術館月 報	101	こころの風土記 藤 子不二雄Aさん 氷 見市	菊池 嘉晃	読売夕刊	6. 30	
ひとり歩きの朝 神 か人か[福島瑞穂]		新藤 兼人	毎日	10. 7	アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 藤 城凡子	藤城 凡子	セゾン アートブ ログラ ム・ジャ ーナル	7	
講演会記録 工芸の 道を求めて		福田 喜重	石川県立 美術館だ より	211	青春プレイバック 藤田喬平 東京都江 戸川区西小岩二丁目	西澤 美子	新美術新聞	947	
時のかたち		福田 繁雄	朝日夕刊	4. 10～13	転機の一点 《虹彩》 ガラス作家 藤田喬 平さん	石川 健次	毎日	2. 18	
第16回日本陶芸展 大賞作品に寄せて 文明の遺物 漂うメ ルヘン		”	毎日	5. 23					
転機の一点 《VIC- TORY》グラフィック デザイナー 福田 繁雄さん		石川 健次	”	7. 22					

九つの音色展 個として、 強固な集合体として	大樋 年雄、 佐伯 守美、 須田 堅司、 田口 義明、 中島 宗皓、 福王 寺一、 彦、藤田 潤、 三田 村有、 純、宮田 亮平、 対談諸山 司会	新美術新聞	929	わたしの好きなもの テープレコーダー	藤本由起夫	新美術新聞	917
				文化 手作り美術館 やってくる 一日だけ の体験型展覧会、 今年で5年目に	"	日 経	11.23
				藤森武写真集『鈍彫 荒彫』	(前)	読 売	9.9
				庭からの視線6 緑 の規制と寄生[藤森 照信]	伊藤 公文 久家 靖秀 写真 典子 川上 李子 編集協力	A X I S	94
土佐美術史外伝31 藤田太郎	鍵岡 正謹	高知県立 美術館 ニュース	33	異例の建築学会賞 藤森建築が語る「忘 れ物」[藤森照信]	大西 若人	朝 日	5.9
戦争画資料拾遺11 フジタの戦中・戦後 フジタの戦争画(4) (玉砕の示唆するもの) (1、2)	笹木 繁男	アート・ マガジン (エル・ アール)	23、24	人間発見 家造りは 愉快だ1~5	藤森 照信 中沢 義則 聞き手	日経夕刊	12.10~ 14
貴賓席 事実誤認に よる史実歪曲の可能性 [藤田嗣治]	"	あ い だ	67	仮面七変化劇場に舞 う	ふじもりふ じお	日 経	6.27
公開! フジタ最期の 愉しみ我が家[藤田 嗣治]	夏目 典子	芸術新潮	614	「フォーカス」休刊 「大論」の時代の終わ り 「自己慰撫」求め る新しい世代	藤原 新也	朝日夕刊	8.7
FUJITA 修復の 三ヵ月[藤田嗣治]	林 洋子 山領 まり Gelardine Guillaume —Chavannes 海部 優子 谷 久光 司会 中島さおり 通訳	絲綢之路	35	北九州門司区(福岡 県) 写真家・藤原 新也さん	小梶 勝男	読売夕刊	4.21
藤田 嗣治 の1920年 代:ベルギーをめぐる 4点	林 洋子	東京都現 代美術館 紀要	6	私にできること~みる 、きく、ふれるの 探検[藤原隆洋]	武居 利史	府中市美 術館だより	4
日本人の足跡50 パ リに咲いた画才3 藤田嗣治	生田 誠	産 経	3.6	惜別 備前焼作家 藤原雄さん	小林 祐子	朝日夕刊	11.19
美術特集「画家・藤 田嗣治の二十世紀」 今日、NHK・BSハ イビジョンスペシャル	"	"	5.13	土に生きた「壺の雄」 親子で人間国宝に なった備前焼作家 藤原雄さん	桑原 尚史	読 売	12.9
美の美 レオナール ・フジタ 「白い 絵肌」の神秘1~4	芦田 富雄	日 経	4.29、 5.6、13、 20	特集 20世紀のロマ ネスク 有元利夫 からの贈りもの 有元 利夫をめぐる八つの 断想	舟越 桂	芸術新潮	623
進む藤田嗣治の再評 価	林 洋子	毎日夕刊	2.23	特集 美術史の逆遠 近法 彫刻にこめら れる思い特集 美術 史の逆遠近法—舟越 桂の木彫と仏像	岡田 健	現代の眼	526
自分の表現に適した メディアウムを作る アート	藤幡 正樹	藝大通信	1	巻頭特集 Side by Side 建築・彫刻・ 絵画・映像—版画 舟越 桂 インタ ビュー 神様のいた ずらみたいな調和	辺見 イン タビュー・ 構成	版画芸術	114
藤牧義夫の《赤陽》	大谷 芳久	一 寸	5	栃木県なかがわ水遊 園 光と水のあふれ る造り[古市徹雄]	(S)	産 経	7.29
残されたひととやまー 藤牧版画の後摺りに ついて4~6[藤牧 義夫]	"	"	6~8	アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 古 厩久子	古厩 久子	セゾン アートブ ログラ ム・ジャ ーナル	7
江戸博蔵めぐり 御 徒町駅—東京夜曲A 藤牧義夫画	江里口友子	読 売	2.16				

(ヘ)			
別車博資の水彩壁画「黎明の港」について	金井 紀子	神戸市立博物館だより	75
PAPER IN MY WORK78 PENTAGON(天野和俊+塚田哲也)	橋本 麻里	デザインの現場	118
(ホ)			
現代作家紹介 久しぶりに日展日本画をよく見る バランスのとれた淡々たるリズムに向かう北斗一守	原田 平作	美術フォーラム21	4
写真で人々の幸福願う 星野博美さん	(鉄)	朝日夕刊	5. 29
細江英公インタビュー 瑛九から受けた熱	辺見、岡部 インタビュー・構成	版画芸術	112
巻頭特集『一千一秒物語』稲垣足穂スペシャル座談会イナガキ・タルホってこんな人	種村 季弘、 中村 宏、 細江 英公 対談	美術の窓	211
近代日本に於ける西洋絵画の受容について 1. 油絵専攻における本研究へのアプローチ 日本人の美意識と日本人の油画の方向(2)	堀 研	広島市立大学芸術学部紀要	6
貴賓席 公明党と宮島達男には騙されるな	堀 浩哉	あいだ	66
「富山事件」とは何であったか 富山県立近代美術館問題を通して考えたこと	"	"	68
文化 20世紀読み直す糸口並ぶ 世界の巨大都市の転換点に焦点 テート・モダンのセンチュリー・シティ展	"	読売夕刊	2. 14
堀進二懐中日記(中ノ四)	千田 敬一 編	碌山美術館報	21
交遊抄 芸術家肌[堀直昭]	青木 轟	日 経	8. 1
ヒマラヤへブルーボピーをさがしに[堀文子]	森口 水翔	芸術新潮	614
ひと 82歳でヒマラヤに「太古の命」を探す日本画家 堀文子さん	佐田 智子	朝 日	2. 18
追悼 堀内正和 不世出の彫刻家	酒井 忠康	美術手帖	808
悼む 彫刻家 堀内正和さん	田中 三蔵	朝日夕刊	5. 21
放射線 堀内正和さんとの別れ	速水 史朗	東京夕刊	7. 21

鉄彫刻の先駆者 堀内正和さんを悼む 中原 佑介 毎日夕刊 4. 19

堀内正和さんの思い出 合理性の裏に独特の人間愛 飯田 善國 読売夕刊 4. 18

4. 1. 29、
5. 6、
6. 10、
17、24、
7. 1、8、
15、22、
29、8. 5、
12、19、
26、
9. 2、9、
16、23、
30、
10. 7、14、
21、28、
11. 4、25、
12. 2、
9、16、23

赤土色のスペイン 堀越 千秋 読 売

本保義太郎懐中日記(二) 千田 敬一 碌山美術館報 21

緊急対談・座談会スペシャル 新世紀アーティスト会議2 ホンマタカシ×村上隆 本橋 康治 美術手帖 798

(マ)

Interview 前川知美 斎藤 一典 e t c . 28

Artist Interview50 池上ちかこ デザインの現場 117

特集1 アートイン グ東京2000: 16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 前沢知子 セゾンアートプログラム・ジャーナル 5

転機の一点《宙の光》《蓮の光》画家 前田常作さん 石川 健次 毎 日 4. 8

岳父前田青邨の思い出 秋山 光和 視 る 394

喜寿の青春[前田青邨] 關 千代 " "

《アンケート》富山近 美事件はもう終わったのか? 前山 忠 あ い だ 63

青春プレイバック 牧進 東京・日本橋 三越本店屋上 高岡 忠雄 新美術新聞 928

牧島如鳩の宗教画について 江尻 潔 鹿島美術研究 18

土佐美術史外伝30 蒔田瑞三 鍵岡 正謹 高知県立美術館 ニュース 32

牧野伊三郎「彰義隊の図」修復に際して 廣江 泰孝 修復研究所報告 15

牧野伊三郎「彰義隊の図」修復報告及び調査結果 山中 和人 宮田 順一 " "

巻頭特集 いまを生 きる木版画精神 牧 野浩紀 木版のポリ フォニー	遠藤 建	版画芸術	113	孤高の陶芸家・松本 佩山	大塚 清吾	陶 説	580
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 正 木隆	正木 隆	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル	7	特集 現代陶芸の現 在地 座談会—現代 陶芸の課題	深見 陶治、 松本 ヒデ オ、不動 対談 美里 金子 賢治 司会	現代の眼	529
著者に聞く 機能に 徹した懸命な形が魅 力 増田彰久さん	稲垣 真澄	産 経	11.5	Interview 松本三和	斎藤 一典 聞き手	e t c .	36
アトリエの扉をあけ て36 町田尚子	橋本 麻里	デザイン の現場	115	追悼 真野満 弔辞	平山 郁夫	新美術新 聞	934
『Hysteric 松 江 泰 治』[写真集]	(前)	読 売	6.24	《原爆の図》の造形的 変質に関する一考察 [丸木位里]	長嶋 圭哉	日本美術 研究	1
アトリエの扉を開け て37 松尾たいこ	橋本 麻里	デザイン の現場	116	《原爆の図》の造形的 変質に関する一考察 [丸木俊]	"	"	"
追悼 團伊玖磨先生 を偲んで	松尾 敏男	新美術新 聞	929	現代作家紹介 丸田 恭子の世界	谷川 渥	美 術 フォーラ ム21	4
松岡壽「佛将シウ ショウ氏摩洛哥歌人討 夷セツ図中 中尉負 傷ノ図」修復報告及 び調査結果	宮崎 安章 宮田 順一	修復研究 所報告	15	街の風 消えた空襲 の記憶	丸田 祥三	朝日夕刊	7.14
特集 映画とビデオ ・アートの最前線 対談 庵野秀明×松 蔭浩之 視線の構造 学と色彩の論理学	庵野 秀明 松蔭 浩之 対談	美術手帖	803	夏の記憶(上、中、 下)	"	読売夕刊	8.13~15
愛の情景十選1~10	松樹 路人	日 経	1.29、30、 2.1、2、 5~9、12	(ミ)			
週中講座 五月人形 職人芸が生む「愛ら しさ」[松崎幸一光]	倉持 七菜	産経夕刊	3.7	美術家が選ぶ20世紀 日本の美術 陶芸家 三浦小平二	三浦小平二	新美術新 聞	925
会いたい人見たい版 画 松田圭一郎 写 され映されるもの	秋 田	版画芸術	111	この人 ポローニャ 国際絵本原画展に入 賞し故郷に錦を飾っ た 三浦太郎さん	西村 立名	東 京	11.14
巻頭特集 いまを生 きる木版画精神 松 永かの 木と刻のあ いだに	岡 部	"	113	みかんぐみ「KH— 2」形式を喪失し た携帯的なもの	飯島 洋一	読売夕刊	5.30
顔 異例の自主制作 ポスター展を開催中 のデザイナー 松永 真さん	前田 恭二	読 売	3.21	三岸好太郎の初期画 業 中学時代から春 陽会まで	佐藤由美加	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01
こころの風土記 松 永真さん 田川市	阪口 忠義	読売夕刊	7.7	三岸好太郎(海)、そ のサインの謎をめ ぐって	苦名 真	"	"
資料紹介 松室重剛 の工部美術学校関係 の資料	青木 茂	近代画説	10	新収蔵作品(海)につ いて	"	三岸好太 郎美術館 館報	18
追悼 松本英一郎さ んのこと	今井 信吾	新美術新 聞	932	新・旧刊案内6 三 雲祥之助・高見順・ 『百穂手翰』	青木 茂	一 寸	6
第五十四回全国大会 研究発表要旨 自己 イメージの弁証法— 松本 竣介「画家の 像」、《立てる像》、 《五人》《三人》の解 読—	村上 博哉	美 術 史	151	第20回平櫛田中賞 三沢厚彦氏に	(常)	新美術新 聞	921
時のかたち	松本 大洋	朝日夕刊	3.27~30	光彩都市 三島 勲 [写真集]		日 経	10.7
				三島正写真集『公僕』		東 京	3.11
				公僕 三島正[写真 集]		日 経	3.25
				私と東京 漫画家水 木しげる	徳光 一輝	産 経	3.13
				交遊抄 やすさん	水木しげる	日 経	4.7

『One in the Same 笑顔つなげて』渡辺 貞夫[写真集]	水越 武 朝 日	1. 28	江戸切子で現代の名 工 南端久司さん	東 京	11. 22
『富士』大山行男著	" "	3. 4	大藪教室の作家たち 5 夢想する(私)小 説 箕浦昇一	功刀 知子	美術の窓 216
写真集『熱帯雨林』水 越武著	日 経	3. 11	それは空箱のような	三森 早苗	明星大学 研究紀要 9
水越武写真集『熱帯 雨林』	(前) 読 売	3. 25	特集米国同時テロ その後のNY 新た なる芸術の可能性を 探る 戦争は人間性 を根っから奪う 私 はそれを体で知って いる	宮崎 進	新美術新 聞 945
私と東京 画家水村 喜一郎さん 両腕切 断、口筆で感性描く	坂井 広志	産 経 11. 20	巻頭特集 戦争と平 和一宮崎進の仕事	宮崎 ド・ア シュトン	美術の窓 216
特集1 アートイン グ東京2000:16×16 現在進行形の美術と そのゆえ 水本剛 廣	水本 剛廣	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル 5	記憶とイメージ	宮崎 進	" "
漆器とは何かとい う、本質から問い掛 ける	三田村有純	藝大通信 1	いまが盛り 洋画家 宮崎進さん 極限状 態で人間のすばらし さ知る シンペリアの 収容所で壁画描いた 経験が転機	丸橋 茂幸	産 経 1. 13
九つの音色展 個と して、強固な集合体 として	大樋 年雄、 佐伯 守美、 須田 堅司、 田口 義明、 中島 宗皓、 福王 寺一 彦、藤田 潤、 三田 村有 純、宮田 亮平 対談 諸山 正則 司会	新美術新 聞 929	転機の一点 《漂う 心の風景》画家 宮 崎進さん	石川 健次	毎 日 4. 15
私にできること〜み る、きく、ふれるの 探検[光島貴之]	武居 利史	府中市美 術館だより 4	記憶の庭	宮崎 豊治	国立国際 美術館月 報 105
悼む 写真家 緑川 洋一さん	上田 潤	朝日夕刊 12. 17	《身辺モデル—類似 化》1985年 宮崎 豊 治(1946—)	安来 正博	" "
アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 南 川史門	南川 史門	セゾン アートプ ログラ ム・ ジャーナ ル 7	「超人」「巨人」時代 に風穴 美術家・荒川 修作 アニメ監督・ 宮崎駿 4時間半対 談	大西 若人	朝 日 11. 26
港千尋写真集『瞬間 の山 形態創出と聖 性』	宮田 珠己	朝 日 12. 9	創るアングル 映画 監督・宮崎駿 思い を込めて子供励ます	日 経	7. 15
時のかたち	港 千尋	朝日夕刊 10. 9~11	街の風 懐かしい赤 土の荒野	宮迫 千鶴	朝日夕刊 2. 10
港千尋写真集『瞬間 の山』	(前) 読 売	11. 25	絵は風景 宮迫千鶴 「月のオルガン」	芥川 喜好	読 売 3. 25
バスク ビレネー挟 む「国」 独自文化に 脚光、消える辺境イ メージ	港 千尋	読売夕刊 2. 10	大藪教室の作家たち 3 絵画と映像 宮 廻正明	高山 淳	美術の窓 214
夫人・南桂子が語る 浜口陽三の思い出	ミューゼ 浜口陽三・ヤマ サコレク ション・ イン・ ピュー・ 協力	版画芸術 111	新世紀のスタート 日展は今	山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 池田 阿有 山田 久利 上田 明人 宮里 充宏 石川 善治 立川 聖雨 高木 煌平 横山 公雄 坂司会	日 展 ニューズ 102
夕暮れはまだ遠い 「団塊」50代の日々	南 伸坊	朝 日 11. 21	近代の終わりが現代 の始まりか—宮下孝 雄の場合	森 仁史	一 寸 5

平成13年定期刊行物所載文献(近/作ミ、ム)

貴賓席 公明党と宮島達男には騙されるな	堀 浩哉	あいだ	66	日影 眩	ギャーラ(月刊)	194
テクスチュアとしての暗闇《直島・家プロジェクト》[宮島達男]	村上 敬	美学研究	1	特集 国内外の視線が熱い! 奈良美智・村上隆 人気の秘密	"	196
被爆「柿の木」二世根付く “平和の苗木” 育て、長崎から世界に届ける	宮島 達男	日 経	2.21	緊急特集 米国同時テロ 本当の日本人の私って?	村上 隆 新美術新聞	941
『対訳源氏物語』宮田雅之画伯の艶麗な切り絵		産経夕刊	10.31	緊急対談・座談会スペシャル 新世紀アーティスト会議2 対談 ホンマタカシ×村上隆	本橋 康治 美術手帖	798
九つの音色展 個として、強固な集合体として	大樋 年雄、 佐伯 守美、 須田 堅司、 田口 義明、 中島 宗皓、 福王 寺一 彦、 藤田 潤、 三田 村有 純、 宮田 亮平 対談 諸山 司会	新美術新聞	929	HIROPON FAC- TORYプレゼンツ 原宿フラット全記録 超平面的、スーパー フラット徹底討論。	浅田 彰 岡崎 乾二 榎木 野衣 村上 隆	800
文化施設を楽しむ 東京芸大・宮田亮平 美術学部長		産経夕刊	12.17	村上隆×奈良美智 温泉対談[前編、後 編]	村上 隆 奈良 美智 対談	812、813
新潟大学所蔵・宮本 三郎の「アトリエの 裸婦」について	近藤フジエ	芸術学論 集	2	特集 村上隆 召還 するかドアを開ける か回復するか全滅す るか	"	812
三輪山と私	三輪 晃久	大 美 和	100	特集 村上隆 対談 辻惟雄 『奇想の系 譜』を汲む者たち	辻 惟雄 村上 隆 対談	"
(ム)				特集 村上隆 それ でいいのか?それで いいのだ!	浅田 彰 村上 隆 対談	"
転機 の一点 《蟻の 城》彫刻家 向井良 吉さん	石川 健次	毎 日	6.10	特集 村上隆 局地 性から世界言語へ向 けて The Ghost Out Of The Shell	ドミニク・ チェン	"
覚園寺新客殿「三蔵」 落慶記念 水墨画家 向原常美さんが襖絵 を奉納		新美術新聞	922	特集 村上隆 動物 かおたくか超平面的 か平面の超克か スーパーフラットと いう不安	榎木 野衣	"
棟方志功特別講義 “心眼” 棟方志功が 本学に残した名講義 より……	豊島 輝彦	札幌大谷 短期大学 紀要	32	特集 村上隆 スー パーフラット1 そ の展開と論争史	五十嵐太郎	"
芸術をめぐる言葉 105 わだばゴッホ になる。一棟方志功	谷川 渥	美術手帖	811	特集 村上隆 スー パーフラット2 そ の定義と可能性	倉石 信乃	"
LR artists enquête 二〇〇一年にあなたが 行ってみたい場所 を教えてください	宗宮 肇	アート・ マガジン (エル・ アール)	23	特集 村上隆 アニ メ 絵画としての動 画	藤津 亮太	"
王国 高松伸著/村 井修写真		日 経	6.17	特集 村上隆 フィ ギュア 偶像と模造 人体	あさのまさ ひこ	"
新美術時評 塩につ いて―「神は細部に」 [村岡三郎]	中村 敬治	新美術新聞	940	特集 村上隆 コン セプト 概念とその 変形	古賀 学 編 集 部	"
エロスのうごめきー 村上華岳「久遠の女 性」へ	芳賀 徹	アルカ ディア	7	特集 村上隆 道場 教育と実践の場とし て	本橋 康治	"

総特集 宮崎駿[千と千尋の神隠し]の世界 感心して、唸って、共感して、少し感動した。

村上 隆 ユリイカ 451

特集 日本現代美術最前線 村上隆vs奈良美智 スーパーフラット再考

東村 浩紀
村上 隆
対談 " 453

特集 日本現代美術最前線 村上隆vs奈良美智 スーパーフラットからGEISAIへ 村上隆の近未来をめぐって

榎木 野衣 " " "

特集 日本現代美術最前線 村上隆vs奈良美智 村上隆。受けているのは順風か逆風か？

香山 リカ " " "

特集 日本現代美術最前線 村上隆vs奈良美智 しかも手をだして

清水 博子 " " "

特集 日本現代美術最前線 村上隆vs奈良美智 ヒロポン・ファクトリー・アウトレット

村上 隆 " " "

日本の自画像、対照的な視点で 村上隆さん 奈良美智さん

大西 若人 朝 日 9.26

異業種集め米で企画展 村上隆さん

(盛) 朝日夕刊 4.3

村上三千穂、山口将太郎作品修復報告

村松 裕美 早稲田大学津八
一記念博
物館研究
紀要 2

美術館多面体—東北の風土から

村上 善男 あ い だ 62

装幀異聞記4 画家の仕事[村上善男]

臼田 捷治 デザイン
の現場 115

未来圏の調律者28 村田曉彦(前、後)

石川 翠 e t c . 29、30

ハンディ逆手にうれしい受賞[村田高雄、ユザワヤ創作大賞展]

川辺 章生 日経夕刊 3.23

アトリエの扉をあけて40 村田善子

橋本 麻里 デザイン
の現場 119

図面ににじむ建築への愛[村野藤吾]

村野 漾 日 経 11.9

四谷荒木町のアナクレオン—村山槐多の油彩『乞食と女』を追う

佐々木 央 絵 436

村山槐多拾遺

" 近代画説 10

ホテルに巨大バック出現!? 「横浜トリエンナーレ」アートプラン進行中 椿昇・室井尚共同作品

渋谷 和彦 産 経 7.22

(モ)

誌上講義11 いつも心にクリエイション 毛利 臣男 瓜生通信 19

インタビュー 毛利 臣男
武士郎 DNAの碑、地下埋蔵大作戦 芸術新潮 617

望月正夫写真集『Television 1975▶1976』 (前) 読 売 7.15

悼む 建築家 多摩美術大学教授綱穀 大西 若人 朝日夕刊 10.1

喜多武四郎ノート 基 俊太郎 碌山美術館報 21

写真集『RUSH』大森克巳、元田敬三、百々新、長島有里枝、有元伸也、大橋仁、野村恵子 (え) 読 売 1.14

元田敬三写真集「青い水」 (前) " 3.11

自伝「天然まんが家」を出した 本宮ひろ志さん 石田 汗太 読売夕刊 12.28

第8回「日本文化芸術奨励賞」森万里子さんが受賞 (真) 新美術新聞 924

絵は風景 森田りえ子「熱国麗華」 芥川 喜好 読 売 2.18

近代日本に於ける西洋絵画の受容について 1. 油絵専攻における本研究へのアプローチ 異文化の受容について 森永 昌司 広島市立大学芸術学部紀要 6

転機的一点 《Dream1》版画家 石川 健次 毎 日 5.20

緊急特集 米国同時テロ 美術の世界は生きている 森村 泰昌 新美術新聞 941

森村泰昌 フリーダ・カーロに出会う旅 森村 泰昌 堀尾真紀子 対談 美術手帖 810

目立つて関西系 なんてやねん対談 木村 政雄 朝 日 2.21

著者に会いたい 『まあ、ええがな』のころ 佐久間文子 " 5.27

女優家Mの物語 森村泰昌著 日 経 7.1

おかしみの美学十選 1~10 森村 泰昌 " 11.29、30、12.3~6、12.11~14

あすへの話題 もうひとつの美術鑑賞法 [森村泰昌] 深井 晃子 日経夕刊 3.24

平成13年定期刊行物所載文献(近ノ作モ、ヤ)

大人のための鑑賞術 森村泰昌 扮装で撃 つ「名画の見方」	(宝)	日経夕刊	7. 9	1. 25、 2. 26、 3. 29、 4. 24、 5. 30、 7. 4、24、 8. 27、 9. 25、 10. 25、 11. 27	保田龍門作《吉田松 陰形像》調査報告 1 保田龍門作《吉 田松陰形像》	坂本 雅子	屋外彫刻 調査保存 研究会会 報	2
					時のかたち	安彦 良和	朝日夕刊	6. 19~22
					Interview 安福真 紀子	斎藤 一典 聞き手	e t c .	30
芸術家Mの社会見学	森村 泰昌	毎日夕刊			《The White Casket》 1994年 やなぎみわ	加須屋明子	国立国際 美術館月 報	101
美の標本室 名画を まねる「森村泰昌」	布施 英利	"	8. 3		十五年間のスタジオ 難民生活記	柳 幸典	"	111
『空想主義的芸術家 宣言』を書いた森村 泰昌氏	前田 恭二	読売夕刊	2. 3		日本画家柳沢正人 龍雲寺(長野県佐久 市)に襖絵奉納		新美術新 聞	926
特集 奈良美智読本 聖域の被写界深度 制作現場を記録して	森本 美絵 編集部構成	美術手帖	813		人・模・様 “船” の 画家 仕事を集大成 [柳原良平]	鈴木志津子	毎日夕刊	11. 1
平成13年度文化勲章 守屋多々志氏(日本 画)と淀井敏夫氏(彫 刻)	(美)	新美術新 聞	943		自分と出会う 幼児 絵本を描くために生 まれた	やなせたか し	朝日夕刊	11. 5
絵は風景 守屋多々 志「誕生(聖徳太子)」	芥川 喜好	読 売	3. 4		「悼! 横山隆一先 生」	"	産経夕刊	11. 17
時のかたち	森山 大道	朝日夕刊	6. 27~29		柳 瀬 正 夢「無題Ⅰ」 「無題Ⅱ」「無題Ⅲ」修 復報告	村松 裕美	修復研究 所報告	15
交遊抄 良きライバ ル	"	日 経	2. 10		待望の拠点完成に祝 福の輪[矢野伶俏]		毎日夕刊	10. 3
(ヤ)								
この人 日本画に新 風を吹き込む 八木 幾朗さん	吉田 薫	東 京	1. 16		Special Report 「キ リン アートアワ ード」の10年 キリン アワード10周年おめ でとう2	ヤノベケン ジ	美術手帖	806
テーブルトーク 下 北沢の酩酊交遊日記 「早すぎる死」見つめ て ヤギヤスおさん (イラストレーター)	(鉄)	朝日夕刊	9. 25		close up! ロシア・ アヴァンギャルド 矢萩喜徳郎の視線	橋本 麻里	デザインの 現場	115
中国で感じた日本漫 画熱 初の漫画学校 講義に目を輝かせる 生徒たち	矢口 高雄	毎日夕刊	3. 1		美術展を観る一作家 の眼、作家の言葉 11、12	絹谷 幸二 中野 嘉之 藪内佐斗司	ギ ャ ラ リ ー(月 刊)	189, 190
夜は優しき 安住孝 史『東京 夜の町角』		東 京	10. 28		都心の寺に出会ひの 仏像 彫刻家の藪内 佐斗司	吉田 俊宏	日 経	7. 15
新美術時評 安田侃 の彫刻	柴橋 伴夫	新美術新 聞	939		至高の一点 国宝醍 醐寺展から 弥勒菩 薩坐像 静かな華麗 さ、黄金色に品格	藪内佐斗司	日経夕刊	4. 17
ひと 石の作品群を 故国で通年展示中の 在欧彫刻家 安田侃 さん	佐田 智子	朝 日	7. 13		長屋の「主」が語る下 町文化 井上明久さ ん、藪野健さん	末田 彩	産経夕刊	2. 13
オペラ「蝶々夫人」舞 台美術 安田侃		産 経	7. 28		ひと 第35回女流陶 芸展で文部科学大臣 奨励賞 山内紅子さ ん	岸 桂子	毎 日	11. 14
手の寓意十選 1~10	保田 春彦	日 経	9. 24、25、 27、28、 10. 1、2、 4、5、8、9		アートイング東京 2001—生きられた空 間・時間・身体 山 内崇嗣	山内 崇嗣	セゾ ン アート プロ グラ ム・ ジャー ナル	7
安田侃彦の歴史画— ヤマトタケル作品を 中心に—	杉田 真珠	川崎市市 民ミュー ジウム紀 要	13					

随想「田園シンフォニー」山口薫の芸術展をふりかえって 山口薫と浜崎あゆみ	小泉 淳一	茨城県近代美術館だより	53	山口蓬春先生ご夫妻に出逢えた幸せ	安藤 一コ	"	"	
八丁堀通信 6~12	山口 勝弘	あいだ	61~67	山口蓬春日記について 2	豊成 貴紘 岡田 修子	"	"	
2000年度毎日芸術賞に山口勝弘氏と畠山直哉氏	(真)	新美術新聞	918	自然に近く	山口 牧生	国立国際美術館月報		109
公開講座収録 SAP Critical Session(2)「歴史と現在 今、20世紀日本美術史で再考すべき事柄」第3回「実験工房と半世紀間の展開」	山口 勝弘	セゾンアートプログラム・ジャーナル	6	郷里の田園風景を描き続けた「農民画家」山倉克己さん	辻 勉	読 売	8.5	
第42回毎日芸術賞 山口勝弘氏「闇2000光—山口勝弘展」(富山県下山芸術の森発電所美術館)	中原 佑介	毎 日	1.1	完成度の高い作品 山下画伯の桜島張り絵[山下清]	渋谷 和彦	産 経	6.29	
「闇2000光—山口勝弘展」山口勝弘さん	三田 晴夫	毎日夕刊	1.18	新世紀のスタート 日展は今	山下 渡辺 池田 山上 宮里 石川 立川 高木 横山 寺坂 司会	保子 武蔵 良則 阿有 久利 明人 充宏 善治 雨平 聖雄 煌平 公雄	日 展 ニ ュース	102
毎日芸術賞を受賞して 贈呈式の挨拶から 分野越えた新しい表現を	山口 勝弘	"	1.31	山下りん筆《聖母子とヨハネ》の原画について	久保いくこ	日本美術研究	1	
版画系 山口啓介「枯野と幼年期の終わり」より	岡 部	版画芸術	111	24年の時こえて かまち 母が語る[山田かまち]		朝日夕刊	2.7	
版画再考「Press」の試み「版画」とは何か—Pressの活動の意義—	渋谷 和良 林 孝彦 山口 啓介 秋田 構成	"	112	フェイス21世紀25 山田純嗣	常盤 茂	新美術新聞	920	
村上三千穂、山口将吉郎作品修復報告	村松 裕美	早稲田大学会津八一記念博物館研究紀要	2	気になるこの人 政治漫画 山田紳さん 1~5	木村 良一	産 経	2.12~17	
山口先生の思い出	佐藤 関夫 福壽 栄司 笠 理砂 笠 聞き手	山口蓬春記念館研究紀要	2	悼「せん」	山田 光	目の眼	298	
山口蓬春年譜の修訂について	川口 順啓	"	"	大和秋平のこと	岸野 裕人	姫路市立美術館だより	72	
山口蓬春記念館蔵《十二ヶ月風俗図》—その図様の検討と制作目的について	笠 理砂	"	"	山中節治拾遺	森 仁史	一 寸	6	
蓬春研究ノート2 山口蓬春の画室について	岡田 修子	"	"	意味と曖昧について	山中 嘉一	国立国際美術館月報	100	
第2回葉山美術講演会「山口蓬春の人と芸術」	橋 秀文	"	"	東京解剖図鑑 ざわめく政局そこで人形作家[山本淳一]	今村 守之	東 京	3.5	
第3回葉山美術講演会「六潮会時代の蓬春」	野地耕一郎	"	"	特集1 アートインク東京2000:16×16 現在進行形の美術とそのゆくえ 山本糾	山本 糾	セゾンアートプログラム・ジャーナル	5	
第4回葉山美術講演会「山口蓬春とモダンズム」	尾崎 正明	"	"	群と個と「個の会」の最終回に	山本 貞	新美術新聞	926	
				転機の一点《風のぬける道》画家 山本貞さん	石川 健次	毎 日	5.27	
				北浜漁史武田忠臣君肖像[山本芳翠画、合田清刻]	丹尾 安典	一 寸	5	

山本芳翠と洋画背景の流行	坂本 麻衣	早稲田大学大学院文学研究科紀要	46	紫綬褒章 画家・グラフィックデザイナー横尾忠則さん魅力あれば何でも挑戦	読 売	11. 2
鍔鏡研磨—山本鳳龍のわざ—	原田 三壽	立命館大学考古学論集	2	週間日記 横尾忠則さん1~4	横尾 忠則 読売夕刊	7. 7、14、21、28
思考する曲線	山本 祐司	辰野美術館だより	19	寂庵こよみ DNAの不思議 さなぎが蝶になるとき[横尾美美]	瀬戸内寂聴 東 京	10. 23
『絵本 フランスの頑固なレシビ』山本容子著	嵐山光三郎	朝 日	5. 13	Interview 横谷奈歩 斎藤 一典 聞き手	e t c .	31
ひとこと 山本容子さん 「はなうた歌うようにスツと絵画に入って」	山本 容子	朝日夕刊	3. 15	もうひとりの戦争画家—戦中期の横山大観	笹木 繁男 あ い だ	69
「生活をテーマに」銅版画の山本容子氏		"	6. 5	『生々流転』についての考察[横山大観]	長尾 正憲 横山大観記念館館報	17
山本容子さんの絵本箱	山本 容子	"	5. 14、6. 18、7. 23、8. 27、10. 29、12. 10	『秋思』試論[横山大観]	野本 淳 "	"
家族のこと話そう 山本容子さん 大家族の中で養った価値観	山本 容子 系信 西沢 聞き手	東 京	12. 8	大観・観山合作《明暗》および早稲田大学旧図書館建築基礎資料集	丹尾 安典 志邨 匠子 編	早稲田大学津八木記念博物館研究紀要 2
空間の思考3 そこに風景があった 山本理顕『埼玉県立大学』について	多木 浩二	ユリイカ	453	絵と人のものがたり 横山大観1~4	芥川 喜好	読 売 4. 1、8、15、22
山脇信徳の「無形画」	河村 章代	高知県立美術館研究紀要	3	已年の人 漫画家横山泰三さん		読売夕刊 1. 10
(ヨ)				惜別 漫画家 横山隆一さん	渡辺 隆 朝日夕刊	11. 26
新・作家への道標82 横尾忠則・直感に導かれたプリミティブ・パワー		ギャラリー(月刊)	198	「悼! 横山隆一先生」	やなせたかし 産経夕刊	11. 17
月刊ギャラリー200号記念特集 スター誕生物語 横尾忠則	原 青木 俊夫 康彦	"	200	横山隆一さんを悼む 背広着たフクちゃん	ちばてつや 東京夕刊	11. 12
特集 宝塚 銀橋に描いた夢 対話	大浦みづき 横尾 忠則 対談	ユリイカ	446	横山隆一さん死去 日々の生活ほのぼのと	内藤麻里子 毎日夕刊	11. 8
あの場面にプレーバック 美術家 横尾忠則さん	横尾 忠則 保科 龍朗 聞き手	朝 日	7. 29	少年のようなあくなき好奇心 追悼 横山隆一さん、また会う日まで	斎藤 茂太 毎日夕刊	11. 13
横尾忠則さんと読者が考える 不眠の悩み	横尾 忠則 談	朝日夕刊	10. 1	横山隆一さんを悼む	鈴木 義一 読売夕刊	11. 8
手では描けない世界を創る	横尾 忠則 高城 対談	産 経	10. 18	近代日本に於ける西洋絵画の受容について 1. 油絵専攻における本研究へのアプローチ 油絵の多元性について	吉井 章 広島市立大学芸術学部紀要	6
秋の褒章783人 画家 横尾忠則さん		"	11. 2	絵は風景 吉江新二「CINDER & CEMENT」	芥川 喜好 読 売	2. 25
わが街わが友	横尾 忠則	東 京	3. 7、9、13、14、16、19、20	カバーインタビュー 吉岡徳仁		A X I S 93
転機的一点《宇宙蜚》画家 横尾忠則さん	石川 健次	毎 日	2. 25	イタリア留学経験者座談会「魅せられて、イタリア」	安達 博文、川崎 麻児、吉岡 対談 正人	美術の窓 212
				「ドイツ陶芸の百年」展によせて	吉川 正道 現代の眼	526

わたしの好きなものの シャツ、靴、小説、 散歩	吉田 暁子	新美術新 聞	920	東京地裁「一角獣 座」著作権訴訟を却 下[若林奮]		新美術新 聞	915
講演会記録 父吉田 三郎を語る	吉田 渉 談	石川県立 美術館だ より	214	日の出「緑の森の一 角獣座」代執 行 費・物件引取請求に 抗議[若林奮]	(美)	"	922
芸苑雑事記102 橋 本博英忌と吉田俊雄 の訃	瀧 悌三	美術の窓	212	日の出「一角獣座」情 報公開で強制収用の 実態を追求[若林奮]	"	"	928
公開講座収録 SAP Critical Session(2) 「歴史と現在 今、 20世紀日本美術史で 再考すべき事柄」 第4回 実験的実験 トーク「ネオ・ダダ と吉村一応答と変容」	吉村 益信	セゾン アートプ ログラ ム・ジャ ーナル	6	道路の遠近を忘れた り8 紙の着物の破 れるおとの路次の遠 さが心に沁みる	吉増 剛造 若林 奮	武蔵野美 術	119
緊急特集 米国同時 テロ 見上げられな い空	依田 順子	新美術新 聞	941	鷺田新太「俑」一生誕 百年によせて一	行俊 勉	野洲町立 歴史民俗 資料館研 究紀要	8
素朴な笑みの『十一 面観音』『天神さま の美術』展を見て	四谷シモン	東 京	8, 12				1. 5、12、 19、26、 2. 2、9、 16、23、 3. 9、16、 23、30、 4. 6、13、 20、27、 5. 11、18、 25、6. 1、 8、15
平成13年度文化勲章 守屋多々志氏(日本 画)と淀井敏夫氏(彫 刻)	(美)	新美術新 聞	943	放射線	和田 誠	東京夕刊	
雨の街十選1〜10	米谷 清和	日 経	3. 5、6、8、 9、14、 19〜22	シンガポールの眼ざ し	和太守卑良	日 経	4. 1
制作ノート 地球 ショック。	寄藤 文平	武蔵野美 術	119	和達知男日記『うた かた』(上)	水沢 勉	現代芸術 研究	4
萬鐵五郎の大正時代 の雑誌挿画	江渡 憲夫	岩手県立 博物館研 究報告	18	向う三軒両隣 神奈 川横丁51 渡辺豊重 俳句絵画の発見	武田 厚	美術の窓	215
絵と人のものがたり 萬鉄五郎1〜4	芥川 喜好	読 売	7. 22、29、 8. 5、12		山下 保子 渡辺 武蔵 池田 良則 池山 阿有 上田 久利 宮里 明人 石川 宏治 立川 善治 高木 聖雨 横山 煌平 寺坂 公雄	日 展 ニユース	102
日本人の足跡78〜83 日本最初の女流洋画 家 ラグーザ・玉 1〜6	福島 香織	産 経	4. 10〜 13、15、 16	新世紀のスタート 日展は今			
寄贈作品紹介：料治 熊太旧蔵版画誌	滝沢 恭司	町田市立 国際版画 美術館紀 要	5	フェイス21世紀23 渡部満	常盤 茂	新美術新 聞	915
	(口)			海 外			
緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議6 獅子倉 シンジ× LOCO		美術手帖	798		(ア)		
若木信吾写真集 『young tree』	大竹 昭子	朝 日	4. 29	ジョン・M・アーム レーダー インタ ビュー	長澤 章生	美術手帖	808
"		日 経	4. 1	ピーテル・アール ツェンの《キリスト と姦淫の女》とプク ラル以降の同主題 作品	堤 委子	鹿島美術 研究	18

美の標本室 森と宇
宙と建築と[アル
バ・アールト]

布施 英利 毎日夕刊 11.2

ウィメンズアート
「越境する女たち21」
展 シンポジウム
「新しい時代のウィ
メンズアートネット
ワーク」

安田 和代
司会
ニロフアー
・アクムッ
ト、アラフ
マヤーニ、
シ ユー
リー・チェ
ン、ヴァー
ン、シャ・ネ
ール、アマン
ダ・ヘン、
ニタヤ・ウ
エアリーワ
ラックル、
金井 良子、
嶋田 美子、
藤江 民、
パネリスト

アート・
マガジン
(エル・
アール)

24

『アンセル・アダム
ズ写真集成』

(前) 読 売 11.4

ダイアン・アーバスの
《アンタイトル
ド・シリーズ》に関
する一考察―「家族
写真」の枠組を利用
して―

高橋 千晶 文化学年
報(同志
社大学)

50

私たちの生を問う現
代美術の可能性につ
いて[マグダレー
ナ・アバカノヴィッ
チ]

八島 ミキ 皇学館論
叢

200

元呪術師(シャーマ
ン)の画家パブロ・
アマリンゴの作品と
展示活動についての
報告[シンポジウム
「アートと民族文化
の表象―特別展『越
境する民族文化』を
中心に」]

永武ひかる 国立民族
学博物館
研究報告
別冊

22

わが名はアラスデア
高貴にして顔龐の画
家なり

芸術新潮 615

ウィメンズアート
「越境する女たち21」
展 シンポジウム
「新しい時代のウィ
メンズアートネット
ワーク」

安田 和代
司会
ニロフアー
・アクムッ
ト、アラフ
マヤーニ、
シ ユー
リー・チェ
ン、ヴァー
ン、シャ・ネ
ール、アマン
ダ・ヘン、
ニタヤ・ウ
エアリーワ
ラックル、
金井 良子、
嶋田 美子、
藤江 民、
パネリスト

アート・
マガジン
(エル・
アール)

24

ジュゼッペ・アルチ
ンボルドの「合成肖
像」に関する試論―
《四季》、《四大》及び
《ウェルトウムヌス
としてのルドルフ二
世》における身体と
王権の表象―

小川 浩史 美術史 151

マックス・アンダー
ソン来日 欧米コ
ミック文化から見え
る日本の特異性

小田切 博 美術手帖 801

(イ)

李仲燮のこと―徐知
賢さんの研究より―

丹尾 安典 一 寸 6

アルフレッド・イー
ストと日光

藤田 啓子 富山市箕
牛人記念
美術館館
報 10

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ
チャールズ&レイ・
イームズ 時間を縫
い込む「コラ
ージュ」：シームレス
×アン・シームレス

松本 淳
+studio k
m 美術手帖 809

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ 戦争
が生んだイームズ・
デザイン=成型合板
と大量生産

紫牟田伸子 " "

文化往来 米国流の
モダンデザインが復
権[イームズ夫妻]

日 経 9.1

サイバー東京ラリー
ファブリス・イペー
ル

市原研太郎 美術手帖 813

インドネシアの土俗
画家 イ・マデ・ブ
ディ 時代や日常
飄々と描く

葛西 玲子 産 経 10.14

(ウ)

月間ハマトリ
VOICES OF HAMA-
TORI ベーター・
フィッシュリ&ダ
ヴィッド・ヴァイス

編集部 美術手帖 812

特集 オブ・アートの
快感 ヴィクト
ル・ヴァザルリ 感
星のフォークロア

ヨーグ・ハ
イザー
木下 哲夫
訳 " 808

アーリング・ヴァル
ティルソン 漆黒の
ミステリー

辺見 構成 版画芸術 111

観ることと描くこと
14 ヒューゴ・ヴァ
ン・デル・グース
「ポルティナーリ祭
壇画」

黒江 光彦 美術手帖 805

Artist Interview
スー・ウィリアムズ

梅宮 典子 " 811

ウィメンズアート 「越境する女たち21」 展 「新しい時代のウィ メンズアートネット ワーク」	安田 和代 司会 ニ・ファ ・ア ・ク ・ム ・ツ ・アラ ・フ ・マ ・ヤ ・ニ ・シ ・リ ・ユ ・チ ・エ ・リ ・ン ・シ ・ヤ ・ア ・マ ・ン ・ダ ・ハ ・ヘ ・ン ・ウ ・エ ・ア ・リ ・ワ ・ラ ・ク ・ク ・ル ・金 ・井 ・嶋 ・田 ・美 ・子 ・民 ・藤 ・江 ・パ ・ネ ・リ ・ス ・ト	アート・ マガジン (エル・ アール)	24
--	--	------------------------------	----

ロヒール・ファン・ デル・ウェイデン作 《ブラデリン祭壇画》 に描かれた二つの 「穴」について	木川 弘美	美術史	151
---	-------	-----	-----

観ることと描くこと 11 ロヒール・ファン・ デル・ウェイデン 「聖母子を描く聖 ルカ」	黒江 光彦	美術手帖	800
--	-------	------	-----

ロヒール・ファン・ デル・ウェイデン 「十字架降下」	"	"	801
----------------------------------	---	---	-----

第4回「武蔵野美術」 評論賞/受賞論文発 表 平面・反復・差 異—アン・ディ・ ウォーホルの二連画 について	土屋 誠一	武蔵野美術	120
---	-------	-------	-----

〈眼差し〉の交錯—セ オドア・ウォレスの 日本女性像をめぐっ て—	瀧井 直子	美術史研 究	39
--	-------	-----------	----

(工)

おぞましき女体・文化 女性によるセク シュアリティの表象 をめぐる多元文化論 の試み8 ヴァ リー・エクスポート 自動人形への強制が 発散するエロティシ ズム	越智 和弘	武蔵野美術	119
---	-------	-------	-----

内側から見た身体の イメージ	ローリー・ トビー・エ ディソン 加須屋明子 訳	国立国際 美術館月 報	107
-------------------	--------------------------------------	-------------------	-----

《トレーシー・ブ ラックストーン&デ ビー・ノトキン》 1994年 ローリー・ トビー・エディソン (1942—)	加須屋明子	"	"
--	-------	---	---

(オ)

「南北の橋渡しにな れば」在日コリア ンと日本人も協力 し、呉炳学さん、画 集刊行	明珍 美紀	毎日	4.5
---	-------	----	-----

日中友好 絵筆で架 け橋[王軍]		東京夕刊	10.29
---------------------	--	------	-------

特集 日本の美術と 教育 創造性を育む 場へ2 「曲がった 遠近法」	大岩 オス カール幸男	美術手帖	801
---	----------------	------	-----

緊急対談・座談会ス ペシャル 新世紀 アーティスト会議1 ジュリアン・オビー ×ヒロ杉山	川出 絵里 訳	"	798
--	------------	---	-----

クリス・オフィリ ウンコ、コドモ、オ フィリ。	しりあがり 寿	"	808
-------------------------------	------------	---	-----

クリス・オフィリ 万華鏡に映じるきわ どいアイロニー	平野千枝子	"	"
----------------------------------	-------	---	---

月間 ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI ガブリエル オロツコ	嘉藤 笑子	"	812
--	-------	---	-----

(カ)

特集：横浜トリエン ナーレ2001 フィン ランドから出品参加 しました カサグレ ンデ&リンターラの 場合		あいだ	71
---	--	-----	----

月間 ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI エドワル ド・カック	嘉藤 笑子	美術手帖	812
--	-------	------	-----

月間 ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI カルロス・ ガラニコア	川原 英樹	"	812
---	-------	---	-----

特集 美術と身体表 現 カラヴァッジオ の身振り—表出から 象徴へ	宮下規久朗	西洋美術 研究	5
--	-------	------------	---

イタリア美術の造形 表現「バロックの光 と闇」—ローマでの カラヴァッジオ考—	吉井 章	広島市立 大学芸術 学部紀要	6
--	------	----------------------	---

特集 カラヴァッ ジョ 聖なる人殺し 画家の生涯	石鍋 真澄 解説	芸術新潮	622
--------------------------------	-------------	------	-----

輝く異能の星 ロン ドンで見るカラバッ ジョ	松葉 一清 朝	日	5.2
------------------------------	------------	---	-----

カラバッジョ破滅へ の疾走	外岡 英俊	"	9.7
------------------	-------	---	-----

花嫁装束再び—ダ ニ・カラヴァン『斜 線』の上を歩きなが ら—	石崎 勝基	ひる・う いんど	70
--	-------	-------------	----

ルドヴィーコ・カラッチからドメニキ・ノヘー《エルミニアと羊飼》をめぐって一考察	小針由紀隆	アマリリス	61
あすへの話題 カルパッチョ[カルパッチョ・ヴィットーレ]	深井 晃子	日経夕刊	1.6
エミール・ガレにとつてのマイゼンタール	水田 順子	GLASS	44
ヴァシリイ・カンディンスキーの木版画《夕暮れ》	古田 浩俊	愛知県美術館研究紀要	7

(キ)

私たちの生を問う現代美術の可能性について[アンゼルム・キーファー]	八島 ミキ	皇学館論叢	200
二枚のキヨソネ作《大久保利通像》から銅・石版画遺聞7	森 登 一 寸		7

(ク)

Artist Interview クー・ジュン・ガ	嘉藤 笑子	美術手帖	805
不可視のデザインーオーストリア現代デザインの原点	クリスティアン・クネヒトル	視 る	396
フェルナン・クノッブのジャポニスム	高木 陽子	美術史	151
クラーナハの隠微な戯れードイツ宗教改革期におけるルクレティア像のパラドックスー	秋山 聰	東京学芸大学造形芸術学・演劇学	3
現在通信 from NEW YORK リー・クラズナー	富井 玲子	新美術新聞	915
文化往来 「アンブレラ」から10年、クリストらを総覧		日 経	11.26
壮大なプロジェクトの原点示唆 クリスト&ジャンヌ＝クロードの初期作品	高石 ゆみ	毎日夕刊	12.4
クリムトとギリシア美術	西田 兼	芸術論究	28
クリムト最後のアトリエ 外観変っても「芸術」気がかりな売却問題	越 宏一	読売夕刊	3.13
観ることと描くこと 20 マティアス・グルネヴァルト「聖アントニウスの誘惑」	黒江 光彦	美術手帖	812
ダン・グレアムのパヴィリオンあるいはメビウスの帯	渡部 葉子	東京都現代美術館紀要	6
音楽評論家としてのパウル・クレー	宮下 誠	国学院雑誌	1127

クレーの絵、元所有者の遺族に返還 ナチス略奪品と判明 京都の清水三年坂美術館長	朝 日	3.6
---	-----	-----

エル・グレコのビザンチニズムをめぐって	ニコス・ハジニコラウ横山由紀子訳	美術史論叢	17
第87回例会発表要旨 クロード・ロランと古代彫刻ー《パリスの審判のある風景》を中心に	永井 仁	日仏美術学会会報	20

(コ)

作家訪問300 陶芸家 高喜淑さん	編集部	目の眼	303
黒崎彰の新・版画講座12 木版のバイバルーゴーギャンの「ノア・ノア」をめぐってー	黒崎 彰	版画芸術	114
第五十四回全国大会研究発表要旨 ポール・ゴーギャン《タヒチ人たち》(テート・ギャラリー蔵)の制作時期と制作意図について	高久 馨	美術史	151
Artist Interview ダグラス・ゴードン	市原研太郎ききて	美術手帖	806
創るアングル 建築家レム・コールハース		日 経	5.6
ハッリ・コスキネン ミニマルライフから生まれたライン	渡部 千春	デザインの現場	114
ゴッホの中のミレー 1、2	井出洋一郎	絵	440、441
星の位置でゴッホ解く 晩年作品「夜の白い家」は1890年6月16日午後7ー8時の風景		朝日夕刊	3.12
美の美 星空のゴッホ 1〜4	竹田 博志	日 経	9.9、16、23、30
フランシスコ・デ・ゴヤのタピスリーカルトン研究ータピスリーカルトンにおける遠近表現ー	大坪 慈	鹿島美術研究	18
3年間の自由主義政権期におけるゴヤの民衆像の変容	宮崎奈都香	" "	" "
ゴヤの《村の結婚式》のための4点のポセトについて	大坪 慈	芸術学研究(筑波大学)	5
ゴヤの晩年の代表作 審議めぐって議論	(立)	朝日夕刊	5.29
「ラファエル・コラン」展	荒屋鋪 透	西洋美術研究	5

Artist Interview ドロー・ゴルツ	編 集 部 ききて・構 成	美術手帖	805
彫刻家P・コワルス キー氏に聞く 芸術 と科学の融合めざす	小林 清人	読 売	7.25
月 間 ハ マ ト リ VOICES OF HAMA- TORI ドミニク・ ゴンザレス=フェル ステル	林 央子	美術手帖	812
パリ博・ソ連館の復 元運動 ロシアアバ ンギャルドに再び光 [メリニコフ・コン スタンチン]	青木 睦 東 京		8.7

(サ)

私たちの生を問う現 代美術の可能性につ いて[ラインハル ト・サビエ]	八島 ミキ	皇学館論 叢	200
月 間 ハ マ ト リ VOICES OF HAMA- TORI アンリ・サラ	嘉藤 笑子	美術手帖	812
工部美術学校研究寄 与一教師アキレ・ サンジョヴァンニの 画家形成過程を中心 に	河上 眞理	鹿島美術 研究	18
《アイシャ・エルク メン 1:10》1999 年 カリン・ザン ダー(1957-)	中西 博之	国立国際 美術館月 報	102
特別対談 寂聴×ア ラーキー ニキ美術 館 デート[ニキ・ ド・サン・フェル]	瀬戸内寂聴 荒木 経惟	芸術新潮	613
大作紛失大失態 国 立ポンビドー・セン ター ニキ作「ナナ」 シリーズ代表作	大野 博人	朝 日	1.28

(シ)

第88回例会発表要旨 フランスのロマン主 義をめぐって—ジェ リコーとドラクロワ ジェリコーのリトグ ラフ研究—「英国シ リーズ」に見られる 技法・様式上のばら つきとその制作方法 に関して	大森 弦史	日仏美術 学会会報	20
マルセル・ジモンの 頭像	高橋 幸次	あーとら いぶら りー	2
中山巍とシャガール (1、2)	柳沢 秀行	岡山県立 美術 館 ニュース	54、55
マルク・シャガール 作《二重肖像》につ いて	深谷 克典	名古屋市 美術館研 究紀要	10
シャガールと日本	"	ピロティ	119

アルベルト・ジャコ メッティにおける後 期作品展開の研究	武田 昭彦	鹿島美術 研究	18
試論 ジャッドの家 具製作について	平野千枝子	東京都現 代美術館 紀要	6
シリル・シャネット モノクロームで表現 されたイスラム社会	神谷 幸江	美術手帖	805
ジャン・ジャンセン の世界—光・孤独・ 静かさと折りと……	笹本 孝	跡見学園 女子大学 美術・美 術史学科 報	29

(ス)

外国人の目 トルコ 人画家 スィベルさ ん 浮世絵に魅せら れ	山科 武司	毎 日	11.29
スーラの《グラン ド・ジャット島の日 曜日の午後》—近代 都市ユートピアの光 と影	坂上 桂子	学 燈	98—7
絵画が語る「強制収 容」 日系画家ヘン リー杉本回顧展静か なブーム	片山 雅文	産 経	8.11
建築家マルト・スタ ムの近代建築理念の 性格と特徴について	矢代 真己	日本建築 学会計画 系論文集	541
月 間 ハ マ ト リ VOICES OF HAMA- TORI ステラーク	編 集 部	美術手帖	812
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 麗し き難物 テンセグリ ティ・ドーム《ホワ イト・ライノ》の建 設[ケネス・スネル ソン]	川口 健一、 藤井 明、 槻橋 修 文、写真	"	809

(セ)

特集 横浜トリエン ナーレ2001の歩き方 ヨコハマ港町物語 其の参 アラン・セ クラ	神谷 幸江	美術手帖	811
セザンヌとパリ・コ ミュン—印象派前 夜のセザンヌ—	末永 照和	実践女子 大学文学 部紀要	43
特集 美術とモダニ ズム 抽象表現主義 における「モダニズ ム」の 源 泉 ハン ス・ホフマンのセザ ンヌ解釈	川田都樹子	武蔵野美 術	120

(タ)

Artist Interview リュック・タイマン ス	樹村 緑 ききて	美術手帖	798
ブルーノ・タウトの 伊勢神宮評価とナ ショナリズム	東 久仁政	芸術学研 究(筑波 大学)	5

観ることと描くこと
16 ヘラルト・ダ
フィット「キリスト
の洗礼の祭壇画」

黒江 光彦 美術手帖 808

特集 OPINIONS
2001 『私のデザイ
ンというのではなく、それはあなたの
デザイン、あなたの
視覚というべきもの
です』

ジェームズ・タレル A X I S 89

庭からの視線5 視
覚を解放する仕掛け
[ジェームズ・タレル]

伊藤 公文
久家 靖秀
写真 典李子
川上 編集協力
" 93

テクスチュアとして
の暗闇《直島・家プ
ロジェクト》[ジェ
ームズ・タレル]

村上 敬 美学研究 1

ジェームズ・タレル
未知との遭遇 ロー
デンクレーター訪問
記

渡辺 孝 美術手帖 809

(チ)

チャーバイシ
齊白石をめぐる想い
出

加藤 静允 芸術新潮 614

ウィメンズアート
「越境する女たち21」
展 シンポジウム
「新しい時代のウィ
メンズアートネット
ワーク」

安田 和代
司会
ニロファー
・アクムッ
ト、アラフ
マヤーニ、
シ ユ
リー・チェ
ン、ヴァー
ン・シャ・ネ
ール、アマン
ダ・ヘン、
ニタヤ・ウ
エアリーワ
ラックル、
金井 良子、
嶋田 美子、
藤江 民
バネリスト
アート・
マガジン
(エル・
アール) 24

セックスで物語る
ボーダーの向こう側
映画『I. K. U.』監督
シュリー・チェン
インタビュー

森 直人 美術手帖 806

陳允陸の世界〜中国
の現代作家紹介〜

塩田 昌弘 大手前大
学社会文
化学部論
集 1

(ツ)

現在通信 from NEW
YORK 原点への回
帰[蔡國強]

富井 玲子 新美術新
聞 930

緊急対談・座談会ス
ペシャル 新世紀
アーティスト会議7
インタビュー 蔡國
強

美術手帖 798

月間ハマトリ
VOICES OF HAMA-
TORI ロー ル・
ティクシエ

嘉藤 笑子 " 812

(テ)

ブロンズイーノと
ティツィアーノ
《愛のアレゴリー》と
《ダナエ》をめぐつ
てー

高橋 朋子 女子美術
大学研究
紀要 31

ティツィアーノ作
《エウロペの掠奪》の
意味および形態の源
泉

細野 喜代 美術史 151

【研究ノート】ズル
ヴィア・フォン・ハ
ルデンの肖像[オッ
ト・ディックス]

大原まゆみ 芸術学研
究(明治
学 院 大
学) 11

特集 横浜トリエン
ナーレ2001の歩き方
メイキングオブハマ
トリ リクリット・
ティラヴァニヤ

川原 英樹 美術手帖 811

観ることと描くこと
13 デイックハウツ
「正餐の秘蹟の祭壇
画」

黒江 光彦 " 803

写真批評の新世紀
フォトジェニックの
憂鬱 ウォルフガン
ク・ティルマンズ

杉田 敦 ユリイカ 442

Artist Interview プ
ラメン・デジャノフ
& スウェトラナ・ヒ
ガー

神谷 幸江 美術手帖 803

デューラー・聖 遺
物・ロウ人形

秋山 聰 IS 85

デューラーの『測定
法教則』(2)

下村 耕史 九州産業
大学芸術
学部研究
報告 32

アルブレヒト・
デューラー「聖エウ
スタキウス」修復報
告

田中智恵子 修復研究
所報告 15

観ることと描くこと
21 アルブレヒト・
デューラー「エリン
ギウム草をもつ自画
像」

黒江 光彦 美術手帖 813

PARIS 発 デ ユ
ビュッフェ回顧

安部 雅延 新美術新
聞 939

ユーモアによるカタ
ルシス サム・デュ
ラント

市原研太郎 美術手帖 801

デルヴォーの油彩に
おけるモチーフの年
代的分布について

高瀬 晴之 姫路市立
美術館研
究紀要 4

テル・ブリュッヘン
作《笑うデモクリト
スと泣くヘラクレイ
トス》—世界球・地
球儀・天球儀の表現
をめぐる—

深谷 訓子 美術史 150

平成十二年支部例会
研究発表要旨 ヘン
ドリック・テル・ブ
リュック・ヘン作《笑う
デモクリトスと泣く
ヘラクレイトス》に
関する一考察

" " "

(ト)

特集 ロートレック
人間は醜い、けれど
人生は美しい!

鹿島 茂 芸術新潮 613

ドクター・シノダの
人物画診断17 ロート
レックの病氣遍
歴一濃化異骨症、梅毒、
そしてアルコール依存症

篠田 達明 " "

月間ハマトリ
VOICES OF HAMA-
TORI アニタ・
ドウベ

嘉藤 笑子 美術手帖 812

弾圧 絵筆離さず
隣国で活動 アフガ
ン人画家トクニさん

亀井 和真 毎日 11.29

ルドヴィーコ・カ
ラッチからドメニ
キーノヘー《エルミ
ニアと羊飼ひ》をめ
ぐる一考察

小針由紀隆 アマリリス 61

ドラクロワ、専制と
反乱の間で敗れた
身体 プルボン宮
代議院議場装飾画一

鈴木杜幾子 芸術学研究(明治大学) 11

第88回例会発表要旨
フランスのロマン主
義をめぐってージェ
リコーとドラクロワ
ドラクロワの物語画
における英雄の死ー
《サルダナパロスの死》および初期物語
画について

伊藤明日香 日仏美術学会会報 20

大芸術家の肖像 ド
ラロッシュの壁画を
めぐって

三浦 篤 IS 85

クリストファー・ド
レッサーとジャポニ
スムー陶磁器に見る
日英交流一

佐藤 秀彦 鹿島美術研究 18

[作品研究]クリスト
ファー・ドレッサー
への視点

北村 仁美 現代の眼 527

(ニ)

ヒマワリになった少
女 「ピカソの再来」
米の15歳少女が寄贈
[アレキサンドラ・
ニキータ]

東京タ刊 1.15

(ヌ)

第13回高松宮殿下記
念世界文化賞 建築
部門 ジャン・ヌー
ヴェル氏

産 経 9.14

世界文化賞建築部門
受賞 ジャン・ヌー
ヴェルの世界 無限
の疑問建築で表現

山口 昌子 " 10.28

高松宮殿下記念世界
文化賞受賞 建築家
ジャン・ヌーヴェル
氏

高野 清見 読売タ刊 11.2

(ネ)

安田 和代
司会
ニロファ
・アクム
ツト、アラ
フマヤーニ
・シユ
リー・チエ
ン、ヴァ
ン、シャ
・アマン
ダ・ヘン
ニタヤ・ウ
エアリーワ
ラックル、
金井 良子、
嶋田 美子、
藤江 民
パネリスト

アート・
マガジン
(エル・
アール)

24

ウィメンズアート
「越境する女たち21」
展 シンポジウム
「新しい時代のウィ
メンズアートネット
ワーク」

(ノ)

特集 IN THE FAC-
TORYーものづくり
の現場を訪ねる イ
サム・ノグチのあか
り

A X I S 91

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ イサ
ム・ノグチの一九五
〇年代、日本

広井 カ
イ ユン
タ
イ ヴュー
白坂 ゆり
ききて・構
成

美術手帖 809

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ 川村
純一ノアーキテクト
ファイブ[イサム・
ノグチ]

川村 純一 " "

特集 イームズ、フ
ラー、ノグチ 真つ
赤なオープン・カー
とイサムのカリフォ
ルニア

安斎 重男 " "

イサム・ノグチ：太
陽及びヴォイドシ
リーズについての考
察

滝川 絵奈 美学論究 16

プリミティヴィスム
と反植民地主義：エ
ミール・ノルデの場
合

千足 伸行 美学美術
史論集 13

(ハ)

バーン=ジョー
ンズ：装飾デザインと
レッド・ハウス

白石 和也

九州産業
大学芸術
学部研究
報告 32

京都で再発見された ジェームズ・リー・ バイヤーズ	遠山 公一	美術手帖	809
この人 韓国人の感 性を伝える売れっ子 漫画家 朴光洙さん	五味 洋治	東京	10.10
特集 今、仕事を頼 みたい!11人のグラ フィックデザイナー 白承坤	大城 譲司	デザインの 現場	118
巻頭特集 いまを生 きる木版画精神 朴 再英 記憶の風貌	岡 部	版画芸術	113
月間 ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI ジュン・グ エン=ハツシバ	川原 英樹	美術手帖	812
ジャコモ・バッラの 「動き」の造形につ いて	谷藤 史彦	ふくやま 美術館研 究紀要	1
特集 VIVA!肉 体 表現主義!!!	バベトリ ー・オ ブ・ザ ・ペニス マーク・ロ ビンソン イ ビュ ー 都築 馨一 構成	美術手帖	805
Hippolyte Bayard (1801—1887)の研究	石川 寛夫 川上 力	九州産業 大学芸術 学部研究 報告	32
“孤高の画家”娘に語 る[バルテュス]	国末 憲人	朝 日	3.19
画家バルテュスとの 出会いと別れ 厳肅 な少女との密議	篠山 紀信	朝日夕刊	3.1
巨匠バルテュスの死 を悼む	渋谷 和彦	産 経	2.25
バルテュス財団設立 邸宅の地下室を開放	山口 昌子	"	6.17
文化往来 具象絵画 の魅力を示したバル テュス		日 経	2.20
バルテュスの死を悼 む	高階 秀爾	読売夕刊	2.22
第13回高松宮殿下記 念世界文化賞 彫刻 部門 マルタ・パン 氏		産 経	9.14
彫刻家マルタ・パン 自然との調和が第一	鶴岡 典子	"	10.21
特集 オブ・アートの 快感 ヴェル ナー・パント ン・ヴェルナー・パント ンと1990年代建築の 無重力空間	五十嵐太郎	美術手帖	808

(ヒ)

ピアズリー・ガーデ ン—庭園と翻訳され た主題とによる新た なイメージ表現—	富澤 治子	成城美学 美術史	7
ピアズリーとモリ ス—その不和と挿絵 装飾について	井上 友子	デアルテ	17
オーブリー・ピアズ リー《不機嫌な女王 の洞窟》におけるグ ロテスク	富澤 治子	美術史	151
Artist Interview プ ラメン・デジャノフ &スウェトラナ・ヒ ガー	神谷 幸江	美術手帖	803
彫刻家としてのピカ ソ(上、下)	桐島 敬子	絵	436、437
PARIS発 ピカソと エロチシズム	阿部 雅延	新美術新 聞	923
魂を拒否、ピカソの 「アピニョンの娘た ち」	水原 紫苑	朝 日	5.30
芸術をめぐる言葉 107 私は目に映る ものを描かない。— ピカピア	谷川 渥	美術手帖	813
再発見された旧松方 コレクションのレオ ナルド・ビストル フィ作彫刻作品群に ついて	高橋 明也	国立西洋 美術館研 究紀要	5

(フ)

ヤン・ファール展 領域を横断する創造 性	ヤン・ ファール 中沢 新一 対談	美術手帖	806
観ることと描くこと 10 ヤン・ファン・ アイク「オータンの 聖母」	黒江 光彦	"	798
特集 イノセント インタヴュー ヘレ ン・ファン・ミーネ		"	800
特集 名品/巨匠? —日本美術史におけ る規範形成「これ はオランダの最も優 れた画家によって描 かれたのか?」 「ファン・ロイエン 花鳥画」考	中村 俊春	美術 フォーラ ム21	4
月間 ハマトリ VOICES OF HAMA- TORI ペーター・ フィッシュリ&ダ ヴィッド・ヴァイス	編 集 部	美術手帖	812
フーケの初期画歴	篠原田鶴子	群馬県立 女子大学 紀要	22

ブロスベロ・フェツ レット研究—イン ド、日本、そしてイ タリア	河上 眞理	近代画説	10	特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 麗し き難物 テンセグリ ティ・ドーム《ホワ イト・ライノ》の建 設[バックミンス ター・フラール]	川口 健一、 藤井 明、 槻橋 修 文、写真	"	"
絵画における光と 影—フェルメールの 表現から—	面出 和子	女子美術 大学研究 紀要	31	特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 《Foldable Tensegrity》[バックミンス ター・フラール]	梶川 泰司	"	"
特集 美術と身体表 現 フェルメールが 約350年前に捉えた 女性の身振り	山田 憲政	西洋美術 研究	5	特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 一九 八二年、バックミ ンスター・フラールの来 日。そして、二〇〇 一年、フラールを再見 することの意味	和多利浩一	"	"
「フェルメールとそ の時代」展「レンブ ラント、フェルメ ールとその時代」展	小林 頼子	"	"	特集 映画とビデ オ・アートの最前線 スタンレー・ブラッ ドレーという自意識	飯田 高誉	"	803
あすへの話題 フェ ルメールとジャク リーヌ	深井 晃子	日経夕刊	5. 19	フランク・ブラン グイン研究—日英美 術交流の一側面とし て—	佐藤みちこ	鹿島美術 研究	18
緊急特集 米国同時 テロ ポスト911 ニューヨークが変 わった日	マコト・フ ジムラ	新美術新 聞	941	ブランクーシのアト リエ	鶴澤 和子	跡見学園 女子大学 美学・美 術史学科 報	29
崇高な空間 岩絵の 具で[マコト・フジ ムラ]		読売夕刊	5. 25	コンスタンティン・ ブランクーシの作品 展示—一九三三年の 個展を中心に—	濱田真由美	美学芸術 学	16
ニコラ・プッサン作 《二人のニンフと蛇 のいる風景》の作品 解釈—ニユンファエ ウムと靈感の泉—	望月 典子	美術史	151	Artist Interview ト ム・フリードマン	樹村 緑	美術手帖	809
ニコラ・プッサン作 《バックスの幼年時 代》—子供の表現を めぐって—	宮島 綾子	早稲田大 学大学院 文学研究 科紀要	46	審美逍遙82~93 プ リュージェル	栗津 則雄	美術の窓	208~219
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ なぜ モルモットBは発明 したか? [バックミ ンスター・フラール]	梶川 泰司	美術手帖	809	「プリュージェル社」の 秘密 コピーが支え た人気“ブランド” [ピーテル・プ リュージェル]	森 洋子	朝日夕刊	12. 25
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 西へ と向かう精神の波頭 [バックミンス ター・フラール]	芹沢 高志	"	"	ウィリアム・ブレ イク『神曲』挿絵(1)	浅川 泰	紀要 Hokkaido Art Museum Studies	2000—01
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 《Eden Project》 [バックミンス ター・フラール]	伊賀 公一	"	"	ブロンズイーノと ティツィアーノ 《愛のアレゴリー》と 《ダナエ》をめぐっ て—	高橋 朋子	女子美術 大学研究 紀要	31
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ 思考 の幾何学 シナジェ ティクス[バックミ ンスター・フラール]	梶川 泰司	"	"				
特集 イームズ、フ ラー、ノグチ フ ラー・オマージュ ワールド・メテオ マップ[バックミ ンスター・フラール]	磯辺 行久	"	"				

(ハ)

「ヘリ・ドノー映しだされるインドネシア」展関連シンポジウム ようこそ「ヘリ・ドノ・ワールド」へ

ヘリ・ドノ、ジム・スパンカット、小沢 剛 アジアセンター ニュース 17

アビナン・ボナーサヤン 司会

ベルギーノの空間構成—「キリストの降誕」に見る馬小屋を通して—

田所 浩記 芸術学論集 2

ウィメンズアート「越境する女たち21」展 シンポジウム「新しい時代のウィメンズアートネットワーク」

安田 和代 司会 ニロファーク・アクムット、アラフマヤーニ、シリ・チェーリ、ヴァーシャ・ネーダ、アマンダ・ヘン、ニタヤ・ウエアリーワラックル、金井 良子、嶋田 美子、藤江 民巴ネリスト

アート・マガジン〈エル・アール〉 24

(ホ)

バーニングマン ヴィンセント・ホアン 著

日 経 10. 21

月間ハマトリ VOICES OF HAMATORI ジャン・ホアン

編集部 美術手帖 812

月間ハマトリ VOICES OF HAMATORI ヨー・ン・ボック

川原 英樹 " "

ヒエロニムス・ボスとY字のシンボリズム

神原 正明 美術学 205

観ることと描くこと 17~19 ヒエロニムス・ボス

黒江 光彦 美術手帖 809~811

特集 恐怖の表象 怪物たちの図像学 「木男」伝説 ヒエロニムス・ボスのファンタジー

神原 正明 武蔵野美術 119

特集 ボッティチェッリ ある世紀末画家の「光と影」

芸術新潮 615

ダンテとボッティチェッリ 千年王国の夢

若桑みどり " "

特集 美術とモダニズム 抽象表現主義における「モダニズム」の源泉 ハンス・ホフマンのセザンヌ解釈

川田都樹子 武蔵野美術 120

Document ビーター・ボマーウォール・ドゥローイング・ドキュメンテーション

速海防空壕撮影編集部 美術手帖 803

連載 レベッカ・ホルン 女性によるセクシュアリティの表象をめぐる多元文化論の試み

越智 和弘 武蔵野美術 120

シンクロする漫画とアート ヌーベル・まんが 仏作家フレデリック・ボワレさん 観察から「美」を追求

読売夕刊 9. 29

(マ)

《フルックスキット》1964年以降 ジョージ・マチューナス (1931—78)

平芳 幸浩 国立国際美術館月報 104

芸術をめぐる言葉 102 コラーージュではなく、接木が私の根底的な技法であり、思想である。—マッソン

谷川 渥 美術手帖 808

「余白」と色彩—マティスのジャポニスム再考のために

中郡 龍二 日仏美術学会会報 20

第89回例会発表要旨 マティスをめぐって 1914~16年の油彩について—《川辺の浴女たち》を中心に

近藤 學 " "

第89回例会発表要旨 マティスをめぐって マティスにおける「色彩」の意味—マティスのジャポニスム再考のために

中郡 龍二 " "

マティスのノートル=ダムの塔の上—プチ・ボン捨遣の捨遣—

石崎 勝基 ひる・ういんど 70

マティス随想

遠山 一行 ピロティ 117

恐るべき画家[エドゥアール・マネ]

本江 邦夫 府中市美術館だより 3

ウォルター・デ・マリア at 直島コンテンポラリーミュージアム

平野千枝子 美術手帖 803

女優に人形演じさせ写真集 マリオ・Aさん 東京・表参道で展覧会も

桐原 良光 毎日夕刊 8. 21

芸術をめぐる言葉
104 芸術は写真で
はない。—マン・レ
イ

谷川 渥 美術手帖 810

(ミ)

ミケランジェロ作
『フィレンツェのピ
エタ』の主題解釈に
ついて—「苦しみ
の人」のテーマとの関
係を中心に—

嶋谷 昭彦 美学芸術 16

ミケランジェロの未
知の人物画公開 来
月競売、予想価格は
13億円

産経夕刊 6.5

Ulli Michel編『The
Art of Seeing』

大石 芳野 学 鑑 98—6

《椅子としての国立
国際美術館の肖像》
2001 クリスチャン
・フィリップ・ミ
ュラー

中西 博之 国立国際
美術館月 110
報

ゴッホの中のエレー
1、2

井出洋一郎 絵 440、441

(モ)

メキシコの写真—
ティナ・モドッティ
の生涯と表現—

(J. T.) アート
ペーパー 51

冬の陰影—モネ作
《コロンブの平原、
霜》(1873)の主題と
陰影表現をめぐる考
察

平石 昌子 新潟県立
近代美術 4
館研究紀
要

特集 海外から日本
の美術を見る。モ
ネと日本 浮世絵と
日本およびヨーロッ
パの風景画に見られ
る伝統的空間の変様

ギャラリー・
ヒッキー 美術 5
原田 平作 フォー
ム21

美の美 モネ 印象
主義の神髄1〜4

小島 英熙 日 経 6.24、
7.1、8、
15

現代作家紹介 お好
きなものにはご用
心! トレシー・モ
ファットの芸術

ジュディ・
アニー 美術 5
三輪 健仁 フォー
ム21

ピアズリーとモリス
—その不和と挿絵
装飾について

井上 友子 デアルテ 17

ウィリアム・モリス
のコミュニズム

木村 竜太 文化史学 57

アトリエのベルト・
モリゾ

米村 典子 デアルテ 17

ポール・モリソン
クリック・ザ・フ
ラット・ペインティ
ング 21世紀の風景
画

川原 英樹 美術手帖 810
イン タ イ ヴュー

ギュスターヴ・モ
ローと異郷探検記

隠岐由紀子 武蔵野美
術大学研 31
究紀要

(ラ)

ひとこと ラグー・
ライさん「撮る人
の精神映す写真 自
分自身の目を信じ
て」

朝日夕刊 6.13

ウーライ・パフォー
ミングライト[ウー
ヴェ・ライ ジーベ
ン]

村松 和明 アルカ
ディア 7

ライトとミハラ[フ
ランク・ロイド・ラ
イト]

谷川 正巳 芸術新潮 621

可視的な音楽[ス
ティーヴ・ライヒ]

藤島 寛 視 395

特集 オブ・アートの
快感 ブリジット
・ライリー ブリ
ジット・ライリーは
二度死なない:トマ
ス・クロウ著『1960
年代の興隆』より

トマス・ク
ロウ 美術手帖 808
村井 則子 訳

特集 オブ・アートの
快感 ブリジット
・ライリー ブリ
ジットのカムバック
回顧展の反響から

藤森 愛実 " "

ロバート・ラウシェ
ンバーグの不安と内
省—ダンテ『神曲』地
獄篇のための三十四
枚のドローイング—

池上 裕子 フィロカ
リア 18

ラリックの光—ラ
リックの世界を展示
する—

岡部 憲明 視 393

特集 横浜トリエン
ナーレ2001の歩き方
ヨコハマ港町物語
其の巻 ナウイン・
ラワンチャイクン

嘉藤 笑子 美術手帖 811

Artist Interview モ
シュクワ・ランガ

樹村 緑 " 803

(リ)

第13回高松宮殿下記
念世界文化賞 絵画
部門 李禹煥氏

産 経 9.14

世界文化賞授賞式
受賞者に各界から祝
福[李禹煥]

" 10.26

余白と向き合う 話
の肖像画1〜7 李
禹煥さん

亀岡 典子 産経夕刊 11.1、2、
5〜9

あとがきのあと 立
ちどまって 李禹煥
氏

日 経 5.13

「世界文化賞」の李禹
煥さん

石川 健次 毎日夕刊 9.20

著者来店 李禹煥さ
ん 美術作品に通じ
る詩的世界

(ま) 読 売 8.26

巻頭特集 いまを生 きる木版画精神 李 春華「水墨文字」の 意味	秋 田	版画芸術	113
第五十四回全国大会 研究発表要旨 バー ナード・リーチ作品 論《鉄絵魚文壺 Vase "Leaping Salmon"》をめぐっ て	鈴木 禎宏	美術史	151
TOKYO発 ポッ プ・アート街ヘ ジェームス・リ ジーさん初来日	望月衣塑子	東 京	11. 1
人・模・様 楽しく なるものがアート [ジェームス・リ ジー]	五十嵐英美	毎日夕刊	12. 5
林明輝写真集『水の ほとり』	(前)	読 売	9. 16
グズビョルク・リン ドの心象風景	坂本・ビョ ルンソン・ 純子	ギ ャ ラ リー(月 刊)	200
(ル)			
西洋版画コレクシ ョン事始10 ルオー の版画は好きですか	岡部 イン タビュー・ 構成	版画芸術	111
特集 安藤忠雄が語 るル・コルビュジェ の勇氣ある住宅	安藤 忠雄 談	芸術新潮	621
第三共和制下のフラ ンス美術行政とオ ディロン・ルドンの 装飾作品をめぐって	山上 紀子	鹿島美術 研究	18
あすへの話題 モー ドの画家ルノワール	深井 晃子	日経夕刊	3. 10
(レ)			
「モナ・リザ」500 歳、あなたは誰？ [レオナルド・ダ・ ヴィンチ]	片桐 頼継	IS	85
モナリザ、専用室に 移転へ[レオナル ド・ダ・ヴィンチ]	大野 博人	朝日夕刊	4. 5
知の巨人 レオナル ド・ダ・ヴィンチ 新しいタイプの芸術 家	越川 倫明	東 京	11. 18

レンブラントの《エ
マオのキリスト》—
初期作品から1654年
の銅版画(B. 87)へ

光岡 幸治

紀要
Hokkaido
Art
Museum
Studies
2000—01

「フェルメールとそ
の時代」展 「レンブ
ラント、フェルメー
ルとその時代」展

小林 頼子

西洋美術
研究 5

(口)

戸外で素描する人へ
ヤーコブ・ファン・
ライスタール作
《ハールレムの眺め》
(チューリッヒ美術
館蔵)との関係を中心
に〜[ヤーコブ・
ファン・ロイスダー
ル]

大川 智子

女子美術
大学研究
紀要 31

アドルフ・ロースの
感性—ウィーン世紀
末建築家の内包した
現代感覚と装飾—
付：《翻訳》アドル
フ・ロース『装飾と
犯罪』

山下 敦

共立女子
大学文学
総合文化
研究所研
究叢書 19

ロダンは浮世絵をど
う見たか

飯田 真

アマリリス 62

ロダンの日本人書簡
についての調査・研
究

泰井 良

鹿島美術
研究 18

美と出合う 国立西
洋美術館4 オー
ギュスト・ロダンの

大屋 美那

東 京 12. 23

花子とロダンの薄幸
の身で渡欧した日本
人巨匠の目に留まり
モデルに

生田 良雄

東京夕刊 6. 21

(ワ)

文化 ワイエス 84
歳の情熱 記憶力抜
群、映画好き…米
国画家の素顔

メアリー・
ランダ

日 経 11. 27

そ の 他

美術関係者

日 本

(ア 行)

師弟拾遺—會津八一と吉野秀雄—4	長坂 吉和	書 論	32
評伝 會津八一の人と書	近藤 悠子	墨	149
書家の眼から見た會津八一 独自の書	東地 滄匡	" "	" "
漢字かな交じり文と會津八一 八一の審美眼	大溪 洗耳	" "	" "
會津八一コレクションについて 1	金澤 邦夫	早稲田大学會津八一記念博物館研究紀要	2
人間発見 深くこの生を愛す4[會津八一]	小柳 マサ阿部誉司文聞き手	日経夕刊	9. 28
関門美術史探索ノート・番外篇(批評家)浅枝次朗と岸田劉生(上)	濱本 聰	潮 流	68
私の履歴書 中村富十郎17 安宅さん[安宅英一]	中村富十郎	日 経	4. 18
ものづくりは日本の希望だ 秋田美工短大「営業部長」就任の弁	石川 好	毎日夕刊	4. 3
テーブルトーク カンボジアに魅せられ遺跡保存・修復に20年 石澤良昭さん(上智大学教授)	(志)	朝日夕刊	5. 1
ひと 上智大アンコール遺跡国際調査団長 石澤良昭さんアンコール遺跡に神と宇宙を見ました	竹ノ内 満	毎 日	7. 19
歴史手帖 明治の学者の志を偲ぶ[伊東忠太]	藤島亥治郎	日本歴史	632
ひと 美術系大学で初めてメディアセンターを立ち上げた多摩美術大教授 伊藤俊治さん	徳山 喜雄	朝 日	6. 3
紹介 稲垣榮三先生を偲ぶ	鈴木 博之	建築史学	37
紹介 故 稲垣榮三先生 著作目録		" "	" "
顔 キトラ古墳の「朱雀」撮影に成功した奈良文化財研究所技官 井上直夫さん	立山光一郎	読 売	4. 4

追悼記事 追悼 歌川豊国氏 哀惜、あゝ豊国さん 中右 瑛 浮世絵芸術 139

テーブルトーク 21世紀の美術の方向性 五感を使い楽しみ知る 逢坂恵理子さん(展覧会キュレーター) (盛) 朝日夕刊 1. 9

あとがきのあと 画家たちの夏 大矢鞠音氏 日 経 6. 10

あとがきのあと 国宝仁清の謎 岡佳子氏 " 9. 9

連載:美術の条件(7~11) 第1部:歴史的観点 第2章 岡倉天心とその『日本美術史』について 1~5 倉林 靖 あいだ 63~67

特集 旅行記を読む 岡倉天心の思想が導いたアジア文化交流 佐藤 志乃 アジア遊学 32

資料紹介 岡倉天心偉績顕彰会の成立(その1)『風景』と黒田鵬心を中心として 小泉 晋弥 五浦論叢 8

岡倉天心と雪村 小川 知二 東京学芸大学造形芸術学・演劇学 3

窓 よみがえる天心[岡倉天心] (剣) 朝日夕刊 1. 5

紹介 岡田英男さんを偲んで 村上 詠一 建築史学 36

紹介 故岡田英男氏年譜及び著作目録 山岸 常人 " "

テーブルトーク 中国絵画を1万点網羅半世紀の調査を橋渡し 小川 裕充さん(東アジア美術研究者) (盛) 朝日夕刊 7. 24

荻原本十と浅草橋 千田 敬一 碌山美術館報 21

300号記念特別企画 情熱が切り開いた日本の陶磁史研究 奥田誠一、小山富士夫の人と業績をめぐって 長谷部楽爾 林屋 晴三 養 豊 目 の 眼 300 弓場 紀知 座談会

現代版画の舞台裏 5小コレクター運動の伝道師・尾崎正教 教育の現場から、美術館活動へ 松山 龍雄 版画芸術 113

(カ 行)

東京国立近代美術館の金子賢治さん 陶芸評論出版を祝う会 朝 日 12. 2

語り継がれる展覧会を 国立西洋美術館の 樺山新館長に聞く [樺山紘一]	松葉 一清	朝日夕刊	8.24	
〈小委員会活動報告〉 戦後建築史家の軌跡 〈第三回〉川上貢	戦後建築史 学研究小委 員会	建築史学	37	
川端康成とまなざし の美学	末木文美士	文 学(隔 月刊)	2—4	
この人 北本正孟さん 世界陶磁器エキ スポ2001大韓民国プ ロデューサー	山口 宏昭	日 経	2.8	
この人 清原當博さん 70年ぶりに「日本 美術展」を再現し たホテルオークラ部 長	引野 肇	東 京	8.10	
現代版画の舞台裏3 美のオルガナイ ザー・久保貞治郎 版画を公衆に広める ために	松山 龍雄	版画芸術	111	
自著を語る『無言 館ノオト』窪島誠一 郎さん	窪島誠一郎	東京夕刊	8.2	
私のとっておき キッド・アイラッ ク・アート・ホール 「信濃デッサン館」館 主 窪島誠一郎さん	高野 清見	読 売	2.26	
人らんだむ シンワ アートオークション 株式会社第三社長 に就任した倉田陽一 郎さん	(洋)	新美術新 聞	932	
資料紹介 岡倉天心 偉績顕彰会の成立 (その1)『風景』と 黒田鵬心を中心とし て	小泉 晋弥	五浦論叢	8	
この人 京都国立博 物館長に就任した 興膳宏さん	本谷 一成	東 京	4.27	
文化 アイヌ研究 三代の気骨 コレク ション・通史100年 の成果	河野 本道	日 経	9.5	
著者に聞く 質感、 安らぎ 塗り壁は天 才である 小林澄夫 さん(月刊「左官」編 集長)	後藤 喜一	東 京	9.2	
あとがきのあと 左 官礼賛 小林澄夫氏		日 経	9.2	
小林秀雄が見た雪舟 (下)	山下 裕二	芸術学研 究(明治学 院大 学)	11	
浮世絵商・小林文七 とそのコレクション をめぐって(一)―浮 世絵の北斎作品と浮 世絵の名品の記録―	伊藤めぐみ	北斎研究	29	

文字から歴史ひもと く「古筆学」小松茂 美さん「著作集」33 巻完		朝 日	6.5	
「平家納経」読み解く 時代背景 著作集が 完結 古筆学者・小 松茂美さんにきく	菅原 教夫	読売夕刊	5.7	
300号記念特別企画 情熱が切り開いた日 本の陶磁史研究 奥 田誠一、小山富士夫 の人と業績をめぐつ て	長谷部楽爾 林屋 晴三 豊 目 の 眼 矢場 紀知 座談会		300	
今和次郎の「民家研 究」と「朝鮮調査」	黒石いずみ	青山学院 女子短期 大学紀要	55	
(サ 行)				
追悼 坂元弘直館長 の思い出	西岡 康宏	国立博物 館ニュー ス	650	
特集2 Art Collec tors―美術に憑かれ た人々 file no.2 敗戦で培われた反権 威主義 30年の画廊 巡りで集めた美術資 料500箱を寄贈	笹木 繁男	セゾン アートブ ロム・グ ラ・ジャ ーナル	5	
日本人の足跡155〜 161「パロン」と呼 ばれた男 薩摩治郎 八1〜7	植木 芳和	産 経	7.12、 13、15〜 19	
図画教育者列伝(一) 佐藤左内	金子 一夫	一 寸	8	
平成12年度芸術選奨 文部科学大臣賞に小 嶋悠司氏、川久保玲 さん 新人賞は野田 裕示氏、坂上桂子さ ん	(美)	新美術新 聞	926	
美術随想 私が接し た一故人の憶い出― 教育学者下程勇吉氏 から学んだもの―	富山 秀男	美 術 フォーラ ム21	4	
特集 海外から日本 の美術を見る。米 国の大学と日本美術 研究 島田修二郎先 生の渡米の意義	清水 義明	"	5	
大人のための鑑賞術 白洲正子	(浦)	日経夕刊	10.22	
自分と出会う「体 得」と錯覚した無念 無想の境地	瀬木 慎一	朝日夕刊	7.9	
特集 関野貞と朝鮮 古蹟調査 関野貞を 中心とした朝鮮古蹟 調査行程―一九〇九 年(明治四二年)〜一 九一五年(大正四 年)―	高橋 潔	考古学史 研究	9	
特集 関野貞と朝鮮 古蹟調査 文化標徴 としての古墳―建築 史学者関野貞の古墳 調査―	山本 雅和	"	"	

(ナ 行)

特集 関野貞と朝鮮
古蹟調査 日本統治
下の朝鮮半島におけ
る考古学的発掘調査
(上)

内田 好昭 " "

紹介 関野克先生を
偲ぶ

藤森 照信 建築史学 37

紹介 故 関野克先
生 著作目録

" "

特集2 Art Collec-
tors—美術に憑かれ
た人々 file no. 1
写楽から現代美術ま
で

染谷 貞夫 セゾン
アートプ
ログラ
ム・
ジャーナ
ル 5

(タ 行)

第18回渋沢クローデ
ル賞 日仏文化の懸
け橋に ルイ・ヴィ
トンジャパン特別賞
高階絵里加さん 芳
翠と西洋の交流

福島 良典 毎 日 8.24
三角 真理

レジオン・ドヌール
勲章シュヴァリエ受
章 東大名誉教授・
高階秀爾氏

産 経 4.1

追悼 高田美規雄氏
の座っていた椅子か
ら

足立 明男 山口県立
美術館研
究紀要 3

高田美規雄著作目録

山口県立美
術館学芸
課・普及課
編 " "

ひと「現代根付展」
にコレクションを賛
助出品する 高円宮
憲仁殿下

清水 弟 朝 日 8.7

高見堅の回文[高見
堅志郎]

丹尾 安典 一 寸 7

未来圏の調律者36
瀧口修造と柳宗悦
(前)

石川 翠 e t c . 37

《検眼圖》1977年 瀧
口修造(1903—1979)
岡崎和郎(1930—)

島 敦彦 国立国際
美術館月
報 106

ナビゲーター 各地
で瀧口修造をしのぶ
催し

(三) 朝日夕刊 7.14

特集2 Art Collec-
tors—美術に憑かれ
た人々 file no. 4
アートに浸る四人家
族

竹村 隆広 セゾン
アートプ
ログラ
ム・
ジャーナ
ル 5
竹村美佐紀

ひと「中山道広重
美術館」を生んだ浮
世絵コレクター 田
中春雄さん

清水 弟 朝 日 9.23

人らんだむ テート
モダン企画展第1弾
「センチュリー・シ
ティ展」に参加した
富井玲子さん

(林) 新美術新
聞 925

特集2 Art Collec-
tors—美術に憑かれ
た人々 file no. 3
コンセプト・チュ
アル・アートの源流を求め
て フルクサスから
松澤宥へ

長澤 章生 セゾン
アートプ
ログラ
ム・
ジャーナ
ル 5

精神の糧として一私
がコレクションを通
じて考えたこと

" " "

創作版画倶楽部の主
宰者 中島重太郎

岩切信一郎 一 寸 5

版画屋 中島重太郎

西山 純子 探蓮 千
葉市美術
館研究紀
要 4

文化 なつかしの日
用品後世に 衣料品
店の傍ら、岩手で三
つの博物館を運営

中野 正利 日 経 9.3

追悼 中村溪男先生
思い出すまに

草薙奈津子 新美術新
聞 930

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎宗重名誉会長を偲
んで

山口桂三郎 浮世絵芸
術 141

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎宗重先生のご功績

諏訪 春雄 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 浮
世絵学会の大先達
榑崎先生を偲ぶ

鈴木 重三 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎先生と私

菊地 貞夫 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎先生

安達以乍牟 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎先生を偲ぶ

浦上 敏朗 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 浮
世絵に一生を捧げた
男～榑崎宗重氏を悼
む～

福富 太郎 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば ヨー
ロッパ旅行の思
い出

中右 瑛 " "

榑崎宗重先生の霊位
に捧ぐ 榑崎先生を
追悼することば 榑
崎先生へのお礼

稲垣 進一 " "

榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	松岡 春夫	浮世絵芸術	141	蛭川式胤の研究—明治5年社寺宝物調査を中心—	米崎 清実	鹿島美術研究	18
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	小林 忠	"	"	この人 仏政府から芸術文化勲章シュバリ工を受ける 野々川純一さん	西村 立名	東京	6.19
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	河野 元昭	"	"	(ハ 行)	石本 正徹	瓜生通信	19
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	酒井 信夫	"	"	対談 美とエロス	出来 祥寿	毎日	12.14
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	岩切信一郎	"	"	ひと、元寇の沈没“遺跡”を発掘した水中考古学者 林田憲三さん	三上 美和	近代画説	10
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	浅野 秀剛	"	"	研究発表(要約) 原三溪の美術家支援について	今泉 省彦	機 関	17
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	永田 生慈	"	"	針生一郎特集 針生一郎について	高島 直之	"	"
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	鈴木 浩平	"	"	針生一郎特集 形式的ヒューマニズムから民衆の力オスへ 針生一郎の批評的原点について	針生 一郎	菊畑茂久馬 対談	"
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	小澤 弘	"	"	針生一郎特集 (対談)リアリズムの大海にて	針生 一郎	"	"
榑崎宗重先生の霊位に捧ぐ 榑崎先生を追悼することば 榑崎先生	渡辺美津子	"	"	針生一郎特集 対談 後記	今泉 省彦	"	"
父 私に向けられた無償の愛[榑崎宗重]	高尾千恵子	"	"	針生一郎特集 針生一郎自筆年譜	平野 龍夫	新美術新聞	914、917、920、928
榑崎宗重先生略年譜(未定稿)	稲垣 進一	"	"	針生一郎特集 【資料】「芸術と人権」の構想	安井雄一郎	鹿島美術研究	18
榑崎宗重/著作目録(論文、カタログ、単行本を含む編年順)	酒井 雁高	"	"	針生一郎特集 後記 『機関17 針生一郎特集』	生田 誠	産 経	3.9
榑崎宗重先生逝去	国 華 社	国 華	1272	顔 東京都現代美術館長に就任した 樋口広太郎さん	福原 義春	東京	9.18
榑崎宗重先生のご逝去を悼んで	山崎 昇	北斎研究	29	この人 パーミヤンの石窟記録集を18年ぶりに再刊する 樋口隆康さん			
追悼 榑崎宗重先生	永田 生慈	"	"	古代の文字分析に貢献 国立歴史民俗博物館副館長 平川南さん			
榑崎宗重先生のご業績	伊藤めぐみ 山根 友理 竹園 明子 墨田区文化振興財団	"	"	シンワアートオークションと共に オークショナー平野龍夫の証言 9、11~13			
浮世絵界の第一人者を悼む 普及と研究に尽くした榑崎宗重氏	永田 生慈	毎日夕刊	7.30	福島繁太郎とそのコレクションについて			
				日本人の足跡52 パリに咲いた画才6 福島繁太郎			
				わが街わが友 神田産声は水原秋桜子の産院			

こころの風土記 福 滝鼻 太郎 読売夕刊 3.24
原義春さん

発句一代 夏目四郎 新美術新聞 930
の覚え書54 藤井さん
訃報のたより[藤井一雄]

土曜訪問 布施英利 東京夕刊 10.7
さん レオナルド・
ダビンチを探索する

古田紹欽先生を偲ん 山根 有三 出光美術 114
で 館館報

追悼 古田紹欽先生 松ヶ岡文庫 15
と大拙先生、松ヶ岡
文庫

本間正義氏逝去 富山 秀男 aica 2
JAPAN

(マ 行)

顔 日本マンガ学会 石田 汗太 読 売 8.9
の初代事務局長に
なった 牧野圭一さん

美術史家 松下隆章 小島 惠蔵 飯田市美術 11
について 松平進氏 松平進さんの死

追悼記事 追悼 松平進氏 諏訪 春雄 浮世絵芸 139
の死

追悼記事 追悼 松平進氏 北川 博子 " "

この人 天神さまの 前村 和夫 東 京 6.26
美術展開催に尽力
太宰府天満宮文化
研究所学芸員 味酒安
則さん

自分と出会う よき 水尾比呂志 朝日夕刊 3.12
美しきものに恵
まれて

平成11年度寄贈資料 井上 尚明 埼玉県立 26
三田コレクション～
書家・三田清白の収
集品から～

人らんだむ 第12回 倫雅美術奨励賞を受 賞した福岡市美術館 学芸員 三谷理華さん、山本香瑞子さん (一) 新美術新聞 916

源豊宗氏を悼む 105歳現役の美術史 家貴く 佐々木丞平 朝 日 1.22

この人 三鷹の森ジ ブリ美術館長として 忙しい毎日 宮崎吾 朗さん 東 京 11.1

《論考》森本六爾のフ ランス語論文「日本 に於ける青銅器時代—漢文化の東方へ の伝播—」 毛利 和雄 考古学史 研究 9

(ヤ 行)

連載：美術の条件 (5、6) 第1部： 歴史的観点 第1章 倉林 靖 あいだ 61、62
保田與重郎の『日本の 美術史』について 2、3

保田與重郎の習作 「室生寺の弥勒菩薩 像」 渡辺 和靖 愛知教育 大学研究 報告 50

保田與重郎と京都 ヴルピッ タ・ロマノ 京都産業 大学日本 文化研究 所紀要 6

特集 いつ、どこで アートなの？何が美 術であるのか—柳宗 悦が「美術」としたも の— 杉田 真珠 蒼 創 1

柳宗悦に火を灯され た人々69～77 近藤 京嗣 陶 説 576～ 580、 582～585

柳宗悦と李朝工芸 白土慎太郎 " 585

未来圏の調律者36 瀧口修造と柳宗悦 (前) 石川 翠 e t c . 37

矢野文夫に存在した “実体のない”長谷川 利行 大衡 彩織 一関市博 物館研究 報告 4

芸苑雑事記104 笠 間藩医と山岡コレク ション[山岡孫吉] 瀧 悌三 美術の窓 214

山根先生の思い出 [山根有三] 黒田 泰三 出光美術 館館報 115

山根有三先生を悼む 国 華 社 国 華 1270

追悼 山根有三 直 観と実証の人 雪山 行二 美術の窓 215

山根有三先生を悼む 乾山焼の定説を覆す 竹内 順一 目の眼 299

せめぎ合った直感と 実証 美術史家・山 根有三氏を悼む 辻 惟雄 朝日夕刊 5.25

悼む 美術史家 山 根有三さん 田中 三蔵 " 6.18

美術史家 山根有三 さん 風神、雷神が お迎えに来たんだね 前田 恭二 読 売 6.10

テーブルトーク 美 術館の取り組み紹介 市民が参加できる場 に 山本育夫さん (「DOME」編集長) (若) 朝日夕刊 10.16

人らんだむ 第12回 倫雅美術奨励賞を受 賞した福岡市美術館 学芸員 三谷理華さん、山本香瑞子さん (一) 新美術新聞 916

東京画廊・石井利治 氏に聞く(2)—山本 孝さんという人 中山 ゆかり、 五十殿利治 聞き手 現代芸術 研究 4

茶の湯を愛した湯木 貞一生涯百年 末廣 幸代 陶 説 578

新・旧刊案内 8 近代日本美術史研究の歴史を論ず[吉田漱]

青木 茂 一 寸 8

著者に聞く『ローマ文化王国—新羅』由永常雄さん(美術史家)

森 秀男 東 京 9.30

海 外

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ テオドル・アドルノ

南 昌吾 美術手帖 806

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ボール・ヴィリリオ

吉岡 洋 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ハイインリヒ・ヴェルフリン

宮下 誠 " "

「グレー村の画家たち」展 企画協力 ガーツ氏に聞く

読売夕刊 5.21

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ オルテガ・イ・ガセット

谷川 渥 美術手帖 806

浮世絵愛したロシア将校[セルゲイ・ニコラビッチ・キターエフ]

石垣 香津 日 経 3.23

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ T.J.クラーク

田中 正之 美術手帖 806

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ボール・クラウザー

川田都樹子 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ロザリンド・クラウス

小西 信之 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ クレメント・グリーンバーグ

尾崎信一郎 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ボリス・グロイス

浅沼 敬子 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ E.H.ゴンブリッチ

松枝 到 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ エドワード・サイード

竹中 均 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ フレドリック・ジェイムソン

南 昌吾 " "

著者に聞く 東洋美術は直接心に話しかける オフェル・シャガンさん(ギャラリー経営)

(寿) 東 京 3.25

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ メイヤー・シャピロ

松枝 到 美術手帖 806

特集 2001年大江戸文化の旅【インタヴュー】江戸を見る、江戸を斬る

タイモン・スクリーチ ユリイカ 442

ひと「カラバッジョ」展を監修したクラウディオ・ストリナーティさん

田中 三蔵 朝 日 10.5

特集 国際現代美術展最新レポート2001 ディレクター・インタヴュー ハラルド・ゼーマン

和多利恵津子 ききて・文 美術手帖 810

この人 アンコール遺跡修復チームの日本語通訳 チア・ソパニヤさん

山本 精作 東 京 10.4

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ アーサー・C.ダント

鈴木真理子 美術手帖 806

自著を語る『美女とは何か 日中美人の文化史』張競さん

張 競 東京夕刊 11.15

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ティエリ・ド・デューブ

谷川 渥 美術手帖 806

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ジャック・デリダ

鈴木 和成 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ギィ・ドゥポール

五十嵐太郎 " "

特集 20世紀美術の思想47人 現代美術の批評—新たなパラダイムへ ジル・ドゥルーズ

谷川 渥 " "

特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ エウヘー ニオ・ドールス	"	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ドナル ド・プレツィオージ	鈴木真理子	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ リンダ・ ノックリン	坂上 桂子	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ジークム ント・フロイト	谷川 渥	"	"
この人 日本展「Ja- pan 2001」の 英国 側事務総長 クリス トファー・パーヴィ スさん	河津 市三 東京	2.23				特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ クライ ブ・ベル	川田都樹子	"	"
ひと 初めて外国人 で國華奨励賞を受賞 した 朴亨國さん	田中 三蔵 朝 日	10.24				特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ハンス・ ベルティンク	益田 朋幸	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ジョル ジュ・パタイユ	千葉 文夫 美術手帖	806				特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ヴァル ター・ベンヤミン	前川 修	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ エルウィ ン・パノフスキー	一條 和彦	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ イヴ＝ア ラン・ボア	田中 正之	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ロラン・ バルト	鈴村 和成	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ジャン・ ボードリヤール	塚原 史	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ミシェ ル・フーコー	青山 勝	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ グスタ フ・ルネ・ホッケ	谷川 渥	"	"
アンリ・フォション の美学・美術史学に おける岡倉天心の影 響	藤原 貞朗 美 学	206				特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ グリゼル ダ・ボロック	坂上 桂子	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ハル・ フォスター	樽村 和彦 美術手帖	806				ブルース・マウ 来 日インタビュー	嘉藤 笑子	"	811
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ロ ジャー・フライ	川田都樹子	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ マーシャ ル・マクルーハン	三上真理子	"	806
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ノーマ ン・プライソン	鈴木杜幾子	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ W. J. T. ミッチェル	鈴木真理子	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ マイケ ル・フリード	尾崎信一郎	"	"			特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ ジャッ ク・ラカン	青山 勝	"	"
特集 20世紀美術の 思想47人 現代美術 の批評—新たなバラ ダイムへ アンド レ・ブルトン	谷川 渥	"	"			羅振玉と日満文化協 会—人事問題をめ ぐって	岡村 敬二 人間文化 研究		5

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ アロイ
ス・リーゲル

宮下 誠 美術手帖 806

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ ジャン＝
フランソワ・リオ
タール

篠原 資明 " "

裏方で支える
「MoMA展」エロ
イズ・リチャード
リさん

柳沢 恵子 産 経 11.25

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ ウィリア
ム・ルービン

尾崎信一郎 美術手帖 806

こころの四季 リ
チャード・レイン
さん 浮世絵に見た生
きる喜び

前田 恭二 読 売 2.28

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ クロード
・レヴィ＝スト
ロース

篠原 資明 美術手帖 806

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ ミシェ
ル・レリス

千葉 文夫 " "

特集 20世紀美術の
思想47人 現代美術
の批評—新たなパラ
ダイムへ ハロルド
・ローゼンバーク

尾崎信一郎 " "

書 評

和 書

『アートレス・マイ
ノリティとしての現
代美術』川俣正著

菅 章 あ い だ 66

" (前) 読 売 7.8

『アール・ヌー
ヴォーとアール・デ
コ』千足伸行監修

" 東 京 6.3

" 日 経 7.15

" (前) 読 売 5.20

『IDEA Liquid 1、
2、3』アイデア編
集部編

都築 響一 朝 日 5.27

『赤の魔笛』横尾忠則
著

" 東 京 2.11

『秋山画廊1963—
1970』三上豊著

" 毎日夕刊 9.13

『浅草十二階』細馬宏
通著

高橋 世織 東 京 7.1

『歩いてみつけたイ
タリア都市のパロッ
ク感覚』陣内秀信著

貫井 一美 「美の世界」通信 28

『アルノルフィーニ
の婚約』エドウィン
・ホール著

(前) 読売夕刊 11.12

『アルフォンス・
ミュシャ 波乱の生
涯と芸術』ミュー
シャ・リミテッド
編、島田紀夫監訳

東 京 10.21

『アンセル・アダム
ズ写真集成』J・
シャーカフスキー解
説

松山 巖 朝 日 11.18

『UNBUILT／反建築
史』磯崎新著

東 京 3.4

『異界の海 芳翠・
清輝・天心における
西洋』高階絵里加著

林 洋子 日本の美 32

"

山野 英嗣 美術
フォーラム21 4

"

木下 直之 朝 日 1.28

『イギリス風景式庭
園の美学—(開かれ
た庭)のパラドクス
』安西信一著

利光 功 美 学 205

『遺跡と発掘の文化
史』森本和男著

赤坂 憲雄 東 京 7.8

『磯崎新の建築談議
12 クライスラー・
ビル』磯崎新著

(前) 読 売 7.1

『板谷波山の生涯』荒
川正明著

東 京 4.15

"

(清) 読 売 3.11

『イタリア絵画』ステ
ファノ・ズッフィ編

" 4.22

『イタリア 都市と
建築を読む』陣内秀
信著

日 経 11.4

『一茎有情』志村ふく
み、宇佐見英治著

読 売 2.18

『伊都国を掘る』柳田
康雄著

東 京 1.21

『犬の記憶』森山大道
著

朝 日 5.20

『彩図鑑』中島千波著

橋 秀文 新美術新 917

『印刷博物誌』印刷博
物誌編集委員会編

竹原あき子 デザイン 118

『インド・大地の民
俗画』小西正捷著、
沖守弘写真

大竹 昭子 朝 日 7.1

"

東京夕刊 6.17

『浮世絵が語る小田
原 小田原浮世絵集
成』岩崎宗純著

井上 隆男 地方史研 291

『浮世絵春画を読む
上・下』白倉敬彦、
田中優子ほか著

小谷野 敦 日本の美 33

"

(競) 毎 日 1.21

『内田魯庵山脈 〈失
われた日本人〉発掘』
山口昌男著

紅野 敏郎 学 燈 98—3

『永源寺町史 木地師編』渡辺守順監修	荒俣 宏	日 経	2. 25	『関西のモダニズム 建築20選』築地 仁、鈴木理策著	日 経	9. 30
『描かれた時間』益田朋幸著	渡辺 守順	地方史研究	292	『消えた名画を探して』糸井恵著	梶山 龍介	産 経 10. 7
『越後裏山遺跡と倭国大乱』甘粕健編	倉林 靖	新美術新聞	928	『北風とぬりえ』谷内六郎著	川上 弘美	朝 日 5. 27
『江戸図屏風を読む』水藤真、加藤貴編		日 経	11. 18	『九州美術史年表(古代・中世篇)』平田寛著	川上 弘美	朝 日 5. 27
『江戸東京梵鐘銘文集』真鍋孝志、花房健次郎著	會田 康範	歴史地理教育	620	『教室に博物館がやってきた』堀田龍也監修	平田 寛	デアルテ 17
『江戸と東京 風俗野史』伊藤晴雨著	坂詰 秀一	梵 鐘	13	『京都、オトナの修学旅行』山下裕二、赤瀬川原平著	坂井 知志	博物館研究 401
『絵のなかの魂 評伝・田中一村』湯原かの子著	中野 翠	朝 日	9. 2	『京の職人衆が語る桂離宮』笠井一子著	東海林さだお	朝 日 4. 29
『絵をかくよろこび』石本正著	道浦母都子	読 売	11. 4	『京町家・千年のあゆみ 都にいきづく住まいの原型』高橋康夫著		東 京 8. 12
『岡本太郎が撮った「日本」』岡本敏子、山下裕二編		産 経	4. 23	『巨人の星』梶原一騎原作、川崎のぼる作画	岩本 馨	建築史学 37
『桶と樽―脇役の日本史―』小泉和子編		読売夕刊	6. 17	『近代建築の証言』ジョン・ピーター著	(則)	読売夕刊 1. 27
『思い出の名作絵本 茂田井武』	松方 冬子	史学雑誌	110—2	『近代日本人の美意識』山折哲雄著	坂村 健	朝 日 5. 27
『絵画に見る近代中国』ウィリアム・シャング(安田震一)著		東 京	3. 25	『近代和風を探索する上・下』初田亨ほか著	古橋 信孝	日 経 4. 29
『絵画の自意識 初期近代におけるタブローの誕生』W・I・ストイキツァ著、岡田温司、松原知生訳	樺山 紘一	毎 日	6. 24	『空想主義的芸術家宣言』森村泰昌著	木下 直之	朝 日 9. 9
『画家たちの夏』大矢頼音著	木下 直之	読 売	6. 10	『芸術アヴァンギャルドの背中』池田龍雄著	鷺田 清一	東 京 1. 28
『鏡という謎 その神話・芸術・科学』リチャード・グレゴリー著、鳥居修晃、鹿取廣人、望月登志子、鈴木光太郎訳	倉林 靖	新美術新聞	936	『芸術受容の近代的パラダイム 日本における見る欲望と価値観の形成』河原啓子著	北澤 憲昭	あ い だ 67
『画壇統一に賭ける夢』今谷明、宮島新一著	松尾 敏男	美術の窓	215	『芸術立国論』平田オリザ著	木下 長宏	新美術新聞 936
『活字でみるオルセー美術館―近代美の回廊をゆく』小島英熙著	編 集 部	朝 日	6. 24	『構成的ポスターの研究』ポスター共同研究会、多摩美術大学編	福原 義春	読 売 9. 2
『カラヴァッジョ鑑』岡田温司編	外岡 秀俊	新美術新聞	926	『高麗時代の仏画』菊竹淳一、鄭子澤責任編集	早川 敦子	朝 日 12. 9
	倉林 靖	産 経	6. 17	『GOGOモンスター』松本大洋著	森 秀男	東 京 11. 11
	川嶋 将生	学 鐙	98—5	『【国宝】上杉家本洛中洛外図大観 CD-ROM版』下坂守総合監修	(前)	読 売 12. 16
	宮崎 克己	デザイン現場	117	『国宝 仁清の謎』岡佳子著	中野 照男	デアルテ 17
	山岸 常人	建築史学	36			読売夕刊 1. 27
	外岡 秀俊	朝 日	11. 18			毎日夕刊 8. 2
						産 経 9. 16

平成13年定期刊行物所載文献(他／書評)

『国宝の旅』清水満郎編	(霧)	毎 日	10. 14	『織豊系城郭の形成』千田嘉博著	市村 高男	歴史学研究	752
『呉昌碩談論一文人と芸術家の間』松村茂樹編	平野 和彦	中国近現代文化研究	4	"	服部 英雄	歴 博	104
『古代出土文字資料の研究』高島英之著	三上 喜孝	日本歴史	639	『書芸術の地平—その歴史と解釈』萱のり子	尼ヶ崎 彬	美 学	205
『古代木簡と都城の研究』鬼頭清明著	古尾谷知浩	史学雑誌	110—4	『シルクロード染織史』長澤和俊、横張和子著		読 売	4. 1
"	仁藤 敦史	歴史学研究	746	『シルクロードの仏を描く』荒了寛著		産経夕刊	2. 28
『古美術を科学する』三浦定俊著		産 経	12. 16	『新建築学大系2 日本建築史』沢村仁他著	山岸 常人	建築史学	36
"		日 経	11. 18	『新版 油彩画の技術—増補・アクリル画とビニル画』グザヴィエ・ド・ラングレ著、黒江光彦訳	廣畑 浩	岡山県立美術館ニュース	55
『古筆切研究第一集』小林強、高城弘一著	田中 登	国学院雑誌	1128	『新編 日々の絶筆』井上有一著、海上雅臣編		読 売	6. 17
『コブナ少年』横尾忠則著		東 京	4. 22	『睡虎地秦簡』(中国古典新書統編24)松崎つね子著	水間 大輔	史学雑誌	110—2
『狛犬事典』上杉千郷著	赤岡 東	産 経	12. 27	『図説庚申塔』縣敏夫著	嘉津山 清	史迹と美術	713
『コンセプトアル・アート』トニー・ゴドフリー著、木幡和枝訳	倉石 信乃	東 京	9. 2	『建築設計資料79 清掃工場・リサイクル関連施設』建築思潮研究所編	日比野克彦	朝 日	2. 11
『挿絵画家英朋—鰭崎英朋』松本品子著	山本 博文	読 売	2. 18	『青鞥の女・尾竹紅吉伝』渡邊澄子著	道浦母都子	読 売	6. 17
『挿絵画家の時代』清水一嘉著		東 京	8. 26	『西洋の書物工房』貴田庄著		東 京	2. 4
『360°のニューヨーク』日影眩著		毎 日	2. 21	『西洋の眼 日本の眼』高階秀爾著		"	3. 18
『始皇帝の地下帝国』鶴間和幸著	今泉恂之介	日 経	6. 17	"		日 経	3. 25
『視線』ステイヴン・カーン著	木下 直之	読 売	2. 4	"	(士)	毎 日	3. 25
『実物で学ぶしかけ絵本の基礎知識 POP—UP』D・A・カーター、J・ダイアズ著	日比野克彦	朝 日	3. 25	『石仏と石塔』青木忠雄著	丸山 貞	史迹と美術	719
『シュヴァンクマイエルの博物館』ヤン・シュヴァンクマイエル著		東 京	5. 27	『雪舟の「山水長巻」風景絵巻の世界で遊ぼう』島尾新著	宮田 珠己	朝 日	11. 4
『修復士とミケランジェロとシステーナの闇』青木昭著	青木 昭	美術の窓	214	"	(須)	毎 日	11. 25
"		日 経	5. 13	『雪舟 旅逸の画家』宮島新一著	島尾 新	日本歴史	635
『春秋戦国秦漢時代出土文字資料の研究』江村治樹著	高津 純也	史学雑誌	110—3	"	"	美 術フォーラム21	4
『莊園絵図研究の視座』奥野中彦編	杉本 史子	"	110—9	『戦国・織豊期城郭論—丹波国八上城遺跡群に関する総合研究—』(日本史研究叢刊12)八上城研究会編	高橋 典幸	史学雑誌	110—2
"	額田 雅裕	日本歴史	638	『全面自供!』赤瀬川原平著	矢作 俊彦	朝 日	8. 26
『象徴としての女性像』若桑みどり著	志賀 亮一	クロノス	15	"	関川 夏央	読 売	8. 12
『書家画家雅号(呼称)索引 下 画の部』小笠原長則編	恵光院 白	アート・ドキュメンテーション通信	49	『装飾の神話学』鶴岡真弓著	港 千尋	産 経	4. 15

"	日 経	2. 4	『桃紅 私というひと』篠田桃紅著	東 京	1. 21
『装丁／南仲坊』南仲坊著	東 京	4. 15	"	日経夕刊	2. 20
『大國フランスの不思議』山口昌子著	長谷川智恵子	毎日夕刊	『陶匠・濱田庄司氏への回想』廣崎裕哉著	青木 宏 陶 説	576
『大日本全国名所一覽』石黒敬章監修	(象)	産経夕刊	"	日経夕刊	5. 1
『高島華宵・美少年図鑑』コロナ・ブックス編集部編		東 京	『都幾川村史資料6(4) 文化財編 美術工芸品 建造物』都幾川村史編さん室編	嘉津山 清 史迹と美術	714
『匠のつどい』芸艸堂編集部編	高岡 忠雄	新美術新聞	『富山・石川梵鐘考』斉藤善夫著	鈴木 勉 梵 鐘	13
『田中一光自伝 われらデザイナーの時代』田中一光著		朝 日	『富山県立近代美術館問題・全記録』富山県立近代美術館問題を考える会編著	木下 直之 読 売	12. 16
"	高島 直之	東 京	『長屋王家木簡の基礎的研究』森公章著	三上 喜孝 古文書研究	53
『たまゆらの道 正倉院からベルシヤへ』志村ふくみ、志村洋子著		"	『20世紀写真論・終章』西井一夫著	武田 徹 朝 日	12. 9
『タンカの世界 チベット仏教美術入門』田中公明著	(前)	読 売	『西の眼 東の眼』田淵安一著		東 京 11. 18
『団地再生計画／みかんぐみのリノベーションカタログ』みかんぐみ著	紫牟田伸子	デザインの現場	『ニセモノ師たち』中島誠之助著	黒崎 政男 読 売	12. 2
『小さな箱 鎌倉近代美術館の50年1951—2001』神奈川県立近代美術館編	松山 巖	朝 日	『日韓古代宮都の研究』亀田博著	森 公章 日本歴史	636
『父の椅子 男の椅子』宮脇彩著		東 京	『日本近世絵画の図像学』林進著	(ま) 読 売	2. 4
『中国古代画家辞典』呉木・主編	恵光院 白	アート・ドキュメンテーション通信	『日本建築史』藤田勝也、古賀秀策編	山岸 常人 建築史学	36
『中世荘園絵図の解釈学』黒田日出男著	山村 亜希	史学雑誌	『日本考古学の百年』斉藤忠著	坂詰 秀一 東 京	7. 15
"	池田 寿	日本歴史	『日本書史』石川九楊著	松浦 寿輝 読 売	11. 25
"	水藤 真	歴史評論	『日本のアヴァンギャルド芸術』五十殿利治著		日 経 9. 3
『中世的武具の成立と武士』近藤好和著	高橋 昌明	日本史研究	"	木下 直之 読 売	9. 23
"	野口 実	日本歴史	『日本の御人形』池田萬助・池田章子著	富山 秀男 博物館研究	402
『中世末期の図像学上・下』エミール・マール著	黒田日出男	朝 日	『日本の石仏200選』中淳志著		東 京 9. 2
『葛屋重三郎』鈴木俊幸著	丹羽 謙治	国語と国文学	『日本の博物館史』金山喜昭著	木下 直之 読 売	11. 4
『出島—異文化交流の舞台』片桐一男著	八百 啓介	歴史と地理	『日本の美術 第415号 絵巻=親鸞上人絵伝』小林達朗編著	小林 達朗 デアルテ	17
『天下無双の建築学入門』藤森照信著	中川 六平	朝 日	『日本の美術 第420号 原始・古代住居の復元』宮本長二郎編著	木下 直之 朝 日	5. 20
『天命・天明 鋳物師の製品一覽一付・栃木県南部の金属供出状況—』高橋久敬著	渡辺 貫市	梵 鐘	『日本の美術 第418号 日本の宋元仏画』井手誠之輔編著	井手誠之輔 デアルテ	17
『東京現代建築ほめ殺し』建築三酔人著		日 経	"	木下 直之 朝 日	3. 4
		5. 6	『日本の美術 第421号 年輪年代法と文化財』光谷拓実編著	藤森 照信 毎日夕刊	6. 10

平成13年定期刊行物所載文献(他／書評)

『日本美術史』岡倉天心著	木下 直之	朝 日	1.28				
『日本美術事件簿』瀬木慎一著		日 経	11.11			東京夕刊	5.12
『日本美術を学ぶ人のために』中村興二、岸文和編	木下 直之	読 売	4.1				
『日本仏塔集成』濱島正士著	佐々木昌孝	建築雑誌	1480				
『乗り物の博物館』松沢正二著、写真	青木 国夫	博物館研究	399				
『葉書でドナルド・エヴァンスに』平出隆著	平出 隆	芸術新潮	619				
"	(前)	読 売	5.6				
『バカは死んでもバカなのだ 赤塚不二夫対談集』赤塚不二夫著	与那原 恵	朝 日	10.21				
『博物館の政治学』金子淳著	木下 直之	読 売	11.4				
『幕末江戸の文化 浮世絵と風刺画』南和男著	岩下 哲典	日本歴史	638				
『発掘捏造』毎日新聞旧石器遺跡取材班著		日 経	6.24				
『バックミンスター・フラーの世界』ジェイ・ボールドウィン著	東 浩紀	読 売	12.9				
『ヒエロニムス・ボスの『快楽の園』を読む』神原正明著	神原 正明	美術の窓	210				
"		東 京	1.28				
『東山御文庫御物一〜五』毎日新聞社「至宝」委員会事務局編	橋本 義彦	日本歴史	635				
『ピカソ論』ロザリンド・E・クラウス著、松岡新一郎訳	園江光太郎	e t c .	28				
『光の教会 安藤忠雄の現場』平松剛著	大田 弘子	朝 日	1.28				
"		東 京	1.7				
『氷川清話』勝海舟著	木下 直之	朝 日	1.28				
『VISIBLE宇宙大全』藤井旭著	赤瀬川原平	"	1.21				
『美術館は生まれ変わる』太田泰人ほか編著	木下 直之	読 売	2.25				
『美的経験の現象学を越えて—現象学的美学の諸相と展開—』高梨友宏著	大熊 治生	美 学	207				
『ヒトはなぜ絵を描くのか』中原佑介著		東 京	8.19				
『ピバ、シェフウノ・カマキリ、クミタ・リュウ、鮎沢まこと、小澤一雄、クロイワ・カズ、所ゆきよし、森田拳次、矢尾板賢吉著							
『ファン・ゴッホ書簡全集』二見史郎訳	佐伯 一麦	産 経	1.6				
『風景の発見』内田芳明著	井上 章一	日 経	6.10				
『福野村鋳物師考』斉藤善夫著	鈴木 勉 梵 鐘	13					
『浮游して北に澄む』村上善男著	工藤 健志	あ い だ	69				
『フランク・ロイド・ライトとはだれか』谷川正己著	藤森 照信	毎 日	7.15				
"	福原 義春	読 売	7.15				
『フランスを中心とする一八世紀美術史の研究—ウァトーからモーツァルトへ—』佐々木健一著	島本 浣 美 学	204					
『プルースト／写真』ブラッサイ著	松浦 寿輝	読 売	5.27				
『プロダクトデザインの広がり—比較デザイン文化論』磯貝恵三、筑波大学生産デザイン著	柏木 博 学 鑑	98—1					
『文化の「発見」 驚異の部屋からヴァーチャル・ミュージアムまで』吉田憲司著	出利葉浩司	民博通信	91				
『平安時代彫刻史の研究』伊東史朗著	根立 研介	美 術 史	150				
『平坦な戦場でぼくらが生き延びること』榎木野衣著	(泉)	読売夕刊	1.27				
『ヘーゲルの悲劇思想』小川真人著	喜屋武盛也	カリスト	8				
『放課後博物館へようこそ』浜口哲一著	樋口 弘道	博物館研究	395				
『北斎の謎を解く』諏訪春雄著		日 経	9.23				
"	高橋 克彦	読 売	9.9				
『墨書土器の研究』平川南著	高島 英之	日本史研究	472				
"	"	日本歴史	642				
『梵鐘をたずねて』姜健榮著	編 集 部	梵 鐘	13				
『本門寺の石経碑その他 石匠窪世祥について』嘉津山清著	大鳥居総夫	史述と美術	716				
『「まあ、ええがな」のころ』森村泰昌著		東 京	6.17				
"		日経夕刊	6.12				
『マチスとピカソ』イヴ＝アラン・ボア著、宮下規久朗監訳	倉林 靖	新美術新聞	915				

『まなざしの記憶 たれかの傍らで』植 田正治、鷺田清一著	河谷 史夫	朝 日	3. 4
"		読 売	2. 18
"	島森 路子	毎 日	2. 11
『マンガ 教師に見 えなかった世界』谷 川彰英著		東 京	1. 14
『マンガ 世界戦略』 夏目房之介著	加藤 秀一	"	7. 22
『万葉集の発明—国 民国家と文化装置と しての古典—』品田 悦一著	安田 敏明	国語と国 文学	934
『ミメーシスを越え て—美術史の無意識 を問う』岡田温司著	千野 香織	美 学	205
『宮崎駿の〈世界〉』切 通理作著		日 経	9. 9
『無言館ノオト』窪島 誠一郎著	松永 伍一	"	8. 12
『室生寺五重塔 千 二百年の生命』松田 敏行著		東 京	5. 6
"	森谷 正規	毎 日	4. 29
『室町絵画の残像』山 下裕二著	島尾 新	日本の美 学	32
『「名画再読」美術館』 芥川喜好著	大岡 玲	毎 日	2. 18
"	(鶴)	読 売	5. 20
『名品流転 ポスト ン美術館の「日本」』 堀田謹吾著	堀田 謹吾	美術の窓	212
"	佐藤 道信	日 経	4. 15
"	日高 普	毎 日	5. 27
『メイプルソープ』バ トリシア・モリス ロー著	榎木 野衣	日 経	4. 29
"	川本 三郎	毎 日	3. 25
『メディチ家はなぜ 栄えたか』藤沢道郎 著		日 経	4. 8
『眼のない自画像 画家幸徳幸衛の生 涯』木村林吉著	堀江 敏幸	朝 日	7. 1
『物のイメージ—本 草と博物学への招 待』山田慶兒編	杉本秀太郎	日 経	10. 28
『野十郎の炎』多田茂 治著		東 京	6. 24
『山燃ゆる』奥田元宋 著	高岡 忠雄	新美術新 聞	947
『ヨーロッパの装飾 芸術』(全3巻)アラ ン・グルベール総編 集	(す)	読 売	3. 18
『余白の芸術』李禹煥 著	松山 巖	朝 日	2. 4

『ライカ同盟 バリ 開放』赤瀬川原平、 秋山祐徳太子、高梨 豊著		日 経	7. 22
"	(前)	読 売	7. 22
『洛中洛外図舟木本 町のにぎわいが聞こ える』奥平俊六著	木下 直之	朝 日	4. 15
"		読 売	4. 15
『李朝の美—仏画と 梵鐘—』姜健榮著	編 集 部	梵 鐘	13
『ルネサンス 経験 の条件』岡崎乾二郎 著	千葉 成夫	東 京	8. 12
"	東 浩紀	読 売	8. 26
『歴史学と博物館の ありかたを考える会 設立十周年記念誌 現場から』歴史学と 博物館のありかたを 考える会編	木塚久仁子	地方史研 究	294
『連載連敗』安藤忠雄 著	坂村 健	朝 日	10. 7
"	古市 徹雄	産 経	10. 1
"	松浦 寿輝	読 売	10. 28
『「レンブラント」で ドイツ遊びとは』 ジョセフ・L・サッ クス著	山崎 浩一	朝 日	4. 29
"	高階 秀爾	日 経	5. 6
"	伊東 光晴	毎 日	4. 1
『ロシア・アヴァン ギャルドと20世紀の 美的革命』ヴィー リ・ミリマノフ著、 桑野隆訳		東 京	9. 9
『早稲田パウハウス ・スクールの実 験—学校をいかに暮 らすか—佐賀での試 み』早稲田パウハウ ス・スクール編	松葉 一清	学 鑑	98—3

洋 書

Van Lemmen, Hans & Bart Verbrugge, Art Nouveau Tiles, Universe Publishing Inc., USA, 1999	下村 純一	学 鑑	98—1
Harry Berger Jr., Fictions of the Pose: Rembrandt against the Italian Renais- sance, Stanford Uni- versity Press, Stan- ford/California, 2000	深谷 訓子	西洋美術 研究	5
Richard Brilliant, Gesture and Rank in Roman Art: The Use of Gestures to De- note Status in Ro- man Sculpture and Coinage, New Ha- ven, 1963	芳賀 京子	" "	" "

Wilhelm Perpeet, Kulturelphilosophie — Anfänge und Probleme, Verlag Bouvier, Bonn, 1997, 127 S.

Daniel Arasse, Le sujet dans le tableau: Essais d'iconographie analytique, Flammarion, Paris, 1997

Gennifer Weisenfeld, positions: east asia cultures critique Special issue: Visual Cultures of Japanese Imperialism Volume 8 number 3 winter 2000, Duke University Press, 2000

Corneliq Klinger, The concept of the sublime, and the beautiful in Kant and Lyotard, in Feminist interpretation of Immanuel Kant, ed. by Robin May Schoot, Penn State Press, 1997

Stefano Bianca, Urban form in the Arab World—past and present, Thames & Hudson, London, 2000

立野 良介 美学研究 1

森 雅彦 西洋美術研究 5

瀧井 直子 近代画説 10

木村 覚 美学 204

岡田 保良 建築雑誌 1473

時 評

前 年 度 分

展評	瀧 悌三	ア ー ト ト ッ プ	180, 181
"	米倉 守	"	"
〈芸術と人権〉展 企画 画と実情、反論1つ 光州ビエンナーレ	針生 一郎	aica JAPAN	1
Review	ささきあき こ	e t c .	28~30
"	小野 英美	"	"
"	斎藤 一典	"	28
美術は誰に向けて？	森口まどか	木野評論	32
公募団体展総評 (2000年11月~12月)	常盤 茂	新美術新聞	915
2000年展覧会の入場 者数 トップは「エ ジプト文明展」の約 62万人	(林)	"	916
絵画公募展総評	常盤 茂	"	917, 919
鑑賞者も参加する作品 —近年の傾向と問題	村田 真	"	920

旺玄展受賞作家選抜
展2000

〈アートイング東京
2000：16×16〉担 当
者の言葉

二年目の〈アートイ
ング東京〉展を事例
として日本の現代美
術を概括する 散在
型の展覧会の可能性

二年目の〈アートイ
ング東京〉展を事例
として日本の現代美
術を概括する 時間
と空間の交差する
ところ

二年目の〈アートイ
ング東京〉展を事例
として日本の現代美
術を概括する 美術
の状況は「概括」し
うのか

二年目の〈アートイ
ング東京〉展を事例
として日本の現代美
術を概括する 表層
的世紀末における
「表面」をめぐるいく
つかの課題

総括シンポジウム
現在進行形の美術と
そのゆくえ：2年目
の〈アートイング〉展
を事例として

巻頭特集 2000年下
半期の美術界大研究
2000年下半期の美術
界総論

高岡 忠雄 " "

セゾン
アートブ
ログ・
ジャーナ
ル 5

建畠 哲 " "

藤原えりみ " "

倉林 靖 " "

清水 哲朗 " "

建畠 哲
藤原えりみ
倉林 靖
清水 哲朗
コメント
ター " "

中山 公男 美術の窓 209

当 年 度 分

展評	瀧 悌三	ア ー ト ト ッ プ	182
"	米倉 守	"	"
2001年〈平成13年〉 美術界この一年	編集部編	絵	441
Review	ささきあき こ	e t c .	31, 32, 34~37
"	斎藤 一典	"	32~37
"	芦谷 英美	"	"
"	言水ヘリオ	"	32, 33, 35~37
"	白坂 ゆり	"	33~37
"	小池 麻奈	"	35
"	平野 京子	"	36
公募展総評	常盤 茂	新美術新聞	925, 934
絵画公募展総評	"	"	926, 928, 931
新美術時評 新たな 時代へ	広本 伸幸	"	931

2001年 京の日本画 塾展グループ展総評	太田垣 實	"	934
2001東京都美術館 秋の公募展総評	常盤 茂	"	938, 940, 943, 944
新美術時評「横 浜、たそがれ」(仮 題)	中村 敬治	"	944
2001年の美術界をふ りかえる 破壊と創 造のはざまの世紀 元年	生尾慶太郎 倉林 靖 宝木 範義 瀧南 三 南 寛 米倉 宏 海老塚 守 ワシオ・ト シヒコ	"	947
ベルリンからアート 再び 壁崩壊後の混 とん刺激生む	上間 常正 朝 日	10. 14	
美術評論家連盟が会 報 芸術論の本質で 相互批評を	(盛)	朝日夕刊	5. 12
回顧2001 美術	田中 三蔵	"	12. 14
美術界この1年 不 況下前向きな試み	渋谷 和彦 産 経	12. 23	
春の公募展から 明 快な色彩とユーモラ スな意欲作・実験作 集める試みも	清水 真砂	東京夕刊	4. 13
春の公募展から	川口 直宜	"	4. 27
秋の公募展から	塩野 栄	"	9. 28
回顧2001美術 百貨 店美術館が撤退	宝玉 正彦 日 経	12. 17	
美術この1年 国際 化と採算主義の波	三田 晴夫 毎 日	12. 13	
回顧2001写真 デジ タル化の一方、原点 注目	前田 恭二 読売夕刊	12. 6	
回顧2001美術 メ ディア・アートが進 化	菅原 教夫	"	12. 11
受賞・美術賞			
第36回昭和会展審査 報告 審査講評	米倉 守 絵	437	
VOCA賞に押江千衣 子さん 各賞決まる		新美術新 聞	915
第4回岡本太郎記念 現代芸術大賞 4年 連続該当作なし	西澤 美子	"	921
第26回木村伊兵衛写 真賞決まる 若手女 性作家3人が受賞	(真)	"	"
第13回和辻哲郎文化 賞決まる 一般部門 に稲賀繁美氏『絵画 の東方』	"	"	922
日本芸術院賞決まる 恩賜賞に津金高邦氏	(書)	"	923
小磯良平大賞展の回 顧と展望 5周年を 迎えて	木村 重信	"	925

ふたつの土門拳関連 賞 第20回土門拳賞 に大石芳野さん 第 7回酒田市土門拳文 化賞に寺崎知水さん	(常)	"	926
展覧会カタログの作 成 支援 第2回 ADSPの入選者決定	(一)	"	"
国際ガラス展・金沢 2001受賞者決定 大 賞はチェコの作家に	(真)	"	936
第13回世界文化賞 李禹煥氏らに決定	(常)	"	938
国際交流基金賞決ま る 平山郁夫氏が受 賞	(林)	"	939
ADC2001受賞作品 リポート	編 集 部	デザインの 現場	117
Special Report 「キ リン アートアワード」の10年 アー ト・コンペティショ ンの現在形	石井 弥夢	美術手帖	806
巻頭特集 2000年下 半期の美術界大研究 美術賞の歴史—シェ ル美術賞と安井賞を 中心に—	篠原 弘	美術の窓	209
第5回手塚治虫文化 賞	小原 篤 朝 日	6. 1	
世界文化賞 受賞者 会見祝宴は中止		産 経	9. 15
伝統ある文学・芸術 賞 若手の受賞ラッ シュ	海野 太郎	日経夕刊	5. 17
受賞の2氏、個性豊 かに喜び語る 毎日 デザイン賞表彰式		毎日夕刊	4. 23
第22回(01年度)ジャ ポニスム学会賞		"	9. 5
現代美術賞創立相次 ぐ カナダの「ミレ ニアム賞」女性進出 の風土映す	小倉 正史	読売夕刊	2. 28
大阪トリエンナーレ 2001 グランプリ 南アフリカの作家に 決まる		新美術新 聞	935
中国語圏をつなぐ初 の広告デザイン賞 Long Xi Creative Awards	渡部 千春	デザインの 現場	115

美術市場

市場と美術をめぐる 問題 五、六	白川 昌生	アート・ マガジン (エル・ アール)	23, 24
特集 21世紀のス ターがここにいます! 画廊企画の東西実力 グループ展		ギャラ リー(月 刊)	190
巻頭特集 現代美術 のホットイベント NiCAF2001Tokyo		"	191

特集 先代の礎に築け! 若手アーティストの21世紀	ギャラリー(月刊)	193	《美術と美術館のあいだを考える会緊急講座》第2、3回「都美術館の危機を語り尽す」レポート	光田 由里	"	64、70
特集 東京美術倶楽部主催の最高峰アートフェア 逸品の魅力 第15回東美特別展	"	197	私立美術館の深淵に臨む	千田 敬一	"	67
美術市場リーダー 113、117~119、121、122	瀬木 慎一	新美術新聞	生涯の知的成長を促す場としての美術館—学芸員の仕事—	金原 宏行	茨城県近代美術館だより	51
AJ.C.オークションメインは2億5千万円超	"	924	Review	斎藤 一典	e t c .	31
第7回 NICAF 2001 TOKYO パワーある新進ギャラリーに注目	豊原 真澄	"	美術館解体新書10 テーマ展のメンバーはどうやって決まるの?(後編)	藤嶋 俊會 尾崎 眞人 横山 勝彦	ギャラリー(月刊)	189
現美展改称「伝統からの創造21世紀展」の落札価格公開	"	926	美術館解体新書11、12 ミュージアム・ピースって何ですか?(前編、後編)	内藤 正人 尾崎 眞人 横山 勝彦	"	190、191
萬野美術館コレクション 約7億4800万円で落札 英・クリスティーズのオークション	(美)	"	美術館解体新書13、14 どうなってるの?作品の真贋(前編、後編)	相澤 ゲスト 尾崎 眞人 横山 勝彦	"	192、193
フォトニュース 現代美術のインターネット・オークション	油井 一人	"	美術館解体新書15、16 コレクターと美術館の関係を探る—学芸員からの素朴な疑問(前編、後編)	大川 ゲスト 尾崎 眞人 横山 勝彦	"	194、195
特集 国際現代美術展最新レポート2001 アート・バーゼル+リステ01	児島やよい	美術手帖	美術館解体新書17、18 私の好きな作品見せてくれませんか?(前編、後編)	李 ゲスト 尾崎 眞人 横山 勝彦	"	196、197
毎日モダンアートオークション2001 実力作家の自選86点ネットでオークション	毎日	6.18	美術館解体新書19、20 展示と保存、矛盾しませんか?(前編、後編)	石田 ゲスト 尾崎 眞人 横山 勝彦	"	198、199
ネットで最新美術を紹介 毎日モダンアートオークション2001	毎日夕刊	6.28	「博物館資料」論(下)	松尾 芳樹	京都市立芸術大学芸術資料館年報	11
美術館・博物館・画廊			特集 現代美術と美術館建築 特集にあたって—建築へのからのまなざし	保坂健二郎	現代の眼	527
一般			特集 現代美術と美術館建築 美術館をつくるということ	青木 淳	"	"
アートトップ・ミレニアムインタビュー5 文化的ニュースを提供する事が一番大切な役目	金成 英雄	アートトップ	特集 現代美術と美術館建築 人が出会う美術館	鷺田めるろ	"	"
美術館の館長とは	井関 正昭	aica JAPAN	記念シンポジウム 博物館と建築史学—その可能性—	新谷 昭夫 堀田 勇良 井相 玲子 蘇一弘 谷直樹	建築史学	37
「運営」から「経営」へ—東京都の美術館はこうなる	編集部	あいだ	「情報化のもたらすもの」—ポストモダンの状況に立ち向かう—	神野 真吾	県美協力会会報	22
倫理学の立場から美術館を見ると	松永 康	"	世紀末美術館考	新見 隆	国立国際美術館月報	101
《シンポジウム・レポート》「(美術/展示)の現在—表慶館からの遠近法」	藤川 哲	"				

特別展の混雑解消を	難波 洋三	国立博物館ニューズ	644	特集：平成12年度「親しむ博物館づくり事業」シンポジウム・ドキュメント 子どもたちが、自分で博物館に出かける日1 あいさつ「21世紀の新しい教育に向けて」	寺脇 研	"	"
インタビュー【新しい国立博物館像を探る】 独立行政法人になって変わることに、変わらないこと	坂元 弘直 宮島 新一 聞き手	"	647	特集：平成12年度「親しむ博物館づくり事業」シンポジウム・ドキュメント 子どもたちが、自分で博物館に出かける日1 基調講演「博物館と親しむ」	染川 香澄	"	"
「独立行政法人国立博物館」	鷲塚 泰光	"	"	特集：平成12年度「親しむ博物館づくり事業」シンポジウム・ドキュメント 子どもたちが、自分で博物館に出かける日1 あいち子ども体験ミュージアム事業～寄せ集めには福がある～	久保 禎子	"	"
調査研究活動報告 イギリスにおける博物館の現状	小島 道裕	国立歴史民俗博物館研究報告	90	特集：平成12年度「親しむ博物館づくり事業」シンポジウム・ドキュメント 子どもたちが、自分で博物館に出かける日2 パネルディスカッション 「親しむ博物館づくり事業」と今後の博物館活動	濱田 隆士 コーディネーター 佐原 真、 鈴木 眞理、 樋口 敬二、 堀 由紀子、 渡辺 妙子、 五十嵐耕一 パネリスト	"	"
平成12年度さきたまアカデミア「博学連携」実施の記録	利根川 章彦	埼玉県立さきたま資料館調査研究報告	14	特集 「博物館評価」という怪物がやってくる!? 1、2		"	57
大学博物館・“産業考古学館”(仮称)の設立	種田 明	静岡文化芸術大学研究紀要	1	美術館—視線が交錯する場—についての試論	笠木日南子	富山市箕牛人記念美術館館報	10
新美術時評 美術館は誰のために?	山脇 一夫	新美術新聞	915	日本の公立美術館(学芸員)の現状と展望—現場からの提言—	山田 論	名古屋市美術館研究紀要	10
美術市場リーダー 114、115、120	瀬木 慎一	"	917、920、935	座談会 “開かれた”博物館への道を探る	濱田 隆士 佐久間雅彦 森 達雄 青木 島田	博物館研究	393
新美術時評 美術館二十一世紀の課題	後小路雅弘	"	918	巻頭言 国立博物館の独立行政法人への移行にあたって	西岡 康宏	"	394
新美術時評 国立美術館の将来	広本 伸幸	"	919	第16回 支部が推薦する博物館情報7. 中国支部 博物館がとらえる時代の境目	臼井 洋輔	"	"
新美術時評 現代から同時代へ—新世紀の地方美術館	"	"	922	巻頭言 美術館は金食い虫か?—同時代美術の活性化へ向けて—	田中 幸人	"	395
国立館大胆な組織改革 独立行政法人スタート 展示、教育を重視	西澤 美子	"	924	JAM(日本博物館協会)学習支援ホームページの解説	五十嵐耕一	"	"
都現代美術館行き都バス新路線デビュー 最新・美術館バス事情	"	"	932				
新美術時評 美術館の教育と女性	後小路雅弘	"	936				
東京国立近美にフレンチ達人の店 美術館レストラン最新事情	西澤 美子	"	946				
特集：緊急シンポジウム 独立行政法人化で何が変わるか 博物館・美術館の将来を考える1、2		ドーム	55				
世界のミュージアム あんな話こんな話2 ミュージアムの長い夜[ベルリン]		"	56				

第16回 支部が推薦する博物館情報8. 四国支部 四国の博物館事情	天羽 利夫	博物館研究	395	変わる展示—近代における展示空間と美術館の変遷について	神山 亮子	府中市美術館研究紀要	5
トピックス1—北から南から—全国博物館の「総合的な学習の時間」への取り組みに関するアンケート調査結果報告	松丸 敏和	"	396	地域博物館における地域学の課題と展望	高橋 信裕	文環研レポート	17
第16回 支部が推薦する博物館情報9. 九州支部 「移動博物館」～島々を巡る博物館活動	瑞慶山 昇	"	397	これからの博物館の調査研究	氏家 等	北海道開拓記念館だより	31—2
博物館内の図書室の役割	布谷 知夫	"	399	地域歴史博物館の教育活動	大塚 眞弘	MUSEUM STUDY	12
国際比較調査からみた日本の博物館における学習支援	飯田 浩之	"	401	博物館運営論のための覚書—よりよい博物館活動の為に博物館評価を—	松浦 淳子	"	"
第17回 支部が推薦する博物館情報3. 関東支部 体験者4万人への挑戦—体験学習とボランティアの活動	新井 和良	"	"	博物館とメディア—視覚教育メディア論に関する覚書—	矢島 國雄	"	"
「美術館＝演劇的空間」[ムゼウムステアター]専門会議から	後藤 文子	美術手帖	798	博物館と学校～博学融合への取り組み～	中川 志郎	ミュージアム・データ	52
特集 日本の美術と教育 美術館+博物館 「美術品」か「有形文化財」か—国立博物館・美術館の独立行政法人化を巡って	西野 嘉章	"	801	英国における歴史系博物館	吉田 優	MUSEOLOGIST	16
特集 日本の美術と教育 座談会 緊急討議：日本の美術館に未来はあるのか	太田 泰人 新見 隆 樋田 豊次郎 横山 勝彦	"	"	学生の見た博物館展示技術の評価2	矢島 國雄 吉田 望	"	"
ようこそ21世紀美術館へ 21世紀美術館へのトランジション 記憶の保存庫を開く	長谷川祐子	"	"	ベトナムの博物館事情—特に地方の省博物館について	山形眞理子	ムゼイオン	47
ようこそ21世紀美術館へ open circuits 他律型=プロセス&エクスペリエンス系企画展の流れ	長谷川祐子 編集部構成	"	"	甦生する館藏品—萬野美術館コレクションオークションが意味するもの—美術館運営の難しい局面	瀬木 慎一	目の眼	298
ミュージアム・シティ・プロジェクトの10年 アートと街と人が共生する実験的試み	山野 真悟	"	"	歴博対談 第34回 博物館と人権・社会教育	川村善二郎 新井 勝紘	歴 博	104
スペシャル鼎談 どうなる美術館!?(前編、後編)	武田 厚 宝木 範義 清水 敏男	美術の窓	209、210	歴博対談 第38回 博物館教育とこれからの博物館	染川 香澄 小島 道裕	"	108
TOPICS 台湾の美術館の現状	並木 誠士	美術フォーラム21	4	特集 境界を越える歴史学 海のむこうのニッポン 展示のなかの「日本」—アメリカ合衆国の博物館・美術館の展示を巡って—	笹原 亮二	"	109
あなたの声で展示が変わる～来館者調査による展示評価に思うこと～	瓜生 由起	ふくいミュージアム	39	国立美術・博物館「独立」から1カ月 ほかかった自由、熟考の時間	田中 三蔵	朝 日	5. 6
				不況にあえぐ私立美術館 止まらぬ閉館もはや「危機」	"	"	7. 15
				美術館六話 1～6	"	"	11. 4～9
				迫る独立行政法人化 欧米の美術館・博物館と比較して 上、中、下	"	朝日夕刊	3. 14、15、21
				都4 施設の巨額赤字 [江戸東京博物館・写真美術館他]		産 経	4. 11

独立行政法人に移行した国立美術館・博物館	岩渕 潤子	"	5. 27	日 本				
街 上野公園散策 文化施設を楽しむ 東京芸大宮田亮平美術学部長		"	12. 17			(ア 行)		
自宅生かして趣味の拠点 サロン・博物館…		日 経	1. 14	子どもと博物館 新しい関係を目指して あいち子どもミュージアム事業の成果と展望	愛知県博物館協会子ども博物館研究会	博物館研究	398	
文化往来 神社仏閣に通じる企業博物館の役割		"	1. 22	特集 ひと味ちがうぞ、エデュケーション・エキジビション 秋田県立近代美術館	三浦 ゲスト 直	ド ー ム	54	
大学に眠る宝の山 標本が日本の「資源」に！?		"	3. 4	コレクション／あさご芸術の森美術館—淀井敏夫記念館	水田 文夫	博物館研究	398	
充足した独立行政法人 効率化へ高い目標設定を	山本 清	"	4. 14	縄文のおしゃれ体験しませんか 旭川市博物館が衣裳貸し出し		産経夕刊	4. 26	
独立行政法人化一ヶ月 博物館懸命の経営努力	坂本 憲一	"	5. 12	春爛漫訪れてみたい新美術館 安曇野ちひろ美術館新館	(真)	新美術新聞	920	
銀座から画廊が消える? 家賃高騰、冷える美術市場	竹田 博志	"	5. 26	特集 国立民族学博物館企画展 大正昭和暮らしの博物誌 民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム WONTED展示の試み アチック・ミュージアムの民具コレクションとの格闘	近藤 雅樹	民具マンスリー	396	
出かけてみよう 都内ミニ博物館「知」の散策		"	8. 25	特集 国立民族学博物館企画展 大正昭和暮らしの博物誌 民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム アチック・ミュージアム・コレクションにおける高橋文太郎の収集民具とその視点	木村 裕樹	"	"	
伝統派の美術館相次ぐ閉鎖 なぜ今? 軽さ全盛、「サブ文化」が食う		"	11. 18	特集 国立民族学博物館企画展 大正昭和暮らしの博物誌 民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム アチック・ミュージアム・コレクションにおける高橋文太郎の収集民具とその視点	藤井 裕之	"	"	
アキヤート 歴史を刻んだ木造の民家。そのたたずまいが若い芸術家を刺激する	安岡 崇志	日経夕刊	1. 6	特集 国立民族学博物館企画展 大正昭和暮らしの博物誌 民族学の父・渋沢敬三とアチック・ミュージアム アチック・ミュージアム・コレクションにおける高橋文太郎の収集民具とその視点	酒野 晶子	"	"	
博物館・美術館デジタル解説		"	1. 29	資料紹介 アチックミュージアム日誌(1) 昭和一〇年九月～二月	窪田 涼子 筆写・文責	歴史と民俗	17	
暮らしの叙景 輝けミュージアム1～6		"	4. 16～20、23					
あすへの話題 博物館が変わる?	深井 晃子	"	6. 9					
変わる東京の画廊地図 銀座から京橋へ相次ぐ移転	三田 晴夫	毎日夕刊	3. 9					
現代アート考 画廊の条件	"	"	3. 22					
作品の宗教的意味を伝える美術館の大きな役割	蓑 豊	"	5. 22					
国立研究機関 独立法人化を科学立国に生かせ		読 売	3. 18					
公立美術館の現状を考える 学芸員の自由な発想大切 美連協議会	中山 公男 陰里 鉄郎 菅原 教夫	"	4. 25					
リビング歳時記 参加型企画広がる美術館		"	10. 29					
建築季評 歴史的都市空間の再現 自分が風景になる体験	中川 理	読売夕刊	7. 5					

屋根裏から民族学に 光 沢 敬三が開いた 博物館の活動の足 跡を追って[アチッ ク・ミュージアム]	近藤 雅樹	日 経	2.27
春爛漫訪れてみたい 新美術館 安野光雅 美術館	(一)	新美術新 聞	920
「安野光雅美術館」 オープン 空想の楽 しさ実感	吉田 俊宏	日 経	4.22
あすへの話題 美術 館ボランティア[石 川県九谷焼美術館]	高田 宏	日経夕刊	10.27
デジタルミュージア ムシステムについて	二木伸一郎	石川県立 美術館紀 要	11
トキワ荘を模型で 「復元」 7月、石ノ 森萬画館に		朝 日	6.18
体感! 石ノ森ワー ルド 宮城・石巻市 に「萬画館」[石ノ森 萬画館]	石田 汗太	読売夕刊	7.28
東京・新宿伊勢丹美 術館が閉館へ	西澤 美子	新美術新 聞	944
特集:平成12年度 「親しむ博物館づく り事業」シンポジウ ム・ドキュメント 子どもたちが、自分 で博物館に出かける 日1 「昆虫」と「折 り紙」の出会い〜お りおりムッシー展〜 [伊丹市昆虫館]	坂本 昇	ド ー ム	56
フォトニュース 茨 城県陶芸美術館を訪 ねて	油井 一人	新美術新 聞	931
コレクション/茨城 県陶芸美術館のコレ クションについて	中泉 多詔	博物館研 究	402
特集:平成12年度 「親しむ博物館づく り事業」シンポジウ ム・ドキュメント 子どもたちが、自分 で博物館に出かける 日1 時 遊 館 COCCOはしむれ 「体験!はしむれ学 園」事業について[指 宿市考古博物館]	中摩浩太郎	ド ー ム	56
活動レポート 学校 教育における岩手県 立博物館の利用	佐藤 嘉広	岩手県立 博物館だ より	92
岩手県立美術館10月 6日オープン 萬鐵 五郎・松本竣介・舟 越保武コレクション を柱に	西澤 美子	新美術新 聞	938
岩手県立美術館 高 い質の収蔵品が人気	沢 和彦	産 経	12.9

地道なローカリズム の追求を 公立美術 館の存在意義[岩手 県立美術館]	藤田 一人	毎日夕刊	12.11
STARDUST 活 字 であそぼう!印刷博 物館オープン		芸術新潮	613
印刷博物館 栗津潔 館長に聞く	森 彰英 聞き手	産経夕刊	9.19
印刷博物館 設立に かけた情熱 宗村泉 さん		" "	" "
グローバルな視点で とらえ直す「印刷 文化学」創造の意欲 わく[印刷博物館]	樺山 紘一	" "	" "
新美術時評 FAQ [NTTインター・コ ミュニケーション・ センター]	中村 敬治	新美術新 聞	934
インター・コミュニ ケーション・セン ター休館	"	読売夕刊	4.11
名画をバックに響く メロディー MOMA展でユーミ ンライブ[上野の森 美術館]		産 経	12.26
美ヶ原高原美術館20 周年 彫刻たちのア ルカディア	永井 泰山	"	7.1
苦境に立つ私立美術 館 大阪梅田近代美 術館が閉館	西澤 美子	新美術新 聞	929
テーマ展開連ワーク ショップ「パズルで あそぼ、工夫のか・ た・ち」実施報告	谷脇 温子	愛媛県歴 史文化博 物館研究 紀要	6
大垣市守屋多々志美 術館オープン	(真)	新美術新 聞	942
大阪・狭山池博物館 東洋の伝統を現代的 に表現[大阪府立狭 山池博物館]	飯島 洋一	読売夕刊	3.13
小学生から高齢者ま でが学ぶ一考古学大 学の実施とアンケー トから一	大西 宏道	大阪府立 近つ飛鳥 博物館報	6
博物館を利用するこ とーボランティアの 事例から一	向井 幸一	" "	" "
大阪歴史博物館(仮 称)今秋誕生へ	(一)	新美術新 聞	922
大阪歴史博物館オー プン 11月3日	(真)	"	943
歴博対談 第37回 新しい歴史博物館を めざして[大阪歴史 博物館]	相蘇 一弘 福原 敏男	歴 博	107
万博の「太陽の塔」に 似てる!? 斬新、 顔のついた縄文土器 [顔がついた土器 展、大田区立郷土博 物館]	(片)	読売夕刊	6.21

陶板絵画で名画の美学ぶ[大塚国際美術館] 日経夕刊 10.29

私の履歴書 安藤氏に注文を連発 大山崎山荘修復に力注ぐ[大山崎山荘美術館] 樋口廣太郎 日 経 1.28

小田急美術館が閉館 10月29日で 催事場として来春リニューアル 西澤 美子 新美術新聞 939

小田急美術館 来月、34年の歴史に幕 読 売 9.14

Interview at Gallery OFF SITE 伊東篤宏さん 大戸めぐみ 聞き手 e t c . 34

(カ 行)

特集 ひと味ちがうぞ、エデュケーション・エキジビション 海田町ふるさと館 小谷 幸子 ド ー ム 54

神奈川県立近代美術館 葉山新館建設にPFI 西澤 美子 新美術新聞 940

神奈川県立近代美術館50年シンポ「小さな箱」のよさを再評価 (若) 朝日夕刊 12.18

はてな? おもしろ浮世絵186 大阪ミナミの道頓堀に上方浮世絵館オープン 中右 瑛 目の眼 302

Interview at Gallery ガレリアキマイラ 大岩紀子さん 大戸めぐみ 聞き手 e t c . 32

コレクション/川崎市岡本太郎美術館 山内 晶子 博物館研究 403

北区飛鳥山博物館の建設準備をふりかえって 中野 守久 MUSEOLOGIST 16

「手で見る」ギャラリーの20年 視覚障害者と美術に架け橋 [ギャラリーTOM] 池内 紀 朝日夕刊 5.16

上野 額縁の『浅尾佛雲堂』4代目ギャラリー併設 [GALERIEあさお] 東京 9.17

京都大学総合博物館の開館 大野 照文 博物館研究 401

京大博物館オープン間近[京都大学総合博物館] 瀬戸口烈司 産経夕刊 5.26

京都文化博物館における教育普及活動についての報告—入館者調査と評価実施への指針として— 南 博史 朱雀 13

遊学スコープ 銀座 香水瓶美術館 前田波留代 読売夕刊 3.8

三の丸尚蔵館の収蔵品について[宮内庁三の丸尚蔵館] 三の丸尚蔵館 年報・紀要 6

もっと光を! 黒田記念館リニューアル 芸術新潮 623

春爛漫訪れてみたい 新美術館 渋川市美術館・桑原巨守彫刻美術館 (美) 新美術新聞 920

群馬県立館林美術館 オープン 10月26日 西澤 美子 " 940

地道なローカリズムの追求を 公立美術館の存在意義[群馬県立館林美術館] 藤田 一人 毎日夕刊 12.11

特集 公開承認施設制度について 公開承認施設による企画展の事例1 群馬県立歴史博物館 第六八回企画展 浄土へのあこがれ—阿弥陀来迎— 唐澤 至朗 文化財(月刊) 456

第2世代の電子博物館 [慶應義塾大学] 毎 日 3.30

手作りおもちゃで子育て応援[芸術教育研究所おもちゃ美術館] 窪田 千代 " 9.19

MEPで、ダンスを18 江東区深川江戸資料館で、150年前の深川佐賀町下之橋の一日を、体験する ド ー ム 55

興福寺国宝特別公開 2001 [興福寺国宝館] 沖 真治 朝日夕刊 3.24

特集 公開承認施設制度について 公開承認施設による企画展の事例4 「重要文化財公開促進事業」を利用した企画展の事例[神戸市立博物館] 三好 唯義 文化財(月刊) 456

ハケ岳山麓のリゾート地帯—康耀堂美術館 7月22日オープン (林) 新美術新聞 930

「国際芸術センター青森」が開館 自然と芸術の融合をテーマに (真) " 946

トピックス2—北から南から—科博分館のラボ公開とセミナー「どうかわる・どうかえる—最新の科学動向と科学博物館の使命」[国立科学博物館] 植村 和彦 博物館研究 396

美と出合う 国立西洋美術館3 佐藤 直樹 東京 12.9

異界万華鏡展[国立歴史民俗博物館] 山田 慎也 読売夕刊 8.15

宇宙科学博物館コスモアイル羽咋 高野誠鮮主任「本物」にこだわり「模型」は置かない 鈴木 穰 東京 8.20

手鑑、画帖、名物 裂一鑑賞形式に焦点 の古美術展[五島美 術館]	前田 恭二	読売夕刊	11. 13	代表作複製など展示 すみだりバーサイド ホールに北斎コー ナー	"	1. 17
古美術の楽しみ 和 の精神が伝える伝統 の美に出会う 小西 大閑堂		ア ー ト ト ッ プ	181	島根県三隅町立石正 美術館オープン 拡 がる美術館回廊構想	(林)	新美術新 聞 924
	(サ 行)			文化往来 日本画家 石本正の美術館、島 根に開館[石正美術 館]		日 経 5. 3
MEPで、ダンスを 17 埼玉県立近代美 術館の教育活動		ド ー ム	54	文化往来 美術と歌 舞伎融合、歌右衛門 の衣装公開[世田谷 美術館]		" 5. 8
FAREWELL、"SA- GACHO"!! オル タナティヴ・スペー スの嚆矢がたどった 道[佐賀町エキジ ビット・スペース]	村田 真	美術手帖	800	せんだいメディア テークのインタラク ションデザイン		A X I S 90
サトエ記念21世紀 美術館開館 国際平成 大学(埼玉県加須市) に隣接		新美術新 聞	933	春爛漫訪れてみたい 新美術館 せんだい メディアテーク	(林)	新美術新 聞 920
特別レポート 佐渡 版画村美術館 生活 の中に版画が生きる 町	岡 部	版画芸術	113	せんだいメディア テーク 文化施設の 今後の指標に	新川 貴詩	産 経 2. 11
				(タ 行)		
内膳の南蛮屏風 100年ぶり里帰り[サ ントリー美術館]		朝 日	6. 20	高崎タワー美術館閉 館決まる 最終展 「自然を謳う」6月24 日まで	(常)	新美術新 聞 928
古筆手鑑と画帖の名 品展[サントリー美 術館]	竹田 博志	日 経	10. 26	高崎タワー美術館復 活 ファンの声、市 政を動かす	常盤 茂	" 933
開館40周年迎えたサ ントリー美術館 「生活の中の美」を掲 げ	石川 健次	毎日夕刊	5. 24	京都清水寺展 25日 から日本橋・高島屋 で	森本 俊司	朝日夕刊 7. 21
手鑑、画帖、名物 裂一鑑賞形式に焦点 の古美術展[サント リー美術館]	前田 恭二	読売夕刊	11. 13	週中講座 大名道具 「大名—その華麗な 時代」展[高島屋(日 本橋)]	倉持 七菜	産経夕刊 3. 7
資生堂ギャラリー リニューアルオープ ン	(一)	新美術新 聞	919	桜の名所、信州高遠 の竹内徹美術館好評		新美術新 聞 922
フォトニュース 帰ってきた資生堂 ギャラリー	油井 一人	"	922	特集：平成12年度 「親しむ博物館づく り事業」シンポジウ ム・ドキュメント 子どもたちが、自分 で博物館に出かける 日1 アート探検 術へふれる・みつめ る・おとずれる[辰 野美術館]	赤羽 義洋	ド ー ム 56
東西南北 資生堂 ギャラリーが新装 美術の老舗、銀座に 新風		日経夕刊	8. 1	田中一村記念美術館 オープン 9月30日	林 茂樹	新美術新 聞 940
《新聞から》信濃美術 館贈収贈事件の背景	編 集 部	あ い だ	67	玉里村立史料館の場 合一統・名ばかりの 史料館一	小玉 秀成	MUSE- OLOG- ST 16
春爛漫訪れてみたい 新美術館 浜川市美 術館・桑原巨守彫刻 美術館	(美)	新美術新 聞	920	特集 ひと味ちがう ぞ、エデュケーショ ナル・エキジビショ ン 千葉県立美術館	濱松 繁雄、 田村 俊雄 ゲスト	ド ー ム 54
財団法人水府明徳会 「彰考館徳川博物館」 の増築事業について	徳川 斉正	博物館研 究	395	立ち上る江戸の香り 「浮世絵美の極致」展 [千葉市美術館]	竹田 博志	日 経 1. 17
美と出合う シルク 博物館	大野美也子	東 京	8. 5			

千葉そごう美術館開館 4月22日で 財団は存続 展覧会は催事場で	西澤 美子	新美術新聞	923	レポート 東京国立博物館に眠っていた作品 独立行政法人化がもたらしたものの	編集部	目の眼	301
文化往来 都市と建築のギャラリーが活動再開[TNブロープ]		日 経	3, 19	「天神さまの美術」展を見て4 時代や様式を見比べ楽しむ[東京国立博物館]	村田錦一知	東 京	8, 17
特集:平成12年度「親しむ博物館づくり事業」シンポジウム・ドキュメント 子どもたちが、自分で博物館に出かける日1 夏休み子ども実験室へサメの秘密~[東海大学海洋科学博物館]	岡 有作	ド ー ム	56	「天神さまの美術」展を見て9 目撃しませる仕掛け随所に[東京国立博物館]	大熊 敏之	"	8, 22
「東京国立近代美術館の半世紀」連載5 二つの現代美術展のこと	松本 透	現代の眼	526	怨霊、芸能、受験の神 天神さまは多面体 あすから「天神さまの美術」展 海外の絵巻も里帰り 天神信仰知る絶好機[東京国立博物館]	松原 茂	東京夕刊	7, 9
「東京国立近代美術館の半世紀」連載6 日本近代美術史の形成と美術館 戦前の前衛美術を例として	大谷 省吾	"	527	天神の宝 東山・北野遊楽図屏風 菅原道真没後千百年「天神さまの美術」展[東京国立博物館]	辻 惟雄	"	7, 16
「東京国立近代美術館の半世紀」連載7 『現代の眼』、そして『未来の眼』	水谷 長志	"	528	天神の宝 北野天神縁起絵巻(承久本) 菅原道真没後千百年「天神さまの美術」展[東京国立博物館]	山下 裕二	"	7, 18
「東京国立近代美術館の半世紀」連載8 先輩に訊く一本問正義氏	古田 亮	"	529	天神の宝 松藤蒔絵硯箱 菅原道真没後千百年「天神さまの美術」展[東京国立博物館]	小松 大秀	"	7, 21
「東京国立近代美術館の半世紀」連載9、10 富山秀男氏に聞く1、2	蔵屋 美香	"	530、531	天神の宝 天満宮縁起絵伝(満盛院本) 菅原道真没後千百年「天神さまの美術」展[東京国立博物館]	味酒 安則	"	7, 24
特集 本館リニューアル・オープン 東京国立近代美術館のリニューアルにあたり	市川 政憲	"	531	天神絵巻の世界 壮大絶妙なドラマ[「天神さまの美術」展、東京国立博物館]	真保 亨	"	7, 27
博物館のなかの「美術館」? [東京国立博物館]	蔵屋 美香	国立博物館ニュース	644	信仰と芸術の交錯—「国宝醍醐寺展」から上[東京国立博物館]	西川杏太郎	日 経	3, 26
特集 国宝室誕生 リニューアルされた東京国立博物館	宮島 新一 小林 達朗 救仁郷秀明 島谷 弘幸 安達 直哉 小松 大秀 伊藤 嘉章 池田 宏	"	647	信仰と芸術の交錯—「国宝醍醐寺展」から中[東京国立博物館]	山根 有三	"	3, 27
東京国立博物館 本館に国宝室	(美)	新美術新聞	930	信仰と芸術の交錯—「国宝醍醐寺展」から下[東京国立博物館]	永村 真	"	3, 28
MEPで、ダンスを21 ワークショップで出会う天神さまの世界[東京国立博物館]		ド ー ム	58	天神さまの美術展[東京国立博物館]	竹田 博志	"	7, 20
トピックス 1—北から南から—「国宝室誕生、リニューアルされた東京国立博物館本館」	宮島 新一	博物館研究	400	至高の一点 国宝醍醐寺展から 扇面貼付屏風の田家早春図[東京国立博物館]	永井 路子	日経夕刊	4, 20
				東京国立博物館でファッションショーより「開かれた博物館」をめざす	平山 郁夫 西岡 康宏 対談	"	6, 15
				「雪舟」展への期待 重い美術史上の位置[東京国立博物館]	渡邊 明義	毎 日	9, 12

最古の美術館で現代美術展[東京国立博物館]	三田 晴夫	毎日夕刊	2.16
天神信仰をめぐる2 火災随所に激しい絵巻[東京国立博物館]	前田 恭二	読売夕刊	8.7
東京解剖図鑑街角Spot 待ち合わせ前に写真で一息[東京写真文化館]	山内 宏泰	東京	6.15
東京大学史料編纂所史料集発刊百周年記念事業—展示・国際シンポジウム・史料集発行の三つの企画から—	杉本 史子	歴史と地理	550
歴史の焦点 東京大学総合研究博物館	西野 嘉章	"	542
第2世代の電子博物館[東京大学総合研究博物館]		毎日	3.30
特集「博物館評価」という怪物がやってくる! 1 [東京都江戸東京博物館]		ドーム	57
MEPで、ダンスを20 東京都江戸東京博物館		"	"
江戸東京博物館の常設展示における展示評価と改善	佐々木秀彦	博物館研究	399
蕪村 その二つの旅1 [東京都江戸東京博物館]	川上 香	朝日	2.20
蕪村 その二つの旅2 [東京都江戸東京博物館]	益田 茂	"	2.28
蕪村 その二つの旅3 [東京都江戸東京博物館]	小林 淳一	"	3.2
蕪村 その二つの旅4 [東京都江戸東京博物館]	川上 香	"	3.3
蕪村 その二つの旅5 [東京都江戸東京博物館]	板谷 敏弘	"	3.10
ナビゲーター 蕪村、大雅を比較できる好機[東京都江戸東京博物館]		朝日夕刊	3.3
蕪村 その二つの旅展[東京都江戸東京博物館]	草薙奈津子	東京夕刊	2.23
詩歌の森へ 白梅の夜明け[東京都江戸東京博物館]	芳賀 徹	日経	2.18
詩歌の森へ 春も寒き春[東京都江戸東京博物館]	"	"	2.25
蕪村 その二つの旅展[東京都江戸東京博物館]	(前)	読売夕刊	2.27

これが“文化人”石原都知事のやることか? [東京都現代美術館]	編集部	あいだ	71
東京都現代美術館新館長にアサヒビールの樋口廣太郎氏	(美)	新美術新聞	916
都現代美術館に「辛口・キレ・鮮度、アサヒビール樋口廣太郎氏が新館長に		"	919
赤字カットへ民の知恵 都現代美術館に新館長		朝日	2.14
知事、樋口新館長にエール 現代美術館を視察[東京都現代美術館]		産経	2.14
『現代美術を上野の森に』 都現代美術館・交通不便、膨大赤字 都美術館・日展など固定ファン		東京夕刊	8.2
私の履歴書 安藤氏に注文を連発 大山崎山荘修復に力注ぐ [東京都現代美術館]	樋口廣太郎	日経	1.28
あすへの話題 現代美術館の館長[東京都現代美術館]	深井 晃子	日経夕刊	1.19
都現代美術館 経営立て直しに意欲 樋口新館長が就任会見	石川 健次	毎日夕刊	2.22
巻頭特集 2000年下半期の美術界大研究 東京都写真美術館長・福原義春氏に聞く!!		美術の窓	209
《美術と美術館のあいだを考える会 緊急講座》「都美術館の危機を語り尽くす」レポート	光田 由里	あいだ	61
東京都美術館 平成13年度後期使用割り当て決まる		新美術新聞	929
国宝 鑑真和上展 [東京都美術館]	鷲塚 泰光	朝日	1.24
芸術文化学から見た東京府美術館の歴史(2)—財団法人聖徳太子奉讃会	齊藤 泰嘉	筑波大学芸術年報	2000
座談会「東武美術館1992—2001」	高階田中吉田	秀爾三蔵和男	AMBI-ANTE 32
第17回 支部が推薦する博物館情報2. 東北支部 本館の生涯学習、主に教育普及活動について[東北歴史博物館]	穂積 達郎	博物館研究	400
徳川美術館におけるボランティア活動について	小池 富雄	"	392

特集 公開承認施設
制度について 公開
承認施設による企画
展の事例2 重要文
化財公開促進事業と
徳川美術館

山本 泰一 文化財
(月刊) 456

古文書めぐり 徳川
林政史研究所と所蔵
文書

須田 肇 古文書研
究 53

古伊万里染付の華
[戸栗美術館]

岸本 歩 読売夕刊 9.12

鳥取市歴史博物館の
展示構成とその試
み—江戸時代の村落
展示を中心に—

伊藤 康晴 MUSE-
OLOG-
IST 16

第16回 支部が推薦
する博物館情報5.
北信越支部 富山県
水墨美術館

浅池 豊 博物館研
究 392

《アンケート》富山近
代美術事件はもう終わ
ったのか? [富山県立
近代美術館]

園江光太郎
松永ワシオトシ
ヒコ 忠
前山昌生一
白川亮一
平井敦彦
島谷新明
尾崎愛明

あいだ 63

「富山事件」とは何で
あったか [富山県立
近代美術館]

" 68

「富山事件」とは何で
あったか 富山近代
美術館裁判に関わっ
た私に関する九つの
FAQ

小倉 利丸 " "

「富山事件」とは何で
あったか 美術館の
幻影に引きずり回さ
れてはならない [富
山県立近代美術館]

三頭谷鷹史 " "

「富山事件」とは何で
あったか 日本の公
立美術館—空洞のゆ
えに [富山県立近代
美術館]

光田 由里 " "

〈美術と美術館のあ
いだを考える会〉は
活動を凍結します
[富山県立近代美術
館]

" "

(ナ 行)

「内科だった 画廊
だった—」ふたたび
《内科画廊—60年代
の前衛》開催まで
3～7

宮田 有香 あいだ 62、64、
66、69、
70

奈良県立万葉文化館
9月15日オープン

林 茂樹 新美術新
聞 936

万葉ワールド、画家
競演 奈良県立万葉
文化館の日本画154
点プロデュース

大友 暢音 日 経 11.22

第53回正倉院展 保
存抜群、世界の奇跡
[奈良国立博物館]

河田 貞 朝 日 10.10

第53回正倉院展 天
平の宝、今ここに
[奈良国立博物館]

天野 幸弘 " 10.24

新潟県立歴史博物館
情報管理システムの
概要

浅井 勝利 新潟県立
歴史博物
館研究紀
要 2

旅 那須(栃木) [ニ
キ美術館]

恩田 泰子 読売夕刊 7.12

町家から情報発信
[西陣町家スタジオ]

日 経 11.19

コレクション 日南
町美術館

浅田 裕子 博物館研
究 393

首都圏きらく旅 日
本新聞博物館

アオシマ チュウジ 東 京 1.6

週中講座 開館60周
年迎え記念展開催
根津美術館

根津 公一 産経夕刊 6.27

根津美術館開館60周
年記念名品展第2部
中国絵画守った人々
の目と心

(前) 読売夕刊 6.14

(ハ 行)

箱根・彫刻の森美術
館 パワー10万馬
力、いやし2倍

産 経 7.18

美と出会う 箱根武
士の里美術館

林 安人 東 京 10.28

水管からアートわき
出す [発電所美術館
(富山)]

長縄 宣 日 経 7.11

特集 日本の美術と
教育 創造性を育む
場へ1 子どものた
めの専門美術館 [浜
田市世界こども美術
館]

美術手帖 801

文化 北の山里は写
真のメッカ 北海道
東川町に「フォト
アーカイブス」開設

津田 基 東京夕刊 3.21

特集：平成12年度
「親しむ博物館づく
り事業」シンポジウ
ム・ドキュメント
子どもたちが、自分
で博物館に出かける
日1 小学校と連携
した地域の自然を活
かした自然体験活動
[美幌博物館]

鬼丸 和幸 ドーム 56

苦境に立つ私立美術
館 横浜そごう内平
木浮世絵美術館が閉
館 再建計画で撤退
求められ

西澤 美子 新美術新
聞 929

放課後博物館と市民
—平塚市博物館の
特別展示室から

浜口 哲一 学 鐙 98—7

特集 ひと味ちがうぞ、エデュケーション・エキジビション 広島市現代美術館	岡本 芳枝 ゲスト	ドーム	54	防長教育博物館と通俗教育の資料について	伊原慎太郎	山口県立山口博物館研究報告	27
特集 「博物館評価」という怪物がやってくる!? 1 [琵琶湖博物館]		"	57	MEPで、ダンスを19 北海道立旭川美術館	浅川 真紀	ドーム	56
ART NEWS 「ほんもの」のふるさと旧白洲邸「武相荘」開館		芸術新潮	624	特集 〈沖縄〉から新たな文化の発信に向けて 前島アートセンターの発刊	磯野しゅう	ユリイカ	450
「日常の美」貫く邸宅公開へ 白洲次郎、正子夫妻の「武相荘」	河合 真帆	朝 日	9.2	東京新空間 町田市立国際版画美術館周辺		読 売	11.29
町田の白洲正子さん旧宅 記念館オープン「武相荘」		読売夕刊	10.29	苦境に立つ私立美術館 大阪萬野美術館重要美術品を海外オークションで売却	西澤 美子	新美術新聞	929
コレクション 福岡アジア美術館のコレクションについて	中尾 智路	博物館研究	392	甦生する館藏品一萬野美術館コレクションが意味するもの一オークションのさらなる充実を目指して	田中 英二	目の眼	298
福岡アジア美術館「交流型」美術館とボランティア活動	後小路雅弘	"	398	甦生する館藏品一萬野美術館コレクションが意味するもの一オークションが拓く二十一世紀の美術市場	編集 部	"	"
ふくやま美術館におけるレファレンス・サービスの実際	掛谷 美江	ふくやま美術館研究紀要	1	財政難の萬野美術館、収蔵品を海外で競売		朝 日	5.23
車いすからみた美術館11 府中市美術館	山下 和子	「美の世界」通信	28	大阪・萬野美術館重要美術品7点売却へ 厳しい財政、建て直しの一手	(前)	読売夕刊	5.16
リニューアル(ブリヂストン美術館)ブリヂストン美術館のリニューアル(改修)報告	富山 秀男	石橋美術館館報	48	かんらん席 三島バサディナ美術館が開館	大庭 修二	新美術新聞	942
地震対策(ブリヂストン美術館) 作品固定作業について	黒川 弘毅	"	"	三鷹の森ジブリ美術館オープン 建物自体が一本の映画	(真)	"	939
地震対策(ブリヂストン美術館) 絵画作品への地震対策	田中 千秋	"	"	ジブリ美術館迷子になろうよ「宮崎ワールド」夢いっぱい 三鷹 来月1日オープン		朝 日	9.18
特集 ひと味ちがうぞ、エデュケーション・エキジビション ブリヂストン美術館		ドーム	54	宮崎アニメの世界再現 三鷹の森ジブリ美術館		産 経	9.18
孤高の美「良寛さん」展から 中[Bunkamura ザ・ミュージアム]	吉本 隆明	日 経	1.25	三鷹の「ジブリ美術館」きょう完成 宮崎監督が新キャラクター描く 市、宣伝にフル活用へ「三鷹の森ジブリ美術館」		東 京	6.30
存続 ヘンリー・ミラー美術館 長野県大町市 全国からの署名が力に	(美)	新美術新聞	933	TOKYO発 宮崎アニメの美術館開館へ「三鷹の森ジブリ美術館」	増田恵美子	"	9.18
ヘンリー・ミラー美術館が閉館 長野県大町市	"	"	944	首都圏きらく旅 三鷹の森ジブリ美術館	望月 聖子	東京夕刊	11.9
春爛漫訪れてみたい新美術館 平等院ミュージアム鳳翔館	"	"	920				
宇治平等院の「鳳翔館」開館記念展 国宝鑑賞最新の技術で		朝 日	3.19				

来月1日オープン の「三鷹の森ジブリ美 術館」	長沢 晴美	毎 日	9.18	新世紀ニッポン紀行 都市と女 吉野ヶ里 歴史公園 弥生ロー ン未来に継承	藤田 灸二	日 経	5.20
夢を追う 光と風あ ふれるジブリ美術館 西岡純一さん	松村由利子	"	9.24	特集 公開承認施設 制度について 公開 承認施設による企画 展の事例3 「重要 文化財公開促進事 業」について[四日市 市立博物館]	堀越 光信	文化財 (月刊)	456
「宮崎ワールド」はな ぜこれほど受けるの か ジブリ美術館は 年内チケット完売	小国 綾子	毎日夕刊	11.21	佐賀町エキジビッ ト・スペースの跡に 「RICE GALLERY」 がオープン	(美)	新美術新 聞	918
水戸 歴史から芸術 の街へ[水戸芸術館]	島田 章	日 経	7.1	松江ウォーターヴィ レッジ ルイス・ C・ティファニー庭 園美術館開館迫る	(林)	"	922
STARDUST 盗 難 《菩薩立像》問題 MIHO MUSEUMと 中国文物局が“おと なの解決”		芸術新潮	618	ライデン大学・ボン 大学における早稲田 大学図書館所蔵蘭学 資料展について	松下 眞也	早稲田大 学図書館 紀要	48
宮永岳彦記念美術館 オープン	(常)	新美術新 聞	940	特集 ワタリウム美 術館 子どもたちの 「100の言葉」の幸福 1 「子どもの言 葉・表現の言葉」	谷川俊太郎 佐藤 学 対談 ドーム編集 部 編集・再構 成	ド ー ム	58
目黒雅叙園美術館が 休館	西澤 美子	"	930	海 外			
高知県北川村「モネ の庭」入場者20万人 を突破	(真)	"	922	合衆国国立自然史博 物館所蔵サハリン・ アイヌ資料の背景に ついて—札幌農学校 はいかにして関わっ たか—	沖野 慎二	北海道東 海大学紀 要	13
アートで都市はどこ まで変えられるの か? 「大都市・東京 の再生」をうたう森 アーツセンター計画 の真意とは。[森 アートミュージア ム]	編 集 部	美術手帖	811	グットウッド彫刻公 園の実験 イングラ ンドの森のプロジェ クト	桜井 武	産 経	8.12
黒字確保へ英国人館 長 03年 開 館 森 アートミュージアム		朝 日	6.19	オーストリア発新現 代 美 術 館 構 想 ウィーンのクンスト ハレ館長ジェラル ド・マッット氏に聞く	嘉藤 笑子	美術手帖	806
日本の美術館史上初 外国人館長が誕生へ [森アートミュージ アム]		毎日夕刊	5.24	欧州に新たな芸術文 化の拠点 クンスト ハレ・ウィーン館長 が来日	石川 健次	毎日夕刊	4.26
コレクション サル バドル・ダリの世界 [諸橋近代美術館]	川島 寿美	博物館研 究	394	パリに二つの工芸ス ポット 国立技術工 芸 博 物 館 パス ティーユ・ヴィア デュック・プロム ナード	長谷川 栄	東京夕刊	3.16
(ヤ・ラ・ワ行)				傷ついた童心 アー トで再建[こども芸 術博物館(ニュー ヨーク)]		東 京	9.27
文化 村の学校 美 の香ほのか 信州の 山あいにも美術館、子 供の感受性はぐくむ [秦阜村立秦阜北 小学校美術館]	片桐 道則	日 経	3.30	特集 上海 博物 館・図書館[上海博 物館]	郭 青生	アジア遊 学	33
安田火災東郷青児美 術館所蔵 ゴッホの 「ひまわり」 初の館 外貸出へ	(千)	新美術新 聞	940	時のかたち スタド ラー画廊	芳賀 徹	朝日夕刊	5.16
「ひまわり」が当社の アイデンティティー に[安田火災東郷青 児美術館]	後藤 康男	産経夕刊	3.21				
美術館設計者を“人 物”で選考 神奈川県 横須賀市[横須賀 市美術館]	西澤 美子	新美術新 聞	937				
『大古墳展』に寄せて [横浜歴史博物館]	樋口 隆康	東京夕刊	4.20				

特集 国際現代美術展最新リポート2001第49回 ヴェネツィア・ビエンナーレ	美術手帖	810		
特集 国際現代美術展最新リポート2001プラテア・デルマニタ 人類の新しい舞台[ヴェネツィア・ビエンナーレ]	小倉 正史	"	"	
特集 国際現代美術展最新リポート2001岐路に立たされた国際美術展[ヴェネツィア・ビエンナーレ]	ジャンフランコ・マニエロ	"	"	
特集 国際現代美術展最新リポート2001人間の限界を超えて[ヴェネツィア・ビエンナーレ]	市原研太郎	"	"	
ヴェネツィア・ビエンナーレ賞とりレースとしてみた日本の戦果一	篠原 弘	美術の窓	212	
3世紀目のベネチア・ビエンナーレ上、下	山盛 英司	朝 日	7.2、3	
第49回ベネチア・ビエンナーレ開幕	松村 寿雄	産 経	7.8	
ベネチア・ビエンナーレ 美術展から総合芸術展へ巨大化	"	"	7.15	
第49回ベネチア・ビエンナーレを見て上、下	建畠 哲	毎日夕刊	8.6、7	
報告 ベネチア・ビエンナーレ上、中、下	菅原 教夫	読売夕刊	6.18～20	

(カ 行)

現在通信from NEW YORK ピンク[笠原恵美子展、ホワイトボックス、11/1-12/1]	富井 玲子	新美術新聞	946	
WORLD REPORT ニューヨーク[「河原温《百万年》の朗読会」展、ディア・センター・フォー・ジ・アーツ、6/20-6/21]	柳 正彦	美術手帖	809	
平成十三年度海外展報告「古代日本の聖なる美術」展[大英博物館、9/5-12/2]	伊東 史朗	文化財(月刊)	461	
シカゴ美術館「ゴッホとゴーガン展」[9/22-2002/1/13]	竹田 博志	日 経	12.9	

(サ 行)

WORLD REPORT ベルリン[「塩田千春」展、アジア・ファイン・アーツ画廊、5/26-7/14]	河合 純枝	美術手帖	810	
WORLD REPORT ニューヨーク[「清水公治：苺爆弾」展、ダイチ・プロジェクト、7/5-7/31]	杉浦 邦恵	"	811	
英の日本紹介イベント 歌舞伎・茶道や現代美術を出展[ジャパン2001]		日 経	2.2	
Tokyoはみんなの普段着? [「JAM」展、バービカン・アート・ギャラリー、5/10-7/8]	川原 英樹	美術手帖	809	
旅の成功を祝福 幻想的オーロラ[新宮晋ウインドキャラバン〜地球観測の旅展、フィンランド、2/10-25]	新宮 晋	産 経	3.25	
村上隆キュレクション「スーパーフラット」展 at LA MOCA スーパーフラット戦記[ロサンゼルス現代美術館、1/14-5/27]	藤津 亮太	美術手帖	803	
WORLD REPORT ニューヨーク[「杉本博司：ポートレート」展、グッゲンハイム美術館、7/26-11/10]	杉浦 邦恵	"	811	
WORLD REPORT ニューヨーク[「ストレンジャーズ」展、P.S.1コンテンポラリー・アート・センター分館、4/26-6/9]	"	"	808	
WORLD REPORT ニューヨーク[砂入博史「ブッダ」展、アンドリュウ・クレプス画廊、9/6-10/6]	"	"	813	
センチュリー・シティ展[テート・モダン、2/1-4/29]	富井 玲子	新美術新聞	916	
美の現在 テート・モダン「世紀の都市」展	高階 秀爾	朝日夕刊	4.10	
「センチュリー・シティ」展に参加して 20世紀の中の東京	富井 玲子	毎日夕刊	3.21	

20世紀読み直す糸口
並ぶ世界の巨大都
市の転換点に焦点
[センチュリー・シ
ティ展]

堀 浩哉 読売夕刊 2.14

(タ 行)

WORLD REPORT
ニューヨーク[田中
和美「夢」展、ケント
画廊、4/28—6/16]

杉浦 邦恵 美術手帖 808

Tokyoはみんなの普
段 着? [「Tokyo
Life」展、セルフリ
ッジ(ロンドン)、
5/1—5/31]

川原 英樹 " 809

現代美術への視点の
提案 イタリア「ト
ライプ」展[ローマ市
立近現代美術館、4
/21—9/21]

嶋本 昭三 " 810

(ナ 行)

特別リポート 日本
画院が上海市で「日
中交流絵画展」を開
催[上海図書館新館
展覧館、11/27—
30]

鈴木 久雄 アート
トップ 181

平成十二年度海外展
報告3 「日本とオ
ランダの出会い一日
蘭修好四〇〇周年記
念」展[ライデン国
立民族学博物館、6
/16—9/17]

林 温 文化財
(月刊) 451

日本における近代写
真1915〜1940展[サ
ンフランシスコ、ア
ンセル・アダムス写
真センター、7/24
—9/30]

西岡 一正 朝 日 8.29

サンフランシスコで
「日本における近代
写真」展

松本 徳彦 毎日夕刊 9.13

平成十二年度海外展
報告1 中華人民共
和国におけるアジア
友好日本古美術展
「日本文物精華展」
[上海博物館、1/
20—3/20]

森田 稔 文化財
(月刊) 451

WORLD REPORT
ベルリン[「日本マン
ガ」展、ベルリン東
洋美術館、7/5—
9/16]

河合 純枝 美術手帖 810

(ハ 行)

WORLD REPORT
ニューヨーク[Buzz
Club:News from Ja
pan展、P.S.1コン
テンポラリー・アート
・センター、7/
1—9/23]

高橋 葉子 美術手帖 812

原田泰治 ブラジル
展[サンパウロ市、
11/21—2002/1/
13]

朝 日 10.18

特集 国際現代美術
展最新リポート2001
バルセロナ・アート
リポート2001

マルティ・
ペラン 美術手帖 810
松田みちこ 訳

特集 国際現代美術
展最新リポート2001
バレンシア・ビエン
ナーレ[カルメ修道
院・アタランザナ
ス・アルマウ他、6
/12—10/20]

" " "

文化往来 現代日本
版画の魅力、米で平
塚運一作品展[シカ
ゴ美術館、—9/
16]

日 経 8.21

平山郁夫・金興洙の
二人展 ソウルで開
催[韓国・日本文化
交流—二人展、ソウ
ル、芸術の殿堂美術
館、5/1—20]

油井 一人 新美術新
聞 928

WORLD REPORT
ロンドン[「ファク
ツ・オブ・ライフ—
現代日本の美術」
展、ヘイワード・
ギャラリー、10/
4—12/9]

ダン・
フォックス 美術手帖 813

携帯化する建築展
「4×4アパートメ
ント・アヴァンギャ
ルド」展、ロンドン
王立建築家協会ほ
か、10/18—]

松葉 一清 朝日夕刊 9.20

WORLD REPORT
ニューヨーク[プロ
セス、リ・プロセ
ス：日本と西洋展、
レスリー・トンコノ
ウ画廊]

梁瀬 薫 美術手帖 800

日影 眩の360°の
ニューヨーク85 ア
ハッハッハッ…、
P.S.1「ブンブン・
クラブ：日本からの
ニュース」展

日影 眩 ギャラ
リー(月
刊) 198

特集 国際現代美術
展最新リポート2001
ベルリン・ビエン
ナーレ[ポストファ
ムト・クンストヴェ
ルク他、6/23—9
/23]

ブリギッ
テ・ハウス
マン 美術手帖 810
河合 純枝 訳

ベルリンアート事情
とビエンナーレ

神谷 幸江 東京夕刊 6.1

フィラデルフィア美
術館「光悦展」より
「フィラデルフィア
美術館、7/29—10
/29]

水田至摩子 陶 説 574

平成十二年度海外展
報告2 「本阿弥光
悦展」

藤本 孝一 文化財
高橋 裕次 (月刊) 451

(マ 行)

文化往来 三宅一生
のベルリン展、空前
の反響[ベルリン・
ビトラ・デザイン博
物館、—7/1]

日 経 7.10

WORLD REPORT
ニューヨーク[宮島
達男個展「人生の全
体」、ルーリング・
オーガスティン画
廊]

杉浦 邦恵 美術手帖 801

WORLD REPORT
ニューヨーク[村上
隆展、マリアン・ボ
エスキー・ギャラ
リー、3/17—4/
14]

" " 806

ボストン美術館で村
上 隆「メイド・イン
・ジャパン」展[—
9/3]

南 雄介 読売夕刊 6.25

世界の構造を顕在化
させる意志 英国ケン
ブリッジで「もの
派」展[ケトルズ・
ヤード・ギャラリー
(ケンブリッジ大学
附属美術館)—7/
22]

建島 哲 朝日夕刊 7.5

「モノ派」に深まる理
解 ケンブリッジで
展覧会 開催地の知
的雰囲気 思考的側
面とマッチ[「モノ
派」展、ケトルズ・
ヤード・ギャラリー
(ケンブリッジ大学
附属美術館)—7/
22]

菅 木志雄 読売夕刊 6.21

WORLD REPORT
ニューヨーク[森村
泰昌「フリーダ・
カーロとの対話」
展、ルーリング・
オーガスティン画
廊、9/8—10/
6]

杉浦 邦恵 美術手帖 813

WORLD REPORT
ニューヨーク[「森本
洋充：プラティナ」
展、サラ・モースラ
ンド画廊、7/9—
8/3]

" " 811

(ラ・ワ行)

特集 国際現代美術
展最新リポート2001
リヨン・ビエンナー
レ「CONNIVENCE」
展[リヨン現代美術
館・サブシスタン
ス・オランジュ
リー、6/23—9/
23]

三木あき子 美術手帖 810

日影 眩の360°の
ニューヨーク84 カ
ワイイ!、アジアと
西洋の18作家による
『私のリアリティー
現代美術と日本のア
ニメ文化』展[ブル
ックリン美術館、7/
28—10/7]

日影 眩 ギャラ
リー(月刊) 197

WORLD REPORT
ニューヨーク[私の
リアリティー現代美
術と日本のアニメ文
化展]

杉浦 邦恵 美術手帖 811

美術展覧会図録所載文献

企画展	アール・デコの工芸・同時代性の真価	"	歴史画における英雄	"
ア行	アール・ヌーヴォー展 東京都美術館		アメリカの英雄的風景	"
アーティスト・イン・レジデンスの成果展 3回 福岡アジア美術館	アール・ヌーヴォー 1890—1914	ポール・グリーンハルジュ	帝国の進路を西にとれ	"
滞在制作ノート 松浦 仁	バロックとロココ	鈴木 潔	自由を求める闘い	"
天国への旅 アルフレッド・エスキーリョ	イスラムとアール・ヌーヴォー	木戸 雅子	近代生活の英雄性	"
プロジェクト「心を開いて」 カム・タン・サリアンカム	アール・ヌーヴォーとフォーク・アート	ポール・グリーンハルジュ	有田の名宝展 佐賀県立九州陶磁文化館	
ある朝、シャボン玉がはじけた ディアント	日本と東アジアの美術とアール・ヌーヴォー	高木 陽子	有田 皿山の歴史 尾崎 葉子	
福岡の印象 レ・タン・デュク	イングリッシュ・スタイル	藤田 治彦	アルカンシェール美術財団蔵 御殿山 原コレクション展 MOA美術館	
アート!新スタイル かがしまの作家、かわりの世界観 鹿児島市立美術館	絵画における象徴主義	山本 敦子	明治の実業家 原六郎の古美術蒐集 児島 薫	
現代美術の最前線 南條 史生	“アール・ヌーヴォー”と自然	天野 知香	旧日光殿客殿とその障壁画 西 和夫	
「かわり」をめぐる 丸田めぐみ	パリー世界最初の近代都市のインテリア	岡部 昌幸	三井寺・旧日光院客殿の障壁画について 河合 正朝	
アートになった動物たち 福島県立美術館他	ブリュッセル	高木 陽子	あるコレクターがみた戦後日本美術 群馬県立近代美術館他	
序文 リオネル・クールベ＝ヴィロン 土田 久子 訳	グラスゴー—チャールズ・レニー・マッキントッシュとアール・ヌーヴォー	藤田 治彦	戦後日本美術史から見た各務コレクション 針生 一郎	
20世紀彫刻における動物表現 酒井 哲朗	ウィーン—ウィーン分離派、装飾と空間	山村 仁志	私有された歴史 建畠 哲	
動物彫刻をめぐる断想—日本と西洋 毛利伊知郎	ティファニーとニューヨーク	苦名 真	個人コレクションの起点と終着点 萬木 康博	
彫刻のゆくえ 神野 真吾	「日本のアール・ヌーヴォー」再考	土田 眞紀	海外に渡った作家たち1 1950年代 田中 龍也	
馬・人・芸術家 早川 博明	アール・ヌーヴォーガラス名品展		海外に渡った作家たち2 1960年代以降	"
動物園と美術館—好奇から共生へ 宮武 弘	北澤美術館所蔵 大丸ミュージアム・東京他		日本における抽象絵画の展開 武田 信孝	
アフリカの動物と造形表現 宮蘭 広幸	瞑想の断片 鈴木 潔		「反芸術」の作家たち	"
想像上の動物の造形について 土田 久子	憧れの山々—山を愛し、山を描く— 町田市立国際版画美術館		もの派から1980年代まで 藤川 哲	
アール・デコ展 ソナベンド・コレクション 伊勢丹美術館他	憧れの山々を描くようになるまで 青木 茂		「あるコレクターがみた戦後日本美術」—各務コレクションの特徴と本展の構成 田中 龍也	
アール・デコとソナベンド夫妻の眼識 ブレンダ・リチャードソン	山を彩る光 大谷 一良		戦後日本美術における3つの共通項をめぐる—各務コレクションを中心に— 武田 信孝	
序論 フェリックス・マルシアック	相模野—小島鳥水を偲んで 寺田 和雄		異界万華鏡—あの世・妖怪・占い— 国立歴史民俗博物館	
建築と家具—アール・デコの周辺 武田 厚	アメリカン・ヒロイズム 国立西洋美術館		臨終行儀の復元 神居 文彰	
	英雄、神話、アメリカ美術 田中 正之			

異本『土蜘蛛』絵巻について	伊藤 慎吾	20世紀イタリア彫刻における伝統と前衛	マウリツィオ・カルヴェージ 水野 千依 訳	郷土資料館	日本の中の色(色彩)にみられる政(まつりごと)と経済	北野 信彦
江戸のバイオハザード—妖怪娯楽「からくり」について	香川 雅信	古典性とドラマ 両大戦間のイタリア彫刻、古典主義から表現主義へ	エレナ・ボンテ イッジャ 谷古宇 尚 訳	日本芸能に見える色	後藤 淑	
阿倍晴明伝説	高原 豊明	大戦後の彫刻の危機と再生	ロゼッラ・シリガート 喜多村明里 訳	色の博物誌・緑—豊潤な影展	手と	
異国絵の冒険 神戸市立博物館		ローマの1960年代「ポーポロ広場派」から「アルテ・ボーヴェラ」の誕生まで	アウグスタ・モンフェリーニ 新保 淳乃 訳	目の冒険広場 目黒区美術館		
桃山時代の異国絵	成澤 勝嗣	未来派彫刻技術宣言—抄	ウンベルト・ボッジョニ 片桐 頼継 訳	近代絵画と緑色絵具	森田 恒之	
描かれたオランダ—絵空事を解釈する—	岡 泰正	技術宣言—抄	ルーチョ・フォンターナ 水野 千依 訳	孔雀石と緑青の文化史	関根 秀樹	
江戸時代の海外情報と異国絵	勝盛 典子	抽象派第一世代—抄	ファウスト・メロツティ 水野 千依 訳	豊潤な影—ささえる色・緑	降旗千賀子	
楽園から修羅場へ—近世後期の異国絵に見る世界観の変遷	塚原 晃	イタリア・ルネサンス 宮廷と都市の文化展 国立西洋美術館		色の民俗誌—暮らしのなかの色—	富岡市立博物館・福沢一郎記念美術館	
イスタンブールビエンナーレ東京：エゴファガル 東京オペラシティアートギャラリー		イタリアのルネサンス—宮廷と都市の文化	アントーニオ・パオルッチ	色の民俗誌—暮らしのなかの色—	渋谷 克枝	
第7回 イスタンブールビエンナーレ 東西の会合 唯一の都市—カオスの淵から立ち上がる新しい意味を求めて	長谷川祐子	ルネサンス期の装飾工芸—名品たちの物語	マリア・スフラメーリ	同祖神の祭りにおける色彩試論	〃	
イスタンブールと東京：遠く離れた二つの場所	大島 賛都	15世紀イタリアの彩飾写本について	ジョヴァンナ・ラッツイ	岩手の現代作家シリーズ8 畠山孝一・五十嵐彰・近藤克・本田健展	萬鉄五郎記念美術館	
遺跡を探る 奈良文化財研究所飛鳥資料館		ラファエッロの栄光	高階 秀爾	個性と表現の源泉	平澤 広	
遺跡を探る		個人性と意想—16世紀の肖像画に関する覚え書き	越川 倫明	出会い	畠山 孝一	
カンボディア王国タニ寮跡群の調査と探査		因果な話—15世紀の物語絵画の構造	高梨 光正	作品をカタる	五十嵐 彰	
イタリア静物画展 シルヴァーノ・ローディ・コレクション 安田火災東郷青児美術館他		今よみがえる、泰西名画展覧会 日本の巨匠が模写した世界の名画 郡山市立美術館		表現すること	近藤 克	
イタリアの静物画	クラウディオ・ストウリナーティ 片桐 頼継 訳	私と模写	横尾 忠則	ヒグラシ	本田 健	
静物画私見—カラヴァッジョの静物画を基に	井関 正昭	模写の時代 東京美術学校西洋画科における模写	野口 玲一	インドネシア・スラウェシ島に渡った三彩 高趾焼展 本多弘氏コレクションによる 福岡市美術館		
イタリア静物画—自己を見つめる内省的なまなざしの歴史	片桐 頼継	模写についての考察	菅野 洋人	インドネシア・スラウェシ島に渡った高趾焼合子—本多弘氏所蔵品による	尾崎 直人	
イタリア彫刻の20世紀展 横浜美術館他		色と人をめぐる文化誌—『いろ・COLORな話』第一室— 港区立港		ヴァイブレーション—結びあう知覚 宇都宮美術館		
イタリア彫刻の20世紀展 序論	アンナ・インボネンテ 足達 薫 訳			彫刻の現代性—ヴァイブレーションへの誘い	小泉 晋弥	

本質の探究と永遠への希求：プランクーシの彫刻	深谷 克典	ヴェネツィア18世紀、形態と形象	ジャンドメニコ・ロマネッリ 岡田 温司 訳	SPiRiT 北海道立近代美術館	存在の再生装置としての美術	佐藤 友哉
ドナルド・ジャッド—モダニズムのハード・エッジ	梅津 元	ジャンバッティスタ・ティエポロと18世紀ヴェネツィアの偉大な装飾	フィリッポ・ペドロッコ 宮下規久朗 訳	永遠へ向かう5つのまなざし	久米 淳之	
石を抱くひと—アントニー・ゴームリー	水沢 勉	ヴェドゥーダ(都市景観画)	石鍋 真澄	描かれた東海道 静岡県立美術館	東海道の絵画史	飯田 真
美術館で、盲人と、透明人間とが、出会ったと、せよ。Ver. 4	石原 友明	18世紀ヴェネツィア画家たちの実像	”	旅先スナック ショットの最古例—探幽の風景スケッチ—	山下 善也	
彫刻による感覚開放《無何有》から《意心帰》へのステップ[安田侃]	谷 新	ヴェネツィアの祝祭	ジョルジュ・ブゼット 石鍋真理子 訳	江戸時代芸術の科学と自然 広島県立歴史博物館	江戸時代の自然科学が結ぶ交遊—菅茶山と大槻玄沢を中心に—	西村 直城
鉄の磁場—体温のある彫刻[青木野枝]	降旗千賀子	VOCA展2001 現代美術の展望—新しい平面の作家たち	上野の森美術館	江戸時代の銅山稼行にともなう鉱毒問題について—備中・備後南部所在の銅山を中心に—	菅波 哲郎	
「ん？」と見直す心の動き[伊藤誠]	中村 英樹	選評	高階 秀爾	江戸時代の甲冑—復古調—	彦根城博物館	
佐藤時啓—躍動する視覚へ	山本 和弘	選考所感	酒井 忠康	江戸時代の甲冑—復古調—	丹羽 貴之	
開きゆく表面—原田要の作品について	奥村 泰彦	異質の絵画	建畠 哲	江戸時代の高宮—在郷町の歴史—	彦根城博物館	
名前は知らない[椎原保+樋口裕昭]	小池 一子	空虚について	本江 邦夫	江戸時代の高宮—在郷町の歴史—	彦根城博物館	
叩くこと。そして…[安藤栄作]	平野 明彦	VOCA展審査所感	草薙奈津子	江戸時代のスポーツ—競う！	仙台市博物館	
身体が見る—平田五郎のワックスの部屋	千葉 成夫	浮世絵に見る落語 笑いの中のたばこ文化	たばこと塩の博物館	江戸時代のスポーツ—二題—相撲と通し矢—	樋口 智之	
ウィーン分離派1898—1918 宮城県美術館他		浮世絵に見る落語	新藤 茂	江戸時代の東海道—描かれた街道の姿と賑わい	神奈川県立歴史博物館	
ウィーン分離派と複数の分離派	西村 勇晴	たばこと落語	山本 進	描かれた東海道	山本 光正	
時代が求めたものとしての線の芸術「オーストリア造形芸術家協会—分離派」におけるグラフィック作品の意義	ライナルト・フランツ 後藤 文子 訳	口演記録「煙草好き」	谷田 有史	双六絵と浮世絵	橋本健一郎	
武田五一、ウィーンそしてポスター	竹内 次男	浮世絵 美の極致 初公開 スイス・パウアーコレクション	千葉市美術館	江戸・東京の四季菜—商品作物・漬物の生産と板橋	板橋区立郷土資料館	
上杉家の至宝 米沢市立上杉博物館		浮世絵の本質とすところ	小林 忠	東京の台所をささえた特産物—戦前期の北豊島郡域の蔬菜類と漬物—	渡辺 嘉之	
国宝洛中洛外図屏風の修理	鬼原 俊枝	アルフレッド・パウアーの浮世絵収集について	フランク・デュナン	東京の種子屋—戦前期の北豊島郡地域を中心に—	横山 恵美	
上杉家文書—国宝への道—	藤本 孝一	パウアーコレクション浮世絵版画の意義	マティ・フォーラー	江戸の異国趣味—南蘋風大流行—	千葉市美術館	
上杉家に伝来した刀剣・甲冑	広井 雄一	海と川と湖と—描かれた水辺の人々—	サントリー美術館	江戸の文人社会と「南蘋派」趣味	成澤 勝嗣	
ヴェネツィア絵画展 華麗なる18世紀イタリア 上野の森美術館他		浮世絵と水辺の情景	大久保純一	異国と大名—江戸時代中期絵画の異国趣味—	伊藤 紫織	
18世紀のヴェネツィアにおける文化と社会	ジョヴァンナ・ネビ・シレ 岡田 温司 訳	雲谷等益—寛永期の雪舟流—	山口県立美術館	南蘋派画人に注目した大名関係図		
		寛永時代の雪舟気分	奥平 俊六			
		雪舟四代孫雲谷等益	綿田 稔			
		永遠へのまなざし ART for the				

「宴遊日記」に見る 伊藤 紫織
絵画活動 玉蟲 敏子
絵巻を創る—絵師の目で見える源氏物語のおもしろさ— 斎宮歴史博物館

みんなでつくろう
展覧会の経過につ 天野 秀昭
いて

エルミタージュ美術館名品展—生き
る喜び— 新潟県立近代美術館

スキタイに関する
様々な問題—スキ
タイ研究の現状— 林 俊雄

アスターナ出土の
絵画と傭 上野 アキ

ピョートル大帝時
代とロシア美術 新田喜代見

王家の肖像—明治皇室アルバムの始
まり—展 神奈川県立歴史博物館

王家の肖像—明治
皇室アルバムののは 横田 洋一
じまり—

黄金期フランドル絵画の巨匠たち展
伊勢丹美術館他

メッセージ—アン
トワープ王立美術
館の歴史とコレク
ション パウル・フ
ヴェンヌ

ブリュッセル族
の祭典 森 洋子

17世紀フランドル
絵画概要 エリック・
ヴァンダム
西澤 信彌
訳

近江の街道 市制施行記念展 栗東
歴史民俗博物館

近江の街道—立場
文化論— 井上 優

街道と一里塚 磯部 宏子

栗東の古代東海道 鉛谷 曜子

大阪市立近代美術館【仮称】コレク
ション展2001 ATCミュージアム

美術パノラマ・大
阪—20世紀美術と
中之島— 橋爪 節也

大阪・西宮・芦屋・神戸 四都市を
巡る 名所を描く 西宮市大谷記念
美術館

名所絵から見た風
景 枝松 亜子

オーストラリア・アボリジニの美術
展 北海道立旭川美術館他

砂漠の芸術—オー
ストラリア・アボ
リジニのアクリル
画— 松山 利夫

アボリジニ美術の
特異性 佐々木吉晴

岡寺の歴史と美術 奈良国立博物館

岡寺の歴史と美術

漢詩人 岡本黄石の生涯 世田谷区
立郷土資料館

岡本黄石の生涯 武田庸二郎

岡本黄石の詩業 村山 吉広

岡本黄石と大塩の
乱に難死の兄静区 倉島 幸雄

お鯉さんと阿波おどり展 徳島城博
物館

「お鯉さん」の図像
学—北野恒富筆 小川 裕久
「阿波踊」をめづつて

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【伊原
宇三郎】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【多田
藍香】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【菅楯
彦】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【吉井
勇】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【土田
麦麿】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【棟方
志功】 "

お鯉さんをめぐる
芸術家たち【林鼓
浪】 "

帯鉤—中国古代の装身具—江川コレ
クション受贈記念 和泉市久保惣記
念美術館

帯鉤とその周辺

お水取り 奈良国立博物館

東大寺二月堂とお
水取り 西山 厚

汚名—アルフレッド・ヒッチコック
と現代美術 東京オペラシティアー
トギャラリー他

ヒッチ・ハイク—
夢の光景の中で ケリー・ブ
ラウアー

彼はどうやってそ
れをやるのか
(1976)あるいは行
方不明となった手
袋の事件(1999) マイケル・
タラン
ティーノ

おもしろ郷土玩具—あそび体感・博
物館のおもちゃ箱 群馬県立歴史博
物館

カラクリ玩具は楽
しい 畑野 栄三

親子のギャラリー 絵巻にしたし

む 奈良国立博物館

絵巻にしたしむ 梶谷 亮治

織—絹の美と技— 茨城県天心記念
五浦美術館

織—絹の美と技— 今瀬 佐和

カ 行

絵画の領域 Chiba Art Now' 01

佐倉市立美術館

絵画の領域—自覚
された失語症のあ
とで 倉林 靖

§作家 インタ
ビュー§ 堀 由樹子

" 赤塚 祐二

" 松本 春崇

" 山倉 研志

" 金田 実生

" 吉川 民仁

" 中村 一美

絵画への招待—人・街・宇宙展 徳
山市美術博物館他

はじめに 松本 透

顔がついた土器—縄文時代の人面土
器を中心に— 大田区立郷土博物館

縄文時代の人面・
土偶裝飾付土器 渡辺 誠

香りのデザイン展 女性をめぐる生
活史と香水文化 宇都宮美術館

香りのデザイン史
をひもとく—毛断
嬢【もだんがーる】
の絵とき化粧歳時
記— 橋本 優子

モデルニスムの微
象としての香水 山田 俊幸

香川の名宝展—国宝誕生100年記
念— 香川県歴史博物館

明治時代の文化財
保護と香川県の国
宝 山本 信吉

香川の名宝と保
護—展覧会の構成
にそって— 三好 賢子

『国宝さぬき日記』
にみる文化財調査
の概要 上野 進

画狂人北斎 佐野美術館

北斎の生涯と芸術 永田 生慈

拡張する絵画—色彩による試み展

佐倉市立美術館

拡張する絵画 黒岩 恭介

本展について 黒川 公二

§作家の言葉§ 紫牟田和俊

” 祐成 政徳
” 向山 喜章
かざられたきもの—寛文小袖—展

平塚市美術館

近世小袖における
寛文小袖の意味と
役割

長崎 巖

京都ふあつしよん
事情—寛文小袖と
女院御所—

河上 繁樹

近世初期風俗画と
寛文小袖

郡司亜也子

かざりとかたち 平成13年度 国立
博物館・美術館巡回展 鹿児島県歴
史資料センター黎明館

概説 前近代のか
ざりとかたち

久保 智康

「近代絵画におけ
る『装飾』性」再考

山野 英嗣

韓国より渡り来て—古代国家の形成
と渡来人— 滋賀県立安土城考古博
物館

韓国より渡り来
て—アメノヒボコ
—渡来人の原像—

大橋 信弥

「ミニチュア炊飯
具形土器」を考え
る

松浦 俊和

東アジア世界の変
動と渡来の波

北村 圭弘

東国の首長と渡来
文化

吉田 秀則

獣帯鏡がつなぐも
の—武寧王陵・三
上山古墳・綿貫
観音山古墳—

大橋 信弥

古墳時代後期の製
鉄の様相

大道 和人

ガラスの魅力展 21世紀を造形する
アーティストたち 姫路市立美術館

現代ガラス造形の
軌跡

柴田 純江

富山のガラス教育
視察レポート

亀田 正司

ガラスをめぐる4つのアプローチ
技法で見つめる西洋と東洋の名品展

サントリー美術館

サントリー美術館
のガラスコレク
ション

土屋 良雄

吹く・掘る・描く・
刻み込む—ガラ
スをめぐる4つ
のアプローチとそ
の交流

土田ルリ子

木曾路の名所・図会—田中コレク
ション「木曾海道六拾九次之内」を中
心に— 中山道広重美術館

広重—その用意と
工夫

鈴木 重三

木曾路の名所・図
会

菅原 真弓

北九州ビエンナーレ6回 こののは
じまり 北九州市立美術館

川俣正 コールマ
イン田川・川下り
プロジェクト

中ザワヒデキ 方
法芸術

島袋道浩 二度起
こること：象の話
し

セカンド・プラ
ネット at noon

北日本茶会創立四十周年記念 茶の
美展 肥後細川家伝来・永青文庫の
名品 富山県水墨画美術館

「細川家」の茶と永
青文庫

細川 護貞

細川家と茶の湯

筒井 紘一

キッズ・アート・ワールド あおも
り2001 青森県立郷土館

市場最大の作戦

立木祥一郎

自分で見つめる場
所

PHスタジオ
オ

「宇宙人青森に現
る」

ヤノベケン
ジ

映画「市場最大の
作戦」は市場(史
上)はたして最大
たりえたか

佐藤 真

青森、そして新宿

北島 敬三

「グラスプロジェ
クト」を振り返っ
て

中野渡尉隆

本能の眼で見て、
魂から喜べばそれ
で良い

首藤 晃

展示創造の12日間
(仮)

工藤 健志

言葉のない手紙—
「キッズ・アート
・ワールドあおも
り」における交
流活動とは

板倉 容子

キッズの常連さん
体験記

木村 一美

着て見て遊ぶ 公家文化に見る子ど
も 龍野市立歴史文化資料館

宮廷装束と子ども
たち

仙石 宗久

ギャラリィK推薦作家展2001・6
人・60日 ギャラリィK

気体分子美術の時
代

彦坂 尚嘉

宮中の調度—棚と棚飾り 宮内庁三

の丸尚蔵館

館蔵の棚にみるそ
の在り方の変遷—
近世から近代へ

五味 聖

京都画壇11人の巨匠たち展 文化勲
章に輝く 高島屋(京都)グランド
ホール/大丸ミュージアムKYOTO

京都画壇と文化勲
章受章者たち

島田 康寛

京都の工芸 1945—2000 京都国立
近代美術館他

京 都 の 工 芸
[1945—2000]

松原 龍一

キヨッソーネ東洋美術館所蔵 浮世
絵展 兵庫県立歴史博物館

エドアルド・キ
ヨッソーネ、その
生涯と美術館

ドナテッ
ラ・フ
アイラ

キヨッソーネの日
本美術コレクショ
ンとその意義

別役 恭子

倒れた柱絵—柱絵
再考—

富田 智子

近世絵画の草花 三井文庫

仙洞御覧の藤花—
「藤花図屏風」

樋口 一貴

キンゼイコレクション現代根付展
手の中の森羅万象 世界の匠たち

千葉市美術館

「現代根付」によせ
て

高円宮憲仁
親王

微細の美

小林 忠

根付の「立場」をめ
ぐる試論

松尾 知子

現代根付—6つの
意見

ミリアム・
キンゼイ
駒田 牧子
訳

近世土佐の美術 高知県立美術館

土佐・化政期文人
の生活と社会

吉村 淑甫

幕末土佐の画人

鍵岡 正謹

近世ヨーロッパ絵画の軌跡 近代の
二つの表現—アカデミーとバルビゾ
ン派— 平塚市美術館

近世ヨーロッパ絵
画の軌跡—対立す
る制度と融合する
表現—

島田 紀夫

パリ第二帝政下の
アカデミーとバル
ビゾン派—近代化
過程の芸術運動そ
の側面

小池 光理

近代彫刻—オブジェの時代展 横浜
美術館

オブジェの時代—
表象・実体・空間

中村 尚明

近代の京都画壇 シアトル美術館からの里帰り 姫路市立美術館他

「近代の京都画壇」展によせて ミミ・ガードナー・ゲイツ 森岡三千代 訳

ウェイコレクションについて 内山 武夫

コレクターの視点から グリフィス・ウェイ 富田 章 訳

近代の京都画壇—その揺籃期を中心に— 加藤 類子

再検討・都路華香の画業と生涯 森岡三千代

暮らしにいきづくはたおり 土浦市立博物館

県南地域の木綿とはたおり 阪本 佳子

グンマはクルマから始まった—なぜ解き「群馬」の名の由来— かみつけの里博物館

ヤマト・上毛野・車 前沢 和之

古代の群馬郡—国府・国分寺・官牧 高島 英之

群馬の県名は車から 近藤 義雄

古代のクルマについて—国家的王権の伸長を示す古代地名小考— 関口 功一

形象展 5回 香染美術画廊

「行く人は傘をささず 戻る人は傘をさし。」 山本 直彰

現代陶芸の精鋭 21世紀を開くやきものの手法とかたち 茨城県陶芸美術館

現代の陶芸—その現在地確認のために— 金子 賢治

美術としての陶芸—あるいは陶芸という造形について— 外館 和子

現代の布—染と織の造形思考 東京国立近代美術館工芸館

「布」というかたち 今井 陽子
〈現代美術へのいざない〉アフター・イメージ—残像— 国立国際美術館
イメージをめぐる 平芳 幸浩

小石川と本郷の米物語—商う・作る・食べる— 文京ふるさと歴史館

近世後期小石川大原町の住民と運営 加藤 貴

江戸・東京の水車 鈴木 芳行

今井家(伊勢五)文書解題 星野 尚文

光格天皇と幻の将軍 栃木県立博物館

後桜町、後桃園、光格三天皇の御事蹟 武部 敏夫

江戸時代後期の下野国の文化人名 船木 明夫

紅茶とヨーロッパ陶磁の流れ マイセン、セーヴルから現代のティー・セットまで 名古屋ボストン美術館

ヨーロッパに渡った東洋の磁器 井上 瞳

弘法大師空海と高野山の秘宝展 そごう美術館(横浜)

弘法大師空海の生涯、大師信仰と高野山の美術 山本 信吉

高野山の宝物文化財と弘法大師信仰 井筒 信隆

密教灌頂箱と密教法具 阪田 宗彦

高野山の国宝—壇上伽藍と奥の院— 高野山霊宝館

高野山の国宝—壇上伽藍と奥の院— 井筒 信隆

奥の院・伽藍景観図を有する弘法大師御影図について 宮崎 恵仁

コーポレート・アート展 Bunkamuraザ・ミュージアム他

「百年の収集」を讀めて 中山 公男

極楽浄土の世界 浄土教の美術 八代市立博物館未来の森ミュージアム

概論 極楽浄土の世界—浄土教の美術— 石原 浩

このころの交流 朝鮮通信使 江戸時代から21世紀へのメッセージ 京都府京都文化博物館

善隣友好の史脈 上田 正昭

朝鮮通信使と日本の民衆 辛 基秀

朝鮮通信使史上の京都と通信使を迎えた京都 仲尾 宏

博多・福岡・藍島—通信使の玄関口—

個人美術館散歩—7人の洋画家—展 稲沢市荻須記念美術館他

共同企画展にあたって 千葉 瑞夫

理論派の画家 久米桂一郎 梶田 里佳

凝視 熊谷守一の見つめたもの 池田 良平

萬鉄五郎—地と血と質— 平澤 広

摩天楼のモダンガール[東郷青児] 中島 啓子

Oguiss バリへの道[荻須高徳] 山田美佐子

変貌の軌跡 三岸好太郎 佐藤由美加

小磯良平と神戸 廣田 生馬

近衛家熙—風雅の探求 丸尚蔵館 宮内庁三の

近衛家熙の書業の世界 平林 盛得

風雅の探求—家熙の美意識の一側面を考える— 太田 彩

古筆手鑑と画帖の名品 近世日本のアート・アルバム サントリー美術館

筆跡の鑑賞と手鑑 名児耶 明

南画の画帖と蒐集書画帖 武田 光一

卓上の美術館—手鑑と画帖の世界— 三戸 信恵

今日の作家展2001 ARTICULATE VOICE—新しい“イメージ”の可能性 横浜市民ギャラリー

Image Aesthetics: イメージの新たな可能性に向けて 市原研太郎

アーティキュレート・ヴォイス展をめぐるノート 内山 淳子

サ行

斎王の読んだ物語—王朝の姫君 教育事情— 斎宮歴史博物館

姫君にとっての絵物語 伊井 春樹

まともにかえて 姫君達の教育事情 岸田 早苗

西大寺 興正菩薩叡尊 1201—90 民衆を救った生き仏 奈良国立博物館

興正菩薩叡尊の生涯 西山 厚

堺発掘物語—古墳と遺跡から見た堺の歴史— 堺市博物館

プロローグ 四ツ池遺跡、百舌鳥古墳群そして堺環濠都市遺跡

第1章 堺のはじまりを掘る

第2章 古墳の世紀

第3章 黄金の日々の「堺」

桜をめぐる情景展 明治・大正・昭和 星野画廊

後記 星野 桂三 星野万美子

シエナ美術展 モンテ デイ パスキ デイ シエナ銀行、キージ音楽アカデミー財団コレクション 東京ステーションギャラリー他

シエナ派絵画の魅力 高階 秀爾

中世の理想都市シエナとその美術 [14—16世紀前半]

トスカーナ大公国シエナとその美術 [16世紀後半—19世紀]

モンテ デイ パスキ デイ シエナ銀行の美術コレクションの歴史

モント デイ パスキ デイ シエナ銀行

モント デイ パスキ デイ シエナ銀行

視覚を越えて・巡りて 日高理恵子

光島貴之の絵画 流動する美術—Ⅶ 福岡市美術館

断章：視覚を越えて・巡りて—営みの遠近法 柴田 勝則

樹の空間をめぐる覚え書き 日高理恵子

「街シリーズ」制作に寄せて—触覚時間の体験 光島 貴之

七代目団十郎と国貞、国芳 芝居・錦絵・中山道 岐阜県博物館

市川団十郎と江戸歌舞伎 服部 幸雄

岐阜いなば芝居と七代目市川団十郎 岩佐 伸一

ジノリ展—イタリア陶磁器の伝統と革新 滋賀県立陶芸の森陶芸館他

ドッチャ窯小史 マリア・マティルデ・ジーマリ

ジオ・ポンティの世界 井関 正昭

ドッチャの装飾様式における趣味の発展 マリア・ピア・マンニ

ドッチャの磁器製彫刻

ドッチャ美術館

司馬江漢の絵画—西洋との接触、葛藤と確信 府中市美術館

司馬江漢の西洋人物図について 成瀬不二雄

司馬江漢の創作性をめぐる二、三の私見 金子 信久

柴田コレクションパート7—17世紀、有田磁器の真髄— 佐賀県立九州陶磁文化館

初期の有田磁器—朝鮮半島系磁器製造技術による有田磁器の始まりと終焉— 柴田 明彦

柴田コレクションの魅力と有田磁器の真髄 大橋 康二

持宝院の宝物 笠岡市立竹喬美術館

持宝院の歴史と宝物 上蘭 四郎

下野国東山道と関連遺跡 東山道

都へつづく一本の道 栃木県立なす風土記の丘資料館

東山道概説 山名 教之

写真にみる近代の沖縄 世界のウチナーン大会記念企画展 沖縄県公文書館

主な写真資料解説 野々村孝男

主題としての美術館 美術館をめぐる現代美術 国立国際美術館

美術館についての美術展 中西 博之

尚王家と琉球の美展 MOA美術館

琉球王国の歴史 田名 真之

尚王家継承文化遺産について—王装束及び染織品の概要と特色— 宮里 正子

琉球漆工藝要論 荒川 浩和

琉球の沈金—運刀法の変遷をめぐる— 内田 篤呉

琉球の箔絵・堆錦と東南アジアの類似漆芸 宮里 正子

初期琉球螺鈿をめぐる謎と問題 小池 富雄

貝摺奉行所と近世琉球の漆器生産 安里 進

琉球の中国貿易と古美術品の輸入 真栄平房昭

琉球国中山王陵・浦添ようどれ出土の漆器関係遺物—唐櫃形漆奩の復元

安里 進 宮里 信勇 木下 秋海

荘厳 飛鳥・白鳳 仏のインテリア 大阪府立近つ飛鳥博物館

中国舍利塔縁起 藤善 眞澄

飛鳥・白鳳の仏教文化 岡本 敏行

仏教の伝来 大西 宏道

舎利の安置と舎利荘厳具 岡本 敏行

古墳文化と仏教文化 山本 彰

押出仏と埴仏による荘厳 上林 史郎

塑像と壁画による堂内荘厳 岩瀬 透

仏具としての銅製品 向井 幸一

勝瑞時代 三好長慶天下を制す 徳島市立徳島城博物館

総論 勝瑞時代 三好長慶天下を制す 須藤 茂樹

正倉院展 53回 奈良国立博物館

正倉院宝物 阪田 宗彦

宝物寸描[紫檀小架の使い方] 鷲塚 泰光

宝物寸描[乞巧奠と七夕祭り] 稲本 泰生

宝物寸描[年輪年代測定と正倉院宝物] 高橋 照彦

宝物寸描[『成唯識論』の遙かな旅] 西山 厚

肖像が語るアメリカ史 スミソニアン・ナショナル・ポートレート・ギャラリー所蔵作品による 国立西洋美術館他

マーガレット・C・S・クリストマン

アメリカの肖像画：名声と公的自我 1725年—1865年 エレン・G・マイルズ

画家、パトロン、そして移り変わるアメリカの肖像 1865年—1999年 キャロリン・キンダー・ガー

聖徳太子展 東京都美術館

聖徳太子の実像を求めて 石田 尚豊

聖徳太子の時代 東野 治之

法隆寺聖霊院の聖徳太子及び侍者像 鷲塚 泰光

斑鳩寺本太子講讃
図覧書 有賀 祥隆

絵伝にみる聖徳太
子の生涯 菊竹 淳一

浄土へのあこがれ—阿弥陀来迎—
群馬県立歴史博物館

日想観をめぐる遺
跡について 唐沢 至朗

知られざる中世の北海道—チャシと
館の謎にせまる— 北海道開拓記念
館

チャシの起源とその
成立過程につい
て—北と南の文化
からの視点— 右代 啓視

10世紀以降の環境
変遷と人とのわか
わり 添田 雄二

館主について 海保 嶺夫

アイヌ民族と砦と
してのチャシ 小林 真人

「近世」は中世を見
通す千里眼となり
うるか—民族資料
からみた連続と断
絶— 出利葉浩司

クマ送りの伝統 手塚 薫
池田 貴夫

近世からみた中世
の農耕 山田 悟郎

アイヌ民族が利用
した曲物容器につ
いて 舟山 直治

出土資料からみた
中世アイヌ文化の
世界 氏家 等

チセの成立と変遷
過程解明の可能性
と課題—チセの原
像を求めて— 小林 孝二

知られざる日本絵画 シアトル白澤

庵コレクション 大津市歴史博物館

日本美術の収集
その変遷と諸相 ポール・ベ
リー

曾我蕭白 白澤庵
本「太公望図」随想 横谷賢一郎

人物画名作展—洋画篇— 明治・大
正・昭和 星野画廊

後記 星野 桂三
星野万美子

菅原道真公1100年祭記念—北野天満
宮神宝展 京都国立博物館

北野天満宮の歴史 藤井 譲治
若杉 準治
山本 英男
狩野 博幸
下坂 智守
久保 康
永島 明子

北野天満宮の文化
財

菅原道真没後千百年 天神さまの美
術 東京国立博物館

天神信仰の生成と
展開—「天神縁起」
成立前後までを中
心に— 竹井 明男

立つ天神・座る天
神—天神美術の歴
史と信仰 宮島 新一

天神縁起絵のはじ
まり 松原 茂

天神縁起絵のひろ
がり—天神縁起か
ら菅公の物語へ— 鈴木 幸人

描かれた天神さ
ま—その広がりと
展開— 田沢 裕賀

天神の彫像 浅見 龍介

天神信仰と神仏習
合—十一面観音像 末吉 武史

天神信仰の工芸 小松 大秀

道真の書と天神信
仰の書跡 島谷 弘幸

墨画トリエンナーレ富山2001 富山
県水墨美術館

「公募：墨画トリ
エンナーレ富山
2001」に寄せて 水尾比呂志

選考所感 内山 武夫

審査を終えて 下保 昭

審査寸評 中野 弘彦

墨で描くことの意
味 福井 文夫

「公募：墨画トリ
エンナーレ富山
2001」の開催と審
査経過 鈴木 博喬

生活とアート ベンガルの刺繍 そ
の過去と現在 カンタ展 福岡アジ
ア美術館

バングラデシュの
ノクシ・カンタ セイエド・
マフブ・
アラム

ノクシ・カンタの
芸術にみられる象
徴と儀礼 モハマッ
ド・サ
ドゥール

カンタからノク
シ・カンタへ 五十嵐理奈

バングラデシュの
刺繍カンタ ラワンチャ
イクン寿子

雪月花展 近代日本画に描かれた美
目黒雅叙園美術館コレクション 茨
城県天心記念五浦美術館

雪月花—近代日本
画に描かれた美— 猪巻 明

目黒雅叙園—その
歴史と絵画コレク
ション— 森友 三雄

1930年代日本の印刷デザイン 東京
国立近代美術館フィルムセンター

大衆社会における
デザイン 樋田豊次郎

1930年代の日本の
印刷技術 本多真紀子

戦前日本社会運動
の足あと—1930年
代ポスターの背
景— 梅田 俊英

相馬の鋳物師—かなものの歴史と技
術— 野馬追の里歴史民俗資料館

前近代における鉄
と相馬—生産され
た鉄と移入された
鉄— 岩本 由輝

タ 行

国宝 醍醐寺展 山からおりた本尊
東京国立博物館

醍醐寺三寶院のバ
ロックの庭に想
う 野田 正彰

山からおりた本
尊—上醍醐と薬師
如来像— 金子 啓明

醍醐寺の信仰と歴
史 仲田 順和

大地の詩—歌会始御題「草」によせ
て—展 式年遷宮記念神宮美術館

特別展「大地の詩」
展示作品について 中村 潔

チェコの工芸300年の光彩 高崎シ
ティギャラリー

チェコのガラス
栄光の時代
(1700—2000年) オルドジッ
ヒ・バラタ
柴田 純江
訳

ヨーロッパにおけ
る磁器製作の歴史
的発展 ダグマル・
ブラウ
ヴァー
柴田 純江
訳

モラビアのタペス
トリー ヤン・T.
ストリー
チェック
森元ルミ
子、柴田
純江 訳

ヴラスト・
チハーコ
ヴァー・能
城
柴田 純江、
森元ルミ
子、杉本
ゆ子 訳

ゴブラン織りと絵
画

朝鮮王朝の美 北海道立近代美術館

- 朝鮮王朝の生活美 鄭 良謨
 朝鮮王朝時代の絵画—透視かつ静謐の美— 李 源福
 朝鮮王朝時代後期の白磁の傾向—消去の美— 崔 健
 朝鮮王朝時代の陶磁文房具 秦 華秀
 朝鮮王朝後期における木工家具の特徴と造形性 金 三代子
 朝鮮王朝時代後期の閨房の生活様相 許 東華
 朝鮮王朝時代における男性の服飾 高 富子
 朝鮮王朝時代における女性の服飾 朴 聖實
 朝鮮王朝時代の装身具の美 張 淑煥

伝えられた名宝 美の継承展 静嘉

堂文庫美術館

- 国宝 伝 馬遠筆「風雨山水図」の修理を終えて 小林 優子
 唐物茄子茶入「付藻茄子」「松本茄子」の伝来とすがた—透過X線撮影調査を行って— 長谷川祥子

出会い展 東京オペラシティアート

ギャラリー

- 未知との遭遇 篠田 達美
 出会い—知覚と認識から想像と再生の旅へ— 片岡 真美

デトロイト美術館の至宝 印象派と

近代美術の巨匠たち そごう美術館

他

- モダンイズム—視覚の革命 エルドン・N・フアン・リア
 吉村 有子 訳

伝統と革新 萩焼四〇〇年展 サン

トリ—美術館

- 萩焼四百年の歴史 河野 良輔
 萩焼の特色 " "
 萩焼スタイルの成立と展開 榎本 徹
 萩焼の素材と製法 河野 良輔
 御用窯の態様 " "
 萩藩の御用窯の系譜 河野 良輔 編

ドイツにおけるフルクサス1962—

1994 国立国際美術館

「あらゆるコミュニケーションはコラージュである」

アヴァンギャルドの総支配人からフルクサスの指揮者へ—ドイツにおけるジョージ・マチューナス

フルクサスの音楽：日常的な出来事 講演

WDR(西部ドイツ放送)の音響スタジオで上演されたフルクサス・ラジオ・アート

東海道宿駅制度400年記念 PART

1 屏風・絵巻に描かれた東海道

横浜市歴史博物館

当館収蔵の東海道屏風について 斉藤 司

当館収蔵の東海道絵巻について "

東海道宿駅制度400年記念 PART

2 東海道と保土ヶ谷宿 横浜市歴史

博物館

東海道絵巻にみる「保土ヶ谷」と「帷子」 斉藤 司

東海道絵巻にみる金沢・鎌倉道の分岐点 "

保土ヶ谷宿浮世絵の分類 "

浮世絵の題材としての帷子橋 "

武蔵・相模両国の国境としての境木 "

馬・馬子・人足たち "

東寺と弘法大師信仰—東寺御影堂

誓いと祈りの風景— 東寺宝物館

東寺御影堂の歴史と宝物 新見 康子

東寺御影堂と庶民信仰—東寺と講— "

東寺と「弘法さん」—にぎわいを生み出す都市空間— 加藤あかね

唐招提寺金堂平成大修理記念 国宝

鑑真和上展 東京都美術館

唐招提寺の美術と歴史 鷺塚 泰光

歴史の中の鑑真和上 東野 治之

戒律思想史上の鑑真和上 末木文美士

中世唐招提寺の復興と覚盛・慶円 細川 涼一

瓦からみた唐招提寺 前園実知雄

金堂の建築と修理 鈴木 嘉吉

正倉院に見る鑑真和上の足跡 三宅 久雄

銅鐸を観察する 辰馬考古資料館

銅鐸に描かれた生き物たち 橋本 裕行

土器の造形—縄文の動・弥生の静—

東京国立博物館

土器の造形—縄文の動・弥生の静— 松浦宥一郎

時を超えて語るもの—史料と美術の

名宝— 東京国立博物館

歴史と美術の(対話) 黒田日出男

時を超えて語るもの—史料と美術の名宝 島谷 弘幸
 安達 直哉
 佐々木利和

史料編纂所の組織と編纂事業の歩み 宮地 正人

史料採訪の展開と写本の集積 山田 邦明

東京大学史料編纂所の歴史情報研究 横山 伊徳

土佐の近世 土佐の近世の女性と文

学—おあん、婉、お馬… 高知県立

文学館

「おあん物語」「おあん物語絵巻」について 桑山 俊彦

「野中婉、その誇り高き半生」 依光 貫之

お馬さんへの想い 正延 哲士

僧「純信」の実像—守られた純信の遺品 里見 剛

商家の妻たち—根来屋桂井素庵の母・才谷屋順水の祖母・辰巳屋勘之丞の妻お常 松本 瑛子

おあんと「おあん物語」(雑記)

利家とまつをめぐる人々 石川県立

歴史博物館

時代考証という仕事 三鬼清一郎

建築考証と「利家とまつ(加賀百万石物語)」の時代の建築 平井 聖

利家とまつをめぐる人々とその時代 長谷川孝徳

渡来文化の波—5〜6世紀の紀伊国
を探索— 和歌山市立博物館

三国・古墳時代における韓・日交渉 朴 天秀

ナ 行

なにが分かるか、社寺境内図 国立
歴史民俗博物館

描かれた八幡宇佐宮 段上 達雄

絵図から読む慧日寺とその周辺の地理的位置 青山 宏夫

絵図を通してみる神仏分離と信濃の建造物 吉沢 政己

境内図としての四天王寺・住吉大社図屏風 酒井 一光

日吉社絵図と中世日吉社の建築群 黒田 龍二

境内図にみる近世三嶋大社の変遷について 広瀬 史彦

寺社における神仏習合形態の多様性—大和国の場合— 吉井 敏幸

神社に建てられた仏塔 濱島 正士

北野の天神さん、今昔—失われた景觀を社寺境内図から復原する— 熊本 達哉

絵図のような社寺名所錦絵 大久保純一

浅草寺年の市図 福原 敏男

村のなかの社や寺—徳島県吉野川中流域の事例— 湯浅 隆 坂本 憲一

絵図にみる立山信仰 岩鼻 通明

将軍・大名の菩提寺の景觀 伊東 龍一

ナンシー派展 花の様式 Bunka-
muraザ・ミュージアム他

ナンシー派 装飾芸術と「自然資料」 クリスチアン・ド・ウーピーズ 廣田 治子 訳

ナンシー派と美術工芸の社会的役割 ヴァレリー・トマ 松岡新一郎 訳

ナンシー派の日本人・高島北海—ナンシー派におけるジャポニスムの展開 井土 誠

アール・ヌーヴォーから人工生命へ 宮澤 政男

西四国の縄文文化 愛媛県歴史文化
博物館

西四国の縄文時代遺跡—縄文時代草創期から早期の研究視点— 多田 仁

土器型式相の試論—西四国縄文時代後期を中心として— 前田 光雄

愛媛県における押型文土器の様相 兵頭 勲

研究史から見た西四国の縄文文化 富田 尚夫

城川穴神洞遺跡出土の中近世遺物 石岡ひとみ

20世紀イタリア美術 東京都現代美
術館

20世紀イタリア美術の歴史—ローマ国立近代美術館をはじめとするコレクション100点— サンドラ・ピント 片桐 頼継 訳

20世紀イタリア美術—前衛と伝統— 塩田 純一

20世紀版画の軌跡展 丸井コレク
ション 安田火災東郷青児美術館

版画の世紀：世紀末から戦後アメリカへ 千足 伸行

日本画に見る四季の美展 大観・春
草から現代作家まで 高崎タワー美
術館所蔵 大垣市スイトピアセン
ターアートギャラリー他

四季の詩情を描く—雪月花の時— 細野 正信

日本の版画1921—1930 都市と女と
光と影と 千葉市美術館他

1920年代の日本の版画—大正から昭和へ— 岩切信一郎

1920年代の創作版画運動—展覧会を中心に— 三木 哲夫

大正期新興美術運動における版画—アヴァンギャルドの戦略— 五十殿利治

杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道をめぐって》 伊藤 伸子

『詩と版画』の頃 西山 純子

日本の藩窯—西日本編— 彦根城博
物館

藩窯各説

東京富士美術館所蔵 日本の美とこ
ころ 桃山から近代・絢爛たる500
年の粋 北海道立函館美術館

東京富士美術館の日本美術コレクション

日本のやきもの千二百年 サント
リ—美術館

奈良三彩から桃山の茶陶まで 伊藤 嘉章

伊万里焼の展開と京焼 大橋 康二

人間・像—寺内萬次郎と田中保を中
心に 埼玉県立近代美術館

序論 梅津 元

国宝 寝覚物語絵巻 大和文華館

「国宝 寝覚物語絵巻—文芸と仏教信仰が織りなす美—」特別展の構想 澤田 和人

寝覚物語絵巻についての一考察 "

普賢十羅刹女像の成立をめぐる諸問題 増記 隆介

能楽—加賀宝生の世界— 石川県立
歴史博物館

展覧会の構成と解説

加賀宝生の近代—舞台が区切る百三十年— 西村 聡

ハ 行

芭蕉と支考—その旅のこころ— 岐
阜市歴史博物館

芭蕉と支考、そして美濃派 堀切 実

奔る女たち 女性画家の戦前・戦後
1930—1950年代 栃木県立美術館

近代日本における女性画家をめぐる制度—戦前・戦後の洋画家を中心に— 小勝 禮子

日本絵画と女性画家たち 橋本 慎司

在野団体の女性日本画家たち 鈴木かおる

『女人芸術』と画家たち 尾形 明子

八幡信仰とその遺宝 大分県立歴史
博物館

大仏開眼前夜 村上 久和

大仏開眼と八幡神 渡辺 文雄

神と仏と奈良の都—手向山八幡宮の創建— 櫻井 成昭

護法善神—八幡神と南都寺院— "

王城鎮護の神—石清水八幡宮の創建— "

弘法大師と八幡信仰 渡辺 文雄

誉田八幡宮の創建 平川 毅

誉田から鶴岡への道—源氏と八幡神— 櫻井 成昭

中世の八幡神と宇佐宮 "

八幡神像の成立と展開 渡辺 文雄

本地垂迹と八幡曼荼羅 "

八幡縁起と八幡縁起絵 "

花と緑の名品展—自然との対話—

石川県立美術館

草花に見る日本美の心 嶋崎 丞

はにわ一座がやってきた。 福島県文化財センター白河館

はにわ人と持ちもの 杉山 晋作

はるか みのく 古典文学と美術にみるすがた 東北歴史博物館

陸奥の歌枕と美術 有賀 祥隆

バルビゾンと田園の画家たち 北海道立帯広美術館

自然へのまなざし—バルビゾンと19世紀フランスの《風景》 鎌田 亨

バルビゾンの画家たち 自然との共存 コロー、ルソー、ミレー、クールベ 山梨県立美術館

近代風景画の成立—バルビゾン派を中心に— 島田 紀夫

バルビゾン派再考 立入 正之

光とその表現展 練馬区立美術館

「光」とその表現—現代美術における光の問題 横山 勝彦

美術館を読み解く—表慶館と現代の美術 東京国立博物館

中空の美術館 蔵屋 美香

表慶館小史 古田 亮

美術のなかの動物表現 ヴァチカン美術館所蔵品による 豊田市美術館

レオナルド・ダ・ヴィンチの《荒野の聖ヒエロニムス》とイタリヤ・ルネサンス期の動物表現 森田 義之

犬と猫—彼らを通して人が見てきたもの 田境 志保

神々と象徴：古代エジプトと古代オリエントにおける動物表現 ロ レ ン ツォ・ニグロ

ギリシア美術とエトルリア美術における動物表現 マウリツィオ・サンニバーレ

古代ローマ美術における動物表現 ジャンドメニコ・スピノーラ

キリスト教美術における動物表現 ピエトロ・アマート

近世ヨーロッパにおける動物表現—自然主義から新古典主義へ グイド・コルニーニ

現代美術における動物表現—伝統と革新のはざままで ミ コ ル・フォルティ

美術への扉—コレクション十年十色 北海道立帯広美術館

美術への扉、美術への視点 石尾乃里子

美人画コレクション 異色作家と無名画家を中心に 明治・大正・昭和 星野画廊

北野恒富「暖か」をめぐって 星野 桂三 星野万美子

ひな人形の世界 徳島市立徳島城博物館

近世徳島雑事情小考 小川 裕久

美の国が故郷 岩手東和のこころ 萬鉄五郎記念美術館

鉄五郎の風土=東和・土沢(試論) 千葉 瑞夫

土澤訥の美術の誕生—風景、芸能、民俗造形を根として 村上 善男

うつろう「美」と表現 田中 恵

東和町の原始・古代の造形 瀬川 司男

とうわの美術事情と町のかたち 平澤 広

ヒューマン・イメージ われわれは人間をどのように表現してきたのか? 京都国立博物館

岩佐又兵衛の精神的遍歴を論じ、展覧会の基本構想におよぶ 狩野 博幸

ピラミッドの時代 名古屋ボストン美術館

ピラミッド時代のエジプト リ タ・フリード

ギザの発掘 イボンヌ・マルコウィッツ

エジプト古王国時代の金工品の分析

広重の画業展 名所江戸百景を中心に 馬頭町広重美術館

名所江戸百景について 市川 信也

福岡市美術館展35回 福岡市美術館

水谷 興志 後藤 耕二 菊竹 清文 高巢 典子 野田 竹禅 江崎 照也 伊原 久裕

選評

復元!三角縁神獣鏡 福島県文化財センター白河館

最先端技術があかす三角縁神獣鏡のナゾ 鈴木 勉

福島の新世界2001 SEVEN ROOMS 福島県立美術館

「壁」をめぐる 荒木 康子

作家の言葉 菅野 純 談 荒木 康子 聞き手

「写真への旅……バンコク、ハノイ、福島、東京」 瀬戸 正人

《黄泉がえる日々》 山口 卓司

雑記

作家の言葉 山根 敏郎 談 荒木 康子 聞き手

岩倉 榮利 談 増渕 鏡子 聞き手

三原 昌平

坂本 朝夫 談 増渕 鏡子 聞き手

武士と農民 文字世界への招待 古代・中世を生きた文字たち 東北歴史博物館

文字世界への招待—古代・中世を生きた文字たち—

蕪村 その二つの旅 東京都江戸東京博物館
蕪村 その外的世界の旅 佐々木丞平
蕪村 その内的世界の旅 佐々木正子
蕪村の書について 下野 健児
仏舎利と宝珠—釈迦を慕う心 奈良国立博物館
「仏舎利と宝珠」展概説 内藤 栄
冬の華 サザンカ 国立歴史民俗博物館
サザンカの品種発達に関する史的考察 箱田 直紀
江戸時代に来日したヨーロッパ人とサザンカ 大場 秀章
サザンカ小考 篠原 徹
フランス・カンパール美術館所蔵ブルターニュの海と空 都城市立美術館他
ブルターニュを題材としたカンパール美術館所蔵コレクション
画家たちのブルターニュ発見
ブルターニュの海と空：風土と芸術 千足 伸行
ベトナム青花—大越の至上の華— 町田市立博物館
ベトナム青花—大越の至上の華—について 矢島 律子
16・17世紀のベトナム青花—倣・中国青花を中心に— 森 達也
ベトナム青花の自然科学的研究—陶磁器胎土と釉の科学分析— 二宮 修治
北条時宗とその時代展 東京都江戸東京博物館
北条時宗とその時代 石井 進
蒙古襲来とその影響 堀本 一繁
本能寺の変を考える—是非に及ばず 滋賀県立安土城考古博物館
是非に及ばず—本能寺の変を考える— 松下 浩
明智光秀の政權構想 藤田 達生

世界遺産ポンペイ展 ポンペイとポンペイに暮らす人びと 江戸東京博物館他
ポンペイ遺跡について 青柳 正規
79年の噴火 ジュゼッペ・ルオンゴ
ポンペイ発掘史 アンナマリア・ペッロッタ
ポンペイの人と自然 クラウディオ・スカルパティ
都市と住宅 野中 夏実
ポンペイの日常生活 エルネスト・デ・カロリス
「ポリビウスの家」をめぐる学際的研究 アンナマリア・チャラッロ
「ポリビウスの家」の発掘 野中 夏実
ポンペイの科学と技術 ジョヴァンニ・ディ・バスクワレ
世界の広がり 野中 夏実
マ行 青柳 正規
前田寛治大賞展 5回 高島屋(東京)他
受賞作品について 富山 秀男
受賞作品について 陰里 鉄郎
選考経過と所感 瀧 悌三
審査所感 笠井 誠一
審査所感 入江 観

マクシム・デュ・カン—150年目の旅— 三鷹市美術ギャラリー
オリエントの誘惑—マクシム・デュ・カンの東方紀行「東洋学者あちこち旅をしたひとのこと」フロベール『紋切型辞典』 小倉 孝誠
正岡子規の絵展 愛媛県美術館
「子規の写生画」 孫 順玉
企画解説「写生」とその背景 金子 紘也
マジョリカ名陶展 イタリア・ファエンツァ国際陶芸博物館所蔵 大阪市立東洋陶磁美術館他
ファエンツァ国際陶芸博物館：イタリアの歴史編纂活動の途上で ジャン・カルロ・ボヤーニ
チプリアーノ・ピッコルパッソとルネサンスにおけるイタリアのマジョリカ芸術 水野 千依
地中海とイタリアイスラム陶器からアルカイック・マジョリカ陶器へ アンナ・リア・エルメティ
15世紀から17世紀のファエンツァ陶器 カルメン・ラヴァネッリ・グイ
ファエンツァ国際陶芸博物館にみるマジョリカ陶器とイタリア各地の作陶活動 ジャン・カルロ・ボヤーニ
リヨンとイタリア・ルネサンスのマジョリカ陶器 日本の遺跡から出土したイタロ＝フランス様式のリヨンのアルバレロ リリアン・スフェール
大坂城下町出土マジョリカ陶について 大塚 直子
松永耳庵コレクション展 茶の湯—美とこころ 福岡市美術館
松永安左衛門と茶の湯 矢部 良明
耳庵・松永安左衛門—その人と茶の湯とコレクション 尾崎 直人

見えない箱からの鋭い叫び A
Shriek from an Invisible Box 目
黒区美術館

見えない箱からの
鋭い叫び 満 志 子

三重の旅人たち 東海道宿場伝馬制
度制定四〇〇周年記念特別展 朝日
町歴史博物館

三重の旅人たち 浅川 充弘

水のある風景展 美しい日本の風土
井原市立田中美術館

日本画—水のある
風景— 村田 真宏

水辺のモダン—江東・墨田の美術

東京都現代美術館

水辺のモダニズム
の底流 山口 昌男

隅田川の東を描
く—「近代」の向こ
うにある風景 加藤 弘子

復興記念館所蔵ボ
スターとThe Fra-
ternity Memorial
Hospital 関 直子

ある撮影所の幻
影—『映画雑誌
向島』をめぐる 石田 哲朗

緑の樹の下の夢 青森県創作版画家
たちの青春展 青森県立郷土館

モダニズムと郷土
近代版画の証人・
版画同人誌の語る
ものは 瀬尾 典昭

版画誌を傍らに
青森県創作版画家
たちの青春 板倉 容子

緑の樹の下の夢
青森県創作版画の
あゆみ 對馬恵美子

ミニチュアの世界展 手のひらの
美—小林礫斎を中心に たばこと塩
の博物館他

小林礫斎とミニ
チュア—その技巧
と特色— 岩崎 均史

小林礫斎とドール
ハウス 磯貝 吉紀

アラシータとミニ
チュア 榊 玲子

ミニマルマキシマル展 ミニマル
アートとその展開 1990年代の現代
美術 千葉市美術館他

ミニマル・アート
の基本概念 グレゴ
ール・シュテ
ムリヒ 清水 稔 訳

われわれはどこか
ら来たのか?どこ
へ歩いていくの
か?休暇にどこへ
行くのか? フラ
ンシス・トネッリ
のために

「おお、これが私
の愛する دونالد
・ジャッド
だ!」芸術につ
いての芸術、ある
いは、ミニマル・
アートはどのよう
な影響を及ぼした
か。

ミニマリズムなん
て忘れた……!

ミニマル・アート
あるいは帰還不能
点

魅惑のベルギー美術展 大原美術館
所蔵ベルギー作品特別公開 姫路市
立美術館

ベルギー近代美術
と日本の関わり

明治美術再見5 日本画—江戸の
名残・京の薫 宮内庁三の丸尚蔵館
作家作品解説 大熊 敏之

名物裂 渡来織物への憧れ 五島美
術館

名物裂—中世舶載
染織品のタイムカ
プセル— 小笠原小枝

文献に見る「名物
裂」名称一覧 佐藤 留美
編

目黒アート・アニアル2000 14作
家の個展 目黒区美術館

井上 慎 インタ 正木 基
ビュー 聞き手

上松 一条 インタ 高橋 照弘
ビュー 聞き手

作品とギャラリー
と私と 内田千代子

古茂田杏子インタ 正木 基
ビュー 聞き手

古茂田美津子の絵
画と《闘病日誌》

柴田敏雄インタ 正木 基
ビュー 聞き手

こだわりから新し
い書の流れへ 田淵 観斎

長はるこインタ 正木 基
ビュー 聞き手

中井 幸一インタ 正木 基
ビュー 聞き手

マルグリッ
ト・ブレ
ム 池田 祐子
訳

ペーター・
フリーゼ
山本 和弘
訳

シュテファ
ン・シ ュ
ミット=ヴ
ルフエン 池田 祐子
訳

尾崎信一郎

西 大 記 インタ 〃

沼田 元氣 インタ 〃

ビュー 〃

平野 正樹 インタ 〃

ビュー 〃

藤掛 正邦 インタ 〃

ビュー 〃

宮廻 正明 インタ 〃

ビュー 〃

蒙古襲来絵詞展 熊本県立美術館

「蒙古襲来絵詞」と 工藤 敬一

竹崎季長

蒙古襲来絵詞断章 大倉 隆二

蒙古襲来と鎌倉仏教 神奈川県立金
沢文庫

蒙古襲来と神仏 西岡 芳文
山地 純

大陸情勢を伝えた
禅僧たち 西岡 芳文

幕府を支えた律僧
集団 〃

庶民に広がる念仏
の声 〃

法華至上主義の目
覚め 〃

密華蘭を破るもの 〃

神々の蒙古合戦 〃

木版の美 版元—西宮書院と画家

姫路市立美術館

西宮書院と木版画 平瀬 礼太

モノクロームの守り神—画像石と十
二支像 大阪府立近つ飛鳥博物館

中国漢代の画像 岩瀬 透

碑・画像石墓 〃

十二支像 〃

ヤ 行

やすらぎと微笑みの美術 式年遷宮

記念神宮美術館

日本美術に現れた
笑いとユーモア 中村 潔

矢田寺の仏像 奈良国立博物館

矢田寺の仏像 岩田 茂樹

病よ去れ—悪疫と呪術と医術— 古

河歴史博物館

痲瘋神の詫び証文 大島 建彦

弥生から古墳へ 時代の終わりと始

まり 上高津貝塚ふるさと歴史の広

場

「方形周溝墓」研究
の最前線 山岸 良二

鬼怒川流域におけ
る古墳時代の幕開
け 今平 利幸

下総地域における
弥生時代後期から
古墳時代前期の様
相—印旛地域を中
心に—

高花 宏行

弥生時代 日本海地域の交流 下関
市立考古博物館

総説

響灘沿岸から東方
へ—弥生時代にお
ける日本海沿岸地
域—

村上 恭通

弥生都市は語る 環濠からのメッ
セージ 大阪府立弥生文化博物館

入口からの風景

石神 恰

石家河の環濠都市

金関 恕

槍の身振り 千葉県立房総風土記の
丘

東内野遺跡発見と
調査の経緯

篠原 正
田村 隆

概説

油画を読む 東京芸術大学大学美術
館

油画を読む

歌田 真介

物質としての絵
画—地塗りと白色
絵具—

坂本 一道

黒田清輝における
デッサン・タペリー

佐藤 一郎

素描と絵画

ようこそ! はにわのふるさとへ—関
東の埴輪窯跡を訪ねて— 栃木県立
しもつけ風土記の丘資料館

埴輪の生産と供
給—埼玉県生田塚
埴輪窯跡を中心と
して—

山崎 武

ヨーロッパ絵画 伝統の300年 東
京富士美術館コレクションによる
芸術の森美術館

ルネサンスからロ
マン主義へ ヨー
ロッパ絵画—その
理論と実践—

富士 理

吉原治良賞美術コンクール展11回
大阪府立現代美術センター

審査評

高橋 亨

よみがえる北の中・近世 掘り出さ
れたアイヌ文化 市立函館博物館

よみがえる北の
中・近世—見え始
めたアイヌ文化の
形成過程—

菊池 徹夫

擦文文化からアイ
ヌ文化へ

高橋 勇人

和人の夷島進出

長谷部一弘

混住する和人・ア
イヌの世界

松崎 水穂

沙流川流域遺跡群
にみるアイヌの風
景

森岡 健治

アイヌ文化の変
容—発掘資料と伝
世資料

三村 伸

甦る大環濠集落—吉野ヶ里から大塚

まで— 横浜市歴史博物館

弥生時代研究の最
前線 環濠集落
—濠で囲まれたム
ラ—

林 日佐子

弥生時代研究の最
前線 池上曾根ム
ラの誕生と変遷

白石 耕治

弥生時代研究の最
前線 唐古・鍵ム
ラの誕生と変遷

藤田 三郎

弥生時代研究の最
前線 弥生人の生
活

林 日佐子

弥生時代研究の最
前線 葬送と墓制

地村 邦夫

弥生時代研究の最
前線 青銅器・ガ
ラスの生産

豆谷 和之
藤田 三郎

弥生時代研究の最
前線 石器と木器
の生産

石神 恰

弥生時代研究の最
前線 交錯する各
地の遺物

地村 邦夫

弥生時代研究の最
前線 倭国争乱

馬場 英明

弥生時代研究の最
前線 まつりとま
つりごと

久世 仁士

よみがえるハニワ工場—高槻市の埴

蔵文化財展— 三方町縄文博物館

継体大王と淀川

森田 克行

ラ 行

ラッコとガラス玉 北太平洋の先住

民交易 国立民族学博物館

北太平洋の先住民
交易

大塚 和義

毛皮交易者として
のアイヌ

〃

東北地方と北海道
の交流史

菊池 勇夫

蝦夷地産物と北
方・松前交易

田嶋 佳也

日本と中国をつな
いだ北の人びと

佐々木史郎

毛皮をもとめて新
大陸へ

岸上 伸啓

リキテックス・ビエンナーレ入選作
品展8回 青山スパイラルガーデン

第8回リキテック
ス・ビエンナーレ
選評座談会

久里 洋二
智内 兄助
タナカノリ
ユキ 孝次
水谷 グレン・ブ
リル 安 珠

李朝—美の世界 日本民藝館

柳宗悦の蒐集した
李朝の工芸品とそ
の意義

尾久 彰三

龍門石窟 MIHO MUSEUM

北魏洛陽時代の龍
門石窟

石松日奈子

唐時代の龍門石窟

岡田 健

北魏洛陽永寧寺の
遺跡と遺物

銭 国祥

龍門石窟の保護

劉 景龍

料紙装飾 彩られた紙

徳川美術館

料紙装飾—日本人
が培ってきた美意
識の系譜—

四辻 秀紀

中世の料紙装飾に
ついて

龍澤 彩

琳派と茶道具 萬野コレクションの

名品—挙公開 サントリー美術館

萬野裕昭と萬野コ
レクション

田中 英二

富貴なる絵画 円
山広孝筆「牡丹に
孔雀図」

市川 彰

冷泉為恭展—幕末やまと絵夢花火

岡崎市美術博物館

冷泉為恭展開催に
あたって—為恭の
画業の面白さ

芳賀 徹

冷泉為恭—古典大
和絵思慕の画家

小林 忠

江戸時代のやまと
絵

榊原 悟

為恭の生涯

杉山 明美

大樹寺の為恭

神谷 浩

歴史のなかの“ともぶち”—鞆淵八幡

と鞆淵荘— 和歌山県立博物館

中世前期の鞆淵荘
—鞆淵氏の成長と
没落—

高橋 修

中世後期の鞆淵荘
—高野山支配の確
立と定着—

高木 徳郎

近世高野山寺領の
成立と友淵

前田 正明

鞆淵の彫刻

大河内智之

大善寺の大般若經

竹中 康彦

鞆淵地域の石造物

菅原 正明

ロシア・アヴァンギャルド展 ポスター芸術の革命 ステンベルク兄弟を中心に 東京都庭園美術館

展覧会に寄せて 松本 瑠樹
ロシア・アヴァンギャルドふたたび 海野 弘
ユートピアをデザインしたステンベルク兄妹 クリストファー・マウント
日本に紹介されたロシア・アヴァンギャルド美術について 井関 正昭

実用的モダニズム—アール・デコと機械の時代のロシア・アヴァンギャルド 岡部 昌幸

ロシア・イルクーツク州立郷土史博物館展 バイカル湖地域に生きた人々 シベリア先住民の歴史と文化 石川県立歴史博物館

シベリア先住民の歴史と文化 オリガ・チェルニャブスカヤ

ワ 行

わたしの家はあなたの家、あなたの家は私の家 東京オペラシティアートギャラリー

わたしの家はあなたの家、あなたの家はわたしの家 2:東京バージョン ホウ・ハンルウ ジェローム・サンズ

We Sing the City Electric. 都築 響一

仮設住宅の可能性と現代の「家」 坂 茂

周縁あるいは中間領域としてのオーブンハウス 片岡 真実

作家展

ア 行

阿以田治修のモダニスト・ペインティング 絵画レッスン 栃木県立美術館

絵画論 山本 和弘

鑑光と交友の画家たち 広島県立美術館

鑑光と新人画会 藤崎 綾
鑑光と小林源平 齋藤 里香

鑑光“遺影”の眼が語ること 大井 健地

鑑光二題 江川 佳秀

赤坂知也・大竹敦人 乳化景—からみあう視点、たたずむ視線展 建築家と美術家のコラボレーション 東京国際フォーラム[セゾン・アート・プログラム主催]

作庭記仄聞一瞬きと永遠のあいたの庭— 鷹見 明彦

秋幸幸茂展 シロタ画廊

キャベツの変貌 中原 佑介
朝井閑右衛門 素描の魅力展 生誕100年 横須賀市文化会館市民ギャラリー

朝井閑右衛門の素描 石渡 尚

畦地梅太郎展 山のよろこび 町田市立国際版画美術館

昔の話 畦地 康恵
歩いて極めた版画人生 北岡 文雄

畦地さんが宇和島湾を眺めた頃 三輪田俊助

苦悶と悦楽の山 串田 孫一

素朴で頑固で不器用で—畦地梅太郎の生き様— 早田 清美

§ 作品図版解説第一部 § 和南城愛理

§ 作品図版解説第二部 § //

足立源一郎展 長野県信濃美術館

解説「日本アルプスと足立源一郎」 滝澤 正幸

有元利夫展 花降る時の彼方に 宇都宮美術館他

有元利夫という「重奏」 宮本 輝

有元利夫の時代 宝木 範義

有元利夫の技法—「[古典的イメージ]への展開」より— 福島 文靖

アルバース展 小作品展示室常設展示No. 210 福岡市美術館

解説

アンソール版画展 James Ensor, graveur 東京ステーションギャラリー

アンソールの版画における技法と色彩 バトリック・フロリゾヌ

アンソール芸術の特質 舟木 力英

石川重信回顧展 アート・ミュージアム・ギンザ

石川重信回顧展にあたって 石川 栄子

石川重信回顧展に寄せて 下澤 和夫

” 青木 東正

[石原正、友利宇景、村松昭] 三人の絵師たちの天空からの眺め展

INAXギャラリー

三人の絵師 入澤 ユカ

石元泰博写真展1946—2001 高知県立美術館

写真とは 石元泰博の余白に 鍵岡 正謹

石元泰博インタビュー1 影山 千夏 聞き手

石元泰博インタビュー2 大野由紀夫 吉岡 健岡 正謹 影山 千夏 聞き手

板谷波山と近代の陶芸—「創造」と「個性表現」の系譜 茨城県陶芸美術館

板谷波山の陶芸—幽玄なる美の創造— 荒川 正明

近代の陶芸—「創造」と「個性表現」の系譜をたどりながら 山口 和子

一色邦彦 彫刻とデッサン展 茨城県つくば美術館

一色邦彦の芸術 舟木 力英

伊藤公象展—客土シリーズ長石による襲— 村松画廊

—客土シリーズ・長石による襲— 伊藤 公象

伊藤福紫展 空間と時間の中に 公募・今日の作家シリーズ 大阪府立現代美術センター

伊藤福紫—闇の理法— 谷川 渥

伊藤東彦展—布目技法の原点とその展開—茨城の陶芸 茨城県陶芸美術館

§ 作家解説 § 古市 敏夫

井上廣子展 記憶・境界・不在 公募・今日の作家シリーズ 大阪府立現代美術センター

§ 作家解説 § 小口 斉子

ヴァンジン彫刻展—人間像の復権—
彫刻の森美術館

メッセージ ジュリアーノ・ヴァンジン

生きることのすべてを写す人間像—ジュリアーノ・ヴァンジの孤高の探求— 松村 壽雄

上野長雄展 郷土の木版画家 姫路市立美術館

上野長雄の生涯と作品 高瀬 晴之

上原三千代 リアルなココロ—ぬかづけなココロ 高崎市美術館

上原三千代さんへ—ココロ。リアルな、肖りの。 住田 常生

8作家の言葉8 上原三千代

宇佐美圭司・絵画宇宙 福井県立美術館他

2001年は1960年にどのように出会うか 宇佐美圭司

企て 宇佐美美爽子

場所(宇佐美圭司試論) 浅倉祐一郎

人・体・形—人体をめぐる遊動する宇佐美圭司についての断章 奥村 泰彦

反—宇佐美圭司・試論 野田 訓生

ローリー・トビー・エディソン近作展26 からだへの瞑想 国立国際美術館

写真集『大きな女性』のための前書き ローリー・トビー・エディソン

「親しい男性」について //

ローリー・トビー・エディソン自らを語る //

ローリー・トビー・エディソン覆す力 加須屋明子

マックス・エルンスト展 驚異と魅惑の幻想宇宙 岡崎市美術博物館(マインドスケープ・ミュージアム)他

序 ユルゲン・ベッヒ

幻影と見えざる眼—エルンストのヴァヤイヤンの眼— 村松 和明

見つけれられないエルンストについての覚書 寺口 淳治

大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫展 日本画の三人 新潟県立近代美術館

新潟から巣立った三人の画家—大矢紀・三輪晃久・山崎隆夫 草薙奈津子

大矢紀—精霊との対話 澤田 佳三

三輪晃久と風景 横山 秀樹

山崎隆夫の作品世界 小西 珠緒

岡本信次郎《笑う雪月花》展 池田20世紀美術館

序に代えて オカシン先生の平成“池田の花見” 林 紀一郎

桜のマンダラ空間 針生 一郎

虚空桜花蹂躪決戦之図 ヨシダヨシエ

金星のころがるさくら 岡本信次郎

岡本太郎と縄文 川崎市岡本太郎美術館

“いやったらしい程遅い美感”—太郎の縄文 村田慶之輔

岡本太郎と縄文の素顔 小林 達雄

縄文が真似する岡本太郎 宗 左近

挑みの縄文 岡本 敏子

ヨーロッパの原始と異端と「縄文の発見」 鶴岡 真弓

岡本太郎と縄文 鎌田 東二

呪術としての岡本太郎の造形 仲野 泰生

岡本太郎と戦後写真—日本発見 川崎市岡本太郎美術館

岡本太郎の日本発見の陰でアラハバキの息が見えてくる 松岡 正剛

日本発見 楠本 亜紀

岡本太郎の写真術 //

荻須高德展 生誕100年記念 目黒区美術館他

パリの荻須、荻須のパリ 高階 秀爾

荻須高德復活 安岡章太郎

100年の軌跡 矢内みどり

対談 高階 秀爾 荻須美代子

竹喬1945—1979—《奥の細道句抄絵》への道— 新館開館記念展[小野竹喬] 笠岡市立竹喬美術館

戦後の竹喬 上蘭 四郎

小野木学展 小作品展示室常設展示

No. 212 福岡市美術館

小野木学のことば

カ 行

寛忠治展 名古屋画廊

どこに向かって歩くのか—寛忠治という人 西沢 信正

勝井三雄展 視覚の地平線 武蔵野美術大学美術資料図書館

天地左右なりゆき 勝井 三雄

表現の新領域を探し求めて //

勝井さん—その生成の原像と出会い 向井周太郎

幸福の空気 奈良原一高

自己の方法を確かなものへ 粟津 潔

勝井三雄の仕事 田中 一光

デザインで組み立てる世界 勝井 三雄

勝井さんとの20年 高田 宏

数々のプロジェクトの中で 川添 登

勝井先生と「私」 江口江里也

光が生成する宇宙 勝井 三雄

勝井三雄さんと私 坂根 巖夫

私のライバル勝井先生 前田ジョン

鹿子木孟郎展—師ローランスとの出会い— 府中市美術館

鹿子木孟郎—デッサンとタブローの間で 志賀 秀孝

鹿子木孟郎—ローランスとの出会い 児島 薫

下保昭 山水新世紀・川崎春彦 色彩七変化展 時代を超える日本画

茨城県近代美術館

序・通じ合う両雄 加藤 貞雄

下保昭の世界—魂と精神の色・墨 金原 宏行

七変化—川崎春彦 中田 智則

カラヴァッジョ光と影の巨匠—パロック絵画の先駆者たち 東京都庭園美術館他

序にかえて 井関 正昭

カラヴァッジョー 生涯に関する覚書	ストリナー ティ・クラ ウディオ 宮下規久朗 訳	河鍋曉斎—近代日 本の勝者か敗者か 同時代人の曉斎評 価	佐藤 道信	自己と対象の關係 を見つめる目：具 本昌の写真	朴 柱碩
カラヴァッジョ以後	ヴォドレ・ ロッセラ 水野 千依 訳	河鍋曉斎—近年に おける曉斎の海外 での評価	山口 静一	國安孝昌 森に棲む環	府中市美術 館
カラヴァッジョの 闇—展覧会によせ て	宮下規久朗	日光を訪れた外国 人と、画家曉斎・ 曉亭と当時の日光 輪王寺について	及川 茂	自作を語る—「手 のいった自然」を キーワードとし て、海外での制作 を中心に—	國安 孝昌 談 武居 利史 聞き手
唐澤栄川 漆工芸の美 木遠山史料館	中津川市苗	真野曉亭の画業に ついて	足立 廣文	もっともプリミ ティヴなものから	武居 利史
唐澤栄川—名工へ の道		真野曉亭自著解説	藤田 昇	久保木彦絵画展 鉄道の調べ	成田 山靈光館
河井寛次郎と植木茂 展 千葉市美術館	ふたりの木彫	川西英の新・旧「神戸百景」 立博物館	松村 一徳	久保木彦作品展に 寄せて	平野 馨
河井寛次郎の木彫	諸山 正則	画集『神戸百景』の あとさき	森本 泰好	全身全霊から感謝 と感激	久保木 彦
植木茂あれこれ	大河内菊雄	「兵庫百景」誕生か ら完成へ	伊藤 誠	ジョージ・グロス展 Ecce Home	名古屋画廊
量塊の変容—植木 茂の木彫作品を中 心に	藁科 英也	神戸が失ったもの と得たもの	岡 泰正	百年の縮図— ジョージ・グロス の『エック・ホモ (この人を見よ)』	水沢 勉
川上澄生の女性像展 澄生美術館	鹿沼市立川上	「神戸百景」をめ ぐって	金井 紀子	黒部晃一 アルゴリズムを越えて	府中市美術館
川上澄生の女性像	小林 利延	『神戸観光写真帖』 をめぐって「雑感」	田井 玲子	アルゴリズムそれ 自体を視るために	山村 仁志
運命の女性と川上 澄生	橋本野乃子	岸田劉生展 生誕110年 愛知県美 術館他	酒井 忠康	小泉淳作展 ひとり歩き その軌跡	東京ステーションギャラリー
「しんでれら出世 繪」解題	〃	岸田劉生における 「写真」と「近代」	寺門臨太郎	これからの小泉淳 作	小泉 淳作 田中日佐夫 対談
川上澄生の版画教室 澄生美術館	鹿沼市立川上	カタログ1 銀座 時代=後期印象派 の 洗 礼=1907— 1913年	橋 秀文	絵は一人、絵は一 生	小泉 淳作
復刻『技法』ノート 訳註	橋本野乃子	カタログ2 代々 木・駒沢時代=写 実と内なる美= 1913—1917年	長門 佐季	ひとり道をゆく小 泉淳作—大回顧展 によせて—	田中日佐夫
川上澄生の技法伝 授—その背後に見 る創造原理	小林 利延	カタログ3 鶴沼 時代=麗子と村娘 =1917—1923年	牧野研一郎	河野通紀展 西宮市大谷記念美術館	河野通紀、その芸
朝日新聞/第二栃 木版 版画教室	橋本野乃子	カタログ4 京 都・鎌倉時代=東 洋の美=1923— 1929年		古賀春江 創作の原点	森山 秀子
川島亮子展—〈空間〉の相対性と絶対 性 ギャラリーαM	高島 直之	城戸夏男展 茨城の陶芸 茨城県陶 芸美術館		小嶋悠司の創造展 練馬区立美術館	京の酒房で—小嶋 悠司さんのこと抄
〈空間〉の相対性と 絶対性	川島 亮子	陶芸家・城戸夏男 の歩み	外館 和子	凝視する人	野地耕一郎
8 作家の言葉 8		ロバート・キャバ展	いわき市立美 術館	画家のことば抄	小嶋 悠司
川添泰宏展 武蔵野美術大学美術資 料図書館	向井周太郎	わが兄、ロバー ト・キャバ	コーネル・ キャバ	小関庄太郎と日本の芸術写真—光の ノスタルジア 福島県立美術館	芸術写真の成立と モダニティ
つぎなる「夢」への 祝祭展	川添 泰宏	ロバート・キャバ と20世紀	リチャード・ ウェラ ン	表現者・小関庄太 郎—戦前期の作風 展開—	金子 隆一
めぐり会い	小杉放菴記念	具本昌展(Bohnchang koo) BASE GALLERY			堀 宜雄
河鍋曉斎と門人たち 日光美術館	田中 正史				
河鍋曉斎と日光	吉田 漱				
明治期における日 光のスケッチ—河 鍋曉斎と同時代 者—	河鍋 楠美				
曉斎—門と日光					

小林古径特別展 上越市立総合博物館(小林古径記念美術館)

「小林古径特別展」
によせて 梅原 猛
小林古径先生の思
い出 平山 郁夫
小林古径—その人
と画業 内山 武夫
上越市における小
林古径作品群収集
の現状について 笹川 修一
一故郷によみがえ
る—小林古径邸
(本邸)と画室につ
いて 小林 新治

小林良一展 ヨコハマポートサイド
ギャラリー

小林良一の近作—
現代の洞窟画 市川 政憲

小松均展 生誕100年記念 宮城県
美術館他

修行の画家—小松
均の芸術 内山 武夫
小松均の遠い道程
—己の墨画を求め
て 島田 康寛
小松均《八瀬》をめ
ぐって—大原女・
南洋憧憬・ユート
ピア— 庄司 淳一
富山と小松均—書
簡にみる小松均— 福井 文夫
小松均の最上川連
作 岡部 信幸
小松均展によせて 甲田 美憲

サ 行

坂本優子・堀田樹子展 さまざま
眼115 かわさきIBM市民文化ギャ
ラリー

描くことの力 早見 堯

坂本一道退官記念展 正方形と六角
形の時 東京芸術大学大学美術館

坂本絵画の定数と
変数 佐藤 一郎

地塗り雑感 坂本 一道

作間 敏宏展 colony エキジビ
ション・スペース

連作『colony』のこ
こまでのこと 作間 敏宏

桜井寛展 武蔵野美術大学教授退官
記念 武蔵野美術大学美術資料図書
館

桜井寛の画業 松平 修文

佐藤忠良・舟越保武二人展 足利市
立美術館

響きあう魂と彫刻
佐藤忠良・舟越保 中島 順一
武

里見勝蔵と三岸好太郎 二人の
野 獣 北海道立三岸好太郎美術
館

二人の野 獣 苦名 真

澤田政廣展 彫刻界の巨匠 茂原市
立美術館・郷土資料館

《解説》 舛田 隆満

ジョージ・シーガル展 ひろしま美
術館他

ジョージ・シーガ
ルのバステル画 アルバー
ト・コステ
ノヴィッチ
宮澤 政男
訳

ジョージ・シーガ
ル:レリーフ ジェフ
リー・ウェ
クスラー
岡田 潔
訳

1950年代 彫刻と
絵画の狭間で—
《ロトの伝説》ある
いは「塩の柱」 有木 宏二

1960年代 「非 同
一性」の開示 ”

1970年代 断片と
記憶 ”

1980年代 抵抗す
る彫刻 ”

1990年代 自己抹
消の果てに ”

スダルシャン・シェッティ展 現代
アジアの作家2 福岡アジア美術館

巨大な玩具、バラ
ンスをとること ランジッ
ト・ホスコ
スダルシャン・
シェッティの作品 テ
についての考察 椋本由起子
訳
「ここで、それと
もどこかで」 中尾 智路

志賀丈二個展 Part 1 未発表作品
による浮世絵シリーズ アートギャ
ラリー環

8 展覧会解説 8 小泉 晋弥

篠原有司男 ピラニアと格闘する前
衛アーティスト 府中市美術館

伝説の男 武居 利史

清水比庵—毎日歌境—展 小杉放菴
記念日光美術館他

清水比庵の芸術 上蘭 四郎

シャガールの《アレコ》—色彩が語る
情熱の詩— 青森市文化会館他

あいさつ 黒岩 恭介

《アレコ》:ある芸
術家の生涯の挿話 池田 亨

シャガールの《ア
レコ》の新たな舞
台 高橋しげみ

シンボジウム 高階 秀爾
《アレコ》と美術館 島森 路子
の未来 三浦 雅士
黒岩 恭介

シャガール Mein Leben展 名古屋
屋画廊

封印された思い出 深谷 克典

寿福滋写真展 シベリアを越えて
杉原千畝のビザとユダヤ人たちの脱
出行 平和と人権の写真 銅鐸博物
館

8 作家の言葉 8 寿福 滋

杉山啓子展—モリスの遺伝子—
INAXギャラリー

モリスの遺伝子 入澤 ユカ

鈴木久雄2001展 南天子画廊

鈴木久雄の新作—
空間が物質を刻む 千葉 成夫

須田国太郎展—その色彩から— 上
原近代美術館

絵肌と物の怪 原田 光

須田国太郎展 白銅鞮画廊

須田国太郎の美術
史的な位置 原田 平作

芹沢銈介と棟方志功 模倣の人・祈
りの人 静岡市立芹沢銈介美術館

銈介と志功 芹沢 長助

開館20周年によせ
て 秋山 正

芹沢銈介と棟方志
功 宇賀田達雄

模倣の人 芹沢銈
介 白鳥誠一郎

タ 行

多賀新展 十勝の新時代 4 北海道
立帯広美術館

死からエロスへ、
エロスから生へ 石尾乃里子

高橋克之展 東邦画廊

作品に向かう—高
橋克之の新作 千葉 成夫

高山良策の世界展 練馬区立美術館

画家 高山良策の
歩み 土方 明司

田窪恭治—オブジェから風景へ 愛媛県美術館

林檎のある礼拝堂 ジャン・マルク・ユイトレル 田窪 大介 訳

竹久夢二展 河村コレクション 八戸市美術館

夢二に出会った頃 河村幸次郎

田中敦子展 芦屋市立美術館他 境界の探索 加藤 瑞穂

1950年代の日本における田中敦子の電気服 フランソワーズ・ルヴァイアン 東郷 和子、加藤 瑞穂 訳

不在のメッセージ—《作品(ベル)》への一考察 南 美幸

田中信太郎 饒舌と沈黙のカノン

国立国際美術館

二人の田中信太郎 中井 康之

田淵俊夫近作展 高島屋(日本橋)他

日本画の行方 酒井 哲朗

田淵作品における図式的解析の試み 吉田 俊英

智内兄助展—祈りは天へ— 町立久万美術館

チューブの遺言 智内 兄助

万象に感謝を込め、祈りは天に 神山 敦朗

弦屋光溪展 時代の浮世絵師 茅ヶ崎美術館

「版画生活」で思う 弦屋 光溪

勅使河原蒼風 戦後日本を駆け抜けた異色の前衛 世田谷美術館

創造的カオスの中に 大島 清次

蒼風を見つける時間 勅使河原蒼

はじめに 企画構成と内容について 世田谷美術館

重森三玲らの「振興いけばな宣言」(1933年) 遠藤 望

美術家たちの「ピギナース・いけばな」

ピカソ 礼讃：ニューヨークで《ゲルニカ》を見る

写真への関心：蒼風撮影の写真コラージュ

シュルレアリストとの新興：カダケスのダリ邸訪問

特殊技法の彫刻：樹塊を金属板でくむ

マチウとサムの壁画制作：旧草月会館ホール

マチスに寄せて：コラージュに花をいける

鉄斎先生：富岡鉄斎への憧憬と信奉

富士に遊び、詠み、描く

伊勢神宮の巨大いけばな《摩天》(高さ30m)

草月の機関誌：『草月』『いけばな草月』など

草月アートセンター(SAC)の活動

海外における作品発表(主要個展・グループ展)

蒼風とは、いったい何者だったのか？ 現象としての「蒼風」とその時代性

看花環看花 勅使河原蒼風の作品と空間

「抽象と幻想」再訪 蒼風のオブジェいけばな《群れ》(1953年)をめぐる

美術文化協会と草月流 第11回展(1951年)への参加をめぐる蒼風の態度

共同制作「APN」 蒼風の肩鉄アッサンブラージュと大辻清司の写真について

「或る邂逅」 勅使河原蒼風とミシェル・タビエ

線と塊と 書からみた勅使河原蒼風

戦後日本美術の海外進出と蒼風の活動 50年代の動向を中心に

インスタレーションの観点からみた蒼風 いけばなの芸術化の過程の中で

建築と蒼風 三番町草月流講堂と赤坂旧草月会館：新たな空間と環境 高島 直之

いけばな作家・勅使河原蒼風と中川幸夫の原点 前衛いけばな時代の作品集をめぐる 川浪 千鶴

勅使河原蒼風とメディア 正木 基

手塚雄二日本画展 天地風雷 三越(日本橋)他

手塚雄二—風神・雷神にいたる道 草薙奈津子

デュフィ展 ボンビドーセンター所蔵 宇都宮美術館他

ラウル・デュフィの絵画の位置 国立近代美術館コレクションから デイ・ディエ・シュルマン

イメージの偏在 ラウル・デュフィのために 本江 邦夫

デュフィ、「線表現」豆辞典 アラベスクからジグザグまで 青木 理

都鳥英喜展 京都文化博物館他

都鳥英喜展によせて 島田 康寛

都鳥英喜の歩んだ道 前川 公秀

京都での都鳥英喜 長舟 洋司

富岡鉄斎展 鉄斎美術館

吉祥にこめられた願い 前田 博司

鉄斎 春季展—印癖を娛しむ— 鉄斎美術館

鉄斎の印癖を娛しむ 奥田 素子

鉄斎の器玩 鉄斎美術館

鉄斎・用の美 前田 博司

鉄斎の粉本展 絵図を中心に 鉄斎美術館

§ 解説 § 奥田 素子

ナ 行

中井川由季—静かに動き続ける

EXHIBITION SPACE

中井川由季—自然体の陶 外館 和子

中島洋和 リアルタイムパーティー 府中市美術館

中島洋和—リアルな時間の共有体験 神山 亮子

仲谷孝夫展 豊橋市美術博物館

回想 仲谷 孝夫
仲谷孝夫と私 辻 親造
絵と詩『石の花』の
追想ほか 岩瀬 正雄
仲谷孝夫展によせ
て 宮島 久雄

奈良美智展 I DON'T MIND, IF
YOU FORGET ME 横浜美術館他

断片へ 天野 太郎
外側からのまなざ
し：奈良美智の絵
画における「周縁」 松井みどり

西川利夫・吉野毅・綿引道郎の世界—木・土・金属の造形 昭和女子
大学光葉博物館

三人展に寄せて 淀井 敏夫

西田藤次郎展 画家として教師とし
て心に映った真実の風景 東京ス
テーションギャラリー

実践絵画理論 西田藤次郎
「西田藤次郎展」の
開催について 松田 重昭
西田藤次郎の画業
と生涯 田中 晴子

ブライアン・ニューウェル展 エキ
ジビジョン・スペース

スタジオ・ファニ
チャーの新鋭—ブ
ライアン・ニュー
ウェル 諸山 正則

野村仁 移行／反照 豊田市美術館

コスミック・アート
の感性—野村仁
の世界への誘い 岩城 見一
宇宙の果てから
ソーラーハウスま
で 池内 了

野村仁インタ
ビュー「太陽との
つきあい方・自然
との向き合い方」 野村 仁
青木 正弘
インタビュー

太陽と地球 日江井榮二
郎

観測日誌「生命の
起源：宇宙・太
陽・DNA」 森 司

野村仁：トピカ 金井 直

ハ 行

萩原英雄コレクション展 作家の眼
差し 山梨県立美術館

古く美しいもの 萩原 英雄
「萩原英雄コレク
ションと作家の眼
差し」 向山富士雄

萩原英雄全仕事 色彩の賛美歌 山

梨県立美術館

萩原英雄さんの木 本間 正義
版画

萩原英雄版画再考 向山富士雄

萩原英雄の藝術—
人生とその作品に
ついて— 神野 真吾

萩原英雄・深沢幸雄展—詩情を版に
刻む 町田市立国際版画美術館

死との対決から 高木 幸枝
生の根源を究めて "

パスキンとエコール・ド・バリー—巴
里の屋根の下に生きて— 茨城県近
代美術館

パスキンとエコー
ル・ド・バリーの群
像 佐藤 友哉

1920年代の画家た
ち 今井 有

馬場彬とサトウ画廊の画家たち展
戦後美術の断面 秋田県立近代美術
館

「サトウ画廊月報」
を読み直して 針生 一郎

「サトウ画廊のこ
と」 馬場 彬

サトウ画廊と馬場
彬 山本 丈志

林明子の世界 絵本原画展 天童市
美術館

子供の気持ちを描
く画家—林明子さ
ん 松居 直

林明子さんの素顔
おしゃれな人…そ
して 中村 征子

林明子さんの絵画
表現 香曾我部秀
幸

日比野克彦展 HIBINO DATA ON
OUR TIMES いわき市立美術館他

「色についての話」
南青山渋谷線より 日比野克彦

連続ネットドラマ
北品川四谷線 第
1～30話 日比野克彦

日比野克彦のワー
クショップ 荒井 直美

〈流動体〉日比野克
彦をめぐって 野田 秀樹
日比野克彦
石川 健次
進行・構成

〈超伝道〉 福田 繁雄

懐かしさのウロボ
ロス 榎木 野衣

日比野克彦—時代
を映すメッセージ 植田 玲子

平山郁夫展 北海道立近代美術館

平山郁夫とその芸
術—五題・五想— 奥岡 茂雄

平山郁夫の世界 土岐美由紀

深澤索一と近代の版画展 新潟の美
術2001 新潟県立近代美術館セレク
ト2 新潟県民会館

深澤索一の版画と
近代 松矢 国憲

マ 行

ルイジ・マイノルフィ 芸術の森美
術館

ルイジ・マイノル
フィ「札幌の柱」 八代 彰子

前沢知子 私の作品を聞かせてくだ
さい 府中市美術館

「わたし」の意識を
問い続ける—前沢
知子 神山 亮子

前田青邨展 京都国立近代美術館他

前田青邨先生の二
つの思い出 平山 郁夫

前田青邨—その時
代を超えた清朗な
画風 内山 武夫

前田青邨の人と芸
術 島田 康寛

青邨の渡欧—その
目的と成果— 上蘭 四郎

梶田半古画塾のこ
と—前田青邨の修
行時代 梶岡 秀一

牧野富太郎と植物画展 ボタニカル
ワールドへのいざない 小田急美術
館他

精密の植物世界—
牧野富太郎とボタ
ニカルアート 荒俣 宏

講演録：植物画の
歴史からみた牧野
富太郎の植物画 大場 秀章

牧野富太郎小伝—
生涯と植物図の周
辺— 小松 みち

マジマチャンネル—食欲連鎖[間島
領一] 川崎市岡本太郎美術館

岡本 太郎
談 間島 領一
聞き手 大貫 誠
岡本 敏子

間島 領一
小松崎拓男
談

「マジマチャンネル—
食欲連鎖」が
問うているもの 樋口 昌樹

洋画家・松尾博一展 茂原ゆかりの
作家シリーズ4 茂原市立美術館・
郷土資料館

解説 舩 田

案本一洋展 京都文化博物館

亡き父を偲んで 案本 淑子
林 恭子
一枝 成子
中 和子

早苗会の案本一洋
京風の大和絵を描
いて 大西 基子

真鍋博回顧展 イマジネーションの
散歩道 愛媛県美術館

真鍋博のヴィジュ
アル・アートの展 原田 平作
開

美のフォーカス 三尾公三展 京都
市美術館

虚実皮膜の幻想空
間 木村 重信

「美のフォーカス
三尾公三展」によ
せて 三尾 啓

三尾公三氏のこと 篠 雅廣

三岸節子・秋野不矩展 天竜市立秋
野不矩美術館他

三岸節子と秋野不
矩 浅野 徹

フランスで見つけ
た三岸節子 吉安 恵子

インドへ渡った秋
野不矩 一花 義広

三岸好太郎・三岸節子賞展 北海道
立三岸好太郎美術館

酒井 忠康
浅野 徹
奥岡 茂雄
笹野 尚明
三岸黄太郎

座談会

水本修二展 ヒノギャラリー

水本修二の自己実
現 藤枝 晃雄

みのわ淳展 日辰画廊

みのわ淳展によせ
てー PHENOM-
ENA・他力の現 林 紀一郎
象美一

真葛 宮川香山展一世界を魅了した
マクス・ウェア 横浜美術館

宮川香山 陶磁器
にかけた生涯とそ
の事績 二階堂 充

19世紀末欧米の陶
磁器と宮川香山 沼田 英子

宮崎豊治一眼下の庭一展 国立国際
美術館

自己を見つめる自
己・宮崎豊治 田中 恒子

「身辺モデル」から
「眼下の庭」へ一
身体と風景をめぐる
宮崎豊治の試み一 安来 正博

ミレーとバルビゾン派の作家たち展

大分市美術館他

ミレーとバルビゾ
ン派の画家たち 飯田 昌平

向井良吉・柳原義達(特別展)現代日
本彫刻展19回 宇部市野外彫刻美術
館

野外彫刻四〇周年
記念特別展「向井
良吉・柳原義達」
展に寄せて 三木 多聞

現代彫刻の指標 澄川 喜一

村上隆 召喚するかドアを開けるか
回復するか全滅するか 東京都現代
美術館

村上隆の逆襲 南 雄介

過去+現在=未来
マイケル・
ダーリング

ペインティング制
作 ペインティ
ング1 総野 匠美

ペインティング制
作 ペインティ
ング2 平田 佳和

ペインティング制
作 調色 鄭 潤美

ペインティング制
作 デジタルド
ローイング基礎制
作 伊良ベッ
キー部長

ペインティング制
作 デジタルド
ローイング 青島 千穂

彫刻制作 mak-
ing of project ko² 村上 隆

彫刻制作 プロ
デュース 宮脇 修一

彫刻制作 原形 ボーメ

彫刻制作 S. M.
Pko²プロデュース あさのまさ
ひこ

彫刻制作 フィ
ギュア造形 品田 冬樹

彫刻制作 彫刻造
形 宮内 秘

彫刻制作 バルー
ン制作 桐部 康郎

彫刻制作 模型制
作 フィッシュ
!松本

彫刻制作 3Dペ
インティング 星野「師匠」
智宏

パッキング&シッ
ピング

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 マネージ
メント 西村 知子

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 パブリシ
ティ 花澤 武夫

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 Web制作 真下 義之

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 デザイン 市毛友一郎

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 コレスボン
デンス 笠原ちあき

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 ディーリン
グ 小山登美夫

マネージメント/
アートコンテンツ
制作 ヒロボン
ファクトリー草創
期 Mr. N. Y. ス
タジオレポート 杉本 朋子

美術家として生き
る 村上 隆

メイプルソープ&アラキー 百花
乱々展 新津市美術館他

百花乱々 福 のり子

はじまりは浄閑
寺一荒木経惟イン
タビュー 大竹 昭子

毛網毅曠展 記憶術としての空間

北海道立釧路芸術館

記憶のなかの建築
もしくは建築のな
かの記憶 毛網 毅曠

クロード・モネ展 山口県立美術館

モネの「眼」一モネ
の描いたもの 斎藤 郁夫

モネの絵画と自然 六人部昭典

クロード・モネー
光の巨匠 マルク・レ
ステリーニ

森村泰昌と合田佐和子展 高知県立
美術館

涙について/合田
佐和子さんへ 森村 泰昌

森村泰昌さんへ 合田佐和子

兄妹愛一「森村泰
昌と合田佐和子」
展について 松本 敦仁

誰もが持っている
セルフポートレイ
ト感覚 森村 泰昌

異様見真似一ある
いは、道頓堀リア
リズム 中村 敬治

森村泰昌のこれまで／これから 松本 教仁
 レンズ効果 合田佐和子
 焼け跡に舞い降りた死の使者—合田佐和子と戦後 坂東眞砂子
 七色に発光する蛇姫—合田佐和子 松本 教仁
 諸泉茂展 さまざまな眼114 かわさきIBM市民文化ギャラリー
 測られた森の外れから 鷹見 明彦

ヤ 行

山口薫の芸術 田園のシンフォニー 茨城県近代美術館
 あるユートピア—山口薫の世界 黒田 亮子
 山口薫—田園シンフォニーを支えるもの 小泉 淳一
 山口勝弘展—ドラゴン・ストーリー— INAXギャラリー
 山口龍あらわる 中原 佑介
 山口蓬春記念館10周年特別展 昭和 日本画壇のモダニスト ジェイアルセントラルタワーズ12階・タワーズプラザホテル
 山口蓬春のモダニズム 橋 秀文
 山口牧生展—自然に近く— 西宮市大谷記念美術館
 石の仕事 山口 牧生
 自然に近く—山口牧生の造形 村松 亜子
 山崎隆夫展 富士と抽象 茅ヶ崎市美術館
 「かたち」と「心象」—山崎隆夫の絵画 北村 由雄
 山本芳翠とその時代—記録の芸術 明治美術再見4 宮内庁三の丸尚蔵館
 明治期の洋風記録 大熊 敏之
 三の丸尚蔵館所蔵の古写真について 岡本 隆志
 Daekyoon Yoo(兪大均)展 シロタ画廊
 生れてくるかたち—兪大均の作品 千葉 成夫
 大観・春草展—日本画近代化への道— 茨城県天心記念五浦美術館
 天心と大観・春草 長山 貞之

大観・春草展—日本画近代化への道— 稲葉 睦子
 横山大観展 三重県立美術館
 近代美術のなかの横山大観 酒井 哲朗
 画面形式から見た大観作品—連作と絵巻を中心に 毛利伊知郎
 横山大観《夜桜》について 佐藤 美貴
 横山大観展 足立美術館所蔵 富山 県水墨美術館
 祖父大観の思い出 横山 隆
 足立全康と足立美術館 足立 隆則
 横山大観の生涯と芸術 安部 則男
 彫刻家 吉田三郎展 石川県立美術館
 父・吉田三郎 吉田 渉
 吉田三郎の彫塑修業—朝倉文夫との出会いを中心に— 村山 万介
 吉田三郎先生追想 中村 晋也
 吉田三郎と本展出品作家 谷口 出
 吉原英雄の世界—色彩の誘惑・形のエロス 町田市立国際版画美術館
 吉原英雄 作品と時代について 滝沢 恭司
 吉本義人展 ギャラリー青羅
 吉本義人展によせて 横原 瑛一
 ラ 行
 ルネ・ラリック展 光の幻想・ガラス工芸の美 岐阜市歴史博物館他
 ルネ・ラリックの魅力 武田 厚
 ガラスの産業芸術家—ルネ・ラリック1860—1945年 池田ますみ
 ジョルジュ・ルース展 幾何学的形態の中の緊張 東京都庭園美術館
 《サンティアゴ・デ・コンポステラ2000》についての考察 ジョルジュ・ルース
 幾何学的形態の中の緊張 横江 文憲
 映像の身体—記憶地図 岡部あおみ
 ポラロイドのシリーズについて ジョルジュ・ルース

「見る」ことの意味、あるいはリアリティの探求 中島 徳博
 庭園美術館での制作プラン ジョルジュ・ルース
 アンリ・ルソーと素朴派 世田谷美術館所蔵名品展 釧路市立美術館
 世田谷美術館と素朴派コレクション 勅使河原純
 あとがき—こころの中のアート 角井千代絵
 オディロン・ルドン展 夢と神秘の世界へ 群馬県立近代美術館他
 オディロン・ルドン—見えないもののための見えるものの論理 マルク・レステリーニ
 レオナルド・ダ・ヴィンチ《白貂を抱く貴婦人》 チャルトリススキ・コレクション展 京都市美術館他
 チャルトリススキ美術館のあゆみとレオナルド・ダ・ヴィンチ《白貂を抱く貴婦人》 ヴァウエック・ヤヌシュ 門田 牧子 訳
 眼差しと微笑み—レオナルドの肖像画の秘密 岡田 温司
 チェチリア・ガッレラーニ シエル・ジャンス 水野 千依 訳
 科学的分析 ブル・デイヴィット 喜多村明里 訳
 ヤンニ・レグニルス展 ギャラリー小柳
 失われた魔術を求めて—ヤンニ・レグニルスの一人劇場 松井みどり
 ロダンと日本 静岡県立美術館他
 序 長谷川三郎
 日本とロダンの近代的デッサンの誕生 クローディー・ジュドラン 永草 次郎 訳
 ロダンと花子 南 美幸
 ロダンが花子を素描する クローディー・ジュドラン 陣岡めぐみ 訳
 ロダンとファン・ゴッホの《タンギー爺さん》 クローディー・ジュドラン 山上 紀子 訳

《タンギー爺さん》 の背景の浮世絵に ついて	神谷 浩
ロダン、浮世絵蒐集 集家	クロー ディー・ ジュドラ ン 小林久見子 訳
ロダン美術館浮世 絵コレクションに ついて	神谷 浩
ロダンと浮世絵— 『白樺』同人による 浮世絵寄贈の経緯	飯田 真
ジャポネズリ： オーギュスト・ロ ダンの日本美術趣 味	ベネディク ト・ガルニ エ 阿部 真弓 訳
日本側から見たロ ダンの日本工芸品 コレクションの特 徴	深山 孝彰
日本における稲垣 吉蔵	秦井 良
石と木—ロダンの もとで働いた日本 の指物師 稲垣吉 蔵—	ベネディク ト・ガルニ エ 阿部 真弓 訳
ロダンの『白樺』同 人への贈物	栗田 秀法
大正期日本のロダ ン蒐集家群像： 1912—1927	下山 肇
松方とロダン美術 館：あるコレク ションをめぐる災 厄	クリスティ ナ・ビュレ イ＝ユリブ 大屋 美那 訳
「松方」のオデュッ セイア終章—戦後 外交記録を読む—	長谷川三郎
日本の近代彫刻と ロダン	千田 敬一

物 故 者

索 引 (50音順)

青柳裕介(漫	8月9日	56歳)	栗原義幸(写	8月28日	61歳)
秋野不矩(日	10月11日	93歳).....245	小寺比出子(美関	2月24日	91歳)
秋山進(彫	1月3日	70歳)	小葉田淳(学	8月8日	96歳)
あすなひろし(漫	3月22日	60歳)	小林昌人(学	4月22日	69歳)
尼野和三(彫	4月7日	73歳)	小松崎茂(その他	12月7日	86歳).....251
天野丈作(洋	12月21日	84歳)	金野宏治(洋	3月2日	80歳)
天野正英(写	11月16日	87歳)	斎藤義重(美	6月13日	97歳).....239
石井進(学	10月24日	70歳)	坂元弘直(美関	8月31日	67歳)
石山弘(漫	9月7日	69歳)	塩出英雄(日	3月20日	88歳).....236
出岡実(洋	5月16日	72歳)	白井謙二郎(彫	12月11日	90歳)
井谷和十郎(学	10月15日	90歳)	真海徳太郎(彫	5月15日	87歳)
伊藤清永(洋	6月5日	90歳).....239	菅原安男(彫	4月13日	95歳)
伊藤憲治(デ	11月29日	86歳)	杉村惇(洋	8月13日	93歳)
伊藤信義(デ	2月21日	60歳)	鈴木治(工	4月9日	74歳).....236
伊藤鳳雲(書	9月19日	85歳)	スズキシン一(美	8月12日	69歳)
糸園和三郎(洋	6月15日	89歳).....240	鈴木天城(書	6月30日	89歳)
稲垣栄三(学	3月6日	74歳)	関野克(学	1月25日	91歳).....233
今泉今右衛門(工	10月13日	75歳).....246	高木桑風(書	2月27日	74歳)
上野千鶴子(写	9月13日	70歳)	高木義夫(日	10月16日	78歳)
上原欽二(洋	11月30日	86歳)	高野富夫(写	6月12日	77歳)
上村松篁(日	3月11日	98歳).....235	高橋忠弥(洋	1月24日	88歳)
大石隆子(書	2月14日	99歳)	高村英也(デ	11月22日	79歳)
大木達美(彫	8月22日	53歳)	玉置正敏(洋	5月8日	78歳)
ミネ・オオクボ(美	2月10日	88歳)	千野香織(学	12月31日	49歳).....252
大沢寛三(美関	12月8日	88歳)	弦田平八郎(評	2月15日	72歳).....234
大辻清司(写	12月19日	78歳).....252	勅使河原宏(映C	4月14日	74歳)
大西敏巳(洋	6月30日	61歳)	寺島龍一(洋	10月26日	83歳).....247
大森朔衛(洋	6月9日	82歳)	戸川ふみ子(洋	5月16日	91歳)
岡倉古志郎(学	4月2日	88歳)	頓宮隆輔(洋	3月20日	71歳)
岡橋萬帆(日	12月15日	77歳)	永井浩(彫	2月22日	74歳)
小沢敦(洋	2月3日	80歳)	中川雨亭(書	8月31日	87歳)
小野忠弘(美	8月5日	88歳).....243	中野蘭疇(書	9月22日	93歳)
織本匠(学	11月30日	83歳)	中平南谿(書	4月8日	97歳)
加藤鈔(工	8月17日	74歳)	中村溪男(学	5月19日	79歳).....237
金森映井智(工	11月25日	93歳).....249	中村正也(写	6月6日	75歳)
金子嶋亨(書	11月5日	95歳).....248	榎崎宗重(学	7月18日	97歳).....242
鴨下春明(工	4月9日	85歳)	西井一夫(評	11月25日	55歳)
川端実(洋	6月29日	90歳).....241	西島伊三雄(デ	9月30日	78歳)
北代省三(美	2月28日	79歳).....234	西村三郎(学	11月30日	71歳)
北村治禧(彫	8月21日	86歳).....244	野崎貢(日	3月18日	85歳)
鬼頭清明(学	2月20日	61歳)	馬場のぼる(漫	4月7日	73歳)
木内岬(彫	8月17日	81歳)	林雅子(建	1月9日	72歳)
木本大果(日	11月9日	100歳)	深尾庄介(洋	2月1日	78歳)

物故者(平成13年)

福田達夫(日)	3月3日	71歳)	
福永重樹(美関)	8月5日	68歳)243
藤原雄(工)	10月29日	69歳)247
古田紹欽(学)	1月31日	89歳)	
星川進(学)	5月17日	72歳)	
堀池春峰(美関)	8月31日	82歳)244
堀内正和(彫)	4月13日	90歳)237
本間正義(美関)	10月10日	84歳)245
松島道也(学)	8月11日	75歳)	
松本英一郎(洋)	6月17日	68歳)241
真野満(日)	7月1日	99歳)242
溝江勘二(洋)	1月1日	91歳)	
緑川洋一(写)	11月14日	86歳)249
源豊宗(学)	1月17日	105歳)233
宮坂房衛(工)	9月9日	90歳)	
宮本光庸(彫)	3月8日	87歳)	
村山松雄(美関)	2月14日	80歳)	
望月百合子(美関)	6月9日	100歳)	
毛綱毅曠(建)	9月2日	59歳)	
森通(洋)	8月31日	75歳)	
森豊(学)	12月8日	84歳)	
矢代秀雄(学)	1月4日	79歳)	
山口牧生(彫)	12月16日	74歳)251
山倉克己(洋)	7月3日	71歳)	
山田光(工)	11月29日	77歳)250
山根有三(学)	5月22日	82歳)238
柚月芳(彫)	10月25日	100歳)	
横山隆一(漫)	11月8日	92歳)248
吉田漱(学)	8月21日	79歳)244
吉田善彦(日)	11月29日	89歳)250

凡例:

1. 索引に掲載された物故者の氏名は、平成13年中に没した美術家、及び関係者であり、50音順に配列した。
2. ()内には、職種、死亡月日、享年の順に記載した。
3. 職種は、下記のように略記した。
日:日本画家、洋:洋画家、版:版画家、彫:彫刻家、工:工芸家、デ:デザイナー、映C:映像・CG作家、漫:漫画家、書:書家、写:写真家、建:建築家、学:美術史研究者、評:美術評論家、美関:美術関係者、その他:絵本作家・イラストレーター等、美:美術家(前記の範疇に属さず、現代美術において従来の表現形式にとらわれない創作活動をした者)
4. 記事が掲載されている物故者については、索引の氏名の横に掲載ページを示した。記事は死亡月日順に掲載した。
5. 各記事末尾の〈 〉内は、その記事の執筆者の姓を示す。それぞれの姓名・所属は下記の通りである。
今井—今井 陽子 東京国立近代美術館工芸館
唐澤—唐澤 昌宏 東京国立近代美術館工芸館
木田—木田 拓也 東京国立近代美術館工芸館
北村—北村 仁美 東京国立近代美術館工芸館
小林—小林未央子 東京文化財研究所美術部
塩谷—塩谷 純 東京文化財研究所美術部
鈴木—鈴木 廣之 東京文化財研究所美術部
田中—田中 淳 東京文化財研究所美術部
津田—津田 徹英 東京文化財研究所美術部
富田—富田 康子 東京国立近代美術館工芸館
中野—中野 照男 東京文化財研究所美術部
増田—増田 玲 東京国立近代美術館
山梨—山梨絵美子 東京文化財研究所美術部

「物故者」 ページ (233～254 ページ)

個人情報保護のため非公開

Pages of the Articles of the Deceased (pp.233-254)

Cut for protection of the personal information

~~~~~  
印 刷 平成 16 年 3 月 15 日

発 行 平成 16 年 3 月 15 日

---

日 本 美 術 年 鑑

— 平成 14 年 版 —

---

編集者 東京文化財研究所美術部

発行者 独立行政法人文化財研究所  
東京文化財研究所  
東京都台東区上野公園 13-43  
電 話 (03) 3823-2241

印 刷 独立行政法人 国立印刷局  
東京都港区虎ノ門 2-2-4  
電 話 (03) 3587-4283~9

~~~~~  
出版助成：東京美術商協同組合寄付金